

# *The Japan Foundation*

平成16年度(2004年度)事業実績

平成16年度（2004年度）事業実績



## 平成16年度（2004年度）国際交流基金 事業実績 目次

平成16年度（2004年度）国際交流基金 事業実績	1
目次	3
注	6
地域分類・国名表記一覧	7
事項別事業費一覧	8
<文化芸術交流事業に必要な経費>	11
文化協力事業費	11
人物交流事業費	12
1. 文化協力派遣	12
2. 文化遺産保存専門家派遣	12
3. 日本古美術保存専門家招へい	12
4. 日本古美術保存専門家派遣	13
催し等事業費	13
1. アジア文化協力	13
2. アジア文化協力（助成）	14
3. 中東文化財保存	15
文化事業費	17
人物交流事業費	18
1. 文化人短期招へい	18
2. グループ招へい（指導者・専門家）	20
3. 招へいフェローシップ（文化芸術）	21
4. 招へいフェローシップ（アーティスト・イン・レジデンス）	22
5. 派遣フェローシップ（芸術家）	22
催し等事業費	23
1. 日本文化紹介派遣	23
2. 日本文化紹介（助成）	24
3. 在外日本文化専門家（助成）	31
4. スポーツ専門家短期派遣	31
5. スポーツ専門家交流（助成）	32
市民青少年交流事業費	34
人物交流事業費	35
1. グループ招へい（中学高校教員）	35
2. 市民青少年指導者招へい	37
3. アジア青年文化奨学金（中等教育プログラム）	38
4. 開高健記念アジア作家招へい	38
5. 文化交流企画運営補助ボランティア	39
催し等事業費	39
1. 市民青少年交流	39
2. 日欧市民交流（助成）	39
3. アジア市民交流（助成）	42
4. 中東市民青少年交流（助成）	47
5. 中東理解ワークショップ等	48
6. アジア理解ワークショップ等	50
造形美術事業費	52
人物交流事業費	53
1. 造形美術情報交流（招へい）	53
催し等事業費	53
1. 国際展参加	53
2. 海外展（企画）	54
3. 海外展（巡回）	55
4. 国内展	63
5. 国内展（AC）	64
6. 海外展（助成）	64
7. 国内展（助成）	68
8. 造形美術情報交流（催し）	70
9. 「愛・地球博」途上国支援事業	70
催し等事業費（トリエンナーレ）	70
1. 国際展	70
舞台芸術事業費	71
人物交流事業費	72
1. グループ招へい（指導者・専門家）	72
2. 内田奨学金フェローシップ	72
催し等事業費	73
1. 海外公演	73
2. 日本文化紹介派遣	74
3. 海外公演（助成）	79
4. 舞台芸術紹介日米共同事業	85
5. 日本文化紹介派遣（助成）	86
6. 国際舞台芸術共同制作	95
7. 在外日本文化専門家（助成）	96
8. 国内公演（助成）	97
9. 国内公演（AC）	98
10. 中東文化芸術紹介（舞台芸術）	99
11. 舞台芸術情報交流	100
12. 舞台芸術紹介日欧共同事業	101
映像出版事業費	102
催し等事業費	103
1. 海外日本映画祭	103
2. 海外日本映画祭（助成）	109
3. 国内映画祭	112
4. 国内映画祭（助成）	112
5. 国内映画祭（AC）	114
6. 中東文化芸術紹介（映像出版）	115
7. 映画出版情報交流（催し）	115
文化資料事業費	116
1. テレビ番組放映	116
2. 本部フィルムライブラリー（FL）充実	119
3. 海外フィルムライブラリー（FL）充実	121
4. 映画・テレビ番組制作協力	122
5. 日本文学作品翻訳出版	124
6. 出版翻訳協力	124
7. 図書展参加	128
8. 映像出版情報交流（文化資料）	129
国際交流フォーラム運営事業費	130

国際交流フォーラム運営事業費	131	4. 司書日本語研修（関）	179
1. 国際会議場貸出	131	5. 研究者・大学院生日本語研修（関）	180
2. 国際交流基金フォーラム貸出	132	6. 日本語成績優秀者研修（関）	182
<日本語普及事業に必要な経費>	134	7. 日本語履修大学生訪日研修（関）	182
日本語事業費	134	8. 高校生日本語学習奨励研修（関）	184
日本語企画調整費	135	9. 李秀賢氏記念韓国青少年招へい（関）	184
1. 日本語教育機関等調査	135	10. 大阪府JET青年日本語研修	185
2. 日本語教育国際シンポジウム	136	11. JET青年日本語研修	185
3. 海外日本語教育支援NGO（助成）	136	12. 大阪府クイーンズランド州日本語教師研修	185
4. 日本語教育企画開発型事業	137	<日本研究・知的交流事業に必要な経費>	186
日本語派遣・助成費	137	企画開発費	186
1. 日本語教育専門家長期派遣（一般）	137	日本研究事業費	187
2. 日本語教育専門家長期派遣（予備教育）	141	1. 日本研究調査〔企〕	187
3. 青年日本語教師派遣（一般）	142	2. 日本研究ネットワーク推進	187
4. 青年日本語教師派遣（NIS）	143	3. 日本研究フェローフォローアップ	187
5. 日本語教育巡回セミナー	144	文化資料事業費	188
6. アジア青年文化奨学金	145	1. 日本研究基本書目	188
7. 日本語教育開発機関（助成）	145	2. 図書寄贈〔企〕	189
8. 海外日本語講座（助成）専任講師給与	146	米州交流事業費	190
9. 海外日本語講座（助成）現地講師謝金	146	日本研究事業費	191
10. 海外日本語弁論大会（助成）	149	1. 日本研究調査〔米〕	191
11. 海外日本語教育ネットワーク形成（助成）	155	2. 在米諮問委員会	191
日本語能力試験費	158	3. 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米〕	192
1. 日本語能力試験実施費	158	4. 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔米〕	192
2. 評価開発経費	159	5. 日本研究拠点機関（助成）〔米〕	192
附属機関日本語国際センター事業費	160	6. 日本研究スタッフ拡充（助成）〔米〕	193
研修事業費	161	7. 日本研究リサーチ・会議等（助成）〔米〕	193
1. 日本語教育指導者養成プログラム	161	人物交流事業費	195
2. 海外日本語教師上級研修	162	1. 派遣フェローシップ（学者・研究者）〔米〕	195
3. 海外日本語教師長期研修	163	2. 新渡戸フェローシップ	195
4. 海外日本語教師短期研修	164	3. 小渕フェローシップ	196
5. 在外邦人日本語教師研修	166	4. 招へいフェローシップ（学者・研究者）〔米〕	196
6. 米国・カナダ・英国初中等日本語教師訪日研修	166	5. 招へいフェローシップ（論文執筆）〔米〕	198
7. 大韓民国高等学校日本語教師研修	167	6. 招へいフェローシップ（短期）〔米〕	200
8. 中国日本語教師研修	167	7. 文化人短期招へい（国際会議）〔米〕	201
9. タイ中等教育日本語教師研修	167	催し等事業費	202
10. オーストラリア・ニュージーランド初中等日本語教師訪日研修	168	1. 国際会議出席（助成）〔米〕	202
11. 埼玉県JET青年日本語研修	168	文化資料事業費	202
制作事業費	169	1. 図書寄贈〔米〕	202
1. 制作教材海外普及	169	アジア・大洋州交流事業費	204
2. 日本語教材自主制作	169	日本研究事業費	205
3. 日本語教育フェローシップ	170	1. 日本研究調査〔ア〕	205
4. 日本語教材制作助成	171	2. 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕	205
5. 日本語教材寄贈	173	3. 日本研究シニア客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕	206
6. 図書館運営（日）	174	4. 日本研究拠点機関（助成）〔ア〕	206
附属機関関西国際センター事業費	175	5. 日本研究スタッフ拡充（助成）〔ア〕	207
研修事業費	176	6. 日本研究リサーチ・会議等（助成）〔ア〕	207
1. 図書館運営（関）	176	7. 東南アジア元日本留学生活動支援	209
2. 外交官日本語研修（関）	177	8. 北京日本学術研究センター派遣（北外）	209
3. 公務員日本語研修（関）	179	9. 北京日本学術研究センター派遣（北大）	212

10. 北京日本学研究中心招へい（北外）	213
11. 北京日本学研究中心招へい（北大）	213
12. 北京日本学研究中心（研究協力）	214
13. 中国社会科学院研究生院	214
人物交流事業費	215
1. 招へいフェローシップ（学者・研究者）〔ア〕	215
2. 招へいフェローシップ（論文執筆）〔ア〕	218
3. 招へいフェローシップ（特定地域専門家）〔ア〕	220
4. 招へいフェローシップ（短期）〔ア〕	220
5. 文化人短期招へい（国際会議）〔ア〕	221
6. 次世代リーダーフェローシップ（派遣）〔ア〕	222
7. アジア・リーダーフェローシップ（招へい）	223
催し等事業費	223
1. 国際会議出席（助成）〔ア〕	223
2. アジア知的交流会議（公募助成）	224
3. アジア知的交流会議（企画参画助成）	233
4. アジア知的交流会議開催	233
5. アジア地域研究センター支援（催し等）	234
6. 沖縄国際フォーラム	234
文化資料事業費	234
1. 図書寄贈〔ア〕	234
欧州・中東・アフリカ交流事業費	237
日本研究事業費	238
1. 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔欧〕	238
2. 日本研究シニア客員教授派遣（直接派遣）〔欧〕	238
3. 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔欧〕	239
4. 日本研究拠点機関（助成）〔欧〕	239
5. 日本研究スタッフ拡充（助成）〔欧〕	240
6. 日本研究リサーチ・会議等（助成）〔欧〕	240
7. 日本研究組織強化支援（助成）	241
人物交流事業費	242
1. 派遣フェローシップ（学者・研究者）〔欧〕	242
2. 招へいフェローシップ（学者・研究者）〔欧〕	242
3. 招へいフェローシップ（論文執筆）〔欧〕	246
4. 招へいフェローシップ（短期）〔欧〕	247
5. 文化人短期招へい〔欧〕	247
6. 文化人短期招へい（国際会議）〔欧〕	248
7. 中東知的交流セミナー（人物交流・派遣）	250
8. 中東知的交流セミナー（人物交流・招へい）	250
9. 中東次世代派遣フェローシップ	251
10. 中東次世代招へいフェローシップ	251
催し等事業費	251
1. 国際会議出席（助成）〔欧〕	251
2. セミナーシンポジウム開催（日欧）	253
3. セミナーシンポジウム開催（助成）（日欧）	253
4. 中東知的交流セミナー（催し・主催）	259
5. 中東知的交流セミナー（催し・助成）	260
文化資料事業費	261
1. 図書寄贈〔欧〕	261
日米知的交流推進費	265
人物交流事業費	266
1. 安倍フェローシップ	266
催し等事業費	267
1. 日米知的交流（助成）	267
2. 日米知的交流事業	269
3. GP研究協力（助成）	270
4. GP研究協力事業	273
日米市民対話推進費	274
人物交流事業費	275
1. 日米センターNPOフェローシップ	275
2. JOI（Japan Outreach Initiative）プログラム	275
催し等事業費	276
1. 日米市民交流（助成）	276
2. 日米「教育を通じた相手国理解促進」（助成）	280
3. 地域活動促進（小規模助成）	281
4. 日米草の根交流推進事業	283
文化資料事業費	283
1. 日米「教育を通じた相手国理解促進」	283
<調査研究および情報提供事業等に必要経費>	284
情報センター事業費	284
催し等事業費	285
1. 企画開発セミナー	285
文化資料事業費	286
1. 機関誌	286
2. 事業報告	286
3. インターネット・ホームページ	287
調査研究費	287
1. 図書館運営	287
2. 国際交流基金賞・国際交流奨励賞	287
3. 地域交流賞	288
4. 調査研究	288
企画・評価費	289
調査研究費	290
1. 調査研究（企）	290
2. 事業評価（企）	290
文化事情調査費	291
調査研究費	292
1. 文化事情調査	292
2. ワーキング・グループ関係費	293
<在外事業に必要な経費>	294
<文化交流施設等協力事業に必要な経費>	409

(注)

## 1. 期 間

- (1) 本書で扱う事業実績は、事業の実施期間が2004事業年度(2004年4月1日～2005年3月31日)内のもの、および実施期間の一部がこの年度にかかっているものを対象としている。
- (2) 各事業の実施期間は次による。
  - ・人物の派遣・招へい：派遣期間または招へい期間
  - ・展覧会／公演／映画祭／セミナー等の実施：開催期間(開催日)または総巡回期間
  - ・上記を除く助成事業：助成対象期間
  - ・調査：調査実施期間
  - ・出版物の刊行：発行日

## 2. 地域・国

- (1) 地域分類および国名表記は別表のとおりである。
- (2) 各事業の実施対象国は次による。
  - ・人物の派遣：派遣先国
  - ・人物の招へい：被招へい者の居住国
  - ・展覧会／公演／映画祭等の実施
    - 海外で実施される場合：実施国
    - 国内で実施される場合：参加国またはテーマ国
  - ・リサーチ／会議／セミナー等の実施
    - 主催事業の場合：参加国またはテーマ国
    - 助成事業の場合：助成対象者(団体)所在国
  - ・図書／フィルム等の寄贈・配布：寄贈・配布先国
  - ・出版物の刊行：配布先国
  - ・上記を除く助成事業：助成対象者(団体)所在国

## 3. 現職

「現職」については、事業実施時の肩書きとしている。

## 4. 海外事務所・海外日本語センターの事業

海外事務所・海外日本語センターの経費は、支出時のレートで円換算し、小数点以下は切り捨てた。

(別表) 地域分類・国名表記一覧(2004年度事業用)

(平成17年11月現在)

大分類	小分類	国・地域(通称、五十音順)
アジア地域	東アジア地域	韓国、中国、日本、モンゴル
	東南アジア地域	インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス
	南アジア地域	インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ
大洋州地域	大洋州地域	オーストラリア、キリバス、サモア、ソロモン、ツバル、トンガ、ナウル、ニュージーランド、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル諸島、ミクロネシア
米州地域	北米地域	カナダ、米国
	中米地域	アンティグア・バーブーダ、エルサルバドル、キューバ、グアテマラ、グレナダ、コスタリカ、ジャマイカ、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント、セントルシア、ドミニカ、ドミニカ共和国、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、ハイチ、パナマ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ホンジュラス、メキシコ
	南米地域	アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ、コロンビア、スリナム、チリ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア
欧州地域	西欧地域	アイスランド、アイルランド、アンドラ、イタリア、英国、オーストリア、オランダ、キプロス、ギリシャ、サンマリノ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、バチカン、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、マルタ、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク
	東欧地域	アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、グルジア、クロアチア、スロバキア、スロベニア、セルビア・モンテネグロ、タジキスタン、チェコ、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、ベラルーシ、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア、モルドバ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシア
中東地域	中東地域	アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、パレスチナ、ヨルダン、レバノン
	北アフリカ地域	アルジェリア、エジプト、スーダン、チュニジア、モロッコ、リビア
アフリカ地域	アフリカ地域	アンゴラ、ウガンダ、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カーボヴェルデ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジンバブエ、スワジランド、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、チャド、中央アフリカ、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ、モーリシャス、モーリタニア、モザンビーク、リベリア、ルワンダ、レソト



事項別事業費一覧

(円)

<b>文化芸術交流事業に必要な経費</b>	<b>3,252,675,986</b>
-----------------------	----------------------

文化協力事業費 .....	60,144,356
1. 人物交流事業費 .....	25,508,168
2. 催し等事業費 .....	34,636,188
文化事業費 .....	228,336,144
1. 人物交流事業費 .....	101,541,116
2. 催し等事業費 .....	101,671,588
3. 催し等事業費（人事） .....	25,123,440
市民青少年交流事業費 .....	335,559,799
1. 人物交流事業費 .....	233,566,524
2. 催し等事業費 .....	101,993,275
造形美術事業費 .....	736,669,463
1. 人物交流事業費 .....	2,818,956
2. 催し等事業費 .....	384,708,972
3. 催し等事業費（トリエンナーレ） .....	299,364,169
4. 催し等事業費（人事） .....	49,777,366
舞台芸術事業費 .....	959,694,854
1. 人物交流事業費 .....	7,903,477
2. 催し等事業費 .....	951,791,377
映像出版課 .....	597,117,368
1. 催し等事業費 .....	104,175,218
2. 文化資料事業費 .....	492,942,150
国際交流フォーラム運営事業費 .....	335,154,002
1. 国際交流フォーラム運営事業費 .....	83,565,062
2. 国際交流フォーラム運営事業費（会計） .....	251,588,940

<b>日本語普及事業に必要な経費</b>	<b>3,538,744,288</b>
----------------------	----------------------

日本語事業費 .....	1,606,417,750
1. 日本語企画調整費 .....	109,917,312
2. 日本語企画調整費（人事） .....	6,816,668
3. 日本語派遣・助成費 .....	1,289,991,982
4. 日本語能力試験費 .....	199,691,788
附属機関日本語国際センター事業費 .....	1,099,060,925
1. 運営諸費 .....	263,365,236
2. 運営諸費（人事） .....	293,714,127
3. 運営諸費（会計） .....	4,120,960

4. 研修事業費	318,424,554
5. 制作事業費	219,436,048

附属機関関西国際センター事業費 .....833,265,613

1. 運営諸費	268,924,926
2. 運営諸費（人事）	202,760,705
3. 運営諸費（会計）	12,831,515
4. 研修事業費	348,748,467

日本研究・知的交流事業に必要な経費	2,283,025,666
-------------------	---------------

企画開発費 .....115,665,900

1. 日本語研究事業費	50,752,182
2. 日本語研究事業費（人事）	28,597,456
3. 人物交流事業費	14,950,165
4. 文化資料事業費	21,366,097

米州交流事業費 .....287,560,388

1. 日本語研究事業費	116,425,939
2. 人物交流事業費	155,411,430
3. 催し等事業費	850,970
4. 文化資料事業費	14,872,049

アジア・大洋州交流事業費 .....742,148,767

1. 日本語研究事業費	350,021,409
2. 人物交流事業費	227,768,946
3. 催し等事業費	147,731,339
4. 文化資料事業費	16,627,073

欧州・中東・アフリカ交流事業費 .....434,227,691

1. 日本語研究事業費	79,659,450
2. 人物交流事業費	174,689,267
3. 催し等事業費	135,291,550
4. 文化資料事業費	44,587,424

日米センター運営管理費 .....108,679,873

1. 運営諸費	108,381,809
2. 運営諸費（人事）	298,064

日米知的交流推進費 .....399,391,627

1. 人物交流事業費	222,007,939
2. 催し等事業費	177,383,688

日米市民対話推進費 .....195,351,420

1. 人物交流事業費	33,787,957
2. 催し等事業費	149,872,758
3. 文化資料事業費	11,690,705

調査・研究および情報提供事業等に必要経費	486,961,739
----------------------	-------------

情報センター事業費	446,371,636
1. 催し等事業費	17,949,298
2. 文化資料事業費	141,205,136
3. 調査研究費	109,294,945
4. 調査研究費（総務）	49,414,781
5. 調査研究費（人事）	128,507,476

企画・評価費	17,215,571
1. 調査研究費	17,215,571

文化事情調査費	23,374,532
1. 調査研究費	13,157,019
2. 調査研究費（人事）	10,217,513

在外事業に必要な経費	1,934,115,101
------------	---------------

在外事業費	1,934,115,101
1. 在外事業費	1,827,906,030
2. 在外事業費（人事）	106,209,071

文化交流施設等協力事業に必要な経費	907,397,724
-------------------	-------------

文化交流施設等協力事業費	907,397,724
1. 文化交流施設等協力事業費	907,397,724

---

事業費総計 12,402,920,504

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 文化協力事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 文化協力派遣
- (2) 文化遺産保存専門家派遣
- (3) 日本古美術保存専門家招へい
- (4) 日本古美術保存専門家派遣

### 2. 催し等事業費

- (1) アジア文化協力
- (2) アジア文化協力（助成）
- (3) 中東文化財保存

## 文化協力事業費

### 1. 人物交流事業費 (1)文化協力派遣

開発途上国からの文化諸分野の人材育成に対する協力要請に応え、日本国内の実績のある専門家を派遣し、現地の指導者・専門家に対する助言・指導ならびに現地事情調査などを行なう。

合計額 1,648,289円

	事業名	団体	人数	国	期間	事業内容
1	オーケストラ指導（ホンジュラス）	北原幸男	1	ホンジュラス	05.03.07～ 05.03.22	ホンジュラス国立オーケストラ指揮の指導

### 1. 人物交流事業費 (2)文化遺産保存専門家派遣

世界各国の文化遺産および海外の博物館・美術館等が所蔵する日本の美術工芸品の保存・修復に協力するため、実績のあるわが国の専門家を派遣し助言・指導および調査等を行なう。

合計額 18,160,315円

	氏名	現職	国	都市	期間	受入団体	事業内容
1	佐藤康治	建築家	カンボジア	シエムリアップ	04.04.01～ 04.09.26	カンボジア文化芸術省	アンコール遺跡保存修復に係る現場技術指導
2	赤澤泰	株式会社鴻池組	カンボジア	シエムリアップ	04.04.01～ 05.03.31	カンボジア文化芸術省	アンコール遺跡保存修復に係る現場技術指導
3	海老澤孝雄 津田豊 中田英史	株式会社ざエトス・文化財修復専門家 株式会社ジオレスト 株式会社文化財保存計画協会	パキスタン	イスラマバード	04.12.03～ 04.12.13	在パキスタン大使館	ガンダーラ、ラニガト遺跡およびその周辺の保存修復に係る技術指導を実施

### 1. 人物交流事業費 (3)日本古美術保存専門家招へい

文化庁との提携事業。米国・欧州の博物館などが所蔵する重要文化財級日本古美術品の保存修復事業。美術品を日本に移送し工房で修復後返却。修復研修機会の提供のため所蔵美術館学芸員も招へいする。

合計額 168,869円

	事業名	国	人数	期間	事業内容
1	ピーボディエセックス博物館	米国	1	05.02.15～ 05.02.19	海外の美術館が所蔵する日本の古美術品の保存・修復に協力することにより、日本美術に対する理解を深めてもらうため、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所との共催で美術品を日本に移送し、国内の工房で修復を完了した上返送する。その際、作品を所蔵する美術館の学芸員を招へいし、保存修復作業の現地調査（中間検査）の機会を提供

## 1. 人物交流事業費 (4) 日本古美術保存専門家派遣

文化庁との提携事業。米国・欧州の博物館などが所蔵する重要文化財級日本古美術品の保存修復事業。現地事前調査のため専門家を海外派遣する。

合計額 5,530,695円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	加藤寛 小松大秀 竹内奈美子 村岡俊 渡辺仁之	伝統技術研究室長 東京国立博物館 上席研究員 東京国立博物館 主任研究員 東京文化財研究所 管理部予算係長 東京文化財研究所 管理部企画渉外係長	ドイツ ポーランド	04.10.18～ 04.10.27	フランクフルト 工芸美術館、ド レスデン国立博 物館陶磁館、ワ ルシャフ国立博 物館、クラコフ 国立博物館	海外の美術館や博物館などが所蔵する日本関係美術品に関する調査等を行なった
2	鈴木廣之 津田徹英 綿田稔	東京文化財研究所美術部日本東洋美術研究室長 東京文化財研究所美術部主任研究官 東京文化財研究所情報調整室研究員	スイス チェコ	04.11.15～ 04.11.21	リートベルク美術館、プラハ国立美術館、ナープルステック博物館	海外の美術館や博物館などが所蔵する日本関係美術品に関する調査等を行なった

## 2. 催し等事業費 (1) アジア文化協力

アジアの有形・無形の文化財を保存・振興する国際的な共同作業を企画実施・支援する。伝統を現代に生かすことを目的とした様々な国際共同研究、専門家派遣、現地調査、およびワークショップなどを実施・支援する。

合計額 8,248,871円

	事業名	国	期間	事業内容
1	シリキット王妃72年慶祝アジア・クラフト・フェア	タイ	04.08.08～ 04.08.17	シリキット王妃72年慶祝事業としてタイ国政府が主催するアジア・クラフト・フェアに、日本人の伝統工芸専門家（和傘・組紐）2名を派遣し、展示・実演・ワークショップ等を実施し、タイおよびアジア諸国から参加する伝統工芸の担い手と交流を行なった
2	平成15年度沖縄国際フォーラム報告書作成	アジア地域区分困難	04.07.20～ 04.11.30	平成15年度沖縄国際フォーラム「沖縄のうたきとアジアの聖なる空間：文化遺産を活かしたまちづくりを考える」の報告書を、日本語および英語で刊行

## 文化協力事業費

	事業名	国	期間	事業内容
3	アジア・環太平洋地域イコモス文化遺産防災専門家国際会議	アジア地域区分困難	04.12.01～ 05.03.31	文化遺産の防災に関するアジア域内での国際協力を推進するための国際会議を2005年1月に実施。アジア環太平洋地域各国のイコモス国内委員会からの専門家が参加するほか、ユネスコ世界遺産センター、イクロム本部、イコモス本部などの国際機関からも専門家が参加し、日本国内の世界遺産（古都京都の文化遺産および姫路城）の防災設備を視察したうえで、各国の取り組み状況に関する発表・意見交換を行ない、当該分野における今後の国際協力の枠組みを模索

### 2. 催し等事業費 (2) アジア文化協力 (助成)

アジア各国の文化振興支援を目的とした国際共同作業に基づく会議・ワークショップ・セミナー・研修などに対し助成を行なう。

合計額 22,285,241円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	インドネシアの陶磁器出土遺跡専門家養成事業	バンテン遺跡研究会	インドネシア 日本	04.06.01～ 04.12.31	バンテン遺跡研究会、ジャワ島西端のバンテン遺跡（16～18世紀）の出土陶磁器に関する日本とインドネシアの共同事業。インドネシア国立考古学センターから若手研究員を主体とした5名が参加し、訪日研修と現地での共同発掘調査を実施
2	南東スラウェシのプトン城遺跡保護のための地域参加地図作成	国立ハサヌディン大学東部インドネシア研究センター	インドネシア	04.07.01～ 05.03.31	国立ハサヌディン大学東部インドネシア研究センター、スラウェシ島南東部プトンにある定石を保存し活用するための住民参加を促進するため、地元住民直接参加によるコミュニティー・マッピング作業とワークショップを実施
3	南スラウェシ少数民族の口承伝統記録の保存・出版	国立ハサヌディン大学研究センター社会文化研究部	インドネシア	04.07.01～ 05.03.31	国立ハサヌディン大学研究センター社会文化研究部、南スラウェシ在住の4つの少数民族（カジャン、バジョイ、ト・バロ、ト・ロタン）に伝わる口承伝統の記録保存事業の仕上げを行なった。これまでに収録された民話のカタログを作成し、音源のCD化を図る
4	地方行政における伝統的知識システムの活用	地方行政学院	フィリピン	04.04.01～ 05.03.31	地方行政学院、地方分権化が進むアジア太平洋地域の地方自治における伝統的知識システムの活用を推進することを目的とし、そのためのメカニズムの確立、モジュール開発とパイロット事業実施、問題意識の継続的な啓発を実施し、成果を広く発表する事業
5	ベトナム少数民族無形文化遺産調査・映像記録化および人材養成プロジェクト	ベトナム少数民族無形文化遺産調査・映像記録化および人材養成プロジェクト 日本委員会	ベトナム	04.04.01～ 05.03.31	ベトナム少数民族無形文化遺産調査・映像記録化および人材養成プロジェクト日本委員会

	事業名	団体	国	期間	事業内容
6	グローバリゼーションの中の伝統音楽	ベトナム音楽研究所	ベトナム	04.07.01～ 04.10.31	発展途上国はどのように文化的アイデンティティを守るのか、同時にグローバリゼーションからどのような果実を得ることができるのかをテーマに、伝統音楽を具体的な題材として、東アジア・東南アジア各国の研究者が事例紹介等を行なった
7	ブータン歴史的建造物保護エッセイコンテストと福井県熊川宿との文化交流	ブータン政府内務文化省文化局	ブータン	04.08.01～ 05.03.31	ブータンの政府内務文化省文化局、ブータン国内の歴史的建造物保存に対する国民の意識を啓発するため、歴史的建造物保護に関する論文コンテストを実施し、優秀な論文執筆者を対象にネパールと日本における歴史的建造物保護の実例を学ぶ研修を実施する。ネパールおよび日本の歴史的建造物保護関連NGOが協力
8	ブータン王立美術工芸学校長日本伝統美術工芸研修	日本ブータン芸術委員会	ブータン	04.10.11～ 04.10.26	日本ブータン芸術委員会、自国の伝統文化復興のための教育に取り組むブータン王立美術・工芸学校の指導者を対象とした訪日研修の実施。2004年7月に約2週間の訪日研修を行い、日本各地の伝統美術・工芸手法（岩絵具製法、わし作り、仏教彫刻、金箔・金泥製法等）の技術研修を行なった
9	東アジア作曲家協会国際シンポジウム「伝統音楽と現代音楽の架橋」	九州作曲家協会	アジア地域区分困難	04.04.01～ 04.10.31	九州作曲家協会、日本（九州・沖縄）・中国（上海）・韓国（大邱・釜山）の伝統音楽研究家、作曲家、演奏家が伝統音楽を基盤におく研究と作品を持ち寄り、シンポジウム、公開リハーサル、ワークショップを行なうとともに、宮崎県の伝統芸能（高千穂神楽）を視察し交流した
10	国際シンポジウム「東アジアにおける美術・文化財情報のネットワーク化を考える」	アート・ドキュメンテーション研究会	アジア地域区分困難	04.04.01～ 05.02.28	アート・ドキュメンテーション研究会、東アジア（日本・中国・韓国）の美術品・文化財情報に関する各国の専門家を招きそれぞれの国の状況について発表と討論を行い、お互いの国内における美術品・文化財情報の実情を互いに理解したうえで、今後の相互協力体制構築の方法を返答するための国際会議。2004年8月6～7日に兵庫県立美術館で実施

2. 催し等事業費	(3) 中東文化財保存
-----------	-------------

中東の有形・無形の文化財を保存・振興する国際的な共同作業を企画実施・支援する。伝統を現代に生かすことを目的とした様々な国際共同研究、専門家派遣、現地調査、およびワークショップなどを実施・支援する。

合計額 4,102,076円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	アフガニスタン陶芸文化復興支援	アフガニスタン	05.02.01～ 05.12.31	復興に向かいつつあるアフガニスタンで伝統的な陶芸に携わる技術者と無形文化財継承に係わる行政官を日本に招へいし、日本の陶工、陶芸家および窯業、陶芸産地の行政関係者との交流を通じ、焼き物という共通の文化にかかわるわが国とアフガニスタンの人的交流を深め、協力のネットワークを構築した



## 文化協力事業費

	事業名	対象国	期間	事業内容
2	イラク国立博物館館長招へい・講演会	イラク	04.03.30～ 04.04.06	イラク国立博物館館長ドニー・ジョージ氏を招へいし、博物館におけるイラク戦争時の破壊・収奪の状況とその後の復興への努力等につき講演会を行なうほか、日本の文化財保存支援団体との協議・関係構築を行なった

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 文化事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 文化人短期招へい
- (2) グループ招へい（指導者・専門家）
- (3) 招へいフェローシップ（文化芸術）
- (4) 招へいフェローシップ（アーティスト・イン・レジデンス）
- (5) 派遣フェローシップ（芸術家）

### 2. 催し等事業費

- (1) 日本文化紹介派遣
- (2) 日本文化紹介（助成）
- (3) 在外日本文化専門家（助成）
- (4) スポーツ専門家短期派遣
- (5) スポーツ専門家交流（助成）

## 文化事業費

### 1. 人物交流事業費 (1)文化人短期招へい

海外の文化の諸分野において指導的立場にある者、日本と当該国の文化交流の上で貢献が期待できる者を招へいし、日本の実情視察、日本側文化人、関係分野の専門家などとの意見交換などの機会を提供する。

合計額 52,921,019円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	CHO, Young-nam	歌手、画家	韓国	04.09.13～ 04.09.20	日本の文化状況視察並びに音楽・美術関係者との懇談
2	HYUN, Ki-young	韓国文化芸術振興院長	韓国	04.11.02～ 04.11.11	日本の文化政策関係者との懇談ならびに各種文化施設の視察
3	DAMBA, Tsembel	人文大学人文学部ジャーナリズム学科主任教授、作家、ジャーナリスト	モンゴル	04.10.02～ 04.10.16	日本の作家との意見交換、日本人学生との自由討論、現代日本をモンゴルに紹介する著書執筆
4	SARUMPAET, Ratna	ジャカルタ・アート・カウンスル代表	インドネシア	05.03.31～ 05.04.14	日本の主要文化・芸術機関を訪問、今後の日伊芸術交流の可能性について協議。また、演劇関係者のみならずより深く日本の文化的基盤について視察
5	DE UNGRIA, Ricard M.	フィリピン大学ミンダナオ校学長	フィリピン	04.11.21～ 04.12.05	大学長として日本語・日本文学開講のための意見交換。日本の詩歌、特に俳句の実作者との意見交換。芭蕉「奥の細道」ゆかりの土地への旅行。英語俳句についての意見交換
6	D'CRUZ, Marion	ファイブアーツセンター代表	マレーシア	05.03.08～ 05.03.21	日本の現代舞踊の動向、および芸術振興活動一般に関する調査
7	SHARMA, Sudhakar	ラリット・カラ・アカデミー(国立美術アカデミー)事務局長	インド	04.10.17～ 04.10.31	インドの美術振興を行なう機関の長として、日本の美術振興行政を視察。また、日本の博物館や美術館を訪問し、日本の古典美術、現代美術を鑑賞すると共に、将来の美術交流の可能性を模索した
8	FAIZ, S.M.A.	ダッカ大学(副)学長	バングラデシュ	04.07.26～ 04.08.09	ダッカ大学と日本の大学の連携・共同関係の構築のための大学学長他関係者との意見交換
9	HUNT, Sue	シドニー・オペラハウス 舞台芸術部門ディレクター (役員)	オーストラリア	04.10.17～ 04.10.31	日本の舞台芸術関係者、芸術機関とのネットワーク作りおよび日豪舞台芸術交流、共同制作の推進
10	HOFSTETTER, Mary E.	バンフ・センター理事長	カナダ	04.09.24～ 04.10.07	日加共同制作の推進および日加間の芸術・文化専門家のネットワーク強化を目的として、日本の現代芸術および国際共同制作の現況を視察し、舞台芸術、美術、映画、日本国内アーティスト・イン・レジデンス等関係者との意見交換を行なった

	氏名	現職	国	期間	事業内容
11	TORRES CRESPO, Victor	キューバ国営ラ ジオ・テレビ協 会音楽番組制作 局長	キューバ	04.09.05～ 04.09.19	日本のマスコミ・映像関係者との意見交換・人脈 形成を通し両国の文化交流促進を目指す。同時 に、日本のテレビ技術等の現状を視察
12	TUNNERMANN, Carlos	ニカラグア作家 協会会長	ニカラグア	04.10.10～ 04.10.24	日本・ニカラグア間の学术交流の促進
13	FARIAS, Agnaldo	インスティ チュート・トミ エ・オオタケ(大 竹富江財団) キュレーター	ブラジル	05.02.14～ 05.02.28	日本の現代美術の動向視察、現代美術における意 見交換、美術交流事業促進
14	ZAMBRANO MEZA, Gregory Simon	国立ロス・アン デス大学メリダ 校人文学部文学 科長	ベネズエラ	04.11.12～ 04.11.26	日本とベネズエラ間の大学間交流の活発化および 研究交流の推進
15	GRAESSLIN, Karola	ブラウンシュバ イク美術連盟館 長	ドイツ	05.03.20～ 05.04.01	現代美術館関係者・作家との交流、プロジェクト 企画相談、日本文化・美術視察
16	BAUDRILLER, Vincent	アヴィニオン フェスティバル 総監督	フランス	04.11.07～ 04.11.14	日本の舞台芸術に関する知識と理解を深め、将 来の日仏間の舞台芸術交流の促進および日本の舞 台芸術を紹介
17	MILKANI, Eno	マット・コミュ ニケーションプ ロデューサー	アルバニア	04.10.12～ 04.10.26	日本の文化・社会事情を実際に視察、撮影し、ド キュメンタリーを作成することにより、日本を知ら ないアルバニアの人々に日本の姿を紹介
18	SEISENBAEV, Rollan	国際アバイクラ ブ会長・作家	カザフスタン	04.10.06～ 04.10.19	日本文学会関係者との懇談。東京、京都、広島、 長崎等主要都市を訪問。石原慎太郎、小田実など 関係者との会合
19	BUDAK, Neven	ザグレブ大学哲 学部学部長	クロアチア	04.10.26～ 04.11.07	2004年秋開設予定の同学部内日本研究科開設準備 のため、日本の大学との学术交流
20	RENNER, Zsuzsanna	ホップ・フェレ ンツ東洋美術館 館長	ハンガリー	05.02.15～ 05.03.01	ホップ・フェレンツ美術館にて2005年春に開催を 予定している「漆器コレクション展」開催のため の漆器関係情報収集およびハンガリーにおける日 本美術展覧会開催企画立案のための美術関係者 との面談
21	SEMERDJIEV, Stanislav	国立演劇・映画 芸術アカデミー 学長	ブルガリア	04.07.18～ 04.08.01	両国間の協力関係を堅固なものとするとともに更 に発展させた
22	ZVYAGINTSEV, Andrey	映画監督	ロシア	05.01.06～ 05.01.15	映画交流の促進。日本をテーマとした映画作品の 制作のための情報収集

## 文化事業費

	氏名	現職	国	期間	事業内容
23	ALREFAIE, Hashem A.A.M.Y.	国家文化芸術文 芸委員会造形美 術局局長	クウェート	05.02.16～ 05.03.02	我が国の現代および伝統芸術関連施設視察、我が 国の芸術関係者・芸術関連機関との意見交換
24	AL-REFAIE, Hashem Ahmed	国家文化芸術文 芸委員会芸術局 長	クウェート	05.02.16～ 05.03.02	我が国の現代および伝統芸術関連施設視察・我が 国の幻術関係者芸術関連機関との意見交換
25	EL- SHOUBASHY, Cherif	エジプト文化省 第一次官（対外 文化関係担当）	エジプト	04.09.18～ 04.09.29	日本の文化行政視察、日本文化・芸術視察
26	LOYISO, Nongxa	ヴィットバー タースラント大 学学長	南アフリカ	04.10.23～ 04.11.07	日本教育・研究事情の視察、および教育・研究者 との意見交換

### 1. 人物交流事業費 (2) グループ招へい（指導者・専門家）

日本文化の特定分野に共通の関心を有する指導者・専門家をグループで招へいし、研修・視察・関係者との意見交換の機会を提供する。

合計額 19,059,870円

	グループ名	国	人数	期間	事業内容
1	東南アジア映画 人グループ	インドネシア シンガポール タイ フィリピン マレーシア	2 2 2 2 2	04.10.17～ 04.10.29	東南アジア5カ国（インドネシア、シンガポール、タイ、フィ リピン、マレーシア）より映画祭関係者および映画関係ジャー ナリスト計10名を招へい
2	日本研究情報専 門家研修	韓国 中国 タイ ベトナム オーストラリ ア カナダ 米国 ブラジル イタリア 英国 ドイツ フランス ロシア	1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 4 1	04.11.28～ 04.12.18	世界各地における日本研究者等への情報提供サービス、日本 に対する国際的理解向上に寄与する為、国立国会図書館との 共催、国立情報学研究所および国際文化会館の協力により、 海外の日本研究情報を扱う専門家（司書等）を本邦に招へい し、研修を実施
3	ロシアテレビ番 組制作者グルー プ	ロシア	5	05.03.24～ 05.04.04	日本を紹介するテレビ番組を制作するため、ロシアのテレビ 番組プロダクションから制作スタッフを招へい

## 1. 人物交流事業費 (3)招へいフェローシップ (文化芸術)

諸外国の優れた芸術家・文化事業実務専門家・文化財保存専門家などに、日本で制作・技術習得等の活動を行なう機会を提供する。

合計額 16,211,079円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	HUJATNIKA, Agung	スラサール・スナルヨ・アート・スペースキュレーター	インドネシア	04.06.06～ 04.09.03	ナンジョウアンドアソシエイツ	日本の現代美術
2	HUSAIN, Sabah	ラホール芸術信託財団・国立芸術大学理事長・準教授	パキスタン	04.06.11～ 04.12.10	東京芸術大学美術学部	創作版画および和紙の製作
3	MCCORKLE, Corey, J	フリーランス	米国	04.05.07～ 04.08.01	深瀬記念視覚芸術保存基金	立体作品の来日制作および個展「For Greater Velocity Towards Grace」(速やかに見性に導く)の開催
4	OPPENHEIMER, Sarah Ruth	イエール大学芸術学部非常勤講師	米国	04.01.04～ 04.05.16	京都精華大学	紙と建築等の関係を通じたデザインが人間の行動に及ぼす影響
5	OFFENHUBER, Dietmar	アレス・エレクトロニカ・フューチャーラボ主任研究員	オーストリア	04.09.16～ 04.11.10	情報科学芸術大学院大学	ループ・シティ(環状都市):繰り返される動作・行動に材をとった都市の相互作用的な描写
6	CREVOISIER, Alain	エンジニア	スイス	04.03.29～ 04.08.28	西陣ファクトリーガーデン	Soun'dance - 舞踏と音響の基礎的な相互関係について
7	DOBOROVIC, Zvonimir	クイアー・ザグレブ芸術監督	クロアチア	04.12.16～ 05.05.15	京都舞台芸術研究センター	現代日本芸術における性に関する価値観のディコンストラクションとクイアー・アート
8	KRASZNAHORKAI, Laszlo	仏門仏教大学理事長、作家	ハンガリー	05.03.15～ 05.09.15	大阪大学	現代日本美学に反映された日本庭園の形而上的価値
9	MWENI, Ashina Kibibi	フリーランサー	ケニア	04.05.06～ 04.07.05	熊本大学文学部地域学科	日本とケニアの国際交流をテーマとした映像作品の制作をめざした取材と研究

## 文化事業費

1. 人物交流事業費	(4)招へいフェローシップ (アーティスト・イン・レジデンス)
------------	---------------------------------

諸外国の芸術家を対象に、日本国内のアーティスト・イン・レジデンスに参加する機会を提供する。

合計額 1,455,875円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	HORELL, Laura	アーティスト	フィンランド	04.10.06～ 04.12.18	秋吉台国際芸術村	ブロードキャスト！プロジェクト

1. 人物交流事業費	(5)派遣フェローシップ (芸術家)
------------	--------------------

芸術分野における国際的なネットワーク構築・交流促進などのため、海外で活動を行なう芸術家に対しフェローシップを支給する。

合計額 5,716,670円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	豊永盛人	琉球玩具作家	インドネシア	04.09.15～ 04.10.15	BENDA. ART. SPACE	インドネシアでの個展の開催を中心に、在住アーティストや職人との交流会を行ない、意見交換をした。また、個展開催の前後には、日本の玩具作り(張子)の体験講座を開き、芸術家のみならず一般人にも紹介
2	和栗由紀夫	和栗由紀夫+好善社主宰	インドネシア ブラジル	04.09.01～ 04.11.30	Padepokan Lemah Putih Dance Institute Catholic University of Sao Paulo	インドネシアのソロ、ブラジルのサンパウロ、2カ所にて舞踏活動を行なった。ソロでは舞踊研究所にて舞踏授業という形での指導ならびに、現地芸術家との共同作業にて作品を作成。サンパウロでは大学内での舞踏授業、作品制作を行なうと平行して一般、舞踊家を対象とした舞踏指導を行ない、次世代の人物養成に寄与した
3	土岐健次	漆造形作家	英国	04.09.01～ 04.10.01	The Robert Gordon University School of Art	デジタル技術と工芸の高度な統合を目指すHybrid Practiceと呼ばれる領域を研究する美術作家として、国際会議の機会に、各国からの招へい者16名とデジタル技術を用いた共同制作を行なうとともに申請者自身の作品発表も行なった

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
4	服部俊弘	造形作家	オランダ	04.07.05～ 05.07.05	Studio Puck Bramlage	欧米で重要な美術分野のひとつであるペーパーアートやアーティストブックに関する調査。紙漉き紙製法や手製本等の伝統技法と現代の美術・社会との関係性を調査・研究し、その成果をもとに新しい作品を制作
5	山岡佐紀子	芸術家（パフォーマンスアート）	スイス ドイツ	04.09.08～ 04.12.13	E.P.I (European Performance Institute) Zentrum Seedamm- Kulturzentrum	1980年以降のヨーロッパにおける日本芸術家によるパフォーマンスアートを、再記録、再評価し、日本芸術の一分野として特徴づけることにより、日本のパフォーマンスアートの研究と発展、教育に寄与。また、申請者のパフォーマンス活動をプレゼンテーションした

2. 催し等事業費	(1) 日本文化紹介派遣
-----------	--------------

講演、指導・デモンストレーション、小規模公演などを通じ日本文化の紹介を行なうため、わが国の個人または少人数のグループ（10名以内）を数か国あるいは1国内数都市に派遣する。

合計額 26,069,827円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	山村浩二	アニメーション作家	韓国	04.8.27～ 04.8.30	ソウル日本文化センター	日本のアートアニメーションについての講演、全作品上映会、ワークショップを実施
2	深川雅史 大縄茂	川崎市市民ミュージアム主任学芸員 デザイナー	韓国	05.03.09～ 05.03.13	ソウル日本文化センター	現代日本のデザインに関する講演・シンポジウムを実施（「現代日本のデザイン100選」展関連企画）
3	奥泉光	作家	インドネシア タイ	05.03.26～ 05.04.02	ジャカルタ日本文化センター バンコク日本文化センター	日本現代文学に関する講演を実施
4	杉原芳彦 佐々木康人	池坊華道教授	ベトナム ミャンマー	04.11.01～ 04.11.15	在ホーチミン総領事館 在ミャンマー大使館	生け花のレクチャー・デモンストレーションを行なった
5	小林恭二	作家	マレーシア	05.03.26～ 05.04.02	クアラルンプール日本文化センター	日本の現代文学の紹介、俳句ワークショップを実施



文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
6	藤原帰一	東京大学教授	インド ブータン	05.02.15～ 05.02.23	ニューデリー事 務所	「日本の政治情勢と世界」を テーマに、思想家、作家、政治 学者等による講演会を実施
7	中村亨	財団法人日本盆 裁協会	パキスタン バングラデ シュ	05.02.22～ 05.03.03	在パキスタン大 使館 在バングラディ シュ大使館	盆裁のレクチャー・デモンストレー ションを実施
8	柏木博	武蔵野美術大学 教授・デザイン 評論家	カナダ ブラジル	05.03.13～ 05.03.26	トロント日本文 化センター サンパウロ日本 文化センター	グラフィックデザインに関する 講演会実施
9	津留見裕子 車谷円実	日本折紙協会会 員折紙師範 日本折紙協会事 務局員	米国 メキシコ コスタリカ	05.02.03～ 05.02.19	在シカゴ領事館 メキシコ事務所 在コスタリカ大 使館	折り紙の専門家による講演・実 演および指導の実施
10	原喜代子 小見山峰子	財団法人小原流 華道教授	アラブ首長国 連邦 エジプト サウジアラビ ア	05.03.02～ 05.03.19	カイロ事務所 在アラブ首長国 連邦大使館 在サウジアラビ ア大使館 在ジェッダ総領 事館	生け花のレクチャー、デモンストレー ション、ワークショップの実施
11	大坪光泉 大坪藤枝	いけばな龍生派 教授	シリア ヨルダン レバノン	04.11.23～ 04.12.12	在シリア大使館 在ヨルダン大使 館 在レバノン大使 館	生け花のレクチャー・デモンストレー ション、ワークショップの実施

2. 催し等事業費 (2) 日本文化紹介 (助成)

日本に対する認知・理解促進や相互交流などに寄与するため、海外で実施される日本文化に係る事業に対し助成を行なう。  
合計額 29,489,026円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	中川茂昭	シゲ・ナカガワ 切絵工房	韓国	04.07.30～ 04.08.09	在韓国大使館	日韓両国の小中高校生に切り絵 の制作指導を行なった。また、 韓国の図工・美術教師への講習 会を実施し、韓国における切り 絵の普及に取り組んだ

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
2	藤浩志	藤浩志企画制作 室代表	タイ	04.07.31～ 04.08.17	バンコク日本文 化センター	タイ現代芸術委員会が主催する「Fly With Me To Another World」の一環として、家庭から排出されるビニール、プラスチック素材を使用したアート活動のデモンストレーションとワークショップである「プラプラモード」を実施
3	松本實	有限会社ウエスト 企画専務	フィリピン	04.06.20～ 04.06.27	シナーグ・アーツ・ファン デーション	日本の伝統文化である「着物」を紹介。講演会「歌舞伎の役柄と色彩について」、デモンストレーション「着物の美しさと楽しさ」、講座「着物の着付け方」、ワークショップ「着物の色彩・模様」を実施
4	佐藤弘	白根凧合戦協会 会長	ブルネイ	04.04.16～ 04.04.21	在ブルネイ大使 館	日本ブルネイ国交樹立20周年に際し、白根市の凧揚げを上演し、凧作り教室を開催
5	橋口譲二	有限会社ミト ローバ代表取締役	インド	04.07.01～ 04.08.02	ドクター・アン ベデガー・メモ リアル・スクール 他	芸術や文化を享受する機会の少ないインドの少年少女を対象に、写真と絵のワークショップを実施し、一般向け展覧会を開催、最終的には写真集・画集制作も行った
6	向笠友子	洋画家、ギャラ リー大蔵主宰	インド	04.09.16～ 04.10.08	カタラヤ基金等	絵画、陶芸、染織を通じて、インドの貧困家庭の子供達、地方の職人との文化交流、技術交流を実施
7	帯谷宗英	陶芸家	インド	04.11.16～ 04.11.25	在インド大使館 等	11月にニューデリーで開催される日本文化月間、コルカタで開催される日本現代展に参加し、おびや陶芸に関する講演およびワークショップを実施し、それらの作陶の特徴である「特殊手ひねり手法の陶芸」を通じ日本の陶芸文化を紹介
8	宮崎久美子	いけばな師範	インド	04.11.21～ 04.12.01	イケバナ・イン ターナショナル 他	11月24・25日にインド・デリーで開催される「日本文化月間」において、小原流いけばな教師2名によるデモンストレーションとワークショップを実施するとともに、ムンバイにも巡回し印日協会50周年記念事業の一環としてデモンストレーションとワークショップを実施

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
9	斉藤博敏	盆栽家	インド	05.03.29～ 05.04.05	在インド大使館、デリー盆栽協会	2005年4月1日～4日ニューデリーにおいて、デリー盆栽協会設立25周年記念盆栽展、デモンストレーション、ワークショップがデリー市の全面的な支援を得て、モーリヤシェラトンで開催
10	近藤蕉肝	成蹊大学経済学部教授	カナダ	04.05.18～ 04.05.29	カナダ俳句協会	在カナダ大使館にて「俳句と連句の根と芽」と題する講演、および全国大会にて俳句の朗読を日英両言語で実施
11	小本章	小本章	カナダ	04.09.04～ 04.09.23	ジョージアンカレッジ美術研究室	300mの布を南から北へ人々が支え、その線に沿い上空に白煙を描く参加型パフォーマンスと、大学にて日本の現代美術に関するレクチャーを実施
12	竹田真砂子	日本文芸家協会	カナダ	04.09.24～ 04.10.03	日系文化会館	作家による歌舞伎レクチャーと歌舞伎映画「仮名手本忠臣蔵」上映を実施
13	鈴木光司	作家	カナダ	04.10.23～ 04.10.30	トロント国際作家祭事務局	カナダ・トロント「ハーバーフロントセンター」を会場とし、80名以上の世界の著名な現役作家を招待して開催された、世界最大規模の作家祭
14	横山學	ノートルダム清心女子大学人間生活学部教授	米国	04.08.20～ 04.09.21	ハワイ大学図書館	サカマキホーレーコレクションにある宝玲文庫および薩摩琉球関係資料についての史科学・書誌学的な解説を行ない史料の分類整理の概要と目録化の指導を実施
15	黒田隆二	国際宇宙大学(在フランス)名誉理事	米国	04.09.15～ 04.09.26	在シカゴ総領事館	米国の中高生と一般ならびに専門家を対象に墨流しならびに水紋画の展示デモンストレーションを実施
16	下村勝彦	静岡相撲連盟理事長	米国	05.03.12～ 05.03.21	カリフォルニア相撲連盟他	日本から有段者の相撲指導員およびアマチュア力士を派遣し、カリフォルニア相撲連盟などの協力により、ロスアンゼルス、サンタモニカ、サンディエゴ、シアトル、アンカレッジの5都市でレクチャーとデモンストレーションを実施

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
17	長崎巖	共立女子大学家政学部教授	米国	05.03.17～ 05.04.08	メトロポリタン美術館	メトロポリタン美術館所蔵の奈良から明治時代にわたる約200点の日本染織品の調査と取りまとめと分析修復保存に関する指導を実施
18	蔵重伸		エルサルバドル グアテマラ	05.03.01～ 05.03.12	在エルサルバドル大使館等	日本・エルサルバドル国交樹立70周年および日本・グアテマラ外交関係樹立70周年記念事業の一環として、生け花のデモンストレーションおよび展示会を実施した
19	長友秀実	国際囲碁親善交流の会会長	キューバ	04.11.18～ 04.11.28	INDERおよびキューバ囲碁協会	日本キューバ外交関係樹立75周年記念事業の一つとして、「キューバにおける囲碁週間」が開催され、キューバの数都市（ハバナ、サンチャゴ・デ・クーバ、サンタクララ、カマグエイ等）で囲碁のレクチャー、指導および親善交流試合を行なった
20	加藤耕子	俳人協会評議員	コロンビア	04.06.13～ 04.06.23	ブラジル日本文化協会	世界50カ国よりの参加者により構成される詩祭にて日本代表として俳句を発表しレクチャーも実施
21	永武ひかる	ワンダーアイズプロジェクト代表	ブラジル	04.09.27～ 04.12.04	サンパウロ、ポンペイア地区商業社会会館他	ワンダーアイズプロジェクトで日本の子供たちが撮影した作品を紹介し、日本の今を伝える講演を主軸に、ワークショップと写真展示をあわせた複合的な活動を実施
22	渡辺保	放送大学教授	イタリア	04.09.24～ 04.10.09	ペルージャ大学、ローマ日本文化会館	日本における「舞踊」に関するレクチャーを実施
23	いしかわあいこ	音楽館 Casa della Musica 主宰	イタリア クロアチア	04.11.10～ 04.12.05	Alberto Benetti協会	着物および十二単に関する講演、着装実演を実施
24	尾立和則	京都造形芸術大学助教授	英国	04.07.23～ 04.08.13	ノーザンブリア大学	版画・素描など「紙」を用いた作品の修復専門家を対象として、日本の表装技術に関するワークショップを実施
25	多田牧子	日本女子大学化成学部被服科非常勤講師	英国	04.08.12～ 04.08.27	The Braids Society	The Braids Society設立10周年に際して1年間実施される記念展示会および講習会において、講習会の指導・ワークショップを行なった

## 文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
26	渡辺隆	土岐市立陶磁器試験場専門研究員	英国	04.08.28～ 04.09.11	グラスゴー大学	桃山茶陶に関するレクチャーと、茶陶の制作実演および陶芸技法の紹介を内容とするワークショップを実施
27	藪田穰	株式会社藪田造園設計事務所代表取締役	スペイン ポルトガル	05.03.07～ 05.03.18	カタルーニャ建築家協会他	日本国内の名園および派遣者設計の日本庭園（外国のものも含む）のスライドを上映しながら、日本庭園の歴史や他の国の庭園との違いを説明し、日本の伝統文化の背景に触れた
28	安倍吉輝	財団法人日本棋院専門棋士九段	ドイツ ブルガリア	04.04.23～ 04.05.04	ドイツ囲碁協会 ブルガリア囲碁クラブ他	ブルガリア、ドイツにおける囲碁文化普及の促進
29	山田勇男	映画作家	ドイツ	04.04.26～ 04.05.012	オーバーハウゼン国際短篇映画祭事務局	「第50回オーバーハウゼン国際短編映画祭」において自身の作品が上映されるのに合わせてレクチャーを実施
30	佐藤秀司	日本将棋連盟専門棋士六段	ドイツ フランス	04.05.05～ 04.05.16	日本将棋連盟ドイツ支部・フランス支部	財団法人日本将棋連盟に所属する専門棋士による将棋レクチャーおよび指導を実施
31	渋谷和良	明星大学日本文化学部造形芸術学科助教授	ドイツ	04.06.01～ 04.06.06	ケルン日本文化センター	ドイツ「恵光」日本文化センター、ケルン日本文化会館において伝統木版画の実演およびレクチャーを実施
32	前野茂雄	日本頭脳スポーツ協会理事長	ドイツ	04.10.16～ 04.10.26	SPIEL2004	ドイツ・エッセンで行われる国際ゲームイベント（SPIELスピーエル）の特設イベントとして、百人一首、花札、ミニヤード、そろばん球ゲーム等日本で生れた文化的ゲーム16競技の紹介等を行なった
33	深川雅文	美術館学芸員	ドイツ	04.10.27～ 04.11.03	ドイツ写真協会	世界的に有名な写真家・森山大道氏がドイツ写真協会の2004年度文化賞を受賞する事が決まり、10月末のArt Cologne芸術見本市に合わせて授賞式が実施されることになり、授賞式での講演

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
34	藤原智子	記録映画監督	ドイツ	05.03.09～ 05.03.16	ケルン日本文化 会館他	ケルン日本文化会館、デュッセルドルフ「恵光」日本文化センターおよびベルリン森鷗外記念館のドイツ3カ所における「ルイズその旅立ち」の公開に際し、監督講演を行なった。ケルン文化会館においては、短編作品が数本上映。実施機関の依頼により、「ルイズ」の作品、歴史的背景や製作の動機・過程についての解説に加え、自身の映画監督としての行き方に関する内容を講演
35	ヒロコ・ムトー	エッセイスト	フランス	05.01.09～ 05.01.18	パリ日本文化会 館	申請者の母親マサコ・ムトーが、記憶をもとに大正から昭和時代の日本の四季や習俗を小さな紙人形で再現した作品の展示、講演を行なった
36	太田曜	実験映画作家	フランス	05.02.24～ 05.03.25	LIGHT CONE Scratch Projection	日本でこの2年間ぐらいの間に制作された優れた実験映画の短編作品を2つのプログラムにして、フランスを中心とするヨーロッパ各地で上映。上映に同行する作家が、美術館、アートセンター、映画館、大学等の上映会場でレクチャーを行ない、現地実験映画関係者等と交流
37	奥村恵美子	奥村恵美子	ベルギー フランス	04.10.10～ 04.10.18	在ベルギー大使 館 パリ日本文化会 館	4作品「六甲の山荘 在Be」「たじま住暮し:然」「縁」「継つなぐ心と技」の上映と「ドキュメンタリー表現の新しい可能性」と題する講演を行なった。今の日本人が持っている精神文化を今の風景と今を生きている人々の語りによって、表現した映像作品によって、日本文化の紹介
38	笠井伸二	有限会社山十製 紙代表取締役	ブルガリア	04.10.20～ 04.10.30	ブルガリア美術 協会他	在ブルガリア大使館主催の「日本文化月間」の一プログラムとして現地の植物を使用した和紙の製作の実施

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
39	佐竹邦子	多摩美術大学美術学部版画科非常勤講師	ポーランド	04.09.28～ 04.10.18	ポーランド日本協会他	ポーランド・ボズナニMuzeum Literackie Henryka Sienkiewiczaにおいて「木を使ったリトグラフ」展を実施し、合わせて実制作者によるギャラリートークおよび現地の作家・子供たちを対象とした技法解説・ワークショップを行なった。ワルシャワでは在ポーランド日本大使館広報文化センターのオープン企画に伴う展示・ワークショップを実施
40	田島栄次	NGO折り紙外交の会代表	イラン	04.07.15～ 04.07.29	KANOON (The Institute for the Intellectual Development of Children and Young Adults)	イラン(特にバム地区)における地震被災児童および教師との折り紙交流・指導
41	小堀宗園	小堀遠州流茶道家元	ヨルダン	04.05.07～ 04.05.15	在ヨルダン大使館	ヨルダンにおける茶道デモンストレーションの実施、および現地芸術家との懇談
42	柳田青蘭	学書院院長	ヨルダン	04.11.20～ 04.11.27	在ヨルダン大使館	日・ヨルダン外交関係樹立50周年記念事業の一環として書道のデモンストレーションおよびワークショップの実施
43	草川悦子	イベントコーディネーター	ヨルダン	05.02.06～ 05.02.13	在ヨルダン大使館	日本・ヨルダン外交関係樹立50周年記念事業の一環で着物を紹介する プロジェクターを用いた講演、着付けデモンストレーション、着物に関する小物展示、現地衣裳見学
44	粕谷明弘	一葉式いけ花家元	スーダン	05.02.15～ 05.02.25	在スーダン大使館	一般市民に対する生け花デモンストレーション・ワークショップおよび、現地大統領儀典局の装飾要員の訓練を行なった

## 2. 催し等事業費 (3) 在外日本文化専門家 (助成)

非ODA対象国に居住する優れた日本人の学者・芸術家などがODA対象国にて実施する日本文化紹介事業に対し助成を行なう。

合計額 183,820円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	BREILLAT 鈴木みどり	池坊華道師範	ギニア	05.02.06～ 05.02.13	在ギニア大使館	ギニア共和国コナクリ市において、生け花のレクチャー・デモンストレーションを行なう。いくつかの生け花の作品を展示しつつ、生け花の考え方や歴史等について説明し、あわせて具体的な解説を行ないながら実際に生け花を実演

## 2. 催し等事業費 (4) スポーツ専門家短期派遣

スポーツ分野における人物交流の振興を図るため、スポーツ専門家 (上限10名) を数カ国に派遣し指導・デモンストレーション、親善試合などを行なう。

合計額 33,949,395円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	山口紘史 大出敏夫 前田利明 香川政夫	全日本空手道剛柔会 株式会社日本エム・ケー・デイ NPO法人日本空手松涛会	エルサルバドル ジャマイカ ウルグアイ	05.02.10～ 05.02.27	在ウルグアイ大使館 在ジャマイカ大使館 在エルサルバドル大使館	空手のデモンストレーションを行なった
2	伊藤洋造 柳田俊介 長友憲一郎 村松真孝 小松幸司	株式会社新潟録音社 俊和実業株式会社 村岡郵便局 社会福祉法人富士富福社会 小樽市役所	アラブ首長国連邦 カタール	05.02.17～ 05.02.25	在アラブ首長国連邦大使館 在カタール大使館	空手のデモンストレーションおよび実技指導の実施
3	阿部圭吾 澁谷孝 粕谷均 横道正明	日本松涛館空手協会 日本ウェルネス専門学校 ワールド松涛館空手道連盟 国土館大学	ヨルダン ケニア	04.11.30～ 04.12.11	在ヨルダン大使館 在ケニア大使館	空手デモンストレーション



## 文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
4	村田直樹 栳澤博之 窪田茂 坂本直人  甲斐清友	財団法人講道館 群馬県警察学校 旭化成株式会社 ダイコロ株式会社 宮崎県警察	レバノン リビア カメルーン	04.11.02～ 04.11.30	在レバノン大使館 在リビア大使館 在カメルーン大使館	柔道のデモンストレーションを実施

### 2. 催し等事業費 (5) スポーツ専門家交流 (助成)

スポーツ分野における交流を促進するため、主としてODA対象国で実施される日本の伝統スポーツあるいは日本が高い水準にあるスポーツの講習会やデモンストレーションなどの事業に対し助成を行なう。

合計額 9,570,028円

	事業名	団体	人数	国	期間	事業内容
1	テニス	社団法人プロテニス協会	1	ミャンマー	05.03.15～ 05.04.14	ミャンマーにテニス指導の専門家を派遣し、選手育成強化・指導者の指導力向上・環境整備・国内大会実施のアドバイス・審判員のレベル向上等を目的とした指導を行なった
2	少林寺	財団法人少林寺拳法連盟	3	キューバ チリ ブラジル	04.06.14～ 04.07.08	ブラジル、チリ、キューバにおいて少林寺拳法のデモンストレーションを実施
3	剣道	財団法人全日本剣道連盟	3	アルゼンチン チリ ブラジル	04.07.14～ 04.07.27	ブラジルの有段者大会において指導講習会、審査会の実施。また、三カ国共通として稽古指導、昇段審査、演舞会の実施
4	レスリング	財団法人日本レスリング協会	1	ギリシャ ハンガリー	04.06.04～ 04.09.01	アフガニスタン復興支援の一環として、アフガニスタンオリンピック委員会からの要請に基づき、アテネへレスリング専門家を派遣し、アフガニスタンオリンピック代表選手に対する技術指導および国際ルール等の指導
5	剣道	財団法人全日本剣道連盟	7	フランス	05.03.10～ 05.03.15	フランスの武道連盟が主催する剣道と関連武道国際演武大会に専門家を派遣する。初日は欧州各地の剣道家が日本から別途参加する学生を交えて段位別の立会い演武を行なった。次いで日本の武道専門家が演武を行なう。二日目は剣道と他武道の交流立会いを行なった。最後に欧州各国からの参加者を交えて親善稽古を行なった

	事業名	団体	人数	国	期間	事業内容
6	武道	財団法人日本武道館	5	ポルトガル	04.11.24～ 04.11.30	ポルトガル・リスボン市主催による「ジャパンウィーク」に同市より正式招へいを受けて、日本武道の紹介および文化交流を行った
7	新体操	社団法人日本新体操連盟	3	エジプト	05.02.19～ 05.02.26	エジプトと日本のスポーツを通じ交流を実施するにあたり、新体操というスポーツをエジプトに普及発展させるために、エジプト・ヘラワン大学にて新体操の実技講習会を開催

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 市民青少年交流事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) グループ招へい（中学高校教員）
- (2) 市民青少年指導者招へい
- (3) アジア青年文化奨学金（中等教育プログラム）
- (4) 開高健記念アジア作家招へい
- (5) 文化交流企画運営補助ボランティア

### 2. 催し等事業費

- (1) 市民青少年交流
- (2) 日欧市民交流（助成）
- (3) アジア市民交流（助成）
- (4) 中東市民青少年交流（助成）
- (5) 中東理解ワークショップ等
- (6) アジア理解ワークショップ等

1. 人物交流事業費 (1) グループ招へい (中学高校教員)

諸外国の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わっている者をグループで招へいし、研修・視察の機会を提供する。

合計額 155,404,949円

グループ名	国	人数	期間	事業内容
1 中高教員グループ (第1)	モンゴル	2	04.06.16～ 04.06.30	諸外国の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、 中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わ る行政官をグループで招へいし、研修・視察の機会を提供
	インドネシア	6		
	シンガポール	2		
	フィリピン	6		
	ブルネイ	1		
	マレーシア	6		
	パキスタン	2		
	バングラデ シュ	2		
	パプアニュー ギニア	1		
	フィジー	1		
	カナダ	3		
	スロバキア	1		
	セルビア・モ ンテネグロ	2		
	チェコ	2		
	ハンガリー	2		
	ポーランド	2		
	マケドニア	1		
	アフガニスタ ン	1		
	アラブ首長国 連邦	1		
	イエメン	1		
	イラン	1		
	オマーン	1		
	サウジアラビ ア	1		
	カタール	1		
	クウェート	1		
	パレスチナ	1		
	ヨルダン	1		
	レバノン	1		
	トルコ	1		
	バーレーン	1		
	エジプト	1		
	スーダン	1		
	エチオピア	1		
カメルーン	1			
ジブチ	1			
ニジェール	1			

市民青少年交流事業費

	グループ名	国	人数	期間	事業内容
2	中高教員グループ（第2）	カンボジア ベトナム ミャンマー ラオス エルサルバドル ドミニカ共和国 メキシコ コロンビア チリ ブラジル ベネズエラ ペルー オーストリア オランダ スウェーデン スペイン デンマーク フィンランド ベルギー アルメニア ウクライナ ウズベキスタン カザフスタン キルギス グルジア トルクメニスタン モルドバ ロシア	2 1 2 2 2 2 3 2 2 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 6	04.09.08～ 04.09.22	諸外国の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる行政官をグループで招へいし、研修・視察の機会を提供
3	中高教員グループ（韓国）	韓国	25	04.09.22～ 04.10.06	日韓の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる行政官をグループで招へいし、研修・視察の機会を提供。韓国国際交流財団との相互交流プログラムの一環
4	中高教員グループ（イラク・ムサンナー県）	イラク	14	04.10.13～ 04.10.21	中等レベルでの日本理解を促進するため、イラク・ムサンナー県の中学・高校の社会科教員および中等レベルの教育行政に携わる行政官をグループで招へいし、研修・視察の機会を提供

	グループ名	国	人数	期間	事業内容
5	中高教員グループ (第3)	タイ 東ティモール インド スリランカ ネパール ブータン オーストラリア ニュージーランド イタリア 英国 ドイツ フランス エストニア タジキスタン ブルガリア ラトビア リトアニア ルーマニア リビア ケニア 南アフリカ	6 1 4 2 2 1 5 2 5 6 6 6 2 1 1 2 2 2 1 1 1	04.11.10～ 04.11.24	諸外国の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる行政官をグループで招へいし、研修・視察の機会を提供

1. 人物交流事業費 (2)市民青少年指導者招へい

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年の文化交流活動に携わる指導者などを個人またはグループで招へいし、研修・視察・意見交換の機会を提供する。

合計額 30,729,489円

	グループ名	国	人数	期間	事業内容
1	韓国NGO関係者等グループ	韓国	10	05.02.16～ 05.02.25	韓国で活動するNGO等の指導者を招へいし、日本側の関係団体の視察と指導者間の意見交換を実施
2	インド・ブータンまちづくり専門家グループ	インド ブータン	6 2	04.11.30～ 04.12.14	インド・ブータンにおいて市民参加型のまちづくりや文化の創造的継承に取り組む専門家をグループで招へいし、街並保存や住民参加型の取り組み等文化によるまちづくりの視察と意見交換を実施
3	EUまちづくり専門家グループ	英国 スペイン フィンランド ハンガリー	1 2 1 1	05.03.19～ 05.03.31	EU各国において市民参加型のまちづくりやコミュニティー活性化に取り組む専門家を招へいし、日本側の関係の団体の視察と指導者間の意見交換を実施
4	極東ロシア美術教育関係者グループ	ロシア	9	04.07.29～ 04.08.13	サハリン・ロシア極東地域において市民青少年を対象とした美術教育に取り組む専門家を招へいし、サハリン・ロシア極東地域と日本との市民青少年指導者交流を促進

## 市民青少年交流事業費

### 1. 人物交流事業費 (3) アジア青年文化奨学金 (中等教育プログラム)

日本とアジア諸国の高校生の相互理解と友好親善を促進するため、アジア諸国の高校生を1年間わが国に招へいすると共に、日本の高校生をアジア諸国に1年間派遣する。

合計額 37,435,440円

	事業名	国	人数	期間	事業内容
1	中等教育招へいプログラム	韓国 インドネシア タイ フィリピン マレーシア	4 4 4 3 4	04.04.01～ 05.03.31	タイ、インドネシア、マレーシア、韓国の4カ国から各国4名、フィリピンから3名、計19名の高校生を、第9期生として招へい
2	中等教育派遣プログラム	韓国 インドネシア タイ フィリピン マレーシア	2 1 2 2 3	04.04.01～ 05.03.31	タイ、フィリピンに各2名、マレーシアに3名、インドネシアに1名、計8名の日本人高校生を、第8期生として派遣、韓国に2名を、第4期生として派遣。派遣期間は1年、派遣時期は各国の新学期に合わせる

### 1. 人物交流事業費 (4) 開高健記念アジア作家招へい

アジアから作家を招へいし、日本国内で講演会などを開催する。

合計額 7,222,735円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	第14回開高健記念アジア作家招へい	韓国	福岡 大阪 東京 仙台 札幌	福岡アジア美術館あじびホール 大阪国際交流センター小ホール 国際交流基金国際会議場 仙台文化館 北海道立文学館講堂	05.2.15～ 05.3.2	福岡市文化芸術振興財団 大阪国際交流センター 大阪21世紀協会 仙台市市民文化事業団 札幌国際プラザ 北海道立文学館	作家・故開高健の遺族から寄せられた寄付金をもとに、アジア地域の作家を招へいし、講演会を実施。今回は韓国よりキム・ヨンスを招へい

## 市民青少年交流事業費

<b>1. 人物交流事業費</b>	<b>(5)文化交流企画運営補助ボランティア</b>
-------------------	----------------------------

日本との文化交流活動を主たる業務としている海外の非営利団体へ市民ボランティアを派遣し、企画運営補助業務を行なう。

合計額 1,279,750円

	氏名	国	期間	受入機関	事業内容
1	岩崎優子	ドイツ	05.03.30～ 06.03.29	ベルリン日独センター	音楽会、展覧会等や青少年交流プログラム実施に付随する補助業務

<b>2. 催し等事業費</b>	<b>(1)市民青少年交流</b>
------------------	-------------------

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年を日本から派遣または招へいし、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。

合計額 2,430,630円

	グループ名	国	都市	期間	事業内容
1	NPO関係者EU派遣	イタリア 英国 スペイン	レッジオ・エミリア ロンドン バルセロナ	05.03.09～ 05.03.18	日本とEUとの市民レベルにおける交流活発化のため、地域レベルにおける国際交流およびその活性化を積極的に推進している人物をヨーロッパ各国に派遣

<b>2. 催し等事業費</b>	<b>(2)日欧市民交流（助成）</b>
------------------	----------------------

日本と欧州（旧ソ連を含む）の市民・青少年の相互理解と友好親善を促進するため、同趣旨の文化交流事業を行なう団体に事業実施経費の一部を助成する。

合計額 16,831,894円

	グループ名	国	都市	人数	期間	事業内容
1	きょうされん	英国 スウェーデン	ロンドン	10	04.11.21～ 04.12.05	日本における障害者支援体制の今後を模索するため、ヨーロッパ各国において政府、自治体へのヒアリング、障害者支援等で活動しているNGOとの意見交換や、福祉施設等の見学等を実施
			ストックホルム	5		
			ウプサラ	5		
2	国際理解教育情報センター	英国 オランダ ドイツ フランス スロバキア チェコ	ロンドン	4	05.02.13～ 05.02.20	NGOと企業とのパートナーシップによる教育プロジェクトの分野において先進的な活動を行なっているヨーロッパ各国の団体を訪問し、活動状況や課題などに関する意見交換を実施
			アムステルダム	4		
			ケルン	4		
			パリ	4		
			ブラチスラバ	4		
			プラハ	4		



市民青少年交流事業費

	グループ名	国	都市	人数	期間	事業内容
3	CSOネット ワーク	英国	ロンドン マンチェスター	4 4	05.02.15～ 05.02.24	英国において、NGO・政府関係者等とともに「権利ベースの開発アプローチ」に関するラウンドディスカッションを開催するとともに、同国のNGO団体との情報・意見交換、マンチェスター大学が主催する「権利ベースの開発アプローチ」をテーマとした国際会議に参加
4	東京学生柔道連盟	英国	オックスフォード ケンブリッジ ロンドン	4 4 4	05.03.10～ 05.03.25	オックスフォード大学からの招へいを受け、大学間スポーツ交流の現状や今後についてのディスカッションや親善試合などを実施
5	社会福祉法人 トット基金日本 ろう者劇団	ギリシャ	アルギルポリ	7	04.09.05～ 04.09.14	パラリンピック参加や観戦のために世界各国から集まるろう者、難聴者、健聴者を対象として、日本の文化や視覚演劇を紹介する手話ワークショップを実施し交流を図るほか、手話による狂言公演を実施
6	日独地球市民交流会	ドイツ	ハノーヴァー ベルリン	3 3	04.08.17～ 04.08.26	環境問題への取組において日本より進んでいるドイツに学ぶため、環境教育モデル学校等での授業参加や意見交換、関連施設訪問、研究発表を実施
7	和楽会「昇」	ドイツ	ハーナウ ヴァイルブルク バート・オルプ ロンネブルク	3 3 3 3	04.08.20～ 04.08.31	ドイツ4都市で開催される"Japan Day"において、「日本を身近に」と題した日本を紹介するための事業（邦楽公演、ワークショップ、文化交流会）を実施
8	みかん一座	ドイツ	ヴェルツブルク	5	04.10.14～ 04.10.18	ヴェルツブルグ市誕生1300年を記念し、愛媛県にゆかりのあるシーボルトの娘イネを題材としたミュージカルの上演および地元市民との交流行事を実施
9	特定非営利活動 法人スマイルクラ ブ	ドイツ	ケルン	2	04.11.07～ 04.11.21	千葉を拠点にスポーツ関連事業を行なっているNPO法人「スマイルクラブ」のメンバーがケルンのスポーツクラブ「PESCH」や「MTVケルン1850」などを訪問し、活動状況視察や運営システム、今後の課題等についての意見交換等を実施
10	東京学芸大学音楽・芸術教育研究ゼミナール	ドイツ	ミュンヘン	4	05.02.11～ 05.02.20	日本とドイツの学生が主体となり、ミュンヘン音楽・演劇大学において音楽教育実践に関する共同ワークショップや、日本およびドイツの青少年が抱える課題に対する音楽教育学からのアプローチ等に関するラウンドテーブルを実施

	グループ名	国	都市	人数	期間	事業内容
11	特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター	フィンランド	ヘルシンキ ユヴァスキュラ セイネヨキ	2 2 2	04.09.12～ 04.09.19	アントレプレナーシップ育成教育を国家的に推進しているフィンランドにおいて、行政機関・団体との意見交換や、学校現場での教育手法見学、教員とのセミナー共同参加、ワークショップ等を実施
12	NGOオアシス・ガーナ友の会	アゼルバイジャン セルビア・モンテネグロ チェコ  ブルガリア  ルーマニア	バクー スムガイト ベオグラード ノヴィ・サド プラハ ブルノ フラウコブ ソフィア トライフナ ガプロボ ドレン ブカレスト シスナディエ	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	04.05.12～ 04.06.13	東欧各国において、SOSこども村の子ども達や孤児日本の古典手品、西洋マジック、折紙教室などを実施
13	特定非営利活動法人ノマドインターナショナル	グルジア	トビリシ	4	05.02.05～ 05.02.13	トビリシ市内にある教育、擁護施設（児童図書館、チャイルドサポートセンター、大学等）において、児童教育を始めとする教育一般に関する意見交換や、スタッフ、児童との交流を実施
14	ウインドアンサンブル荷揚	チェコ	プラハ ベネショフ	5 5	04.08.28～ 04.09.05	大分県の子ども達で構成されるプラスバンドがプラハを訪問し、地元の市民や子ども達を対象とする演奏会、小学校を訪問してお互いの国の歴史・文化を紹介する交流行事を実施
15	日本スロバキア協会	スロバキア ポーランド	プレショフ バルデヨフ ノビソンチ	4 4 4	05.03.05～ 05.03.14	スロバキアおよびポーランドにおいて、日本の蕎麦料理法に関するプレゼンテーション・実演や、スロバキア、ポーランド両国における蕎麦料理法の実習、蕎麦を用いた村おこしに関する講演・意見交換等を実施
16	特定非営利活動法人地域国際活動研究センター	ハンガリー	ノビソンチ	4 4	04.07.02～ 04.07.12	町づくりの参考とするため、ウエストハンガリー大学の研究者や学生と「文化財保存の視点と町づくり」、「観光化と町づくり」といったテーマでの対話を実施
17	日欧ライフネットワーク協会	ハンガリー	ブダペスト	3	04.11.20～ 04.11.28	子ども達による歌・ダンス公演をハンガリー国立盲学校ホールや劇場等で行なう他、日本の昔話の朗読会、折紙教室、パラリンピック選手との交流会（公演、ダンス指導等）を実施

## 市民青少年交流事業費

### 2. 催し等事業費 (3) アジア市民交流 (助成)

日本とアジア諸国との市民・青少年の相互理解と友好親善を促進するため、同趣旨の文化交流事業を行なう団体に事業実施経費の一部を助成する。

合計額 21,969,928円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	学生のための国際ビジネスコンテスト OVAL2005	OVAL実行委員会	韓国 中国	04.04.01～ 05.03.31	日本・中国・韓国から参加する学生30名が、3人のチームを作り、ケースメソッドに沿ってビジネスプランを作成し、その優劣を競った
2	東北アジアの平和の確立と南北・日朝関係の克服をめざす日韓交流共同プロジェクト	在日コリアン青年連合	韓国	04.07.01～ 05.03.31	日本と韓国で、朝鮮半島の平和を軸とする、東北アジアの平和のための活動を行なってきた両団体が交流と協力を深め、朝鮮半島の平和、東北アジアの平和、日朝関係の克服を主題とする各種取り組みを行なった
3	国際文化青少年会議	財団法人北九州国際交流協会	韓国	04.08.01～ 04.08.06	姉妹都市である韓国仁川広域市、米国ノーフォーク市の青少年と、北九州市の子供たちとが、「地球、こども、未来」というテーマで話し合う、姉妹都市交流および異文化相互理解促進事業を実施
4	日韓青年人権ワークキャンプ	国際交流青年実行委員会	韓国	04.08.01～ 05.02.28	人権をテーマにしたワークキャンプ 夏に韓国から日本語教育科学生、社会学科学生を招き、ホームステイ受け入れを行ない、ボランティア体験や現地学習プログラムを提供 冬に韓国を訪問し、人権ワークショップを通じて日韓両国の人権問題や日韓関係について議論
5	第20回韓国大学生訪日団受入、第17回日本大学生訪韓団派遣	社団法人日韓経済協会	韓国	04.08.04～ 04.08.23	日本と韓国の大学生が、夏休みを利用して相互に訪問し、産業施設見学、交流会、ホームステイを実施
6	Youth Workcamp In 石川	特定非営利活動法人グローバルユース・ラボ	韓国	04.08.07～ 04.08.20	日本と韓国の10代の若者が2週間共に暮らし、ボランティア活動の体験や地域住民・環境とのふれあいを通して、社会性・協調性・生きる力を養い、さらにワークキャンプを通してその地域を知り、地元の方々と協力して地域を活性化させることを目的とする事業
7	東アジア共同ワークショップ	東アジア共同ワークショップ	韓国	04.08.08～ 04.08.12	国内ならびに韓国から青年を招いて、フィールドワーク、学習会、文化交流等を実施
8	第19回日韓学生会議東京大会	第19回日韓学生会議東京大会実行委員会	韓国	04.08.11～ 04.08.26	42名の日韓の大学生が6分科会に分かれて学術討論を実施。また、会議の成果を一般に広く発表するシンポジウム、自然を通して日本の歴史や文化に親しむフィールドトリップ、日本の文化を実際の体験を通して学ぶ文化体験、駐日韓国大使館訪問などの様々なプログラムを実施して、日韓両国の学生の交流を深めた

	事業名	団体	国	期間	事業内容
9	第2回 BESETOHA合 唱祭	東京大学音楽部 コールアカデ ミー	韓国 中国 ベトナム	04.10.08～ 04.10.11	東京大学、ソウル大学、北京大学、ハノイ大学の 学生合唱団が東京に集まり、合同で公開演奏会を 開催
10	日韓青年NGO ワークショップ -日韓にまたが る多文化共生社 会づくり-	<日本-在日- 韓国>ユース フォーラム・ ジャパン	韓国	04.10.08～ 04.10.12	多文化共生社会をテーマとし、平和・人権を志向 する日本と韓国のNPO・NGOが集まり、各社会の 特徴や今後の課題に関する情報や認識をワーク ショップ形式で交換し双方が実践につながる新し い材料を獲得することを目指した。定住外国人と しての在日コリアン社会の経験が両者をつなぐ媒 介役として発揮されることを期待
11	東アジアにおけ るオルタナティ ブ教育の可能性	特定非営利活動 法人さっぽろ自 由学校「遊」	韓国 中国	04.10.01～ 05.03.31	台湾、香港、韓国のNGOから講師を招き、オルタ ナティブな教育についての一般向国際シンポジウ ムを札幌、小樽、旭川で開催
12	国際ワークキャ ンプ・アジア協 力2004	特定非営利活動 法人NICE（日 本国際ワーク キャンプセン ター）	韓国 インドネシア ネパール インド アジア地域区 分困難	04.10.21～ 04.11.03	国際会議を含めたワークキャンプを実施。フォー ラムではアジアの環境・福祉・教育などの社会状 況を、一般市民やNGO関係者、留学生と都内で話 し合い、企画会議ではアジアのNGO同士の、今後 の協力や共通事業を話し合った
13	日韓若者文化交 流事業	財団法人福岡県 国際交流セン ター	韓国	04.11.01～ 05.03.31	日本と韓国（釜山）のアマチュア音楽バンドの派 遣と受入を行ない、福岡および釜山での共演ライ ブを開催 相互理解促進のため、併せてアジア若 者文化に関する展示を実施。また、一連のイベント については、ラジオやインターネット等を通じて 情報を発信
14	第34回日韓学生 会議	日本国際学生協 会	韓国	04.12.22～ 04.12.28	日韓両学生の混合グループでのディスカッション を5回実施 「今、私たちに求められていること～ 過去を見つめ、未来を切り開く～」を総合テーマ とし、深い知識の交換、日韓双方向の真の理解を 目的とした。また、自国の食文化も紹介し実際に 両国の家庭料理を調理・試食後、食について話し 合うフィールドワークや日本武術の体験も実施
15	川口コリアン ウィークin樹 モール	川口コリアン ウィークin樹 モール実行委員 会	韓国	05.01.03～ 05.01.11	第8回「日韓ユーモア漫画家年賀はがき展」の招へ いを中心に、日韓の新年の行事紹介・食文化の比 較・スポーツ交流などを通して、地域性を踏まえた 日韓の相互理解を深める事業
16	日中留学交流シ ンポジウム	特定非営利活動 法人JAFSA（国 際教育交流協議 会）	中国	03.12.01～ 04.11.30	日本の高等教育機関およびその教職員を主要メン バーとするJAFSA（国際教育交流協議会）と中国 の高等教育機関およびその教職員をメンバーとす るCAFSA（中国高等学校外国学生教育管理学会） との共催による留学生の相互交流全般に関するシ ンポジウムの開催

市民青少年交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
17	介護・日中市民交流 IN上海	特定非営利活動法人アジアロード	中国	04.09.19～ 04.09.23	高齢化が進行している中国で、今後わが国がどのような協力ができるかを知るため、上海で介護セミナーを開催するとともに、中国の高齢者問題の研究者とわが国の高齢者問題の専門家とのシンポジウムを実施 老人ホームのスタッフ等とも意見交換し両国の交流を深めた
18	日中青少年交流体感プログラム	特定非営利活動法人みえ青少年ボランティアネットワーク	中国	04.10.28～ 04.11.13	中国広西民族師範学院中等部歌手班学生らを招いてコンサートを開催 ワークショップ、日中両国の異文化体験、中国の少数民族の子どもたちの絵画展などを組み合わせながら、貧しい村の子どもたちへの理解と応援プログラムに発展させることを目的とした
19	中国山西の美術工芸団来日公演 -ワクワク影絵芝居+コロコロひょうたん工芸+チョコキチョコキ剪纸と遊ぼう！	人形劇サポートシステム シアターズーイ	中国	05.03.13～ 05.03.21	中国山西省の影絵芸術家の劇団を招き、公演を実施 また、同地方の民間美術工芸作家を加え、作品と活動を紹介する展覧会および山西の伝統文化の多様な側面や作品制作を体験するワークショップも開催
20	エセレル (EHLEL) 学校と中心としたモンゴル国ウランバートルとの多様な文化交流のきっかけづくり	特定非営利活動法人プロ・ワークス十和田	モンゴル	04.12.24～ 05.03.31	ウランバートル市内の学校などで地域の文化や当団体のNGO活動についての講演と、参加者との意見交換を実施 また帰国後、地域の公民館・集会場などで幅広い世代を対象として交流内容を紹介し、モンゴルについての理解を深め、多様な交流の契機とした
21	カンボジア地域づくり推進プロジェクト	鯖江市国際交流協会	カンボジア	05.01.23～ 05.01.28	教育を受ける機会を得られなかった人たちのための社会教育の機会づくりおよび地域の人々が集まり、問題解決を図る場を形成することを目的に、日本の公民館活動（社会教育）の要素を取り入れた地域コミュニティーづくりを展開するための事前現地調査実施
22	2004年度インドネシア・湘南若者交流事業	インドネシア・湘南若者交流事業実行委員会	インドネシア	04.10.22～ 04.12.31	インドネシアの国立大学日本語学科の中から選考された男女各1名（計2名）を1カ月湘南に招き、地域で交流を実施 滞在中湘南地域の小中学校で交流授業を実施する他、湘南地域の青年の企画で合宿やキャンプも実施
23	アジアからの青年・学生招聘交流プログラム	特定非営利活動法人アジアみらいネットワーク	カンボジア タイ	05.03.05～ 05.03.21	タイ・カンボジアから日本語等を学ぶ学生・青年を日本に招へいし、市民との交流会や中学校での国際理解教育講座を開催。大学見学・最先端企業訪問の他、街づくり学習や環境学習を行なった。市民間からアジア友好の醸成・若者の親日家を育成し、帰国後、各国のリーダーを育てることで、知的貢献を果たすことが目的

	事業名	団体	国	期間	事業内容
24	市民によるアジア遺産都市交流を目指して－タイ・チェンマイの歴史的町並み保存支援－	社団法人奈良まちづくりセンター	タイ	04.04.01～ 05.03.31	チェンマイにおいて地域の歴史的遺産を活かしたまちづくりの実践や研究に取り組むチェンマイの都市開発研究財団と、申請団体が、「チェンマイ市民ワークショップ」と「奈良国際シンポジウム」をそれぞれの都市で開催し、日本側のノウハウを提供することによって、チェンマイの住民参加・住民主体による町並み保存活動に対し支援を実施
25	日タイ視覚障害者文化交流プロジェクト	アジアマインド	タイ	04.04.01～ 05.03.31	日本とタイのろう学校生徒の交流プロジェクト タイでは、ボランティア活動で日本で集めた補聴器をろう学校へ寄贈、生徒同士が生活を共にしながらタイの伝統文化分野の授業に参加し、日本文化の紹介も実施 また、日本では、日本文化に関する分野の授業に参加してもらうとともに、両国交流・手話文化・今後の交流をテーマに討論会を実施
26	インターウィービング・カルチャーズ・プロジェクト：文化を織り成す	ICPオフィス	タイ 英国 フランス	04.04.01～ 05.09.30	日本、タイ、ヨーロッパの現代アート関係者が、ジム・トンプソン博物館で現代アートを通して各地域間の新しい文化的ネットワーク構築を模索、実践 地元の学生や市民を対象としたレクチャーやワークショップも開催
27	日本・タイ青少年交流および青少年国際会議の開催	特定非営利活動法人国際交流会とよなか	タイ	04.07.01～ 05.03.31	タイ・日本の青少年交流の実施および両国での青少年会議の開催
28	アジアの実践者に学ぶ 国際協力NGOのための「子ども参加」ファシリテーター養成ワークショップ	特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC)	フィリピン	04.08.01～ 05.03.31	アジアで「子ども参加」を実践しているNGOのリーダーを講師に招き、日本のNGOスタッフを対象とした「ファシリテーター養成ワークショップ」を1泊2日の合宿で実施。同時に、国内のNGOの事例紹介や同ネットワークが昨年作成した「国際協力NGOのための『子ども参加実践ガイドライン』」の内容の共有を図るもの
29	「フィリピン教育演劇協会(PETA)」と福岡の子ども達との演劇交流事業(演劇ワークショップおよび公演)	財団法人福岡市文化芸術振興財団	フィリピン	04.09.12～ 04.09.28	演劇ワークショップなどの教育普及活動で36年の実績を有する「フィリピン教育演劇協会(PETA)」を福岡に招へいし、学校カリキュラムとして子どもを対象にした演劇ワークショップや公演鑑賞事業を実施。あわせて一般向けの各種ワークショップや公演を開催し、演劇を通じた福岡市民とフィリピン人文化活動者との国際交流事業とするもの
30	地域活性化に寄与する女性の市民活動紹介	企業組合味工房エルニジュウゴ	ベトナム	04.05.13～ 04.05.20	日本とベトナム両国の食生活と女性の生き方の事例を紹介して、ヴェトナム女性が家庭と仕事の両立を図りながら社会参加できる方法を考える選択肢を広げること、地域に根ざす伝統食が地域住民の心と体を守ることを伝えることなどを目的とするシンポジウムを開催

市民青少年交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
31	日本、ベトナム2カ国視覚障害者サッカー大会実施事業	ベトナム視覚障害児の夢と未来を支える会	ベトナム	04.08.01～ 04.09.30	ベトナムホーチミン市内においてブラインドサッカー（視覚障害者サッカー）を通して日本、ベトナム2カ国の視覚障害児および関係者間の交流を実施
32	「日越子ども・青年交流－夢と生きがい、愛とロマンを求めて」プロジェクト	ベトナムの「子どもの家」を支える会	ベトナム	04.11.02～ 04.11.21	ベトナム人青年1名を日本に招へいし、北海道、茨城、東京、静岡、京都で集会を行ない、日越子ども・青年の文化交流や日本の若者と「文化・生き方、平和、ボランティア」などの意見交流を実施
33	不登校・引きこもり青年による日越青年交流スタディーツアー	特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク	ベトナム	05.03.18～ 05.03.27	不登校経験の青年たちが現在行なっている、ベトナムフエ市の元ストリートチルドレンの青年たちとの、Eメールでの交流を基盤に、同世代の日本の青年の参加者も募集し、フエ市へのスタディーツアーを実施
34	日本ミャンマー交流写真展 - シュエダゴンパゴダ-	NPOミャンマー総合研究所	ミャンマー	04.11.03～ 04.11.12	日本とミャンマーの写真を展示し、ミャンマーの人々にミャンマーの美しさを再認識してもらうとともに、日本の風景や暮らし等を写真を通じて紹介し、相互の交流・理解を深めるもの
35	ラオス スタディー ツアー 事業	財団法人熊本市国際交流振興事業団	ラオス	04.12.01～ 05.03.31	日本のNGOやODAのラオスでの活動を視察、体験・意見交換により地域からできる『市民参加型』の国際交流・協力を考え、人材育成や日本とアジア諸国のネットワークの構築につなげるもの
36	ヒマラヤ音楽舞踊交流事業	ヒマラヤ音楽舞踊実行委員会	ネパール	04.04.01～ 05.03.31	音楽・舞踊を通して多様なネパール文化を紹介する音楽・舞踊公演、ネパールより招へいするメンバーより伝統楽器・舞踊の由来等直接指導を受け、実体験をする交流を行なう音楽・舞踊ワークショップ、ビデオ・講演を通してネパールの国の概要や両国関係の理解を深めるシンポジウム・セミナーを行なう他、障害者施設でも交流・公演を実施
37	バングラデシュ、ネパール、日本3カ国合同わくわく写真交流プロジェクト	特定非営利活動法人シャブラニール＝市民による海外協力の会	ネパール バングラデシュ	04.12.01～ 05.03.31	日本、バングラデシュ、ネパールの同世代の子どもたちが、互いに自分の生活を紹介することを目的に各々の生活をカメラで自由に撮影 それらの写真をもとに、3カ国で写真展を開催し、各国の生活、環境、文化を知り、学ぶ機会とする事業 申請団体のウェブサイトにも掲載
38	アジア欧州芸術創造キャンプ	特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ	アジア地域区分困難	04.04.01～ 04.11.30	ヨーロッパとアジアの優秀な若手芸術家や美術学生、国際的に活躍する美術専門家等を日本に招き、集中講義やワークショップ、ディスカッションのほか、美術館やギャラリー、文化施設のリサーチと訪問、キュレーターや芸術家、美術評論家等との交流を図るもの

市民青少年交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
39	CISVアジア太平洋地域ワークショップ・ジュニア会議	CISV日本協会	アジア地域区分困難	04.04.08～ 04.04.14	異文化理解と平和教育を目的としたCISV（国際子供村）のアジア太平洋地域の会員を中心に、①11歳から25歳までのジュニア会議、②子供達のキャンプを実施するための指導者養成研修、③新しい会員や会員外の国へのプロモーションのための研修を実施
40	IDEC世界フリースクール大会参加交流事業	特定非営利活動法人フリースクール全国ネットワーク	アジア地域区分困難	04.05.01～ 05.03.31	インド・オリッサ州にて開催される「IDEC世界フリースクール大会」へ参加し、意見交換、共同発表を実施。大会後は、参加報告集を作成
41	アジア強化週間	国際学生交流団体ASIA*n（アジア人）	アジア地域区分困難	04.12.05～ 04.12.19	学生会議事業は東アジア・中央アジア・西アジア・東南アジア・南アジアの留学生および招へい青年とオリエンタリズムやアジアン・アイデンティティーについて学術的な観点から議論を重ねるもの。一般公開事業では、五感で感じるアジアという参加型イベントを実施
42	チャイルドヘルプライン・インターナショナルアジア・パシフィック大会	チャイルドライン支援センター	アジア地域区分困難	05.01.18～ 05.01.22	アジア・太平洋地域の「子どもの電話」事業関係者による国際会議及びワークショップの開催。子どもたちの現状に関する情報交換、担当者の技術向上、設置を準備している国への支援、他地域とのネットワーク構築が目的

2. 催し等事業費 (4)中東市民青少年交流（助成）

日本と中東の市民・青少年の相互理解と友好親善を促進するため、同趣旨の文化交流事業を行なう団体に事業実施経費の一部を助成する。

合計額 10,919,866円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	第2回日本イスラエルパレスチナ学生会議	日本イスラエルパレスチナ学生会議	イスラエル、パレスチナ	04.08.01～ 04.09.30	イスラエル、パレスチナ地域から大学生6名ずつを日本に招へいし、討論会等を実施
2	ピース・キッズ・サッカー2004	ピースキッズサッカー	イスラエル、パレスチナ	04.08.18～ 04.08.28	イスラエルとパレスチナの子供たちを日本に招へいし、東京と仙台で日本の子供と文化の違いを越えた相互理解を図るための合宿を実施
3	ワールドスクールネットワーク子ども環境ワークショップ	エコプラス	イスラエル、パレスチナ	05.02.08～ 05.02.17	イスラエル、パレスチナの中学生を招聘し、各地域での環境保全活動を発表するワークショップ、有機農法体験、清掃工場見学などを実施
4	児童文化部の活動を通してのオマーンとの国際文化交流	藤村女子中学・高等学校児童文化部	オマーン	05.01.02～ 05.01.09	高校生がオマーンで学校・病院等を訪問し、ハンドベル、人形劇などを披露して慰問活動を紹介



## 市民青少年交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
5	日本・アラブ学生相互訪問プログラム	慶応義塾大学 SFC奥田敦研究会	シリア、チュニジア	04.12.01～ 05.03.13	シリア、エジプト、レバノン、チュニジアからの学生を招へいし、語学学習ビデオ等を作成
6	第11回日本・トルコ学生会議国際大会	日本トルコ学生会議	トルコ	04.09.10～ 04.09.24	日本の大学生がトルコを訪問し、「学校教育の現状」、「倫理観」等のテーマで討論会を実施
7	世界の若者による対話－RING2005	RING	中東地域区分 困難	05.03.07～ 05.03.16	イスラエル、パレスチナ、イラク等から学生らを招へいし、パネルディスカッション、交流合宿等で、貧困、テロ、戦争等について討論を実施

### 2. 催し等事業費 (5) 中東理解ワークショップ等

中東諸国の歴史・文化・国際関係などに関する理解を促進するため、講演会、展示会やワークショップまたは連続講座を、在日あるいは滞在中の中等知識人や日本の中等専門家などを講師に開催する。

合計額 17,136,864円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	アフガニスタン絵画・工芸展	アフガニスタン	松本市 大阪市	松本中央公民館 大阪国際交流センター	04.07.11～ 04.09.17	シャマーレ・アフガニスタン 大阪国際交流センター	アフガニスタンの文化に触れる機会を提供するため、平成15年度「アフガニスタン、明日へつなぐアーティストたち」展で展示した絵画工芸作品の巡回展を実施
2	イラク事情に関する講演会	イラク	岩手県 埼玉県 札幌市 山形県	自衛隊岩手駐屯地 自衛隊朝霞駐屯地 自衛隊真駒内駐屯地 自衛隊神町駐屯地	04.04.01～ 04.07.10		イラクにおける自衛隊の人道復興支援活動の効果的かつ円滑な遂行を目的として、派遣隊員を対象としたイラクの宗教・文化・注意事項等に関する講演会を実施
3	中東・イスラーム理解セミナー(広島)	シリア	広島市	ひろしま国際センター	05.02.06	外務省 広島県 ひろしま国際センター	日本国内の中東理解促進のため、在京シリア大使および中東地域研究者による講演会を開催
4	東と西一過去と現在の狭間で オルハン・パムク講演会	トルコ	東京都	国際交流基金 国際会議場	04.11.22	藤原書店	トルコの作家オルハン・パムク氏による講演会を実施

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
5	中東・イスラーム理解セミナー(岡山)	エジプト	岡山市	岡山国際交流センター	04.05.28	外務省 岡山県	日本国内の中東理解促進のため、在京エジプト大使館参事官および中東地域研究者による講演会を実施
6	中東・イスラーム理解セミナー(札幌)	エジプト	札幌市	札幌グランドホテル	04.11.29	外務省 札幌市 札幌国際プラザ	日本国内の中東理解促進のため、在京エジプト大使および中東地域研究者による講演会を開催
7	中東・イスラーム理解セミナー(山形)	スーダン	山形市	山形保健センター	04.07.25	外務省 山形県	日本国内の中東理解促進のため、在京スーダン大使および中東地域研究者による講演会を開催
8	中東・イスラーム理解セミナー(大阪)	チュニジア	大阪市	大阪国際交流センター	04.09.27	外務省 大阪府 大阪国際交流センター 大阪府国際交流財団	日本国内の中東理解促進のため、在京チュニジア大使および中東地域研究者による講演会を開催
9	中東理解講座	中東地域区分困難	東京都	国際交流基金 国際会議場 国際交流基金赤坂ツインタワーセミナー ルーム 国際文化会館講堂	04.06.01～ 05.03.31		中東域内の社会・文化事情やその歴史的背景などについてより深い関心と正確な理解を促し、かつ、中東の社会・文化芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的に提供することを目的として、一般市民向けの講座を実施

## 市民青少年交流事業費

### 2. 催し等事業費 (6) アジア理解ワークショップ等

アジア諸国の歴史・文化・国際関係などに関する理解を促進するため、講演会や展示会、ワークショップまたは連続講座を、在日あるいは滞在中のアジア知識人や日本のアジア専門家などを講師に開催する。

合計額 31,570,791円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	アジアINコミック2005	韓国 中国	東京	国際交流基金 フォーラム	05.02.19～ 05.02.20	平成12年度から始めた「アジアINコミック」シリーズの第5回目として、平成16年度は、インターネットの普及が著しい中国および韓国からオンライン漫画配信事業経営者や若手のオンライン人気漫画家を招へいし、日本のオンライン漫画配信事業経営者およびオンライン漫画家に漫画研究者を交え、各国におけるオンライン漫画の配信事業事情やオンライン漫画家が生み出す作品の特徴などを紹介し、その現状と将来について討論した
2	アジア理解講座	アジア地域 区分困難	東京都	国際交流基金国際会議場 国際交流基金赤坂ツインタワー セミナールーム 国際文化会館講堂	04.06.01～ 05.03.31	アジア域内の社会・文化事情やその歴史的背景などについてのより深い関心と正確な理解を促し、かつ、アジアの社会・文化・芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的に提供することを目的として、一般市民向け講座を実施
3	アジア理解講座出版	アジア地域 区分困難			04.06.01～ 05.03.31	アジア理解講座で行なわれた講義内容を「アジア理解講座シリーズ」(山川出版社)などとして書籍化
4	第7回アジア漫画展	アジア地域 区分困難	ソウル マンダルー ヨン バンコク コンケー ン ポーパ ール ニュー デー リー 北京 広州 蘇州 ジャカ ルタ	ソウル日本文化センター展示場 ザ・ポディウムショッピングモール バンコク日本文化センターアートスペース コンケーン大学芸術学部展示室 国立人類博物館 ラリット・カラ 首都図書館 広東美術館 蘇州図書館 ジャカルタ日本文化センター ギャラリー	04.03.31～ 04.04.13 04.06.02～ 04.06.21 04.07.12～ 04.07.23 04.08.04～ 04.08.13 04.09.06～ 04.09.20 04.09.28～ 04.10.05 04.10.21～ 04.11.03 04.12.08～ 04.12.22 04.11.09～ 04.11.29 05.01.10～ 05.01.28	平成14年度に開催した「第7回アジア漫画展—アジアの就職事情」を、16年度は韓国、フィリピン、タイ、インド、中国、インドネシアに巡回した。15年度は国内3カ所およびマレーシア、韓国で開催済

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
5	第8回アジア漫画展(国内、海外巡回展)	アジア地域 区分困難	藤岡市 知立市 クアラルン プー コタ・キナ バル クアラ・ト レンガヌ	ららん藤岡花の 交流館 知立市中央公民 館 クアラルンプー ル国立図書館 サバ博物館 トレンガヌ国立 博物館	04.06.05～ 05.06.24 04.07.17～ 05.07.25 04.10.07～ 04.10.31 04.11.27～ 04.12.30 04.09.04～ 04.10.02	平成15年度に開催した「第8回アジア漫画展—生きがい」を、平成15年度に引き続き、16年度も国際交流団体や地方自治体などの共催により、国内2カ所(群馬県藤岡市、愛知県知立市)で巡回展を開催した。また、国内巡回展の終了後、マレーシアのトレンガヌ、クアラルumpur、コタ・キナバルの3都市にも巡回した
6	第9回アジア漫画展(国内巡回展)	アジア地域 区分困難	東京 福岡市 つくば市 千曲市 小平市 徳島市 大阪市 さいたま市	国際交流基金 フォーラム レインボープラ ザ 茨城県つくば美 術館 千曲市上山田文 化会館 小平市民文化会 館ルネこだいら 展示室 徳島県立二十一 世紀館 大阪国際交流セ ンターギャラ リー さいたま市立大 宮図書館展示 ホール	04.08.03～ 04.08.21 04.09.01～ 04.09.15 04.11.23～ 04.11.28 04.12.03～ 04.12.10 04.12.17～ 04.12.22 05.01.27～ 05.02.06 05.02.21～ 05.02.27 05.03.08～ 05.03.17	アジア各国の社会、文化、人々の暮らしなどを紹介するため、今回は「アジアのIT事情」をテーマにアジア8カ国(中国、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ)の第一線で活躍中の漫画家8名に諷刺、ユーモアを交えた1コマ(あるいは数コマ)による作品(計80点)の制作を依頼し、これらの作品を国内7都市に(東京都、つくば市、千曲市、小平市、徳島市、大阪市、さいたま市)巡回した

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 造形美術事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 造形美術情報交流（招へい）

### 2. 催し等事業費

- (1) 国際展参加
- (2) 海外展（企画）
- (3) 海外展（巡回）
- (4) 国内展
- (5) 国内展（AC）
- (6) 海外展（助成）
- (7) 国内展（助成）
- (8) 造形美術情報交流（催し）
- (9) 「愛・地球博」途上国支援事業

### 3. 催し等事業費（トリエンナーレ）

- (1) 国際展

## 1. 人物交流事業費 (1) 造形美術情報交流(招へい)

海外の専門家の招へいを通じ、日本の美術情報の海外発信を行なうとともに、海外の美術情報を収集し、また人的ネットワークの充実を図る。

合計額 2,818,956円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	TARSIA, Andrea(文化人 短期)	英国	05.02.09～ 05.02.15		英国ホワイトチャペル・アートギャラリーのキュレーターであるTarsialeを招へいし、日本の現代美術を紹介すると共に日本の美術界とのネットワークを図った

## 2. 催し等事業費 (1) 国際展参加

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 57,663,500円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	第9回ヴェネツィアビエンナーレ建築展・帰国展	日本	東京	東京都写真美術館	05.02.05～ 05.03.13	第9回ヴェネツィアビエンナーレ建築展。日本館の帰国展を東京都写真美術館で行なった
2	第11回インド・トリエンナーレ	インド	ニューデリー	ラリット・カラ・アカデミー	05.01.15～ 05.02.10	国立国際美術館・中井康之をコミッショナーとして、伊藤存（刺繍によって様々なイメージを画面にコラージュする）、長谷川繁（絵画史における典型的なモチーフを再解釈する）、矢櫃徳三（板面を彫り刻む行為と彩色、言葉によって特異な表現を構成する）、吉田暁子（日本画材の特質を追求し、独自の空間表現を試みる）の4作家の絵画作品を紹介
3	第11回バンガラデシュ・ビエンナーレ（継続）	バンガラデシュ	ダッカ		04.04.31～ 04.10.31	2004年1月に開催されたバンガラデシュ・ビエンナーレの延長分の保険料等
4	第12回バンガラデシュ・ビエンナーレ（準備）	バンガラデシュ	ダッカ	オスマニ記念ホール	04.04.01～ 05.03.31	第12回バンガラデシュ・ビエンナーレ参加の準備を行なった
5	第26回サンパウロビエンナーレ	ブラジル	サン・パウロ	シッシロ・マタラッソ・パビリオン	04.09.25～ 04.12.19	日本館コミッショナー：水沢勉、出品作家：宮崎進。「Voices of Siberia」をテーマに、立体、平面、ドローイング等計12点の作品を展示

## 造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
6	第9回ヴェネツィア・ビエンナーレ建築展	イタリア	ヴェネツィア	カステロ公園日本館	04.09.12～ 04.11.07	総合ディレクターにKurt Forsterをむかえて、Metamorphosesをテーマとする第9回ヴェネツィア・ビエンナーレ建築展に参加する。日本館は、「おたく：パーソナリティ＝空間＝都市」をテーマに、森川嘉一郎をコミッショナーとし丹下健三、岡田斗司夫、海洋堂、大嶋優木、斉藤環、開発好明、コミックマーケット準備会、宣政佑、よつばスタジオが出品作家として参加
7	第51回ヴェネツィア・ビエンナーレ（準備）	イタリア	ヴェネツィア	カステロ公園内日本館	04.04.01～ 05.03.31	第51回ヴェネツィア・ビエンナーレ美術展の国別参加の準備を行なった

### 2. 催し等事業費 (2) 海外展(企画)

海外の美術館・博物館などとの共催により、わが国の美術・文化を海外諸国に紹介する。

合計額 82,740,426円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	日韓友情年2005関連展示事業	韓国	ソウル	ソウル市立美術館	04.04.01～ 05.03.31	日韓友情年2005に関連し、日本紹介展示事業を韓国にて開催
2	日本名宝展	中国	北京	中国国家博物館	04.05.25～ 04.06.30	日本文化の流れを縄文時代から江戸時代まで通観する展覧会。出品件数は99件（うち国宝6件、重要文化財25件）
3	「Living Together is Easy-日本とオーストラリアにおける作家12人」展	オーストラリア	メルボルン	ヴィクトリア州立美術館	04.08.27～ 04.11.07	現在活躍中の日豪の現代作家6人ずつ、計12人の作品を取りあげた展覧会。平成15年度の水戸芸術館での展示（2004年1月～3月）を受けて、本年度はヴィクトリア州立美術館で展示を行なった
4	第26回サンパウロ・ビエンナーレ	ブラジル	サン・パウロ	シッシロ・マタラッソ・パビリオン	04.09.25～ 04.12.19	企画重点へ出品招待された畠山直哉を開幕時に派遣
5	JIKI-日本の磁器1610-1760	イタリア フランス ベルギー	ファエンツァ パリ ブリュッセル	ファエンツァ国際陶芸博物館 パリ日本文化会館 ベルギー王立美術歴史博物館	05.04.13～ 05.08.28 04.11.26～ 05.04.02 04.06.26～ 04.11.07	伊万里の誕生から、欧州向け輸出の開発、欧州磁器に与えた影響などを追う。特に、日本向けの作品と輸出用の作品の比較に焦点を当て、また伊万里を写した欧州磁器も展示。パリ、ブリュッセルについては「日EU市民交流年」関連事業となる

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
6	日本の知覚展 (準備)	オーストリア	グラーツ	クンストハウス・グラーツ	05.06～ 05.09	日本の現代美術を紹介する展覧会。今年度はその準備を行なった
7	日本の考古— 曙光の時代	ドイツ	マンハイム	ライッス・エンゲルホルン博物館	04.07.25～ 04.10.24	縄文時代から飛鳥・奈良時代まで、日本の代表的な考古資料を系統的に展示する、海外で初めての大規模な展覧会。出品件数108件のうち、国宝5件、重要文化財32件を数える
			ベルリン	マルティン・グロピウス・パウ展示館	04.11.20～ 05.01.31	
		日本	奈良	奈良国立博物館	05.03.23～ 05.05.08	
8	坂本一成建築展	ドイツ	ミュンヘン	ピナコテーク・デア・モデルネ建築美術館	04.10.21～ 05.01.09	日本における住宅建築の第一人者である坂本一成（東工大教授）の作品を通じ、海外ではまだあまり知られていない現代日本の住宅建築を紹介。写真、図面、模型等を展示
		デンマーク	コペンハーゲン	王立デンマーク芸術大学建築学部	05.03.18～ 05.04.24	
9	「浮世のイメージ 17-18世紀」展	フランス	パリ	グラン・パレ国立ギャラリー	04.09.29～ 05.01.03	浮世絵における人物描写に焦点を当てた、フランスでは久々となる大型の浮世絵展。国立ギメ東洋美術館の所蔵作品を中心としつつ日本からも約30点が出品
10	ひととロボット展	フランス	パリ	パリ日本文化会館	04.04.01～ 05.03.31	平成15年度に開催された展覧会の報告書作成業務等
11	妖怪展(準備)	フランス	パリ	パリ日本文化会館	04.04.01～ 05.03.31	日本の「妖怪」の起源とその変遷をたどる展覧会の準備
12	心の在り処 (継続)	ロシア	モスクワ	モスクワ市現代美術館	04.04.01～ 04.05.31	2004年度に開催された「心の在り処」展の作品返却経費等

## 2. 催し等事業費 (3) 海外展(巡回)

国際交流基金が所蔵する美術・文化に関する展示セットを海外諸国に巡回する。

合計額 128,049,531円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	日本の美を撮る	中国	香港		04.04.01～ 04.08.31	2004年2月で巡回期限を迎えた「日本の美を撮る」展の作品返却等にかかる業務を行なった



造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
2	凧・独楽展F	カンボジア ベトナム タイ ネパール	プノンベン カントー ホー・チ・ミン ハノイ バンコク チェンマイ カトマンズ	ワット・プノン 展示センター 国立カントー大 学 ベトナム日本人 材協力センター 日越人材協力セ ンター 子供博物館 チェンマイ国立 博物館 ネパール芸術評 議会	04.09.06～ 04.09.26 04.10.19～ 04.10.26 04.11.02～ 04.11.07 04.11.24～ 04.12.07 04.12.20～ 04.12.31 05.01.07～ 05.01.14 05.02.07～ 05.02.18	凧も独楽も伝統的な日本の玩具として、日本全国それぞれの地方で独自のデザインや遊び方が発達している。本展はそうした数多い作品の中から特色あるものを紹介
3	日本の版画 1950-1990	ブルネイ マレーシア トルコ レバノン イエメン エジプト アラブ首長 国連邦	バンドルス リブガワン ペナン クアラルン プール イスタン ブール アンカラ ビブロス ベイルート サナア カイロ アブダビ	国際会議場 マレーシア科学 大学美術館 国立言語文学セ ンター シェケル・アフ メット・バジャ 美術館 土日基金文化セ ンター レバノン・アメ リカン大学ビブ ロス校 レバノン大学美 術学部劇場 文化の館 カイロ・オペラ ハウス 文化財団	04.03.31～ 04.04.11 04.05.17～ 04.05.30 04.07.05～ 04.07.25 04.09.10～ 04.09.24 04.10.01～ 04.10.24 04.11.04～ 04.11.11 04.11.17～ 04.11.22 04.12.04～ 04.12.15 05.01.08～ 05.01.29 05.03.21～ 05.03.26	20世紀後半に活躍した46作家のそれぞれ代表作を含む計75点の版画作品を紹介。この時代の日本の版画史を一望できる内容
4	90年代の日本 の絵画展	マレーシア ヨルダン シンガポー ル	クアラルン プール アンマン シンガポー ル	ギャラリー・ベ トロナス ナショナル・ ギャラリー アーツ・ハウス	04.09.04～ 04.09.20 04.11.27～ 05.01.02 05.01.01～ 05.03.31	現在高い評価を得ている越前谷嘉高、会田誠、額田宣彦、丸山直文、小林孝亘、村上隆、太郎知恵蔵、奈良美智、福田美蘭が90年代に30代の若手作家としてどのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしたかを30点の作品から紹介

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
5	日本のクレイワーク	韓国	西帰浦	西帰浦市立図書館	04.11.05～ 04.11.18	陶を素材とした立体造形（クレワーク）の代表的な作家29名による50年代から90年代に制作された作品44点を紹介
			釜山	釜山市役所展示室	04.11.22～ 04.11.27	
			ソウル	公報文化院・シルクギャラリー	04.12.06～ 04.12.22	
	モンゴル	ウラン・バートル	国立美術館	04.09.03～ 04.09.17		
	ミャンマー	ヤンゴン	さくらタワー	04.07.26～ 04.08.08		
	インド	デリー	ラリット・カラ・アカデミー	04.04.28～ 04.05.12		
		チャンディガル	チャンディガルラリット アカデミー	04.05.20～ 04.06.04		
		ボーパール	インド文化センター	04.06.12～ 04.06.23		
	オーストラリア	シドニー	シドニー日本文化センター	05.01.28～ 05.02.25		
6	写楽再見展	オーストラリア	メルボルン	モナシュ・ギャラリー	04.04.08～ 04.05.13	
			パース	セントラルティフ・アートギャラリー	04.07.05～ 04.07.25	
			カウラ	カウラ市内ギャラリー	04.08.01～ 04.08.13	
			シドニー	シドニー日本文化センター	04.11.02～ 04.12.05	
	米国	デルレイ	森上美術館	04.09.10～ 04.10.13		
		ボールダー	市立ボールダー図書館	05.01.07～ 05.02.06		
	チェコ	リベレツ	北ボヘミア博物館	05.03.31～ 05.05.01		
7	日本人形展E	米国	アンカレジ	アンカレジ歴史美術館	04.04.16～ 04.05.18	日本の伝統的な「雛人形」や「五月人形」等を始め、各地方に様々な形で発展した人形の中から特色のあるものを紹介
8	現代日本の工芸展	米国	ホノルル	東西センター・ギャラリー	04.03.10～ 04.04.25	現代日本の工芸の状況を共通する6つの特色ー華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥ーに分類し、64点の作品によって紹介
			ヘレナ	熊本プラザ	04.05.12～	
			ロサンゼルス	日米文化会館	04.06.04 04.06.19～	
			コーパス・クリステイ	テキサス州立アジア文化美術館・教育センター	04.08.01 04.11.06～ 04.12.26	
			シュリーヴポート	センテナリー・カレッジ・メドウズ美術館	05.01.08～ 05.02.20	

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容	
9	ポスターに見る日本B	米国	ワシントンDC ロングモント	在米国大使館広報文化センター ロングモント美術館・文化センター	04.03.12～ 04.04.30 04.06.05～ 04.06.20	公共広告のために制作されたポスター75点を通して現代日本社会を紹介	
			ラス・ヴェガス	コミュニティ・カレッジ・オブ・サザンネバダ	04.07.06～ 04.08.14		
			カンザス・シティ	ボーク郡ヘリテージギャラリー	04.08.14～ 04.09.20		
			カンザス・シティ	ジョンソン郡コミュニティカレッジ	04.10.01～ 04.10.15		
			デトロイト	ファーミントンヒルズ市役所	04.11.01～ 04.12.17		
		アイルランド	ダブリン	オスカー・ワイルド・ハウス	05.01.21～ 05.02.03		
		フランス	メス	メッス市図書館 ラオス日本人材開発センター	05.03.03～ 05.04.15		
10	くまもとアートボリス	米国	ペンサコーラ デンバー	ジャパンハウス コロラド大学デンヴァー校建築学部校内	04.03.16～ 04.04.26 04.06.17～ 04.07.09	地域の歴史と自然を生かしながら後世に残る都市文化・建築文化を創出することを目的とした事業として高い評価を得ている「くまもとアートボリス」プロジェクトを紹介する建築展	
			ワシントン	在米国大使館広報文化センター	04.08.02～ 04.08.27		
		アルゼンチン	ブエノス・アイレス	ベルグラノ大学 展示会場	04.09.13～ 04.09.23		
		ボリビア	ラパス	ラパス市文化会館 国立美術館	04.10.12～ 04.10.28 04.10.30～ 04.11.23		
			ボリビア・カトリック大学		04.11.25～ 04.12.10		
		ニカラグア	マナグア	国立文化宮殿	05.02.10～ 05.02.24		
		ホンジュラス	サンペドロ・スーラ テグシガル	サンペドロスーラ文化センター アトランティーダ銀行文化ホール	05.03.03～ 05.03.11 05.03.15～ 05.03.29		
11	現代日本のデザイン展	韓国	ソウル	省谷美術館	04.11.04～ 04.12.17		プロダクト・デザイン約100点を中心に、日本のデザインを紹介
		米国	エヴァンズヴィル	オールドナショナル銀行	04.09.09～ 04.10.23		
			アトランタ	アトランタ・デザイン美術館	05.02.03～ 05.04.10		

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
12	現代陶磁器展	コロンビア エクアドル ニカラグア グアテマラ ホンジュラス メキシコ キューバ ドミニカ共和国	サンタ・フェ・デ・ボゴタ キト マナグア グアテマラ テグシガルパ メキシコ・シテイ ハバナ サントドミンゴ	ルイス・アンヘル・アランゴ図書館展示会場 国立文化会館 文化宮殿 国立近代美術館 テグシガルパ児童博物館展示ホール カーサ・フリサック 国立装飾美術博物館 現代美術館	04.03.16～04.04.26 04.05.03～04.05.16 04.06.08～04.06.28 04.07.08～04.07.30 04.08.09～04.08.22 04.10.14～04.11.19 04.12.16～05.01.16 05.03.08～05.05.01	現代日本の若手陶芸家作家を中心に、日本各地の窯によって7つのカテゴリーを設け、現代の陶芸状況を紹介
13	こけし展B	インドネシア ブラジル	ジャカルタ マカッサル メダン リオ・デジャネイロ フロリア ノーボリス ジョインヴィーレ クリチバ ブラジリア レシフェ ベレン	ジャカルタ日本文化センター 在マカッサル総領事館 在メダン総領事館 連邦裁判所文化センター サンタ・カタリーナ美術館 ジョインヴィーレ市美術館 カーザ・アンドラーデ・ムリシ展示場 連邦貯蓄銀行アトリウム レシフェ市美術館 エスタソン・ダス・ドカス	04.08.16～04.08.25 04.09.08～04.09.21 04.10.14～04.10.24 04.10.22～04.11.07 04.11.26～04.12.12 04.12.15～04.12.21 05.01.11～05.02.13 05.02.17～05.03.04 05.03.09～05.03.20 05.03.28～05.04.16	日本を代表する民芸品の一つである「こけし」を伝統的な作品と現代の創作作品にて紹介
14	日本現代建築A	ペルー ベネズエラ ウルグアイ パラグアイ	リマ ボコダ カラカス モンテビデオ アスンシオン	ペルー建築学会 国立ロス・アンデス大学 国立ベネズエラ中央大学 モンテビデオ県庁 パラグアイ日本人造りセンター	04.04.13～04.04.30 04.05.19～04.05.28 04.06.07～04.06.17 04.07.05～04.07.22 04.08.06～04.08.23	1985年から1996年までに竣工した日本の建築作品の中から100点を選び、その存在する「場所」をテーマとして、7つのカテゴリーに分けて写真パネルにより紹介

## 造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
15	新世代アーティスト展	イタリア ポルトガル ルクセンブルク	ローマ シントラ ルクセンブルク	ローマ日本文化会館 シントラ美術館 ノイミュンス ター修道院文化会館	04.05.24～ 04.07.31 04.12.04～ 05.01.11 05.02.04～ 05.03.21	2000年代の日本の注目アーティストによる絵画、彫刻、写真、映像などを展示し、新しい世代による美術表現を紹介
16	スピリトを写す	英国	ハリファックス ダンディー サウサンプトン ハル アベリス トゥイス ニュー・タウン	Halifax Piece Hall Art Gallery ダンディー大学 ギャラリー Millais Gallery European Illustration Collection Hull (EICH) Aberystwyth Arts Centre Oriol Davies Gallery	04.03.20～ 04.05.02 04.06.25～ 04.08.20 04.09.10～ 04.10.23 04.11.06～ 04.12.11 05.01.15～ 05.03.05 05.03.19～ 05.04.30	松涛美術館の光田由里の監修により、細江英公、市川美幸らの作品を通じて精神的な基盤の失われた時代に見えない価値を表現しようとする作家たちの姿を紹介
17	out of ordinary・extraordinary	ドイツ スペイン ベルギー	ケルン バジャドリッド バルセロナ サンタクルス・デ・テネリフェ リエージュ	ケルン日本文化会館 バジャドリッド大学 カーサ・アジア カリアナ金融公庫芸術文化ホール リエージュ市文化センター	04.05.17～ 04.07.31 04.10.01～ 04.10.22 04.11.04～ 04.12.27 05.01.10～ 05.01.23 05.02.03～ 05.03.13	過去の価値観が通用しなくなっている現在の状況を直視し、新たな表現の可能性に取り組んでいる日本の写真家11名の作品約102点を紹介

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容	
18	日本現代建築 B	中国	瀋陽	張学良故居博物館	04.09.15～ 04.09.28	1985年から1996年までに竣工した日本の建築作品の中から100点を選び、その存在する「場所」をテーマとして、7つのカテゴリーに分けて写真パネルにより紹介	
			青島	山東省青島市国際会議中心	04.10.10～ 04.10.14		
			無錫	無錫市図書館	04.11.12～ 04.11.21		
			香港	香港大学美術博物館	04.12.10～ 05.01.02		
		インド	ラクナウ	ラリット・カラ・アカデミー	05.01.24～ 05.02.20		
			ムンバイ (ボンベイ)	ジャハンギー ル・K・S・ニコ ルソン・ギャラ リー・オブ・モ アンアート	05.03.15～ 05.03.23		
		米国	グアム	グアム大学イス ラセンター	04.07.29～ 04.08.27		
		ドイツ	キール	ドイツ国立経済 研究図書館	04.04.02～ 04.05.28		
19	日本人形展D	アゼルバイ ジャン ハンガリー	バクー ペーチュ	国立じゅうたん 民族芸術博物館 芸術の家	04.04.20～ 04.05.02 04.07.05～ 04.07.25		日本の伝統的な「雛人形」や「五月人形」等を始め、各地方に様々な形で発展した人形の中から特色のあるものを紹介
			ケストハイ	ヘリコン宮殿美 術館	04.07.31～ 04.08.29		
20	伝統陶芸展	ドイツ	ミュンヘン	ミュンヘン民族 学博物館	04.05.05～ 04.07.11		
		ノルウェー	オスロ	ボムロスファブ リーケン芸術 ホール	05.01.15～ 05.02.27	河井寛二郎、濱田庄司など日本の陶芸を世界に知らしめた個人陶芸家の他、現在の日本の伝統陶芸界の第一線で活躍している作家55名の作品65点で構成し、日本の伝統陶芸の動向を紹介	
		フィンランド	オウル	オウル青年文化 会館	04.07.23～ 04.08.29		
		エストニア	タルトゥ	エストニア・ス ポーツ博物館	04.09.10～ 04.10.08		
		チェコ	ピルゼン	西ボヘミア博物 館	04.03.15～ 04.04.25		
		ベラルーシ	ミンスク	ベラルーシ共和 国国立美術館	04.12.06～ 04.12.19		
			ゴメリ	郷土博物館支部 「狩猟小屋」	04.12.22～ 05.01.09		
		ラトビア	リガ	外国美術館	04.10.15～ 04.11.05		
		リトアニア	カウナス	陶芸美術館	04.11.11～ 04.11.28		
		ルーマニア	ブカレスト	ルーマニア国立 美術館	05.03.11～ 05.04.18		

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
21	ポスターに見る日本A	バングラデシュ フィリピン ラオス ポーランド ロシア	ダッカ マニラ ビエンチャン クラクフ サンクト・ペテルブルグ ニージニーノブゴロド エカテリンブルグ ユジノサハリンスク ヤクーツク ウラジオストク	バングラデシュ国立博物館 シャングリラプラザモール 国立文化会館 ラオス日本人材開発センター 日本美術技術センター ロシア国立図書館 ニージニー・ノヴゴロドニホンセンター エカテリンブルク市立美術館 サハリン州立学術図書館 サハ共和国立美術館 アルセーニエフ沿海地方国立総合博物館	05.01.18～05.02.01 05.02.10～05.02.26 05.03.04～05.03.07 05.03.10～05.03.18 04.05.20～04.06.15 04.07.12～04.08.09 04.08.23～04.09.03 04.09.13～04.09.26 04.10.12～04.10.27 04.11.12～04.11.30 04.12.08～04.12.22	商業広告のために制作されたポスター75点を通して現代日本社会を紹介
22	こけし展A	モロッコ ガーナ コートジボワール スーダン セネガル ナイジェリア 南アフリカ	ラバト アクラ アビジャン ハルツーム ダカール ラゴス プレトリア	在モロッコ大使館多目的ホール ガーナ国立博物館 コートジボワール文明美術館 国立芸術文化評議会 ナショナル・ギャラリー サント・マリー学院 ナイジェリア国立劇場附属美術館 国立劇場	04.03.22～04.04.03 04.04.29～04.05.11 04.11.16～04.11.27 05.03.15～05.03.25 04.12.08～04.12.18 05.01.10～05.01.22 04.10.14～04.10.25 04.06.22～04.07.20	日本を代表する民芸品の一つである「こけし」を伝統的な作品と現代の創作作品にて紹介する。同時にてまり作品も展示

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
23	自然に潜む日本	ベネズエラ イスラエル エチオピア ギニア ケニア ザンビア	カラカス ハイファ アデイスア ベバ コナクリ ナイロビ ルサカ	コープバンカ文化センター ハイファ市ティ コティン日本美 術館 エチオピア国立 博物館 国立博物館 在ケニア大使館 広報文化セン ター ザンビア大学図 書館	05.02.23～ 05.03.06 04.07.03～ 04.07.31 05.01.17～ 05.01.30 04.06.01～ 04.07.31 04.11.22～ 04.12.17 04.10.04～ 04.10.17	若手写真家矢萩喜従郎氏の写真作品に よって日本各地の風景をモノクロの写真 85点で紹介
24	新規巡回展制作	全世界区分 困難			04.10.01～ 04.03.31	新規巡回展 「手仕事のかたち」の制作
25	戦後日本写真展（新規セット）	全世界区分 困難			05.03.24～ 05.03.31	国際交流基金所蔵の写真に新たに購入する 写真作品を加えて、戦後日本の写真史 を通観する巡回展を作成するため、新規 作品の購入を行なった

## 2. 催し等事業費 (4)国内展

海外の優れた美術・文化のなかで、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会を国内関係者と共催して実施する。  
合計額 2,334,914円

	事業名	国	都市	期間	共催者	事業内容
1	中欧現代美術展 (準備)	日本	23区 広島市 大阪市	04.04.01～ 05.03.31 04.04.01～ 05.03.31 04.04.01～ 05.03.31	東京都現代美術 館 広島市現代美術 館 国立国際美術館	2005年8月より開催の中東欧地域の 現代美術を紹介する展覧会の準備
2	ブラジル・ボ ダイ・ノスタル ジア	日本 ブラジル	東京都その他 京都市	04.06.08～ 04.07.25 04.08.17～ 04.09.20	東京国立近代美 術館 京都国立近代美 術館	日本ではこれまで未知のブラジルの 現代美術を、ブラジル独特の「身 体」という切り口から紹介する。 90年代以降活躍する作家を中心 に、物故作家も含め9名の作品を 展示



## 造形美術事業費

### 2. 催し等事業費 (5)国内展 (AC)

さまざまなテーマを設定してグループ展や個展を実施し、アジアの現代を伝える。また、展示と関連付けてシンポジウムなどを実施し、アジアの芸術に対するより深い理解を促進する。

合計額 34,591,416円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	アジアのキュビズム(準備)	日本 韓国 シンガポール	23区 ソウル シンガポール	東京国立近代美術館 韓国国立現代美術館 徳寿宮美術館 シンガポール美術館	05.08.09～ 05.10.02 05.11.11～ 06.01.30 06.02.18～ 06.04.09	アジア11カ国のキュビズム作品約120点の紹介を通じてアジアの近代を再考
2	Have We Met?	日本 インド インドネシア タイ	東京都その他	国際交流基金 フォーラム	04.12.10～ 05.01.30	日本とアジアのキュレーター4名の共同企画により展覧会コンセプトを作成し、それに基づき作家、作品を選定

### 2. 催し等事業費 (6)海外展 (助成)

内外の美術館などが主催し海外で開催する日本の美術・文化紹介に関する展覧会に対し、経費の一部を助成する。

合計額 20,983,392円

	事業名	期間	国(都市)	会場	助成団体	事業内容
1	Contemporary Art Exhibition, 2004 Busan Biennale	04.08.21～ 04.10.31	韓国(釜山)	Busan Metropolitan Art Museum	2004 Busan Biennale Organizing Committee	「深い淵」を主題、「N.E.T. (N: きずな、E: 出会い、T: 旅/N: 交渉、E: 環境、T: 通過)」を副題として、世界各国約100名の作家が参加する国際現代美術展。日本からは、宮島達男、高嶺格らが参加
2	The Evolution of Asexualized Space, Japan - popular imagination of contemporary art in Japan	04.09.17～ 04.11.16	韓国(ソウル)	ILJU ART HOUSE	ILJU ART HOUSE	「現代美術における日本というローカリティとナショナルリティ」という企画テーマのもとで開催される、映像アーティストの東芋とサキサトムの二人による展覧会
3	2004 Biennale of Sydney-On Reason and Emotion	04.06.04～ 04.08.15	オーストラリア(シドニー)	Many venues participate, including Art Gallery of New South Wales	Biennale of Sydney Ltd	2004年のシドニービエンナーレはreason on emotionをテーマに32カ国から52名のアーティストが参加。日本からは笠原恵美子が参加する。また、シドニービエンナーレはオークランドトリエンナーレと協調して展覧会を行なった

	事業名	期間	国(都市)	会場	助成団体	事業内容
4	SUBJECT : A Project of Noritoshi Hirakawa and Thom Mayne "The Architecture of Life"	04.04.05～ 04.05.22	カナダ(トロント)	University of Toronto	Faculty of Architecture, Landscape, and Design University of Toronto	Morphosisの建築を撮影してきたNY在住の現代美術作家平川典俊が、トロント大学のグラデュエイトセンター(Morphosisの建築)を舞台に見立てて、その場所における学生の生活と建築の関係を考察することにより、建築の役割や建築家の責任を考察した
5	Shomei Tomatsu: Skin of the Nation	04.09.22～ 05.02.01 05.02.01～ 05.04.30 05.05.21～ 05.08.29 05.10.15～ 06.02.12	カナダ(オタワ) 米国(ワシントン、ニューヨーク、サン・フランシスコ)	National Gallery of Canada Corcoran Gallery of Art Japan Society Gallery San Francisco Museum of Modern Art	San Francisco Museum of Modern Art	原爆の後遺症や米軍の駐留、高度経済成長やアメリカ化の様子を撮影した写真257点から構成され、北米で初めて開催される東松照明の写真展。本展は、アメリカと日本の相違点を撮った東松照明の写真を通して、西洋において、戦後日本の歴史、現代日本の美術や文化への理解度を深めることを目的とした
6	Celebrating Japan through the Seasons	04.01.13～ 04.06.27	米国(ニューヨーク)	Asia Society Museum	Asia Society and Museum	屏風や陶磁器、漆芸、木版画、金細工など、アジア・ソサエティの所蔵するロックフェラー・コレクションやニューヨークの美術収集家の所蔵する個人コレクションによって構成される日本の古美術展。本展にあわせて、エイコ&コマの現代舞踏公演を含む日本文化関連プログラムが開催された
7	New Urushi Forms: Contemporary Lacquer Art from Japan	04.05.05～ 04.08.08	米国(サン・フランシスコ)	Museum of Craft & Folk Art San Francisco	Museum of Craft & Folk Art	3名の日本現代美術家(藤田敏彰、栗本夏樹、松島さくら子)の漆工芸の展覧会。日本の伝統工芸である漆塗りの技術を、現代アートに取り入れた作品を紹介した
8	Different Lands/Shared Experiences: The Emergence of Modern Industrial Society in Japan and the United States	04.09.04～ 04.10.02	米国(セント・ルイス)	St.Louis Mercantile Library at University of Missouri-St.Louis	The Curators of the University of Missouri on behalf of the Center for International Studies, University of Missouri-St.Louis	ミズーリ大学セントルイス校国際研究センター、同校商業博物館および渋沢史料館の共催による展覧会。日本側は、国文学研究史料館に保存されている日本実業史博物館旧蔵資料、アメリカ側は、商業博物館所蔵資料を出展し、日米経済の近代化の比較を行なった

## 造形美術事業費

	事業名	期間	国(都市)	会場	助成団体	事業内容
9	Electrifying Art: Atsuko Tanaka, 1954-1968	04.09.14～ 04.12.11	米国(ニュー ヨーク) カナダ(バン クーバー)	Grey Art Gallery Belkin Art Gallery	New York University	戦後日本の美術史において重要な位置を占める前衛美術グループ「具体美術協会」の創設メンバーのひとりである田中敦子の回顧展。パフォーマンスや絵画、ドローイングにおける独特の功績を明確に示すことによって、日本人作家、女性作家、現代美術家としての田中敦子の役割を確立
10	Carnegie International	04.10.09～ 05.03.20	米国(ピッツ バーグ)	Carnegie Museum of Art	Carnegie Museum of Art	1896年に始まり、今回で54回目を迎える国際現代美術展。世界各国40名の作家による計約125点の作品から構成される。日本からは、CGアーティスト青島千穂が参加
11	The Exhibition of Japanese Kimono Collection	04.09.03～ 04.09.12	チリ(サン ティアゴ)	The National Museum of Fine Art "Salon Chile"	The National Museum of Fine Art	文化服飾学園のコレクションから17点の着物を国立美術館において展示する。APEC2004の開催を記念する展覧会
12	OFFICINA ASIA	04.06.05～ 04.09.05	イタリア(ボ ローニャ)	Galleria d'Arte moderna Bologna	GALLERIA D'ARTE MODERNA - BOLOGNA	日本、中国、韓国の3カ国から40歳未満の若手作家を紹介する大規模な展覧会。各国約20名の作家を紹介し、日本からは、西山美な子、広瀬智、加藤ミカ、などの24名の作家が参加する大規模なアジア紹介の展覧会
13	Through the Surface	04.04.06～ 04.06.13 04.06.26～ 04.08.30 04.09.26～ 04.11.18	英国(ノリッ ジ、ハリファ クス、ノッ ティンガム)	Sainsbury Centre for Visual Arts Banufield Museum Castle Museum	The Surrey Institute of Art and Design, University College	イギリス7名、日本7名のテキスタイルアーティストのコラボレーション。展覧会と同時にアーティスト・イン・レジデンス、ワークショップ、レクチャーも開催
14	A Secret History of Clay: Gauguin to Gormley	04.05.28～ 04.08.22	英国(リヴァ プール)	Tate Liverpool	Tate Liverpool	20世紀から現在に至るまで、粘土を用いてきた作家を時代別にゴッガンからゴームリーまで紹介するもので、日本からは、金子潤、白髪一男、八木一夫、中村錦平等が選出された
15	Noguchi Rika	04.06.04～ 04.07.18	英国(バーミ ンガム)	Ikon Gallery	Ikon Gallery	写真家・野口里佳のヨーロッパにおける初の個展。「潜ル人」、「ロケットの丘」、「マイナスの世界のこと」を展示
16	Liverpool Biennial: International Exhibition	04.09.18～ 04.11.28	英国(リヴァ プール)	TATE Liverpools 他	Liverpool Biennial of contemporary art Ltd.	第3回を迎える英国で唯一の国際展であるリヴァプールビエンナーレに村上隆を招待

	事業名	期間	国(都市)	会場	助成団体	事業内容
17	Manga - from Hokusai to Dragonball	04.09.04～ 05.01.09	スウェーデン (ストックホルム)	The Museum of Far Eastern Antiquities	The Museum of Far Eastern Antiquities	スウェーデンにて人気がでている日本のマンガを、その歴史的な背景から現代にいたるまで紹介する展覧会。北斎、絵巻などの歴史的な背景と劇画、アクションマンガ、少女漫画などのジャンルからドラゴンボール、手塚治虫などの作家を紹介した
18	con - con: constructed connections	04.05.08～ 05.03.04	ドイツ(ベルリン)	シュプレー川 沿い	Stadtkunstprojekte e.v.	ベルリンの中心と同縁、工業地域と居住地域を結びつけるシュプレー川に沿って、7つのパブリックアートが計画された。山本理顕(建築家) + Mischa Kuball がコラボレーションにより、「光の橋」を制作した
19	Autonomy and political acting- about the model function of co-operative structures in Japanese contemporary art	04.07.09～ 04.09.26	ドイツ(ヴァイマル)	ACC Galerie Weimar	ACC Galerie Weimar	アーティストによるインディペンデント活動や新しいネットワークのあり方を提示し、常にアートと政治・社会との関係を模索している革新的なプロジェクト。コマンドN(中村政人)、ビデオ・アートセンター東京(河合政之)等が参加
20	Yoshitomo Nara and Hiroshi Sugito Over the Rainbow	04.11.11～ 05.02.13 05.03.12～ 05.05.29	ドイツ(ミュンヘン、 デュッセルドルフ)	Pinakothek der Moderne k21 Kunstsammlung Nordrhein- Westfalen	Pinakothek der Moderne k21 Kunstsammlung Nordrhein- Westfalen	日本の現代アートを代表する奈良美智及び杉戸洋の展覧会。2004年夏にウィーンのアーティスト・イン・レジデンスに招待される奈良と杉戸の作品を紹介
21	Japan in Arles 2004	04.07.08～ 05.09.19	フランス(アルル)	Rencontres d'Arles 2004	Rencontres Internationales de la Photographie	35年の歴史を持つ国際写真展であるアルル写真フェスティバルにおいて、本年は日本を重点国として取り上げ、木村伊兵衛、川内倫子、金村修、松江泰治の4名の作品を紹介
22	Japan- Poland:Young Architecture 1994-2004	04.11.29～ 05.01.31	ポーランド (クラクフ)	THE CENTER OF JAPANESE ART & TECHNOLOGY	THE CENTER OF JAPANESE ART AND TECHINOLOGY "MANGGHA"	日本の若手建築家10名とポーランドの若手建築家10名によるそれぞれの国の建築を紹介。日本からは隈研吾、坂茂、妹島和世、渡辺真理などの建築家が、写真パネルや映像で作品を紹介

## 造形美術事業費

	事業名	期間	国(都市)	会場	助成団体	事業内容
23	Masaaki Nishi exhibition in Riga Re:Baltic	04.06.02～ 05.06.26	ラトビア(リガ)	The Artist's Union of Latvia gallery	The Center for Art Management and Information - MMIC	リガ国際彫刻展クアトロエンナーレ開催を機に、前回のクアトロエンナーレのグランプリ受賞者である西雅秋の個展を行なった。同国際彫刻展は30年以上の歴史を有する
24	Japanese Contemporary Art	04.12.14～ 05.02.01	イラン(テヘラン)	Tehran Museum of Contemporary Art	Tehran Museum of Contemporary Art	テヘラン現代美術館では、日本、中国、インドなどアジアの美術を紹介する計画を持っており、その第1弾としてヒグマ春夫など日本の現代作家5名を紹介する展覧会を開催した

### 2. 催し等事業費 (7)国内展 (助成)

海外の優れた美術・文化のなかで、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会を国内関係者と共催して実施する。  
合計額 8,806,920円

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
1	孤独な惑星	水戸市	04.04.10～ 04.06.06	財団法人水戸市芸術振興財団	米国、オランダ、英国、イスラエルからの5作家と、会田誠、川内倫子など日本の5作家による現代美術のグループ展。各作家が人間の不完全性を表現することにより、地球上(孤独な惑星)に台頭している民族主義、原理主義の背後にある、純粋さを求めるが故の不寛容性とは異なる視点を提示した
2	アフリカのストリートアート展	川崎市	04.04.24～ 04.07.11	川崎市岡本太郎美術館	コートジボワール、ガーナ、セネガルを中心とした西アフリカや南アフリカのストリートグラフィック、ストリートファッション、生活雑貨など約390点を紹介する展覧会。写真や音楽、映像を用い、体験コーナーを設けるなど、現地の生活の様子が体感できる
3	エンプティ・ガーデン 展 II	23区	04.04.24～ 04.09.26	ワタリウム美術館	スイス、英国、フランスおよび日本の各作家計4名のインスタレーション作品による展覧会。「ガーデン(庭)」という馴染みのある言葉をキーワードに、一般的に難解とされている現代美術をより身近なものとして紹介
4	「東京写真月間2004」-「アジアの写真家たち-1. バングラデシュ」	23区	04.05.18～ 05.06.17	社団法人日本写真協会	6月1日の写真月間にあわせて行われる展覧会のひとつで、日本で紹介されることの少ないバングラデシュの生活や文化を写真で紹介する。バングラデシュを代表する写真家であるシャイダル・アラムの作品も紹介

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
5	「藍と暮らす人々 トン族 太陽と精霊の布」展	千葉市	04.07.13～ 05.08.29	千葉市美術館	中国南部から北タイの地域に暮らす少数民族であるトン族の作る染色品230点を展示する。出品作品は全てタイ在住の染色家瀧澤久仁子氏のコレクションからの選択した。千葉市美術館での展覧会後、宮城県立美術館に巡回
6	ナデジダ・オレック・リャホヴァ展	横浜市	04.07.17～ 04.08.15	リャホヴァ展実行委員会	ブルガリアの女性現代美術作家ナデジダ・オレック・リャホヴァの日本初の個展。自分の顔型を使い、アイスクリームや果物という身近な素材を用いたオブジェとデジタル出力プリントを組み合わせたインスタレーションを制作
7	オーストラリアの現代作家展「世界は歪んでいる-Supernatural Artificial」	23区	04.07.17～ 04.08.29	東京都写真美術館	オーストラリアのニューメディア、メディアアートの分野の現代作家7名を紹介。写真をベースにしたメディアの人工的な偽造がコンセプト。不思議な超自然の世界を作り上げ、人間の様々な心理的要素を組み込んで物語的に展開した
8	金沢21世紀美術館開館記念展「21世紀の出会い」	金沢市	04.10.09～ 05.03.21	財団法人金沢芸術創造財団	美術における多様な作品と市民、アーティストと市民、異なるジャンル同士、過去と現在、また鑑賞者同士など、様々な出会いを生み出すことを目的とした展覧会。モネやセザンヌなどの絵画から、ダグ・エイケンらの新規制作作品まで、288点の作品により構成
9	ジャン・ブルーヴェ展	鎌倉市	04.10.30～ 05.01.16	神奈川県立近代美術館（鎌倉）	フランスの建築家、デザイナー、ジャン・ブルーヴェ（1901～84）の個展。ブルーヴェは職人的なもの作りと機会による産業的な生産システムを結びつけたデザイン思想で知られ、技術的なデザイン、建築の流れの祖であるブルーヴェを総合的に紹介
10	スヴェレ・フェーン建築展	23区	04.12.12～ 05.01.20	スヴェレ・フェーン建築展実行委員会	現代ノルウェー建築を代表するスヴェレ・フェーンの作品を、パネルと模型によって紹介。ノルウェー建築博物館が主体となって制作した展覧会で、97年より世界各地を巡回している
11	北欧のスタイリッシュ・デザイン-フィンランドのアラビア窯	滋賀県その他	05.03.19～ 05.06.12 05.06.23～ 05.08.07 05.08.16～ 05.10.02	財団法人滋賀県陶芸の森 江別市セラミックアートセンター 三浦美術館	スカンジナビア陶芸をフィンランドのアラビア窯の創立時（1873年）から現在までの作品120点を通じて、紹介。また、フィンランドよりデザイナーを招へいし、信楽焼の特性を活かしたデザイン提案と自由制作を行なった

## 造形美術事業費

### 2. 催し等事業費 (8) 造形美術情報交流(催し)

日本および海外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 4,061,585円

	事業名	国	期間	事業内容
1	オルタナティブ ス2004	韓国 中国（香港、 台湾を含む） 日本 インドネシア シンガポール タイ フィリピン ベトナム マレーシア インド スリランカ パキスタン バングラデ シュ オーストラリ ア	04.04.01～ 04.08.31	アジア16カ国・地域のアートスペース約170件を掲載したガイドブック作成

### 2. 催し等事業費 (9) 「愛・地球博」途上国支援事業

愛知万博に参加する一部の途上国が行なう展示事業の経費の一部を支援する。

合計額 26,138,960円

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
1	展示責任者旅費 助成	名古屋	05.03.25～ 05.09.25	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	「愛・地球博」に参加する後発開発途上国の展示事業に関し、展示準備のため来日する各国1名分の旅費を助成

### 3. 催し等事業費（トリエンナーレ） (1) 国際展

合計額 299,364,169円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	準備経費	全世界区分困 難	04.04.01～ 05.03.31	横浜市 NHK 朝日新聞社	平成17年度の「第2回横浜トリエンナーレ」開催に向け、準備業務を実施。本年度は、出品作家の選考作業を実施するほか、会場運営計画の策定、国内外における広報活動、プレ・イベントの実施、動員対策の検討、協賛依頼活動等を中心に行なった

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 舞台芸術事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) グループ招へい（指導者・専門家）
- (2) 内田奨学金フェローシップ

### 2. 催し等事業費

- (1) 海外公演
- (2) 日本文化紹介派遣
- (3) 海外公演（助成）
- (4) 舞台芸術紹介日米共同事業
- (5) 日本文化紹介派遣（助成）
- (6) 国際舞台芸術共同制作
- (7) 在外日本文化専門家（助成）
- (8) 国内公演（助成）
- (9) 国内公演（AC）
- (10) 中東文化芸術紹介（舞台芸術）
- (11) 舞台芸術情報交流
- (12) 舞台芸術紹介日欧共同事業



## 舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費	(1) グループ招へい(指導者・専門家)
------------	----------------------

日本文化の特定分野に共通の関心を有する指導者・専門家をグループで招へいし、研修・視察・関係者との意見交換の機会を提供する。

合計額 3,958,996円

	グループ名	国	人数	期間	事業内容
1	韓国舞台芸術専門家	韓国	5	04.08.27～ 04.09.07	内外の舞台芸術関係者が集う「芸術見本市2004東京」の開催に併せ、韓国の舞台芸術専門家（ディレクター、プロデューサー等）5名を日本に招へい。今後の共同事業に向けたネットワーク作りを念頭に、日本の舞台芸術諸機関の視察および関係者との意見交換を実施
2	国際交流児童青少年演劇フェスティバル 国際シンポジウム	オーストラリア カナダ 米国 英国	1 1 1 1	04.07.24～ 04.07.24	2004年7月17日から25日にかけて港区5つの劇場で、カナダ、オーストラリア、日本の青少年児童演劇を一堂に紹介する「国際交流児童青少年演劇フェスティバル」が開催された。その関連事業として、カナダ、オーストラリア、米国、日本4カ国の専門家をパネリストに向かえ、児童青少年演劇に関する各国の実態報告、劇作における課題、今後の発展等についてシンポジウムを実施

1. 人物交流事業費	(2) 内田奨学金フェローシップ
------------	------------------

米国、欧州など外国において将来にわたり活躍が期待される若手音楽家を招へいし、わが国音楽関係者との交流や共演、共同制作に従事する機会を提供する。本事業は、故内田元享氏の寄附金による運用益等にて実施される、冠寄附特別事業。

合計額 3,126,386円

	氏名	現職	国	期間	受入先	事業内容
1	NETTI, Giorgio	作曲家	イタリア	04.10.28～ 04.12.22	湯浅 譲二（作曲家）	日欧文化にみるコンプレックスサウンドについて
2	MARTIN, Phillip, Neil	作曲家	英国	05.03.23～ 05.06.22	明治学院大学	現代音楽作曲家。雅楽の歴史・構造を研究

2. 催し等事業費 (1)海外公演

わが国の舞台芸術団体による公演が相対的に少ない地域（主としてODA対象国）に対し、事業を企画し、舞台芸術団体の派遣を行なう。

合計額 108,201,707円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	韓国ロードク ラブフェス ティバル	韓国	ソウル	ホンデ地区一帯 の路上（特設野 外テント）、ク ラブ、ライブハ ウス、ギャラ リー等	05.03.25～ 05.03.25	ソウルで最も若者に注目されているホン デ地区において、現代日本の最先端ア ートとポップカルチャーによる若者を対象 とした交流事業を実施。音楽、映像、美 術、パフォーマンス等ジャンル複合型の イベントを開催し、現代日本の多様な最 先端カルチャーを紹介
2	日韓ポップス 公演（日韓友 情年スーパ ーライブ・イ ン・ソウル）	韓国	ソウル	オリンピック ホール	05.01.28～ 05.01.28	日韓友情年を記念し、在韓国日本大使館 および国際交流基金の主催にて、日本と 韓国の著名なポップス歌手等によるコン サートを実施。場所はソウルのオリ ンピックホール。出演はCHEMISTRY、 DA PUMP、Kiroro、リナ・パークほか
3	塩谷ユニット 中東ジャズ公 演	ギリシャ ヨルダン	アテネ	アシナイス	04.07.22	日本レバノンおよび日本ヨルダン国交樹 立50周年記念事業の一環として、塩谷ユ ニット（ピアノ、ベース、パーカッショ ン）による中東・ギリシャ公演を行なっ た。ビブロス、ジェラシでは中東で最 大規模の国際フェスティバル
			テッサロニ キ	ミロス	04.07.20	
		レバノン	アンマン	アルテミス （ジュラシュ）	04.07.26	
			ベイルート	フセイン文化セ ンター	04.07.28	
			ホテル・モン ロー	04.07.15		
			ビブロス・フェ スティバル	04.07.17		
4	中東和太鼓公 演	シリア ヨルダン	ダマスカス	フェアー・シア ター	04.07.27	シリア、レバノン、ヨルダン、エジプト の中東4カ国において、OSAKA打打打団 天鼓を派遣して和太鼓の公演を行なっ た。バールベック国際芸術祭（レバノ ン）、ジェラシ文化芸術フェスティバ ル（ヨルダン）、シタデルフェスティバ ル（エジプト）に参加した
			ジェラシ	北劇場	04.08.04	
			カラク	フォーラム	04.08.05	
		レバノン		アル・ハッサン 文化センター	04.08.07	
			バールベッ ク	ジュピター神殿	04.07.30～ 04.07.31	
			エジプト	カイロ	シタデル	
	アレクサン ドリア	サイド・ダル ウィーシュ劇場	04.08.12			

## 舞台芸術事業費

### 2. 催し等事業費 (2) 日本文化紹介派遣

日本国内の優れた学者、芸術家などによる講演、指導、デモンストレーション、小規模公演等を通じ、日本文化の紹介を行なうため、個人または少人数のグループ（10名以内）を数カ国あるいは1国内数都市に短期間巡回派遣する。  
合計額 387,963,319円

	氏名	現職	国	都市	会場	期間
1	山本光洋	パントマイム	韓国	ソウル 済州	ポストシアター 済州漢拏アートホール 小劇場 済州外国語高等学校	04.11.11～04.11.14
2	中村鴈治郎	歌舞伎役者	韓国	ソウル	在韓国大使館広報文化院	05.03.10
3	RIKKI	ミュージシャン	中国  モンゴル	北京  ウラン・バートル	民族文化宮大劇院 香農舎 香港広場南座四楼 「Rojam」 子供宮殿	04.10.27～04.11.02
4	INSPi	ミュージシャン	インドネシア	ジャカルタ ジョクジャカルタ ウジュン・パندان	テアトルクチール インドネシア芸術大学ホール マカッサル市内ハサヌディン・ホール(旧マヌンガル・ホール)	05.02.07～05.02.13
5	高垣信子 他	劇団風の子	インドネシア  東ティモール	ジャカルタ  アダンブア ディリノ	ジャカルタ日本文化センター  ロメイ劇場 ホテル・ティモール	05.03.18～05.03.25
6	新田昌弘 新田弘志	新田親子（津軽三味線）	タイ  フィリピン  ラオス	バンコク  マニラ  ビエンチャン	タイ文化センター小ホール  フィリピン文化センター  ラオス文化会館	04.10.23～04.11.02
7	斎藤通夫	和太鼓（連響風組）	ベトナム	ハノイ	ハノイ・オペラハウス	04.09.28
8	大藏千太郎 他	大蔵流狂言師	マレーシア	クアラルンプール		04.09.01～04.09.03
9	高田みどり 新井弘順	打楽器奏者 声明	インド	コルカタ  チェンナイ	ラビンドラ・サダン 劇場 シバガミ・ペタチ劇場	04.11.22～04.11.25

	氏名	現職	国	都市	会場	期間
10	中村京蔵 他	歌舞伎役者	オーストラリア	シドニー ウェリントン	シドニー文化センター 新ギャラリー ウェリントン・タウン・ホール アイ ロット・シアター グレートホール Centennial Theatre	04.08.16~04.08.28
11	金刺敬大 金刺凌大 金刺由大 小濱明人	は・や・と	ソロモン パプアニュー ギニア フィジー	ポートモレス ビー スバ	カルチュラル・ビ レッジ 大使公邸 クラウン・プラザホ テル スバ市民センター	04.10.12~04.10.18
12	富竹十九大夫 竹本津駒大夫 富澤富助 他	文楽義太夫	カナダ	ガティノー モントリオール トロント バンクーバー	ガティノー市カナダ 文明博物館内シア ター モントリオール植物 園ヘンリー・トイ シャー講堂 トロント大学イザベ ル・ベイダー劇場 ロブソン・スクエア (UBCダウンタウン キャンパス)	04.12.03~04.12.10
13	Ajo 西はじめ	異端侍	米国	ニューオーリ ンズ ヒューストン デンバー マイアミ	コンテンポラリー・ アーツセンター ホビーセンター ハーマンパーク日本 庭園 コロラド大学デン バー校内キングセン ター・パフォーミン グアーツ・コンサー トホール フロリダ国際大学音 楽学部コンサート ホール 野外特設ステージ	04.11.15~04.11.26
14	平沼仁一	小太郎	キューバ ドミニカ共和 国 バルバドス	ハバナ サントドミン ゴ ブリッジタウ ン	アマデオ・ロルダン 劇場大ホール カサ・サンパブロ バルバドス中央銀行 ホール	04.11.20~04.12.02

舞台芸術事業費

	氏名	現職	国	都市	会場	期間
15	林田博幸 他	Zi-pang	グアテマラ	アンティグア	中央公園特設屋外劇場 ラ・レコレクション 教会遺跡特設屋外劇場	05.02.06~05.02.23
			エクアドル	キト	エクアドル文化会館 国立劇場	
			コロンビア	グアヤキル カリ	芸術センター劇場 ホルヘ・イサックス 劇場	
			ボゴタ	ボゴタ市立ホルヘ・ エリエセル・ガイタ ン劇場	コープバンカ文化セ ンター	
16	小松亮太 他	小松亮太&オル ケスタ・ティピ カ	アルゼンチン	ブエノス・ア イレス	アテネオ劇場 アバスト・プラサ・ ホテル	05.02.18~05.03.05
			パラグアイ	アスンシオン	パラグアイ日本 人 造りセンター	
			ペルー	リマ	ビリヤカントリーク ラブ	
			ブラジル	サン・パウロ	日秘劇場 セスキ・ヴィラ・マ リアーナ セスキ・ピラシカバ セスキ・カンピナス	
				リオ・デ・ジャ ネイロ	サーラ・セシリア・ メイレーレス	
17	五條雅之助 他	五條流舞踊家	イタリア	ローマ	サラ・シノポーリ アリギエーリ劇場	05.03.09~05.03.23
			オーストリア	ラヴェンナ ウィーン	タンツクウォー ター・ウィーン	
				インスブルッ ク	コンGRES・インス ブルック	
			ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	
			スロベニア	ベルリン リュブリャナ	東アジア美術館 ツァンカリエフ・ ドーム	
18	西川箕之助 他2名	日本舞踊	英国 フランス	ロンドン パリ	在英国大使館ホール パリ日本文化会館 在フランス大使館広 報文化センター 経済開発協力機構政 府代表部新館	05.02.15~05.02.18

	氏名	現職	国	都市	会場	期間
19	結城孫三郎 他	江戸糸あやつり人形結城座	ギリシャ デンマーク セルビア・モンテネグロ リトアニア	コペンハーゲン ベオグラード ビリニュス	キルキス市コンフェレンス・センター デンマーク国立博物館内ホール ベオグラード国立劇場小ホール リトアニア国立人形劇場「レレ」	04.09.25～04.10.06
20	上妻宏光 他	上妻宏光グループ	スペイン フランス  ベルギー ポルトガル ルクセンブルグ	バルセロナ マルセイユ  ブリュッセル シントラ ルクセンブルグ	ラウディトリ サル・ジノ・フランセスカティ（コンセルヴァトワール・アネックス） オーディトリウム・ドゥ・パサージュ オルガ・カダヴァル文化センター コンセルヴァトワール・オーディトリウム	05.01.12～05.01.21
21	大倉正之助 他	大倉流太鼓奏者	ドイツ	ベルリン	ベルリン国際映画祭 メイン会場広場	05.02.18
22	竹本津駒大夫 他	財団法人音楽協会	フィンランド ウクライナ ルーマニア	ヘルシンキ タンペレ キエフ ブカレスト	アレクサンドリンスキー劇場 タンペレ・ホール イワン・フランコ記念国立劇場 ブランドラ劇場	05.01.28～05.02.04
23	宮沢和史 他	MIYAZAWA SICK BAND	フランス ブルガリア ポーランド  ロシア	パリ ソフィア ヴロツラフ ブシェミシル  モスクワ	パリ日本文化会館 国立文化宮殿 インバルトホール ブシェミシル市体育館 モスクワ芸術座 クラブB2	05.01.28～05.02.10
24	松田惺山 他	鬼太鼓座	ベルギー ルクセンブルク  クロアチア チェコ ハンガリー	ブリュッセル ルクセンブルグ  ザグレブ ブラハ ブダペスト	オーディトリウム・ドゥ・パサージュ コンセルヴァトワール・オーディトリウム リエカ市文化ホール リシンスキーホール ラテルナ・マギカ ミレナリシュー（テアトラム）	05.01.19～05.01.31

舞台芸術事業費

	氏名	現職	国	都市	会場	期間
25	高橋竹童 よなは徹	津軽三味線奏者	ウズベキスタン カザフスタン	タシケント アスタナ アルマティ	ナボイ劇場、タシケント音楽院 カザフ国立オペラ・バレエ劇場 カザフ国立フィルハーモニー	04.09.29~04.10.05
26	八木美知依 野口貴子 磯貝真紀 高橋弘子 仲野円香 角野由佳 Paulownia	八木美知依& Paulownia Crush (箏アンサンブル)	ロシア	ハバロフスク イルクーツク ウラジヴォストク ナホトカ ユジノサハリンスク	フィルハーモニー・コンサートホール ドラマ劇場 アンダーグラウンド劇場 船員文化宮殿 アクチャープリ	04.10.26~04.11.04
27	松村公彦 他	和太鼓「松村組」	アラブ首長国連邦 オマーン カタール	アブダビ マスカット ドーハ	文化財団オーデトリウム アルプスタン・バンス・ホテル内オマーンオーデトリウム インターコンチネンタル・ドーハ内仮設テント	05.03.25~05.03.31
28	松井彬 橋岡佐喜男 長田驍	能楽師	イエメン イラン オマーン カタール	サナア テヘラン マスカット ドーハ	サナア文化センター 野外特設会場 ホナル文化センター グランド・ハイアット屋外中庭 インターコンチネンタル・ドーハ アル・ワジュバ・ホール	05.01.27~05.02.06
29	レナード衛藤 他	レナード衛藤&レオプロジェクトアンサンブル	クウェート バーレーン マダガスカル 南アフリカ	クウェート マナーマ アンタナナリボ ヨハネスバーグ ケープ・タウン	アブドラ・アジズ・フセイン劇場 アラッドフォート フランス・アルベール・カミュ文化センター ギャラガー・エステート会場 アーツ・ケープ会場	04.11.07~04.11.21

	氏名	現職	国	都市	会場	期間
30	中村達也 他	中村達也ジャパンジャズユニット	トルコ  モロッコ  セネガル	アンカラ  イスタンブール ラバト カサブランカ  ダカール  サン・ルイ	土日基金文化センター大ホール ジャズ喫茶バピロン ユルドゥズ工科大学 モハメッド5世劇場 マアリフ・モハメド・ゼフザフ文化施設 ダニエルソラノ国立劇場 サンゴール文化センター ケ・デ・ザール劇場 中東工科大学文化センター大ホール	04.11.18~04.12.05
31	玉城節子 他	沖縄舞踊	エジプト スーダン ウガンダ	カイロ ハルツーム カンパラ		05.02.28~05.03.05

2. 催し等事業費 (3) 海外公演 (助成)

海外において優れた舞台芸術公演を行なう日本の舞台芸術団体に対し、経費の一部を助成する。

合計額 73,354,915円

	事業名	期間	国	都市	助成団体	事業内容
1	ミュージカル「つばめ」韓国公演	04.05.08~04.05.09 04.05.14 04.05.11	韓国	ソウル  光州 釜山	わらび座	演劇。 400年前の朝鮮通信使の歴史的事実を描いた、日韓交流の記念碑的作品「つばめ」を上演。ジェームス三木作
2	劇団態変ソウル公演2004	04.09.29~04.10.03	韓国	ソウル	劇団態変	演劇(身体表現)。 仲間を探すため隔離収容施設から脱走した少女の旅を描いた「碧天彷徨」を上演。美術、音楽、映像を駆使した多角的な舞台。作・演出、金満里
3	ソウル・ロンドン・ダンスアンブレラフェスティバルツアー	04.10.13 04.10.19~04.10.20	韓国 英国	ソウル ロンドン	パティック	現代舞踊。 ダンスカンパニーBATIKによる公演。作品は黒田育世振付「SIDE B」(バニョレ国際振付賞横浜プラットフォームナショナル協議員賞、トヨタ・コレオグラフィー・アワード受賞)。イギリス最大のコンテンポラリーダンスフェスティバル、ダンス・アンブレラからの招へい公演



## 舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	助成団体	事業内容
4	第2回日中友好 合作現代音楽祭 in 東京・北京 2004	04.10.06～ 04.10.10	中国	北京	芥川也寸志メモ リアルオーケス トラ・ニッポニ カ	クラシック音楽+フェスティバル。 第2回日中友好合作現代音楽祭。 曲目は石井真木の「アフロ・コン チェルト」ほか日本と中国を代表 する作曲家の作品を演奏
5	閑能会中国能公 演	04.10.25	中国	天津	閑能会	古典芸能（能）。 能公演と解説を実施。演目は「高 砂」「熊坂」「羽衣」。シテは関根祥 六ほか
6	こまつ座七十三 回公演『父と暮 せば』香港公演	04.12.17～ 04.12.18	中国	香港	株式会社こまつ 座	現代演劇。 原爆投下から三年後の広島で暮ら す娘と父の心の対話を描いた、こ まつ座の代表作「父と暮らせば」 (井上ひさし作)の香港公演。香 港アーツセンターで上演
7	流山児★事務所 国際交流公演流 山児★歌舞伎 『盟三五大切』	05.01.20～ 05.01.23 05.02.09～ 05.02.10 05.02.02～ 05.02.03 05.01.27～ 05.01.28	中国 ベラルーシ ロシア イラン	北京 ミンスク モスクワ テヘラン	流山児★事務所	演劇。 鶴屋南北作『盟三五大切』の現代 版。イランの第23回ファジル国際 演劇祭、ウクライナの実験演劇 ショーケースほか、ゲラルーシ、 米国で公演
8	DA・Mインド ネシア公演イン アートサミット IV	04.09.18～ 04.09.19	インドネシア	ジャカルタ	劇団DA・M	演劇。 身体性を強調した即興演劇 「ARUKU/ Walking」の上演を行 なった。第4回インドネシア・ア ート・サミット招へい公演。申請者 が実施している「アジア・ミーツ・ アジア」におけるインドネシア 劇団の招へいが交流の契機となっ た
9	アジアマイムク リエイション 2004<タイ公演>	04.07.09～ 04.07.11	タイ	バンコク	アジアマイムク リエイション実 行委員会	パントマイム。 日本とタイのパントマイムアー ティストによるオムニバス形式の 合同公演をした。「第7回パントマ イムINバンコク」に参加。劇場の ほか、ろう学校でも公演を開催し た
10	新宿梁山泊フィ リピン公演『楽 屋』～流れ去る ものはやがてな つかしき～	05.02.25～ 05.02.26	フィリピン	マンダラーヨ ン	新宿梁山泊	演劇。 『楽屋』（演出 金守珍）のフィリ ピン公演。87年旗揚げ以来積極的 に海外公演を実践してきた劇団の 初の東南アジア公演。日比友好祭 参加

	事業名	期間	国	都市	助成団体	事業内容
11	人形劇『鳥に聞かされた話』	05.03.11～ 05.03.13 05.03.15～ 05.03.17	フィリピン マレーシア	マニラ クアラルン プール	有限会社ひとみ座	人形劇。 東南アジアの熱帯雨林を題材に人と自然の共生をテーマにした「鳥に聞かされた話」(作・演出 遠藤啄郎)の東南アジア4カ国公演。 各国の俳優による台詞の収録、人形俳優も参加
12	日印伝統芸能交流プロジェクト第1回「世界無形文化遺産の軌跡」	05.01.04 04.12.27～ 05.01.01	インド	カリカット トリヴァンド ラム	上方舞友の会	古典芸能。 能楽はシテ観世榮夫、ワキ宝生閑による「景清」。上方舞は吉村桂充による「八島」、「雪」。能とインド最古の演劇クーリヤッタム、および上方舞とクーリヤッタムから派生したナンギャール・クートゥとの交流、「日本の音」をテーマとした講演など、ケララ州5都市で開催
13	ちんどん通信社・サウスアメリカ公演	04.05.14～ 04.05.16	米国	ニューオリンズ	株式会社スタジオオファルス	大衆芸能。 ちんどん通信社の米国公演。 ニューオリンズでは総領事館主催の「日本・ルイジアナ祭り」に参加する他、現地の教育機関でのワークショップや地元音楽家とも共演。デトロイトは日本商工会による招へい公演
14	ROVO 海外ツアー2004	04.06.07 04.06.09 04.06.03 04.05.29～ 04.05.31 04.06.02 04.06.04	米国 オランダ ドイツ ベルギー	ニューヨーク サンフランシスコ アムステルダム メールス ケルン ブリュッセル	ロヴォ	現代音楽。 ROVOによるライブ演奏とコンピュータ・グラフィックス映像を組み合わせた公演。メールス・ジャズ・フェスティバルに参加したほか、西欧、東欧、米国にも巡回
15	琉球舞踊と組踊アメリカ公演	04.9.25～ 04.09.26 04.9.28～ 04.10.03	米国	ロスアンゼルス ニューヨーク	沖縄文化民間交流協会	沖縄舞踊。 日米交流150周年を記念して、米国3都市において、琉球舞踊と組踊りの公演を行なった
16	エレファント・バニッシュ	04.10.20～ 04.10.23	米国	アナーバー	財団法人せたがや文化財団	演劇。 昨年世田谷パブリックシアターとコンプリシテ(英国)によって共同制作された、サイモン・マクバーニーの演出、日本人キャストによる作品をU.C.L.A.にて上演

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	助成団体	事業内容
17	ザ・ベスト・オブ 能・狂言 2004	04.12.03 04.12.05 04.12.07 04.12.09～ 04.12.10 04.12.12 04.12.14	米国	シカゴ サンアントニ オ ボストン ニューヨーク  アトランタ ニューオリン ズ	社団法人日本能 楽会	能楽。 梅若六郎丈を団長に、日本能楽会、 能楽協会による公演。日米交流 150周年を記念して、「アメリカ人 が初めて観た能」を文献に基づい て再現。学校等でのレクチャー公 演も積極的に実施
18	セルバンティー ノ芸術祭	04.10.14 04.10.16 04.10.18 04.10.20 04.10.22  04.10.24 04.10.26	メキシコ	レイノサ タンピコ マタモロス ヌエボラレド シブダッド ヴィクトリア グアナファト メキシコシ ティー	和太鼓 倭	和太鼓。 倭による南米公演。メキシコのセ ルバンティーノ芸術祭に参加
19	劇団1980『素劇 あ、東京行進 曲』	04.12.02  04.11.06 04.11.07 04.11.09 04.11.11 04.11.14 04.11.17、21 04.11.19 04.11.27  04.11.24	パラグアイ  ブラジル	イグアス移住 地 マナウス ベレン ト-メアス ブラジリア グアタパラ サンパウロ イビウーナ リオ・デ・ジャ ネイロ アリアンサ	劇団1980	演劇。 劇団1980によるブラジル、パラグ アイ11都市公演を行なった。「市 制450周年」(サンパウロ)、「日本 人移住75周年」(マナウス、ベレン、 トメアス)の記念事業に参加した。 「素劇 ああ東京行進曲」を演出 した関矢幸雄氏は第一回の読売演 劇大賞の優秀賞(演出家賞)を受 賞
20	「ハムレットク ローン」南米ツ アー2004	04.07.16～ 04.07.18  04.07.21	ブラジル	サン・ジョ ゼ・ド・リオ・ プレト サン・パウロ	株式会社ティー ファクトリー	演劇。 ティーファクトリーのハムレッ ト・クローンが、03年のドイツ公 演での評価により、リオ・プレト 国際演劇祭から招待を受けブラジ ル3都市にて巡回公演を行なった
21	瀬木貴将ネイ チャーワールド ボリビアツアー	04.09.09 04.09.11 04.09.12～ 04.09.13 04.09.13	ボリビア	ポトシ コチャバンバ ラパス  エルアルト	瀬木貴将ネイ チャーワールド ボリビアツアー 実行委員会	民俗音楽+ジャズ。 サンポーニャ、ケーニャの瀬木貴 将を中心に、ピアノ、ギター、ベー スなどを加えたオリジナルバンド を編成し、ボリビア5都市にて公 演した。ボリビア最大のラパス・ ジャズフェスティバル、スクレ文 化フェスティバルには日本人バン ドとして初参加となった

	事業名	期間	国	都市	助成団体	事業内容
22	ジャズ・イン・ ジャパン 5	04.05.28 04.06.05  04.06.01～ 04.06.05	イタリア ドイツ  フランス	ローマ デュッセルド ルフ パリ	ジャズ・イン・ ジャパン実行委 員会	ジャズ。 2000年から毎年欧州で開催されて きたジャズ・シリーズの第5弾。 今回は①佐藤通弘グループ②久米 大作ユニット③塩谷哲&大儀見元 ユニット+Julien Lourau④山下 洋輔グループによる公演。パリ、 ローマ、ケルンの日本文化会館の ほか、同時期に開催されるジャズ フェスティバルへ参加
23	日本舞踊イギリ ス・フランス公 演	05.03.14 05.03.11～ 05.03.12 05.03.17	英国  フランス	エジンバラ ロンドン  パリ		日本舞踊。 演目は素踊り「扇櫻」、古典舞踊「常 磐津-京人形」、創作長唄「赤穂の 風」
24	2004年オーケス トラ・アンサン ブル金沢 ヨー ロッパ公演	04.04.24 04.04.26 04.05.05 04.05.07 04.04.30  04.05.01 04.05.03 04.05.04 04.04.29 04.04.25 04.04.27 04.04.22	オーストリア  ドイツ フランス  ベルギー ルクセンブル グ スロバキア チェコ ハンガリー	アイゼンシュ タット ウィーン ベルリン マグデブルク ストラスプー ル ナンシー ゲント ブリュッセル ルクセンブル グ ブラティスラ バ ブラハ ブタベスト	財団法人石川県 音楽文化振興事 業団	音楽。 金沢を本拠とする本格的なプロ・ オーケストラで海外公演の実績も 豊富な同団が、7年ぶりのヨーロッ パ公演を行ない、9カ国を訪問
25	コンテンポラ リー・パフォー マンス[青の風 ～Vent Vert～]	05.03.16 05.03.19	オーストリア フランス	インブルック パリ	ロンドン	民俗芸能（神楽）。 フランスのコンテンポラリーダン スの振付家スーザン・バージが石 見神楽（高津神楽社中）に振付け た新作のほか、伝統的な神楽を紹 介
26	観世流 能の会 オランダ・ベル ギーツアー	04.04.10 04.04.12 04.04.13 04.04.14 04.04.16 04.04.19 04.04.17	オランダ  ベルギー	アイントホー ヘン ハーグ ロッテルダム アムステル フェーン ブレ-ダ- デン・ボッ シュ アントワープ	株式会社 エク ス	伝統芸能。 観世流能の会（永島忠彦、観世喜 正ほか）による能・狂言公演。オ ランダで隔年で行なわれる「ワー ルド・ミュージック・シアター・ フェスティバル」において招へい 公演したほか、ベルギーを含む2 カ国7都市で公演

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	助成団体	事業内容
27	伶楽舎「キプリア国際フェスティバル」キプロス公演 日出る国から	04.09.23 04.09.24	キプロス	ニコシア リマソル	伶楽舎	音楽。 邦楽奏者による日本の現代音楽の紹介と普及に力を入れる伶楽舎が、キプロスで開催された国際フェスティバルに参加、雅楽やギリシャ人作曲家の作品を演奏した
28	歌舞伎舞踊公演	04.10.03～ 04.10.05	ギリシャ	アテネ	古典舞踊研究所	歌舞伎舞踊。 在ギリシャ大使館主催「日本月間」に招へい公演。97年公演助成。演目は「鶯娘」「操三番叟」「汐汲」
29	「民栄会」民謡コンサート	04.08.17 04.08.19 04.08.20	ギリシャ	ホケア アテネ エルムポリ	ふるさと民栄会	邦楽・民謡。 民栄会（吾妻栄二郎氏主宰）による、民謡、民舞（江差追分、新相馬節等）と邦楽器（三味線、太鼓、尺八、笛、胡弓等）による公演。「ギリシャ日本月間」に招へい
30	淡路人形浄瑠璃公演事業	04.10.07 04.10.09 04.10.11 04.10.13～ 04.10.14	ドイツ フランス	ケルン リール ロデーズ パリ	財団法人兵庫県国際交流協会	民俗芸能。 淡路人形浄瑠璃（重要無形民俗文化財）の公演、デモンストラーション、ワークショップを行なった。パリ日本文化会館のほか、欧州文化首都であるリール、兵庫県と友好関係のあるアヴェロン県にて実施。演目は「傾城阿波鳴門」「人形教室」「本朝廿四孝」「戎舞」
31	上島雪夫ダンスワークス欧州ツアー	04.12.04～ 04.12.05 04.12.14  04.12.11～ 04.12.12	ドイツ	デュッセルドルフ フランクフルト・アム・マイン アーヘン	上島雪夫&カンパニー	現代舞踊。 上島雪夫振付によるダンス作品の上演。ドイツのノルトライン・ウエストファーレン州で行われる「ピナ・バウシュ・フェスティバル」に参加
32	日本EU友好音楽公演「創造する伝統」インベルリン	05.01.07～ 05.01.12	ドイツ	ベルリン	日本EU友好音楽公演実行委員会	現代邦楽、舞楽。 ①声明、雅楽、舞楽、バレエ、小オーケストラによる石井真木作曲舞楽法会形式「声明交響Ⅱ」、②東京楽所、天台声明音律研究会による木戸敏郎演出「舞楽法会・天円地方」の上演。公演に合わせて、雅楽の装束等をデジタルプリントを使って紹介する「創造する伝統」展も実施
33	アヌシー 夏の芸術祭 能楽公演	04.08.12～ 04.08.13	フランス	アヌシー	アヌシー 夏の芸術祭 参加実行委員会	能楽。 シテ方金春流桜間眞理ほかによる能楽公演。アヌシー夏の芸術祭からの招へい公演。演目は「半部」「鞍馬天狗」

	事業名	期間	国	都市	助成団体	事業内容
34	トウキョウ・メ トロポリタン・ バレエ	04.11.28 04.12.03 04.12.04 04.12.01	スロバキア  チェコ	ブラティスラ バ コシツェ プレシヨフ ブルノ	ダンスワークス	舞踊。 ダンスワークスを主宰する振付家 の野坂公夫が、スロバキアのアー ティストの依頼により、スロバキ ア、チェコで両国から選抜された ダンサーによる公演を実施した
35	沖縄歌舞劇団 美 中東ツアー 2004	04.09.15～ 04.09.16 04.09.19 04.09.23～ 04.09.24	イエメン  ヨルダン レバノン	サナア  アンマン ベイルート	沖縄歌舞劇団 美	沖縄舞踊。 古典舞踊と創作舞踊・歌舞劇（脚 本・演出 幸喜良秀、振付 玉城 秀子）。日本ヨルダンおよび日本 レバノン国交樹立50周年記念事業
36	夜壺エジプト公 演	04.09.25～ 05.09.26	エジプト	カイロ	うずめ劇場	演劇。 ドイツ人演出家ペーター・ゲス ナーが北九州で主宰する劇団によ る『夜壺』（ホフマン原作）公演を 行なった。カイロ国際実験演劇祭 参加

2. 催し等事業費 (4) 舞台芸術紹介日米共同事業

日本の優れた舞台芸術作品を紹介することに尽力する、米国の非営利団体のみを申請資格者として米国内で公募を行ない、全体予算の半額を上限として助成する。

合計額 33,202,537円

	事業名	期間	都市	事業内容
1	A Sense of Time and Space	04.07.01～ 05.04.17	サンフランシ スコ	バレエ。 LINESバレエが、佐藤聡明に作曲を委嘱。Alonzo Kingが振付を行 ない、音楽と動きを通して、西洋と異なる東洋の時間と空間に対す る認識を顕在化
2	Multi-Media Dance Theater Collaboration with Akiko Kitamura and Leni-Basso Dance Company	04.09.01～ 04.09.30	フィラデル フィア	コンテンポラリーダンス。 レニ・バツの北村明子とGroup MotionのManfred Fischbeckが4 週間に渡るレジデンスを通して、新しいマルチメディアダンス作 品を共同制作
3	Music From Japan 30th Anniversary Festival	04.09.08～ 04.09.12	ニューヨー ク ワシントン DC パークレー	雅楽・伶楽。 Music From Japanの30周年記念事業として、芝祐靖率いる雅楽と 伶楽のアンサンブルによるコンサートと共に、木戸敏郎によるアジ アの楽器、日本の音楽に関する講演を実施

舞台芸術事業費

	事業名	期間	都市	事業内容
4	U.S. Tour of Akira Kasai's Pollen Revolution	04.09.09～ 04.10.20	アマースト アナーバー ミネアポリス シカゴ シアトル フィラデル フィア ロサンゼルス ポートランド	舞踏。 2002年春にNY初公演を果たした笠井勲の「花粉革命」を全米8都市にて全18公演を実施。また、一般を対象とした、レクチャーとワークショップ等の教育活動には800名以上が参加
5	Manzanar - A Celebration of Liberty	04.10.01～ 05.06.02	バークレー サンタクルス ロサンゼルス	現代演劇+オーケストラ。 Philip Gan Kotandaが、マンザナルを引き合いにしながら、米国の自由化の過程で起きた歴史的事実を戯曲化。これに、Kent Nagano率いるバークレーシンフォニーオーケストラが、Naomi Sekiya、Jean-Pascal Beintus、David Benoitの3氏に作曲を委嘱し、あわせて上演
6	Pappa Tarahumara Tour of Pennsylvania	04.10.03～ 04.10.15	ピッツバーグ リバーサイド アマースト	現代舞踊。 パパ・タラフマラが全米の3都市においてツアーを実施。フェスティバルに参加する形で小池博の代表作「船を見る」を上演するほか、大学での教育活動も実施
7	U.S./Japan Exchange Residencies Project	05.01.16～ 05.03.02	ニューヨーク フィラデル フィア ノースアダム ス	コンテンポラリーダンス。 日本から2名、米国から3名の振付家、ダンサーが参加して、日米の5都市においてレジデンシーを実施。その間は、共同制作の他、外部に向けたワークショップや公演も実施
8	RINKO-GUN in Yaneura (Attic)	05.02.01～ 05.02.14	ニューヨーク ピッツバーグ マイアミ ノースリッジ	現代演劇。 現代日本の社会問題となっている引きこもりを扱った燐光群の「屋根裏」の公演とレクチャー、デモンストレーションを実施
9	Midwest World Fest	05.02.06～ 05.03.10	スプリング フィールド ポートランド グランドラ ピッツ マスキーゴン ライマ シカゴ	邦楽。 Midwest World Festの一環として、バンブーオーケストラが中西部地域の5都市にてレジデンシーを実施。各都市では一般公演、学校公演、学生を対象としたワークショップ、アウトリーチ等の活動も実施

2. 催し等事業費 (5) 日本文化紹介派遣 (助成)

海外で短期間の日本文化紹介事業を行なう国内の学者・芸術家等の個人または少人数のグループに対して助成を行なう。  
合計額 104,496,129円

	氏名	現職	国	都市	期間
1	翁長洋子	翁長洋子箏曲院主宰	韓国	ソウル	04.06.21～04.06.27

	氏名	現職	国	都市	期間
2	三浦 基	青年団演出部演出家	韓国	密陽市	04.07.27~04.07.29
3	小野木豊昭	有限会社古典空間代表取締役	韓国	ソウル	04.09.21~04.09.25
4	西川古柳	八王子車人形 家元	韓国	ソウル	04.10.04~04.10.05
5	飯干貞夫	秋元神楽保存会 会長	韓国	ソウル	04.10.07~04.10.09
6	砂連尾理		韓国 チェコ	ソウル プラハ	04.10.13 04.10.07~04.10.08
7	織茂秀子		韓国	コジェ	04.11.12~04.1.13
8	鈴木巖	現代ギター音楽協会会長	中国	北京 西安 烏魯木齊 上海	04.06.16 04.06.20 04.06.24~04.06.25 04.06.29
9	浅沼亨年	八丈島民謡保存会会長	中国	黄山	04.10.02~04.10.07
10	はせみつこ	ウリボ・はせ・カンパニー主宰	中国	北京	04.10.26 04.10.29 04.10.28
11	池田美樹	劇団きらら代表	中国	上海	04.11.26~04.11.28
12	坂本公成	Monochrome Circus代表	中国	香港	05.01.12~05.03.05
13	勅使川原三郎	有限会社カラス代表取締役	中国	香港	05.02.20~05.02.23
14	長屋和哉	音楽家	モンゴル	ウラン・バートル カラコルム サインシャンド	04.04.29 04.05.01 04.04.28
15	五條	日本舞踊	インドネシア	ジョグジャカルタ	04.02.06~04.02.19
16	岩淵多喜子	振付家	インドネシア	ジャカルタ	04.07.14~04.07.17
17	高樹光一郎	プロデューサー	インドネシア	ジャカルタ	04.10.08~04.10.09
18	石川憲弘	邦楽アンサンブル昴代表	シンガポール	シンガポール	04.11.08~04.11.17
19	黒沢美香		タイ	バンコク	04.12.18~04.12.19
20	岸久		タイ マレーシア	チェンマイ コタ・キナバル クアラルン プール	05.02.14~05.02.15 05.02.11~05.02.12 05.02.17



# 舞台芸術事業費

	氏名	現職	国	都市	期間
21	田崎瑞博	音楽家	フィリピン	バタンガス マニラ ミンダナオ	04.11.19 04.11.20 04.11.21
22	山本東次郎		ブルネイ	バンドルスリ ブガワン	04.12.10~04.12.12
23	三瓶紀子		ベトナム	ハノイ	05.02.27~05.03.01
24	馬場順	社団法人伝統歌舞伎保存会事務局長	インド	デリー	04.08.06~04.08.19
25	溝上富夫	大阪外語語大学地域文化学科 ヒンディー語専攻代表教授	インド  モーリシャス	ニューデリー メーラト ハリドゥワール デーラ・ドゥン チャンディーガル ムンバイ (ボンベイ) フェニックス キュルピブ	04.09.04 04.09.06 04.09.08 04.09.11 04.09.13 04.09.16 04.09.20~04.09.21
26	守屋純子	ピアニスト	インド	デリー	04.11.08~04.11.11
27	桐谷夏子	劇団黒テント運営委員長俳優	インド	ニューデリー	04.12.26~04.12.31
28	蒔村由美子	有限会社ユー企画代表取締役	ネパール ブータン	カトマンズ ティンブ パロ	05.01.24~05.01.27 04.12.20~05.01.28 05.01.24
29	嶋崎靖	U-Stage主宰	オーストラリア	シドニー	04.08.27~04.08.30
30	森山正樹	和太鼓松村組制作	オーストラリア	ブリズベン	04.10.21~04.10.23
31	鈴木理恵子	ヴァイオリン演奏家	ニュージーランド	ハミルトン オークランド クライスト チャーチ ウェリントン	04.05.19 04.05.19~04.05.21 04.05.24 04.05.26~05.03.28
32	鈴木邦江		カナダ	モントリオール	05.03.10~05.03.13
33	上妻宏光	有限会社モンドラナミュージック	米国	ニューヨーク ロス・アン ジェルズ	04.08.27 04.09.03~04.09.04

	氏名	現職	国	都市	期間
34	菅原久仁義	音楽家	米国	バーバーヴィル リッチモンド	04.10.03 04.10.06~04.10.07
35	三笑亭茶楽	社団法人落語芸術協会理事	米国	ロサンゼルス サンフランシスコ ポートランド	04.11.10 04.11.13 04.11.15
36	藤間達也	日本舞踊家	米国	マイアミ	05.03.01~05.03.15
37	藤間勘七孝	ふじ舞踊芸術交流団代表	米国	アンカレジ	05.03.17~05.03.21
38	花柳美津木		米国	デンバー ボルダー	05.03.24~05.03.26 05.03.28
39	森本義晴	IVF大阪クリニック医院長	米国	ロサンゼルス パサデナ トーランス ハリウッド ヴェニス	05.03.16 05.03.17 05.03.18 05.03.19 05.03.20
40	桜井正毅	河野ギター製作所代表取締役	キューバ コロンビア	ハバナ ボゴタ	04.05.09 04.05.19~04.05.21
41	三村秀次郎	日本ラテンアメリカ文化交流協会	キューバ	ハバナ	04.10.02~04.10.04
42	森村あずさ	クバサルサ代表	キューバ メキシコ	ハバナ マタンサス バラデロ メキシコ	04.10.08~04.10.11 04.10.13~04.10.14 04.10.13 04.10.12 04.10.15~04.10.18
43	川上ミネ	ピアニスト	キューバ ブラジル アルゼンチン	ハバナ サン・パウロ ブエノス・アイレス	04.10.16~04.10.18 04.09.25 04.09.29~04.09.30
44	宮川久美	ピアニスト	グアテマラ	グアテマラ	04.08.11~04.08.13
45	藤井香織	ジャパン・アーツ	グアテマラ ホンジュラス ニカラグア パナマ エルサルバドル	グアテマラ アンティグア テグシガルバ マナグア グラナダ パナマ サンサルバドル サンタアナ	05.02.16~05.02.17 05.02.19~05.02.21 05.02.13~05.02.16 05.02.06~05.02.07 05.02.08~05.02.09 05.02.04~05.02.06 05.02.11~05.02.13 05.02.09~05.02.10

舞台芸術事業費

	氏名	現職	国	都市	期間
46	小林正高	有限会社みらいグループ	ジャマイカ	キングストン モンテゴ ベイ	04.07.26~04.07.27 04.07.28
47	小松一彦	指揮者	メキシコ	モレリア	04.11.13~04.11.16
48	中嶋夏		メキシコ	グアナフアト	05.02.14~05.03.05
49	梅田宏明	S20主宰	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	04.10.23
			ウルグアイ チリ	モンテビデオ バルパライーズ	04.10.14~04.10.21 04.10.28
			ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ	04.11.01
			イタリア	サン・パウロ ミラノ	04.11.03 04.09.10~04.09.11
			フランス	パレルモ	04.09.15~04.09.18
			ベルギー	パリ	04.09.23
				ブリュッセル	04.10.09~04.10.10
50	辰巳満次郎	社団法人宝生会	チリ	サンティアゴ	04.12.02、 04.12.04~04.12.05
				ピニャ・デル・マル	04.12.03
51	白河直子		チリ	サンティアゴ	05.01.22~05.01.23
52	田中公道	大阪芸術大学大学院 教授	パラグアイ ブラジル	アスンシオン モジー・ダス・クルーセス	04.09.01~04.09.07 04.08.22~04.08.28
53	尾坂秋三		ブラジル		04.04.01~05.03.31
54	藤田天山	財団法人都山流尺八楽会大師範	ブラジル	サン・パウロ リオ・デ・ジャネイロ	04.06.24~04.06.29 04.06.30~04.07.01
55	小池博史	パパ・タラフマラ代表	ブラジル	サンパウロ	04.07.02~04.07.05
56	ソガ直人	たいこ楽団ひのき屋代表	ブラジル	ポルト・アレグレ	04.07.29
				リオ・グランデ・ド・スル	04.07.30~04.08.05
57	小田幸久	川筋太鼓本部事務局	ブラジル		05.01.21
				ロンドリーナ	05.01.23~05.01.24
				プレジデンテ・プルデンテ	05.01.27~05.01.28
				リオ・デ・ジャネイロ	05.01.30

	氏名	現職	国	都市	期間
58	鈴木俊哉	有限会社エアリアル	ベネズエラ	ロス テクス カラカス バレンシア	04.07.12 04.07.14、04.07.17 04.07.15
59	雫境	リクルートメディアコミュニ ケーションズ・雫	ペルー	リマ ピウラ	04.04.01~05.03.31 04.04.01~05.03.31
60	宗孝夫	宗孝夫音楽事務所	ペルー	リマ	04.11.01~04.11.04
61	大野貴美子	Servcorp東京	イタリア	ローマ	04.07.02~04.07.03
62	生駒祐子	アコーディオン演奏家	イタリア ドイツ フランス	ローマ ベルリン レンヌ パリ	04.10.26~04.11.04 04.10.19~04.10.24 04.10.07~04.10.11 04.10.13~04.10.16
63	平田陽子クララ		イタリア	ローマ	04.12.09~04.12.14
64	小野さゆり	しの笛奏者	英国		04.04.01~05.03.31
65	野村誠	京都女子大学専任講師	英国  フランス	バーミンガム ブラックプー ル フィールド ハダース ロンドン リール パリ	04.05.24~04.06.01 04.06.02~04.06.06  04.06.07~04.06.23 04.06.25~04.06.27 04.07.01~04.07.04 04.05.03~04.05.23 04.07.05~04.07.08
66	中川勲	笛演奏家	英国 フィンランド	エディンバラ ヘルシンキ	04.09.02 04.08.30
67	源吾朗	有限会社カルチャーワークス	英国	ロンドン	04.10.15~04.10.19
68	柳井美加奈	宮城会大師範	オーストリア ドイツ ロシア	ウィーン ベルリン モスクワ	04.09.10 04.09.12 04.09.08
69	三橋貴風	みつはし企画 NOBLE有限 会社取締役	オーストリア ドイツ ロシア	ウィーン ケルン シュレヤン サンクト・ペ テルブルグ モスクワ コストロマ ルイビンスク ヤロスラヴリ	04.09.23 04.09.27 04.09.25 04.09.29  04.10.01~04.10.04 04.10.05 04.10.07 04.10.08
70	オトギノマキコ		オーストリア クロアチア	ウィーン ラビン	04.11.26~04.11.29 04.11.29~04.12.04

舞台芸術事業費

	氏名	現職	国	都市	期間
71	原向志	メトロ音楽事務所代表、メトロ国際交流協会会長代表、凌風書道会地方理事	オーストリア	ウィーン バーデン ヴィーナー ノイシュタット	05.03.30~05.03.31 05.04.01 05.04.02
72	早川たこ	日本伝統芸能研究会(JAPAS) 代表	ギリシャ	アテネ	04.07.04~04.07.05
73	丸山芳子	美術家	ギリシャ	ナクソス	04.08.22~04.09.02
74	神崎美乃	宗家神埼流家元	スイス ルクセンブルグ	チューリヒ ルクセンブルグ	04.10.24 04.10.26
75	伊藤弘之	作曲家	スイス	アーラウ	04.11.08~04.11.10
76	伊藤千枝子	珍しいキノコ舞踊団代表	スウェーデン	ストックホルム	04.08.01~04.08.12
77	津村禮次郎	観世流能楽師	スウェーデン	ストックホルム	04.08.08~04.08.09
78	秋田稔	財団法人日本太鼓連盟事業課長	スペイン	バルセロナ マドリード	04.09.27~04.09.28 04.09.23~04.09.25
79	森田純子	アルビレオ フルート カルテット	ドイツ  ポーランド	シュトゥット ガルト ドレスデン ポツダム ルートヴィヒ スブルグ クラクフ	04.11.02~04.11.03  04.11.04 04.11.05 04.10.31 04.11.08
80	今村能	国立音楽大学音楽部講師	ドイツ  リトアニア	オーバーハウ ゼン シュターデ ピリニウス	05.04.09  05.04.08 05.03.29~05.04.02
81	MERZBOW	音楽家	ドイツ	ベルリン	04.04.16~04.04.19
82	恩田正憲	大東町神楽連絡協議会会長	ドイツ	ミュンヘン	04.07.17~04.07.18
83	山口幾代	山口能装束研究所主幹	ドイツ	ライプツィヒ マイニンゲン	04.08.18~04.08.19 04.08.20~04.08.23
84	山本純ノ介	千葉大学文部科学教官助教授	ドイツ	ヴェルツブルク ベルリン ヴァイマール インゴルシュ タット	04.09.13~04.09.14  04.09.15~04.09.18 04.09.19~04.09.20 04.09.22~04.09.23

	氏名	現職	国	都市	期間
85	板倉康明	東京シンフォニエッタ音楽監督	ドイツ	シュレヤンケルン	04.09.24~04.09.25 04.09.29
86	多田葉子	u-shi	ドイツ	ケルン フランクフルト・アム・マイン	04.09.26~04.09.28 04.09.28~04.09.29
			フランス ポーランド	パリ クラクフ グダニスク コストヴィッツ	04.09.23~04.09.26 04.09.29~04.09.30 04.10.02 04.10.03
			リトアニア	ワルシャワ アンドレイコフ	04.10.04~04.10.05 04.10.01
			ロシア	ビリニュス サンクト・ペテルブルグ モスクワ	04.09.17~04.09.20 04.09.20~04.09.21 04.09.21~04.09.23
87	本田光洋	能楽師金春流	ドイツ	デュッセルドルフ	04.10.18~04.10.20
88	出口煌玲	音楽舎まほら代表	ドイツ	シュトゥットガルト	04.11.21~04.11.28
89	児玉麻里	作曲家・オルガニスト	フィンランド	カンカーンベトウルク ジャムサ タンペレ ハメーンリナ	04.08.15 04.08.17 04.08.20 04.08.22 04.08.24
90	黒田晋也		フィンランド	ヘルシンキ	05.02.27~05.02.28
91	佐藤康和	作曲家、打楽器奏者	フィンランド	ヘルシンキ	05.03.26~05.04.06
92	市川義久	音楽家	フランス	パリ ボルドー ラ・ロシェル	04.04.01~04.03.31 04.04.01~04.03.31 04.04.01~04.03.31
93	小鍛冶邦隆	東京芸術大学講師	フランス	パリ	04.04.23~04.04.24
94	岡本芳一	劇団百鬼どんどろ主宰	フランス	シャルルヴィール・メジェール	04.07.02~04.07.23
95	南忠信	七聲会代表	フランス	サンヴィクトール ティエール	04.07.08 04.07.09~04.07.11
96	内藤洋介		フランス	レンヌ パリ	04.10.07~04.10.09 04.10.12

舞台芸術事業費

	氏名	現職	国	都市	期間
97	田原順子		フランス	パリ バイヨン トゥールーズ	04.12.03~04.12.06 04.12.16~04.12.20 04.12.08~04.12.13 04.12.16~04.12.20 04.12.14
98	杏奈	振付家・舞踏家	フランス	アンギャン・レ・バン サン・トゥアン	05.01.20~05.01.21 05.01.28~05.02.06
99	上田真二	カザルス合奏団代表	ポルトガル	モンシッケ リスボン ポルト ヴィラ レアル シャーベス フィゲイラ ダ フォズ	04.06.27 04.06.30、04.07.03 04.07.01 04.07.04 04.07.05 04.07.07
100	和田啓	音楽家	ポルトガル ルーマニア	カスカイス ブカレスト	05.03.23~05.03.28 05.04.02~04.04.04
101	茂山七五三	茂山千五郎家	チェコ	プラハ ブルノ	04.06.18~04.06.28 04.06.30
102	織田準一	上野の森プラス	ハンガリー	ブダペスト ニーレジユ ハーザ	04.08.22~04.08.25 04.08.17~04.08.22
103	中村秀美	福山ブルガリア協会	ブルガリア	ソフィア プロヴジフ カザンラク トロヤン	04.10.03~04.10.05 04.10.06 04.10.07 04.10.09~04.10.08
104	西橋健	文弥人形「猿八座」主宰	ポーランド	ポズナニ ヴァウブジフ クラクフ	04.11.17~04.11.18 04.11.19 04.11.21
105	安藤政輝	東京芸術大学音楽学部助教授	クロアチア スロベニア ボスニア・ヘルツェゴビナ	コップリニ ツァ ザグレブ ザダル リュブリャナ ポルトロース サラエボ バニャ ルカ	05.03.19 05.03.20 05.03.21 05.03.23 05.03.24 05.03.15~05.03.16 05.03.18

	氏名	現職	国	都市	期間
106	近藤秀秋	音楽家	リトアニア ロシア	ビリニユス モスクワ サンクト・ペ テルブルグ アルハンゲリ スク	04.09.16 04.09.21 04.09.16～04.09.23 04.09.25
107	藤間蘭黄	日本舞踊家	ロシア	ウラジヴォス トク	04.04.01～05.03.01
108	大谷賢治郎	シアターX	イスラエル	アッコ	04.09.21～05.10.05
109	北原篁山	邦楽4人の会代表	モロッコ	ラバト フェース	05.01.25～05.01.28 05.01.28～05.02.01
110	星島淑子	日本伝統音楽国際交流団団長	ケニア	ナイロビ	04.06.21～04.06.28

2. 催し等事業費 (6)国際舞台芸術共同制作

海外の舞台関係者と日本側が、海外または日本において共同で作品を制作し公演を実施する。

合計額 22,885,005円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	鈴木忠志「リア王」モスクワ芸術座共同制作	日本 ロシア	静岡市 モスクワ	静岡芸術劇場 モスクワ芸術 座	04.10.16～ 04.11.01 04.10.16～ 04.11.01	財団法人舞台 芸術財団演劇 人会議	鈴木忠志演出によるモスクワ芸術座「リア王」を上演
2	解体社「夢の体制」国際共同制作	日本 東ティモール ヨルダン	東京 デイリ アンマン	Uma Fukun Cultural Center Arab Theater Training Center	05.03.30～ 05.04.20	劇団解体社	劇団解体社による「世界化されてゆく戦争身体と舞台表現」をテーマとする国際共同制作プロジェクト。今年度は、東ティモール、ヨルダン、日本でワークショップおよびワークインプログレス上演を行なった
3	ドラマ・リーディング「父と暮せば」	カナダ	トロント  オークヴィル	トロント日本 文化センター イベントホール  シェリダン・ カレッジ演劇 コース内 ス タジオ・シア ター	05.01.14～ 05.01.18	クロウズシア ター	今年度の現代戯曲翻訳事業にて翻訳を行なった井上ひさし作の「父と暮せば」のドラマ・リーディング公演を、クロウズ・シアターとの共催で、トロント日本文化センターのイベントホールおよびシェリダン・カレッジ（オンタリオ州オークヴィル市）にて実施



## 舞台芸術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
4	宮本亜門「太平洋序曲」	米国	ニューヨーク	スタジオ54	04.04.01～ 05.03.31 03.04.01～ 04.03.31	ラウンド・ア バウト・シア ター	スティーブ・ソンドハイム（作詞・作曲）、ジョン・ワイドマン（台本）の本作品を、日米交流150周年を記念して、宮本亜門が演出、松井るみが美術、ワダエミが衣裳を担当してブロードウェイにて公演を実施
5	現代演劇ドラマ・リーディング	英国	エディンバラ	トラヴァースシアター	04.06.03～ 04.06.06	トラヴァース劇場	2003年度に関西の伊丹アイホールで行ったトラヴァースシアターの作家の作品によるドラマリーディングに引き続き、トラヴァースシアターにて、鈴江俊郎「うれしい朝を木の下で」松田正隆「月の岬」をリーディングにて紹介し、作家を交えてのシンポジウムを開催、成功裏に終了。鈴江作品は、同劇場にて本格上演

### 2. 催し等事業費 (7)在外日本文化専門家（助成）

非ODA対象国に居住する優れた芸術家などがODA対象国にて実施する日本文化紹介事業に助成を行なう。  
合計額 361,332円

	氏名	現職	国	都市	期間	助成人数	事業内容
1	Shiro El Arriero	ギター奏者	グアテマラ パナマ アルゼンチン ウルグアイ	グアテマラ アンティグア パナマ ブエノス・アイレス サルタ モンテビデオ	04.07.15 04.07.16 04.07.12～ 04.07.13 04.07.22 04.07.23 04.07.28～ 04.07.29	1	日本パナマ国交樹立100周年記念イベントにおけるリサイクルに合わせ、中南米4カ国でのリサイクルを行なった
2	末寛子	箏曲演奏家	オーストリア スロバキア	ウィーン ブラチスラバ	04.06.05 04.06.06～ 04.06.07	1	アーサー・フライシュマン美術館開館1周年記念事業として箏による公演、スロバキアフィルハーモニーメンバーとのワークショップ、ウィーンでのアーサー・フライシュマンモニュメント除幕式での公演を実施

## 2. 催し等事業費 (8)国内公演(助成)

ODA対象国および旧ソ連、東欧諸国からの舞台芸術団体による、演劇、音楽、舞踊、民族芸能等の日本国内での公演に対して、国内の受入団体に経費の一部助成を行なう。

合計額 21,625,800円

	事業名	期間	国	助成団体	事業内容
1	第14回中国文化の日 中国-泉州糸あやつり人形劇	04.04.01～ 05.03.31	中国	財団法人日中友好会館	人形劇。 中国を代表する糸操り人形劇団・泉州木偶劇団の来日公演。演目は『西遊記』より「三打白骨精」「若蘭行」「起解」ほか
2	2004年アジア演劇祭 in関西 (OSAKA・KOBE) アジアの風・土・水-演劇の今-	04.12.07～ 04.12.12	中国	アジア演劇祭 in関西実行委員会	現代演劇+フェスティバル。 中国より中国鉄路文工団話劇団「お元気ですか?」、上海話劇芸術中心「カプチャーノの味」を招へい
3	第3回「モンゴル音楽祭」	04.10.26～ 04.11.04	モンゴル	株式会社創樹社	音楽祭。 モンゴルで活躍しているアーティストによる音楽祭。伝統音楽からポップス、オペラまで幅広く紹介。出演者はポップスのセルチマー、オルチンドーのシリメントゥーヤ、ホーミーのバトオチルほか。音楽監督はジャンツァンノロブ
4	アジア太平洋子ども演劇祭	04.07.30～ 04.08.08	インドネシア マレーシア	アジア太平洋子ども演劇祭実行委員会	演劇。 児童演劇又は子供のための演劇による国際フェスティバル。過去6回開催して、今回は初めてアジア・環太平洋に焦点を当てる。30カ国47団体が参加申し込み。助成対象は、インドネシア、マレーシアの劇団
5	赤鬼	04.08.24～ 04.09.24	タイ 英国	株式会社東急文化村	演劇。 『赤鬼』(作・演出 野田秀樹)のロンドン・タイ・日本3バージョン公演。タイより共同演出のニミット・ピピットクン他15名を招へい、1ヶ月のりハを経て上演。Bunkamura開設16周年記念事業
6	バンコクインディーミュージックコンサート	04.10.20～ 04.11.07	タイ	エス・オー・アイ	ポップス。 タイのインディーズバンドの招へい公演。代々木のタイフードフェスティバルに合わせて招へい。青山CAYで3日間のライブを行なった。招へいバンドはdeath of a salesmanなど計9バンド
7	南インド・伝統舞踊劇カタカリ日本公演	04.11.19～ 04.11.22	インド	財団法人現代人形劇センター	伝統舞踊。 インド四大古典舞踊の一つカタカリの来日公演。演目は代表的な『マハーバーラタ』、『ラーマーヤナ』より。同センターとしてはカタカリ単独としては初の招へい公演

## 舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	助成団体	事業内容
8	マクナイマ劇団公演	05.03.20～ 05.03.30	ブラジル	大野一雄舞踏研究所	演劇。 1980年より大野一雄と交流のあるブラジルを代表する演劇集団「マクナイマ劇団」(主宰アントゥネス・フィーリョ)を招へい。本年より3年間(年3回)にわたり、大野一雄に関する公演、展示、シンポジウムで構成するKazuo Ohno Festivalに参加
9	アジア・シルクロード音楽フェスティバル	04.10.11～ 04.11.11	ウズベキスタン	特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ	民族音楽。 中欧アジアや中国の演奏家を招へいし、作曲家三木稔や中国の作曲家を中心に、独自の楽器を用いた「アジアの室内楽」を創作、東京、宮崎、福島で演奏会を行なった。02年国内公演助成
10	「ロシアバレエフェスティバル」日本公演	04.05.20～ 04.06.30	ロシア	日露文化交流委員会	舞踊。 日本、ロシアの議員連盟が締結した議定書に基づき設立された日露文化交流委員会が、毎年招へいを行っている、ロシアフェスティバルバレエ団による日本各地での公開レッスンおよび公演を開催。03年国内公演助成
11	チェーホフ東京国際フェスティバル「ロシア国立アカデミー マールイ劇場日本公演」	04.09.26～ 04.10.13	ロシア	チェーホフ東京国際フェスティバル	演劇。 チェーホフ没後101年を記念して、モスクワのマールイ劇場による「三人姉妹」「かもめ」を招へい、アートスフィアにて公演を行なった
12	第1回ピアノパラリンピック in JAPAN	05.01.07～ 05.01.11	全世界区分困難	ピアノパラリンピック実行委員会	身体的に障害をもつ人々を対象とした国際ピアノフェスティバルを開催する。課題曲を演奏するAコースと、自由曲を5つの障害部門ごとに発表するBコースに分けて実施

### 2. 催し等事業費 (9)国内公演 (AC)

アジア理解を促進すべく、優れた舞台芸術を紹介。特に現代舞台芸術の紹介に焦点を当てる一方、国際共同制作による新たな舞台芸術の創造への試みも行なう。

合計額 74,060,558円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	東南アジア演劇共同制作	フィリピン	東京都その他 山口市 ラゲーナ	世田谷パブリックシアター 山口芸術情報センター the National Center for the Arts	04.09.30～ 05.02.21	財団法人セタがや文化財団 世田谷パブリックシアター	東南アジア、アメリカ、日本の演劇人が共同で作・演出を行う集団創造を実施。各地でワークショップを重ね、山口芸術情報センターで1カ月にわたって滞在制作した「ホテルグランドアジア」をシアタートラムで発表

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
2	南アジア演劇プロジェクト	南アジア地域区分困難	デリー	国際交流基金フォーラム 京都芸術劇場春秋座 インド国立演劇学校	04.04.01～ 05.01.06		南アジア5カ国演出家のコラボレーションにより、マルチメディア演劇作品を制作、上演

2. 催し等事業費 (10)中東文化芸術紹介(舞台芸術)

中東諸国の優れた伝統民俗芸能および現代芸能、現代美術、劇映画等に関する後援、展覧会、定期上映会等を開催する。  
合計額 58,694,635円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	イラク現代演劇	イラク	東京 名古屋 大阪	国際交流基金フォーラム タイニイアリス 千種文化小劇場 アリス零番館	04.10.03～ 04.10.26	特定非営利活動法人ARC タイニイアリス 日本演出者協会 日本劇作家協会	イラクのバグダッドよりアル・ムルワス劇団を招へい。東京、名古屋、大阪にて公演、シンポジウムを行なった。作品は「イラクから、船乗りたちのメッセージ」。イラクの現代演劇カンパニーとしては初の日本公演
2	イラク音楽公演(アラブ伝統音楽招へい公演)	イラク	長崎 広島 東京	メルカつきまちホール ゲバントホール 国際交流基金フォーラム	04.11.24～ 04.12.04	「イラク伝統音楽コンサート」長崎実行委員会 財団法人長崎県国際交流協会 中国新聞 他	「地中海アラブ音楽シリーズ」の第一回目としてイラク人ウード演奏家ナスィール・シャンマ率いるアラブ音楽グループのコンサートを実施。東京では、アラブ音楽についてのセミナーも同時開催
3	中東現代演劇	パレスチナ チュニジア	東京	パークタワーホール	05.03.10～ 05.03.20	特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパン	東京国際芸術祭の特集プログラムとして、チュニジア、パレスチナの現代演劇2劇団(ファミリア・プロダクション、アルカサバ・シアター)の招へい公演を実施。中東各国の現代演劇を日本に招へい・紹介する中東シリーズの第2年
4	中東伝統音楽招へい公演	中東地域区分困難	東京	浜離宮朝日ホール 草月ホール	04.04.01～ 05.03.31	財団法人アリオン音楽財団	第20回東京の夏音楽祭—響きの祝祭のプログラムとして、イランの古典音楽およびアルジェリアの大衆歌謡の公演を行なった。財団法人アリオン音楽財団との共催

## 舞台芸術事業費

### 2. 催し等事業費 (11)舞台芸術情報交流

国内外の舞台芸術団体、プレゼンター、フェスティバル実施団体、劇場、地方公共団体間の情報交流促進を図る。  
合計額 40,949,351円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	JPAN（舞台芸術HP）	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31		舞台芸術の国際交流を活性化するために、内外の舞台芸術情報を発信するウェブサイト運営
2	現代戯曲翻訳プロジェクト	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31		過去4、5年の間に発表された日本の優れた戯曲を専門家の推薦により4～5作選出し、英語翻訳を行なった。完成した作品は英語圏を中心に劇場やプロデューサーに送付
3	現代日本の戯曲シノプシス	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	日本作家協会	日本劇作家協会との共同事業で、戦後の代表的な日本の戯曲のあらすじ、上演記録を英訳し、基金運営の舞台芸術紹介サイトに掲載
4	芸術見本市2004東京	全世界区分困難	04.08.29～ 04.08.31	財団法人地域創造特定非営利活動法人国際舞台芸術交流センター	内外より参集する舞台芸術団体と、プレゼンターおよび劇場関係者等が一同に会し、ブース出展、セミナー、シンポジウム等を通じて集中的に情報交換を行なう機会を設けることにより、舞台芸術の上演機会を拡大させ、舞台芸術における国際文化交流および地域文化を活性化
5	アート・サミット・インドネシア	全世界区分困難	04.09.11～ 04.09.18	2004.09.11～ 2004.09.18	インドネシア政府主催の現代舞台芸術の祭典「アート・サミット・インドネシア」に演劇評論家の鴻英良氏を派遣、日本の舞台芸術の紹介および東南アジアの現代舞台芸術事情の視察を実施
6	米国中西部見本市	全世界区分困難	04.09.18～ 04.09.20	Miduet Arts Conference	中西部の舞台関係者が一同に会する見本市において、現地のプレゼンター等の舞台芸術関係者を対象に、ビデオプレゼンテーションを実施して現代日本の舞台芸術事情を紹介。同時に、現地の舞台芸術事情に関する情報の収集、関係者との交流・意見交換も行なった。またブースを出展し、日本の舞台芸術に関する各種の照会に対応
7	韓国音楽専門家招へい	全世界区分困難	04.10.03～ 04.10.06		社団法人音楽制作者連盟の主催するイベント「in the city TOKYO 2004」（国際交流基金共催事業）のセミナーに参加するため、韓国クラブ文化協会事務局長を招へい
8	CINARS	全世界区分困難	04.11.16～ 04.11.20		モントリオールにて開催される舞台芸術に関する見本市「CINARS」に専門家を派遣し、ビデオプレゼンテーションを実施して現代邦楽に関するレクチャーを行ない、またブースを出展して、日本の舞台芸術に関する情報提供と照会対応を行なった
9	伝統芸能海外公演研究会	全世界区分困難	04.12.01～ 05.03.31	早稲田大学演劇博物館 法政大学能楽研究会	早稲田大学演劇博物館や法政大学能楽研究所との共同により、歌舞伎と能という2つの伝統芸能の海外公演について、調査研究を実施

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
10	APAP	全世界区分困難	05.01.08～ 05.01.11		ニューヨークで開催されるAPAP (Association of Performing Arts Presenters) の年次総会は、規模、参加者共に最大で、世界中で最も注目されている見本市である。このAPAPにブースを出展し、日本の現在の舞台芸術に関する情報を提供することで、海外・招へい公演、情報交流の促進を図った
11	東京国際芸術祭	全世界区分困難	05.02.02～ 05.03.28	特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパン、社団法人国際演劇協会日本センター	東京国際芸術祭に中東シリーズ共催として参加し、パレスチナのアルカサバシアターによる「壁-占領下の物館Ⅱ」、およびチュニジアのファシリア・プロダクションによる「ジュヌン-狂気」を上映

2. 催し等事業費 (12) 舞台芸術紹介日欧共同事業

欧州の芸術団体が主催する日本の舞台芸術公演または日欧の関係機関が共同制作する舞台芸術作品に対して助成する。  
合計額 9,251,275円

	事業名	期間	都市	事業内容
1	PAJ欧州パイロット助成	04.09.01～ 04.12.15	ロンドン プリマス マンチェスター ハノッチ プール エディンバラ パース ノッティンガム	米国のPAJプログラムのように、現地（ヨーロッパ）のプレゼンターの申請によって日本の舞台芸術を紹介する助成制度の試行。演出家の蜷川幸雄が英国の俳優を演出する「ハムレット」を対象。作品はロンドンを始めとする主要都市8カ所で、計69公演行われた

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 映像出版事業費

### 1. 催し等事業費

- (1) 海外日本映画祭
- (2) 海外日本映画祭（助成）
- (3) 国内映画祭
- (4) 国内映画祭（助成）
- (5) 国内映画祭（AC）
- (6) 中東文化芸術紹介（映像出版）
- (7) 映画出版情報交流（催し）

### 2. 文化資料事業費

- (1) テレビ番組放映
- (2) 本部フィルムライブラリー（FL）充実
- (3) 海外フィルムライブラリー（FL）充実
- (4) 映画・テレビ番組制作協力
- (5) 日本文学作品翻訳出版
- (6) 出版翻訳協力
- (7) 図書展参加
- (8) 映像出版情報交流（文化資料）

## 1. 催し等事業費 (1) 海外日本映画祭

海外において日本映画を広く紹介するため、在外が実施する日本映画上映事業および海外の国際映画祭、芸術祭、映画専門団体等が企画・実施する日本映画・映像作品上映事業などで在外が共催者となる場合に協力を行なう。

合計額 31,537,638円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	日本ドキュメンタリー映画祭（ソウル）	韓国	ソウル	イルジュ・アート・センター	04.11.17～ 04.11.28	『ニッポン国古屋敷村』（小川紳介監督）、『教室の子供たち』（羽仁進監督）、『ある機関助手』（土本典昭監督）、『ある映画監督の生涯・溝口健二の記録』（新藤兼人監督）等、これまで韓国で紹介されることが少なかったドキュメンタリー映画を上映する。佐藤真（映画監督、京都造形芸術大学教授）による講演会を実施
2	香港フィルムマート・日本映画紹介ブース	中国	香港	香港フィルムマート	04.06.23～ 05.06.25	香港フィルムマート内で日本映画製作者協会と共同で日本映画を紹介するブースを出展。日本映画5作品を試写
3	サムライ映画祭	インドネシア	ジャカルタ	タマン・イスマイル・マルズキ・テアトル・クチール	05.03.04～ 05.03.10	日本の時代劇への関心が高まっているインドネシアで、1940年代から2000年代の時代劇を上映。『元禄忠臣蔵』（前編・後編）（溝口健二監督）、『柳生一族の陰謀』（深作欣二監督）、『ジャズ大名』（岡本喜八監督）、『福沢諭吉』（澤井信一郎監督）等
4	日本映画祭2004	タイ	バンコク	メジャーシネプレックス	04.11.19～ 04.11.25	『ポストマンブルース』（SABU監督）、『害虫』（塩田明彦監督）、『青い春』（豊田利晃監督）、『WiLd LiFe』（青山真治監督）、『CURE』（黒沢清監督）等の現在活躍中の若手監督作品を中心に9作品を上映
5	北野武監督特集上映会	タイ	バンコク	house	04.12.02～ 05.02.18	『その男、凶暴につき』、『3-4×10月』など北野武監督作品6本を特集上映
6	黒澤明監督特集	フィリピン	マニラ	フィリピン文化センター、フィリピン大学フィルムセンター	05.03.01～ 05.03.31	『七人の侍』『羅生門』『天国と地獄』『野良犬』『悪い奴ほどよく眠る』『姿三四郎』等、黒澤明監督作品8作品を特集上映
7	日本映画祭	ベトナム	ハノイ	ナショナル・シネマ・センター	04.05.28～ 04.05.31	現代の日本を投影した作品を紹介。『あの夏、いちばん静かな海。』（北野武）、『ウォーターボーイズ』（矢口史靖）など4作品上映
8	日本映画祭2004	マレーシア	クアラルンプール ペナン	Golden Screen Cinemas, Mid Valley Golden Screen Cinemas, Gurney Plaza	04.06.15～ 04.06.27	『祇園の姉妹』（溝口健二監督）、『たそがれ清兵衛』（山田洋次監督）、『おとうと』（市川崑監督）、『午後の遺言状』（新藤兼人監督）等、クラシックから近年の作品まで計8作品を上映



映像出版事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
9	日本映画祭	ミャンマー	ヤンゴン マンダレー モーラミヤ イン	ネーピードー映 画館	05.01.23～ 05.01.27 05.02.01～ 05.02.03 05.02.08～ 05.02.12	『たそがれ清兵衛』(山田洋次監督)、『卓 球温泉』(山川元監督)、『ちびまる子ちゃ ん』(芝山努監督)、『わらびのこう』(恩 地日出夫監督)、『CURE』(黒沢清監督) をヤンゴン、マンダレー、モーラミヤ インにて巡回上映
10	インド巡回映 画祭	インド	ムンバイ (ボンベイ) デリー  コルカタ  チェンナイ	ウェリンカル大 学ホール 国营シュリ・ フォートIIオー ディトリウム エリート・シネ マ 南インド映画商 工会議所映写 ホール	04.10.12～ 04.11.29	『ファンシィダンス』(周防正行監督)、 『鉄拳』(阪本順治監督)、『勝手にしやが れ!!強奪計画』(黒沢清監督)、『笑う蛙』 (平山秀幸監督等、近年の作品を4都市で 巡回上映
11	第8回巡回日 本映画祭	オーストラ リア	キャンベラ  シドニー  メルボルン  ブリズベ ーン パース	National Gallery of Australia他 Dendy Cinema Opera Quays Australia Centre for Moving Image South Bank5Cinemas Alexander Library Building Theatre	04.10.13～ 04.10.16	『たそがれ清兵衛』(山田洋次監督)、『ク イール』(崔洋一監督)等の新作映画を5 都市で巡回上映
12	巡回日本映画 祭	サモア	アピア	サモア国立大学	04.11.18～ 04.11.19	黒澤明監督作品『椿三十郎』など16mm プリント3本を上映
13	ウェリント ン・日本祭	ニュージー ランド	ウェリント ン	テ・パパ国立博 物館	04.08.15～ 04.08.21	『椿三十郎』等黒澤明監督作品3本を2回 ずつ上映

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
14	カナダ巡回日本映画祭	カナダ	オタワ モントリオール トロント バンクーバー ハミルトン ウィニペグ ハリファックス ビクトリア サスカトーン	国立図書公文書館 マギル大学 プロアー・シネマ ブリティッシュ・コロンビア大学ホール ウェスト・デイル・シアター シネマ・オックスフォード	04.09.20～ 04.11.30	『ナビィの恋』（中江裕司監督）、『午後の遺言状』（新藤兼人監督）等4作品を10都市で巡回上映
15	トロント国際映画祭・日本映画紹介ブース	カナダ	トロント	トロント日本文化センター	04.09.10～ 04.09.17	日本映画紹介ブースのためのスペースアジアスクエアを設置
16	現代日本映画祭	米国	バークレー	パシフィック・フィルム・アーカイブ・シアター	04.09.17～ 04.09.19	商業ベースでは上映される機会が少ない現代の優れた映画監督の作品を特集。『笑う蛙』（平山秀幸）、『ナインソウルズ』（豊田利晃）など6～8作品を各1回上映
17	日本映画祭	米国	サン・フランシスコ	サンフランシスコ公立図書館コレット・オーディトリウム	04.11.02～ 04.11.07	『一番美しく』（黒澤明監督）、『蒲田行進曲』（深作欣二監督）、『砂の器』（野村芳太郎監督）、『それから』（森田芳光監督）、『裸足のピクニック』（矢口史靖監督）等、日本を代表する監督の作品を特集上映
18	大学巡回日本映画上映会	米国	ウィンストン・セーラム シャーロット ダラム アトランタ ヒューストン	Wale Forest University University of North Carolina at Charlotte Duke University Emory University Rice University	05.02.01～ 05.03.27	『カリスマ』（黒沢清監督）、『夢二』（鈴木清順監督）、『おもちゃ』（深作欣二監督）、『ワンダフルライフ』（是枝裕和監督）、計4作品を5都市の大学で巡回上映
19	中南米巡回アニメ映画祭	エルサルバドル	サンサルバドル サンタアナ	国立サンサルバドル大学 国立サンタアナ劇場	05.02.01～ 05.02.07 04.04.01～ 05.03.31	アニメ3作品をサンサルバドル、サンタアナ市で上映。『攻殻機動隊』（押井守監督）、『沈黙の艦隊』（高橋良輔監督）、『ちびまる子ちゃん』（芝山努監督）

## 映像出版事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
20	日本の人情・実話物語映画特集	グアテマラ	グアテマラ	国立サン・カルロス大学文化センター	05.03.07～ 05.03.11	日本の人情・実話特集として『蒲田行進曲』（深作欣二監督）、『遠き落日－野口英世物語』等、計5作品を上映
21	巡回無声映画上映会	メキシコ	メキシコ	国立シネマテーク内映画館	04.11.05～ 04.11.10	『生まれてはみたけれど』（小津安二郎監督）、『御詔治郎吉格子』（伊藤大輔監督）、『雄呂血』（二川文太郎監督）、『滝の白糸』（溝口健二監督）、『狂った一頁』（衣笠貞之助監督）等、無声映画を弁士付で上映
22	深作欣二監督特集	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	市立サンマルティン劇場サロン	04.06.11～ 04.06.20	『白昼の無頼漢』、『博徒外人部隊』、『現代やくざ・人斬りと太』、『県警対組織暴力』、『やくざの墓場・くちなしの花』など深作欣二監督作品を特集上映
23	アニメ映画祭	ボリビア	ラパス	ラパス市文化会館	04.04.12～ 04.04.15	『COO遠い海から来たクー』（今沢哲男）、『攻殻機動隊』（押井守）などアニメ作品4本を西語字幕版35mmプリントで上映。西語字幕付もしくは吹替版のアニメ作品5本をを2回ずつ上映
24	日本アニメ映画特集上映会	イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	04.05.07～ 04.06.08	『銀河鉄道999』『どんぐりの家』『ひょっこりひょうたん島』等アニメ作品を上映
25	Japanese Film after Mr.Pink	英国	マンチェスター ロンドン ブリストル シェフィールド	Cornerhouse ICA Watershed Showroom	05.01.23～ 05.02.03 05.02.05～ 05.02.11 05.02.12～ 05.02.17 05.02.19～ 05.02.24	『MONDAY』（SABU監督）、『WILD LIFE』（青山真治監督）、『アドレナリンドライブ』（矢口史靖監督）、『青い春』（豊田利晃監督）、『鯨肌男と桃尻女』（石井克人監督）、『ラブドガン』（渡辺謙作監督）をマンチェスター、ロンドン、ブリストル、シェフィールドにて巡回上映
26	10周年記念日本映画祭	スイス	ジュネーヴ	ジュネーブ大学 ユニ・デュフル講堂	04.11.10～ 04.11.18	『忍びの者』（山本薩夫監督）、『無法松の一生』（稲垣浩監督）、『雨あがる』（小泉堯史監督）等、巨匠の作品と近年の作品を上映
27	日本アニメの歴史	ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	04.05.06～ 04.06.21	1924年～43年の短篇アニメ作品を上映。『兎と亀』（山本早苗監督）、『みかん船』（大藤信郎監督）、『花咲爺』（村田安司監督）等
28	女性監督特集	ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	04.09.13～ 04.12.20	『萌の朱雀』（河瀬直美監督）、『女ばかりの夜』（田中絹代監督）、『薄墨の桜』（羽田澄子監督）等、女性監督の作品を特集上映

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
29	日本映画祭	フィンランド	ヘルシンキ トゥルク タンペレ オウル	フィルム・クラブ・アルカディア ヴァルシナイ ス・スオミ映画 センター ピルカンマー映 画センター オウル映画セン ター	04.08.19～ 04.10.03	『くもとちゅうりっぷ』『おんぼろフィルム』『カムイの剣』等、短編・長編アニメと『用心棒』等黒澤明監督作品を4都市で上映
30	豊田四郎監督特集	フランス	パリ	パリ日本文化会館	04.09.15～ 04.10.02	『若い人』『小島の春』『夫婦善哉』など豊田四郎監督作品を特集上映。「文学作品の映画化とその問題」というタイトルでマックス・テシエ(映画評論家)とセシル・サカイ(パリ大7大学教授)による講演会を実施
31	日本アニメの歴史シリーズ・第2部	フランス	パリ	パリ日本文化会館	05.02.16～ 05.03.06	1960～70年代の優れたアニメ作品を上映。『愛』『寄生虫の一夜』(久里洋二監督)、『少年猿飛佐助』『ひょっこりひょうたん島』(藪下泰司監督)等
32	第1回日本映画祭	クロアチア	ザグレブ	ザグレブ学生センター	04.05.03～ 04.05.10	欧州FLより16mmプリント『北京的西瓜』(大林宣彦監督)、『菊次郎の夏』(北野武監督)他5作品を上映。専門家・岩本憲児氏を招へいし講演会を開催
33	欧州巡回若手監督特集	ハンガリー	ブダペスト	オロクモズゴー	05.02.03～ 05.02.16	『愚か者傷だらけの天使』『どついたるねん』(阪本順治監督)、『金融破滅ニッポン 桃源郷の人々』(三池崇史監督)、『ウォーターボーイズ』(矢口史靖監督)、『ホテル・ハイビスカス』(中江裕司監督)、『ユメノ銀河』(石井聡互監督)、『勝手にしやがれ!!逆転計画』『勝手にしやがれ!!脱出計画』(黒沢清監督)、『ナイン・ソウルズ』(豊田利晃監督)等、若手監督の作品9本を上映
34	小津安二郎監督特集	ラトビア	リガ	シネマ・ギャラリー所有ホール	04.11.08～ 04.11.12	『秋刀魚の味』『東京物語』『生れてはみたけれど』『長屋紳士録』『晩春』『麦秋』(小津安二郎監督作品)6作品を特集上映
35	小津安二郎映画週間	リトアニア	ビリニュス	リエトウバ映画ホール	04.12.01～ 04.12.12	『秋刀魚の味』『東京物語』『生れてはみたけれど』『長屋紳士録』『晩春』『麦秋』(小津安二郎監督作品)6作品を特集上映
36	第38回日本映画祭	ロシア	モスクワ サンクト・ペテルブルグ	中央企業家会館 ドム・キノー	04.11.01～ 04.12.31	『ごめん』(富樫森監督)、『AIKI』(天願大介監督)、『森の学校』(西垣吉春監督)、『ハッシュ!』(橋口亮輔監督)4作品を巡回上映

映像出版事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
37	衣笠貞之助監督特集	ロシア	モスクワ サクト・ペテルブルグ	国立中央映画博物館 ドム・キノー	04.12.03～ 05.02.06	衣笠貞之助監督作品5本に加え、日本の伝統文化を扱った文化映画10本を2都市で上映。『雪之丞変化』『歌行燈』『地獄門』『大仏開眼』『狂った一頁』『十字路』『小さい逃亡者』等
38	カブール国際文化祭	アフガニスタン	カブール	アリアナシネマ	05.02.22～ 05.02.26	『アイ・ラヴ・ピース』（大澤豊監督）、『白痴』（黒澤明監督）、『座頭市血笑旅』（三隅研次監督）、『あの夏、いちばん静かな海』（北野武監督）等、計5作品を上映
39	マスカット映画祭	オマーン	マスカット	シャーティ・プラザ映画館	05.01.01～ 05.01.31	『どら平太』（市川崑監督）、『カリスマ』（黒沢清監督）を1回ずつ上映
40	トルコ巡回日本映画祭	トルコ	アンカラ	国立図書館コンフェランス・サロン	04.10.14～ 04.10.17	『どら平太』（市川崑監督）等8作品を上映
41	外交関係樹立50周年記念日本映画祭	ヨルダン	アンマン	Darat Al-Funun 市立フセイン文化センター	04.12.05～ 05.01.16	『ホテル・ハイビスカス』（中江裕司）等を上映
42	カイロ日本映画週間	エジプト	カイロ	芸術創造センター映画ホール	05.02.20～ 05.02.23	『たそがれ清兵衛』『隠し剣鬼の爪』（山田洋次監督）、『AIKI』（天願大介監督）、『刑務所の中』（崔洋一監督）を上映
43	カンパラ日本映画祭	ウガンダ	カンパラ	ウィルソンメロード・シネマプレックス	04.11.21～ 04.11.27	『HANA-BI』（北野武監督）、『三文役者』（新藤兼人監督）等を上映
44	日本映画祭	ガーナ	アクラ	GAMAフィルムシアター	05.01.24～ 05.01.28	『七人の侍』（黒澤明監督）等、日本を代表する新旧の映画監督の作品5本を1回ずつ上映
45	第2回サムライ映画祭	ケニア	ナイロビ	日本大使館広報文化センター	04.11.12～ 04.11.14	『風林火山』（稲垣浩監督）、『用心棒』（黒澤明監督）等、侍が登場する映画を特集上映
46	第11回日本映画祭	南アフリカ	ダーバン ヨハネスバーグ ケープ・タウン	ゲートウェイ・モール ローズバンク・モール キャベンディッシュ・モール	04.10.15～ 04.11.04	『HANA-BI』（北野武監督）等6作品を3都市で2回ずつ上映

## 1. 催し等事業費 (2) 海外日本映画祭 (助成)

海外において、日本映画を広く紹介するため、海外の国際映画祭、芸術祭、映画専門団体などが企画実施する日本映画上映会等に対し、助成を行なう。

合計額 16,502,999円

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
1	アジア特別展： 日本映画特集	韓国	社団法人女性文 化芸術企画	04.04.02～ 04.04.09	弁士・澤登翠を招へいし、講演会を開催。『滝の白糸』（溝口健二）を弁士付で1回、『黒い十人の女』（市川崑）など5作品を2回ずつ上映。レクチャーを開催
2	全州国際映画祭	韓国	全州国際映画祭 事務局	04.04.23～ 04.05.02	一般映画に加え、実験映画およびアニメ、ATG制作フィルムを上映。石井聡互監督を招へい。ワークショップを開催
3	松竹ヌーヴェル ヴァーグ映画祭	韓国	シネマテック釜 山	05.01.07～ 05.01.21	大島渚監督作品7本、篠田正浩監督作品6本、吉田喜重監督作品6本を上映。『日本のヌーヴェルヴァーグ監督の作品世界』に関する講演会を開催
4	第28回香港国際 映画祭	中国	香港国際映画祭 事務局	04.04.06～ 04.05.31	清水宏監督作品の特集上映を開催。『港の日本娘』、『簪』、『蜂の巣の子供たち』、『母情』、『しいのみ学園』等13作品を上映
5	第2回北京国際 ドキュメンタ リー映画祭	中国	中国廣播電子学 会記録片研究委 員会	04.09.15～ 04.10.20	『ゆきゆきて、神軍』および『A』等のドキュメンタリーを特集上映
6	第6回ジャカル タ国際映画祭	インドネシア	ジャカルタ国際 映画祭事務局	04.12.03～ 04.12.13	『誰も知らない』（是枝裕和監督）、『沙羅双樹』（河瀬直美監督）等を上映
7	第17回シンガ ポール国際映画 祭	シンガポール	シンガポール国 際映画祭事務局	04.04.15～ 04.05.01	『牛頭』（三池崇史）、『ヴァイブレータ』（廣木隆一）等を上映
8	第53回メルボル ン国際映画祭	オーストラリ ア	メルボルン国際 映画祭事務局	04.07.21～ 04.08.08	『座頭市』（北野武監督）等の日本映画11作品を上映
9	ヴァンクー ヴァー国際映画 祭	カナダ	ヴァンクー ヴァー国際映画 祭事務局	04.09.23～ 04.10.08	著名な監督から若手の作品まで、また商業作品から実験映画や短編アニメまで様々な分野の作品を10本程度上映
10	小津安二郎：生 誕100周年（米 国）	米国	フリア美術館	04.03.05～ 04.04.25	現存する小津安二郎監督の全作品を巡回上映。サイレント映画は生演奏付で上映。小津研究者 David BordwellおよびDonald Richieによる講演
11	From Manga to Eiga（平成15 年度）	米国	ジャパン・ソサ エティ	04.03.05～ 04.05.12	市川崑監督作品『プーさん』から阪本順治監督作品『ぼくんち』までマンガを原作として映画化された作品を特集上映
12	ゴジラ映画誕生 50周年記念	米国	アメリカン・シ ネマテーク	04.06.25～ 04.06.30	『ゴジラ対キングギドラ』（大森一樹監督）、『怪獣大戦争』（本多猪四郎監督）等、1954年から現代のゴジラ映画や怪獣映画を特集上映

## 映像出版事業費

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
13	活動写真	米国	日米文化会館	04.07.25～ 04.10.10	『夫婦』（成瀬巳喜男監督）、『雪国』（豊田四郎監督）等古典映画を上映
14	スーザン・ソントグの選ぶ日本映画特集・第2弾（ジャパン・ソサエティ）	米国	ジャパン・ソサエティ	04.11.29～ 04.12.17	『残菊物語』（溝口健二監督）、『めし』（成瀬巳喜男監督）等、スーザン・ソントグ氏が選んだ日本を代表する監督の作品を上映し、講演会を開催
15	小津安二郎監督特集（ウルグアイ）	ウルグアイ	Cinemateca Uruguay	05.02.16～ 05.02.21	小津安二郎監督作品を特集上映。『お早よう』『お茶漬の味』『早春』『東京暮色』『彼岸花』等、計6作品
16	第21回ボゴタ映画祭	コロンビア	ボゴタ国際映画祭事務局	04.10.07～ 04.10.14	日本を招待国として山田洋次監督特集を実施
17	第12回アニマ・ムンディ国際アニメ映画祭	ブラジル	Iman Imagens Animadas Ltda.	04.07.09～ 04.07.25	ゲストを招へいし、アニメ作品を上映
18	第6回ブラジリア国際映画祭	ブラジル	Cine Academia Producoes Ltda	04.07.14～ 04.07.30	河瀬直美監督作品8～10本を特集上映。新進監督を招へいし、新作3本以上を上映
19	アジアティカ・フィルム・メディアレ映画祭	イタリア	Associazione Culturale Mnemosyne	04.11.20～ 04.11.28	『東京の英雄』（清水宏監督）、『銀座化粧』（成瀬巳喜男監督）、『東京流れ者』（鈴木清順監督）、『マークスの山』『十階のモスキート』（崔洋一監督）等、東京をテーマにした作品および崔洋一監督作品を上映
20	バティック・ペルージャ映画祭	イタリア	ゼロ・イン・コンドッタ協会	04.12.08～ 04.12.15	『豚と軍艦』等の今村昌平監督作品、『キッズ・リターン』等の北野武監督作品、『H Story』等の諏訪敦彦監督作品等を上映
21	onedotzero（平成15年度）	英国	onedotzero	03.04.28～ 04.06.06	新しい映像イメージを紹介。日本の作品をJ-STARとして特集上映
22	Ruined Maps: 勅使河原宏監督特集	英国	Lux	04.07.16～ 04.07.30	『砂の女』、『他人の顔』など勅使河原宏監督作品長編6本および短編を上映
23	第12回レイダンス映画祭	英国	レイダンス映画祭事務局	04.10.01～ 04.10.10	インディペンデント映画を上映
24	Akibiyori: 現代日本映画特集	英国	フィルムハウス・エディンバラ	04.12.03～ 04.12.23	日本映画の新作6本を上映。『ナイン・ソウルズ』（豊田利晃監督）、『笑う蛙』（平山秀幸監督）、『CHASSHERN』（紀里谷和明監督）、『茶の味』（石井克人監督）、『アンテナ』（熊切和嘉監督）、『幸福の鐘』（SABU監督）
25	ウィーン国際映画祭	オーストリア	ウィーン国際映画祭事務局	04.10.15～ 04.10.27	是枝裕和監督作品を特集上映

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
26	ジャパン・アニメ・フェスティバル	スペイン	artyco.com	04.05.20～ 04.06.19	『パトレイバー』等、押井守監督・プロデュース・脚本で参加した作品を特集上映。他にアニメ作品数本を上映
27	第34回ベルリン国際映画祭ヤングシネマフォーラム部門（平成15年度）	ドイツ	ベルリン国際映画祭事務局・ヤングシネマフォーラム部門	04.02.06～ 04.04.01	SABU監督作品『ハードラック・ヒーロー』など新作3本の他に、『簪』など清水宏監督作品を上映
28	第12回シュトゥットガルト国際アニメ映画祭	ドイツ	フィルム&メディアフェスティバル	04.04.01～ 04.04.06	山村浩二監督作品など様々なアニメを上映。専門家によるキュレーションを開催
29	第4回ニッポン・コネクション	ドイツ	ニッポン・コネクション事務局	04.04.14～ 04.04.18	『座頭市』（北野武）、『ナイン・ソウルズ』（豊田利晃）など最新の作品の上映。専門家による講演会の開催
30	小津安二郎監督生誕100周年特集（ドイツ）	ドイツ	ミュンヘン映画博物館	04.05.18～ 04.07.28	『東京物語』『晩春』『麦秋』等、小津安二郎監督作品を特集上映
31	フレドリクスタッド・アニメーション・フェスティバル（平成15年度）	ノルウェー	フレドリクスタッド・アニメーション・フェスティバル	04.05.06～ 04.05.11	日本の長編・短編アニメーションを上映
32	第12回エトランジュ映画祭	フランス	エトランジュ映画祭事務局	04.09.01～ 04.09.14	『狂い咲きサンダーロード』『逆噴射家族』等石井聰互監督作品、および『江戸川乱歩全集 恐怖畸形人間』等石井輝男監督作品を特集上映
33	第4回トーキョー・ゾーン映画祭	フランス	Association Zone	04.12.01～ 04.12.04	『港の日本娘』（清水宏監督）等の長編の他に、短編、アート・ビデオ作品等を上映
34	ブラッセル国際ファンタスティック映画祭（平成15年度）	ベルギー	ブラッセル国際ファンタスティック映画祭事務局	04.03.12～ 04.04.01	世界のファンタジー、スリラー、SF映画の紹介する映画祭。日本からもいくつかの最近の作品を上映
35	アニメ・ドキュメンタリー映画祭（ポルトガル）	ポルトガル	Culturgest	04.11.29～ 04.12.04	『イノセンス』（押井守監督）、『展覧会の絵』（手塚治虫監督）、『Knocking on Heaven's Door - Kamagasaki-』（Brice Pedroletti監督）等、アニメ作品およびドキュメンタリー作品を上映
36	ブラック・ナイト映画祭	エストニア	ブラック・ナイト映画祭	04.11.25～ 04.12.12	『アカルイミライ』（黒沢清監督）、『座頭市』（北野武監督）等、長編およびアニメ作品を上映



## 映像出版事業費

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
37	ジンバブエ国際映画祭	ジンバブエ	ジンバブエ国際映画祭事務局	04.08.28～ 04.09.11	白石顕二氏（東京アフリカフィルムフェスティバル主催者）を招へいへいし、日本映画の歴史と発展に関するワークショップを開催。『刑務所の中』（崔洋一）等の作品を上映

1. 催し等事業費	(3) 国内映画祭
-----------	-----------

アジア・中近東地域等に重点を置き、日本で紹介される機会の少ない諸外国の映画を主催または共催により紹介する。また、国際交流基金映画講座および英語字幕付き日本映画上映会を実施する。

合計額 8,067,117円

	事業名	国	期間	事業内容
1	日本映画の巨匠と女優たち	日本	04.06.25～ 04.06.27	英語字幕付き日本映画6本を国際交流基金フォーラムにて上映
2	60年代の日本映画	日本	05.03.25～ 05.03.27	在留外国人を主な対象に、英語字幕付日本映画の上映を行なった
3	外国劇映画貸出	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	国際交流基金主催の国内映画祭で上映した外国映画の非商業上映権を取得し、国内の上映団体へ貸し出す

1. 催し等事業費	(4) 国内映画祭（助成）
-----------	---------------

国内において、諸外国の映画を紹介するため、国内で開催される国際的な映画祭などに対して、開催経費の一部を負担する。

合計額 11,084,042円

	事業名	団体	都市	期間	事業内容
1	イメージフォーラム・フェスティバル2004	イメージフォーラム	23区 横浜市 名古屋市 京都市 福岡市	04.04.24～ 04.06.20	毎年開催の日本で随一の本格的な先駆的映像の祭典として機能している映画祭で、18回目。日本の作品のみならず、国際交流を通じて、芸術性において創造的で新しい映像（実験映画、ビデオアート、メディアアート等）を日本の観客に紹介し、日本の映像文化の向上を図ることを目的。本年は英国実験映画特集等も開催
2	イラン映画祭	イメージフォーラム	23区	04.06.04～ 04.06.13	イランで人気の作品も含め、日本で未上映の作品を中心に様々なイラン映画を上映。同時にイランの映画人を招待してシンポジウムを開催し、映画を通してイランと日本の文化交流を図った。また、イランと日本の映画人の交流の場を設けることにより、イランと日本との間の映画産業の交流を促進

	事業名	団体	都市	期間	事業内容
3	シネマコリア 2004	シネマコリア	札幌市 23区 名古屋市 大阪市	04.07.31～ 04.08.29	日本では未公開の韓国映画作品を初公開し、あわせて監督等作品の関係者を招へいしてゲストトークを開催。愛知で上映後、東京、札幌、大阪へ巡回。『オー！ブラザーズ』（キム・ヨンファ監督）、『先生、キム・ボンドウ』（チャン・ギュソン監督）、『品行ゼロ』（チョ・グンシク監督）、『春の日のクマは好きですか？』（ヨン・イ監督）等上映
4	第10回広島国際 アニメーション フェスティバル	広島国際アニメーションフェスティバル組織委員会	広島市	04.08.19～ 04.08.23	韓国、中国、欧州等世界各国から応募される約1,500本のアニメーション作品のうち、選考審査を通過した約70本の作品を本審査によりグランプリなどの優秀作品を選考するコンペティションを行なう他、第10回開催記念プログラムおよび国内外の有名作家の出品、他大会の優秀作品、子供向けの作品などを特集して上映する特別プログラム、プレゼンテーション、展示会、ワークショップなどで構成する総合的なアニメーション映画祭
5	あいち国際女性 映画祭2004	あいち国際女性映画祭2004	名古屋市	04.09.08～ 04.09.12	中部圏唯一の国際映画祭。世界の女性監督作品を上映することにより、異文化への理解および男女共同参画への理解促進を図ると共に、世界で活躍する女性監督等をゲストに招き、作品上映や県民との交流、トーク、シンポジウム等を開催することで国際交流を図った
6	第49回アジア太 平洋映画祭	社団法人日本映画製作者連盟	福岡市	04.09.21～ 04.09.25	アジア太平洋諸国18カ国の会員があり、各国が主催となり開催する映画祭であり、今回は福岡にて開催。コンペ部門は、通常とは異なりメンバーである各国映画団体が自国で制作された作品全体から優秀な作品を選出し出品するという形をとっている
7	EARTH VISION 第13 回地球環境映像 祭	アース・ビジョン組織委員会	23区	04.11.03～ 05.02.06	紹介されることのあまりない、アジア・オセアニア・ポリネシアの映像制作者による「地球環境」をテーマとした、優れた映像作品を上映。多岐にわたる題材やアジア・オセアニア・ポリネシアの現在、文化的背景を持つ映像と出会う場を作る。また、本祭に監督を招き、観客との質疑応答や交流の場を設けることによって、より深く、また、多元的な情報発信と交流の場とした。また、アジア・オセアニアにおける環境映像制作を促進
8	第11回大阪ヨー ロッパ映画祭	大阪ヨーロッパ映像文化振興会	大阪市	04.11.09～ 04.11.30	日本とヨーロッパの文化交流、国際都市大阪からの情報発信を目指し、ヨーロッパ各国で注目を集めた近年の映画作品を上映する。『コーラス』（クリストフ・バラティエ監督）、『雲の南側』（ジャン＝フランソワ・アミゲ監督）等上映

映像出版事業費

	事業名	団体	都市	期間	事業内容
9	GREEK FILM FESTIVAL-ギリシャ映画祭	ギリシャ映画祭実行委員会	23区	04.12.14～ 04.12.16	日本ギリシャ両国首脳により署名された日本ギリシャ行動計画書に盛り込まれた文化交流促進事業『日本におけるギリシャ月間』の一環として、主に日本で未公開のギリシャ映画の秀作4本を一般に公開する。また3人の講師によるレクチャーを実施する。『タッチ・オブ・スパイス』(Tassos Boulmetis監督)、『Peppermint』(Costas Kapakas監督)、『THE KING』(Nikos Grammatikos監督)、『Totally Married』(Dimitris Indares監督)を上映
10	チェコ映画祭2004	チェコ映画祭実行委員会	23区	05.02.11～ 05.02.12	共産主義崩壊後のチェコの映画作品の中から、日本公開にふさわしい作品を選出し、独自の字幕製作、上映方法により、非営利上映を行ない一般に公開。上映と同時に、日本の輸入、配給、ビデオ製作会社呼びかけ、チェコ映画界に対する営業も行なった。またチェコから製作関係者を招き、講演、および日本映画界との交流を行ない、未公開作品上映と同時に、チェコ・日本間の映像文化交流の場を提供

1. 催し等事業費 (5)国内映画祭 (AC)

アジア地域などに重点を置き、日本で紹介される機会の少ない諸外国の映画を主催または共催により紹介する。  
合計額 8,076,981円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	香港映画特集	日本	23区	国際交流基金 フォーラム	04.11.29～ 04.12.05	-	ブルース・リー作品などの 撮影監督・西本正の特集
2	映画講座3	アジア地域 区分困難	23区	国際交流基金 フォーラム	04.10.31～ 04.10.31	NHKイン ターナショナル NHK	上映会とシンポジウム「ア ジアに生きる子どもたち」
3	映画講座	中東地域区 分困難	23区	国際交流基金 フォーラム 国際交流基金 フォーラム	04.08.31 04.09.02～ 04.09.04	-	映画講座2004-1「イスラエ ル映画上映と講演会」 映画講座2004-2「アラブ映 画祭2005プレイベント」

## 1. 催し等事業費 (6) 中東文化芸術紹介 (映像出版)

中近東地域等に重点を置き、日本で紹介される機会の少ない諸外国の映画を主催または共催により紹介する。  
合計額 21,759,927円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	アラブ映画祭 2005プレイベ ント	中東地域区 分困難	23区	国際交流基金 フォーラム	05.02.11～ 05.02.13	－	アラブ諸国の映画祭

## 1. 催し等事業費 (7) 映像出版情報交流 (催し)

国内外で開催される映像・出版等をテーマとするシンポジウム・セミナーなどを開催する。  
合計額 5,498,766円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	JAMCOシン ポジウム	日本	23区	－	04.10.01～ 04.10.31	財団法人放送 番組交流セン ター	財団法人放送番組国際交流 センターと共催でテレビ放 映に関するウェブサイト上 での国際シンポジウムを開 催
2	日韓女性映画 人シンポジウ ム	日本	23区	東京ウィメン ズプラザ	04.10.26～ 05.10.26	東京国際女性 映画実行委員 会	東京国際女性映画祭にて日 本および韓国の女性映画人 によるシンポジウムを実 施。熊谷博子監督『映画を つくる女性たち』、イム・ス ルレ監督『韓国映画界の女 性たち』の上映に続き、日 韓女性映画人が各国の現状 を語った
3	日本賞	日本	東京都その 他	NHKホール	04.11.02～ 04.11.02	NHK「日本 賞」事務局	国家・民族間における相互 理解と文化の交流に貢献す る優れた番組に対し、国際 交流基金理事長賞を寄贈
4	北米における 現代日本文学 紹介事業	米国	シアトル、 サンフラン シスコ、ロ サンゼル ス、ニュー ヨーク、 ニューロン ドン、メド フォード	コネチカット 大学、タフツ 大学、他	05.03.12～ 05.03.28	バーチカル	米国において現代日本文学 を紹介することを目的に優 れた英文翻訳書を大学やコ ミュニティレベルの読書グ ループに寄贈し、読了後に 作家や翻訳者との意見交換 を行なう場を提供

## 映像出版事業費

### 2. 文化資料事業費 (1) テレビ番組放映

日本のテレビ番組の海外における放映を促進するため、素材の作成費、放映権料を負担した上で、海外放送局に番組を提供する。

合計額 161,879,532円

	事業名	国	団体	期間	事業内容
1	中国TV放映 (平成16年度)	中国	国営BTV	04.08.01～ 07.07.31	中国TV放映向け番組提供。国営BTVへ『雪国の出張床屋さん』『清水の里の井戸掘り父娘』『体験！マグロ船90日』『トンネルの上の牛飼いたち』『わが家は土俵の上』『灯火に思いを寄せて』『ここより行くところなし』『クマガイ草』『ヤンキー母校に帰る』『めっちゃ！生きてるで』『さよならレザン』『あすの福祉：黒板のない学校』『あすの福祉：良司君旅立ち』（各1話）、を提供
2	モンゴルTV放映(TV-5) (平成16年度)	モンゴル	民営TV5	04.08.01～ 07.07.31	モンゴルTV放映向け番組提供。民営TV-5へ『腕におぼえあり』（12話）、『シリーズ日本の町工場：12坪工場の主人たち』（1話）を提供
3	インドネシアTV放映 (TVRI) (平成16年度)	インドネシア	国営TVRI	04.08.01～ 07.07.31	インドネシアTV放映向け番組提供。国営TVRIへ『ざわざわ森のがんこちゃん』『あつまれじゃんけんぽん』（各20話）、『つくってあそぼ』（10話）を提供
4	インドネシアTV放映(TV-E) (平成16年度)	インドネシア	国営TV-E	04.08.01～ 07.07.31	インドネシアTV放映向け番組提供。TV-Eへ教育番組「10ミニッツボックス」「サイエンスクラブ」「中学生の理科」を提供
5	カンボジアTV放映 (平成16年度)	カンボジア	国営TVK	04.08.01～ 07.07.31	カンボジアTV放映向け番組提供。国営TVKへ『やってみようなんでも実験』（26話）を提供
6	ベトナムTV放映 (平成16年度)	ベトナム	国営VTV3	04.07.01～ 07.06.30	ベトナムTV放映向け番組提供。国営VTV3へ『未来少年コナン』（26話）を提供
7	マレーシア劇映画放映 (平成16年度)	マレーシア	国営RTM	04.06.01～ 04.10.30	マレーシアTV放映向け番組提供。国営RTMへ『祝辞』を提供
8	マレーシアTV放映(TV3) (平成16年度)	マレーシア	民営TV3	05.01.01～ 07.12.31	マレーシアTV放映向け番組提供。民営TV3へ『そこが知りたい』『ワザあり！にっぽん』『ザ・プロフェッショナル』『日本の最新技術』（各2話）、『ニッポンの技が未来を拓く』『北海道富良野 寒い森の物語』（各1話）を提供
9	バングラデシュTV放映 (平成16年度)	バングラデシュ	国営BTV	04.08.01～ 06.07.31	バングラデシュTV放映向け番組提供。国営BTVへ『カンパニー』（3話）、『逃げる女』『むしの居どころ』（各1話）、『婚約旅行』『愛情旅行』（各4話）を提供

	事業名	国	団体	期間	事業内容
10	パプアニューギニアTV放映(平成16年度)	パプアニューギニア	民営EMTV	04.08.01～ 07.07.31	パプアニューギニアTV放映向け番組提供。民営EMTVへ『ざわざわ森のがんこちゃん』(20話)、『ぼうけん!メカラッパ号』(6話)、『職人魂が宿る究極の逸品』『世界遺産:日光の社寺』『イグネー屋敷林が育む田園の四季』(各1話)を提供
11	エルサルバドルTV放映(平成16年度)	エルサルバドル	国営Canal10	04.08.01～ 07.07.31	エルサルバドルTV放映向け番組提供。国営Canal11へ『プロジェクトX 挑戦者たち』(第2シリーズ・10話)を提供
12	エルサルバドルTV放映(平成16年度)	エルサルバドル	国営Canal10	05.03.01～ 08.02.29	エルサルバドルTV放映向け番組提供。国営Canal 10へ『プロジェクトX』第三シリーズを提供
13	キューバTV放映(平成16年度)	キューバ	国営ICRT	04.08.01～ 07.07.31	キューバTV放映向け番組提供。国営ICRTへ『腕におぼえあり』(12話)を提供
14	ドミニカ共和国TV放映(平成16年度)	ドミニカ共和国	民営TU	04.08.01～ 07.07.31	ドミニカ共和国TV放映向け番組提供。民営TUへ『やってみようなんでも実験』(26話)を提供
15	パナマTV放映(平成16年度)	パナマ	国営RTVE-PANAMA	04.08.01～ 07.07.31	パナマTV放映向け番組提供。国営RTVE-PANAMAへ『腕におぼえあり』(12話)を提供
16	ホンジュラスTV放映(平成16年度)	ホンジュラス	民営TELEUNSA	04.08.01～ 07.07.31	ホンジュラスTV放映向け番組提供。民営TELEUNSAへ『プロジェクトX挑戦者たち』(13話)を提供
17	メキシコTV放映(平成16年度)	メキシコ	国営Canal11	04.08.01～ 07.07.31	メキシコTV放映向け番組提供。国営Canal11へ『プロジェクトX 挑戦者たち』(13話)、『ハイテクの職人たち:アイデア対決 ロボットコンテスト』(1話)を提供
18	パラグアイTV放映(平成16年度)	パラグアイ	民営Canal2	04.08.01～ 07.07.31	パラグアイTV放映向け番組提供。民営Canal2へ『プロジェクトX挑戦者たち』(4話)、『お父さんへ-赤ちゃんからのメッセージ-』(1話)、『ピコピコボン』(20話)を提供
19	ブラジルTV放映(平成16年度)	ブラジル	州営TV Cultura	04.08.01～ 07.07.31	ブラジルTV放映向け番組提供。州営TV Culturaへ『北海道富良野 寒い森の物語』『知床悠久の半島』(各1話)、『美しき日本 百の風景』(13話)、『ふしぎいっぱい』(16話)を提供
20	ボリビアTV放映(平成16年度)	ボリビア	民営TELEUNSA	04.08.01～ 07.07.31	ボリビアTV放映向け番組提供。国営TVUへシリーズ『ステップ&ジャンプ(中学生の理科)』(30話)、『日本の伝統文化』(16話)を提供
21	カザフスタンTV放映(平成16年度)	カザフスタン	国営KA	05.01.01～ 07.12.31	カザフスタンTV放映向け番組提供。国営KAへ『デジタル大図鑑-日本の自然-』(26話)、『日本の最新技術』(12話)を提供

## 映像出版事業費

	事業名	国	団体	期間	事業内容
22	ハンガリーTV 放映(MTV)(平成 16年度)	ハンガリー	国営MTV	04.08.01～ 07.07.31	ハンガリーTV放映向け番組提供。国営MTVへ『核時代と人間』『そこが知りたい：アブナイ！眠らない東京の真夜中』『世紀を越えて－地球・豊さの限界－第5集』『原爆を落とした男』『廃棄パソコンがあふれ出す』『熱帯林の先住民は叫ぶ』『四季・牛渡川』『北アルプスの四季』『南アルプス讃歌－日本最大山塊の四季』(各1話)を提供
23	リトアニアTV 放映(平成16年 度)	リトアニア	民営TV1	04.08.01～ 07.07.31	リトアニアTV放映向け番組提供。民営TV1へ『ぼうけん！メカラッパ号』(6話)、『デジタル大図鑑－日本の自然』(26話)、『アジア発見』(3話)、『驚異！狂暴ミツバチ50万匹と闘う』『観察15年野生の白い猿4姉妹の物語』(各1話)を提供
24	ロシアTV放映 1・ハバロフスク (平成16年度)	ロシア	国営BSBC	04.08.01～ 07.07.31	ロシア・ハバロフスクTV放映向け番組提供。国営BSBCへ『日本の最新技術』(7話)、『瀬戸内海鯛物語』『大獅子が通る』『隅田川花火大会の軌跡』(各1話)を提供
25	ロシアTV放映 2・ユジノサハ リンスク(平成 16年度)	ロシア	民営ASTV	04.08.01～ 07.07.31	ロシアTV放映向け番組提供。民営ASTVへ『冬・知床 亜紀11才の潜水日記』『わが家は土俵の上』『サオー一本で夢を釣れ』『学校とは何か?』『阿波踊り発見!』(各1話)を提供
26	ロシアTV放映 3・ウラジオス トク(平成16年 度)	ロシア	国営OTV	04.08.01～ 07.07.31	ロシアTV放映向け番組提供。国営OTVへ『日本の最新技術』『ロマンと感動の記録 隅田川花火大会の軌跡』『ベーシック・ジャパン：年中行事としきたり』『真珠の神秘』『世界の中の日本建築?デザインと技術:住まい』『新日本探訪:鈴鹿青春サーキット』(各1話)、『日本の伝統文化』(4話)を提供
27	アフガニスタン TV放映(平成 16年度)	アフガニスタ ン	国営RTA	04.12.01～ 07.11.30	アフガニスタンTV放映向け番組提供。国営RTA(カブールTV)へ『日本の伝統スポーツ：柔道』『日本人のくらし:小学生のアフタースクール』(各1話)、『マテマティカ』(13話)、『美の回廊』(3話)を提供
28	アフガニスタン TV放映(おし ん)	アフガニスタ ン	国営RTA	05.02.01～ 10.01.31	アフガニスタンTV放映向け番組提供。国営カブールTVへ『おしん』(ペルシャ語版)297話を提供
29	イエメンTV放 映(平成16年度)	イエメン	国営Yemen TV	04.08.01～ 07.07.31	イエメンTV放映向け番組提供。国営Yemen TVへ『日本の最新技術』(12話)、『10ミニッツボックス』(20話)、『技?極める』(2話)、『よみがえる幻の古代芸能 伎楽』(1話)、『ぼうけん！メカラッパ号』(6話)を提供
30	イラクTV放映 (平成16年度)	イラク	Al-Muthanna TV Station	04.11.01～ 09.10.31	イラクTV放映向け番組提供。Al-Muthanna TV Stationへ『人形劇』(20話)、『プロジェクトX挑戦者たち』(6話)、およびアニメ番組を提供

	事業名	国	団体	期間	事業内容
31	イラクTV放映 (おしん)	イラク	Iraqi Media Network	05.03.01～ 10.02.28	イラクTV放映向け番組提供。IMNへ『おしん』 (続編) (アラビア語字幕版) 97-297話を提供
32	イランTV放映 (平成16年度)	イラン	国営RTM	04.08.01～ 07.07.31	イランTV放映向け番組提供。国営IRIBへ『帰っ てきちゃった』(16話)、『むしの居どころ』『家族 旅行』『生きて生きて-遠野の里から』『瞬』(各1 話)を提供
33	シリアTV放映 (平成16年度)	シリア	国営STV	04.08.01～ 07.07.31	シリアTV放映向け番組提供。国営STVへ『腕に おぼえあり』(12話)を提供
34	チュニジアTV 放映(平成16年 度)	チュニジア	国営ERTT	04.11.01～ 07.10.31	チュニジアTV放映向け番組提供。国営ERTTへ 『日本の伝統文化』『日本の伝統スポーツ』『やっ てみようなんでも実験』『10ミニッツボックス』を提 供
35	モロッコTV放 映(平成16年度)	モロッコ	国営RTM	04.08.01～ 07.07.31	モロッコTV放映向け番組提供。国営RTMへ 『やってみようなんでも実験』(13話)、『データボ ックス・しらべてサイエンス』(14話)を提供
36	ウガンダTV放 映(平成16年度)	ウガンダ	国営UTV	04.08.01～ 07.07.31	ウガンダTV放映向け番組提供。国営UTVへ『腕 におぼえあり』(12話)、『10ミニッツボックス:動 くしくみ』(5話)提供
37	ガーナTV放映 (平成16年度)	ガーナ	国営GBC	04.08.01～ 07.07.31	ガーナTV放映向け番組提供。国営GBCへ『ピコ ピコボン』(40話)を提供
38	ガーナTV放映 (平成16年度)	ガーナ	民営TV3	04.12.01～ 07.11.30	ガーナTV放映向け番組提供。民営TV3へ『プロ ジェクトX』第1シリーズを提供
39	カメルーンTV 放映(平成16年 度)	カメルーン	国営CRTV	04.08.01～ 07.07.31	カメルーンTV放映向け番組提供。国営CRTVへ 『ふしぎいっぱい』(16話)、『10ミニッツボックス』 (20話)、『ザ・プロフェッショナル』(8話)を提供
40	ケニアTV放映 (平成16年度)	ケニア	国営KBC	04.08.01～ 07.07.31	ケニアTV放映向け番組提供。国営KBCへ『腕に おぼえあり』(12話)を提供
41	語版改編	全世界区分困 難	財団法人放送番 組国際交流セン ター	04.04.01～ 05.03.31	テレビ番組の国際版(英語版、スペイン語版)を 財団法人放送番組国際交流センターと共同制作

2. 文化資料事業費	(2)本部フィルムライブラリー (FL)充実
------------	------------------------

優れた日本の劇映画および文化映画の外国語字幕版・吹替版を本部フィルムライブラリーに収集し、活用する。  
合計額 95,427,107円

	作品名	監督名	製作年	事業内容
1	丹下左膳余話・ 百万両の壺	山中貞雄	1935	山中貞雄監督作品『丹下左膳余話・百万両の壺』英語字幕版35ミ リプリント購入



## 映像出版事業費

	作品名	監督名	製作年	事業内容
2	残菊物語	溝口健二	1939	溝口健二監督『残菊物語』35mm英語字幕版購入
3	静かなる決闘	黒澤明	1949	『静かなる決闘』英語字幕版35ミリプリント購入
4	醜聞（スキヤンダル）	黒澤明	1950	黒澤明監督『醜聞』35mm英語字幕版購入
5	白痴	黒澤明	1951	黒澤明監督『白痴』35mm英語字幕版購入
6	お遊さま	溝口健二	1951	『お遊さま』英語字幕版35ミリプリント購入
7	東京物語	小津安二郎	1953	『東京物語』プリント購入
8	煙突の見える場所	五所平之助	1953	『煙突の見える場所』プリント購入
9	二十四の瞳（木下）	木下恵介	1954	木下恵介監督作品『二十四の瞳』プリント購入
10	嵐を呼ぶ男	井上梅次	1957	『嵐を呼ぶ男』プリント購入
11	東海道四谷怪談	中川信夫	1958	『東海道四谷怪談』プリント購入
12	毒婦高橋お伝	中川信夫	1958	『毒婦高橋お伝』英語字幕版35ミリプリント購入
13	亡霊怪猫屋敷	中川信夫	1958	『亡霊怪猫屋敷』英語字幕版35ミリプリント購入
14	秋津温泉	吉田喜重	1962	『秋津温泉』プリント購入
15	戒厳令	吉田喜重	1973	吉田喜重監督作品『戒厳令』英語字幕版35ミリプリントの購入
16	まえがみ太郎	日本アニメーション製作	1979	『まえがみ太郎』英語字幕版プリントの購入
17	陽炎座	鈴木清順	1981	鈴木清順監督『陽炎座』35mm英語字幕版購入
18	栢山節考契約延長	今村昌平	1983	今村昌平監督「栢山節考」の契約を延長
19	ゆきゆきて、神軍	原一男	1987	原一男監督作品『ゆきゆきて、神軍』プリント購入
20	その男、凶暴につき	北野武	1989	『その男、凶暴につき』（北野武監督）プリント購入
21	ちびまる子ちゃん 大野君と杉山君	芝山努	1990	『ちびまるこちゃん 大野君と杉山君』英語字幕版プリントの購入
22	3-4×10月	北野武	1990	『3-4×10月』（北野武監督）プリント購入
23	まあだだよ	黒澤明	1993	『まあだだよ』英語字幕版35ミリプリント購入

	作品名	監督名	製作年	事業内容
24	卓球温泉	山川元	1998	英語字幕付35mmプリントの購入
25	顔	阪本順治	2000	『顔』プリント購入
26	blue	安藤尋	2001	『blue』（安藤尋監督作品）英語字幕版プリントの購入
27	満山紅柿	小川伸介・彭小蓮	2001	『満山紅柿』（小川伸介・彭小蓮監督作品）英語字幕版プリントの購入
28	鏡の女たち	吉田喜重	2002	『鏡の女たち』（吉田喜重監督作品）英語字幕版プリントの購入
29	蕨野行（わらびのこう）	恩地日出夫	2002	『蕨野行』（恩地日出夫監督作品）英語字幕版プリントの購入
30	アカルイミライ	黒沢清	2002	『アカルイミライ』（黒沢清監督作品）英語字幕版プリントの購入
31	ホテル・ハイビスカス	中江裕司	2002	『ホテル・ハイビスカス』（中江裕司監督作品）英語字幕版プリントの購入
32	新・仁義なき戦い 謀殺	橋本一	2002	『新・仁義なき戦い 謀殺』（橋本一監督作品）英語字幕版プリントの購入
33	ばかのハコ船	山下淳弘	2002	『ばかのハコ船』（山下敦弘監督作品）英語字幕版プリントの購入
34	たそがれ清兵衛	山田洋次	2002	『たそがれ清兵衛』プリント購入
35	ナイン・ソウルズ	豊田利晃	2003	豊田利晃監督『ナイン ソウルズ』35mm英語字幕版購入
36	ぼくんち	阪本順治	2003	『ぼくんち』（阪本順治監督作品）英語字幕版プリントの購入
37	ベアテの贈りもの	藤原智子	2004	『ベアテの贈りもの』プリント購入
38	KBSフィルムDVD化		2005	基金が著作権を有する戦前-戦後にかけての記録映画（16ミリ版）をDVD化
39	短編アニメ（ロータス）	木下蓮三	-	『日本人（ジャポネーゼ）』『Made in Japan』プリント購入
40	成瀬巳喜男	成瀬巳喜男	-	成瀬巳喜男監督作品を購入

2. 文化資料事業費	(3)海外フィルムライブラリー（FL）充実
------------	-----------------------

在外公館・海外事務所のフィルム・ライブラリーに、非商業ベースの上映許諾を得て、劇映画を配布する。  
合計額 139,145,153円

	事業名	配布先	国	言語	事業内容
1	ソウルFL	ソウルFL	韓国	韓国語	プリント購入

## 映像出版事業費

	事業名	配布先	国	言語	事業内容
2	中国FL	中国FL	中国	中国語	プリント購入
3	ジャカルタFL	ジャカルタFL	インドネシア	インドネシア語	プリント購入
4	東アジアFL	東アジアFL	タイ	英語	プリント購入
5	バンコクFL	バンコクFL	タイ	タイ語	プリント購入
6	西アジアFL	西アジアFL	インド	英語	プリント購入
7	大洋州FL	大洋州FL	オーストラリア	英語	プリント購入
8	中南米FL	中南米FL	アルゼンチン	スペイン語	プリント購入
9	ブラジルFL	ブラジルFL	ブラジル	ポルトガル語	プリント購入
10	ローマFL	ローマFL	イタリア	イタリア語	プリント購入
11	欧州FL	欧州FL	英国	英語	プリント購入
12	ケルンFL	ケルンFL	ドイツ	ドイツ語	プリント購入
13	仏語FL	仏語FL	フランス	仏語	プリント購入
14	露語FL	露語FL	ロシア	ロシア語	プリント購入
15	中近東FL	中近東FL	エジプト	アラビア語	プリント購入
16	アフリカFL	アフリカFL	ケニア	英語	プリント購入

### 2. 文化資料事業費 (4)映画・テレビ番組制作協力

海外における日本理解を促進するため、内外の団体等が制作する日本に関する映画、テレビ番組その他の映像資料に対して、制作費の一部を分担し、協力する。

合計額 27,113,840円

	助成対象	国	作品名	監督	事業内容
1	宮沢賢治アニメーション制作実行委員会	日本	Crossing The Snow	片山憲哉	世界13カ国・地域が参加する『Animated Tales of the World』（13作品）への日本代表作品として製作し出品参加した。また、世界の秀作アニメーションを日本へ紹介することで、世界100カ国、26言語にもおよぶ世界中の子供達に相互の文化への理解促進を図った
2	社団法人日本国際青年文化協会	日本	A ZEN LIFE-D.T.Suzuki	Michael GOLDBERG	彼の思想に影響を受けた人々のインタビュー映像と、写真資料や記録映像、証言記録などを使用。日本語・英語両バージョンを制作

	助成対象	国	作品名	監督	事業内容
3	Tamara Popper	オーストラリア	SYDNEY AT WAR: THE UNTOLD STORY	POPPER, Tamara	第2次世界大戦下の日本軍潜水艦によるシドニー湾奇襲をめぐるドキュメンタリー。3人のオーストラリア人と3人の元日本兵が語るそれぞれの物語から神話的事件の真相に迫った
4	Farallon Films	米国	The Mushroom Club	OKAZAKI Steven	この作品を通し、決して忘れてはならない原爆という過去の悲劇的な出来事を語ると同時に、そこから再生された現在の広島役割、意味などを伝えた。また、この悲劇を二度と繰り返してはいけないというメッセージを確認
5	The University of Oklahoma	米国	Koto Music	Eugene Enrico	日本の伝統的な音楽を紹介するシリーズの7回目は「琴」をテーマに扱った。師範家から弟子にどのように伝え、発展していったかを探る30分の作品。日本音楽の専門家であるウィリアム博士に加え、本作品のシリーズアドバイザーの音楽学の教授エンリコの共同作業で実現。「琴」という楽器を通して、日米間の理解を深めた
6	Nippo Brazil-in between the cultures	ドイツ	Nippo Brazil-in between the cultures (15年度)	MANHAES REIS, Roberto	欧州ではその存在を殆ど知られていないブラジルの日系人の歴史を紹介するドキュメンタリー。移民史の概観ではなく、それぞれ状況の異なる3人の日系青年に焦点を当て、各自のアイデンティティの模索と旅立ちの物語を描いた
7	ALIF PRODUCTIONS	フランス	Campagne a la campagne : Kimiko-san	JULLIEN, Martine	男性社会である政界に一女性が挑み、奮闘する姿を捉え、それを人類学的な見地から考察。また、この作品は、選挙戦をベースに現代日本の問題点と捉えられている社会の特殊性、中でも血縁関係、土地の関係、義理の関心に注目させた
8	PROART VISION	チェコ	Mitsuko, the Countess from Pobezovice	Olga STRUSKOVA	欧州統合の思想的創始者である伯爵の夫人の生き方や主義に焦点を当て、チェコと日本だけでなく、とりわけヨーロッパ人と日本人との関係を検証

## 映像出版事業費

### 2.文化資料事業費 (5)日本文学作品翻訳出版

日本において広く愛読されているにもかかわらず、海外において紹介される機会の少ない作家の作品を国際交流基金と出版社が共同して翻訳出版する。

合計額 14,104,318円

	資料名・書名	発行日	発行部数	事業内容
1	日本文学作品ロシア語翻訳出版 (SF小説)	2004.09	8500	日本を代表する12人のSF小説作家の作品をロシア語に翻訳し、アンソロジーの形で出版
2	日本文学作品ロシア語翻訳出版 (時代小説)	2005.01	8500	日本を代表する12人の時代小説作家の作品をロシア語に翻訳し、アンソロジーの形で出版
3	司馬遼太郎『坂の上の雲』英語版 (準備)	-	-	司馬遼太郎『坂の上の雲』英語版の英訳
4	日本関係書籍アラビア語翻訳出版 (準備)	-	-	日本関係書籍をアラビア語に翻訳・出版

### 2.文化資料事業費 (6)出版翻訳協力

外国語でかかれた日本に関する良書が数多く出版されるように、優秀な翻訳・出版プロジェクトに協力する。

合計額 27,810,171円

	助成団体	書名	国	著編者	事業内容
1	論衡出版社	無文字社会の歴史 - 西アフリカ・モシ族の事例を中心に	韓国	川田順造	翻訳
2	図書出版月印	日本の地域文化の経営	韓国	徐淵昊	出版
3	図書出版プルビッ	国際文化論	韓国	平野健一郎	翻訳
4	イーク出版社	海洋国家日本の構想	韓国	高坂正堯	翻訳
5	論衡出版社	無文字社会の歴史 - 西アフリカ・モシ族の事例を中心に	韓国	川田順造	出版
6	山東文芸出版社	芥川龍之介全集	中国	芥川龍之介	翻訳
7	中央編訳出版社	政談	中国	Gong Ying	荻生徂徠著『政談』の中国語版

	助成団体	書名	国	著編者	事業内容
8	株式会社紀伊国屋書店出版部	現代日本の劇作第6巻	日本	寺山修司	出版
9	株式会社生活ジャーナル	石橋湛山評論集	日本	堀江則雄	翻訳
10	財団法人東方学会	江戸時代とはなにかー日本史上の近世と近代	日本	尾崎正英	翻訳
11	株式会社ユック舎	ガラスのうさぎ	日本	高木敏子	翻訳
12	株式会社ユック舎	ガラスのうさぎ	日本	高木敏子	出版
13	株式会社生活ジャーナル	石橋湛山評論集	日本	堀江則雄	翻訳
14	モウンヒーン ウセグ出版社	日本詩選	モンゴル	Mend-Ooyo Gombojav 谷川俊太郎 他	出版
15	Center for Modern Economics Training	日本の近年の経済改革について	ベトナム	Trinh Ngoc Luu	出版
16	Australian War Memorial	戦史叢書 南太平洋陸軍作戦 <1><2>	オーストラリア	Peter Londey	翻訳
17	ハワイ大学出版局	多武峰少将物語ほか	米国	-	出版
18	ケンブリッジ大学出版局	市民性の絆	米国	Eiko Ikegami	出版
19	デューク大学出版局	テキストと都市	米国	前田愛	出版
20	Wesleyan University Press	稽古の言葉 魂の糧 (出版)	米国	大野慶人	大野一雄『稽古の言葉』および大野慶人『魂の糧』の英語版
21	ハワイ大学出版	Enlightened Conservatives: Religious and Political Coalitions in Nineteenth-Century Japan	米国	Janine Tasca Sawada	幕末～明治期にかけての思想についての研究書
22	La Torre de Lulio Publishers	俳句の道	メキシコ	Agustin Jimenz	翻訳

## 映像出版事業費

	助成団体	書名	国	著編者	事業内容
23	株式会社らぶらた報知社	アルゼンチン日本人移民史 第2巻	アルゼンチン	アルゼンチン日本人移民史編纂委員会	出版
24	アルゼンチン日本人移民史編纂委員会	アルゼンチン日本人移民史 第1巻	アルゼンチン	株式会社らぶらた報知社	『アルゼンチン日本人移民史』第1巻のスペイン語版
25	Editora Schwarcz Ltda.	仮面の告白	ブラジル	Heloisa Jahn 三島由紀夫	三島由紀夫『仮面の告白』のポルトガル語版
26	エスタソン・リベルダーデ出版社	雪国	ブラジル	川端康成	翻訳
27	三島由紀夫	仮面の告白	ブラジル	シュワークス出版社	三島由紀夫『仮面の告白』ポルトガル語版の出版
28	ベネズエラ出版社	広島、二つの見方：原子爆弾と情報操作	ベネズエラ	Silvia Lidia Gonzalez	出版
29	エンピリア出版社	中原中也、立原道造詩集『泉のような』	イタリア	中原中也	翻訳
30	エンピリア出版社	中原中也、立原道造詩集『泉のような』	イタリア	中原中也	出版
31	ピーター オーエン出版	倫敦塔ほか	英国	夏目漱石	出版
32	アブステーム・ポバンス出版	クレーの天使	フランス	谷川俊太郎	出版
33	ピカール出版社	ル・コルビュジエと日本	フランス	Gerard Monnier 高階秀爾	翻訳
34	ファクト出版社	日本古典的な詩選集、短歌、連歌 (VIII - XV c.)	ウクライナ	-	出版
35	Slovart Publishin Ltd.	羊をめぐる冒険	スロバキア	村上春樹	翻訳
36	Slovart Publishing,Ltd.	羊をめぐる冒険	スロバキア	村上春樹	出版
37	夢出版社	ノルウェーの森	スロベニア	村上春樹	翻訳

	助成団体	書名	国	著編者	事業内容
38	フィリップ・ヴィ シニッチ出版社	言葉なき世界へ 1920年代日本ア ヴァンギャルド運 動 セルビア文学 との比較考察	セルビア・モンテ ネグロ	山崎佳代子	出版
39	パセカ出版	源氏物語2	チェコ	紫式部	出版
40	アーキテクチュア ル スパイズ	アーキテクチュア ル スパイズ - 日本	ブルガリア	Nadya Stamatova	出版
41	ホミニSCパブ リッシングハウス	正法眼蔵	ポーランド	道元	翻訳
42	有限会社ワネコ	はだしのゲン 第 1, 2巻	ポーランド	中沢啓治	出版
43	島田雅彦	自由死刑	ポーランド	Academic Publishing House DIALOG	島田雅彦『自由死刑』のポーラン ド語版
44	Publishing House Trio	Japan (Series: States of the World in XX Century)	ポーランド	Ewa Palasz- Rutkowska	20世紀の日本についての解説書
45	Polirom出版社	ねじまき鳥クロニ クル	ルーマニア	村上春樹	出版
46	ヒペリオン出版社	和泉式部日記	ロシア	Elena Mihailovna Diakonova 和泉式部	出版
47	ヒペリオン出版社	日本の女性詩歌	ロシア	Elena Mihailovna Diakonova 俵万智 他	翻訳
48	Priamurskie Vedomosti Publishing House	神々の来た道	ロシア	Igor Samarin	出版
49	銀の糸出版社	現代日本の劇作 第3巻	ロシア	Irina Fantina 渡辺えり子 他	翻訳
50	ヒペリオン出版社	夏目漱石集	ロシア	Elena Mihailovna Dialonova 夏目漱石	出版



## 映像出版事業費

### 2. 文化資料事業費 (7) 図書展参加

出版交流および対日理解促進の一環として、国内外の図書展等に社団法人出版文化国際交流会などとの共催・協力により出展参加する。

合計額 14,307,782円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	第10回ソウル国際ブックフェア	韓国	ソウル	韓国総合展示会場	04.06.04～ 04.06.09	日本の出版状況に一定の知識のある現地のニーズに合わせた図書を展示し、日本の出版文化の更なる情報提供を行なった
2	東京国際ブックフェア2004	日本	東京	日本東京ビックサイト	04.04.22～ 04.04.25	東京国際ブックフェアをアジア地域の中心的図書展にするため、アジアの出版社の参加を側面支援
3	第15回フィリピンブックフェア	フィリピン	マニラ	メガトレードホール	04.08.11～ 04.08.15	本年は図書展の開催時期にアジア太平洋出版連合（APPA）の年次総会が開催され、同総会にはアジア主要国の出版関係者が出席するため、同図書展も盛況となった
4	第18回グアダハラハラ国際図書展	メキシコ	グアダハラ	グアダハラ見本市会場	04.11.27～ 04.12.05	中米地域の本格的なトレード・フェアを旨ざしている図書展。中米スペイン語圏に向けて日本の出版文化の情報提供を行なった
5	第30回ブエノスアイレス国際図書展	アルゼンチン	ブエノスアイレス	ブエノスアイレス市農牧展示場	04.04.13～ 04.05.09	中南米スペイン語圏最大の国際図書展として、入場者100万人を越える規模で開催。夜間のいわゆるゴールデンタイムには家族連れの入場者も多く、文化情報発信の恰好の場となった
6	第18回サンパウロ国際図書展	ブラジル	サンパウロ	移民コンベンションセンター	04.04.15～ 04.04.25	隔年開催の図書展であるが、官民挙げての国民的イベントとなっている。日本からの出展は、100万人を越える日系人社会からも毎回期待され、その模様は日系邦字紙も大きく報道された
7	第56回フランクフルト国際図書展	ドイツ	フランクフルト	フランクフルト市国際見本市会場	04.10.06～ 04.10.10	世界の多くの国がこの国際図書展に参加し、商取引のみならず、自国の出版情報、文化情報を発信している。そのような状況の中「日本ブース」として出展し、日本文化紹介図書等を展示すると共に、同ブースにインフォメーション・カウンターを設置して来場者に情報提供を行なった
8	第49回ベオグラード国際図書展	セルビア・モンテネグロ	ベオグラード	ベオグラード見本市会場	04.10.19～ 04.10.25	出展・展示合わせ、日本大使館の積極的な協力を得て、碁や折り紙の現地専門家のデモンストレーションを実施
9	第11回ブタペスト国際図書展	ハンガリー	ブタペスト	ブダペスト・コンベンション・センター	04.04.22～ 04.04.25	東欧地域で影響力のある国際図書展において、日本の出版文化の情報を提供

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
10	第6回ビリニユス国際図書展	リトアニア	ビリニユス	リトアニア展示会センター	05.02.10～ 05.02.13	リトアニアは2004年の欧州連合(EU)加盟を受け一段と発展が期待されているが、同国の市民における日本文化への興味は年を追う毎に増え続けており、特に日本文学や古典芸能に関する興味は著しいため、本図書展を機に日本紹介の洋書等を展示し、更なる日本文化の広報、対日理解促進を図った
11	第6回モスクワノン・フィクション国際図書展	ロシア	モスクワ	全ロシア展示センター	04.12.01～ 04.12.05	「ノン・フィクション」国際図書展は、「知的」な良書を扱うことを大きな特徴としており、来訪者も知的興味の高い層が中心となり、参加する出版社・団体等もロシアの知的出版文化をリードする存在のものがほとんどであった
12	第17回テヘラン国際図書展	イラン	テヘラン	テヘラン・フェアグラウンド	04.05.03～ 04.05.13	イラン政府主催の伝統ある図書展として50カ国が参加しているが、東アジア地域からの参加がないため、日本からの参加が期待され、それに応える形での参加

2. 文化資料事業費	(8)映像出版情報交流(文化資料)
------------	-------------------

日本の映像・出版関係情報の海外への発信および海外における日本の映像・出版の紹介の現状調査・データベース化を行なう。

合計額 6,067,500円

	資料名・書名	発行日	発行部数	事業内容
1	NEW CINEMA FROM JAPAN	2004.09 2005.02	3,000 3,000	英語による日本映画最新情報の提供を図るため、財団法人日本映画海外普及協会とカタログ『NEW CINEMA FROM JAPAN』を発行
2	JAPANESE BOOK NEWS 第43号	2005.03	5000	日本の新刊書等を海外に紹介する書誌情報誌
3	日本文学翻訳データベース(準備)	—	—	外国語に翻訳された日本文学作品データベースの構築
4	JAPANESE BOOK NEWS 第44号(準備)	—	—	日本の新刊書等を海外に紹介する書誌情報誌

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 国際交流フォーラム運営事業費

### 1. 国際交流フォーラム運営事業費

- (1) 国際会議場貸出
- (2) 国際交流基金フォーラム貸出

国際交流フォーラム運営事業費

1. 国際交流フォーラム運営事業費 (1)国際会議場貸出

文化交流を目的とした国際会議、シンポジウムなど幅広い目的に使用できる「国際交流基金会議場」の貸し出しを行なう。  
合計額 700,000円

	事業名	機関	期間	事業内容
1	「宮元亜門 ブロードウェイミュージカル [太平洋序曲] を語る」	日米交流150年委員会	04.03.02	日本人で初めてブロードウェイミュージカルを演出した宮元亜門によるトークショー
2	音楽劇「赤毛のアン」制作発表	特定非営利活動法人国際連合活動支援クラシックライブ協会	04.07.13	生命のコンサート 音楽劇「赤毛のアン」作成発表
3	「光州ビエンナーレ2004」制作発表	Gallery Q	04.07.15	9月にオープンを迎える「光州ビエンナーレ2004」制作発表の概要説明と日本からの参加者紹介
4	日米政経セミナー	財団法人日本国際交流センター	04.08.10	タイトル：2004米国大統領選挙の展望と今後の米国政治・経済動向
5	中東ビジネス講座	財団法人中東協力センター	04.09.06～ 04.09.07	中東業務に比較的経験の浅いビジネスマンを対象とした講座
6	中東時事問題懇談会	財団法人中東協力センター	04.10.14	中東の最新情報に精通した識者による情報提供を目的とした懇談会
7	「日本の経済政策-制作と研究の調和を目指して」	一橋大学経済研究所	04.12.02	一橋大学21世紀プログラムを中心とした、日本の経済政策に関するシンポジウム
8	南仏における天然香料ビジネスおよびソフィアアンチボリスの紹介	在京フランス大使館	04.12.03	天然香料で有名な南仏グラスより、香料の専門家を招へいして、現地における企業の優位性を紹介
9	「巨象は動く、注目されるインド市場」	日本貿易振興機構会員サービス	05.01.28 2005	ジェットロメンバーズを中心とする首都圏ビジネスマン向けセミナー
10	「交差するアジア・北アフリカ文化・科学技術研究」	筑波大学北アフリカ研究センター	05.03.14～ 04.03.17	筑波大学北アフリカ研究センター・人文社会科学研究所が主催するシンポジウム

# 国際交流フォーラム運営事業費

1. 国際交流フォーラム運営事業費	(2)国際交流基金フォーラム貸出
-------------------	------------------

国際交流基金フォーラム貸し出しに係る経費。

合計額 7,800,000円

No.	事業名	機関	期間	事業内容
1	ASIAN Friends in TOKYO	株式会社オズエンタテインメント	04.04.04～ 04.04.04	日(GYPSYQUEEN)・中(BEYOND)・韓(PURI)のアーティストによるアジア音楽のコンサート
2	日本ミャンマー合作映画「THWAY - 血の絆」アンコール完成披露試写会	ミャンマー連邦大使館	04.04.09～ 04.04.09	日本ミャンマー合作映画「THWAY - 血の絆」アンコール完成披露試写会
3	World Flower Council Japan Floral Demonstration	World Flower Council日本支部	04.05.30～ 04.05.30	World Flower Council日本支部メンバーによるフラワーデザイン・デモンストレーションおよび作品展示
4	イラン映画祭	イランイスラム共和国大使館	04.06.04～ 04.06.13	日本未公開の作品を中心にイラン映画10～14本を上映する
5	Dear!	Dance Dears	04.06.17～ 04.06.19	Dance Dearsによる韓国江陵州での親善公演の凱旋公演を含むダンス公演
6	モレキュラーシアター講演「HO PRIMER」(ホー・プライマー「呆」の手引き・「法」の雷管)	モレキュラーシアター	04.07.08～ 04.07.11	韓国舞踏家とのコラボレーションによる新作上演写真展と映画上映、アーティストを招いてのコロックの開催
7	土本典昭フィルムグラフィック展	シグロ	04.07.17～ 04.07.18	土本典昭氏および海外から招へいする作家のドキュメンタリー映画上映、および世界の潮流における日本のドキュメンタリーの位置付けを検証するシンポジウム開催
8	見えない都市の夢	パパ・タラフマラ	04.08.22～ 04.08.29	先進的ビジュアル要素を用い、ガルシア・マルケスの魔術的リアリズムの世界を舞台化する公演
9	ドキュメンタリー・ドリーム・ショー山形映画祭2004	財団法人国際文化交流推進協会	04.09.07～ 04.09.15	ドキュメンタリー映画祭の上映、それに付随するトークイベント、展示など
10	映画祭「Hispanic Beat」	スペイン大使館	04.09.16～ 04.09.26	映画祭開催

	事業名	機関	期間	事業内容
11	「天河～ TENGA～」 The New Orchestra	「天河～ TENGA～」	05.02.15～ 05.05.16	和太鼓・二胡・横笛・津軽三味線・琴などアジア楽器を中心とした新しいアンサンブルによるオリジナル作品の発表
12	桜美林パフォー ミングアーツプ ログラム+青年 団 演劇公演 「もう風も吹か ない」	国際交流機構 総務部広報室	05.02.22～ 05.02.24	演劇公演
13	コンテンポラ リー・パフォー マンス「青の風 ～Vent Vert ～」	特定非営利活 動法人カル チャー・リン クス	05.02.26～ 05.02.27	世界的な振付家スーザン・バージ（フランス在住）と日本の伝統、石見神楽がコラボレーションする世界初の先駆的舞台作品の講演開催

# 日本語普及事業に必要な経費

## 日本語事業費

### 1. 日本語企画調整費

- (1) 日本語教育機関等調査
- (2) 日本語教育国際シンポジウム
- (3) 海外日本語教育支援NGO（助成）
- (4) 日本語教育企画開発型事業

### 2. 日本語派遣・助成費

- (1) 日本語教育専門家长期派遣（一般）
- (2) 日本語教育専門家长期派遣（予備教育）
- (3) 青年日本語教師派遣（一般）
- (4) 青年日本語教師派遣（NIS）
- (5) 日本語教育巡回セミナー
- (6) アジア青年文化奨学金
- (7) 日本語教育開発機関（助成）
- (8) 海外日本語講座（助成）専任講師給与
- (9) 海外日本語講座（助成）現地講師謝金
- (10) 海外日本語弁論大会（助成）
- (11) 海外日本語教育ネットワーク形成（助成）

### 3. 日本語能力試験費

- (1) 日本語能力試験実施費
- (2) 評価開発経費

## 1. 日本語企画調整費 (1)日本語教育機関等調査

海外の日本語教育機関などに関する調査および特定地域における調査等を実施し、その結果を適当な媒体で公開する。また、日本語教育・研究の成果も適当な媒体で公開する。

合計額 61,564,800円

	事業名	国	期間	事業内容
1	看護師・介護士日本語教育プログラム	フィリピン	05.01.19～ 05.03.31	平成17年度から始まる看護師・介護士日本語教育プログラムに関し、マニラ事務所において予備調査（データ・文献の収集、関係機関での聞き取り調査）を実施
2	APテスト（調査）	米国	04.04.01～ 05.03.31	全米の高校生を対象とするAP(Advanced Placement：大学教養課程事前履修)プログラムへの日本語科目の参入に関し、調査を実施し、2007年始動に向けた準備作業を行なった
3	日本語教育国別情報	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	各国の日本語教育の状況をホームページ上で紹介
4	動向調査	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	中期計画、地域別方針等に基づき、重点国・地域の日本語教育事情の最新動向を把握するため、専門家等による実地調査を実施
5	2003年海外日本語教育機関調査	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	全世界を対象とする日本語教育機関調査。2003年に実施した調査の結果を、集計・分析し、報告書の作成を行なった
6	欧州日本語教育事情調査	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	欧州評議会（Council of Europe）が制定したThe Common European Framework of Reference for Languagesが欧州の日本語教育に及ぼす影響や効果について8カ国（英国、ドイツ、フランス、アイルランド、スイス、ベルギー、オランダ、ハンガリー）を調査し、報告書を発行。ヨーロッパ日本語教師会に業務委託（2年計画の2年目）
7	『日本語教育事情報告編・世界の日本語教育』第7号	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	平成15年度に発行した『日本語教育事情報告編・世界の日本語教育』（海外の日本語教育の制度、政策、現状等をまとめた最新事情報告誌）第7号を、関係機関に配布した
8	『日本語教育論集・世界の日本語教育』第14号	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	広く世界に公募し、審査により選考された日本語教育・日本語学に関する論文集。市販。目次・論文要旨（第13号より全論文）はホームページにも掲載。発行部数2900部
9	『国際交流基金日本語教育紀要』第1号	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	国際交流基金で日本語教育に携わる専門員、専門家、職員等の教育・研究活動の成果を発表するための論文・報告誌。ホームページにも全文掲載。発行部数1,000部
10	『日本語教育通信』第49号～51号	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	海外の日本語教師に役立つ情報を提供するためのニューズレターであり、国際交流基金日本語事業紹介、日本語教育レポート、新刊図書・教材紹介等から成る。ホームページにも全文掲載。発行部数各17,000部
11	シラバス・ガイドライン翻訳出版事業	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	海外の初・中等教育における日本語教育のシラバス・ガイドラインをシリーズで翻訳刊行。ホームページにも掲載。本年度は、オーストラリア・ビクトリア州のシラバス1点を刊行。発行部数200部



## 日本語事業費

### 1. 日本語企画調整費 (2) 日本語教育国際シンポジウム

国内外の専門家による日本語教育に関する国際シンポジウムおよび外国人による日本語弁論大会を実施する。  
合計額 3,990,343円

	事業名	期間	会場	事業内容
1	第45回外国人による日本語弁論大会	04.05.29～ 04.05.29	高知市文化プラザかるぽーと	日本語学習を奨励し、日本語普及事業への国民の理解を深めるため、外国人による日本語弁論大会を財団法人国際教育振興会、高知市、高知市教育委員会との共催により開催した。22の国と地域の117名の応募者の中から選ばれた、10の国と地域の12名が出場。大会の様子はNHK教育テレビで放映された
2	2004年日本語教育国際研究大会	04.08.06～ 04.08.07	昭和女子大学	社団法人日本語教育学会、国立国語研究所との共催により、「21世紀の日本語教育現場を考える—共通性と相違性の探求」と題したシンポジウムを開催。同時に、日本語国際センター図書館所蔵資料を活用し、「世界の日本語教材展」を行なった
3	日本語国際センター15周年記念公開イベント	05.03.12～ 05.03.12	日本語国際センター	さまざまな分野において活躍中の「日本語の使い手」を一堂に招き、日本語・日本文化の魅力と活力、その可能性を語ってもらうシンポジウムを開催した。併せて日本語教育事業を中心に基金の活動をさまざまな型で紹介するイベントを催した

### 1. 日本語企画調整費 (3) 海外日本語教育支援NGO(助成)

日本国内のNPO・NGOが海外の日本語教育支援を目的として実施する活動に対して、その経費のうちひとつの項目の一部または全部を助成する。

合計額 9,722,054円

	機関	国	期間	事業内容
1	特定非営利活動法人日中友好市民倶楽部	中国	04.04.15～ 04.04.30	第三回日中友好中国大学生日本語科卒業論文コンクール論文集配布
2	花甲贈書会	中国、ベトナム	04.12.01～ 05.03.31	アジア諸国に日本語の図書を寄贈
3	鳥取県モンゴル中央県親善協会	モンゴル	04.06.28～ 04.07.28	モンゴル中央県児童・生徒日本語体験
4	いっくら国際文化交流会	モンゴル	05.01.14～ 05.01.26	日本語教師を目指すモンゴルの大学生の短期日本招へい
5	特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド	カンボジア	04.12.01～ 05.03.31	海外への日本語教師派遣事業（カンボジア・シェムリアップ州での貧困農家の子ども達への日本語教育のため）
6	特定非営利活動法人ノマドインターナショナル	タイ、グルジア、ロシア	04.12.01～ 05.02.15	日本語学習ワークブック制作・配布プロジェクト

	機関	国	期間	事業内容
7	特定非営利活動法人国際交流の会とよなか	タイ	04.12.01～ 05.03.15	タイのシンプリ校への日本語教師派遣
8	ネパール教育整備促進協会	ネパール	04.04.01～ 04.07.28	ネパールへの日本語教材等の寄贈
9	ネパール教育整備促進協会	ネパール	04.05.01～ 04.10.20	日本語・ネパール語会話集付属テープ作成
10	いっくら国際文化交流会	アジア地域区分困難	04.11.26～ 05.03.28	副教材『研修生が見た日本』の発行
11	財団法人国際文化フォーラム	全世界区分困難	04.12.01～ 05.03.31	写真教材『日本の小学生生活』（日英版）制作
12	財団法人日本スペイン協会	全世界区分困難	04.12.01～ 05.03.31	スペイン語圏用日本語テキストとCDの送付

1. 日本語企画調整費	(4) 日本語教育企画開発型事業
-------------	------------------

通常の主催・助成プログラムの枠組みには当てはまらないものの、日本語普及における政策上の必要性が高い事業を実施する。

合計額 28,544,225円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	AP日本語プログラム	The College Board	米国	04.10.01～ 05.09.30	米国の高校生を対象とするAP (Advanced Placement: 大学教養課程事前履修) プログラムへの日本語科目導入に係る初期開発経費の半額を助成 (3年計画の1年目)

2. 日本語派遣・助成費	(1) 日本語教育専門家長期派遣 (一般)
--------------	-----------------------

大学など各国の日本語教育の中核的機関に日本語教育専門家を派遣し、実際に日本語講座の事業を担当するほか、カリキュラム編成や教材作成、現地講師に対する教授法などの指導・助言等の業務を行なう。

合計額 853,567,088円

	氏名	国	期間	受入団体
1	隈井正三	韓国	01.12.21～04.06.20	ソウル日本文化センター
2	稲見由紀子	韓国	02.07.22～05.09.11	在釜山総領事館
3	三原龍志	韓国	04.02.15～07.02.28	ソウル日本文化センター

## 日本語事業費

	氏名	国	期間	受入団体
4	天野千春	韓国	04.06.12～06.06.11	ソウル日本文化センター
5	山口敏幸	中国	01.07.01～04.06.30	在香港総領事館
6	有馬淳一	中国	02.06.03～05.06.02	北京日本文化センター
7	林敏夫	中国	04.06.20～06.06.19	在香港総領事館
8	村上吉文	モンゴル	02.04.21～06.04.20	モンゴル日本センター
9	津留紀子	インドネシア	01.07.07～04.07.21	ガジャマダ大学
10	山門健二	インドネシア	01.08.07～04.07.20	国立スラバヤ大学
11	藤長かおる	インドネシア	01.08.15～04.12.25	ジャカルタ日本語センター
12	山下美紀	インドネシア	02.06.22～05.06.21	ジャカルタ文化センター
13	渡辺由美	インドネシア	03.04.07～06.06.14	ジャカルタ文化センター
14	松本剛次	インドネシア	03.06.19～06.06.30	北スマトラ大学
15	森西志保子	インドネシア	03.08.03～06.08.14	インドネシア教育大学
16	小栗潔	インドネシア	04.07.08～06.07.20	国立スラバヤ大学
17	西浦久子	インドネシア	04.07.08～06.07.21	ガジャマダ大学
18	古川嘉子	インドネシア	04.12.07～06.12.25	ジャカルタ日本文化センター
19	市瀬俊介	カンボジア	04.07.01～06.07.01	カンボジア日本協力センター
20	小野明美	シンガポール	02.05.28～05.12.09	シンガポール教育省
21	上野栄三	タイ	01.09.16～04.09.15	バンコク日本文化センター
22	小西広明	タイ	02.04.03～05.02.28	ナレスワン大学
23	野畑理佳	タイ	02.04.10～04.07.23	バンコク日本文化センター
24	三登由利子	タイ	02.05.01～05.03.19	チェンマイ大学
25	熊野七絵	タイ	04.07.15～05.07.23	バンコク日本語センター
26	八田直美	タイ	04.09.04～06.09.03	バンコク日本文化センター
27	片桐準二	フィリピン	01.10.20～04.11.10	フィリピン大学
28	藤光由子	フィリピン	03.05.06～06.05.15	マニラ事務所
29	高崎三千代	フィリピン	03.05.12～05.05.11	デ・ラ・サール大学
30	洲脇泰	フィリピン	04.10.30～06.10.29	フィリピン大学

	氏名	国	期間	受入団体
31	西原潤	ブルネイ	02.06.23～04.07.05	ブルネイ教育省
32	新田洋子	ブルネイ	04.06.24～06.06.23	ブルネイ教育省
33	鈴木衣今子	ベトナム	04.10.14～05.10.14	ベトナム日本人材協力センター
34	花井慎行	マレーシア	02.04.08～05.04.09	クアラルンプール日本語センター
35	松原理香	マレーシア	02.04.08～05.04.09	クアラルンプール日本語センター
36	土井真美	マレーシア	03.4.22～06.04.30	クアラルンプール日本語センター
37	下橋美和	マレーシア	05.03.01～07.03.31	クアラルンプール日本文化センター
38	根津誠	マレーシア	05.03.01～07.03.31	クアラルンプール日本文化センター
39	小久保ひろし	ラオス	04.04.07～06.04.06	ラオス国立大学
40	池津丈司	インド	02.01.13～05.01.14	MOSAI
41	山口明	インド	02.06.02～05.06.01	ニューデリー事務所
42	平賀達哉	インド	05.01.04～07.01.22	MOSAI
43	長谷川あずさ	スリランカ	04.12.10～05.04.14	ケラニア大学
44	本橋啓子	スリランカ	02.12.11～04.12.23	ケラニア大学
45	室屋春光	オーストラリア	02.07.02～05.07.01	ビクトリア州教育省
46	磯村一弘	オーストラリア	02.09.20～04.09.19	シドニー日本語センター
47	北井佐枝子	オーストラリア	03.01.05～06.01.14	QLD州教育省
48	友岡純子	オーストラリア	03.01.05～06.01.14	タスマニア州教育省
49	永井和子	オーストラリア	03.04.08～05.04.24	西オーストラリア州教育省
50	江原有輝子	オーストラリア	04.04.14～06.04.14	NSW州教育省
51	佐々木香織	オーストラリア	04.09.07～06.09.19	シドニー日本語センター
52	村野節子	オーストラリア	05.04.06～07.02.10	西オーストラリア教育省
53	江頭由美	ニュージーランド	02.12.20～06.01.31	ニュージーランド教育省教員養成大学協議会（オークランド）
54	大久保めぐみ	ニュージーランド	03.07.03～04.12.22	ニュージーランド教育省教員養成大学協議会（ウエリントン）
55	茅本百合子	ニュージーランド	05.04.06～07.02.10	ニュージーランド教育省教員養成大学協議会

## 日本語事業費

	氏名	国	期間	受入団体
56	宇田川洋子	カナダ	03.07.10～06.06.30	アルバータ州学習省
57	小松知子	チリ	02.01.15～05.01.19	国立サンチャゴ大学
58	今枝亜紀	チリ	05.01.05～07.01.19	国立サンチャゴ大学
59	下橋美和	ブラジル	02.09.01～05.01.05	リオ連邦大学
60	三浦多佳史	ブラジル	03.04.08～05.11.30	サンパウロ日本文化センター
61	衣笠秀子	イタリア	03.08.30～06.07.15	ローマ日本文化会館
62	中込達哉	英国	02.03.01～05.02.28	ロンドン事務所
63	来嶋洋美	英国	05.02.17～07.02.28	ロンドン日本語センター
64	野呂香代子	ドイツ	01.08.27～04.07.18	ケルン日本文化会館
65	星亨	ドイツ	02.07.24～05.07.23	ケルン日本文化会館
66	谷道まや	ドイツ	04.07.14～06.07.14	ケルン日本文化会館
67	福島青史	ウズベキスタン	03.07.29～05.07.28	ウズベキスタン日本センター
68	杉浦千里	カザフスタン	02.05.01～04.04.30	カザフスタン日本センター
69	荒川友幸	カザフスタン	04.04.15～06.04.30	カザフスタン日本センター
70	黒滝力	キルギス	04.07.09～06.07.31	キルギス日本センター
71	近藤正憲	チェコ	01.09.04～04.09.30	カレル大学
72	柴倉映子	チェコ	04.09.17～06.09.30	カレル大学
73	齊藤眞美	ハンガリー	02.08.11～05.08.10	ブダペスト事務所
74	畠山理恵	ブルガリア	01.07.06～04.07.28	ソフィア大学
75	須賀美紀	ブルガリア	04.07.14～06.07.28	ソフィア大学
76	横野登代子	ポーランド	01.06.19～04.10.15	ヤギェヴォ大学
77	菅生早千江	ポーランド	04.06.28～06.07.12	ヤギェヴォ大学
78	酒井理恵	ルーマニア	04.03.27～06.07.20	ブカレスト大学
79	境田徹	ロシア	03.08.19～05.07.27	モスクワ国際関係大学
80	松島幸男	イラン	03.07.15～06.07.30	テヘラン大学
81	青沼国夫	サウジアラビア	02.06.18～06.07.15	キングサウド大学
82	小部玲子	シリア	02.04.29～04.07.31	ダマスカス大学

	氏名	国	期間	受入団体
83	中堂暁美	シリア	04.07.13～06.07.31	ダマスカス大学
84	杉山純子	トルコ	02.09.30～06.04.30	土日基金文化センター
85	石田美保	エジプト	02.08.15～04.06.30	カイロ大学
86	岩元隆一	エジプト	03.08.14～05.07.10	アインシャムス大学
87	尾崎裕子	エジプト	03.08.31～06.09.21	カイロ事務所
88	近藤裕美子	モロッコ	02.10.01～05.09.27	モハメド5世大学

2. 日本語派遣・助成費	(2)日本語教育専門家長期派遣（予備教育）
--------------	-----------------------

日本の大学、高専などに進学する学生を対象に日本語・教科の予備教育を現地で2年間程度実施するプログラムに対し、日本語教育専門家を派遣する。

合計額 83,201,601円

	氏名	国	期間	受入団体
1	池辺明子	中国	03.03.21～05.07.19	東北師範大学
2	山田勇人	中国	03.03.21～05.07.23	東北師範大学
3	本藤由梨	中国	03.03.21～05.09.08	東北師範大学
4	山田勇人	中国	04.03.29～04.08.03	東北師範大学
5	日比野新	中国	04.03.29～04.09.10	東北師範大学
6	中西悦子	中国	05.03.17～05.03.19	東北師範大学
7	田村由美恵	マレーシア	02.04.02～04.04.01	マラヤ大学
8	戸田淑子	マレーシア	02.04.02～04.04.01	マラヤ大学
9	立花秀正	マレーシア	02.04.10～05.05.01	マラヤ大学
10	小山純子	マレーシア	03.03.24～05.03.23	マラヤ大学
11	谷口正昭	マレーシア	03.03.24～05.03.23	マラヤ大学
12	大竹恵美子	マレーシア	03.03.24～06.03.21	マラヤ大学
13	勝田順子	マレーシア	03.03.24～06.04.02	マラヤ大学
14	斉藤直子	マレーシア	03.04.01～05.03.31	マラヤ大学
15	武井康江	マレーシア	03.04.01～05.03.31	マラヤ大学

## 日本語事業費

	氏名	国	期間	受入団体
16	森道代	マレーシア	03.04.01～05.03.31	マラヤ大学
17	富岡純	マレーシア	03.04.01～06.04.02	マラヤ大学
18	ワトソンジョイ	マレーシア	04.03.22～06.03.21	マラヤ大学
19	山本孝治	マレーシア	04.03.22～06.03.21	マラヤ大学
20	千馬智子	マレーシア	04.03.25～06.04.02	マラヤ大学
21	谷淵麻子	マレーシア	04.03.25～06.04.02	マラヤ大学
22	宮島良子	マレーシア	04.04.01～05.04.01	マラヤ大学
23	飯塚往子	マレーシア	05.03.17～07.03.16	マラヤ大学
24	河合由希江	マレーシア	05.03.17～07.03.16	マラヤ大学
25	宮田登紀子	マレーシア	05.03.17～07.03.16	マラヤ大学
26	阿蘇豊	マレーシア	05.03.23～07.03.28	マラヤ大学
27	井上花子	マレーシア	05.03.23～07.03.28	マラヤ大学
28	上野栄三	マレーシア	05.03.23～07.03.28	マラヤ大学

2. 日本語派遣・助成費	(3) 青年日本語教師派遣（一般）
--------------	-------------------

開発途上国および欧州地域の中等教育機関に対し若手の日本語教師を派遣し、実際に授業を担当、あるいは現地教師の助手を務める。

合計額 103,096,101円

	氏名	国	期間	受入団体
1	池田富子	韓国	02.06.03～05.07.16	在釜山総領事館
2	澤邊裕子	韓国	02.06.09～05.06.10	ソウル日本文化センター
3	稲田登志子	中国	02.07.01～04.08.12	遼寧教育学院
4	長山由美子	中国	03.07.11～05.07.18	吉林省教育学院
5	鳴海佳恵	中国	04.07.25～06.07.24	遼寧教育学院
6	伊古田絵里	モンゴル	02.04.08～04.05.20	モンゴル国立大学
7	篠山美智子	インドネシア	01.06.19～04.06.30	インドネシア中等教育機関
8	久野元	インドネシア	01.06.19～04.06.30	インドネシア中等教育機関

	氏名	国	期間	受入団体
9	白頭宏美	インドネシア	01.06.19～04.12.25	インドネシア中等教育機関
10	藤島夕紀代	インドネシア	02.06.15～05.6.30	インドネシア中等教育機関
11	森本由佳子	インドネシア	02.06.15～05.12.25	インドネシア中等教育機関
12	田尻由美子	インドネシア	03.06.15～05.06.30	インドネシア中等教育機関
13	平岩桂子	インドネシア	04.06.11～06.06.10	インドネシア中等教育機関
14	増井優子	インドネシア	04.06.11～06.06.10	インドネシア中等教育機関
15	吉田好美	インドネシア	04.06.11～06.06.10	インドネシア中等教育機関
16	山科健吉	タイ	01.04.25～04.04.22	タイ中等教育機関
17	木村智	タイ	02.04.25～06.03.31	タイ中等教育機関
18	伊東忠洋	タイ	03.04.25～05.04.24	タイ中等教育機関
19	伊藤愛子	タイ	04.04.15～06.04.14	タイ中等教育機関
20	大船ちさと	ベトナム	04.04.02～05.04.01	ベトナム中等教育機関
21	平岩ゆか	ラオス	04.09.01～06.08.31	国立ラオス大学
22	權谷紅美子	英国	03.06.13～04.09.30	ロンドン事務所
23	田中真寿美	英国	05.04.14～07.04.14	ロンドン事務所
24	中林理恵	キルギス	03.09.01～04.06.09	キルギス日本センター
25	佐藤五郎	サウジアラビア	03.05.28～05.06.30	キングサウド大学
26	内藤真理子	シリア	04.08.17～06.07.31	ダマスカス大学
27	重見綾香	エジプト	02.08.15～04.06.30	アインシャムス大学
28	藤原由紀子	エジプト	04.08.15～06.06.30	アインシャムス大学
29	古川敦子	エジプト	04.08.15～06.06.30	カイロ大学

2. 日本語派遣・助成費	(4) 青年日本語教師派遣 (NIS)
--------------	---------------------

旧ソ連諸国の大学等高等機関に対し若手の日本語教師を派遣し、実際に授業を担当する。

合計額 61,468,642円

	氏名	国	期間	受入団体
1	黒岩幸子	アゼルバイジャン	03.09.01～05.06.30	バクー国立大学



## 日本語事業費

	氏名	国	期間	受入団体
2	小野崎亮	ウクライナ	02.09.01～04.06.30	キエフ国立言語大学
3	石田英明	ウクライナ	04.09.01～05.06.30	キエフ国立大学
4	立間智子	ウクライナ	03.09.01～05.06.30	キエフ国立言語大学
5	板橋貴子	カザフスタン	03.09.01～04.06.30	カザフ国立大学
6	大島智美	カザフスタン	04.09.01～05.06.30	カザフ国立大学
7	神吉宇一	ベラルーシ	02.09.01～04.06.30	ベラルーシ国立大学 ミンスク国立言語大学
8	星野智子	ベラルーシ	04.09.01～05.06.30	ベラルーシ国立大学 ミンスク国立言語大学
9	石田英明	ロシア	01.09.01～04.06.30	ノボシビルスク国立大学
10	杉本和子	ロシア	02.09.01～04.06.30	ハバロフスク国立教育大学
11	平畑奈美	ロシア	03.09.01～04.06.30	モスクワ国立大学
12	新佳乃子	ロシア	03.09.01～05.06.30	サハリン国立総合大学
13	深水豊	ロシア	04.09.01～05.06.30	ノボシビルスク国立大学
14	宮木麻子	ロシア	04.09.01～05.06.30	ハバロフスク国立教育大学

### 2. 日本語派遣・助成費 (5)日本語教育巡回セミナー

海外の日本語講師の質向上のため、2名程度からなる日本語教育専門家グループを数カ国あるいは1国内数都市に短期間巡回派遣し、各地で教材の使用法、教授法などにつき研修会、セミナーを行なう。

合計額 6,785,717円

	事業名	国	都市	期間	派遣者	現職
1	東南アジア巡回セミナー	ベトナム	ハノイ ホー・チ・ミン	04.09.09～ 04.09.19	斎藤真理子	文化女子大学現代文学部教授
2	中南米巡回セミナー	キューバ ドミニカ共和国 アルゼンチン パラグアイ	ハバナ サントドミンゴ ブエノスアイレス アスンシオン	05.01.17～ 05.02.06	篠島文恵 三浦多佳史	日本語国際センター日本語教育専門家
3	巡回指導（アイルランド）	アイルランド	ダブリン	05.01.13～ 05.01.16	中込達哉 Lydia Morey	日本語教育専門家 英国中等レベル試験委員会委員長

	事業名	国	都市	期間	派遣者	現職
4	巡回指導（バルト3国）	エストニア ラトビア リトアニア	タリン リガ ビリニュス	05.01.27～ 05.01.30	齊藤真美	アドバイザー
5	巡回指導（ルーマニア）	ルーマニア	ブカレスト	05.03.18～ 05.03.22	齊藤真美	日本語教育専門家(アドバイザー)
6	巡回指導（サンクト・ペテルブルク）	ロシア	サンクト・ペテルブルグ	05.02.19～ 05.02.21	境田徹	日本語教育専門家
7	極東巡回セミナー	ロシア	ハバロフスク ウラジヴォストク ユジノサハリンスク	05.02.22～ 05.03.06	浜田盛男 尾崎明人	関西センター専門員 教授

2. 日本語派遣・助成費	(6) アジア青年文化奨学金
--------------	----------------

日本の国立大学に国費留学生として来日する大学生・大学院生を募集・選考し、マレーシア（クアラルンプール）に集めて15カ月にわたって日本語教育を主とした予備教育を実施する。

合計額 71,224,971円

	事業名	国	人数	期間
1	アジア青年文化奨学金	インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス バングラデシュ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	04.04.01～05.03.31

2. 日本語派遣・助成費	(7) 日本語教育開発機関（助成）
--------------	-------------------

社団法人日本語教育学会に対し、同学会が実施する日本語教育研修事業、日本語教育調査研究事業に対し助成する。

合計額 25,050,000円

	機関	国	期間	事業内容
1	社団法人日本語教育学会	日本	04.04.01～ 05.03.31	社団法人日本語教育学会が実施する各種研修事業、調査研究事業に対して助成金を交付

## 日本語事業費

### 2. 日本語派遣・助成費 (8) 海外日本語講座（助成）専任講師給与

海外で日本語教育を行なう機関が日本語講師スタッフの拡充を目的として専任の日本語講師（非常勤・兼任を除く）を新規に採用する場合、国際交流基金がその給与を当初の3年間で上限として助成する。

合計額 20,408,722円

	国	機関
1	タイ	コンケン大学
2	米国	ナトローナ郡学区
3	米国	ウィスコンシン大学オークレア
4	米国	フロリダ国際大学
5	ブラジル	リオデジャネイロ州立大学
6	ブラジル	リオグランデドスールカトリック大学
7	アイスランド	アイスランド大学
8	スロベニア	リュブリャーナ大学文学部

### 2. 日本語派遣・助成費 (9) 海外日本語講座（助成）現地講師謝金

海外の非営利日本語教育機関で日本語講座の運営に財政的困難がある場合、近い将来自助独立の見通しのあるものだけに限り、その講師スタッフの謝金の一部を助成する。

合計額 16,119,937円

	国	機関
1	韓国	釜山韓日文化交流協会
2	韓国	済州道韓日親善協会
3	中国	課程教材研究所
4	モンゴル	モンゴル国立大学
5	カンボジア	一二三日本語教室
6	フィリピン	日本語センター財団
7	ベトナム	レ・クイ・ドン中学校
8	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程
9	マレーシア	ペナン日本語協会
10	マレーシア	ペラ馬日友好協会
11	インド	日本語センター・ニューデリー

	国	機関
12	インド	ラマ・クリシュナ・ミッション語学学校
13	インド	印日語学教育協会
14	インド	バンガロール大学
15	インド	ソーマイヤ仏教研究センター
16	パキスタン	パキスタン・日本文化協会（シンド）
17	バングラデシュ	ダッカ日本語教室
18	バングラデシュ	ダッカ大学現代言語研究所
19	オーストラリア	タスマニア大学
20	ミクロネシア	カルバリー・クリスチャン・アカデミー
21	カナダ	ヨーク大学グレンドン校
22	カナダ	ラバル大学
23	カナダ	モントリオール日本語センター
24	米国	ポートランド公立学区
25	米国	ボルカノ スクール オブ アーツ アンド サイエンシズ
26	キューバ	国立芸術学院
27	コスタリカ	日本・コスタリカ友好協会
28	メキシコ	社団法人日墨文化学院
29	アルゼンチン	ブエノス・アイレス大学
30	ウルグアイ	在ウルグアイ日本人会
31	コロンビア	コロンビア日系人協会附属日本語学校
32	パラグアイ	エンカルナシオン日本語学校
33	ブラジル	日本語普及センターポルトアレグレ校
34	ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ連邦大学
35	ブラジル	エスコラ・ニッケイ
36	ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ日伯文化協会
37	ベネズエラ	カラカス日本人会
38	ペルー	ペルー日系人協会

## 日本語事業費

	国	機関
39	ボリビア	ラパス日本人会日本語普及学校
40	英国	ウォーウィック大学
41	ドイツ	マインツ大学
42	ドイツ	シュールツェントルム アン デア ハンブルガーシュトラー セ ギムナジウム
43	ベルギー	リエージュ大学日本研究センター
44	ポルトガル	カミロ カステロ ブランコ中・高等学校
45	ウクライナ	キエフ工科大学
46	ウクライナ	イヴァンフランコ記念リヴィヴ国立大学
47	エストニア	タリン教育大学
48	エストニア	エストニア人文大学
49	チェコ	バラツキー大学
50	ブルガリア	ソフィア第18高校
51	ポーランド	ヤギェウォ大学東洋語学研究所日本語学科
52	ポーランド	アダム・ミツケヴィッチ大学
53	ラトビア	リーガ文化高等学校
54	ラトビア	ラトヴィア大学現代言語学部東洋学科
55	イエメン	イエメン・日本友好協会
56	トルコ	土日基金文化センター
57	レバノン	ハリーリ・アカデミー大学
58	エジプト	エジプト日本語教育振興会
59	エジプト	アイン・シャムス大学外国語学部
60	マダガスカル	アンタナナリヴ大学人文学部
61	マダガスカル	聖ジョセフ・アンツイラベ大学

## 2. 日本語派遣・助成費 (10) 海外日本語弁論大会 (助成)

海外において日本語弁論大会を開催しようとする機関に対して、経費・賞品などの一部を助成する。

合計額 9,943,312円

	大会名	国	機関	期間
1	第6回全国高校生日本語力競試大会	韓国	社団法人韓日協会	04.07.24~04.07.24
2	第13回日本語弁論大会	韓国	済州道韓日親善協会	04.11.13~04.11.13
3	第8回瀋陽日本語弁論大会	中国	瀋陽日本人会	04.04.18~04.04.18
4	第5回北京市大学日本語学科一年生スピーチコンテスト	中国	清華大学	04.06.11~04.06.11
5	第29回2004年度 香港日本語弁論大会	中国	香港日本文化協会	04.07.03~04.07.03
6	第3回南京市弁論大会	中国	東南大学	04.10.21~04.10.21
7	第8回マカオ日本語スピーチコンテスト	中国	マカオ大学	05.03.23~05.03.23
8	第3回日本語スピーチコンテスト	モンゴル	モンゴル国立科学技術大学	04.11.27~04.11.27
9	第4回西スマトラ日本語スピーチ大会	インドネシア	ブンハッタ大学	04.05.01~04.05.01
10	第21回日本語弁論大会	インドネシア	北スマトラ大学文学部日本語日本文学科	04.05.22~04.05.22
11	第8回日本語スピーチコンテスト	カンボジア	王立プノンペン大学	05.01.30~05.01.30
12	第36回日本大使杯日本語スピーチコンテスト	シンガポール	シンガポール日本文化協会	04.07.11~04.07.11
13	第31回タイ国日本語弁論大会	タイ	タイ元日本留学生協会(OJSAT)	04.09.05~04.09.05
14	第18回ブルネイ日本語弁論大会	ブルネイ	ブルネイ教育省技術教育局生涯教育課	04.10.02~04.10.02
15	第10回ホーチミン市日本語スピーチコンテスト	ベトナム	ベトナム日本人材協力センター	04.11.07~04.11.07
16	第18回日本語弁論大会	マレーシア	ペラ馬日友好協会	04.08.07~04.08.07
17	第25回日本語弁論大会	マレーシア	ペナン日本語協会	04.08.14~04.08.14

## 日本語事業費

	大会名	国	機関	期間
18	第17回東インド日本語弁論大会	インド	印日福祉文化協会	04.09.18～04.09.18
19	西インド地区日本語弁論大会	インド	プネ印日協会	05.02.19～05.02.19
20	日本語弁論大会	インド	印日商工会議所	05.02.19～05.02.19
21	第17回日本語弁論大会	スリランカ	スリランカ日本語教育協会	05.03.19～05.03.19
22	第23回日本語弁論大会	ネパール	ネパール日本語教師協会	05.03.14～05.03.19
23	第17回日本語弁論大会	パキスタン	国立近代外国語大学	04.10.05～04.10.05
24	第20回カラチ日本語弁論大会	パキスタン	パキスタン・日本文化協会（シンド）	05.03.25～05.03.25
25	どうして私は日本語を習っているのか	バングラデシュ	日本アカデミー	04.12.26～04.12.26
26	第29回日本語弁論大会	バングラデシュ	ダッカ日本語教室同窓会	05.03.19～05.03.19
27	A.C.T. 日本語弁論大会	オーストラリア	首都特別地域日本語教師会	04.08.01～04.08.01
28	ビクトリア州日本語教師会ジュニア・スピーチ・コンテスト	オーストラリア	ビクトリア州日本語教師会	04.08.01～04.08.01
29	第33回クイーンズランド州日本語弁論大会	オーストラリア	クイーンズランド州現代語教師会	04.08.04～04.08.04
30	タスマニア州日本語弁論大会	オーストラリア	タスマニア豪日協会	04.08.29～04.08.29
31	第13回北部準州日本語弁論大会・LTANT（エルトン）2004年スピーキングコンテスト	オーストラリア	北部準州語学教師会	04.09.04～04.09.04
32	南オーストラリア州日本語弁論大会	オーストラリア	南オーストラリア州日本語教師会	04.09.05～04.09.05
33	第35回西豪州日本語弁論大会	オーストラリア	イーデス・コーワン大学	04.09.12～04.09.12
34	第35回ビクトリア州日本語弁論大会	オーストラリア	日本語弁論大会実行委員会	04.09.12～04.09.12
35	第4回日本語弁論大会	サモア	サモア国立大学	04.10.21～04.10.21

	大会名	国	機関	期間
36	サウスランド中等教育日本語弁論大会	ニュージーランド	サウスランド中等教育日本語教師会	04.08.04~04.08.04
37	第12回ウェリントン日本語大会	ニュージーランド	ウェリントン地区日本語教師会	04.08.13~04.08.13
38	オークランド地域日本語弁論大会	ニュージーランド	オークランド・インスティテュート・オブ・スタディーズ 言語文化プログラム	04.08.28~04.08.28
39	こんにちは 日本語スピーチコンテスト	ニュージーランド	カンタベリー日本語教師ネットワーク	04.11.19~04.11.19
40	第16回マニトバ日本語弁論大会	カナダ	マニトバ大学アジア研究センター	05.03.04~05.03.04
41	第7回アトランティックカナダ日本語弁論大会	カナダ	セント・メリーズ大学	05.03.05~05.03.05
42	第16回オタワ日本語弁論大会	カナダ	オタワ日本語弁論大会準備委員会	05.03.05~05.03.05
43	第14回アルバータ地区日本語弁論大会	カナダ	カルガリー大学	05.03.06~05.03.06
44	第16回ケベック州日本語弁論大会	カナダ	マギル大学（東アジア研究学科）	05.03.12~05.03.12
45	第17回BC州日本語弁論大会	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア州日本語弁論大会実行委員会	05.03.12~05.03.12
46	第23回オンタリオ州日本語弁論大会	カナダ	オンタリオ州日本語弁論大会実行委員会	05.03.12~05.03.12
47	第16回全カナダ日本語弁論大会	カナダ	第16回全カナダ日本語弁論大会実行委員会	05.04.03~05.04.03
48	ハワイ日本語スピーチ・コンテストー エレメンタリー・セカンダリー・ハイスクール レベル	米国	ハワイ日系人連合協会	04.04.03~04.04.03
49	第15回アリゾナ日本語弁論大会	米国	アリゾナ日本語教師協会	04.04.18~04.04.18
50	第21回日本語スピーチ&スキットコンテスト	米国	兵庫経済文化センター	04.05.14~04.05.14
51	第18回コロラド州日本語弁論大会	米国	コロラド大学（東アジア言語文学部）	04.11.07~04.11.07



## 日本語事業費

	大会名	国	機関	期間
52	第31回成人日本語弁論大会	米国	北加日米会	04.11.07~04.11.07
53	第16回テキサス州日本語弁論大会	米国	テキサス州日米協会	05.01.22~05.01.22
54	第6回CAJLT日本文化祭2005年	米国	カリフォルニア日本語教師会	05.02.12~05.02.12
55	2005年日本語弁論大会/ジャパン・ボール	米国	ジョージア州日米協会	05.02.19~05.02.19
56	第8回CSLA日本語スピーチコンテスト	米国	カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校	05.02.26~05.02.26
57	第9回ミシガン州日本語スピーチコンテスト	米国	デトロイト日米協会	05.03.01~05.03.01
58	第4回YYY フロリダ州日本語弁論大会	米国	フロリダ州日本語教師会	05.03.05~05.03.05
59	第7回ルイジアナ日本語弁論大会	米国	ルイジアナ日本語教師会	05.03.05~05.03.05
60	第二回アラスカ州日本語弁論大会	米国	アラスカ大学アンカレジ校	05.03.26~05.03.26
61	第2回エル・サルバドル日本語スピーチコンテスト	エルサルバドル	エル・サルバドル大学	04.09.11~04.09.11
62	第9回ハバナの日本語の弁論大会	キューバ	ハバナ大学外国語学部	04.06.04~04.06.04
63	第8回日本語弁論大会	グアテマラ	国立サン・カルロス大学	05.03.08~05.03.08
64	第9回日本語弁論大会	ニカラグア	中米大学	05.03.18~05.03.18
65	第1回日本語弁論大会	ホンジュラス	帰国留学生の会	05.03.29~05.03.29
66	第21回メキシコ日本語弁論大会	メキシコ	メキシコ日本語教師会	04.05.30~04.05.30
67	第12回日本語スピーチコンテスト	アルゼンチン	在亜日本語教育連合会	04.10.24~04.10.24
68	第14回日本語弁論大会	ウルグアイ	在ウルグアイ日本人会	04.10.19~04.10.19
69	第9回日本語弁論大会	エクアドル	エクアドル・カトリック大学	05.01.21~05.01.21
70	第2回ボゴタ日本語弁論大会	コロンビア	コロンビア国立大学	04.10.02~04.10.02

	大会名	国	機関	期間
71	第14回コロンビア西部地区日本語弁論大会	コロンビア	コロンビア日系人協会付属日本語学院	04.10.02~04.10.02
72	第23回日本語弁論大会	チリ	日智文化協会	04.09.23~04.09.23
73	第16回日本語スピーチコンテスト	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	04.09.04~04.09.04
74	第17回マナウス日本語弁論大会・お話大会	ブラジル	西部アマゾン日伯協会	04.09.25~04.09.25
75	第3回東北伯日本語スピーチコンテスト	ブラジル	バイア日伯文化協会連合会	04.10.10~04.10.10
76	第20回パラナ州日本語弁論大会	ブラジル	クリチーバ日伯文化援護協会日本語講座	04.10.10~04.10.10
77	第26回リオデジャネイロ日本語弁論大会	ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ日伯文化協会	04.10.16~04.10.16
78	第10回汎ブラジリア日本語スピーチコンテスト	ブラジル	ブラジリア日本語普及協会	04.10.17~04.10.17
79	第23回日本語普及お話・弁論大会	ブラジル	汎アマゾニア日伯協会	04.10.17~04.10.17
80	第23回日本語弁論大会	ブラジル	リオ・グランデ・ド・スール・カトリック大	04.10.23~04.10.23
81	第25回サンパウロ日本語スピーチコンテスト	ブラジル	ブラジル日本語センター	04.10.24~04.10.24
82	第6回全国日本語朗読・お話大会	ペルー	ペルー日系人協会	04.10.17~04.10.17
83	第3回 JLTI日本語弁論大会	アイルランド	アイルランド日本語教師協会	05.02.26~05.02.26
84	第24回日本語弁論大会	ギリシャ	ギリシャ日本語教師会	04.05.08~04.05.08
85	第13回バルセロナ日本語弁論大会	スペイン	バルセロナ水曜会	04.05.09~04.05.09
86	第16回スペイン人による日本語弁論大会	スペイン	日西文化協会TORA	05.01.15~05.01.15
87	第20回日本語弁論大会	フィンランド	フィンランド・日本語日本文化教師会	05.03.19~05.03.19
88	第3回バクー日本語弁論大会	アゼルバイジャン	バクー国立大学	04.10.09~04.10.09

## 日本語事業費

	大会名	国	機関	期間
89	第9回ウクライナ日本語 弁論大会	ウクライナ	キエフ日本語教師会	04.10.02~04.10.02
90	第13回ウズベキスタン日 本語弁論大会	ウズベキスタン	ウズベキスタン日本語弁 論大会実行委員会	05.03.12~05.03.12
91	第4回エストニア国内日 本語弁論大会	エストニア	エストニア日本語教師会	05.03.11~05.03.11
92	第7回カザフスタン日本 語弁論大会	カザフスタン	アル・ファラビ名称カザ フ民族大学	05.03.12~05.03.12
93	第5回日本語弁論大会	クロアチア	ザグレブ大学哲学部	05.04.09~05.04.09
94	第29回日本語弁論大会	チェコ	チェコ・日本友好協会	04.11.20~04.11.20
95	第12回日本語スピーチコ ンテスト	ハンガリー	ハンガリー日本語教師会	04.11.06~04.11.06
96	第10回日本語弁論大会	ブルガリア	キリル・メトディ国際基 金	04.04.17~04.04.17
97	第3回ベラルーシ日本語 スピーチコンテスト	ベラルーシ	ベラルーシ日本語教師会	04.09.25~04.09.25
98	第4回大学生日本語弁論 大会	ラトビア	ラトヴィア大学（現代言 語学部東洋学科）	05.04.18~05.04.18
99	第1回全リトアニア日本 語弁論大会	リトアニア	ヴィリニユス大学	04.11.05~04.11.05
100	第9回日本語弁論大会	ルーマニア	ヒペリオン大学	05.03.05~05.03.05
101	第9回ロシア極東日本語 弁論大会 第8回ロシア 極東日本語教育セミナー	ロシア	ハバロフスク国立教育大 学	04.10.15~04.10.15
102	第17回全CIS学生日本語 弁論大会	ロシア	CIS日本語教師会	04.10.31~04.10.31
103	第2回日本語弁論大会	イエメン	イエメン・日本友好協会	05.01.06~05.01.06
104	第7回日本語スピーチコ ンテスト	シリア	在シリア日本語教師会	04.12.02~04.12.02
105	第13回アンカラ日本語弁 論大会	トルコ	アンカラ日本語弁論大会 実行委員会	04.11.07~04.11.07
106	第14回イスタンブル日本 語弁論大会	トルコ	イスタンブル日本語弁論 大会実行委員会	05.03.12~05.03.12
107	第8回日本語スピーチコ ンテスト	ヨルダン	ヨルダン大学	05.03.12~05.03.12

	大会名	国	機関	期間
108	第19回カイロ日本語弁論大会	エジプト	カイロ大学文学部日本語日本文学科	04.04.10～04.04.10
109	第6回モロッコ日本語弁論大会	モロッコ	モハメド五世大学	04.05.22～04.05.22
110	第10回ガーナ日本語弁論大会	ガーナ	ガーナ日本語学校	05.01.22～05.01.22
111	日本語スピーチコンテスト	マダガスカル	滞日経験者同窓会	04.08.01～04.08.01

2. 日本語派遣・助成費	(11) 海外日本語教育ネットワーク形成（助成）
--------------	--------------------------

海外の日本語教師、日本語教育研究者、日本語教育機関のネットワーク化を促進することを目的に、各国の日本語教師会、日本語教育学会、高等教育機関、研究機関などに対し、日本語教育に関する学術会議、セミナー、ワークショップ、日本語教師研修会などのプロジェクト実施経費の一部を助成する。

合計額 15,453,166円

	機関	国	期間	事業内容
1	国立慶尚大学校 師範大学	韓国	04.07.19～ 04.08.21	180時間の授業と所定の試験を課し、中等1級日本語教師資格免状を取得させる
2	遼寧省基礎教育 研究研修セン ター	中国	04.07.25～ 04.08.06	読む・書く・聞く・話すの4技能の研修：教材・教具の活用：教室活動・教授法の研修：経験交流など
3	東北師範大学中国 赴日本国留学 生予備学校	中国	04.08.06～ 04.08.08	1.基調講演 2.日本語学、教授法、中日文化比較などに関する研究発表 3.吉林省内にある日本語教育施設の見学
4	北京外国語大学	中国	04.08.16～ 04.08.27	全国の高校日本語教師を対象に集中講義を行う。最新の教育理論を始めとする各科目の具体的な教授法についての講義、教育実習を行なった。5カ年計画の初年度
5	中国日本語教育 研究会	中国	04.10.20～ 04.10.24	中国・日本・韓国・台湾・香港などからの約120名の参加者による国際シンポジウムを開催する際、日本語教育に密接に関わっている諸問題についての最新の研究成果を発表し、議論し合った
6	インドネシア日 本語教育学会 ジャボタベック 支部・日セミ ナー	インドネシア	04.06.05～ 04.06.05	ジャボタベックの大学教師の日本語や日本語教育についての研究発表と日本語教育の実践発表
7	インドネシア日 本語教育学会ス マトラ地区日本 語教育セミナー	インドネシア	05.01.14～ 05.01.15	スマトラ島全域の日本語教師の教授力向上の為、当地の日本語教師が集まり、日本語教育の色々な実践方法を学んだ。各機関の現状報告と意見交換の場も作った

## 日本語事業費

	機関	国	期間	事業内容
8	財団法人泰日経済技術振興協会 附属日本語学校	タイ	04.10.23～ 04.10.24	『みんなの日本語』をメインテキストとして、タイ人講師に初級テキストの使用法、副教材の紹介と使い方のデモンストレーションを行なった。 身の回りの生材料を利用した教材作成と使用法を考えた
9	東遊日本語学校	ベトナム	04.08.05～ 04.08.07	「さくら日本語学校」との共催で、ベトナム人日本語講師の教授能力向上を目標とするセミナーを開催。日本人とベトナム人専門家による講義と、教授法の研修
10	インド日本語教師会	インド	05.02.10～ 05.02.12	インド各国における日本語教育現状の評価。日本語教育事情の比較研究と有効なアイデアの交換
11	ニュージーランド教育省教員養成大学協議会	ニュージーランド	04.07.03～ 04.07.07	ニュージーランドの日本語教員間の情報交換・交流の促進、および日本語能力・日本語教育能力の向上を目指した。参加予定者は約100名
12	カナダ日本語教育振興会	カナダ	04.08.19～ 04.08.22	テーマを「日本語教育の多様性」として、「研究論文発表」「現職・日本語教師のための研修会」「特別セッション」「各部会発表会」「教材展示・即売」を実施した
13	米国日本語教師会連盟	米国	04.06.28～ 04.08.06	全米から20名の初中等教育課程の日本語教師を選抜し、メディア、コンピューター、ウェブを駆使した日本語教授法研修と、日本語・日本文化教授のためのツール構築の援助を行なった
14	メキシコ日本語教師会	メキシコ	05.02.25～ 05.02.27	全国規模の教師会の理事会、総会。招聘講師による講演、セミナー、会員教師の実践報告、研究発表を行なった
15	イタリア日本語教育協会	イタリア	05.03.17～ 05.03.19	日本語学、日本語教育の最新の研究成果を発表し、議論、討論、情報交換の場とした。日本からの研究者の基調講演も行なった
16	英国日本語教育学会	英国	04.09.03～ 04.09.04	英国内高等教育機関で日本語教育に携わっている者に研究発表、意見交換、情報交換の場を提供。招聘者の基調講演ならびに講演を柱に会員から募集した研究発表・実践報告およびワークショップを行なった
17	スイス日本語教師の会	スイス	05.03.12～ 05.03.13	過去10年間行なっている講演、ワーク・ショップ、質疑応答を通してスイスおよびリヒテンシュタインの日本語教師の能力向上を図った。 また、会員相互、セミナー参加教師や専門家との交流を通じて専門的な情報交換やネットワーク構築を目的とした
18	ドイツ語圏中等教育日本語教師会(VJS)	ドイツ	04.10.15～ 04.10.17	ドイツ国内外からの招へい講師による講義および講演・ワークショップ。参加者による研究発表、教室活動、教材開発などについて報告、報告書作成
19	社団法人ドイツ市民大学日本語講師の会	ドイツ	05.03.11～ 05.03.13	ドイツにおける成人に対する日本語教師の教授能力向上のために、講義、ワークショップ等を実施。参加者は約60名
20	ドイツ語圏大学日本語教育研究会	ドイツ	05.03.17～ 05.03.19	日本語教育担当者の研究、研修等に資し、日本語教育の発展に寄与することを目的にシンポジウムを実施。今回は11回目。実施場所は、ライプチヒ大学。80名が参加

	機関	国	期間	事業内容
21	フランス日本語教師会	フランス	04.08.26～ 04.08.28	ヨーロッパにおいて日本語教育に携わる教師の連携を促し、日本語教育の質の向上を目的。実施場所はリヨン第三大学
22	キエフ日本語教師会	ウクライナ	05.03.05～ 05.03.05	キエフを中心地とし、ウクライナ国内の日本語教師のネットワークを作り、現地日本語教師の教授法のブラッシュアップを図った。同国は平成14年度に日本語教育巡回セミナーを実施
23	ウズベキスタン日本語教師会	ウズベキスタン	04.09.04～ 04.09.08	ウズベキスタン国内の教育機関、および招へい講師との学術業績交換をすることにより、実践知の共有、リソースの共有を可能とするネットワーク形成が目的。現地講師による実践報告、研究発表、招へい講師による講義
24	中東欧日本語教師連絡会	ハンガリー	04.07.28～ 04.07.30	各国日本語教育機関報告会、講演、研修会①（研究報告会）②（実践報告会）
25	ブルガリア日本語教師会	ブルガリア	04.09.23～ 04.09.24	ブルガリアの日本語教師が相互に発信・刺激しあうことにより日本語教育の水準を向上。発表の場を提供し、情報交換を促進することで、研究者としての視点を持たせた。当国の日本語学・日本語教育学に関する研究を促進
26	アンカラ大学	トルコ	04.09.11～ 04.09.12	トルコ国内の日本語教育関係者の更なるネットワーク形成、研修、および研究発表
27	中東日本語教師連絡会	エジプト	04.08.28～ 04.08.29	在中東日本語教師のネットワーク強化および研修を実施。中東地域に得意な日本語教育上の問題点等の意見交換、講演、セミナー、中東日本語教師連絡会の年次会合

# 日本語事業費

## 3. 日本語能力試験 (1)日本語能力試験実施費

海外の日本語学習者を対象として、その日本語能力を測定し、級別（1級～4級）に認定する試験を実施する。39の国・地域、99都市において243,242人の受験者があった。

合計額 178,543,618円

	国	都市	受験者数		国	都市	受験者数
1	韓国	ソウル	26,248	53	オーストラリア	キャンベラ	55
2		釜山	17,401	54		ブリスベン	182
3		全州	4,524	55		パース	81
4		済州	1,242	56		シドニー	333
5		仁川	8,321	57		メルボルン	134
6	中国	北京	11,904	58		アデレード	63
7		上海	31,120	59	ニュージーランド	オークランド	325
8		長春	3,864	60		ウェリントン	69
9		大連	8,236	61		クライストチャーチ	105
10		広州	8,299	62	カナダ	バンクーバー	464
11		瀋陽	2,371	63		トロント	275
12		天津	3,916	64	米国	ロサンゼルス	377
13		ハルビン	2,036	65		シカゴ	301
14		西安	2,114	66		ニューヨーク	264
15		重慶	1,330	67		ホノルル	74
16		済南	6,651	68		アトランタ	96
17		武漢	3,447	69		サンフランシスコ	363
18		廈門	2,403	70		ワシントンDC	159
19		杭州	2,665	71		シアトル	149
20		香港	8,628	72	メキシコ	メキシコシティー	879
21	中国（台湾）	台北	27,918	73	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	517
22		高雄	9,815	74	パラグアイ	アスンシオン	728
23	モンゴル	ウラン・バートル	695	75	ブラジル	サンパウロ	1,937
24	インドネシア	ジャカルタ	2,197	76		ロンドリーナ	482
25		バンドン	1,288	77		ベレーン	85
26		スラバヤ	832	78		リオデジャネイロ	209
27		メダン	614	79		ポルトアレグレ	68
28		ジョクジャカルタ	509	80		ブラジリア	164
29		パダン	260	81	ペルー	リマ	262
30		デンパサール	260	82	ボリビア	サンタ・クルス	-
31	シンガポール	シンガポール	3,518	83	イタリア	ローマ	263
32	タイ	バンコク	6,373	84		ミラノ	188
33		チェンマイ	1,336	85	英国	ロンドン	522
34		ソンクラーク	309	86	ギリシャ	アテネ	237
35	フィリピン	マニラ	1,149	87	スペイン	バルセロナ	454
36	ベトナム	ハノイ	992	88	ドイツ	デュッセルドルフ	332
37		ホーチミン	2,572	89		シュトゥットガルト	267
38	マレーシア	クアラルンプール	1,970	90		ベルリン	221
39		ペナン	482	91	フランス	パリ	962
40		イポー	78	92	カザフスタン	アルマティ	186
41		コタ・キナバル	268	93	ハンガリー	ブダペスト	168
42	ミャンマー	ヤンゴン	1,464	94	ブルガリア	ソフィア	133
43		マンダレー	464	95	ポーランド	ワルシャワ	83
44	インド	ニューデリー	670	96	ルーマニア	ブカレスト	252
45		プネ	2,027	97	ロシア	モスクワ	776
46		カルカタ	185	98		ウラジオストク	233
47		チェンナイ	1,007	99	トルコ	アンカラ	249
48	スリランカ	コロンボ	1,019	100	エジプト	カイロ	237
49	ネパール	カトマンズ	1,107				
50	パキスタン	イスラマバード	37				
51		カラチ	35				
52	バングラデシュ	ダッカ	109				
						人数計	243,242

※サンタ・クルス（ボリビア）は、現地事情により、本年度日本語能力実施見送り。

## 3. 日本語能力試験 (2) 評価開発経費

試験結果を分析し、報告書を作成するとともに、より公平で適正な試験の開発に向けて専門家による各種委員会を開催する。

合計額 21,148,170円

	事業名	期間	事業内容
1	分析評価報告書作成	04.04.01～05.03.31	日本語能力試験の統計的な分析結果に基づく評価を報告し、今後のより良いテスト問題作成に資するとともに、日本語教育の研究者や参加者に日本語テスト研究用資料を提供するため「平成15年度日本語能力試験分析評価に関する報告書」を発刊した
2	年少者向けインターネット試験	04.04.01～05.03.31	世界で日本語を学習している年少者（日本語入門レベル）を対象としたインターネット日本語テスト「すしテスト（ <a href="http://momo.jpf.go.jp/sushi/">http://momo.jpf.go.jp/sushi/</a> ）」の運営



# 日本語普及事業に必要な経費

## 附属機関日本語国際センター事業費

### 1. 研修事業費

- (1) 日本語教育指導者養成プログラム
- (2) 海外日本語教師上級研修
- (3) 海外日本語教師長期研修
- (4) 海外日本語教師短期研修
- (5) 在外邦人日本語教師研修
- (6) 米国・カナダ・英国初中等日本語教師訪日研修
- (7) 大韓民国高等学校日本語教師研修
- (8) 中国日本語教師研修
- (9) タイ中等教育日本語教師研修
- (10) オーストラリア・ニュージーランド初中等日本語教師訪日研修
- (11) 埼玉県JET青年日本語研修

### 2. 制作事業費

- (1) 制作教材海外普及
- (2) 日本語教材自主制作
- (3) 日本語教育フェローシップ
- (4) 日本語教材制作助成
- (5) 日本語教材寄贈
- (6) 図書館運営（日）

1. 研修事業費 (1)日本語教育指導者養成プログラム

海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で博士前期課程（修士）を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。

合計額 27,027,224円

	事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
1	平成15年度博士	03.09.29～ 06.09.28	中国（1）	1	海外の日本語教育が盛んな国、もしくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまりは日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、およびその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程。16年度は、15年9月に入学した第1期生1名が引き続き研究継続中
2	平成16年度修士	04.09.29～ 05.09.17	中国（1） モンゴル（1） インドネシア（1） ベトナム（1） バングラデシュ（1） ウズベキスタン（1）	6	海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で博士前期課程（修士）を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。国立国語研究所および政策研究大学院大学の二機関と連携し、三機関の指導講師による日本語教育における高度で実践的な学位プログラムとする。最終試験で所定の成績に達した者に対して、政策研究大学院大学の修士号（日本語教育）を授与。今年度は、6カ国より6名を招へい
3	平成15年度修士	03.09.29～ 04.09.18	モンゴル（1） インドネシア（1） タイ（1） ベトナム（1） ミャンマー（1） インド（1） ブラジル（1） ウクライナ（1） カザフスタン（1）	9	海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で博士前期課程（修士）を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。国立国語研究所および政策研究大学院大学の二機関と連携し、三機関の指導講師による日本語教育における高度で実践的な学位プログラム。最終試験で所定の成績に達した者に対して、政策研究大学院大学の修士号（日本語教育）を授与する。15年9月からの継続事業として第3期生9名を9カ国より招へい
4	平成16年度博士	04.09.29～ 05.09.28	タイ（1）	1	海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で博士前期課程（修士）を終了するものであり、各国における日本語教育指導者養成を目的とする

## 附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費	(2) 海外日本語教師上級研修
----------	-----------------

日本語国際センター研修修了生の中で、より高度な専門知識、技能を求め、日本語教育実践において実現・解決したい具体的な課題を有する者を2カ月間招へいし、自立的な問題解決能力の育成を図ることを目的とする。

合計額 5,741,285円

	事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
1	平成16年度	04.06.02～ 04.07.30	韓国(1) 中国(1) カンボジア(1) ベトナム(1) インド(1) オーストラリア (1) カナダ(1) ブラジル(1) フィンランド (1) キルギス(1)	10	日本語教師として豊富な知識と高い能力を持つ者を対象に、教育現場での専門的知識と実践能力の育成、および各自のプロジェクトの遂行による教師としての専門性の向上を目的とした集中研修を行なった。10カ国から10名を招へい

1. 研修事業費 (3) 海外日本語教師長期研修

海外の中・高等教育機関等の日本語教師養成を図るため、日本語教授経験の比較的少ない教師および日本語教師となることが既に決まっている者を5カ月半招へいし、日本語運用能力の向上と基礎的な日本語教授法の研修を行なう。  
合計額 79,665,961円

事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
1 平成16年度	04.09.15~05.03.11	モンゴル(1) インドネシア(11) カンボジア(1) タイ(5) ベトナム(7) インド(2) スリランカ(2) ネパール(1) バングラデシュ(1) コロンビア(1) ブラジル(4) ウクライナ(1) ウズベキスタン(2) カザフスタン(4) キルギス(1) ゲルジア(1) ハンガリー(1) ブルガリア(1) ルーマニア(1) ロシア(5) イエメン(1) シリア(1) トルコ(1) マダガスカル(1)	57	24カ国、57名の外国人若手日本語教師を5カ月半招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を行なった

## 附属機関日本語国際センター事業費

### 1. 研修事業費 (4) 海外日本語教師短期研修

海外の初・中・高等教育機関等の日本語教師の教授能力の向上を図るため、日本語教師を2カ月間招へいし、日本語と日本語教授法および日本事情の集中研修を実施する。

合計額 94,159,753円

	事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
1	春期	04.05.06～ 04.06.25	インドネシア (12) タイ(9) マレーシア(3) スリランカ(1) バングラデシュ (1) オーストラリア (3) ニュージーラン ド(2) アルゼンチン (1) ポリビア(1) ポーランド(1) ラトビア(1) リトアニア(1) ロシア(4) マダガスカル (1)	41	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師14カ国41名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を行なった

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
2	夏期	04.07.07～ 04.08.27	中国(1) モンゴル(3) インドネシア (7) シンガポール (1) タイ(2) フィリピン(1) ベトナム(4) マレーシア(1) インド(3) ネパール(2) カナダ(2) 米国(2) メキシコ(2) ブラジル イタリア(1) 英国(1) スウェーデン (1) フィンランド (1) ウクライナ(4) ハンガリー(1) ロシア(6) トルコ(1) マダガスカル (1)	54	海外教育機関等の日本語教師養成のため、海外23カ国から54名の日本語教師を招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を行なった
3	冬期	05.01.26～ 05.03.18	韓国(5) モンゴル(1) インドネシア (3) タイ(3) フィリピン(2) ベトナム(3) マレーシア(4) ミャンマー(1) インド(3) アルゼンチン (1) チリ(1) ブラジル(3) アイルランド (1) ベルギー(1) ウズベキスタン (1) カザフスタン (1) キルギス(1) ロシア(5) シリア(1)	41	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師19カ国41名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を行なった

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 (5) 在外邦人日本語教師研修

海外に長年滞在している日本人の日本語教師を1カ月間招へいし、日本語学・教授法についての知識の整理と拡充を図るとともに、最新の日本事情についての情報を収集する機会を提供する。

合計額 14,804,129円

事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
1 平成16年度	04.11.17～ 04.12.17	インドネシア(2) タイ(1) フィリピン(1) インド(1) オーストラリア(5) ニュージーランド(2) メキシコ(1) ブラジル(3) ベネズエラ(1) アイルランド(1) オーストリア(1) ギリシャ(1) スイス(1) デンマーク(1) ドイツ(3) フィンランド(1) フランス(1) チェコ(1) ラトビア(1) ロシア(1) エジプト(1) ガーナ(1) ケニア(1)	33	海外に在住している日本人日本語教師23カ国33名を本邦に招へいし、日本語教授法の集中研修を行なうとともに、日本事情等に関する最新の情報を収集する機会を提供

1. 研修事業費 (6) 米国・カナダ・英国初中等日本語教師訪日研修

米国・カナダ・英国の初中等レベルの日本語教師を3週間招へいし、日本語運用能力の向上、日本の社会・文化に直接触れる機会を提供する。

合計額 3,189,286円

事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
1 平成16年度	04.07.05～ 04.07.24	カナダ(2) 米国(13) 英国(1)	16	米国、カナダ、英国の初等・中等教育の日本語教師16名を約3週間招へいし、日本語、日本語教授法、日本文化に関する集中研修を行なった

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 (7)大韓民国高等学校日本語教師研修

韓国政府と協力し、同国の高校日本語教師を1カ月間招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情の研修を実施する。  
合計額 15,753,984円

	事業名	期間	人数計	事業内容
1	平成16年度	04.07.28~04.08.27	50	韓国政府教育部が選抜した高等学校の日本語教師50名を約1カ月間招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を行なった

1. 研修事業費 (8)中国日本語教師研修

中国政府と協力し、高等教育機関、中等教育機関の日本語教師を2カ月間招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情の研修を実施する。  
合計額 31,826,693円

	事業名	期間	人数計	事業内容
1	中国大学日本語教師訪日研修	04.09.21~04.11.10	40	中国の大学等高等教育機関の日本語教師を40名を約2カ月間招へいし、現状とニーズに即した日本語、日本語教授法、日本事情の集中研修を行なった
2	中国中等学校日本語教師訪日研修	05.01.26~05.03.18	20	中国の中等教育機関の日本語教師20名を招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を行なった

1. 研修事業費 (9)タイ中等教育日本語教師研修

タイ教育省とバンコク日本語センターが実施している1年間の中高等学校日本語教師養成講座受講生を招へいし、7週間の訪日研修を実施する。  
合計額 10,524,031円

	事業名	期間	人数計	事業内容
1	平成16年度	04.04.14~04.06.04	17	タイ政府と基金バンコク日本語センター共同でタイ国内において1年間の日本語教師養成講座を行っているが、この修了生17名を約2カ月間日本に招へいし、日本語力向上と日本事情の集中研修を行なった



## 附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費	(10) オーストラリア・ニュージーランド初中等日本語教師訪日研修
----------	-----------------------------------

オーストラリア・ニュージーランドの初中等レベルの日本語教師を3週間招へいし、日本語運用能力の向上、日本の社会・文化に直接触れる機会を提供する。

合計額 7,633,805円

	事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
1	平成16年度	05.01.05～ 05.01.24	オーストラリア (35) ニュージーランド(4)	39	豪州、ニュージーランド政府が選抜した初等、中等教育の日本語教師39名を約3週間招へいし、日本語、日本事情の集中研修を行なった

1. 研修事業費	(11) 埼玉県JET青年日本語研修
----------	--------------------

埼玉県と協力し、埼玉県に招へいされた滞在2年以上のJET英語指導助手を対象とした日本語の集中訓練を実施する。

合計額 903,459円

	事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
1	平成16年度埼玉JET日本語研修	05.03.23～ 05.03.29	オーストラリア(2) ニュージーランド(1) カナダ(1) 米国(6)	10	埼玉県内に勤務するJET(語学指導等を行なう外国青年招致事業)青年のうち、ひらがな、カタカナが読める程度の日本語力を有しかつ17年度に契約更新予定の者10名を対象に、日本語力を向上させ、日本語の知識の整理を行なうことにより、勤務校での業務の遂行をより円滑ならしめることを目的とする
2	平成16年度埼玉JET日本語教授法研修	05.03.23～ 05.03.29	韓国(3) 中国(4) タイ(1) オーストラリア(2) ニュージーランド(2) カナダ(3) 米国(2) ブラジル(1) スロベニア(1)	19	全国のJETプログラム参加者の中から希望者19名に対し、基礎的な日本語教授法研修を実施

2. 制作事業費 (1)制作教材海外普及

国際交流基金が制作した日本語教材の複製出版や翻訳出版を内外の出版社に許諾する。

合計額 92,988円

	教材名	国	出版社	発行部数	事業内容
1	日本語漢字入門	インドネシア	ビンタン発行所	1,000部	基金自主制作教材「日本語漢字入門」の翻訳・出版

2. 制作事業費 (2)日本語教材自主制作

海外における日本語教育のために効果的な日本語教材を開発する。

合計額 52,759,212円

	教材名	著者	出版社	発行部数	事業内容
1	教科書を作ろう	日本語国際センター専任講師	無料配布	6000部 (平成13年度)	配布のための送料と保管経費
2	TVコマーシャル集	監修：佐久間勝彦 聖心女子大学教授 執筆：山田しげみ 東京外国語大学講師	ビデオ制作：日本シネセル株式会社 付属教材：株式会社創英	500部	日本語教育用ビデオ教材として日本で放映されたTVコマーシャルを利用したビデオの制作
3	みんなの教材サイト	日本語国際センター制作事業課	国際交流基金ホームページにて公開	インターネット公開	日本語教材用素材をインターネットで提供するウェブサイトの開発・運営
4	写真パネルバンク	吉岡英幸ほか計9名	日本出版貿易	-	「みんなの教材サイト」掲載用権利処理
5	日本語教材制作重点支援・中国	曾麗雲 他	遼寧省基礎教育研修研究センター	各巻200部	遼寧省小学日本語教材に対する支援
6	テレビ日本語講座(クメール語版)	-	-	-	海外におけるテレビ日本語講座の放映を促進するために、2003年11月14日～2004年11月5日にかけて、The National Television of Cambodia (カンボジア) によるクメール語版テレビ日本語講座放映に対する支援を行なった
7	日本語教材制作重点支援・インドネシア	インドネシア国家教育省・国際交流基金ジャカルタ日本文化センター遍	メトロ・ポス社	5,000部	インドネシア普通高校のカリキュラム改訂(2004年)に伴い、インドネシア国家教育省と共同で普通高校用日本語教科書を作成した

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 (3) 日本語教育フェローシップ

海外の日本語教育・研究機関等が自国の日本語教育の実情に即して教材の制作やカリキュラム・教授法等の研究を行なうなどの場合に、日本語教育専門家の来日のための経費等を支援する。

合計額 24,218,106円

	国	機関	氏名	現職	期間	事業内容
1	中国	杭州師範大学外国語学部	王忻	日本語科長、助教授	04.10.20～ 05.02.19	中国大学日本語専攻学生用『総合日語・精読』作成プロジェクト
2	中国	中央党校文史部	張愛平	副主任	04.06.21～ 04.12.20	政府幹部職員のための日本語教育教材の開発と高度化－政治・行政文化の中日比較と分析に立脚して－
3	中国	北京大学外国語学院日本語言文化系	彭広陸 何琳	学部長、教授 副教授	04.05.05～ 04.07.04 2004	誤用例で学ぶ日本語－中国人学習者の誤用を中心に－
4	ベトナム	ハノイ外国語大学	PHAM, Ung Long BUI, Duc Thiep	副学部長 研究員	04.01.13～ 04.05.12 2004	中学校のための日本語カリキュラムと教科書作成
5	カナダ	アルバータ州学習省	HAMILTON, James	教材開発責任者	04.06.20～ 04.08.04	初等中等教員対象の指導書、教材集、IT教材集作成
6	米国	アイオワ大学	畑佐由紀子	准教授	04.07.06～ 05.01.05	日本語初級中級教科書『なかま』の第2版とインターネット教材の作成
7	イタリア	ナポリ国立大学「オリエンタレ」東洋学科	DE MAIO, Silvana	研究員	04.07.28～ 04.09.12	政治学部の学習者のための日本語（中級）
8	フランス	トゥールーズ・ル・ミライユ大学	GALAN, Christian	助教授	04.05.17～ 04.07.16	初級中級読解の日本語教育教材
9	ウズベキスタン	タシケント国立東洋学大学日本語講座	FATKULINA, Luisa TAIROVA, Elena	教師 教師	04.09.29～ 04.12.28	日本語教材・教授マニュアル
10	スロベニア	リュブリャナ大学文学部	フメリヤク寒川 クリスティーナ	助手	05.03.05～ 05.07.04	スロベニア人学習者のための辞書編纂企画
11	ルーマニア	バベシュ・ボヨイ大学文学部	森田エマ シモーナ	准教授	04.09.07～ 04.12.03	ルーマニアの大学における日本語専攻学生用・機能文法教材の開発－基礎構文を中心に－
12	エジプト	カイロ大学文学部日本語日本文学科	SALEH, Adel Amin Mahmoud	専任講師	04.06.20～ 04.09.19	アラブ人向けの日本語読み書き指導法－日本語教材開発－

2. 制作事業費 (4) 日本語教材制作助成

外国人のための日本語教材の出版に対し、制作経費の一部を助成する。

合計額 15,344,510円

	教材名	助成対象	国	事業内容
1	義務教育課程標準実験教科書9年級	人民教育出版社	中国	中国教育部による日本語課程標準に基づき編纂した教科書。中学生の初心者が楽しく日本語を勉強できるよう、コミュニケーション能力の向上に力を入れた。中学3年生対象。教師用指導書付
2	初・中級日本語シリーズ教材	高等教育出版社	中国	「大学日語教学大綱」に沿った、作文、聴解、会話などを重視した大学生から社会人向け教科書。教師用指導書、CD付
3	高学年日本語精読	上海訳文出版社	中国	約20万字ずつの4冊から成る、日本語専攻の大学3、4年生対象の教材
4	ビデオ 日本語と日常生活に見る文化 1-4巻	東京書籍株式会社	日本	1993年に作成した『ビデオ講座日本語：日常生活に見る日本の文化』の改訂版。過去10年間の特に若者をとりまく日本語の変化を取り入れている。中等教育・大学レベルのビデオ教材
5	ベトナム人のための日本語複合動詞ハンドブック	ハノイ国家大学出版社	ベトナム	基本語彙を使って語彙（複合動詞）を増大させることを目的とした教材。中上級学習者向けの高度な内容であるが、辞書としても使用でき、幅広い学習層で利用可能
6	みんなの日本語初級II 翻訳・文法解説 ラオス語版	ラオス日本人材開発センター	ラオス	刊行予定の初級Iラオス語版に続き、初級IIのラオス語を制作。英語版、タイ語版をもとにしてラオス語訳を行ない、ラオス人学習者向けに説明内容を修正した。成人の初級学習者向け教科書
7	Hail 5/6 Coursebook	Heinemann	オーストラリア	5~9年生を対象とした新しい形の教材Hailシリーズの教科書。最新の情報を盛り込み、学習意欲を高める工夫がこらしてある。教科書とは別に、ワークブック、CD、教師用指導書が作られる。14~15歳の中級学習者対象
8	読もう話そう中級日本語III	日伯文化連盟	ブラジル	ポルトガル語話者のための、中級日本語の教科書。語彙、文法解説のみならず、ブラジル日系社会と関係のある文化事情を盛り込み、より身近な教材として活用できるよう配慮されている。成人教育向け
9	にほんご1ねんせい このゆびとまれ	スイス日本語教師の会	スイス	海外在住の日本人児童を対象とし、日本国内の国語教科書とは違う海外におけるバイリンガル児童のための日本語教材。話す、聞く、読む、書く力をバランスよく身につけることを目標とする。小学1年生対象
10	福岡からこんにちは	ジャパン パブ	ドイツ	外国語選択科目として、日本語を履修するドイツ語圏の大学生向けの教科書。ドイツセンター刊行『コミュニケーションのための日本語』第1巻同等程度履修後の初級後半レベルを対象。聴、話、読、書の四技能を磨く
11	日本語初級：マルチメディア版	ノルトラインヴェストファーレン州立言語研究所日本語学科	ドイツ	コミュニケーション・ファンクショナル・アプローチに基づく初級教科書。副教材に音声用CDが付く

附属機関日本語国際センター事業費

	教材名	助成対象	国	事業内容
12	アルメニア語・日本語辞典	エレヴァン人文大学	アルメニア	世界初のアルメニア語・日本語辞典
13	日・エ辞典	イロ出版社株式会社	エストニア	初の日本語・エストニア語の辞典。日本語能力テスト3～4級レベルの語彙を基本とし、2級レベルまでの語彙を掲載。初級から中級向け
14	露和大辞典	「現代語」出版社	ロシア	現在、ロシアで最も広く使用されている露和大辞典の増補改訂版。特にロシア語でも目立って増加傾向にある外来語を中心に、日露両語の新しい語彙約2,000余を採録
15	日本語会話と辞典	「現代語」出版社	ロシア	実用的な旅行用会話・単語帳。従来の旧式な辞書・会話集にないが日常的に使われる語彙を豊富に収録
16	エジプト人のための日本語音声	ダルキバー出版社	エジプト	カイロ方言を中心としたアラビア語話者のための音声コミュニケーションの教科書。日本語の音声的特長とカイロ方言とを比較し、問題点を指摘した上で練習問題を提示した。アラビア語と日本語で記載された大学生・一般の学習者向け教科書。音声CDつき

2. 制作事業費 (5) 日本語教材寄贈

海外で正規に日本語教育を行なう教育機関などに対し、日本語教材を寄贈する。

合計額 101,084,311円

地域・国名			機関数	教材点数	地域・国名			機関数	教材点数
機関数合計			783	16,970					
国・地域数合計			101						
東 ア ジ ア	韓国		7	120					
	中国		61	1,472					
	モンゴル		13	423					
	地 域 計			81	2,015				
東 南 ア ジ ア	インドネシア		65	1,381	西 欧	イタリア		10	154
	カンボジア		3	53		英国		22	438
	シンガポール		5	85		オーストリア		4	95
	タイ		48	956		オランダ		3	34
	フィリピン		5	89		ギリシャ		6	94
	ブルネイ		1	30		スイス		2	43
	ベトナム		4	73		スウェーデン		1	19
	マレーシア		19	348		スペイン		16	269
	ミャンマー		2	52		デンマーク		2	29
	ラオス		2	29		ドイツ		12	222
地 域 計			154	3,096	ノルウェー		1	20	
南 ア ジ ア	インド		22	466	フィンランド		3	60	
	スリランカ		7	154	フランス		30	479	
	ネパール		1	26	ベルギー		3	49	
	パキスタン		2	48	ポルトガル		4	69	
	バングラデシュ		3	79	ルクセンブルグ		2	42	
地 域 計			35	773	地 域 計			126	2,225
大 洋 州	オーストラリア		42	690	東 欧	アルバニア		1	14
	サモア		1	9		アルメニア		1	39
	ソロモン		2	31		ウクライナ		5	140
	トンガ		1	6		ウズベキスタン		3	105
	ニュージーランド		37	703		エストニア		4	95
	パプアニューギニア		1	32		カザフスタン		4	113
	パラオ		4	178		キルギス		5	160
	フィジー		4	72		グルジア		2	70
	マーシャル諸島		1	18		クロアチア		3	68
地 域 計			93	1,739		スロバキア		2	35
北 米	カナダ		36	647		スロベニア		1	32
	米国		48	1,016		セルビア・モンテネグロ		1	15
地 域 計			84	1,663		チェコ		6	127
中 米	エル・サルバドル		1	32		ハンガリー		6	191
	キューバ		4	142		ブルガリア		2	61
	グアテマラ		1	13	ベラルーシ		1	17	
	ジャマイカ		1	38	ポーランド		7	191	
	ドミニカ共和国		1	38	モルドバ		2	67	
	ニカラグア		1	10	ラトビア		2	50	
	ホンジュラス		1	21	リトアニア		3	64	
	メキシコ		16	319	ルーマニア		7	164	
地 域 計			26	613	ロシア		25	853	
南 米	アルゼンチン		4	87	地 域 計			93	2,671
	ウルグアイ		1	17	中 近 東	アフガニスタン		1	46
	コロンビア		4	116		イエメン		1	14
	チリ		3	91		イスラエル		1	2
	パラグアイ		3	82		イラン		1	24
	ブラジル		37	853		オマーン		1	20
	ベネズエラ		2	44		クウェート		1	19
	ペルー		5	90		シリア		1	22
	ボリビア		2	52		トルコ		7	165
	地 域 計			61		1,432	ヨルダン		1
西 欧	アイスランド		1	30		地 域 計			15
	アイルランド		4	79	ア フリ カ	エジプト		3	75
						モロッコ		1	10
					地 域 計			4	85
					ガーナ		2	45	
					ケニア		4	141	
					セネガル		1	17	
					マダガスカル		4	114	
					地 域 計			11	317

## 附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費	(6) 図書館運営 (日)
----------	---------------

センターが招へいする海外の日本語教師など、内外の日本語教育関係者の教育研究活動のための専門図書館として、資料を収集・整理し、閲覧・貸し出し・レファレンスサービスを行なう。

19,429,153円

	事業名	蔵書数	事業内容	利用者数
1	図書館運営	図書 34,460点、視聴覚資料 5,336点、電子形態資料413点、絵教材291点、マイクロ資料 385点、計40,885点 雑誌・紀要・ニューズレター513誌、新聞12紙、計525タイトル	国内外における日本語教育の促進を目的として、日本語教科書・教材をはじめ、日本語教育、日本語、言語学、日本事情、外国語教育に関する資料や情報を収集・提供している専門図書館の運営	21,086

# 日本語普及事業に必要な経費

## 附属機関関西国際センター事業費

### 1. 研修事業費

- (1) 図書館運営（関）
- (2) 外交官日本語研修（関）
- (3) 公務員日本語研修（関）
- (4) 司書日本語研修（関）
- (5) 研究者・大学院生日本語研修（関）
- (6) 日本語成績優秀者研修（関）
- (7) 日本語履修大学生訪日研修（関）
- (8) 高校生日本語学習奨励研修（関）
- (9) 李秀賢氏記念韓国青少年招へい（関）
- (10) 大阪府JET青年日本語研修
- (11) JET青年日本語研修
- (12) 大阪府クイーンズランド州日本語教師研修



## 附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費	(1) 図書館運営 (関)
----------	---------------

関西国際センター内で日本語および日本事情の集中研修を受けている研修生に対し、レファレンスなどの各種図書館サービスを提供する。

合計額 22,892,189円

	事業名	収蔵資料数	利用者数
1	図書館運営	37,009点	17,583人 (貸出冊数 7,313点)

1. 研修事業費 (2) 外交官日本語研修 (関)

諸外国の若手外交官を9カ月間日本に招へいして、日本語および日本事情の長期集中研修をする。

65,443,034円

	事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
1	平成15年度外交官日本語研修	04.04.01～ 04.06.25	モンゴル(1) インドネシア(1) カンボジア(1) 東ティモール(1) ベトナム(1) ミャンマー(1) ラオス(1) スリランカ(2) パキスタン(1) ツバル(1) パプアニューギニア(1) ドミニカ共和国(1) ニカラグア(1) ホンジュラス(1) メキシコ(1) スリナム(1) アゼルバイジャン(1) エストニア(1) カザフスタン(1) グルジア(1) ボスニア・ヘルツェゴビナ(1) ラトビア(1) ルーマニア(1) イスラエル(1) イラン(1) オマーン(1) ウガンダ(1) セネガル(1) ブルキナファソ(1)	30	日本の外務省の協力を得て、海外の若手外交官を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
2	平成16年度外交官日本語研修	04.10.06～ 05.06.24	インドネシア（1） カンボジア（1） タイ（1） フィリピン（1） ベトナム（1） マレーシア（1） ミャンマー（1） ラオス（1） スリランカ（1） ネパール（1） バングラデシュ（1） パラオ（1） キューバ（1） チリ（1） パラグアイ（1） アルバニア（1） ウズベキスタン（1） セルビア・モンテネグロ（1） カザフスタン（1） ブルガリア（1） アフガニスタン（1） イラク（1） イラン（1） エジプト（1） スーダン（1） リビア（1） ケニア（1） ザンビア（1） ベナン（1） マラウイ（1）	30	日本国外務省の協力を得て、海外の若手外交官を日本に招へいし、日本語および日本事情の長期集中研修を実施
3	在京外交官日本語セミナー	04.09.25～ 04.09.26	フィリピン（1） ベトナム（1） 米国（1） メキシコ（1） イタリア（1） ウクライナ（2） カザフスタン（2） キルギス（1） ポーランド（1） サウジアラビア（2） ケニア（1）	14	在京外交官を対象に、日本語学習の支援を目的としたセミナーを行なった

1. 研修事業費 (3) 公務員日本語研修 (関)

諸外国の政府・公的機関、日本政府の代表部が置かれている国際機関の公務員などで、業務上の目的で日本語の習得を必要とする者を、9カ月間日本に招へいして、日本語および日本事情の長期集中研修を実施する。

18,022,812円

	事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
1	平成15年度公務員日本語研修	03.10.09～ 04.06.25	モンゴル(1) タイ(1) ラオス(1) インド(1) ウズベキスタン(1) カザフスタン(1) キルギス(1) シリア(1) トルコ(1)	9	海外の公的機関に勤務し、業務上の理由で日本語の習得を必要としている者を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施
2	平成16年度公務員日本語研修	04.10.06～ 05.06.24	ミャンマー(1) ラオス(1) バングラデシュ(1) ウズベキスタン(1) カザフスタン(1) キルギス(1) リトアニア(1) ロシア(1) ギニア(1)	9	海外の公的機関に勤務し、業務上の理由で日本語の習得を必要としている者を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施

1. 研修事業費 (4) 司書日本語研修 (関)

海外の高等教育機関、研究機関、文化交流機関、公立図書館などの司書で業務上日本語能力を必要とする者を約6カ月間日本に招へいし、司書の業務上の必要に則した日本語の長期集中研修を実施する。

合計額 15,012,262円

	事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
1	平成16年度司書日本語研修	04.10.06～05.03.25	韓国(1) 中国(3) インドネシア(1) ベトナム(1) ウクライナ(1) キルギス(1) ロシア(1)	9	海外の高等教育機関、学術研究機関、文化交流機関、公立図書館などの司書を、所属機関の要請に応じ招へいし、業務上必要な日本語の研修を行った

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 (5) 研究者・大学院生日本語研修 (関)

諸外国の研究者（社会科学または人文科学専攻）および海外の大学院で社会科学または人文科学の分野を専攻し、将来日本研究関連の職業につくことを希望している大学院生で、研究活動上の目的で日本語の習得を望む人を対象に、日本語の集中研修を実施する。

合計額 74,963,174円

	事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
1	平成15年度研究者・大学生日本語研修－8カ月	03.10.09～ 04.05.28	韓国(3) 中国(4) モンゴル(1) インド(1) バングラデシュ(1) カナダ(1) 米国(1) キューバ(1) エストニア(1) ブルガリア(1)	15	研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者を招へいし、日本語の集中研修を実施
2	平成16年度研究者・大学院生日本語研修－2カ月	04.06.16～ 04.08.11	韓国(5) 中国(6) インドネシア(3) ベトナム(1) インド(2) スリランカ(2) オランダ(1) ドイツ(2) フィンランド(2) アゼルバイジャン(1) ウクライナ(2) ウズベキスタン(1) キルギス(1) セルビア・モンテネグロ(1) ハンガリー(1) ポーランド(1) エジプト(1)	33	研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者を招へいし、日本語の集中研修を実施

	事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
3	平成16年度研究者・大学院生日本語研修－4カ月	04.09.01～ 04.12.15	韓国(1) 中国(3) シンガポール(1) タイ(1) インド(1) カナダ(1) イタリア(1) ドイツ(1) ベルギー(1) アゼルバイジャン(1) キルギス(1) グルジア(2) セルビア・モンテネグロ(1) ブルガリア(1) ロシア(5) トルコ(2)	24	研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者を招へいし、日本語の集中研修を行なった
4	平成16年度研究者・大学院生日本語研修－8カ月	04.10.06～ 05.05.27	韓国(1) 中国(3) モンゴル(1) シンガポール(1) ベトナム(1) オーストラリア(1) 米国(1) ブラジル(1) フランス(1) ハンガリー(1) ルーマニア(1) ロシア(1) トルコ(1)	15	研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者を招へいし、日本語の集中研修を行なった

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 (6) 日本語成績優秀者研修 (関)

海外の日本語教育機関等で日本語を学習し、優秀な成績を修めているものを2週間日本に招へいし、講義および研修旅行等を通じて日本語および日本の文化・社会への理解を深めることを目的とした研修を実施する。

合計額 46,004,064円

	事業名	期間	国 (人数)	人数計
1	平成16年度日本語成績優秀者研修	04.09.01～ 04.09.15	中国(2) モンゴル(2) インドネシア(2) タイ(1) フィリピン(1) ベトナム(2) マレーシア(1) ミャンマー(1) インド(2) スリランカ(1) ネパール(1) パキスタン(1) バングラデシュ(1) トンガ(1) パプアニューギニア(1) キューバ(1) グアテマラ(1) コスタリカ(1) ドミニカ共和国(1) ニカラグア(1) メキシコ(1) アルゼンチン(1) ウルグアイ(1) コロンビア(1) チリ(1) パラグアイ(1) ブラジル(2) ベネズエラ(1) ペルー(1) ボリビア(1) アゼルバイジャン(1) ウクライナ(1) ウズベキスタン(2) カザフスタン(2) キルギス(2) グルジア(1) スロバキア(1) スロベニア(1) セルビア・モンテネグロ(1) チェコ(1) ハンガリー(1) ブルガリア(1) ポーランド(1) リトアニア(1) ルーマニア(1) ロシア(3) イラン(1) サウジアラビア(1) シリア(1) トルコ(1) ヨルダン(1) エジプト(1) モロッコ(1) ケニア(1) マダガスカル(1)	66

1. 研修事業費 (7) 日本語履修大学生訪日研修 (関)

日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を学習している大学生をグループで招へいし、日本語の学習および日本文化・社会の理解を目的とした研修を実施する。

合計額 49,266,401円

	事業名	期間	国 (人数)	人数計	事業内容
1	平成16年度日本語履修大学生訪日研修-春季	04.05.12～ 04.06.23	インド(6) スリランカ(2) メキシコ(3) アゼルバイジャン(3) ベラルーシ(3) ロシア(4) トルコ(3)	24	海外の大学で日本語を学習している大学生をグループで日本に招へいし、日本語の集中研修を行なった

	事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
2	平成16年度日本語履修大学生訪日研修－秋季	04.11.04～ 04.12.15	ウクライナ(2) ウズベキスタン(1) カザフスタン(1) キルギス(1) スロバキア(1) スロベニア(1) セルビア・モンテネグロ(1) チェコ(1) ハンガリー(1) ブルガリア(1) ポーランド(3) ルーマニア(1) サウジアラビア(1) トルコ(1)	17	海外の大学で日本語を学習している大学生をグループで日本に招へいし、日本語の集中研修を行なった
3	平成16年度日本語履修大学生訪日研修－冬季	05.01.12～ 05.02.23	アルゼンチン(1) コロンビア(2) チリ(2) ブラジル(4) イラン(1) シリア(1) エジプト(2)	13	海外の大学で日本語を学習している大学生をグループで日本に招へいし、日本語集中研修を行なった



附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 (8) 高校生日本語学習奨励研修 (関)

海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間日本に招へいし、日本の文化・社会および日本語への理解を深めること、同世代の日本の若者と交流すること、日本語学習の意欲を高めることを目的とした研修を実施する。  
合計額 14,955,559円

	事業名	期間	国 (人数)	人数計
1	平成16年度高校生日本語学習奨励研修	04.06.29～ 04.07.13	中国(3) インドネシア(3) タイ(3) マレーシア(1) スリランカ(1) オーストラリア(3) ニュージーランド(3) カナダ(3) 米国(3) 英国(3) フランス(2) ロシア(2)	30

1. 研修事業費 (9) 李秀賢氏記念韓国青少年招へい (関)

李秀賢氏の勇気ある行動を記念して、韓国で日本語を学習している高校生を招へいし、日本の文化・社会および日本語への理解を深めること、同世代の日本の若者と交流すること、日本語学習の意欲を高めることを目的とした研修を実施する。  
合計額 2,997,933円

	事業名	期間	人数計	事業内容
1	平成16年度李秀賢氏記念韓国青少年招へい	05.02.14～05.02.24	10	2001年、東京のJR新大久保駅で線路に落ちた乗客を助けるため事故死した韓国人留学生の李秀賢氏の勇気ある行動を顕彰するための記念として、韓国で日本語を学習し、日本および日本文化に関心を有する青少年10名を日本に招へいし、日本語の授業、文化体験、研修旅行、ホームステイ、高校訪問などを通して、日本の文化、社会および日本語への理解を深めるとともに、日本の同世代の青少年との交流を図った

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 (10)大阪府JET青年日本語研修

大阪府と共催で、同府に着任予定のJET青年に対する来日時研修を実施する。

合計額 551,588円

	事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
1	平成16年度大阪府JET	04.08.16~04.08.20	オーストラリア(9) ニュージーランド(4) カナダ(10) 米国(50) アイルランド(3) 英国(15)	91	大阪府新規JET青年のうち、小・中・高等学校において語学指導に従事する外国語指導助手(ALT)に対し日本語研修を実施することにより、語学教育の充実と地域レベルの国際化の進展を図った

1. 研修事業費 (11)JET青年日本語研修

JETプログラムで日本に既に1年間滞在しているJET青年を対象とした日本語の集中研修を実施する。

合計額 744,811円

	事業名	期間	国(人数)	人数計
1	平成16年度JET青年日本語研修	04.07.20~04.07.30	オーストラリア(4) ニュージーランド(1) カナダ(10) 米国(18) 英国(3)	36

1. 研修事業費 (12)大阪府クイーンズランド州日本語教師研修

大阪府と共催で、同府の姉妹提携都市であるクイーンズランド州の日本語教師に対し、日本語および日本事情の授業ならびに文化体験のプログラムを実施する。

合計額 147,891円

	事業名	期間	人数計
1	平成16年度大阪府クイーンズランド州日本語教師研修	05.01.05~05.01.26	5

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 企画開発費

### 1. 日本語研究事業費

- (1) 日本語研究調査〔企〕
- (2) 日本研究ネットワーク推進
- (3) 日本研究フェローフォローアップ

### 2. 文化資料事業費

- (1) 日本研究基本書目
- (2) 図書寄贈〔企〕

1. 日本研究事業費 (1)日本研究調査〔企〕

日本研究調査のうち、海外の日本研究機関・日本研究者全般に関わり、地域区分不可能な経費。

合計額 3,005,183円

	事業名	国	期間	事業内容
1	日本研究概況調査	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	事業計画の策定に迅速に反映させることを目的として、主要各国における分野ごとの専門家に最新の動向分析を依頼。平成15年度より、米・中・韓・露・英・仏・独・伊・ハンガリー、インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピンにて実施。今年度は、平成15年度に提出された原稿を国別に冊子とし海外事務所および外務省に配布

1. 日本研究事業費 (2)日本研究ネットワーク推進

日本研究に関する情報を掲載する日本研究ウェブサイト「JS-Netフォーラム」を運営する。

合計額 1,776,180円

	事業名	期間
1	JS-Net運營業務委託	04.04.01～05.03.31

1. 日本研究事業費 (3)日本研究フェローフォローアップ

フェロー帰国後のフォローアップのため、フェローOBを海外事務所などに迎え、滞日研究を契機とする研究や記事、論文、著作の執筆予定など、最新の活動状況を発表する公開フォーラムを定期的に開催する。他に、フェローのネットワーク化および国内での基金プログラム認知度向上を目指して、国内フェロー勉強会を地元の日本研究機関と連携しつつ実施する。

合計額 6,141,284円

	事業名	国	期間	事業内容
1	JFフェローフォーラム (BK、H15繰越金)	タイ	04.04.01～ 05.03.31	フェローセミナー
2	JFフェローフォーラム (TR、H15繰越金)	カナダ	04.04.01～ 05.03.31	フェロー懇談会
3	JFフェローフォーラム (NY、H15繰越金)	米国	04.04.01～ 05.03.31	フェロー懇談会

## 企画開発費

	事業名	国	期間	事業内容
4	JFフェロー フォーラム (SP、H15繰越 金)	ブラジル	04.04.01～ 05.03.31	南米フェロー懇談会
5	JFフェロー フォーラム (RO、H15繰越 金)	イタリア	04.04.01～ 05.03.31	フェローシンポジウム
6	JFフェロー フォーラム (PA、H15繰越 金)	フランス	04.04.01～ 05.03.31	フェローセミナー
7	JFフェロー フォーラム (BP、H15繰越 金)	ハンガリー	04.04.01～ 05.03.31	フェローセミナー

### 2. 文化資料事業費 (1) 日本研究基本書目

海外における日本研究を促進するため、人文・社会科学の各分野における日本の学界動向に関するエッセイと文献解題で紹介する、海外日本研究者のための英文総合文献目録。「社会科学編」と「人文科学編」を毎年交互に出版。財団法人東方学会が編集協力。

合計額 12,953,048円

	資料名・書名	発行日	発行部数	事業内容
1	基本書目14巻 Part1	2004.12	1000	2000年～2001年の2年間を対象期間とした「社会科学編」を刊行。90カ国、830機関へ送付
2	基本書目14巻 Part2	—	—	2001年～2002年の2年間を対象期間とした「人文科学編」。日本語原稿を英語へ翻訳
3	基本書目15巻 Part1	—	—	2002年～2003年の2年間を対象期間とした「社会科学編」。編集方針の作成、執筆依頼から、日本語原稿作成を行なった

2. 文化資料事業費 (2) 図書寄贈 [企]

【日本研究学術誌購送】

基金が日本研究関係の定期刊行物を買上げ、ODA地域を中心とした日本研究・教育機関に対して寄贈をおこなった。  
合計額 1,401,340円

	誌名	買上号数	出版社
1	ACTA ASIATICA 65カ国150機関へ各1冊送付	No. 87 (2004年 8月)	財団法人東方学会
2	Monumenta Nipponica 49カ国100機関へ各4冊送付	Vol. 59 No.2 (2004年 6月) Vol. 59 No.3 (2004年 8月) Vol. 59 No.4 (2004年11月) Vol. 60 No.1 (2005年 3月)	上智大学モニュメンタ・ニポニカ
3	The Journal of Japanese Studies 43カ国100機関へ各2冊送付	Vol. 30 No.2 (2004年夏) Vol. 31 No.1 (2005年冬)	Society for Japanese Studies, Univ of Washington

【特別図書寄贈】

合計額 531,741円

	国名	機関名	事業内容
1	東アジア区分困難	韓国、中国の大学・研究所等	『出版年鑑+日本書籍総目録CD-ROM2003年版』200セットを韓国、中国の日本研究機関等に寄贈

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 米州交流事業費

### 1. 日本研究事業費

- (1) 日米研究調査〔米〕
- (2) 在米諮問委員会
- (3) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米〕
- (4) 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔米〕
- (5) 日本研究拠点機関（助成）〔米〕
- (6) 日本研究スタッフ拡充（助成）〔米〕
- (7) 日本研究リサーチ・会議等（助成）〔米〕

### 2. 人物交流事業費

- (1) 派遣フェローシップ（学者・研究者）〔米〕
- (2) 新渡戸フェローシップ
- (3) 小淵フェローシップ
- (4) 招へいフェローシップ（学者・研究者）〔米〕
- (5) 招へいフェローシップ（論文執筆）〔米〕
- (6) 招へいフェローシップ（短期）〔米〕
- (7) 文化人短期招へい（国際会議）〔米〕

### 3. 催し等事業費

- (1) 国際会議出席（助成）〔米〕

### 4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔米〕

1. 日本研究事業費	(1) 日本研究調査〔米〕
------------	---------------

海外の日本研究機関・日本研究者に関するディレクトリーを作成する。

合計額 19,544,295円

	事業名	国	期間	事業内容
1	提言対応専門家派遣（カナダ）	カナダ	04.10.31～ 04.11.07	カナダ大学協会（Association of Universities and Colleges of Canada, AUCC）を通じたカナダ日本研究特別助成は今年度で第3期14年目となるが、これまでの助成の成果を確認し、今後の助成継続の必要性を含めた助成方針策定の判断材料とするため、専門家を現地に派遣し、現況視察および関係者との面談を通じた調査報告書を作成
2	対米日本研究事業に関するアンケート調査	米国	04.10.04～ 05.03.31	対米日本研究事業の成果に関する評価を行ない、今後の事業方針策定の判断材料とするために、米国人および日本人を対象にアンケート調査を実施
3	提言対応専門家派遣（米国）	米国	04.11.17～ 04.11.27	対米日本研究助成事業の成果に関する評価を行ない、今後の事業方針策定の判断材料とするため、専門家を現地に派遣し、現況視察および関係者との面談を通じた調査報告書を作成
4	北米日本研究調査	北米地域区分 困難	04.04.01～ 05.03.31	北米における日本研究の実態を把握するため、北米における日本研究調査を実施する。調査結果は従来通りの印刷物としてのディレクトリーを発行する他、他地域の調査結果との連動をはかり、インターネットでの公開も視野に入れた全世界共通データベースの作成を目指した
5	中南米日本研究調査	中米地域区分 困難	04.04.01～ 05.03.31	中南米における日本研究の実態を把握するため、中南米における日本研究調査を実施。調査結果は従来通りの印刷物としてのディレクトリーを発行するほか、他地域の調査結果との連動をはかり、インターネットでの公開も視野に入れた全世界共通データベースの作成を目指した

1. 日本研究事業費	(2) 在米諮問委員会
------------	-------------

在米文化交流事業につき米国各界有識者の意見および助言を得るため、在米諮問委員会を開催する。

合計額 6,317,366円

	事業名	国	期間	事業内容
1	在米諮問委員会	米国	05.01.22～ 05.01.23	第34回AAC（日本研究米国諮問委員会）会議開催に関する現地経費



## 米州交流事業費

1. 日本研究事業費	(3) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米〕
------------	-------------------------

海外諸大学の日本研究講座を支援するため、人文・社会科学分野の学者・研究者を派遣する。

合計額 8,300,421円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	志柿光浩	東北大学大学院 国際文化研究科 教授	キューバ	04.09.05～ 04.10.31	ハバナ大学	日本文化・日本史：ラテンアメリカとの比較に関する講義
2	岡本由美子	同志社大学助 教授	アルゼンチン	04.08.07～ 04.09.05	国立ラ・プラタ 大学	東アジアの経済開発に関する講義
3	恒川 恵市	東京大学大学院 総合文化研究科 教授	チリ	04.08.09～ 04.08.31	チリ・カトリッ ク大学	日本の経済政策と東南アジアに関する講義
4	細川周平	国際日本文化研 究センター助教 教授	ペルー	04.08.01～ 04.08.31	ペルー・カトリ カ大学	日本文学と音楽学に関する講義

1. 日本研究事業費	(4) 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔米〕
------------	-------------------------

海外諸大学の日本研究講座に対し、人文・社会科学分野の学者・研究者を国外から客員教授として招へいするための経費を助成する。

合計額 3,852,229円

	団体	国	氏名	現職	期間	事業内容
1	サンパウロ大学	ブラジル	中牧 弘允	国立民族学博物 館教授	04.08.01～ 04.10.31	日本宗教に関する講義
2	リオデジャネイ ロ州立大学	ブラジル	井上 章一	国際日本文化研 究センター教授	04.08.30～ 04.10.31	現代日本文化と社会に関する講義

1. 日本研究事業費	(5) 日本研究拠点機関（助成）〔米〕
------------	---------------------

海外の日本研究において特に中核的な役割を担う機関を指定して、その日本研究部門の研究費、運営費などを中長期にわたって総合的に助成する。

合計額 38,733,470円

	機関	国	期間	事業内容
1	米加大学連合日 本研究センター (IUC)	日本	04.04.01～ 05.03.31	米国・カナダにおける日本専門家の養成を目的とし、主として加盟17大学の日本研究専攻大学院生に対し、将来の専門活動に資するべく上級日本語教育の研修を実施

	機関	国	期間	事業内容
2	スタンフォード 日本センター 京都日本研究センター (KCJS)	日本	04.09.01～ 05.03.31	主として米国の加盟14大学の日本研究専攻学部生を対象とする日本語・日本文化集中研修センター。3年生を対象に8カ月間の集中講義
3	アルバータ大学 (AUCC)	カナダ	04.07.01～ 05.06.30	近世日本文学担当教官の給与助成
4	カナダ大学協会 (AUCC)	カナダ	04.11.04～ 04.11.05	平成17年度対カナダ日本研究特別助成選考委員会およびレビュー会議に係る開催経費

1. 日本研究事業費	(6) 日本研究スタッフ拡充 (助成) [米]
------------	-------------------------

海外の大学などが日本研究に関連した常勤の教官ポストを増設する場合に、最初の3年間に限り当該者の給与と社会保障費を助成する。

合計額 13,387,956円

	機関	国	期間	事業内容
1	ペンシルバニア大学	米国	04.01.01～ 04.08.31	政治学助教授の給与助成 (第3年次)
2	カリフォルニア大学リバーサイド校	米国	04.07.01～ 05.06.30	日本文学助教授の給与助成 (第2年次)
3	エモリー大学	米国	04.09.01～ 05.08.31	日本現代文学助教授の給与助成 (第1年次)
4	ポートランド州立大学	米国	04.09.15～ 05.09.14	経済学助教授の給与助成 (第1年次)

1. 日本研究事業費	(7) 日本研究リサーチ・会議等 (助成) [米]
------------	---------------------------

海外の高等教育・研究機関が実施する日本研究に関連した共同研究・会議、セミナー・ワークショップや集中講座などについて、経費の一部を助成する。

合計額 22,485,937円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	2004年カナダアジア研究学会年次総会	カナダアジア研究学会	カナダ	04.04.01～ 05.03.31	「緊張状態と連携」をテーマにした設立25周年記念シンポジウムの開催

## 米州交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
2	第18回カナダ日本研究学会年次総会	カナダ日本研究学会	カナダ	04.07.01～ 05.03.31	日加国交樹立75周年を記念したパネル・ディスカッションの開催
3	米国中西部日本研究セミナー	イリノイ大学	米国	03.07.01～ 04.06.30	中西部地域の日本研究者による巡回セミナーの開催
4	日本研究論文会議	社会科学研究評議会 (SSRC)	米国	04.04.01～ 05.02.28	日本研究をテーマにした博士論文の指導
5	日本研究資料専門司書トレーナー養成ワークショップ	北米日本研究資料調整協議会 (NCC)	米国	04.04.01～ 05.03.31	日本関連電子情報活用のための司書研修の実施
6	ゴジラの足跡：世界を舞台にした日本ポップカルチャーの象徴	カンザス大学	米国	04.04.01～ 06.03.31	「ゴジラ」をメインテーマにしたシンポジウムの開催
7	源氏物語が日本と世界に与えた影響について：文化的権威、ジェンダー、メディア、ポップカルチャーといった観点から	コロンビア大学	米国	04.06.01～ 06.05.31	源氏物語が日本文化の中で果たした役割について考察する国際シンポジウムの開催
8	翻訳と変換：能楽における平家物語	ワシントン大学セント・ルイス校	米国	05.01.01～ 05.12.31	平家物語をテーマとしたセッションの開催
9	第8回国際ワークショップ「日本とキューバ：直接交流のための枠組」	アジア・オセアニア研究センター	キューバ	04.04.01～ 05.02.28	日本・キューバ外交関係75周年を記念した、相互協力をテーマとしたセッション開催
10	設立40周年記念日本文化フォーラム	エル・コレヒオ・デ・メヒコラム	メキシコ	04.04.01～ 05.02.28	アジア・アフリカ研究センター設立40周年を記念する日本文化フォーラムの開催
11	第15回全伯日本語・日本文学・日本文化学会	リオ・デ・ジャネイロ連邦大学文学部	ブラジル	04.04.01～ 04.12.30	ブラジル全土の日本研究者の研究発表、ネットワーキングのための会議の開催
12	2004年度日本学研究論文集 Estudos Japoneses 出版事業	サンパウロ大学日本文化研究所	ブラジル	04.04.01～ 05.03.31	ポルトガル語で書かれた日本研究論文の編纂と出版

## 2. 人物交流事業費 (1)派遣フェローシップ(学者・研究者)〔米〕

海外において人文・社会科学の各分野での共同研究および研究の指導を主とする研究活動を行なう学者・研究者にフェローシップを支給する。

合計額 9,470,630円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	赤林英夫	慶応義塾大学経済学部助教授	米国	05.02.20～ 06.02.19	全米経済研究所(NBER)	申請者がこれまで実施してきた日本の教育政策、特に学校選択に関する経済理論・実証研究を全米経済研究所の教育経済学研究プログラムにおいて推進・紹介。同時に、同研究所プロジェクトへの提案を通して教育経済学研究の発展に貢献
2	永松利文	立命館アジア大 洋州大学大学院 アジア大洋州学 部助教授	米国	04.08.28～ 05.08.20	ハーバード大学 情報政策研究セ ンター	米国におけるメディア・リテラシー教育の事例研究。それを応用し、日本の初等・中等レベルにおけるメディアリテラシー教育の構築、確立のためのカリキュラムを開発。また、米国の本分野教育団体とのネットワーク構築により、日本の文化を取り入れた米国のメディア・リテラシー教育の改良
3	澤田真治	岐阜大学教育学 部助教授	ブラジル	04.10.01～ 05.09.30	サンパウロ州立 カンピーナス大 学	アマゾン流域地方の保護やメルコスルによる地域統合という新しい課題に直面するブラジルの安全保障問題を「人間の安全保障」、「環境安全保障」、「地域安全保障」といった新しい視点から分析を行なった

## 2. 人物交流事業費 (2)新渡戸フェローシップ

財団法人国際文化会館が実施している社会科学国際フェローシップ(新渡戸フェローシップ)に対する協力として、同会館により選考・推薦された研究者に対し、旅費・滞在費等を支給する。

合計額 6,416,364円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	大中真	桜美林大学国際 学部専任講師	英国	04.04.01～ 05.03.31	オックスフォード 大学セントア ントニーズカ レッジ	苦闘の末に独立を達成したバルト諸国が、なぜ独立後わずか20年で独立を喪失したのか、その原因を探った

## 米州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
2	川西諭	上智大学経済学部助教授	英国	05.03.15～ 06.03.14	ロンドン・スクールオブエコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンス	伝統的なファイナンス理論では説明できない現象に注目しその実態と原因を探求する行動ファイナンス分野において、証券市場の投資家行動の現象を心理的バイアス、情報の不完全性、投資家間の戦略的な駆け引きに注目して研究した

### 2. 人物交流事業費 (3)小渕フェローシップ

日米両国政府の合意に基づく「小渕沖縄教育研究プログラム」の一環として、米国の東西センター（ハワイ州）を受入機関として人文・社会科学分野に係る研究活動を行なう研究者などに対しフェローシップを支給する。  
合計額 18,473,561円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	大角玉樹	琉球大学法文学部助教授	米国	04.10.01～ 05.09.30	ハワイ州・東西センター	太平洋島嶼地域におけるデジタル・オポチュニティと経済・社会開発
2	奥儀峰奈子	琉球大学教育学部助教授	米国	04.09.21～ 05.09.20	ハワイ州・東西センター	グローバル化に向けた小学校における英語教育と英語教員養成プログラムに関する研究
3	吉次公介	沖縄国際大学法学部助教授	米国	05.03.30～ 06.03.10	ハワイ州・東西センター	アジア太平洋の安全保障体制と沖縄－沖縄返還と在沖米軍の現状－

### 2. 人物交流事業費 (4)招へいフェローシップ（学者・研究者）〔米〕

人文・社会科学分野の学者、研究者で、日本に関わる研究を行なうため来日する必要がある者を招へいする。  
合計額 48,852,716円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	EDGINGTON, David William	ブリティッシュ・コロンビア大学 日本研究センター所長	カナダ	04.09.02～ 05.08.01	立命館大学国際関係学部	日本の都市における多文化的計画
2	IKEDA, Satoshi	アルバータ大学社会学部準教授	カナダ	04.12.01～ 05.11.30	京都大学東南アジア研究所	日本の失敗した現代化とイデオロギーの危機：鎖国主義、天皇主義、企業中心主義の東アジア地域と世界的立場からのシステム分析

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
3	KAWASHIMA, Ken	トロント大学 東アジア研究学 部准教授	カナダ	04.06.01～ 04.12.31	法政大学経済学 部	近代日本における植民地、文化 と朝鮮人労働力（1917～1937）
4	MONNET, Livia Rodica	モントリオール 大学 比較文学 科教授	カナダ	04.07.07～ 05.02.28	京都大学 大学 院文学研究科	日本女性映像作家の現在－その 映画、ビデオ・アート、デジタ ル・アートの研究
5	AZUMA, Shoji	ユタ大学准教授	米国	05.03.17～ 06.03.16	大妻女子大学	戦後日本の政治的発言の研究
6	BIALOCK, David T.	南カリフォルニア 大学助教	米国	03.12.02～ 04.12.01	学習院大学文学 部	音の地勢:中世日本における音 楽、話、儀式の研究
7	BOTSMAN, Daniel Vernon	ハーバード大学 歴史学部准教授	米国	04.08.23～ 05.04.22	大阪市立大学大 学院文学研究科	明治期における自由と解放－そ の思想と実践
8	FIELD, Norma	シカゴ大学教授	米国	05.01.11～ 05.09.10	市立小樽文学館	日本のプロレタリア文学：小林 多喜二の100年
9	KASULIS, Thomas Patrick	オハイオ州立大 学比較文化学科 教授	米国	04.05.06～ 04.09.15	南山宗教文化研 究所	日本の哲学：歴史と原典
10	McRAE, John R.	インディアナ大 学准教授	米国	04.01.05～ 04.12.30	南山大学	東アジア仏教の概念地図:越文 化的展望における「聖徳太子」 のh法華経注釈
11	NORNES, Mark	ミシガン大学准 教授	米国	04.03.23～ 05.03.22	早稲田大学大学 院	翻訳者のシネマ
12	PAI, Hyung Il	カリフォルニア 大学サンタバー バラ校東アジア 言語文化学部准 教授	米国	04.09.01～ 05.03.31	京都大学大学院 文学部研究科歴 史文化学系	「日本の古代」をよせ集める：朝鮮 半島における考古学・民俗学と 文化財管理の歴史
13	PINCUS, Leslie Beth	ミシガン大学 歴史学部准教授	米国	05.01.14～ 05.07.13	立教大学法学部 五十嵐研究室	20世紀日本における反対勢力の 系譜
14	SHERIF, Ann	オーバーリン大 学准教授	米国	04.03.30～ 04.12.20	日本大学人文科 学研究所	冷戦の脅威-戦後日本の文学、 メディア、法律（1952～1970年）
15	UNGER, J. Marshall	オハイオ州立大 学東亜語学文学 科主任教授	米国	05.01.16～ 05.11.15	神戸大学文学部	日本語の成立における言語接触 の研究
16	NAGIB, Lucia	カンピナス州立 大学芸術学部 マルチメディア 課助教授	ブラジル	04.10.03～ 04.12.02	早稲田大学文学 部	「日本のスーパーバグと身体 リアリズムについて」

## 米州交流事業費

### 2. 人物交流事業費 (5) 招へいフェローシップ (論文執筆) [米]

人文・社会科学分野の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 56,789,636円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	GRIFFITHS, Caitilin, Judith	トロント大学博士課程	カナダ	04.05.07～ 05.05.04	東京大学史料編纂所特殊史料部	中世日本の遍歴尼僧の研究
2	PERRON, Joel Gilles	トロント大学博士課程	カナダ	04.03.29～ 05.03.28	国際日本文化研究センター	岡倉天心と矛盾するジャポニズム
3	BERGSTROM, Brian	シカゴ大学大学博士課程	米国	03.09.01～ 04.08.28	立命館大学文学部	青春、暴力、表現－現代日本の少年犯罪を巡る文学と大衆文化
4	BRYAN, Steven	コロンビア大学歴史学部博士課程	米国	03.10.07～ 04.09.06	東京大学大学院経済学研究科	文明と金－日本とアルゼンチンにおける金本位制 (1867～1932年)
5	CANNELL, David Richard	カルフォルニア大学アーバイン校博士課程、インストラクター	米国	05.01.04～ 06.01.03	都留文科大学文学部	元禄時代の俳句
6	EASON, David Anthony	カリフォルニア大学ロサンゼルス校歴史学部大学院生	米国	04.10.05～ 05.07.04	早稲田大学文学部	日本中世移行期における紛争の文化史－十六世紀半ばから十七世紀初期までを中心に
7	EDELSON, Loren	ニューヨーク市立大学博士課程	米国	03.12.15～ 04.11.14	共立女子大学	歌舞伎における女性－1893から現在まで
8	FARRIER, Anna-Marie	プリンストン大学東アジア研究科博士過程	米国	04.05.06～ 05.05.05	東京大学大学院総合文化研究科	循環するフィクション－夏目漱石とゴシックロマン
9	FREIRE, Charles Patrick	カリフォルニア大学バークレー校歴史学部 大学院生	米国	04.09.23～ 05.09.07	東京大学大学院人文社会系研究科	近代日本における宗教と市民社会
10	KIM, Soo	カリフォルニア大学バークレー校博士課程	米国	03.11.11～ 04.10.10	東京芸術大学	過去の実体化-千利休の茶道具、肖像、書について
11	LEUCHTENBERGER, Jan	ミシガン大学博士課程	米国	03.09.01～ 04.08.19	立教大学日本学研究所	近世時代の「切利支丹」仮名草子における西洋のイメージ
12	MARR, Matthew	カリフォルニア大学ロサンゼルス校博士課程	米国	04.3.30～ 05.03.29	宇都宮大学国際学部	二つのグローバル・シティ (東京・ロサンゼルス)におけるホームレス生活から抜け出すプロセス

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
13	MUELLER, Laura Jean	ウイスコンシン 大学マディソン 校美術史学部	米国	04.09.02～ 05.06.27	学習院大学文学 部哲学科	美徳の表現：江戸版画にみられ る儒教の移入
14	OTA, Pauline Ayumi	スタンフォード 大学博士課程	米国	03.09.02～ 04.09.01	慶應義塾大学	遊び－江戸時代の都市の景観
15	QUIMBY, Joanne M.	インディアナ大 学ブルーミント ン校大学院生 (博士課程)	米国	02.10.01～ 03.11.30	立命館大学文学 部	現代日本女流文学におけるジェ ンダー主体性の研究
16	SCARANGELLO, Dominick John	ヴァージニア大 学宗教学部	米国	04.07.31～ 05.07.28	駒澤大学仏教学 部	協力、論争、そして伝統の創造 －日本の神聖な山にて
17	SHAMOON, Deborah	カリフォルニア 大学パークレー 校博士課程	米国	03.10.01～ 04.05.31	早稲田大学法学 部	近代日本文学と映画における' 少女'の文化史
18	SHAPIRO, Michael Isaac	カリフォルニア 大学パークレー 校歴史学部	米国	04.10.01～ 05.09.20	東京大学社会科 学研究所	大正デモクラシー、韓国のナ ショナリズムと文化的ルール
19	SPAFFORD, David	カリフォルニア 大学パークレー 校博士課程	米国	03.09.02～ 04.07.31	東京大学史料編 纂所	衰退と過去－中世日本における 領地と権力について
20	STANLEY, Amy Beth	ハーバード大学 東アジア言語・ 文明学部博士課 程	米国	04.08.18～ 05.08.10	早稲田大学文学 部	徳川時代における都市文化の地 方への影響
21	TAKEYAMA, Akiko	イリノイ大学 アーバナ・シャ ンペン校人類学 部博士課程・リ サーチアシスタ ント	米国	04.08.20～ 05.08.19	東京大学大学院 人文社会系研究 科	欲望に応じて：東京ホストクラ ブと東京ホステスクラブにおけ る恋愛の商品化
22	GARCIA RODRIGUEZ, Amaury Alejandro	エル・コレヒ オ・デ・メヒコ アジア・アフリ カ研究センター 博士課程	メキシコ	03.09.10～ 04.08.09	国際日本文化研 究センター	江戸時代の枕絵木版画と幕府に よる検閲（1660～1868年）



## 米州交流事業費

### 2. 人物交流事業費 (6)招へいフェローシップ(短期) [米]

人文・社会科学分野の学者、研究者で、短期の訪日研究を必要とする者を招へいする。

合計額 13,288,553円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	HUR, Nam Lin	ブリティッシュ・コロンビア大学アジア学科準教授	カナダ	04.07.01～ 04.08.29	東京大学文学部 人文社会系研究科	禅僧と日本の朝鮮侵略、1592～1598：西笑承兌を中心に
2	MCKNIGHT, Anne	マギル大学東アジア研究学部准教授	カナダ	04.07.19～ 04.08.09	立命館大学文学部	中上健二と戦後のマイノリタリアン文学
3	TAFARODI, Romin William	トロント大学心理学部准教授	カナダ	04.03.16～ 04.05.14	東京大学大学院 人文社会系研究科	日本とカナダにおける自己評価－構造的分析
4	AMYX, Jennifer Ann	ペンシルバニア大学政治学部助教授	米国	04.05.07～ 04.06.29	経済産業研究所	日本政治経済における制度実績とシステム過渡期の分析
5	ATKINS, E. Taylor	北イリノイ大学歴史学科助教授	米国	04.09.01～ 04.09.21	国際日本文化研究センター	「アリラン」の二つの道－朝鮮の抵抗歌、日本の流行歌
6	FREEMAN, Laurie Anne	カリフォルニア大学サンタ・バーバラ校助教授	米国	04.07.24～ 04.08.15		情報科学技術と民主主義：日米比較研究
7	KATADA, Saori	南カリフォルニア大学国際関係学部準教授	米国	04.05.27～ 04.07.25	経済産業研究所	日本と地域主義:国際要因と国内要因の関連性
8	MARRA, Michael Ferruccio	カリフォルニア大学ロサンゼルス校東亜言語文化学部教授	米国	04.11.19～ 05.01.02	京都大学文学部	哲学者と詩歌-京都学派の美学
9	MCDONALD, Keiko	ピッツバーグ大学東洋学部教授	米国	04.06.02～ 04.07.07	東京フィルメックス	映画を作る女性達:日本女性監督編
10	ROSENBERGER, Nancy, Ross	オレゴン州立大学人類学部教授	米国	04.09.23～ 04.11.21	札幌医科大学保健医療学部一般教育科・社会学	日本女性の人生設計における改革の試みについて
11	THOMAS, Julia Adeney	ノートルダム大学歴史学部助教授	米国	04.07.10～ 04.08.05	立教大学法学部	写真とデモクラシー：占領下の日本における歴史と性
12	UYEDA, Tanya Tomoko	ボストン美術館アジア部門副学芸員	米国	04.09.03～ 04.10.05	共立女子大学家政学部被服学科	肉筆浮世絵の表具のあゆみ

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
13	ZWICKER, Jonathan Elias	ミシガン大学ア ジア言語文化学 部助教授	米国	04.06.01～ 04.06.30	千葉大学日本文 化学科	血の涙-19世紀の日本における メロドラマ、小説と国民の想像 力
14	TANAKA, Michiko	エル・コレヒ オ・デ・メヒコ アジア・アフリ カ研究センター 教授	メキシコ	04.05.06～ 04.06.19	東京大学社会科 学研究所	日本の政治と政治思想 1983～ 2003

2. 人物交流事業費	(7)文化人短期招へい(国際会議) [米]
------------	-----------------------

国内で開催される国際会議等（学会、シンポジウム、ワークショップおよび講演会を含む）において、重要な役割を担う諸外国の専門家を招へいする。

合計額 2,119,970円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	ANDERSON, Thomas	フロリダ州立大 学 美術教育学 部教授	米国	04.08.09～ 04.08.17	美術教育の権威トム・アンダーソン氏を迎え、美濃市の環境や文化を生かしたワークショップを開催
2	BARRETT, Timothy	アイオワ大学紙 研究センター長	米国	04.06.24～ 04.07.02	「和紙の発展：世界の手漉き紙からみた可能性」というテーマで日本紙アカデミー講演会（京都）、全国手漉き和紙青年の集い（東京）、石州半紙技術者会（鳥根）において講演・意見交換を行なった
3	MARCUM, Deanna Bowling	米国議会図書館 副館長	米国	04.07.05～ 04.07.10	金沢工業大学国際ラウンドテーブル会議において「デジタルライブラリーとしての世界の動向」と題して基調講演を行なった
4	NEMITZ,Craig A.	全米災害救援ボ ランティア機構 (NVOAD) 緊 急災害援助責任 者	米国	05.01.16～ 05.01.24	2005年1月の阪神・淡路大震災の10周年にあたり、アメリカのネットワーク構築の経緯、現状等の講演実施
5	WONG,Sau- ling Cynthia	カリフォルニア 大学バークレー 校教授	米国	04.09.24～ 04.10.01	アジア系アメリカ文学研究会(AALA)15周年記念国際フォーラムにおいて特別講演を行なった

## 米州交流事業費

### 3. 催し等事業費 (1)国際会議出席(助成)[米]

海外で開催される国際会議、シンポジウムなどに招請され、講義、基調論文の発表を行なうなど指導的役割を果たす日本国内の人文・社会科学または芸術分野の専門家に対して助成を行なう。

合計額 850,970円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	チュミクリス チャン	京都大学農学研究科森林科学専攻	米国	04.08.27～ 04.09.04	ピュージェット サウンド日本庭 園協会	「重森三玲の世界」をテーマとした講演の実施
2	中村錦平	多摩美術大学工芸学科長・教授	米国	04.11.04～ 04.11.08	ハーバード大学 アート研究室 (陶芸プログラム)	世界から注目されている日本陶芸の研究を促進。「日本陶芸の文化的ルーツと現代的表現」といったテーマのもとに日米両サイドから学者、キュレーター、評論家、歴史家、実作者がそれぞれの専門から発表、ディスカッションを実施
3	染田秀藤	大阪外国語大学 教授	ペルー	04.08.08～ 04.08.14	国立サン・マル コス大学	「16、17世紀のスペイン語文書に見る日本人像とアンデス住民像の相違に関する考察」をテーマに論文発表を実施

### 4. 文化資料事業費 (1)図書寄贈[米]

海外の日本研究・教育機関や公共図書館などに日本関係図書等を寄贈。日本に関する理解・研究を促進するため基金が図書を購入し、申請機関に送付する。

合計額 14,872,049円

	国	機関	部数
1	カナダ	カールトン大学図書館	35
2	カナダ	ウォータールー大学	16
3	カナダ	セント・メリーズ大学	42
4	カナダ	トロント大学チェン・ユー・タング東アジア図書館	75
5	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学図書館	26
6	カナダ	アルバータ大学図書館	39
7	米国	Otterbein College	96
8	米国	ペンシルバニア・スリッパリー・ロック大学	85
9	米国	University of Wisconsin- Eau Claire	67
10	米国	The Art Institute of Chicago	2

	国	機関	部数
11	米国	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	74
12	米国	メリーランド大学 カレッジ・パーク本校	80
13	米国	クラーク財団ルース・アンド・シャーマン・リー日本美術研究所	79
14	エル・サルバドル	エル・サルバドル工科大学	25
15	キューバ	国立芸術学院	56
16	ジャマイカ	西インド諸島大学図書館	53
17	ドミニカ共和国	アベック大学	10
18	ホンジュラス	国立教育大学	23
19	アルゼンチン	国立ラ・プラタ大学国際関係研究所	15
20	アルゼンチン	サルタ・カトリック大学	99
21	コロンビア	ルイス・アンヘル・アランゴ・図書館	40
22	スリナム	上級教師研修所 Advanced Teacher Training Institute	30
23	チリ	サンチャゴ国立大学	101
24	チリ	ガブリエラ・ミストラル大学	31
25	ブラジル	カシアス・ド・スル総合大学	102
26	ブラジル	ブラジリア大学中央図書館	59
27	ブラジル	リオデジャネイロ州立大学日伯現代学術文化交流プログラム	72
28	ベネズエラ	ロス・アンデス大学	41
29	ペルー	国立サンマルコス大学アジアプログラム	104

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## アジア・大洋州交流事業費

### 1. 日本研究事業費

- (1) 日米研究調査〔ア〕
- (2) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕
- (3) 日本研究シニア客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕
- (4) 日本研究拠点機関（助成）〔ア〕
- (5) 日本研究スタッフ拡充（助成）〔ア〕
- (6) 日本研究リサーチ・会議等（助成）〔ア〕
- (7) 東南アジア元日本留学生活動支援
- (8) 北京日本学研究中心派遣（北外）
- (9) 北京日本学研究中心派遣（北大）
- (10) 北京日本学研究中心招へい（北外）
- (11) 北京日本学研究中心招へい（北大）
- (12) 北京日本学研究中心（研究協力）
- (13) 中国社会科学院研究生院

### 2. 人物交流事業費

- (1) 招へいフェローシップ（学者・研究者）〔ア〕
- (2) 招へいフェローシップ（論文執筆）〔ア〕
- (3) 招へいフェローシップ（特定地域専門家）〔ア〕
- (4) 招へいフェローシップ（短期）〔ア〕
- (5) 文化人短期招へい（国際会議）〔ア〕
- (6) 次世代リーダーフェローシップ（派遣）〔ア〕
- (7) アジア・リーダーフェローシップ（招へい）

### 3. 催し等事業費

- (1) 国際会議出席（助成）〔ア〕
- (2) アジア知的交流会議（公募助成）
- (3) アジア知的交流会議（企画参画助成）
- (4) アジア知的交流会議開催
- (5) アジア地域研究センター支援（催し等）
- (6) 沖縄国際フォーラム

### 4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔ア〕

## 1. 日本研究事業費 (1) 日本研究調査〔ア〕

海外の日本研究機関・日本研究者に関するディレクトリーを作成する。

合計額 8,274,840円

	事業名	国	期間	事業内容
1	韓国日本研究調査	韓国	05.01.01～ 05.03.31	韓国における日本研究の現状と最新の動向を把握し、今後国際交流基金が適切な国別事業の実施を検討する際の資料を得るとともに、調査結果を公表することにより、日本研究者・日本研究機関の相互交流を深め、日本研究の促進を図るために、①日本研究機関調査と②日本研究者調査を実施
2	大洋州日本研究調査	オーストラリア ニュージーランド	04.04.01～ 05.03.31	大洋州における日本研究の実態を把握するため日本研究調査を実施。調査結果は従来通りの印刷物としてのディレクトリーを発行する他、他地域の調査結果との連動をはかり、インターネットでの公開も視野に入れた全世界共通データベースに反映し、今後基金が対大洋州事業の実施を検討する際の資料とした。また、ディレクトリーの発行、データベースの公開により、日本研究者・日本研究機関間の交流を深め、日本研究の促進を図った

## 1. 日本研究事業費 (2) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕

海外諸大学の日本研究講座を支援するため、人文・社会科学分野の学者・研究者を派遣する。

合計額 20,277,235円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	下川正晴	毎日新聞編集委員	韓国	05.02.15～ 06.02.13	韓国外国語大学 校	メディア論に関する講義
2	森山卓郎	京都教育大学教育学部助教授	インドネシア	04.06.23～ 04.08.09	Indonesia University of Education	言語学概論・日本語学に関する講義
3	鎌田修	南山大学教授	インドネシア	04.07.19～ 04.08.18	Podjadjaran University	日本語の口頭表現の分析と教育方法論に関する講義
4	梅野巨利	兵庫県立大学教授	インドネシア	05.01.26～ 05.03.10	インドネシア大 学大学院	日本のビジネスと経済制度に関する講義
5	森谷裕美子	九州国際大学助教授	インドネシア	05.02.13～ 05.03.13	インドネシア大 学大学院	比較文化論に関する講義
6	浮田三郎	広島大学教授	インドネシア	05.02.20～ 05.03.21	インドネシア大 学大学院	日本語の諺と日本文化に関する講義
7	真田信治	大坂大学大学院文学研究科教授	タイ	04.08.01～ 04.08.29	チュラロンコン 大学	大学院修士課程で日本語学の講義
8	岩本憲児	早稲田大学文学部教授	フィリピン	04.07.26～ 04.08.31	De la Salle University	日本映画に関する講義

## アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
9	Tran Van Tho	早稲田大学教授	ベトナム	04.08.11～ 04.09.21	The University of Danang	日本経済：発展の経験とアジアとの関係に関する講義
10	白石昌也	早稲田大学アジア太平洋研究科教授	ベトナム	04.09.12～ 04.09.30	University of Social Sciences and Humanities, HCM city	日本の対外関係と外交政策
11	川村湊	法政大学国際文化学部教授	インド	05.01.01～ 05.03.31	University of Delhi	日本文学に関する講義
12	望月善次	岩手大学教育学部教授	インド	05.01.01～ 05.03.31	Jawaharla Nehru University	近代日本文学に関する講義

### 1. 日本研究事業費 (3) 日本研究シニア客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕

人文科学および社会科学分野（芸術分野を含む）で、日本に関する講義を実施するために客員教授を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、日本国内で条件に合致する専門家を公募して派遣する。本プログラムはジャパンフェウンデーションボランティア制度の一環として実施するものである。

合計額 4,363,203円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	田村貞雄	静岡大学名誉教授	インドネシア	05.01.25～ 05.04.26	アル・アザールインドネシア大学	近代日本史に関する講義
2	椎名和男	元杏林大学教授	インドネシア	05.03.01～ 05.06.22	ダルマ・プルサダ大学	日本語学に関する講義

### 1. 日本研究事業費 (4) 日本研究拠点機関（助成）〔ア〕

海外の日本研究において特に中核的な役割を担う機関を指定して、その日本研究部門の研究費、運営費などを中長期にわたって総合的に助成する。

合計額 60,366,163円

	機関	国	期間	事業内容
1	ソウル大学国際大学院	韓国	04.09.01～ 05.08.31	図書・視聴覚資料等購入、日本研究動向調査、研究フォーラム支援、インターネットによる情報提供、大学院生訪日研修
2	南開大学日本研究院	中国	04.04.01～ 05.03.31	シンポジウム、共同研究、訪日調査、客員教授派遣助成、出版援助、訪日研修、図書寄贈

	機関	国	期間	事業内容
3	復旦大学日本研究センター	中国	04.04.01～ 05.03.31	国際シンポジウム、共同研究、訪日調査、客員教授派遣助成、出版援助、図書寄贈
4	インドネシア大学大学院日本研究プログラム	インドネシア	04.04.01～ 05.03.31	講師・スタッフ謝金助成、研究費助成、客員教授派遣、日本研究スカラシップ、図書寄贈
5	タマサート大学日本研究センター	タイ	04.04.01～ 05.03.31	講師謝金助成、大学院生訪日研修、出版援助、リサーチ・会議等助成、図書寄贈
6	チュラロンコン大学	タイ	04.04.01～ 05.03.31	大学院生訪日研修、図書寄贈、客員教授派遣
7	ベトナム日本研究調整評議会	ベトナム	04.04.01～ 05.03.31	日本研究リサーチ・会議等助成、日本研究Webサイト、日本研究奨励スカラシップ

1. 日本研究事業費	(5)日本研究スタッフ拡充（助成）〔ア〕
------------	----------------------

海外の大学等が日本研究に関連した常勤の教官ポストを増設する場合、最初の3年間に限り当該者の給与と社会保障費を助成する。

合計額 4,467,120円

	機関	国	期間	事業内容
1	The University of Melbourne	オーストラリア	04.07.01～ 05.06.30	アジア芸術史講師の給与助成（第3年次）

1. 日本研究事業費	(6)日本研究リサーチ・会議等（助成）〔ア〕
------------	------------------------

海外の高等教育・研究機関が実施する日本研究に関連した共同研究・会議、セミナー・ワークショップや集中講座等について、経費の一部を助成する。

合計額 21,987,709円

	団体	国	期間	事業内容
1	東西大学校	韓国	04.04.01～ 04.12.31	日韓次世代学術フォーラム国際学術大会
2	国民大学校日本学研究所	韓国	04.04.01～ 05.03.31	北東アジア地域協力体制樹立の理論・現実・戦略：日韓協力の観点から
3	韓国政治学会	韓国	04.04.01～ 05.03.31	21世紀日韓の政治環境の変化と政治制度的対応の比較分析



## アジア・大洋州交流事業費

	団体	国	期間	事業内容
4	現代日本学会	韓国	04.04.01～ 05.03.31	東アジア国際秩序と日本：過去、現在、未来
5	韓日経商学会	韓国	04.04.01～ 05.03.31	韓日FTA後の産業競争力および企業文化の比較研究
6	東アジア日本学会	韓国	04.04.01～ 05.03.31	日本文化研究叢書刊行事業
7	大韓日語日文学会	韓国	04.05.20～ 04.07.20	日本学研究における「境界」
8	中国社会福祉教育協会	中国	04.04.01～ 04.09.30	中日女性就業および社会福祉制度の比較研究
9	中国社会科学院日本研究所	中国	04.04.01～ 05.03.31	世界の中の日本文化—自国文化との摩擦と融合
10	中国政法大学	中国	04.04.01～ 05.03.31	日本近現代法体制の成立と外国法の継受
11	中国社会科学院新聞伝播研究所	中国	04.04.01～ 05.03.31	日本イメージ、中国イメージの形成に関する日中共同研究
12	浙江大学	中国	04.04.01～ 05.03.31	中国で翻刻された日本漢籍—「華刻本」の調査と研究—
13	中国現代国際関係研究所	中国	04.05.05～ 04.08.05	アジア太平洋地域問題における中日協力についての調査研究
14	上海国際問題研究所	中国	04.07.01～ 04.12.31	グローバルガバナンス：中日協力の可能性について
15	Surabaya State University	インドネシア	04.04.01～ 05.03.31	日本とASEANの文化の未来について
16	University of Indonesia	インドネシア	04.04.01～ 05.03.31	グローバル化の中での沖縄とアジア-サステイナブルな市民社会のネットワーク構築に向けて
17	The University of Melbourne	オーストラリア	04.09.01～ 05.03.31	日本の法科大学院制度に関する会議

1. 日本研究事業費 (7) 東南アジア元日本留生活動支援

アセアン5カ国の元日本留学生協会の行なうアジア各国の元日本留学生交流のための活動（集会室借上等）に対し支援を行なう。

合計額 20,430,392円

	団体	国	期間	事業内容
1	インドネシア元日本留学生協会 (PERSADA)	インドネシア	04.04.01～ 05.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進を目的として、集会施設借料等を助成
2	シンガポール元日本大学卒業生協会 (JUGAS)	シンガポール	04.04.01～ 05.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進を目的として、集会施設借料等を助成
3	タイ元日本留学生協会 (OJSAT)	タイ	04.04.01～ 05.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進を目的として、集会施設借料等を助成
4	元日本留学生フィリピン連盟 (PHILFEJA)	フィリピン	04.04.01～ 05.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進を目的として、集会施設借料等を助成
5	マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)	マレーシア	04.04.01～ 05.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進を目的として、集会施設借料等を助成
6	東方政策留学生同窓会 (ALEPS)	マレーシア	04.04.01～ 05.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進を目的として、集会施設借料等を助成
7	ミャンマー元日本留学生協会 (MAJA)	ミャンマー	04.04.01～ 05.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進を目的として、集会施設借料等を助成

1. 日本研究事業費 (8) 北京日本学研究センター派遣（北外）

北京外国語大学で実施される北京日本学研究センター修士課程、在職日本語教師修士課程に対し、専門家を派遣する。

合計額 74,963,165円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	篠崎摂子	日本語国際センター専任講師	03.08.20～ 05.07.13	在職修士課程において、日本語教育学分野において学生の指導を行なった
2	竹内信夫	東京大学大学院総合文化研究科	04.03.24～ 05.03.31	日本側主任教授として、中国側と共同で北京日本学研究センター運営業務を行なうとともに、「日中文化比較」の講義を担当
3	尾崎孝宏	鹿児島大学法文学部	04.03.25～ 05.03.31	日本側副主任として、中国側と共同して北京日本学研究センター運営業務を行なうとともに、「日中文化比較」講義を担当

## アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	期間	事業内容
4	畔上和子	北京日本学 研究センター日 本側事務主任	04.04.01～ 05.03.31	日本側主任教授・副主任を補佐し、北京日本学研究センター内日本側事務局の運営を行なった
5	渡辺憲司	立教大学文学 部教授	04.04.19～ 04.04.30	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、文学コースの特殊講義を行なった
6	宮坂靖子	奈良女子大学 生活環境学部 教授	04.05.10～ 04.05.15	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、社会コースの特殊講義を行なった
7	関谷一郎	東京学芸大学 教育学部教授	04.05.31～ 04.06.05	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、文学コースの特殊講義を行なった
8	高橋文博	岡山大学文学 部教授	04.05.31～ 04.06.05	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、文化コースの特殊講義を行なった
9	益岡隆志	神戸市外国語 大学教授	04.05.31～ 04.06.06	北京日本学研究センター2004年春学期言語コースの特殊講義（集中講義）を行なった
10	中川正之	神戸大学国際 コミュニケーションセン ター教授	04.06.06～ 04.06.12	北京日本学研究センター2004年春学期言語コースの特殊講義（集中講義）を行なった
11	松浦とも子	浙江櫻花外語 専修学校校長	04.08.20～ 05.01.10	在職修士課程において、日本語教育学分野において学生の指導を行なった
12	阿部洋子	国際交流基金 日本語国際セ ンター専任講 師	04.08.25～ 04.08.29	在職修士コース第2期生第2回の論文指導を行なった
13	小出慶一	埼玉大学教養 部教授	04.08.25～ 04.08.29	在職修士コース第2期生第2回の論文指導を行なった
14	富谷玲子	神奈川大学外 国語学部専任 講師	04.08.25～ 04.08.29	在職修士コース第2期生第2回の論文指導を行なった
15	村井章介	東京大学大学 院人文社会系 研究科	04.08.26～ 05.01.04	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、文化コースの講義、学生指導を行なった
16	井出裕久	大正大学人間 学部教授	04.08.26～ 05.01.10	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、社会コースの講義、学生指導を行なった
17	杉本優	群馬県立女子 大学文学部教 授	04.08.26～ 05.01.10	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、文学コースの講義、学生指導を行なった

	氏名	現職	期間	事業内容
18	成田徹男	名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授	04.08.26～ 05.01.10	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、言語コースの講義、学生指導を行なった
19	玉村文郎	同志社大学名誉教授	04.09.09～ 04.09.15	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、言語コースの特殊講義を行なった（派遣専門家、時期未定）
20	松戸庸子	南山大学外国語学部教授	04.11.01～ 04.11.06	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、社会コースの特殊講義を行なった
21	小島康敬	国際基督教大学	04.11.29	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、文化コースの特殊講義を行なった
22	藤井俊博	同志社大学大学院文学研究科教授	05.02.21～ 05.07.14	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、言語コースの講義、学生指導を行なった
23	片山倫太郎	岡山大学文学部助教授	05.02.24～ 05.07.14	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、文学コースの講義、学生指導を行なった
24	大矢根淳	専修大学文学部助教授	05.02.27～ 05.07.14	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、社会コースの講義、学生指導を行なった
25	西谷まり	一橋大学留学生センター助教授	05.03.06～ 05.07.14	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、在職修士コースの講義、学生指導を行なった
26	荒山裕行	名古屋大学経済学研究科教授	05.03.21～ 05.03.26	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、社会コースの特殊講義を行なった
27	加藤晴子	明海大学外国語学部助教授	05.03.25～ 06.03.31	日本側副主任として北京日本学研究センター運営を行なうと共に、「日中文化比較」の講義を担当
28	白井啓介	文教大学文学部教授	05.03.25～ 06.03.31	日本側主任教授として北京日本学研究センター運営を行なうと共に、「日中文化比較」の講義を担当
29	橋本毅彦	東京大学先端科学技術研究センター教授	05.04.01～ 05.06.30	北京日本学研究センター（北京外国語大学実施分）において、文化コースの講義、学生指導を行なった

## アジア・大洋州交流事業費

### 1. 日本研究事業費 (9)北京日本学研究中心センター派遣 (北大)

北京大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 6,250,616円

	氏名	現職	期間	受入団体	事業内容
1	知原信良	大阪大学大学院法学研究科教授	04.04.11～ 04.04.13	北京大学現代日本研究講座	北京大学現代日本研究講座において「日本の税制」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
2	小林和子	日本証券経済研究所理事主任研究員	04.04.11～ 04.04.18	北京大学現代日本研究講座	北京大学現代日本研究講座において「日本の証券」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
3	中島邦雄	政策研究大学院大学教授	04.04.12～ 04.04.16	北京大学現代日本研究講座	北京大学現代日本研究講座において「現代日本の経済産業政策」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
4	安秉俊	政策研究大学院大学教授	04.04.18～ 04.04.21	北京大学現代日本研究講座	北京大学現代日本研究講座において「日本の政府と行政」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
5	元橋一之	独立行政法人経済産業研究所上席研究員 東京大学先端科学技術研究センター助教	04.04.18～ 04.04.21	北京大学現代日本研究講座	北京大学現代日本研究講座において「日中企業管理比較研究」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
6	富田重亮	国連国際農業開発基金総裁特別顧問	04.09.18～ 04.10.31	北京大学現代日本研究講座	北京大学現代日本研究講座において、北京大学側主任教授と共に講座運営業務を行なった
7	角南篤	政策研究大学院大学	04.10.01～ 04.10.05	北京大学現代日本研究講座	北京大学現代日本研究講座において「電子技術と現代社会」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
8	内田満	早稲田大学名誉教授	04.10.27～ 04.10.30	北京大学現代日本研究講座	北京大学現代日本研究講座において「東アジア国際関係論」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
9	田中一昭	拓殖大学政経学部教授	05.03.27～ 05.03.30	北京大学現代日本研究講座	北京大学現代日本研究講座において「日本国有企業民営化」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
10	加藤雅信	名古屋大学法学部教授	05.04.03～ 05.04.06	北京大学現代日本研究講座	北京大学現代日本研究講座において「日本の法制」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
11	八田達夫	国際基督教大学教授	05.04.03～ 05.04.06	北京大学現代日本研究講座	北京大学現代日本研究講座において、「日本の財政・金融」に関する講義と学生指導を行なった

1. 日本研究事業費 (10)北京日本学研究中心招へい(北外)

北京外国語大学で実施される北京日本学研究中心の博士課程、修士課程、在職日本語教師修士課程に在籍する学生および専任教授などを、研究、資料収集、論文執筆などのために招へいする。

合計額 61,934,359円

	グループ名	氏名	期間	事業内容
1	専任スタッフ	張彦麗	04.02.06～ 04.06.05	北京日本学研究中心専任スタッフに対し、研究能力向上のため日本での研修を行なった
2	修士課程第18期生(18名)		04.03.28～ 04.09.17	北京日本学研究中心修士課程学生に6カ月間の訪日研究の機会を与え、修士論文を完成
3	博士課程フェロー	蔣義喬	04.04.01～ 04.10.31	北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
4	博士課程フェロー	李据寧	04.04.01～ 04.10.31	北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
5	博士課程フェロー	朱鵬霄	04.04.01～ 04.10.31	北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
6	在職修士課程第3期生(8名)	—	04.07.05～ 04.08.02	北京日本学研究中心在職日本語教師修士課程の第3期生8名および随行者1名を招へいし、修士論文作成のための資料収集、関係者・関係機関への訪問等の研究を行なった
7	修士課程第19期生(18名)	—	05.03.28～ 05.09.16	北京日本学研究中心修士課程学生に修士論文作成のための訪日研究を実施し、大学・研究機関等に在籍して専門家の論文指導を受けた
8	博士課程フェロー	王梅	05.03.28～ 06.03.27	2005年現地博士課程フェロー(北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与)
9	博士課程フェロー	楊玲	05.03.28～ 06.03.27	2005年現地博士課程フェロー(北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与)

1. 日本研究事業費 (11)北京日本学研究中心招へい(北大)

北京大学で実施される現代日本研究講座を受講する学生を、研究、資料収集、論文執筆などのために招へいする。

合計額 17,831,018円

	グループ名	期間	事業内容
1	現代日本研究講座新第4期(26名)	04.05.12～ 04.05.25	北京大学現代日本研究講座の所属学生(社会人9名、大学院生13名、北京大学関係者4名)に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施
2	郭立仕(Guo, Lishi)	04.09.12～ 05.03.11	北京大学現代日本研究講座を受講する同大学大学院博士課程学生に対してフェローシップを供与し、専門家の指導のもと博士論文執筆のための資料収集等を行なった

## アジア・大洋州交流事業費

	グループ名	期間	事業内容
3	劉亜娜 (Liu, Yana)	04.09.12～ 05.03.11	北京大学現代日本研究講座を受講する同大学大学院博士課程学生に対してフェロシップを供与し、専門家の指導のもと博士論文執筆のための資料収集等を行なった

1. 日本研究事業費	(12) 北京日本学研究センター（研究協力）
------------	------------------------

北京外国語大学および北京大学で実施される北京日本学研究センター事業に関し、図書・教材の購送、学術共同研究の実施などの研究に関する支援等を行なう。

合計額 16,419,200円

	事業名	期間	事業内容
1	研究プロジェクト	04.04.01～ 05.03.31	北京日本学研究センターにおいて、専任スタッフにより実施される研究活動を支援
2	出版プロジェクト	04.04.01～ 05.03.31	北京日本学研究センターにおいて専任スタッフにより実施される出版活動を支援
3	北京外国語大学教材等購送	04.04.01～ 05.03.31	北京日本学研究センター北京外国語大学実施分に講義用教材、図書館資料を購送
4	北京大学教材等購送	04.04.01～ 05.03.31	北京日本学研究センター北京大学現代日本研究講座に対して講義用教材、図書館資料を購送
5	北京外国語大学（文献複写）	04.04.01～ 05.03.31	北京日本学研究センター図書資料館において日本国内の図書館に対して文献複写依頼を行なう経費を支援

1. 日本研究事業費	(13) 中国社会科学院研究生院
------------	------------------

中国の若手研究者育成のため、中国社会科学院研究生院の博士課程在籍者に対して博士論文執筆のためのフェロシップを供与する。

合計額 5,884,000円

	氏名	期間	受入団体	事業内容
1	夏 鵬翔	04.04.01～ 05.03.31	東京学芸大学	中国社会科学院研究生院の博士課程在籍者に対して博士論文執筆のためのフェロシップを供与
2	苑 崇利	04.04.01～ 05.03.31	流通経済大学	中国社会科学院研究生院の博士課程在籍者に対して博士論文執筆のためのフェロシップを供与

## 2. 人物交流事業費 (1)招へいフェローシップ(学者・研究者)〔ア〕

人文・社会科学分野の学者、研究者で、日本に関わる研究を行なうため来日する必要がある者を招へいする。  
合計額 115,526,345円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	CHO, Myung-chul	対外経済政策研究院研究委員	韓国	03.12.03～ 04.11.09	財団法人環日本海経済研究所	朝鮮半島における経済関係が東北アジア諸国に与える影響
2	JANG, Wonho	ソウル市立大学 校都市科学大学 都市社会学科副 教授	韓国	04.08.01～ 05.07.31	慶應義塾大学法 学部	日本の政治文化の変動
3	KIM, Young Rae	亜洲大学校政治 外交学科教授	韓国	04.08.24～ 05.07.21	慶應義塾大学法 学部	市民団体の政治参加に関する比較研究：日本と韓国の事例を中心に
4	LEE, Dong-jun	韓国日報政治部 記者	韓国	03.07.01～ 04.06.30	東北大学大学院 法学研究科	日本の外交政策決定要因研究－冷戦終息後の日朝関係を中心として
5	OH, Dong Ryong	月刊朝鮮社取材 チーム記者	韓国	05.03.27～ 06.03.26	静岡県立大学国 際関係学部	日韓両国の安保観について
6	OH, Seong Cheol	清洲大学教育大 学校初等教育科 助教授	韓国	04.09.01～ 05.08.31	京都大学	日本植民統治期の韓国と台湾における植民地初等教育の比較研究：1895～1945
7	SON, Dong Ju	釜慶大学校人文 社会科学大学日 本語日文学部教 授	韓国	05.02.01～ 06.01.31	学習院大学文学 部	自・他動詞と使役・受動との関わり
8	DU, Chuang Guo	山西大学政治・ 公共管理学院助 教授	中国	04.09.01～ 05.08.31	明治学院大学 法学部	中国の事業単位の改革と日本の特殊法人改革の比較
9	HUANG, Da Hui	中国人民大学国 際関係学院東ア ジア研究セン ター助教授・セ ンター長	中国	04.01.27～ 05.01.26	立教大学法学部	日中関係におけるマスメディアの役割
10	LIN, Guo Ping	福建師範大学歴 史学部教授	中国	03.09.30～ 04.09.29	沖縄国際大学総 合文化学部	中国福建と沖縄における民間信仰の比較研究
11	PANG, De Liang	吉林大学東北亜 研究院世界経済 研究所教授・所 長	中国	04.10.30～ 05.08.30	西南学院大学商 学部	現代日本の公共投資に関する研究－高度成長期と平成不況期を中心としての歴史的、現実的考察



アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
12	PIAO, Jian Yi	中国社会科学院 アジア太平洋研 究所所長補佐・ 副研究員	中国	04.06.01～ 05.03.31	慶應義塾大学法 学部	日本の朝鮮半島政策
13	SHEN, Xiao Min	華東師範大学 国際および比較 教育研究所助教 授	中国	04.11.15～ 05.05.14	東京大学大学院 教育学研究科	日本における総合的学習の理論 と授業実践に関する考察－基礎 的基本的力の習得とその評価の 在り方を中心に－
14	WEI, Yurin	広東外語外資大 学	中国	05.01.03～ 05.11.22	東京大学大学院 総合文化研究科	日本における統合保育の理論と 保育実践についての研究
15	YU, Su Qiu	中国人民大学日 本語学部長・教 授	中国	04.08.30～ 05.08.29	山形大学	若者における日本アニメ文化の 受容と再伝播
16	ZHENG, Jing	中国社会科学院 社会学研究所社 会理論室助教授	中国	04.08.08～ 05.08.07	上智大学文学部 社会学科	未来の都市像を描く人と仕組－ 日中比較研究
17	BATSAIKHAN, Ookhnoi	モンゴル科学ア カデミーロシア 学科長、研究員	モンゴル	04.09.29～ 05.09.28	東北大学北東ア ジア研究セン ター	20世紀のモンゴル独立問題に関 する日本の影響
18	CHILKHAJAV, Dagvadorj	社会保障・労働 省戦略計画局 ディレクター	モンゴル	03.12.29～ 04.06.29	日本社会事業大 学社会事業研究 所	日本とモンゴルの社会福祉シス テムの比較
19	SAEDIMAN,	国立ハルオレオ 大学大学院コー ス農業ビジネス 学科長	インドネシア	03.08.27～ 04.06.26	山形大学農学部	日本の協同組合における参加型 民主主義－山形県共立社鶴岡生 協の研究
20	HU, Tze Yue Gigi	シンガポール国 立大学日本語学 科非常勤講師	シンガポール	03.09.01～ 04.08.31	早稲田大学文学 部	アニメ体制－役割と実践の解釈
21	SMANCHAT, Sitthichai	チュラロンコン 大学客員講師	タイ	04.06.30～ 05.03.29	沖縄県立芸術大 学付属研究所伝 統工芸部門	日本におけるシャム更紗のデザ イン（16～18世紀）
22	SURIYAWONGPAISAL, Saowalak	チュラーロン コン大学文学 部日本語学科修 士課程主任	タイ	03.05.06～ 04.05.05	法政大学能楽研 究所、法政大学 文学部	謡曲親子物の再検討
23	BATALLA, Eric Vincent Celestial	デ・ラ・サール 大学政治学部准 教授	フィリピン	03.06.15～ 04.06.14	早稲田大学大学 院アジア太平洋 研究センター	日本・フィリピンの経済政策と 経済活動

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
24	TAN, Rosalina, Palanca	アテオネ・デ・マニラ大学日本研究コース助教授・日本研究コース主任	フィリピン	04.06.15～ 05.02.14	東京大学大学院新領域創生科学研究所	気候変動（地球温暖化）対処における日比協力：クリーン開発メカニズムの分野から
25	LE, Giang	ホーチミン市国家大学人文社会科学大学講師	ベトナム	03.07.02～ 04.05.01	東京外国語大学	上田秋成の読本の考察－Nguyen Du(阮嶼)の「伝奇漫録」との比較
26	LUU, Trinh Ngoc	世界経済研究所副編集長	ベトナム	04.07.02～ 04.12.31	東京大学大学院教育学研究科	日本の教育制度と改革について
27	TRAN, Nhung Thi	国家の人文と社会科学センター 日本研究センター 研究員	ベトナム	04.08.19～ 05.02.18	日本社会事業大学社会福祉学部	日本の市場経済における社会保障問題
28	GOH, Pek Chen	マルチメディア大学商業法律系	マレーシア	04.06.01～ 05.05.31	京都大学東南アジア研究所	日本経済発展と知的所有権
29	MUSTAFA, Rujhan, Bin	マレーシア・サラワク大学経済・ビジネス学部	マレーシア	04.05.06～ 04.08.06	拓殖大学政経学部	東アジアの経済統合における政治経済学
30	CHALWA, Ashok Kumar	国立科学コミュニケーション情報センター教育・研修・翻訳部	インド	04.11.25～ 05.03.25	立命館アジア太平洋大学アジア太平洋マネジメント学部	経営学分野での日印語構成要素レベルでの対照研究と複合語における構成要素の働き
31	MISRA, Sib Ranjan	ヴィシュバ・バーラティ大学経済学部教授	インド	04.05.17～ 04.11.16	麗澤大学	経済体制再構築過程の日本における雇用再調整メカニズムの研究－日本の経験からインドが学ぶ教訓
32	MUNGILA HILLEMANE, Bala Subrahmanya	インド理工大学経営学学科準教授	インド	05.03.01～ 06.02.25	政策研究大学大学院	日本の製造業における大企業と中小企業の相互関係－技術革新・経済発展過程における役割を中心に
33	SHEEL, Ranjana	BJK仏教アジア研究所シニアフェロー	インド	04.06.07～ 05.03.30	お茶の水女子大学ジェンダー研究所センター	女性の政治的権利付与に関する日印比較研究
34	VARMA, Lalima	ジャワハルラルネルー大学国際関係学部東アジア研究所所長、助教授	インド	05.01.10～ 06.01.09	東京大学東洋文化研究所	南アジアにおける日本の経済－戦略支援政策

## アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
35	KEERAWELLA, Gamini	ペラデニヤ大学 歴史学科準教授	スリランカ	03.10.29～ 04.10.28	日本貿易振興会 アジア経済研究 所	平和と安全に関する新たな文脈 における日本と南アジア
36	PERERA, Vitiyala Ilesinghage Don Jothi	コロombo大学上 級講師	スリランカ	04.08.14～ 05.08.02	慶應義塾大学商 学部	コロombo、鹿島、英フェリック ストー港における港湾設備の近 代化と労使問題
37	HASANUZZAMAN, Al Masud	ジャハンギール ナガル大学教授	バングラデ シュ	04.05.09～ 05.04.08	金沢大学法学部	日本における議会民主主義およ び政治的發展－バングラデシュ の議会制民主主義の教訓
38	DE MATOS, Christine Mae	西シドニー大学 人文学部	オーストラリ ア	04.07.15～ 04.10.14	大阪外語大学	英連邦による戦後の日本占領と 労働改革
39	Ohashi, Jun	メルボルン大学 講師	オーストラリ ア	04.11.10～ 05.01.26	玉川大学文学部	日豪で謝意を表すときの語用論 の比較
40	TAMURA, Keiko	オーストラリア 戦争記念館戦史 部豪州日研プロ ジェクト	オーストラリ ア	05.02.01～ 05.08.01	神戸大学文学部 史学部	20世紀前半の神戸における欧米 およびアジア系外国人コミュニ ティとその返遷
41	GUO, Nanyan	オタゴ大学日本 学科上級講師	ニュージーラ ンド	03.10.09～ 04.07.08	弘前大学人文学 部	津軽－日本現代文学の新しい方 向性

### 2. 人物交流事業費 (2)招へいフェローシップ(論文執筆者)〔ア〕

人文・社会科学分野の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 48,929,874円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	CHOL, Hyokyung	インディアナ大 学博士課程	韓国	04.09.01～ 05.08.25	埼玉大学	17世紀、18世紀の日韓アイデン ティティの相互文化構造
2	CHOI, Soon Ja	国民大学大学院 教育学科博士課 程	韓国	04.07.01～ 05.03.31	埼玉大学教育学 部	日・韓における親の養育態度と 幼児の社会道徳性の発達
3	KIM, Hyojin	ハーバード大学 人類学科博士課 程	韓国	03.09.10～ 04.09.09	京都大学人文科 学研究所	京都都心部における京町屋再生 運動と地域アイデンティティ の変化－新しい観光スタイルの 登場という視点から
4	PARK, Seo Hyun	コーネル大学博 士課程	韓国	04.09.08～ 05.08.01	東京大学東洋文 化研究所	東アジアにおける国家主権と国 際関係：日本と韓国に関する比 較考察

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
5	SEO, Jaekil	ソウル大学大学院国語国文学科博士課程修了	韓国	04.10.01～ 05.11.30	東京外国語大学 外国語学部	JODK朝鮮放送協会の放送文芸活動について
6	YUN, Dae-seok	ソウル大学大学院国語国分学科非常勤講師	韓国	03.06.30～ 04.08.19	東京外国語大学	太平洋戦争下の朝鮮半島における文学の様相-'国民文学'と'親日文学'のはざま
7	GONG, Qian	北京大学歴史学研究所博士課程	中国	03.08.28～ 04.07.27	早稲田大学大学院アジア太平洋研究所	日本と台湾関係研究（1972～2000年）
8	GUO, Wanpin	南京大学歴史学系博士論文執筆者	中国	03.07.15～ 04.07.14	龍谷大学	宋代における来華日本僧の研究
9	HU, Lian Cheng	北京大学歴史系中外関係史研究所博士課程	中国	03.07.31～ 04.07.30	東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻	近代中日における西洋留学の比較研究
10	LI, Hui Yang	中国社会科学院研究生院法学部博士課程	中国	03.09.02～ 04.08.01	東京大学大学院法学政治学研究所	日本における商業登記法律制度の理論と実践
11	NG, Kwok Wai	シドニー大学	中国	04.06.01～ 05.05.31	法政大学文学部 日本文学科	中国の唐代（618～903）から現代日本までの唐楽調子における変遷－平調、黄鐘調および盤渉調について－
12	QIN, Na	上海大学学報編集部編集長	中国	04.10.03～ 05.10.02	神戸大学発達科学部	上海と大阪における生涯教育に関する比較研究
13	SUN, Jing	ウィスコンシン大学マディソン校・大学院・政治学部博士論文執筆者・講師	中国	03.09.08～ 04.07.07	東京大学社会科学研究所	日本のマスメディアに見られる中国および日中関係の展望（1972～2002）：崩れるバランス
14	YI, Qing	南京大学歴史学部博士課程在学中	中国	04.06.13～ 05.04.12	信州大学人文学部	台湾立法院と日本国家の比較研究（1950～1992）
15	ZHAO, Xiu Juan	中国北京大学外国語学院日本語文化学部博士生	中国	04.09.09～ 05.11.08	日本大学文理学部	井上靖文学の表現空間－その中国に関する歴史小説をめぐって
16	LOO, Tze May	コーネル大学歴史学部大学院生	シンガポール	04.09.30～ 05.09.29	早稲田大学政治経済学部	沖縄の国宝：首里城と沖縄の歴史を通じた現代日本文化形成要素の探求

## アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
17	ANANTH, Priya	オハイオ州立大学博士課程	インド	04.09.04～ 05.11.03	京都大学文学部	第二言語としての日本語習得時の時間の表現発達・時節における時制と相の相互作用
18	LETTEN, Linda Kay	ラ・トロープ大学アジア研究博士論文者	オーストラリア	04.06.10～ 05.01.16	大阪大学大学院文学研究科	横笛の中世時代の表現：理想的な女らしさの解釈をめぐって
19	MOORE, Katrina Louise	ハーバード大学博士課程	オーストラリア	04.02.27～ 04.08.26	東京大学人文社会系研究科	医療化された性生活：現代日本中高年におけるジェンダー・セクシュアリティ

### 2. 人物交流事業費 (3)招へいフェローシップ(特定地域専門家)〔ア〕

ODA対象地域を研究している専門家で同地域の国籍あるいは永住権を持ち、日本国内の研究機関等で指導または共同研究を行なうため来日する者を招へいする。

合計額 9,903,787円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	BAO, Zhiming	中央民族大学教授	中国	04.09.01～ 05.08.31	立正大学地球環境科学部	中国内モンゴル自治区における砂漠化防止事業としての「生態移民」の研究
2	LI, Zhong Lin	延辺大学人文社会科学学院副教授	中国	03.10.20～ 04.04.19	東北大学東北アジア研究センター	図們江地域のエネルギー・流通通信インフラ・産業構造等の部門の分析検証
3	MAIMAITIAILI, Wubuli	新疆ウイグル自治区文物局文物保護所副所長	中国	04.10.28～ 05.10.27	筑波大学芸術学系	中央アジアシルクロードの古代遺跡と日本文化財への影響とその比較研究
4	ZHANG, Shuangfu	内蒙古社会科学院歴史研究所研究員	中国	03.10.01～ 04.09.30	早稲田大学文学部	モンゴル帝国時代のモンゴル文書の研究

### 2. 人物交流事業費 (4)招へいフェローシップ(短期)〔ア〕

合計額 5,652,247円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	WIRYOPRANOTO, Suhartono	ガジャマダ大学文化学部歴史学科教授	インドネシア	04.06.10～ 04.08.09	東京大学東洋文化研究所	日本の海軍武官府がインドネシア独立への動きの中で果たした役割

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
2	CHIRASOMBUTTI, Voravudhi	チュラロンコン 大学教養学部東 洋言語学部助教 授	タイ	04.05.16～ 04.07.14	大阪大学 大学 院文学研究科	日本における社会言語学的研究 法
3	WUWONGSE, Warintorn	タマサート大学 教養学部教授	タイ	04.05.12～ 04.07.10	WIRYOPRANOTO, Suhartono	日本の子供はどう変わったかー 現在の日本人のしつけと学校教 育
4	Jain, Sushama	ジャワハルネ ルー大学外国語 学部	インド	05.03.30～ 05.05.28	大東文化大学文 学部日文学化	三島作品における輪廻のコンセ プト、一般のインド人から見た 解釈

2. 人物交流事業費	(5)文化人短期招へい(国際会議)〔ア〕
------------	----------------------

国内で開催される国際会議等（学会、シンポジウム、ワークショップおよび講演会を含む）において、重要な役割を担う諸外国の専門家を招へいする。

合計額 1,780,122円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	LEE,Sung Whoan	啓明大 schools 日本 學科助教授	韓国	04.09.27～ 04.10.04	日露戦争百周年記念シンポジウムにおいて「日露戦争と朝鮮半島」というテーマで基調講演を行ない、「日露戦争と民族問題」に関するパネルディスカッションにて司会を務めた
2	KIM Yoo Hyang	韓国国会研究員	韓国	04.10.15～ 04.10.18	日韓国際政治学会合同シンポジウム出席
3	LIU,Yongzeng	敦煌研究院考古 研究所	中国	04.09.27～ 04.10.04	国際学術会議「日本学・敦煌学・漢文訓読の新展開」において敦煌学研究院の現状について発表するとともに、敦煌学研究の将来展望について各国研究者と議論を深めた
4	TANG, Jianping	中央音楽院副教 授	中国	04.10.01～ 04.10.06	「第二回日中友好合作現代音楽祭IN東京・北京2004～古楽同源・新楽共創」に参加、日本音楽家と交流
5	WU,Chang jiang	中央美術学院副 院長	中国	04.12.02～ 04.12.08	テクノロジー時代の中国における版画の存在意義と今後の高等教育機関における版画教育のあり方について講演を行なった
6	CORREA, Charles	CORREA, Charles Associates教授	インド	04.11.11～ 04.11.18	イサムノグチ生誕百年記念国際芸術シンポジウム出席

## アジア・大洋州交流事業費

### 2. 人物交流事業費 (6)次世代リーダーフェローシップ(派遣)〔ア〕

日本の大学院生、非営利団体スタッフをアジアに派遣し、実地調査・研究を行なう機会を提供する。

合計額 18,133,094円

	事業名	国	期間	事業内容
1	関本克良 (平成15年度より継続)	中国	03.12.07～ 04.06.06	中国の精神障害者に対する地域保険医療福祉に関する研究
2	山田敦士 (平成15年度より継続)	中国	03.10.19～ 04.10.18	中国雲南省に散在するモン・クメール系諸言語の記述的研究—領域論および動態的研究を見据えて(雲南民族大学国際文化交流学院)
3	滝口良	モンゴル	04.10.30～ 05.10.29	モンゴル国における土地所有—脱・社会主義政策と「伝統」の復興—(モンゴル国立大学社会科学部歴史学科)
4	伊藤毅 (平成15年度より継続)	インドネシア	03.10.05～ 04.10.04	地方自治化における権力再集中化の現状—民主化後のインドネシア地方権力構造の考察(インドネシア科学院)
5	今村祥子	インドネシア	05.03.30～ 06.03.29	独占されない暴力—インドネシアにおける公権力と社会権力—(Center for Strategic and International Studies)
6	朝日由実子	カンボジア	05.03.20～ 06.02.20	手織物産業の発展と女性労働形態の多様化—非農業活動の役割から見るカンボジア農村社会の変容—(Royal Academy of Cambodia)
7	佐藤奈穂 (平成15年度より継続)	カンボジア	03.12.11～ 04.12.10	カンボディアにおける女性世帯の生計維持—親族および共同体の役割—(国立経営大学)
8	木曾恵子 (平成15年度より継続)	タイ	03.11.01～ 04.10.31	東北タイ村落における女性の労働と結婚、妊娠、出産に関する研究(マハサラカーン大学北東芸術文化研究所)
9	小河久志 (平成15年度より継続)	タイ	04.03.25～ 05.03.24	タイにおけるムスリム・マイノリティの現在—「イスラーム復興」の動きを通じて(国立ソクラー大学イスラーム学学部)
10	須永和博	タイ	05.02.28～ 05.12.31	タイ北部山地少数民族社会における環境運動の文化人類学的研究—森林資源管理をめぐる公共空間および地域共同体のアイデンティティ構築過程についての微視的分析—(チェンマイ大学社会科学部)
11	辰巳頼子 (平成15年度より継続)	フィリピン	04.03.31～ 05.03.30	フィリピン、マラナオ社会におけるイスラーム正統主義の流入とその受容(国立フィリピン大学アジア学研究センター)
12	渡邊暁子	フィリピン	05.02.28～ 05.09.23	マニラのムスリム・コミュニティに見るアイデンティティの動態(フィリピン大学第三世界研究所)
13	小川有子 (平成15年度より継続)	ベトナム	03.12.15～ 04.12.11	ベトナムにおける「伝統」と「伝統的村落」の変遷—社会主義化からドイモイ政策まで(ベトナム研究・文化交流研究センター)

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	国	期間	事業内容
14	佐々木結	インド	05.03.30～ 06.03.29	共同体、地方行政と開発：インド、マッディヤ・プラデーシュ州におけるパンチャーヤトラージ組織の役割（社会科学研究所）
15	鹿田光子	インド	05.03.15～ 06.03.01	インドの男子学生の自死の男性学的研究—ジェンダーバイアスが生み出す男子学生への不安と苦しみ—（デリー大学）
16	田中雅子	ネパール	04.11.02～ 05.11.01	ネパールの都市における異ジャート間の空間的共生の実態と、相互扶助および社会的共生の可能性に関する研究（トリブヴァン大学社会学・文化人類学部）

2. 人物交流事業費 (7) アジア・リーダーフェロシップ（招へい）

アジア地域の次世代を担うリーダーを日本に招へいし、共同研究や協議の機会を提供する。

合計額 26,354,221円

	事業名	国	期間	事業内容
1	アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム	中国 日本 インドネシア フィリピン ベトナム スリランカ ブータン	04.09.01～ 04.10.31	アジア諸国の様々な分野において際立ったリーダーシップを発揮している専門家を日本に招へいするプログラム。今年、中国、インドネシア、フィリピン、ベトナム、スリランカ、ブータンおよび日本の各国から7名のフェローが、9月～10月の2カ月間、総合テーマ『Identity, Security and Democracy』をめぐる様々な体験や議論を通じて相互理解を深め、地域が直面する様々な課題に対する共通の問題意識を醸成しそれら問題に取り組むための基盤作りに資すると共に、日本を含むアジア地域相互の人的ネットワークの形成を図った

3. 催し等事業費 (1) 国際会議出席（助成）〔ア〕

海外で開催される国際会議、シンポジウム等に招請され、講義、基調論文の発表を行なう等指導的役割を果たす日本国内の人文・社会科学または芸術分野の専門家に対して助成を行なう。

合計額 744,630円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	伊藤鉄也	総合研究大学院大学国文学研究資料館助教授	インド	04.10.26～ 04.11.01	ネルー大学	「インドにおける日本文学研究2004・現状と未来」出席
2	峯村敏明	多摩美術大学教授	インド	05.02.13～ 05.02.19	シャンティニケタンインド国際大学	ムケルジー生誕百年記念国際現代芸術セミナー参加



## アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
3	池上直己	慶應義塾大学医学部教授	ニュージーランド	04.11.01～ 04.11.06	医療における優先順位に関する国際学会	第5回医療における優先順位に関する国際会議において「高齢者の医療と障害サービスの計画と財源確保」をテーマとする論文の発表およびワークショップにおける日本の高齢者の医療、介護についての発表

### 3. 催し等事業費 (2) アジア知的交流会議 (公募助成)

アジア地域における相互理解の促進と共通に抱える課題の解決に向けて、会議・ワークショップなどの国際的な共同作業の一部経費を助成する。

合計額 76,994,607円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	韓日言論人ワークショップ・イン・ソウル&東京	韓日社会文化フォーラム	韓国	04.04.01～ 05.01.30	韓国と日本の中に存在するコミュニケーション障害の問題を見出し、その改善方策を提案することによって、日韓の相互認識を誤解のない正当なものにするために、5月・7月・9月に日韓の言論人を集めて議論し(ソウル)、そこで提案された具体的な問題などについて10月に東京で開催されるワークショップで総合的に討論し、その結果を受けて、さらに2回のワークショップを開催して(ソウル)、実質的な改善を求めた
2	アジアと世界の民主主義：普遍的定義に向けて	韓国国際政治学会	韓国	04.04.01～ 05.03.31	「ヨーロッパ政治研究コンソーシアム(ECPR)」をモデルとして、アジア政治研究者のネットワーク「アジア政治研究コンソーシアム(ACPR)」を正式に創設するにあたり、国際シンポジウムを開催。アジア各国とヨーロッパ・アメリカから研究者をソウルに集め、「アジアと世界の民主主義」というテーマのもと、アジア各国の民主主義の状況とヨーロッパ・アメリカの経験を紹介し、アジアにおける研究協力の促進を目指した
3	東アジアにおける漢字文化活用の現状と将来	二松学舎大学	韓国 中国 日本	04.04.01～ 05.03.31	東アジア漢字文化圏の主要な4カ国(日本・中国・台湾・韓国)から漢文(古典)教育に携わる専門家・教員と研究者が一堂に会し、各国の漢文教育の理念、漢文教育制度の歴史的変遷と現状、および漢文(国語)教科書の実際に関する相互理解を深めるとともに、今後あるべき姿を探求する国際シンポジウムを開催

	事業名	団体	国	期間	事業内容
4	アートによるソーシャル・インクルージョン会議	財団法人たんぼぼの家	韓国 中国 日本 タイ オーストラリア	04.09.01～ 05.02.28	「Art for All ～ アートは人々を幸福にすることができるか～」をテーマに、オーストラリア、香港、タイ、韓国、日本から実践者、研究者が集まり、アートを通じたソーシャル・インクルージョン（なんらかの要因のために社会から疎外されている人たちを包括することでより豊かな社会をつくっていくこと）の理念や情報を共有し、ネットワークを拡大するワークショップを開催
5	“10+3”枠組における日中協力の可能性	中国社会科学院アジア太平洋研究所	中国	04.04.01～ 04.11.30	良好な日中関係はアジア地域において不可欠であると認識されながらも、十分に実現されていない状況を改善するために、アメリカの支配力から離れて両国がはじめて「10+3」のマルチラテラルな国際関係に身をおく中で、この枠組みの中でどのように協力できるかを探る国際会議を開催し、各国政府に政策提言を行なった。日本と中国からは学者、オピニオン・リーダー、メディア関係者を集め、またアセアン10カ国と韓国からは元政策担当者と研究者を集めて、協力のメカニズム、日中協力を促進するためのアセアン各国と韓国の役割、メディアの役割などについて議論
6	中国と東南アジア	香港市立大学東南アジア研究所	中国	04.04.01～ 04.12.31	国家政府主導で域内の機構化を進めるRegionalismと、国家政府機関以外の様々な主体の関与によって域内の統合が進むRegionalizationという二つの事象の区別を意識したうえで、政治学、経済学、人類学、社会学、歴史学、地理学、地域研究、開発研究など様々な関連しあう分野の専門家の参加により、東南アジアにおける中国の位置付けを再検証する学際的な国際共同研究
7	中国・日本・韓国三国農業問題に関する研究	中国人民大学農業経済系	中国	04.04.01～ 05.03.31	中日韓の農業政策に影響力のある研究者・政策担当者を一堂に集めて、この3カ国間における農業摩擦回避のために、それぞれが抱えている問題を議論しあい、この地域共通の農業政策を模索する会合。3カ年計画の3年目。今回は各国から5～9名程度集めてソウルで開催した。はじめ2日間で域内問題を6セッション（WTO問題、農業・農村交流、農政改革、FTA問題等）にわけて議論し、その後開催国である韓国の農業現地調査を行ない、韓国農業の現状を把握
8	中日韓民法制度同一化への道に対する探求	中日民商法研究会	中国	04.05.01～ 04.12.31	世界政治の多極化と経済のグローバル化という動きの中で、アジア諸国間における国際政治の協調性および地域経済の協同性を法制度、法学研究の側面から探求することは、非常に重要な意義をもつ。そのため、比較的完備されている日本の民事法制度およびそれに関する研究成果を基礎にして、日本・中国・韓国の民法学者を集めてシンポジウムを開催し、3国の民法制度の同一化への道を探求した

## アジア・大洋州交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
9	「北東アジア国際区域における経済社会協力と発展：自由貿易地域を設立し北東アジア中心地域の協力を促し開発する」	遼寧社会科学院	中国	04.07.01～ 04.12.31	北東アジア各国間の相互理解をより一層深め、北東アジア各国の経済社会発展の協調と協力を促進するために、中国・日本・韓国・ロシア・北朝鮮・アメリカから研究者・外交官を計60余名招いて、北東アジア諸地域の発展と協力をテーマとする国際会議を開催した
10	第1回「中日韓民間ハイレベル安保会議」	北京吳太宇東アジア文化研究所 東アジア平和と発展戦略フォーラム	中国	04.09.01～ 05.03.31	日本・韓国・中国の学者、政治家、政府官吏および上級軍人を招請して安全保障問題について議論し、アジア全体の発展と繁栄を追求した。会議の結果は『戦略白書』として各国政府、社会に対し発表する。3年計画の第一年目として今回は中国で開催し、来年は日本、再来年は韓国で開催
11	メディアを通じて「持続可能な開発のための教育」を促進するためのアジア太平洋地域会議	環境テレビトラスト日本委員会	日本	04.04.10～ 04.08.10	アジア・太平洋地域において交流と協力の実績がある環境テレビトラスト（TVE）のネットワークによる、「国連教育の10年」に合わせた10年間の取り組みについて話し合う5日間の会議（ワークショップ）を2004年初夏に開催。新しい企画を立ち上げるとともに、ネットワーク活動を更に強化するべく、番組制作体制や番組の放送計画や教育利用計画、「教育の10年」の国別計画への関与、各国の実情の把握とキャパシティ・ビルディングのための参加団体間協力体制について話し合った
12	ODA50年を検証する国際NGO会議と公開シンポジウム	アジア太平洋資料センター	日本	04.04.01～ 04.11.01	2004年、日本の政府開発援助（ODA）が1954年に開始されてから50周年を迎える契機をとらえ、ODA受入国のNGOを招いて各国の市民社会からのODAに対する要望を把握するとともに、広く日本の市民社会においてもODAへの関心を喚起するための3日間の国際会議と、1日の公開国際シンポジウムを開催
13	核の緊張に揺れる南アジア地域の域内安定と信用醸成をめざす連続対話セミナー	南アジア諸国地域協力連合研究調査会	日本	04.04.01～ 05.03.31	緊張と紛争が継続する南アジア地域において、域内の信用醸成装置としての対話による「知的信頼ネットワーク」の構築、および活動の停滞が続く南アジア地域協力連合（SAARC）の活性化を目指して、2日間に渡る連続対話（公開）セミナーを南アジア各地にて開催。同セミナーは、日本および南アジア各地の研究者が中心となって開催され、参加者として想定される行政官、ジャーナリスト、経済関係者、学生などと議論を行なった。セミナーはウェブサイトでも中継公開し、対話記録の公開および電子メールの活用を通して論議を深めた

	事業名	団体	国	期間	事業内容
14	ベトナムにおけるサポーティング産業の発展と日本の知的協力	桜美林大学産業研究所	日本 タイ ベトナム	04.04.01～ 05.03.31	タマサート大学（タイ）、ダナン大学（ベトナム）との国際共同研究。産学官連携強化の意味をこめて、日本企業が進出している現地で企業家（地元と外資の双方）と公的機関の代表者を集めた国際シンポジウムを実施し、日本とアセアン（特にベトナム）の経済協力の効率化のための教訓・提言を行ない、その経験を総括することでアセアン新メンバー国（カンボジア、ラオス、ミャンマー）との経済協力に資することが目的。平成15年度にアジアセンター助成事業として始められたものの2年目。共同研究事業の理論的な分析の枠組みを構築し、桜美林大学で第1回目のワークショップを開催し、タイとベトナムの研究者を招へいして討論を実施。タイで2回目のワークショップを経て、ダナンで最終的な国際シンポジウムを開催する計画。シンポジウムの成果は報告書としてまとめる他、論文を編集し2005年度中に出版予定
15	多角的文明の調和を目指す東アジアの基盤的政策課題の検討	財団法人未来工学研究所	日本	04.04.01～ 05.03.31	多角的文明の調和を目指す東アジアの「基盤的政策課題」を検討するために、日本・韓国・中国の主に研究者約25名を中国・蘭州に集めて、2004年5月に国際会議を開催し、統合医療、IT協力など、より具体的な政策課題について検討を行ない、取りまとめた。成果の一部は出版物などで公開
16	国際ワークショップ「アジアのモダンガールとく世界>グローバル資本、植民地的近代、メディア表象	「東アジアにおける植民地的近代とモダンガール」研究会	日本	04.04.01～ 05.03.31	1920年代から30年代にかけて世界で同時多発的に発生した国際的社会現象としての「モダンガール」をアジアの歴史的な文脈の中で捉え、(1)植民地的近代、(2)グローバリゼーション、ならびに(3)アジアの近代的<女性>主体とその表象、という観点から検討することを目的として、国際ワークショップおよび公開シンポジウムを2004年9月に東京にて開催。韓国、中国、台湾、米国、豪州、日本の研究者で構成する「東アジアにおける植民地的近代とモダンガール」研究会メンバーと、中国・インド・ドイツ等世界各国からの研究者を含む米国ワシントン大学の「世界のモダンガール」研究会メンバーによる共同作業
17	鳥根国際シンポジウム2004開催事業	財団法人北東アジア地域学術交流財団	日本	04.04.01～ 05.03.31	鳥根県立大学、中国・吉林大学および韓国・慶北大学の研究者が一堂に会し、21世紀の北東アジア国際関係と地域協力をめぐるシンポジウムを開催。3大学並びに3地域間相互の学術交流に限らず、ロシア、モンゴルを含む北東アジア諸国や国内他大学関係者、一般県民の参加を得て、報告・討議を行なった

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
18	韓中両国国民における社会意識・大衆文化に関する研究ワークショップ	東アジア大衆文化研究会	日本	04.04.01～ 05.03.31	日本と密接な関係にある韓国・中国2カ国を対象として、それぞれの国民が持つ社会意識やライフスタイルの共通点と相違点、相互認識を実証調査(質問紙調査と内容分析)し、最近高まりつつある東アジア域内における大衆文化の相互交流過程の検討を通じて、この領域における新たな比較軸を見出すために、韓国・中国の2カ国の国民が持つ社会意識・ライフスタイルに関する社会調査を実施した後、日韓中の研究者、識者によるワークショップを開催
19	地方統治に資する参画型プランニングのための東南アジア・ワークショップ	地方統治の取組みのためのインドネシア・パートナーシップ	インドネシア	04.06.01～ 04.09.30	より広い市民参加のある地方自治を追求するために、①参画型プランニングに関する実質的な経験の共有 ②様々な状況に応じた参画型プランニングの開発と発展方法への理解を深める ③参画型プランニングの成功要因の特定 ④参画型プランニング普及の方策 ⑤参画型プランニング導入方法の検討 をテーマとした7～8日間のワークショップを、2004年6月にインドネシアのバンドン、ソロおよびジャカルタにて開催
20	紛争地域・紛争後の社会を抱えるアジアを対象とする報道研修事業	インター・プレス・サービスアジア太平洋支部	タイ	04.04.01～ 05.03.31	紛争状態・紛争後の社会を抱える国のジャーナリストが一堂に会し、紛争中・紛争後の社会の抱える課題について、クリティカルで質の高い報道を行なうことをめざすセミナー・研修事業。事業成果(記事)は、英語のほか地元言語に翻訳して関係国のメディアにも配信。参加国はインド、パキスタン、スリランカ、インドネシア、カンボジア、東ティモール、タイ、ネパール、オーストラリア
21	メコン流域の人身売買問題報道に関するジャーナリストと実務家の協力促進ワークショップおよび展示事業	国際移民機構(IOM)	タイ	04.05.01～ 04.07.30	メコン流域の人身売買に関する公正かつバランスのとれた報道を促進し、人身売買撲滅活動との相乗効果をより高めるために、メコン流域6カ国のジャーナリスト、NGO、活動家等が約30名集まり、2日間のワークショップを実施。人身売買とその対策活動の現状、メディア側の不十分な情報源や偏った報道がもたらす弊害、人権保護の問題、これらを踏まえうえでのメディアの有効な活用法などをテーマに討議
22	急速に増加する高齢者人口のアジアの経済、社会、文化への貢献	ヘルプエイジ・インターナショナル 高齢化に関するアジア研修センター	タイ	04.05.01～ 05.03.31	平成15年度に助成した事業を発展させ、本年度は、東・東南アジア11カ国から公私テレビ局の管理職および方針決定に携わる幹部20数名を対象に、高齢化社会問題とその文化、社会、経済的影響に対する意識の向上、高齢者によるアジア経済、社会、文化への貢献のあり方、それを積極的にTVプログラムに反映させていくことの重要性認識を目的に、ラウンド・テーブル会議を実施。参加国はミャンマー以外のアセアン諸国、および日本、中国

	事業名	団体	国	期間	事業内容
23	アジアの農村地域における平和と開発：NGOの役割	農業改革と農村開発のためのアジアNGO連合 (ANGOC)	フィリピン	04.05.01～ 04.12.31	紛争の影響を受ける地域で活動する開発系NGOの役割を見直し、より効果的な活動を展開するために、経験の共有とこれまでの活動の有効性の検証、紛争地における開発NGOの新たなフレームワークやアプローチ方法を議論するワークショップを開催した。参加国はバングラデシュ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、日本、マレーシア、ネパール、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイから約30名
24	東南アジアにおける調査報道：域内ジャーナリストのための研修セミナー	フィリピン調査報道センター (PCIJ)	フィリピン	04.06.01～ 04.12.31	インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイのシニアレベルの印刷・放送メディア関係者16名を対象に、3日間の調査報道に関する研修を実施。特に調査報道に必要な技術（資料収集など）の習得に焦点をあて、不正・腐敗に関する報道の取り組み方「権力」国境を超える問題の取り扱い方、調査報道の倫理などのテーマをとりあげた
25	メコンのイメージ：メコン地域発展のためのビデオ・ドキュメンタリー研修事業2004	プローブ・メディア財団	フィリピン	04.06.01～ 04.12.31	報道人としての社会的責任感や報道技術、メコン地域の国境を越えた社会問題に対する意識を向上させ、メディアを有効利用していくことをめざし、メコン地域のジャーナリスト14名を対象とするビデオ・ドキュメンタリーに関する長期研修事業を実施する3カ年計画事業の3年目。対象国・地域はタイ、ラオス、カンボジア、ミャンマー、ベトナム、中国雲南省
26	文化の発展度を測る指標の開発：タイ、カンボジア、フィリピンにおけるパイロット事業	ソーシャル・ウェザー・ステーション	フィリピン	04.06.01～ 05.05.31	2000年のUNDPの世界文化報告によると、現在、世界の文化の発展や成熟度を計る方法として使用されている指標は、主に有形の文化活動の達成度しか測ることができず、指標としての一部の必要条件しか満たしていない。社会や社会グループの精神的、物理的、知的、感情的な文化的特長を総合的に理解するためには、今までとは異なる新たな指標が必要となっている。特に地域的に深いつながりを持ちながら、国としては違った社会や文化を有する東南アジアにおいてこのような指標が開発されることは相互理解を深める一助となるほか、政策対話の促進にも役立てるという観点からも有効である。フィリピン、カンボジア、タイの文化の発展度を図るために、各国共通および国別、伝統的および非伝統的な指標作りのための調査・ワークショップ事業を実施した
27	1990年代後半以降の東アジアにおけるFTAの形成に対する北東・南東アジアの反応	世界経済研究所	ベトナム	04.04.01～ 05.03.31	90年代後半から政府間で活発な議論が進められている東アジア域内の様々なFTAを研究対象とし、東アジア域内の経済・政治状況の分析や、アジア域外の大型FTAとの競合関係の検討を踏まえて、東アジア域内で今後の展開が期待される大型FTA成立の可能性を学術的に探る国際共同研究事業

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
28	消費者と伝統医療に関するアジア会議	国際消費者機構 アジア太平洋地域事務所	マレーシア	04.04.01～ 05.03.31	近年消費者の関心が高まっている代替医療や健康補助食品と、その市場拡大に伴う諸問題について、消費者の視点や役割から見た会議を2005年2月に開催。国際消費者機構加盟団体、製薬業界関係者、医療団体、臨床医、医学研究者、政府関係者、世界保健機関（WHO）を中心に30名程度が参加
29	アジアの河川の保全と回復：メディアの役割の促進	アジア開発コミュニケーション協会	マレーシア	04.08.01～ 05.03.31	メディアが効果的な報道を行なうことによって市民の意識向上に資するべく、マレーシア・インドネシア・ベトナム・バングラデシュの状況調査と、ジャーナリスト向けの研修を行なった。この事業の調査部分を通じて各国の河川管理の現状と問題点を明らかにし、河川管理に関してメディアと他の分野とのつながりを作り、社会にむけた啓発活動の活性化を目指した
30	ゴミ問題解決のためのアジアネットワーク	チンタン環境研究行動グループ	インド	04.04.01～ 05.03.31	急速な都市化や消費に伴う環境・ゴミ問題はアジア域内の共通課題となっているが、その解決にむけた取組みにおいては、政策立案者および行政当局は、西欧諸国モデルの模倣に走りがちであり、アジアの文脈にあったアプローチに対する関心が薄い。そのような問題意識から、本事業はアジアの文脈にあったゴミ処理問題に向けて取り組むインド、フィリピン、カンボジアのNGOが、各国の事情やアプローチの成功例について情報交換するとともに、今後の政策作りのためのネットワーク構築を目指すというもの。各国のNGOが、ゴミ処理におけるインフォーマルセクターの役割とゴミ排出予防における拡大生産者責任（EPR）に焦点をあて、同分野の取組みについて事例研究を実施。その間、各NGO間で相互訪問を通して、事例研究の方向性にコメントを加え、最後に全関係者が参加するワークショップを2004年12月にデリーにて開催
31	東アジア文学国際セミナー	ジャワハルラル・ネルー大学	インド	04.06.01～ 05.03.31	グローバリゼーションと情報技術の発達による国際環境の変化の中で、ここ十数年の間に、インドと東アジアの経済協力関係や交流が絶頂期に達しつつあるが、両地域の歴史・社会・文化についての相互理解は十分であるとはいえない。そういった問題意識をもとに、生活文化を映し出す鏡としての文学を通して相互理解を促進することを目的に、東アジア文学について議論する国際セミナーを2005年2月にデリーにて開催した。日本、韓国、中国の文学研究者が、最近の東アジアの文学事情を報告するとともに、同文学がインドにおいてどのように受け入れられているか、インド国内における東アジア文学の普及とその問題点、特に文学教育の問題を中心に発表、議論

	事業名	団体	国	期間	事業内容
32	南アジアと東南アジアの協力拡大に向けて： インド北東部州の橋渡しのおよび緩衝材的役割の重要性	オメオ・クマール・ダース社会发展研究所	インド	04.11.16～ 04.11.19	インド北東部州は、地理的および歴史的な理由から、経済的に不利な状況に置かれているのに加え、民族的・言語的多様性ゆえに、政治的・軍事的な課題の実験場とされている地域である。同現状のもと、歴史および社会形成を共有する、国境を越えた周辺地域一帯（中国、チベット、ミャンマー、ブータン、バングラデッシュを含む南アジアおよび東南アジア地域）の発展に向けた取組みにとって、各領域における協力・調整が必要とされている。そういった問題意識から、同地域一帯の歴史的・伝統的・文化的な関係についての誤解を解くとともに、グローバリゼーションのもと、同地域の地域的な特殊性を失わずにどのような経済協力を構築することができるかについて検討する国際会議をインド・アッサム州にて実施した
33	マイクロ・ファイナンスとマイクロ・エンタープライズにおける女性エンパワメントのためのワークショップ	ビナ・スワダヤ	アジア地域区分困難	04.04.01～ 05.03.31	東南アジアの状況に適したマイクロファイナンス/マイクロエンタープライズ（MF/ME）のかたちを明らかにし、関係するセクターからMF/MEに対するコミットメントを得ることを通じて、女性およびその家庭の経済的安定に寄与することを目指して、2004年6月に3日間のワークショップを開催。女性向けのMFやMEという共通の関心事項を持つ様々な人が会することで、相互に学びあい、最良の運営方法や新しいアプローチを発見する場となった
34	戦争・紛争・国家建設：アジアの視点から	アデレード大学	オーストラリア	04.04.01～ 05.02.28	冷戦や9.11を経験したアジアが抱える様々な課題（非慣習的戦争、テロリズム、核の瀬戸際政策、国政の失敗、多国籍構成組織の弱体化）について議論する会議を、2004年10月にアデレード大学にて2日間にわたり開催した。韓国、インド、シンガポール、日本、タイ、中国などの独立研究機関や半官半民研究所の研究者が参加した
35	アジア太平洋における二国間安全保障政治：新連帯による歯止め醸成	グリフィス大学太平洋研究所（GAPRI）	オーストラリア	04.04.01～ 05.03.31	アジア太平洋安全保障の言説において多国籍安全保障の考え方が十分普及しているにもかかわらず、何故戦後のアジア太平洋諸国の姿勢において2国間アプローチが支配的なのか？このような問題意識のもと、本事業は域内の安全保障上の主要国（日本、豪州、シンガポール、韓国）の二国間安全保障関係、および域内各国が米国との二国間連合と独立しながらも矛盾を生じない「安全保障における多元主義」に向かう可能性に焦点を当て、2004年8月にブリスベンにて国際ワークショップを開催するという事業。同ワークショップには上述の問題意識を反映した国々（日本、豪州、シンガポール、韓国）の研究者および外交実務者が参加。議論の結果を確認するため、各国政府関係者と面談を実施。研究成果は学術誌に出版され、論文や政策ブリーフィングを通して還元される



アジア・大洋州交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
36	東南アジアの貧困者向け小規模金融ネットワーク拡大プロジェクト	開発協力財団	オーストラリア	04.05.01～ 05.03.31	東南アジア、特にメコン地域内の関係者間で情報交流と対話を実施し、貧困者向け小規模金融に関する情報センターを立ち上げ、アジア地域内の貧困者向け小規模金融ネットワーク（BWTP：Banking with the Poor Network）の拡大を目的とする事業。2004年5月から2005年3月の間に、インドネシアの小規模金融ネットワーク機関との協力に基づき、次の4段階の事業を実施。①インドネシアにてワークショップを実施、②①で協力を確認したインドネシアのリソースパーソン（1名～2名）およびベトナムとラオスのネットワーク関係者（10名）が参加するワークショップをカンボジアにて実施、③②のワークショップを踏まえて、ウェブサイトか電子メールを使った電子会議を開催、④総括報告書の作成と配布、BWTPウェブサイトへの公開を行なうことにより、将来の貧困者向け小規模金融プロジェクト運営のための基盤とした
37	アジアにおける市民外交と人権－国連労働移民条約アドボカシー研修プログラム	ディプロマシー・トレーニング・プログラム	オーストラリア	04.06.01～ 05.02.28	本事業では、労働移民条約（MWC）をより実効力のあるものにするために、同条約の内容・アドボカシーにおける活用の仕方等についての研修モジュールをアジア各国（インドネシア、フィリピン、タイ、香港）の専門機関の協力を得ながら作成し、その有効性を確認するワークショップを2004年9月にジャカルタにて実施した。さらに、それをもとに、関連分野で活動するアジア域内NGO活動家（30名）に対して研修プログラムを2005年2月にバンコクにて実施。ワークショップや研修プログラムを経て完成された研修モジュールや参考資料は、マニュアルとなって次回以降の研修プログラムに活かされる
38	民族・公平・国（アジアの多民族国家における国家、発展とアイデンティティー）についての国際会議	オークランド大学ニューゼaland・アジア研究所	ニュージーランド	04.10.04～ 04.10.06	20世紀後半から現代に各地で頻発する紛争の背景にある人種・民族問題に焦点をあて、アジア諸国の様々な社会・都市における人種・民族のあり方（経済的・政治的立場や影響力、歴史的受容、アイデンティティーの形成と変容など）を比較検討する国際会議を2004年10月にクアラルンプールで開催。マレーシア、インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、インド、スリランカ、ニュージーランドおよび米国から15名の発表者が参加し、担当する国・都市における人種・民族のあり方について、①公共政策、②企業・経済活動、③政治体制、④市民社会のいずれかの観点から歴史的且つ比較研究の手法を用いて発表と議論を行なった

3. 催し等事業費 (3) アジア知的交流会議 (企画参画助成)

アジア地域における相互理解の促進と共通に抱える課題の解決に向けて、会議・ワークショップなどの国際的な共同作業を企画、支援する。

合計額 14,523,512円

事業名	国	期間	事業内容
1 東京視点	中国	04.12.01～ 05.03.31	「身近な日本を中国へ」というコンセプトで、日中の若者が市民レベルの独自の視点で日中間の文化・社会に関するドキュメンタリー映像作品(1作品5～10分程度。日本語・中国語版)を共同で作成し、日本からの発信として、インターネット上(中国の「人民網」=『人民日報』のインターネット版)で公開
2 アジア・メディア・フォーラム	アジア地域区分困難	04.04.01～ 05.03.31	東南アジア各国と日本から、政策立案と世論形成に影響力をもつメディア関係者、政策形成者および学者・研究者の参加を得て、日本と東南アジア地域の政治、経済、社会の重要課題、日本とアセアンに共通する課題、日本とアセアンの関係についての現況と課題等について率直に討議、意見交換を行なうフォーラム。平成13年度より継続している3カ年計画事業の3年目
3 アジアにおける国際法研究に関する専門家会議	アジア地域区分困難	04.09.01～ 04.11.25	アジアの主要国(中国、韓国、シンガポール、タイ、インド他)を代表する国際法学者を日本に招へいし、日本の代表的な国際法学者との間で、(1) アジア諸国が抱える国際法上の重要課題についての各国の研究動向と現状についての意見交換、および(2) 将来にわたる持続的な交流と協力のあり方についての討議、を実施。討議の結果を踏まえて、2005年度春以降に「アジアの国際法研究と交流のあり方」についてのシンポジウムを東京で開催し、国際法上の共通の課題について討議を深めるとともに、将来にわたる持続的な交流と協力の枠組みについての検討をさらに進めることを予定している

3. 催し等事業費 (4) アジア知的交流会議開催

アジア地域における相互理解の促進と共通に抱える課題の解決に向けて、会議・ワークショップ等の国際的な共同作業を企画、実施する。

合計額 8,734,950円

事業名	国	期間	事業内容
1 日中韓次世代リーダーフォーラム2004	韓国 中国 日本	04.07.26～ 04.08.06	日本、中国、韓国の将来のリーダー同士の信頼関係強化を目指し、若手リーダーの対話の機会を作る事業。3カ国から5名ずつ、政界、官界、学界、財界、メディア、NGO・NPO等の各分野のリーダーが合宿形式で各国を訪問しながら、参加者間の討論、各国指導者や政策担当者との意見交換、文化施設等の視察、シンポジウムなどを行なった。平成16年度は、ソウル、北京、福岡で開催。韓国国際交流財団、中国現代国際関係研究所との共催

## アジア・大洋州交流事業費

### 3. 催し等事業費 (5) アジア地域研究センター支援（催し等）

アジア域内の知的ネットワーク強化のための地域研究センター支援事業を実施する。

合計額 17,957,707円

	事業名	団体	国		事業内容
1	東南アジア研究地域交流プログラム (SEASREP)	SEASREP評議会	フィリピン	04.04.01～ 05.03.31	東南アジア諸国における東南アジア研究の促進と各機関の学術ネットワークの構築を目的に、インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシアの4カ国の協定締結8大学における、①大学院語学研修フェローシップ、②大学院研究フェローシップ、③地域共同事業の3つの助成プログラムを運営するとともに、④評議会企画事業を実施。財団法人トヨタ財団、SEASREP評議会（フィリピン）と共催

### 3. 催し等事業費 (6) 沖縄国際フォーラム

アジア太平洋地域の共通課題などに関する国際的な対話フォーラム、シンポジウムを沖縄における国際的な知的交流事業の一環として行なう。

合計額 16,063,233円

	事業名	国	期間	事業内容
1	沖縄国際フォーラム	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	沖縄県と共同で、アジア太平洋地域に共通する課題について地域の知的リーダーが討議する国際会議を開催。アジア太平洋地域の知的リーダー同士の相互理解を深めるとともに、沖縄が国際的な知的交流の拠点として認識されることが目的。平成9年度からの継続事業

### 4. 文化資料事業費 (1) 図書寄贈〔ア〕

海外の日本研究・教育機関や公共図書館などに日本関係図書などを寄贈。日本に関する理解・研究を促進するため国際交流基金が図書を購入し、申請機関に送付する。

合計額 16,627,073円

	国	機関	部数
1	韓国	東西大学校日本研究センター	117
2	韓国	釜山大学校日本研究所	74
3	中国	德州学院外語系	87
4	中国	内モン古智力引進外語專修学院	127
5	中国	煙台師範学院図書館	105
6	中国	煙台大学外国語学院日本語学部	102

	国	機関	部数
7	中国	河南科技大学図書館	120
8	中国	華中科技大学外国語学部	114
9	中国	中山大学華南日本研究所	99
10	中国	福建師範大学	79
11	中国	同済大学日語系	126
12	中国	遼寧社会科学院文献信息中心	42
13	中国	渤海大学外国語学院日語系	59
14	中国	澳門大学日本研究センター	39
15	中国	香港城市大学邵逸夫図書館	32
16	中国	清華大学外国語語文学系日本語専業	60
17	中国	上海国際問題研究所	143
18	モンゴル	日本図書館	39
19	インドネシア	インドネシア大学人文学部日本学科	33
20	インドネシア	国際戦略問題研究所	45
21	インドネシア	ダルマプルサダ大学	37
22	インドネシア	国立ブラウイジャヤ大学言語センター	28
23	インドネシア	私立スラバヤ大学国際交流局	102
24	シンガポール	南洋工科大学図書館	33
25	シンガポール	東南アジア問題研究所図書館	34
26	シンガポール	シンガポール国立大学日本研究課	28
27	タイ	プリンスオブソンクラーク大学人文社会学部東洋言語学科	104
28	タイ	ブラパー大学人文社会学部	43
29	タイ	ナレースワン大学人文学部日本学科	37
30	フィリピン	フィリピン大学国際地域研究センター	40
31	フィリピン	マニラ大学	35
32	ベトナム	ハノイ貿易大学ホーチミン分校	21
33	マレーシア	サバ大学ラブアン校	29

アジア・大洋州交流事業費

	国	機関	部数
34	マレーシア	セラシゴール公共図書館協会	105
35	ミャンマー	パテイン大学	39
36	ラオス	ラオス・日本人材開発センター	105
37	インド	マドラス・インド・ジャパン・センター	31
38	インド	プネ大学外国語学部(ラナデー・インスティテュート)	18
39	インド	デリー大学東アジア研究所(旧 中国・日本学科)	51
40	スリランカ	ケラニア大学	28
41	パキスタン	国立芸術カレッジ	30
42	オーストラリア	オーストラリアン・カトリック大学セント・パトリック校ラーヘン図書館	34
43	オーストラリア	タスマニア大学	4
44	オーストラリア	ニュー・イングランド大学	18
45	オーストラリア	モナシュ大学日本研究センター	18
46	ニュージーランド	カンタベリー大学図書館	49
47	ニュージーランド	オークランド大学図書館	24
48	フィジー	南太平洋大学人文学部言語文学科	53

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 欧州・中東・アフリカ交流事業費

### 1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔欧〕
- (2) 日本研究シニア客員教授派遣（直接派遣）〔欧〕
- (3) 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔欧〕
- (4) 日本研究拠点機関（助成）〔欧〕
- (5) 日本研究スタッフ拡充（助成）〔欧〕
- (6) 日本研究リサーチ・会議等（助成）〔欧〕
- (7) 日本研究組織強化支援（助成）

### 2. 人物交流事業費

- (1) 派遣フェローシップ（学者・研究者）〔欧〕
- (2) 招へいフェローシップ（学者・研究者）〔欧〕
- (3) 招へいフェローシップ（論文執筆）〔欧〕
- (4) 招へいフェローシップ（短期）〔欧〕
- (5) 文化人短期招へい〔欧〕
- (6) 文化人短期招へい（国際会議）〔欧〕
- (7) 中東知的交流セミナー（人物交流・派遣）
- (8) 中東知的交流セミナー（人物交流・招へい）
- (9) 中東次世代派遣フェローシップ
- (10) 中東次世代招へいフェローシップ

### 3. 催し等事業費

- (1) 国際会議出席（助成）〔欧〕
- (2) セミナーシンポジウム開催（日欧）
- (3) セミナーシンポジウム開催（助成）（日欧）
- (4) 中東知的交流セミナー（催し・主催）
- (5) 中東知的交流セミナー（催し・助成）

### 4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔欧〕

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 (1) 日本研究客員教授派遣 (直接派遣) [欧]

海外諸大学の日本研究講座を支援するため、人文・社会科学分野の学者・研究者を派遣する。

合計額 15,047,441円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	大嶋仁	福岡大学人文学部教授	スペイン	05.02.01～ 05.03.31	サラマンカ大学、マドリッド自治大学	日本文化、思想史に関する講義
2	袴田茂樹	青山学院大学国際政治経済学部教授	ウズベキスタン	04.06.29～ 04.07.28	世界経済外交大学	政治経済および外交に関する講義
3	清登典子	筑波大学助教授	スロベニア	05.03.01～ 05.04.02	リュブリャナ大学	江戸文学に関する講義
4	高橋亨	名古屋大学大学院文学研究科教授	チェコ	04.10.01～ 05.01.09	カレル大学	平安朝物語文学に関する講義
5	袴田茂樹	青山学院大学国際政治経済学部教授	ロシア	04.05.25～ 04.06.28	モスクワ国立大学	社会・経済システムの比較分析に関する講義
6	福島安紀子	総合研究開発機構主席研究員	クウェート	05.01.01～ 05.03.31	クウェート大学	戦後の日本政治に関する講義
7	吉田昌平	横浜国立大学教授	エジプト	05.02.10～ 05.05.09	カイロ大学	日本語学に関する講義

1. 日本研究事業費 (2) 日本研究シニア客員教授派遣 (直接派遣) [欧]

人文科学および社会科学分野（芸術分野を含む）で、日本に関する講義を実施するために客員教授を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、日本国内で条件に合致する専門家を公募して派遣する。本プログラムはジャパンフェウンダーションボランティア制度の一環として実施するものである。

合計額 1,224,590円

	氏名	国	期間	受入団体	事業内容
1	小林明美	ハンガリー	04.03.31～ 06.01.31	エオトヴェシ・ローランド大学東洋学研究所	国語学と日本語教育論に関する講義

1. 日本研究事業費 (3) 日本研究客員教授派遣 (経費助成) [欧]

海外諸大学の日本研究講座に対し、人文・社会科学分野の学者・研究者を国外から客員教授として招へいするための経費を助成する。

合計額 1,855,094円

	団体	国	氏名	現職	期間	事業内容
1	Madrid Autonomous University	スペイン	三原幸久	関西外国語大学教授	05.02.01～ 05.03.31	現代日本に関する講義
2	Adam Mickiewicz University	ポーランド	スタイネク ク リスチャン	ボン大学講師	04.11.01～ 04.11.30	日本の思想史および生命倫理学に関する講義
3	Institute of Asian and African Studies, Moscow State University	ロシア	佐藤信	東京大学教授	04.09.13～ 04.10.14	碑文にみる古代・中世初期の日本史に関する講義

1. 日本研究事業費 (4) 日本研究拠点機関 (助成) [欧]

海外の日本研究において特に中核的な役割を担う機関を指定して、その日本研究部門の研究費、運営費などを中長期にわたって総合的に助成する。

合計額 5,517,352円

	機関	国	期間	事業内容
1	極東国立総合大学附属東洋学大学	ロシア	04.04.01～ 05.03.31	国内研修、訪日研修、紀要・教科書出版の包括助成
2	ロシア科学アカデミー現代日本研究センター	ロシア	04.04.01～ 05.03.31	紀要MEET JAPANの発行、論文コンテスト、事務局経費の包括助成



## 欧州・中東・アフリカ交流事業費

### 1. 日本研究事業費 (5) 日本研究スタッフ拡充 (助成) [欧]

海外の大学などが日本研究に関連した常勤の教官ポストを増設する場合、最初の3年間に限り当該者の給与と社会保障費を助成する。

合計額 12,316,002円

	機関	国	期間	事業内容
1	Oxford Brookes University	英国	05.01.01～ 05.08.31	国際関係学（日本外交）講師への給与助成
2	マドリッド自治大学	スペイン	04.01.01～ 04.09.30	日本経済経営講座講師の給与助成
3	オーフス大学	デンマーク	04.01.01～ 04.07.31	助教授（近代日本研究）への給与助成
4	Heinrich-Heine University Dusseldorf	ドイツ	03.11.01～ 04.10.31	研究員（日本の教育学、現代文化）雇用に対する給与助成

### 1. 日本研究事業費 (6) 日本研究リサーチ・会議等 (助成) [欧]

海外の高等教育・研究機関が実施する日本研究に関連した共同研究・会議、セミナー・ワークショップや集中講座などについて、経費の一部を助成する。

合計額 12,258,705円

	団体	国	期間	事業名	事業内容
1	British Association for Japanese Studies	英国	04.04.01～ 05.02.28	英国日本研究協会	英国日本研究協会2004年総会
2	Goteborg University	スウェーデン	04.04.01～ 05.02.28	ヨーテボリ大学	第6回北欧日本・韓国研究協会会議
3	University of Heidelberg	ドイツ	04.04.01～ 05.02.28	ハイデルベルク大学美術史研究所	近代日中におけるジェンダーの確立
4	University of Bonn	ドイツ	04.05.01～ 05.03.31	ボン大学日本学研究所	シンポジウム「中世：多極と分権の時代－日本では～そして西欧では～」
5	French Association of Japanese Studies	フランス	04.04.01～ 05.02.28	フランス日本研究学会	第6回日本研究シンポジウム

	団体	国	期間	事業名	事業内容
6	European Association of Japanese Resource Specialists	ベルギー	04.04.01～ 05.03.31	EAJRS	第15回国際日本資料専門家欧州協会研究集会
7	Institute of Oriental Studies of National Academy of Sciences of Armenia	アルメニア	04.04.01～ 05.03.31	アルメニア国立アカデミー東洋学研究所	アルメニアと日本：政治、経済、文化（1988～2003）
8	The National Gallery in Prague	チェコ	04.04.01～ 04.12.31	国立美術館	日本美術工芸所蔵機関欧州ネットワーク会議
9	Canakkale Onsekiz Mart University	トルコ	04.05.01～ 05.02.28	チャナッカレ3月18日大学	現代日本社会に関する集中講義ならびに講演会
10	Faculty of Economics of Political Science, Cairo University	エジプト	04.04.01～ 05.02.28	カイロ大学政治経済学部	日本の政治システムの最近の変化

1. 日本研究事業費	(7) 日本研究組織強化支援（助成）
------------	--------------------

欧州地域の日本研究者や日本研究機関が国境や専門分野を超えて相互に連携・協力するための横断的なネットワーク形成活動を支援する。

合計額 10,056,056円

	機関	国	期間	事業内容
1	ヨーロッパ日本研究協会	ドイツ	04.04.01～ 05.03.31	事務局運営経費助成
2	ロシア日本研究者協会	ロシア	04.04.01～ 05.03.31	事務局運営経費助成

## 欧州・中東・アフリカ交流事業費

### 2. 人物交流事業費 (1)派遣フェローシップ(学者・研究者)〔欧〕

海外において人文・社会科学の各分野での共同研究および研究の指導を主とする研究活動を行なう学者・研究者にフェローシップを支給する。

合計額 7,428,340円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	福田真人	名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授	インド 英国	04.10.01～ 05.09.30	オックスフォード大学医学史ウェルカム研究所	性感染症に関する国別の対策、意識を英国およびインドにて歴史的に探求し、日本の性病史、梅毒認識の歴史的経緯を解明。また、今日のエイズ対策の出発点として梅毒対策の比較文化史的研究を実施
2	後藤和子	埼玉大学経済学部助教授	オランダ	04.04.08～ 05.04.07	エラスムス大学	共同研究者の協力を得て、創造的スキル(芸術や工芸、デザイン等)を基礎とする新しい産業クラスターである創造的クラスターの発展とそれらを支援する都市政策のあり方に関する研究を行ない、成果を広く都市政策に還元した

### 2. 人物交流事業費 (2)招へいフェローシップ(学者・研究者)〔欧〕

人文・社会科学分野の学者、研究者で、日本に関わる研究を行なうため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 76,130,711円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	DE PALMA, Daniela	ローマ大学ラ・サピエンツァ常勤講師	イタリア	04.07.31～ 04.10.30	東京経済大学	昭和末期から平成における日本人にとっての天皇制
2	TOLLINI, Aldo	ヴェネツィア「カ・フォスカリ」大学東アジア研究所準教授	イタリア	03.10.01～ 04.05.31	國學院大学文学部国語専攻	日本古代の表記法と用字法
3	DODD, Stephen	ロンドン大学SOAS日本学科長、講師	英国	04.09.02～ 05.01.01	早稲田大学	梶井基次郎の作品における近代性
4	FERGUSON, Harvie	グラスゴー大学社会学部教授	英国	03.10.01～ 04.05.30	京都大学人文科学研究所	東西におけるアイデンティティーと戦争体験の関連性
5	MACDONALD, Alastair	グラスゴー・スクール・オブ・アート教授	英国	04.09.21～ 04.12.17	立命館大学	バリアフリー・デザイン：高齢化社会に向けた製品、環境、サービスのあり方に関する共同プロジェクト

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
6	NAGASHIMA, Yoichi	コペンハーゲン大学アジア研究所所長	デンマーク	04.10.04～ 04.12.19	東京大学大学院総合文化研究科	森鷗外のノルウェー劇翻訳－イブセンとビョルンソン
7	SCHOLZ, Stanca Emilia	トリア大学日本学科教授、日本学科長	ドイツ	04.09.16～ 05.04.15	早稲田大学演劇博物館	現代演劇としての能・狂言－展開と変容
8	TEEUWEN, Mark	オスロ大学 人文学部	ノルウェー	04.09.27～ 04.11.30	早稲田大学 文学部	テキストの儀礼化－中世日本の神道流
9	AVELINE, Natacha	フランス国立科学研究所・リヨン第二大学東アジア研究所研究助教授	フランス	04.06.01～ 04.08.3	早稲田大学比較法研究所	JRグループによる保有地の最善活用と非鉄道事業への多角化
10	GOSSOT, Anne	ボルドー第三大学日本学科助教授・学科主任	フランス	04.08.02～ 05.02.28	武蔵野美術大学芸術文化学科	〈近代日本のデザイン〉思想の誕生
11	JOOS, Joel Aime Maria Simonne	ライデン大学	ベルギー	04.06.03～ 04.08.30	早稲田大学	20世紀中盤における津田左右吉の民族観の思想史的研究
12	ROBBEETS, Martine Irma	ライデン大学比較言語学部	ベルギー	05.02.05～ 05.12.05	東京大学大学院人文社会系研究科言語学研究室	日本語と韓国語およびアルタイ語との関連性
13	MAKHMUDOVA, Gulnora Gulomnazarovna	女性ビジネス協会副会長	ウズベキスタン	03.09.01～ 04.04.27	名古屋大学大学院国際開発研究所	マイクロファイナンス戦略開発と低所得層およびマイクロエンタープライズのための資金アクセス
14	PYANOVA, Elena Viktorovna	タシケント国立東洋学大学歴史学部講師	ウズベキスタン	04.10.01～ 05.01.28	早稲田大学国際情報通信研究科	戦後の国際社会における日本の役割、および独立前後のウズベキスタンにおける日本のプレゼンス
15	SEKULOVIC, Ana	Megatrend大学助教授	セルビア・モンテネグロ	04.05.08～ 04.07.18	早稲田大学	経済グローバル化における地域的发展
16	KLIMA, Tomas	パラツキー大学哲学学部極東センター日本学科講師	チェコ	03.10.01～ 04.09.29	東京学芸大学	チェコ人の大学生の為の古語の教科書に関する研究
17	LABUS, David	カレル大学哲学部東亜研究所専門講師	チェコ	04.06.01～ 05.02.28	立教大学	横井小楠と幕末明治維新期における価値観の変遷

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
18	SALOVA, Dita	カレル大学哲学 部比較研究セン ター講師	チェコ	04.11.20～ 05.11.19	京都大学	古代日本文化における健康と病 気の比較的視座(丹波康類著「医 心方」の分析)
19	LENCZ, Balazs	ハンガリー国立 博物館上級コン サベーター	ハンガリー	03.08.06～ 04.06.05	東京文化財研究 所	漆器の製作と修復
20	HUSZCZA, Romuald	ワルシャワ大学 日本・韓国学科 教授	ポーランド	04.03.25～ 05.03.24	東京大学	日本語における感情表現および ポーランド語の対応語
21	JABLONSKI, Arkadiusz Marek	アダム・ミツ キューヴィッチ大 学東洋研究所日 本研究科助教授	ポーランド	04.10.01～ 05.09.30	東京大学大学院 人文社会系研究 科	現代日本語の敬語・待遇表現・ ボライトネスの記号論・語用論
22	ANARINA, Nina Grigorievna	ロシア舞台芸術 アカデミー教授	ロシア	04.10.15～ 05.02.15	早稲田大学演劇 博物館	日本舞台芸術史：総合的研究
23	ISCHENKO, Marina	サハリン国立総 合大学教授	ロシア	04.06.02～ 04.12.01	北海道大学 ス ラブ研究セン ター	サハリン地域の日本人：民族学 的考察
24	JOURAVSKAIA, Tatiana Mikhailovna	サンクトペテル ブルク国立芸術 デザインアカデ ミー教授	ロシア	04.09.02～ 05.04.29	神戸大学国際文 化学部	日本の伝統工芸とデザインー伝 統と革新ー
25	KOVALENIN, Dmitry Viktorovich	「図書時評」紙 編集委員	ロシア	03.06.05～ 04.06.04	東京大学大学院 人文社会系研究 科・文学部	村上春樹の海外進出とロシアに おける影響
26	PANTELEEVA, Marina Vasilievna	極東国立工科総 合大学主任教師 代理	ロシア	04.01.15～ 05.01.14	国士舘大学	現在文明の発達における議会制 度の意義：日本の社・政状況の 分析
27	TIKHOTSKAYA, Irina Sergeevna	モスクワ国立大 学地理学部準教 授	ロシア	03.09.11～ 04.09.10	一橋大学	変化する日本の社会・経済地理 ー挑戦と変革
28	KOWNER, Rotem	ハイファ大学 東亜研究科東亜 研究科長	イスラエル	05.01.06～ 05.11.05	早稲田大学 大 学院アジア太平 洋研究科	『身体近代化』 明治時代に おける西洋の人種論議に対する 日本社会の反応
29	MAJDOUBEH, Ahmad Yacoub	ヨルダン大学 英文学科教授・ 語学センター長	ヨルダン	04.06.20～ 04.08.20	早稲田大学	英訳での日本文学作品研究
30	EL-SHAZLY, Alaa Essam	カイロ大学政治 経済学部助教授	エジプト	03.10.21～ 04.04.20	一橋大学経済学 研究科	アジア（エジプト含）に関する 時系列的経済統計研究

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
31	HAMZA, Isam Mohamed Reyad	カイロ大学文学 部日本語日本文 学科準教授	エジプト	04.06.15～ 04.09.15	東京大学東洋文 化研究所	東洋における異文化観－日本と エジプト比較研究－
32	MULIRA, James	マケレレ大学人 文学部歴史学科 学科長	ウガンダ	03.07.31～ 04.07.29	日本貿易振興会 アジア経済研究 所	高等教育分野の人材育成に向け た日本と東アフリカにおける大 学の教育環境に関する比較研究
33	TIEBEY- DALOU, Abdoul Simon Bessingue	ヨーロッパアフ リカ研究所所長	チャド	03.05.06～ 04.05.05	慶應義塾大学文 学部哲学科	福澤諭吉の明治時代の教育哲学 －チャドのための彼の科学的・ 経済的な重要性

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 (3)招へいフェローシップ(論文執筆) [欧]

人文・社会科学分野の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 50,749,630円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	OZUMI, Asuka	ナポリ東洋大学 文哲学部博士課程 博士論文執筆者	イタリア	03.11.15～ 04.11.11	立命館大学法学部	日伊バイリンガリズム
2	PATALANO, Alessio	フランス国立高等 研究院博士課程	イタリア	04.10.01～ 05.09.30	政策研究大学院 大学	現代日本の海事防衛政策
3	BUCKLAND, Rosina	ニューヨーク大 学博士課程在籍	英国	04.11.01～ 05.10.31	東京芸術大学美 術学部	1850年代から1890年の日本画に おける文化的継続性とその美的 呼応
4	CROSS, Barbara	ロンドン大学 SOAS博士課程	英国	04.10.01～ 05.10.01	東京大学大学院 人文社会系研究 科	近世戯作文学とパフォーマンス との関係
5	THEUNISSEN, Antonia Regina	ライデン大学文 学部日文学科博 士課程	オランダ	03.09.01～ 04.08.31	東京大学大学院 総合文化研究所	富士谷成章と後期江戸時代の統 語論に関する研究
6	KLONOS, Georgios	スタンフォード 大学	ギリシャ	04.10.01～ 05.11.30	大谷大学	修験道：徳川時代の大峰山
7	CALCIO- GANDINO, Flavio, Andrea	チューリッヒ大 学東洋学部日本 学科博士課程	スイス	04.05.06～ 05.03.05	同志社大学文学 部美術および芸 術学科	江戸期町家と重要伝統的建造物 郡保存：今井町重要伝統的建造 物郡保存地区
8	MATTEN, Marc Andre	ボン大学中国・ 日本文化研究所 博士課程	ドイツ	04.09.01～ 05.10.31	東京大学大学院 総合文化研究科	中国ナショナリズムの構成と中 国人日本留学生の役割、中国ナ ショナル・アイデンティティの 形成について
9	SCHAEFER, Fabian	ライプチヒ大学 東アジア研究所 研究助手、博士 課程	ドイツ	04.09.01～ 05.10.31	東京大学社会情 報研究所	戦前期日本におけるメディア論 的思想－新聞学と社会学をめぐ るドイツと日本の言説空間
10	JANSEN, Sara	ニューヨーク大 学演劇学部博士 課程	ベルギー	03.09.01～ 04.10.30	早稲田大学大学 院	歴史のもう一つの側面－日本に おける1950年から80年までの時 間、空間、そしてムーブメント
11	NUKKE, Maret	エストニア人文 学大学・ヘルシ ンキ大学アジ ア・アフリカ部 日本語講師・博 士課程	エストニア	04.05.31～ 04.10.18	早稲田大学演劇 博物館	近世における能楽の発達とその 方向性

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
12	KOUBANYTCHBEKOVA, Baktygoul	オシエ国立大学 法学部博士課程	キルギス	04.08.01～ 05.06.30	名古屋大学法政 国際教育協力研 究センター	行政法と政府規制
13	PETKOVA, Galia Todorova	ブリティッシュ コロンビア大学 博士論文執筆者	ブルガリア	04.03.30～ 05.05.29	立命館大学文学 部	日本演劇におけるジェンダー・ セクシュアリティ・身体の構造
14	MEYER, Stanislaw	香港大学日本研 究学系博士課程 在籍	ポーランド	04.10.01～ 05.03.31	琉球大学法文学 部	近代沖縄（1879-1945）における 社会的・文化的変化と同化政策
15	KOROBTSEVA, Ekaterina Sergeevna	オックスフォード 大学博士課程	ロシア	04.06.21～ 05.05.03	新潟大学法学部	現代日本の結婚と子育てに関わ る問題点
16	AKBAY, Okan Haluk	エルジェス大学 文理学部日本語 日本文学科学科 長	トルコ	04.06.01～ 05.02.28	東京大学大学院 人文社会系研究 科・言語学研究 室	動詞における項構造と主題関係 の日土比較

2. 人物交流事業費 (4) 招へいフェロースhip(短期) [欧]

人文・社会科学分野の学者・研究者で、短期の訪日研究を必要とする者を招へいする。

合計額 1,592,960円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	NOVIELLI, Maria	ヴェネツィア大 学カ・フォスカ リ常勤研究員	イタリア	04.12.25～ 05.02.22	日本大学芸術学 部	ハイパーメディアと90年代の日 本映画

2. 人物交流事業費 (5) 文化人短期招へい [欧]

諸外国の一流の学者・研究者を日本に招へいする。

合計額 3,459,912円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	Enrico, DECLEVA	ミラノ国立大学 学長	イタリア	04.08.26～ 04.09.09	イタリアにて日本研究の発展が期待される同大学 学長を招へい。関連日本研究機関を視察・意見交 換を行ないネットワークの構築に役立てる



欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	期間	事業内容
2	KEIFLIN, Claude (他1名)	デルニエール・ヌーベル・ダルザス新聞社政治部長	フランス	05.04.15～ 05.04.23	フランスの地方新聞社で地方分権を主に取材している記者を招へいし、日本の地方や自治体、分権の実情を調査・取材する機会を提供し、帰国後各紙に記事を掲載。東京では総務省を訪問して国側の地方自治制度について聞き、高知では高知県、高知市、地元産業を活かした村づくりを進めている中山間地の馬路村の各行政関係者に話を聞くほかに、実際にまちづくりや村づくりに取り組む施設、NPOなどを取材し、地元市民との交流を行った

2. 人物交流事業費 (6)文化人短期招へい(国際会議) [欧]

国内で開催される国際会議など(学会、シンポジウム、ワークショップおよび講演会を含む)において、重要な役割を担う諸外国の専門家を招へいする。

合計額 6,776,391円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	CHARTRES, John Anthony	リーズ大学歴史学部教授	英国	04.06.26～ 04.07.09	近代イギリスにおける消費社会形成の解明のため、都市商業組織の発達および国内輸送ネットワークの形成に関する研究を行なった
2	HART, Roger	ニューヨーク市立大学大学院センター、人間環境センター	英国	04.05.02～ 04.05.09	都市化による子供への影響に関するユネスコ調査研究プロジェクト"Growing up in Cities"の中心的役割を果たしている同氏を招へいし、「こども環境学会」の設立にあわせた国際シンポジウムを開催
3	HILL, Dominic	ダンディ・レパートリー・シアター芸術監督	英国	04.11.12～ 04.11.21	セミナー「リージョナル・シアターとレジデント・カンパニー」(2004年11月19日)での基調講演、ならびに明治大学文学部演劇学専攻での特別授業の実施した。さらに、ダンディ・レパートリー・シアター公演「Monkey(西遊記)」(2005年度)準備のための日本の芸術文化のリサーチならびに、パートナーの発掘
4	EGGERT, Klaus	劇団リオ・ローズ団長・プロデューサー(アシテジ世界理事、財務担当・アシテジデンマーク副会長)	デンマーク	05.02.25～ 05.03.04	日本の児童青少年演劇劇団との交流を図り、デンマーク(および北欧諸国)との合作合同公演の可能性を探った
5	AHRENDT-SCHULTE, Ingrid	フリーランスの歴史家、著述家	ドイツ	04.09.08～ 04.09.27	日本ジェンダー学会の全国大会にて基調講演を、その他大学および諸研究機関で公演を行ない、討論会に参加した

	氏名	現職	国	期間	事業内容
6	GERMER, Volkhardt	ワイマール市大市長	ドイツ	04.11.13～ 04.11.15	持続可能な自治体作りに関する国際シンポジウムにて、環境先進国ドイツの首長代表が実践的な取り組みを日本に紹介・提案することにより、わが国の持続可能な自治体作りの推進に寄与
7	LOOCK, Friedrich	ハンブルグ音楽・演劇大学文化・メディアマネジメント学科	ドイツ	04.11.19～ 04.11.24	国際シンポジウム「記憶する都市－神戸の街路から新しい人間科学を－」において、芸術マネジメントの面から都市の再生と活性化について基調講演とシンポジウムにおける討議に参加
8	LUTZ, Thomas		ドイツ	04.10.08～ 04.10.10	女たちの戦争と平和人権基金における講演
9	CHELINI, Jean	エクサンプロヴァンス法律・宗教史研究所科学評議会委員長	フランス	04.10.27～ 04.11.02	国際シンポジウム「四国遍路と世界の巡礼」記念講演会での基調講演のスピーカーとして招へい
10	DEPESTRE, Rene	作家	フランス	04.05.24～ 04.06.01	ハイチ革命200周年の年に、高名な仏語表現のハイチ人作家を招き、奴隷制時代からポストコロナルにいたる歴史の証言を聞いた
11	MASSOUDY, Hassan	書道家	フランス	04.11.09～ 04.11.17	イラク人イスラム書道家ハサン・マスウーディ氏を日本に招へいし、イスラム書道に関するワークショップを開催。また日本の書道の影響を受けたマスウーディ氏の希望により、日本の書道家と交流
12	GORIATCHEVA, Margarita	ゴーリキー文学大学助教授	ロシア	04.10.06～ 04.10.13	チェーホフ没後百年記念祭実行委員会が企画する記念講演会においてチェーホフの文学・演劇について講演
13	POGREBNICHKO, Yury	モスクワ市立「スタニスラフスキーの家近くの劇場」主席演出家	ロシア	04.05.13～ 04.05.21	ロシアの制作家チェーホフの没100年を記念したシンポジウムへ参加
14	PRAH, Kwesi Kwaa	アフリカ社会高等学術研究センター所長	ガーナ	04.05.26～ 04.06.03	第41回日本アフリカ学会学術大会において基調講演を行ない、東京、大阪、京都ほかで日本のアフリカ研究者と交流、講演活動を実施した
15	MKURA, Abdul Amonde	ティンガティンガ美術協会理事	タンザニア	04.07.29～ 04.08.06	アフリカ美術展関連の作家による絵画公開制作および子供向けワークショップを指導した

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 (7)中東知的交流セミナー（人物交流・派遣）

中東との知的交流に資する海外のセミナーなどに日本の有識者を派遣する。

合計額 4,519,472円

事業名	氏名	現職	国（都市）	期間	受入団体	事業内容
1 ユネスコシンポジウム	青木保 内藤正典 中西久枝 中山茂	政策大学院大学教授 一橋大学教授 名古屋大学教授 神奈川大学名誉教授	フランス(パリ)	04.05.06～ 04.05.07	ユネスコ本部	国際社会が対話を通じて相互理解を促進させることが緊要となっている状況下で、アラブ諸国と日本の有識者が会し、それぞれの他者受容と社会発展の経験を共有し、文化的多様性を維持しながら相互受益しうる社会システムを構築する方途を模索した。また、このプロセスにおいてユネスコに求められる課題について議論し、具体的アクションへつなげていく
2 国際会議「アブラハムの宗教における寛容と平和について」	森孝一	同志社大学一神教学際センター長	チュニジア（チュニス）	04.11.22～ 05.02.28	ベン・アリー大統領講義：文明と宗教についての対話	チュニジアのベン・アリー大統領直轄の研究組織「ベン・アリー大統領講義：文明と宗教についての対話」主催の国際会議に専門家を派遣。国際交流基金は、専門家に対して会議への出席だけでなく、チュニジアの研究機関、シンクタンクを訪問・意見交換の場を提供した

2. 人物交流事業費 (8)中東知的交流セミナー（人物交流・招へい）

中東との知的交流に資する国内のセミナーなどに海外の有識者を招へいする。

合計額 10,780,275円

氏名	現職	国	期間	事業内容
1 Ahmed Ibrahim Mahmoud	アル・アハラム政治戦略研究所センター上級研究員	エジプト	04.07.18～ 04.07.25	日本と中東の主要シンクタンクが一堂に介し、今後の協力関係、共同研究等の可能性について意見交換を行なった
Ahmad Montazeran	外務省付属政治・国際問題研究所アジア太平洋研究センター所長	イラン		
Baker M al-Hiyari	王立インターフェイス研究所副所長	ヨルダン		
Awadh bin Atta al-Badi	キング・ファイサル研究センター調査・研究部長	サウジアラビア		
Khaled Sellami	チュニジア戦略研究所情報部長	チュニジア		

2. 人物交流事業費 (9)中東次世代派遣フェローシップ

日本との知的交流を担う次世代の中東の研究者が訪日するためのフェローシップを供与する。

合計額 1,976,410円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	田中宇	ジャーナリスト	サウジアラビア	05.03.22～ 05.04.21	キング・ファイサル・センター	イスラム社会における民主化の動向

2. 人物交流事業費 (10)中東次世代招へいフェローシップ

中東に関する次世代日本人研究者を育成するためにフェローシップを供与する。

合計額 11,148,587円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	HAJAR, Zaid Ali	アシュート大学博士課程	イエメン	05.03.10～ 05.06.07	アジア経済研究所	冷戦終了後の日・アラブ関係発展
2	中東次世代招へいコアプログラム		エジプト、クウェート、チュニジア、トルコ、イエメン	05.03.30～ 05.06.07		グループ研修による日本研究

3. 催し等事業費 (1)国際会議出席(助成)[欧]

海外で開催される国際会議、シンポジウムなどに招請され、講義、基調論文の発表を行なうなど指導的役割を果たす日本国内の人文・社会科学または芸術分野の専門家に対して助成を行なう。

合計額 3,113,160円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	南條史生	森美術館副館長	アイルランド	04.11.09～ 04.11.16	アイルランド国立近代美術館	アイルランド国立近代美術館において世界の展覧会企画の最前線で活躍するキュレーターを招き、それぞれのおかれた状況や文脈からの実践について意見交換を行ない展覧会企画の現状の検証を試みた。日本以外に8カ国(アイルランド、独、英、伊、米、伯、仏、西)から参加。会議後ロンドンにて英国美術関係者と意見交換

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
2	郡裕美 遠藤敏也	スタジオ宙一級 建築士事務所	イタリア	05.03.10～ 05.03.17	イタリア建築家 協会	世界的に活躍している建築家による講演会および作品展示会。講演会を通じて他国の建築文化に対する理解を深め、イタリアにおける建築文化の育成、国際交流を図った。今回の会議では、日本における文化的伝統と現代建築の作品表現の関連を考えた
3	上田良文	広島大学大学院 教授	英国	05.03.30～ 05.04.05	ヨーロッパ公共 選択学会2005年 大会	非市場領域（政治、行政、NPO等）における人間行動の客観的分析に基づいて、社会制度の設計・開発の提案を目指す新しい政治経済学を確立することを目的とする学会。本大会分科会にて「流域コモンプールの保全と社会起業家の役割：持続的で自立的な地域社会の日本型モデル」について論文を発表。また、他の研究発表に対する予定討論者を務めた
4	島多代	ミュゼ・イマジ ナル有限公司社 代表取締役	ドイツ	05.02.09～ 05.02.13	ベルリン日独セ ンター	日本の絵本のドイツにおける普及について、助成対象者および国際児童図書館館長が公演を行なった
5	小田淳一	東京外国語大学 アジア・アフリ カ言語文化研究 所助教授	フランス	04.05.21～ 04.06.05	会議：分け与え られた「千夜一 夜物語」	分け与えられた「千夜一夜物語」と称する会議において「意味構造分析志向民話モチーフデータベースの開発」をテーマとした論文を発表。また日本民話とアラブ民話の比較を同データベースを元に実施
6	篠田知和基	広島市立大学国 際学部教授	フランス	04.08.20～ 04.09.01	オーブラック国 際会議	世界各国の文学、神学のさまざまな形を共通テーマによって検討する会議において、基調講演を行なうとともに、「『雨月物語』における蛇の化身の変容」のタイトルで論文発表を行なった
7	七字英輔	株式会社テスピ ス代表取締役	ウクライナ	04.04.18～ 04.04.25	ハリコフ国立ア カデミードラマ 劇場	「日本における実験演劇の歴史と展望」をテーマとした論文の発表

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
8	岩男壽美子	武蔵工芸大学環境情報学部教授	ロシア	04.10.11～ 04.10.17	タタール日本情報文化センター	タタール日本情報文化センター、タタールビジネス促進大学、その他タタルスタン共和国（ロシア連邦）大統領府等の共催にて実施されるフォーラムにて、女性問題、少子化問題、家族・家庭・しつけ・価値観の変化といったテーマで発表。同フォーラムに先立ち、モスクワ大学においても講演

3. 催し等事業費 (2) セミナー・シンポジウム開催（日欧）

日本と欧州・旧ソ連の共通課題等をテーマとするセミナーやシンポジウムを開催する。

合計額 7,805,471円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	文化における日欧交流シンポジウム	フランス	パリ	パリ日本文化会館	05.03.21～ 05.03.22		EU統合と文化の多様性という観点から、パネリストによる討論を行なった
2	日-EUシンクタンク・ラウンドテーブル	ベルギー	東京	国際交流基金国際会議場	04.04.01～ 05.03.31	総合研究開発機構（NIRA） European Policy Centre	日欧のシンクタンクの研究者、学者が集まり、グローバルガバナンスをテーマとして、両地域が直面する問題、両地域がこれらの分野でいかに協力すべきかを話し合った

3. 催し等事業費 (3) セミナー・シンポジウム開催（助成）（日欧）

日本と欧州・旧ソ連の非営利団体が開催するセミナー・シンポジウムに対して、その開催経費の一部を助成する。

合計額 62,977,152円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	慶應-ASEFシンポジウム「拡大EUとアジア」と第10回ASEF大学	慶應義塾大学	アジア地域区分困難、欧州地域区分困難	04.05.22～ 04.06.05	本プロジェクトは、欧州連合（EU）とアジアとの関係について、国際政治、国際経済、安全保障などの視点から考察・議論し、ヨーロッパとアジア間の協力のあり方、とりわけその中における日本の役割のあり方を提言することを目的とし、専門家と実務家によるパネル討議「拡大EUとヨーロッパの将来」および「アジアにおける地域協力」に加え、第10回ASEF大学の一環としてアジア・欧州の学生向けセミナーも併せ実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
2	日仏地方分権セミナー	自治・分権ジャーナリストの会	日本、フランス	04.08.28～ 04.09.04	日仏両国の地方自治問題に関心を有するジャーナリストと研究者、実務家による知的対話事業。「地方自治制度改革の動向」、「地方分権と地方税財政」をテーマに、分権推進に当たって双方が抱えている課題を整理しながら、分権型社会実現の手法について検討。これまで日本では研究事例が少ないラテン諸国の地方分権の取り組みを網羅的に日本に紹介する初めての試み
3	第7回サハリン・フォーラム	安全保障問題研究会	日本	04.09.06～ 04.09.10	日ロの懸案の問題である北方領土を直轄するサハリン州の行政幹部や学者、専門家などの有識者たちと直接対話を行なうことにより、より広い視野から日本とサハリンの政治・経済・学術・文化交流の促進を目指し、ひいては北方領土問題を解決して平和条約を締結するための環境を整えることを主目的とし、第7回目となる今回は、サハリン州ユジノサハリンスク市において、2日間開催
4	第2回日ロ・学術・報道関係者会議	日本対外文化協会	日本	04.09.07～ 04.09.09	ロシアおよび北東アジアを専門とする日本の学術関係者、評論家および、日本のマスメディアのロシア国際関係を担当する現役論説・解説委員などが、ロシアの外交政策・世論形成に影響力を持つ代表的な国際問題専門、北東アジア問題専門の学術関係者等と率直な意見交換をし、広い視野で日ロの協力の可能性を探ることを目的とする知的対話事業。「北東アジアの安定と繁栄」を総合テーマに、「2期目のプーチン政権と朝鮮半島情勢」等について議論した
5	国際関係史学会(CHIR)2004年東京会議	国際関係史学会	日本、欧州地域区分困難	04.09.15～ 04.09.19	アジアの視点から国際関係史を再考する国際シンポジウム。西欧の近代国際関係観を無意識に前提とした従来の「普遍的」世界認識について、(1)従来の歴史像の問い直し、(2)アジアにおける地域アイデンティティ形成への注目、(3)ヨーロッパ像の相対化、等のパネルにおいて総合的に討議した。日本と欧州の研究者を中心にアジアの研究者も交えて討議し、討議結果に関する公開講演会も同時に開催し成果普及に努めた
6	国際シンポ「21世紀のチェーホフ」	日本ロシア文学会	日本、ロシア	04.09.24～ 04.09.24	アントン・チェーホフの没後百年を記念して、国際シンポジウムを開催した。その主たる目的は、(1)日・露・韓の演劇人・研究者による討議を通じ、日本・アジア・ロシアという国際的な文脈においてチェーホフの文学と演劇の世界的な意義を解き明かし、(2)今日の日本における文学・演劇理解の水準を高めることに貢献し、(3)チェーホフのいまだに究め尽くされない現代性を解明することを通じて、今後の演劇を担うべき若い世代が新たな演劇的可能性を発見するための手がかりを提供

	事業名	団体	国	期間	事業内容
7	ハーン100年祭 記念国際シンポ ジウム・イン まつえ	八雲会	日本、欧州地 域区分困難	04.10.01～ 04.10.02	2004年のラフカディオ・ハーン没後100年の節目の年に、ハーンの面影が残る松江において、世界各地から研究家を招き、ハーンが生まれ育ったヨーロッパと日本の関わり、日欧アジアの日本認識のギャップなどをテーマに国際会議等を行なった。また、松江市民をはじめ、多くの参加者を募り、現代社会にとってのハーンの文学、思想の果たした役割などを検証する機会とした
8	第4回日本－ス ウェーデン・国 際地球環境シン ポジウム	社団法人日瑞基 金	日本、ス ウェーデン	04.11.15～ 04.11.18	日本・スウェーデン両国共通の地球環境問題や、環境技術開発、新しいベンチャー・ビジネス等をテーマとする知的対話事業。2年に一度の定期開催事業。両国の環境専門家、企業関係者等が参加し、特に環境効率や環境指標に焦点を当てて議論を行なった。今回は北九州市と共催し、北九州市で開催することにより、首都圏関係者のみならず、幅広い地域への情報発信・相互意見交換の場とすることを企図した
9	EU Institute in Japan (EUIJ) 第1回国際会議 「EUの新しいフ ロントニア」	EU Institute in Japan	日本、欧州地 域区分困難	05.01.09～ 05.01.10	本事業はEUの研究・教育・情報拠点として16年4月1日に発足したEUIJの第1回国際会議であり、日本の幅広い層へのアウトリサーチを目指し、前半は、欧州統合を専門的に教える体系的なプログラムを有する欧州の特色ある教育機関からの概要説明を実施した。後半は、欧州におけるEUの専門家がそれぞれの専門分野からEUの新しいトピック（安全保障、域内の安全、経済、ガバナンス、拡大、憲法など）について多面的な報告がなされ、日本側からは日－EU関係、日本から見た欧州統合の動向についての見方を提示し、双方向の理解を深めた
10	「地域と共生す る劇場経営・ アーツマーケ ティングの可能 性」	特定非営利活動 法人舞台芸術環 境フォーラム地 域演劇マネジメ ントセンター	日本	05.02.11～ 05.02.12	21世紀の地域社会には、経済的成長重視の前世紀の負債としてのコミュニティの崩壊による社会的機能不全が様々な形の歪みをもたらし、多くの解決しなければならない社会的課題として山積している。当事業では、欧米において「奇跡の劇場」や「コミュニティ・ドライブ（地域社会の牽引車）」とも言われる地域演劇関係者を招き、日本の関係者と地域社会における芸術文化施設のアーツ・マーケティングの可能性について対話を行なった
11	トクヴィル生誕 200年記念国際 シンポジウム	日仏会館	日本、フラン ス	05.03.01～ 05.06.12	2005年に生誕200年を迎えるアレクシス・ド・トクヴィルの政治思想の再検討を通じて、現代デモクラシーの諸問題を考察することを目的とし、民主政治の外交能力、宗教の役割、戦争と軍隊、人種とエスニシティなど、トクヴィルが取り上げたトピックの検討を通じて、アメリカとフランスを対比したトクヴィルの「二つのデモクラシー」論の現代における有意性を問いた



欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
12	日・黒海対話「広域黒海地域の平和・繁栄と日本の役割」	グローバル・フォーラム	日本、欧州地域区分困難	05.03.01～ 06.01.01	ルーマニアより2名、グルジア、ロシア、トルコ、ウクライナより各1名、日本より8名の計14名のパネリストを迎え、3つのセッションのもとで、基調報告およびコメントの後、会場の出席者全員の参加を得る形で自由討論を行なった。セッションⅠ「政治・軍事・経済・エネルギーと地域協力」では、広域黒海地域の戦略的な重要性が特に政治・軍事・エネルギーの観点から浮き彫りにされた。セッションⅡ「EU・NATO・ロシア・米国の戦略的動向」では、黒海の域外勢力がこの地域をどのように捉えているのか明らかにされ、利害関係が複雑に絡み合ったこの地域の将来像を展望。セッションⅢ「日本にとっての重要性と日本の役割」では、ⅠとⅡで提起された議論を踏まえた上で、日本にとっての広域黒海地域の重要性と役割を政治・経済を含むさまざまな観点から打ち出した
13	産業遺産を活かす産炭地域活性化フォーラム	産業遺産を活かす産炭地域活性化実行委員会	日本、欧州地域区分困難	05.03.01～ 06.02.28	ワークショップAとしては、産業遺産を活用した地域再生でのルールと空知産炭地域の連携についての基本的ポリシーについて議論した ワークショップBでは、ワークショップAで打ち出されたポリシーについて、具体的な方策やポイントについて議論 ワークショップCでは、大学学生の複数チームにより、ルール地域での取り組みを踏まえた上で夕張市をフィールドにしたモデル的計画案を作成するワークショップを事前に展開し、ワークショップA・Bに具体的なイメージ例を提示した
14	欧州における日本語日本文化教育の展望	大阪外国語大学	日本、欧州地域区分困難	05.03.05～ 05.03.08	エラスムス計画の推進により変革期を迎えた欧州日本研究拠点大学の教育実情を踏まえた上で、日本の研究教育現場が欧州と如何に教育的連携を保っていくかを、日欧の日本研究者、学生が議論する国際シンポジウム。一大経済圏となった拡大EUと日本との相互理解と相互協力の促進に寄与
15	日米露友好シンポジウム	泉州二十一世紀協議会	日本、米国、ロシア	05.03.30～ 05.04.04	ポーツマス講和条約締結100周年を記念し、日本、ロシアならびに同条約交渉の斡旋役を果たした米国から研究者や識者を招いてシンポジウムを実施した。基調講演、パネルディスカッション等を通して、当時の捕虜厚遇の事実を検証するとともに、過去100年の日露関係を整理し、今後の両国関係を展望

	事業名	団体	国	期間	事業内容
16	大学における研究活動の管理・運営：歴史・比較アプローチ	グラスゴー大学 欧日社会科学 研究センター	英国	04.09.09～ 04.09.11	日英等先進諸国の高等教育機関における研究活動について、大学の社会的役割を踏まえ、より効果的・効率的な運用と、ベスト・プラクティスの国際的な移転・交換のあり方をテーマとする国際会議を実施した。歴史的アプローチと国際比較（日英独米）アプローチにより、政府による研究振興政策と大学研究の成果との関係、研究成果の国際的応用・適用度を決定する要素、大学運営管理形態と大学研究の成果との関係等をテーマとして日英独米の専門家が討議を行なった
17	第零次世界大戦：世界的視野から見る日露戦争	London School of Economics	英国	05.03.01～ 05.05.27	この会議は日露戦争に関する世界的、包括的な研究であり、紛争の原因・過程・結論・影響を、軍事・政治・外交・文化・経済・社会的な側面から多角的に分析した
18	セッション423「中国とグローバル・エコノミー」	ザルツブルクセ ミナー	オーストリア	04.12.09～ 04.12.16	中国とグローバル経済をテーマとするザルツブルグ・セミナーのセッション。中国の急速な経済発展が日本を含む東アジアの地域経済や、グローバル経済に与える影響について、人民元の切り下げ問題やWTOへの加盟問題等を取り上げ、経済のみならず政治の観点も加えて幅広い視点から討議を行なった
19	北朝鮮政策と日本・東アジア	欧州日本研究所	スウェーデン	05.03.18～ 05.03.19	北朝鮮問題の解決に向けた日本の外交政策と国際的な協力枠組みをテーマとする国際会議。 日本の対北朝鮮外交の歴史的展開、日本の国内的要因が外交政策に及ぼす影響、アジアにおける主要な政策フォーメーション、日米中韓露EUによる国際的な協力枠組み等を議題として取り上げ、日本とスウェーデンの専門家を中心に討議を行なった
20	グローバル化した世界における間宗教的・間文化的な共生	ベルリン日独セ ンター	ドイツ	04.09.26～ 04.09.28	グローバル化した現代世界での文化・宗教の共生のあり方をテーマとする国際会議。イスラム教や仏教等の主要な宗教における共生の考え方を発表・討議し、異なる宗教間での共生について、学者や宗教者により討議・検討を行なった
21	対外直接投資をめぐる日独の競争	マールブルク大 学経営経済学科	ドイツ	04.11.19～ 04.11.20	日独両国への外国直接投資（FDI）増加のための方策をテーマとする国際会議。外国からの国内投資が立ち遅れている日独両国の共通課題をとらえて、関税政策、規制政策、企業戦略の3つの観点から要因を分析し、両国の比較を通じて相違を明らかにするとともに、FDIに関する理論の適用性を検証し、今後のFDI増加に向けた政策の検討を行なった

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
22	日独の社会保障制度改革比較	マックス・プランク国際社会学研究所	ドイツ	04.11.19～ 04.11.20	日独両国の社会保障制度改革の比較をテーマとする国際会議。両国は高齢化社会における新しい社会保障制度の構築という共通課題を抱えており、財政政策（高齢者保護、健康保険制度、介護保険制度）と雇用政策（高齢者雇用促進）の2つの問題に焦点を当て、日独両国の専門家により討議を行った
23	日本における考古学	ベルリン日独センター	ドイツ	04.11.21～ 04.11.24	日本の考古学を軸に、日独両国の文化遺産と社会との現代的な関わりをテーマとする国際会議を実施した。三内丸山遺跡の総合的な紹介を行ない、同遺跡発掘と公益との関係（地方経済への影響、観光振興等）についてドイツとの比較を交えつつ議論し、現代の日独両国における遺跡発掘の社会的意味や役割について明らかにするとともに、考古学の現代的役割についても検討
24	長寿社会と公共政策	ナンシー第2大学労働社会学・社会環境研究所	フランス	04.10.18～ 04.10.19	日仏両国での高齢化社会の公共政策を比較検討する国際シンポジウム。定年制度、社会保障政策とライフスタイル、生涯教育と高齢化社会等テーマを取り上げ主として社会学の観点から討議を行った
25	異文化間対話のための中心的価値観	欧州評議会	フランス	04.11.14～ 04.11.17	異文化間対話事業の第3年目として、異文化・異宗教間対話を推進するための様々なアプローチ（Core Values）をテーマとする国際シンポジウム。各文化・宗教の中核的価値観について政治、社会、倫理、文化の各側面から包括的に分析し、異文化・異宗教間対話に必要な態度や能力を具体化させ、政策提言に結びつける
26	国際シンポジウム「失業と職業の流動性」	国立科学研究所性・社会関係研究グループ	フランス	05.02.21～ 05.02.23	日仏墨3カ国での不就業と専門的職業の流動性との関係性について比較検討する国際会議。不就業を専門的職業の流動性と個人のライフ・サイクルの観点から捉え、これら要素間の相関関係、影響関係の分析を通じて、3カ国での社会・文化状況により異なる不就業のパターンを明らかにする
27	EU憲法条約制定とEU拡大が日・EU関係に与える影響	汎欧州政策研究会（TEPSA）	ベルギー	04.11.22～ 04.11.23	EU憲法条約制定とEU拡大が日・EU関係に与える影響をテーマとする国際会議。EU憲法条約制定が東アジアコミュニティー構想に与える含意、日本を中心とするアジアでの二国間自由貿易交渉や東アジアコミュニティー構想がEU拡大に及ぼす影響、EU拡大による域内経済格差の拡大が東アジアコミュニティー構想に与える含意等をテーマとした

	事業名	団体	国	期間	事業内容
28	東西地域統合	スロバキア外交政策協会	スロバキア	04.09.15～ 04.09.20	中東欧諸国（CEE）の今後の欧州での役割と日本との関係についての国際シンポジウム。中東欧諸国のEUおよびNATOへの新規加盟と欧州国際関係の新しいフレームワーク、欧州の対ロシア政策、EU拡大がもたらす経済的影響、EU拡大の日本・東アジアへの影響、等をテーマとして取り上げ、日本と中東欧諸国の専門家により討議を行なった
29	グローバリゼーションの東アジアと東欧への影響	黒海大学基金	ルーマニア	04.06.10～ 04.06.17	グローバリゼーションが東欧および東アジアに与える影響をテーマとする国際会議。国防政策への影響（対テロ対策等）、地域経済統合問題、社会構造の変化（人口の移動、階層間格差等）、固有文化からの抵抗の4つの議題を取り上げ、日本とルーマニアを中心とする東欧諸国の研究者が討議を行なった

3. 催し等事業費 (4)中東知的交流セミナー（催し・主催）

中東との知的交流に資するセミナー等の催しを実施する。

合計額 38,181,112円

	事業名	国	期間	事業内容
1	第2回中東文化交流・対話ミッション	イラン	04.09.09～ 04.09.17	第1回中東文化交流・対話ミッションを引き継ぎ、「伝統と近代化」の問題に関する我が国の経験について理解を深め、中東諸国の現在抱える問題の参考に資するとともに、日本と中東諸国の幅広い層における相互理解の促進することを目的とし、現地において公開シンポジウムを開催し、政府要人、学識者、文化人等との対話の機会を設け、対日理解増進に努めた
2	日・アラブ対話フォーラム	サウジアラビア エジプト	05.01.08～ 05.01.10	日本とアラブ諸国の行政・学界・財界の中核にいて各国の政策形成に重要な影響力をもつ知識人が一堂に会し、中東の平和と安定の問題および今後の日本・中東関係のあり方について協議。2004年3月にアレキサンドリア（エジプト）で開催した第2回会合に続く第3回は、サウジ側座長サウード外相のホストで開催され、第1回同様、エジプトに加え、サウジアラビアと日本が参加
3	アジェンダ・セッティング	エジプト	05.03.25～ 05.04.03	日本とアラブ諸国の政策研究の専門家が一堂に会し、双方が共同で討議すべき優先的アジェンダを設定。第1回をカイロで開催し、第2回は17年度に日本で実施。AL AHARAM CENTER FOR POLITICAL AND STRATEGIC STUDIESとの共催
4	「イスラム・アメリカ・日本」シンポジウム	中東地域区分 困難 米国	04.03.31～ 04.04.02	イラク情勢の現状と今後の課題の検討を通じて、アメリカの中東・イラク政策、イスラム社会の反応、そして21世紀秩序をめぐる欧米等の思想、今後の日米、日アラブ、日欧関係のあり方について議論

欧州・中東・アフリカ交流事業費

3. 催し等事業費 (5)中東知的交流セミナー（催し・助成）

中東との知的交流に資するセミナー等の催しを支援する。

合計額 13,649,628円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	国際学術会議 「オスマン後期 以降のイラクに おける自己およ び他者認識につ いて」	王立諸宗教研究 所	ヨルダン	05.01.05～ 05.01.09	欧米、中東、日本の研究者がヨルダンに集い、オスマン後期以降のイラクにおける自己および他者認識を扱い、イラク人アイデンティティーのあり方やその時代的変遷を通して、今日のイラクに影響を与える基礎的かつ困難な問題について議論を重ねた
2	東大寺アートプ ロジェクト記念 シンポジウム 「文明の交流－ 仏教、キリスト 教、イスラム教 をめぐって」	東大寺アートプ ロジェクト実行 委員会	レバノン	04.08.07～ 04.08.07	日本・レバノン国交樹立50周年記念事業として、レバノン人芸術家による東大寺鏡池での展示事業に併せてシンポジウムを開催、世界3大宗教を通して見えてくる、人類の過去の経験や歴史に学びながら、「文明の交流」の意味と可能性を議論した
3	アジアにおける イスラーム：中 東と東アジアの 多元的対話	日本中東学会	中東地域区分 困難	04.10.15～ 04.10.17	韓国・中国・日本における中東・イスラームを巡る「政策」、「メディア」、「教育」の3つの関係を検討することにより、3カ国が立脚している中東・イスラームを巡る研究環境の違いと共通性を議論した
4	国際セミナー 「モノの世界か ら見た中東文 化・イスラーム 文化－住まい方 を中心に－」	中近東文化セン ター	中東地域区分 困難	05.01.08～ 05.01.09	イスラーム考古学を用い、物質文化の側面から中東世界とイスラーム世界を見直す必要性を議論し、「語れなかったイスラーム世界」を明らかにした
5	国際ワーク ショップ「中東 地域における宗 教間対話の可能 性を求めて」	南山大学南山宗 教文化研究所	中東地域区分 困難	05.03.21～ 05.03.21	中東各国における宗教的多元状況の現状、他宗教理解の促進に対する高等教育の役割、宗教多元主義と宗教間対話に関わる諸問題について討議し、またそこでの議論を踏まえて、将来的な日本と中東諸国との知的交流について議論された
6	交差するアジ ア・北アフリカ 文化・科学技術 研究	筑波大学北アフ リカ研究セン ター	アフリカ地域 区分困難	05.03.14～ 05.03.17	アジアと北アフリカの文化を比較研究し、急速にグローバル化する国際情勢、先端化する科学技術研究に適応する新たな文化研究を創出する目的で、日本人と北アフリカ諸国の研究者とが共同でテーマ研究、分科会を行い、相互の理解を深めた

4. 文化資料事業費 (1) 図書寄贈[欧]

海外の日本研究・教育機関や公共図書館などに日本関係図書等を寄贈。日本に関する理解・研究を促進するため国際交流基金が図書を購入し、申請機関に送付する。

合計額 44,587,424円

	国	機関	部数
1	アイスランド	アイスランド国立大学図書館	103
2	アイルランド	チェスター・ビーティー・ライブラリー	12
3	イタリア	カリアリ大学外国文学部	104
4	イタリア	カタニア大学ラゲーザ校外国文学部	18
5	イタリア	ローマ国立東洋美術館図書館	35
6	イタリア	ナポリ東洋大学文哲学部アジア研究科	74
7	英国	ロンドン大学キングス・カレッジ	31
8	英国	シェフィールド大学中央図書館	31
9	英国	ロンドン大学SOAS	39
10	英国	オックスフォード大学ボドリアン日本図書館	21
11	英国	ケンブリッジ大学図書館	29
12	オーストリア	ウィーン大学東アジア研究所日本学科図書館	43
13	オランダ	フローニンゲン大学図書館	104
14	オランダ	プロフェッショナル・ユニバーシティ・ロッテルダム ロッテルダム・ビジネス・スクール	18
15	スイス	ジュネーブ大学文学部日本科	39
16	スイス	チューリッヒ大学東洋学部日本学科図書館	24
17	スウェーデン	ストックホルム商科大学欧州日本研究所	16
18	スペイン	バリャドリド大学アジア研究所	26
19	スペイン	サラマンカ大学日西センター	26
20	スペイン	フェリッペ二世大学教育センター	103
21	スペイン	カーサ・アジア	38
22	スペイン	マドリード自治大学東アジア研究センター	107
23	デンマーク	コペンハーゲン大学アジア研究学科	49
24	デンマーク	オーフス大学東アジア研究学科日本語・日本学・研究室	26

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	国	機関	部数
25	ドイツ	テュービンゲン大学日本学科	13
26	ドイツ	トリアー大学日本学科	17
27	ドイツ	ケルン大学日本学科	37
28	ドイツ	ドゥイスブルク大学図書館	41
29	ドイツ	NRW州立言語研究所日本語研修所ヤポニクム	87
30	ドイツ	ベルリン自由大学美術史学部東アジア学科	9
31	ドイツ	ハイデルベルグ大学日本学科	19
32	ノルウェー	オスロ大学図書館	70
33	フィンランド	独立キリスト教コミュニティカレッジ	30
34	フィンランド	ラウレア・ポリテクニク	32
35	フランス	エコール・ノルマル	26
36	フランス	ボルドー第3大学	9
37	フランス	プロヴァンス大学	34
38	フランス	グルノーブル・スタンダール第3大学	10
39	フランス	コレージュ・ド・フランス	102
40	フランス	社会科学高等研究院	45
41	フランス	パリ第7大学	28
42	フランス	アルザス日本学研究所	33
43	ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学	65
44	ポルトガル	ミーニョ大学文学・人文学部	103
45	アゼルバイジャン	バクー国立大学東洋学部	43
46	ウクライナ	リヴィウ国立工科大学	43
47	ウクライナ	ハリコフ国立教育大学	23
48	ウズベキスタン	フェルガナ国立大学	104
49	ウズベキスタン	タシケント東洋学大学	63
50	エストニア	エストニア人文大学	31
51	カザフスタン	アバイ名称カザフ民族教育大学	14

	国	機関	部数
52	キルギス	オシユ国立大学	103
53	グルジア	トビリシ・アジア・アフリカ大学	36
54	クロアチア	ザグレブ大学哲学部東洋－ハンガリー学科	52
55	スロバキア	パンスカー・ピストリツァ国立科学図書館	100
56	スロバキア	コメニウス大学人文学部	78
57	スロベニア	リュブリアナ大学文学部	26
58	セルビア・モンテネグロ	ノビ・パジャール大学人文学部	103
59	チェコ	マサリク大学哲学部	34
60	チェコ	プラハ国立美術館	29
61	ハンガリー	ハンガリー工芸デザイン大学	18
62	ハンガリー	フェレンツ・ホップ東アジア美術館	22
63	ブルガリア	ソフィア大学東洋原語文化センター日本図書室	61
64	ベラルーシ	ベラルーシ科学アカデミーヤクブコラス記念中央科学図書館	16
65	ポーランド	ミツケヴィチ大学言語学科	90
66	ポーランド	ワルシャワ大学	92
67	ポーランド	日本美術技術センター	38
68	ポーランド	ヤギェウォ大学東洋語学研究所日本・中国語学科	102
69	モルドバ	モルドヴァ国立大学	61
70	ラトビア	ラトビア大学現代言語学部東洋学科	49
71	リトアニア	リトアニア科学アカデミー図書館	30
72	リトアニア	ヴィリニユス大学国際関係政治問題研究所図書館	32
73	ルーマニア	バベシュ・ボヨイ大学	29
74	ルーマニア	ヒペリオン大学	34
75	ロシア	極東国立工科大学	33
76	ロシア	サンクトペテルブルク人文労働組合大学	13
77	ロシア	極東国立学術図書館	32
78	ロシア	サハリン州立図書館	44



欧州・中東・アフリカ交流事業費

	国	機関	部数
79	ロシア	科学アカデミーアジア・アフリカ文献部	43
80	ロシア	ロシア国立図書館	82
81	ロシア	イルクーツク日本情報センター	22
82	アフガニスタン	カブール大学	91
83	アラブ首長国連邦	ザーイド大学	98
84	イスラエル	ティコティン日本美術館図書資料室	36
85	クウェート	クウェート大学社会科学部	20
86	シリア	ダマスカス大学文学部日本語学科	63
87	トルコ	土日基金文化センター	43
88	トルコ	チャナッカレ3月18日大学	23
89	トルコ	アンカラ大学	85
90	ヨルダン	ヨルダン大学図書館	98
91	ヨルダン	王立芸術協会	20
92	エジプト	アレキサンドリア図書館	48
93	エジプト	アインシャムス大学外国語学部	20
94	エチオピア	エチオピア外務省	51
95	ガーナ	レゴン国際センター	99
96	ガボン	国立図書館	98
97	ジンバブエ	ムジリイカジイ記念図書館	98
98	ナイジェリア	オラビシ・オナバンジョ大学	98
99	モザンビーク	エデュアルド・モンデラーネ大学法学部	95

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 日米知的交流推進費

1. 人物交流事業費
  - (1) 安倍フェローシップ
2. 催し等事業費
  - (1) 日米知的交流（助成）
  - (2) 日米知的交流事業
  - (3) GP研究協力（助成）
  - (4) GP研究協力事業

## 日米知的交流推進費

### 1. 人物交流事業費 (1) 安倍フェローシップ

グローバルな課題、先進国に共通の問題、または日米関係の緊密化を図る課題を、現代的、政策指向的かつ国際的視野から研究を行なう日本と米国の研究者に研究奨学金を支給するプログラム。米国社会科学研究評議会（SSRC）と共同で運営しており、米国学術団体評議会（ACLS）の協力を得ている。

合計額 222,007,939円

	氏名	現職	事業内容
1	CALDER, Kent E.	ジョンズ・ホプキンス大学SAIS ライシャワーセンター教授	基地政治：日韓における配置をめぐるホスト国家の比較政治
2	CHAN-TIBERGHIE, Jennifer	ハーバード大学日米関係プログラム 上級研究フェロー	グローバル化と大学統治改革：日仏比較研究
3	EZAWA, Aya	スワースモア大学社会学・人類学 部客員助教授	福祉から職場へ：日米におけるシングルマザーと社会福祉改革
4	IBATA-ARENS, Kathryn	デュポール大学政治学部助教授	日米における技術革新の地域政治経済：新しい政策モデルとは
5	JOINES, Douglas	南カリフォルニア大学金融・ビジネス 経済学部教授	日米の高齢化、社会保障、金融政策および貯蓄に関する研究
6	MEIERHENRICH, Jens	ハーバード大学行政学部講師	国際犯罪に対する個人の責任とは
7	MORIGUCHI, Chiaki	ノースウェスタン大学経済学部助 教授	日米の雇用システムの政治史的起源：1900-2000の比較制度分析
8	SOLIS, Mireya	アメリカン大学国際学部助教授	貿易をめぐる日本の新地域主義と東アジア
9	高原明生	立教大学法学部教授	1970年代後半以来の日米中関係
10	中山洋平	東京大学大学院法学政治学研究科 助教授	社会運動の政策過程への影響：米仏日における新しい入国管理政策の比較研究
11	古城佳子	東京大学大学院総合文化研究科教 授	課題関連問題のガバナンス：知的財産権体制と国際的公衆衛生の関係
12	廣瀬昌博	京都大学医学部附属病院安全管理 室室長	医療事故を引き起こす諸要因の日米比較
13	宮岡勲	大阪外国語大学国際文化学科助教 授	冷戦後の日米同盟下での集団的アイデンティティの形成

## 2. 催し等事業費 (1) 日米知的交流 (助成)

日米両国を中心とする専門家による知的対話に係るセミナー・シンポジウムなどを支援する。

合計額 37,192,345円

	事業名	団体	期間	事業内容
1	対話助成：東京工業大学「機構改革への可能性を求めて」(成果普及フェーズ)	東京工業大学大学院社会理工学研究科	04.05.01～ 04.07.31	世界環境機構の創設を含む様々な構造変革オプションを研究するとともに、各国および国連機関の政策担当者の間でこの問題についての理解を深めることを目的とした2カ年の政策指向型研究の成果普及フェーズ。NY国連本部での成果発表を支援
2	EWC・EWCA 2004国際会議 (小規模グラント)	EWC・EWCA 2004年国際会議開催実行委員会	04.08.01～ 04.10.31	East-West Centerにて教育、研究に携わった専門家が結成した同友会のメンバーが日本に終結し、アメリカ、日本を含む環太平洋諸国間の将来のあるべき姿を探求、構築すべく、研究成果を発表。なお、この発表にあわせ、論文集も作成される
3	対外知的発信支援ネットワーク設立準備ワークショップ	スタンフォード日本センター・京都日本研究センター	05.03.18～ 05.03.18	社会科学、人文科学分野の日本人学者、研究者、著述家、評論家の国際的知的対話・交流への参加を阻害している要因を分析し、それを解決するためにどのような活動を展開すべきかを検討するワークショップを開催
4	対話助成：日米文化振興会安全保障研究所「日米安全保障戦略会議」	社団法人日米文化振興会安全保障研究所	04.03.01～ 04.06.30	日米の安全保障政策の問題点を検証研究し、合理的な見地に立った政策提言を行なうことを目的とし、ヘリテージ財団との共催で行なわれた対話事業。日本の国会議員グループ(超党派構成)が訪米し、米国の連邦上下院議員、政府高官、安全保障・日米関係の有識者らと討議
5	対話助成：太平洋フォーラム CSIS「日米中のより強力な関係基盤の構築に向けて」(2年目)	太平洋フォーラム(戦略・国際問題研究所)	04.03.01～ 05.02.28	東アジアの安全保障に関する日米中3カ国の3年間の対話プロジェクト。日本側は平和・安全保障研究所、中国側は中国現代国際関係研究所がカウンターパート
6	対話助成：ケース・ウェスタン・リザーブ大学「異文化間の臨床生命倫理の対話を広げて：日本・米国の倫理委員会と協議政策」(1年目)	ケース・ウェスタン・リザーブ大学	04.04.01～ 05.03.31	日米ともに臨床生命倫理の問題の根本として考えられる、病院の「倫理委員会」と「倫理協議」について日米比較研究と政策立案を行なった。1年目は、日本の医療の現場において「倫理協議政策」がどのように行なわれているのかの現状調査し包括的なデータ収集をすることを活動の中心に据えた
7	知的交流小規模グラント(NY分)	NY日米センター	04.09.01～ 05.03.31	今年度より開始した小規模グラントプログラムのうち、3件の米国内案件を採用。「入江昭教授退官記念シンポジウム」(ハーバード大学)、「A Regional Discussion of the Six-Party Process: Challenges and Opportunities」(北朝鮮に関する国家委員会)、「Bridging Strategic "Asia": The Rise of India in East Asia, and the Implications for the U.S.-Japan Alliance」(戦略・国際問題研究所)

## 日米知的交流推進費

	事業名	団体	期間	事業内容
8	対話助成：ウッドロー・ウィルソン国際学術センター「水資源に関する日米パートナーシップの形成：中国における持続可能な河川流域のガバナンスに向けて」(2年目)	ウッドロー・ウィルソン国際学術センター	04.10.01～ 05.04.30	水をめぐる様々な紛争のよりよい解決のメカニズムを求めて、特に中国に焦点をあてながら発展途上国全般に対する日米共同支援のあり方について検討を行なう2カ年計画のプロジェクト。日米中の研究者・実務家が集まり、日米中各地にてのスタディーツアーを実施、その結果をまとめるワークショップを実施
9	対話助成：アメリカ外交政策ナショナルコミッティ「米日関係及び東アジア：北東アジア安全保障フォーラムに向けて」	アメリカ外交政策ナショナルコミッティ	04.10.01～ 05.09.30	東アジア、特に北東アジアの外交政策エリートの間、安全保障の対話を多国間化するべく、知的サポートを促進する目的で、東アジア専門のトップ官僚、政策アナリスト、著名な学者、ビジネス界のメンバーを集めて、この地域の危険性、懸念、機会について議論させ、最終報告書および政策勧告を作り、北東アジアの多国間安全保障フォーラムを構築する土台の一助に資するプロジェクトである
10	Changing Visions: Japan's New Innovation (小規模グラント)	ジャパンソサエティ	04.11.01～ 05.03.31	2007年にJapan Society, N.Y.は100周年事業の一環で、日本、米国、アジアのイノベーターによる対話、シンポジウム、ネットワーク作りを3年プロジェクトとして実施するが、その準備を本年度実施。具体的には、日本、米国において、情報提供者、参加候補者、協力機関のリサーチ、協議を行なった
11	対話助成：未来資源研究所(RFF)「日米の気候政策」	未来資源研究所	04.11.01～ 05.10.31	日米の気候政策について、専門家、政策関係者等を集め計2回のWorkshopを行ない、相互理解推進を図るという対話プロジェクト

## 2. 催し等事業費 (2) 日米知的交流事業

日米両国を中心とする専門家による知的対話に係るセミナー・シンポジウムなどを実施する。

合計額 37,504,398円

	事業名	期間	事業内容
1	主催セミナー（日米交流150周年）	04.02.09～ 05.03.31	日米交流150周年を記念した公式シンポジウムのインターネット動画配信を実施
2	CGP-SSRCセミナーシリーズ	04.04.01～ 05.03.31	安倍フェローシップ・プログラムの一環として、フェローの研究活動の促進やフェロー間のネットワーク強化を目的として行う事業。現役フェローが情報・意見交換を行なう「フェロー・リトリート」と、特定の専門的テーマの下で外部専門家の参加も得て行なう「ワークショップ」とで構成
3	JCIE日米青年政治指導者交流プログラム	04.08.01～ 05.02.28	日米両国の将来の政治指導者となる若手の訪日、訪米交流を行ない、長期的視野から日米関係の基盤を強化
4	共催セミナー（ジャパン・ソサエティ）	03.10.01～ 04.06.30	ジャパンソサエティと共催で、日米関係に関する国際会議を開催（2003年度実施）
5	グラント共催セミナー	04.04.01～ 05.03.31	グラントとの共催セミナー。年間で数件実施。国際交流基金国際会議場、日米センター大会議室等を提供
6	日本における米国研究支援	04.04.01～ 05.03.31	日本の米国研究の歴史と現状の分析するためのフィージビリティ・スタディーを実施
7	米国アジア系知識人マッピング調査	04.04.01～ 05.03.31	将来の日米間の対話の担い手となり、また米・アジア関係に大きな影響力を及ぼしうる米国のアジア系知識人を俯瞰するマッピング調査を実施
8	フェローシップ実務家ワークショップ	04.04.01～ 05.03.31	フェローシップ運営団体の実務家を対象としたワークショップとブ라운・バッグ・ランチ（BBL）の報告書作成
9	日本-日系人交流（16年度）	04.04.01～ 05.03.31	日系アメリカ人グループを招へいし、各界日本人との対話、公開シンポジウム、図書・報告書出版を通じて、日米相互理解の増進と長期的な関係強化を図った
10	日本-日系人交流（15年度）	04.04.01～ 05.03.31	平成15年度に実施した日系アメリカ人招へい事業およびシンポジウムの報告書を作成、配布

## 日米知的交流推進費

2. 催し等事業費	(3)GP研究協力（助成）
-----------	---------------

日米両国を中心とする専門家による政策指向型共同研究に係るセミナー・シンポジウムなどを支援する。  
合計額 87,099,891円

	事業名	団体	期間	事業内容
1	研究助成：競争法研究協会「APEC諸国における不正競争法制」（1年目）	競争法研究協会	03.03.01～ 04.06.30	日・米・APEC諸国の不正競争法とその実態を比較研究することにより、不正競争問題の理論的枠組を提示し、APEC諸国における市場機能強化に資することを目的とする2カ年の研究事業。不正競争法と競争法の分担や協働が曖昧であることが多いため、双方の統一的把握を試みた
2	研究助成：東京大学先端科学技術研究センター「日米都市エコシステム・イニシアティブ」（2年目）	東京大学先端科学技術研究センター	04.03.01～ 04.12.31	現代都市の大規模かつ複雑な環境問題の解決には新たな科学的知見が必要とされているという認識の下、APEC地域を対象として、日・米・アジアの学者を中心とするグループが統合的環境科学とそれに基づく政策のあり方を論じようとする2カ年のプロジェクト
3	研究助成：日本国際交流センター「戦後の日米関係の発展とフィランソピーの役割」（2年目）	財団法人日本国際交流センター	04.03.01～ 05.03.31	第二次世界大戦終了時から1970年代中ごろまでを考察の期間とし、日米知的交流分野、日本の再建と国際社会への参画、および日米関係の強化に関係する諸分野に対する米国民間フィランソピーの役割を検討するプロジェクト
4	研究助成：東京経済研究センター「超低インフレ下の金融政策」	財団法人東京経済研究センター	04.04.01～ 04.12.31	過去15年間の日本経済および金融政策について検討し、学問的意義のみならず、日米の今後のマクロ経済政策においてもインパクトを与えようとするもの。日米の経済学者を招いて研究・会議を行ない、最新の研究成果の発表と議論を通じて現在日本が直面する経済的な新現象についての理解を深めた
5	研究助成：広島大学教育開発国際協力研究センター「開発教育協力における日米の大学の新しい役割を求めて」	広島大学教育開発国際協力研究センター	04.04.01～ 05.03.31	より効果的な海外援助のためのひとつの視点として、日米の大学が共同して途上国の持続可能な開発において教育分野に果たし得る役割を検証した。二国間・多国間援助団体と高等教育機関との連携を強める方法を検証
6	研究助成：国際大学グローバル・コミュニケーション・センター「日本のソフトパワーの総合的分析－アジア・欧米との比較」（1年目）	国際大学グローバル・コミュニケーション・センター（グローコム）	04.04.01～ 05.03.31	日本からより有効な情報発信をするために、文化・社会の魅力度や好感度を示すソフトパワーの総合的な分析を行なう。日本、アジア、欧米諸国を対象にソフトパワーのマクロ的な概念とミクロ的な概念を整理し、それらの統合を試みるとともに、指標に基づいたデータ分析を行なった

	事業名	団体	期間	事業内容
7	研究助成：平和・安全保障研究所「日米同盟と豪州－9.11後のアジア太平洋地域における新しい戦略枠組を求めて－」（1年目）	財団法人平和・安全保障研究所	04.04.01～ 05.03.31	アジア太平洋地域の戦略環境の変化を念頭に置きながら、日米同盟と豪州の協力関係を考慮し、将来の日米同盟のあり方について政策提言を目指す1.5年間の研究プロジェクト。研究の主眼は(1) 9.11後の日米同盟が目指す地域安全保障協力の目的、(2) 日米同盟と地域的機構および多国間機構との関係、(3) 日米豪の協力関係促進の具体的措置、の3点
8	研究助成：静岡総合研究機構北東アジア研究所「朝鮮半島の将来と日米協力」（2年目）	静岡総合研究機構北東アジア研究所	04.04.01～ 06.02.28	北朝鮮をめぐる安全保障上の問題を日米両国の協力を通じて解決に導く方途をさぐることを目的とした2か年の研究プロジェクト。第2年目には中国、ロシア、韓国での現地調査を実施、2004年10月に再び東京において課題への対処方法を議論し政策報告を明示するための国際会議を開催、その結果を踏まえて日米両国政府に政策提言を行なった。最終的にはプロジェクトの成果をまとめた政策指向型の単行本を日本語と英語で同時に出版
9	研究助成：慶應義塾大学東アジア研究所「二つの二国間関係－日米関係と英米関係の比較と展望」（1年目）	慶應義塾大学東アジア研究所	04.04.01～ 07.03.31	圧倒的に強力な同盟国アメリカとの関係は、どのように管理されるべきなのか。9.11事件およびイラク戦争後の新たな国際環境下での日米同盟の現状と将来像について、英米関係との比較によって斬新かつ奥深い示唆を得ようとする3年間の研究プロジェクト。各ワークショップの結果を報告書にまとめるとともに、5回のワークショップを総括した報告書を作成
10	研究助成：東アジア共同体評議会「「東アジア共同構想」とリージョナル・ガバナンスの新たな展開」（1年目）	東アジア共同体評議会	04.10.01～ 07.09.30	「東アジア共同体」に関し、政治経済ほか多方面からの検討を試みる事業
11	研究助成：RFPブックプロジェクト（IIE）	国際経済研究所（IIE）	04.04.01～ 05.03.31	IIEのC.マン氏の「Global Sourcing, Information Technology, and Economic Performance」と題する書物執筆事業。執筆に際しては同分野の専門家からなるアドバイザー・コミッティーからのレビューを受けた
12	研究助成：RFPブックプロジェクト（UCアーバイン校）	カリフォルニア大学アーバイン校	04.04.01～ 05.03.31	UCアーバイン校のE.ソリンゲン氏の「Nuclear Claimants: Contrasting Trajectories in East Asia and the Middle East」と題する書物執筆事業。執筆に際しては同分野の専門家からなるアドバイザー・コミッティーからのレビューを受けた
13	研究助成：RFPブックプロジェクト（バージニア大学）	バージニア大学	04.04.01～ 05.03.31	バージニア大学L.J.ショッパ助教授の、「Race for the Exits: Women, Firms, and the Unraveling of Japan's System of Social Protection」と題する研究に対する助成事業。研究成果の大学出版会からの出版を目指した



日米知的交流推進費

	事業名	団体	期間	事業内容
14	研究助成：タフツ大学フレッチャー・スクール附属外交分析研究所「TCOGを超えて：同盟マネジメントの方法としての日韓米三国調整グループ(TCOG)からの展望」(1年目)	タフツ大学	04.01.01～ 05.07.31	日韓米の参加者が、極めて今日的な三カ国協調の様子を、これまでのTCOGの実際の意思決定メカニズムを政策決定者への直接のインタビューによって具体的に解明していくという研究事業
15	研究助成：ミシガン大学「日本、米国、そして国際経済：研究の新たな方向性」(2年目)	ミシガン大学	04.10.01～ 05.09.30	グローバルなインプリケーションを持つ日米の経済・通商課題に関し、(1)「国際経済関係と構造変化：日米の課題と政策オプション」(2)「マクロ・金融課題と国際経済関係：日米の課題と政策オプション」をテーマに国際会議を開催し、書籍発行を目的とする2カ年の研究事業
16	研究助成：ジョージワシントン大学国家安全保障公文書館「1969年から現在までの米・日・朝鮮半島：三国の政策策定における教訓と将来の目標の探索」(1年目)	ジョージワシントン大学国家安全保障公文書館	04.10.01～ 07.09.30	1970年代以降の朝鮮半島に関する、米、日、韓の外交および安全保障政策策定と施行に関する、複数年の研究プロジェクト
17	研究助成：タフツ大学フレッチャー・スクール附属外交分析研究所「TCOGを超えて：同盟マネジメントの方法としての日韓米三国調整グループ(TCOG)からの展望」(2年目)	タフツ大学フレッチャー・スクール附属外交分析研究所	05.01.01～ 05.11.30	日韓米の参加者が、今日的な3カ国協調の様子を、TCOGの実務関係者へのインタビューを通じて検証し、分析・報告する2年間の研究プロジェクト
18	研究助成：東西センター「地殻変動：アジア太平洋における米軍のプレゼンスに関する駐留国の国内政策」(2年目)	東西センター	05.02.01～ 06.01.31	日本、韓国、フィリピンおよびオセアニアにおいて、駐留米軍が当該国の政治体制の変化にいかなる影響を受け、また同盟政策がいかに市民の関心に対応できるかどうかを検討する2カ年の研究プロジェクト

## 2. 催し等事業費 (4)GP研究協力事業

日米両国を中心とする専門家による政策指向型共同研究に係るセミナー・シンポジウムなどを実施する。  
合計額 11,640,795円

	事業名	期間	事業内容
1	RIPS安全保障研究奨学プログラム	04.04.01～ 05.03.31	日本における安全保障分野でのグローバルな視野を持つ優秀な若手研究者の育成を目的に、この分野に関心を持つ比較的若い研究者に対し、研究費の支給および研究セミナーの開催を通じて、専門的研究を支援する1期2年間の奨学プログラム

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 日米市民対話推進費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 日米センターNPOフェローシップ
- (2) JOI (Japan Outreach Initiative) プログラム

### 2. 催し等事業費

- (1) 日米市民交流 (助成)
- (2) 日米「教育を通じた相手国理解促進」(助成)
- (3) 地域活動促進 (小規模助成)
- (4) 日米草の根交流推進事業

### 3. 文化資料事業費

- (1) 日米「教育を通じた相手国理解促進」

## 1. 人物交流事業費 (1)日米センターNPOフェローシップ

日米間の架け橋になり国際的に活躍できる次世代の担い手（人材）を育成するとともに、日本の民間非営利セクターの基盤強化を図ることを目的として、日本の非営利セクターに従事している中堅層に、米国のNPOで中長期のマネジメント実務研修機会を提供。

合計額 13,396,087円

	氏名	現職	受入団体	期間	事業内容
1	HUNT, Marshall	Director, Tax Assistance Program, Volunteer Accounting Service Team of Michigan	NPO会計税務専門家ネットワーク	04.03.06～ 04.09.13	NPOの視察（札幌、神戸、東京）、会計専門家等との交流会（札幌、神戸、東京）、一般公開のフォーラム（東京）
2	井上英之	特定非営利活動法人 ETIC.プロデューサー	Social Venture Partners International	05.03.12～ 05.09.11	ベンチャーフィランソロピー（社会起業向け投資）の経営とパフォーマンスマネジメント
3	川上豊幸	特定非営利活動法人 AMネット事務局長	International Forum on Globalization	04.10.09～ 05.10.08	成果を導く効果的なプロジェクト・マネジメントと資金管理
4	設楽清和	パーマカルチャー・センター・ジャパン事務局長	Isles, Inc. Ecovillage Training Center	03.12.02～ 04.11.20	NPOの社会的な位置づけと資金調達方法
5	柴田直代	ブラジル情報センター	Huckleberry Youth Programs	03.11.07～ 04.06.06	外国人労働者子弟の教育、非行防止、再犯防止、保護観察について
6	谷裕子	Rape Crisis Survivors Net Kansai事務局長	Bay Area Women Against Rape	05.03.29～ 06.03.15	コミュニティで作る支援－性暴力被害者サポート

## 1. 人物交流事業費 (2)JOI (Japan Outreach Initiative) プログラム

日本との交流の機会が比較的少ない地域における対日関心の喚起や日本理解の促進および、草の根交流の担い手育成を目的に、ボランティアとして草の根交流のコーディネーターを米国に派遣する。

合計額 20,391,870円

	氏名	研修先団体	期間
1	小阪田佳子	サウスイースト・オリガミ・スミス・アカデミー（ノースカロライナ州）	2002.07～2004.08
2	倉辻厚子	中部テネシー州立大学日米プログラム（テネシー州）	2002.07～2004.08
3	久田かおり	アラバマ日米協会（アラバマ州）	2002.07～2004.08

## 日米市民対話推進費

	氏名	研修先団体	期間
4	鈴木丈夫	アーカンソー日米協会（アーカンソー州）	2003.07～2005
5	徳田淳子	ミシシッピー・カレッジ（ミシシッピー州）	2003.07～2005
6	高橋祐子	ジョージア日米協会	2004.08～2006.07
7	福原くみこ	ケンタッキー日米協会	2004.08～2006.07
8	横野由起子	タルサ・グローバル・アライアンス／オクラホマ東アジア教育インスティテュート（2団体共同受け入れ）	2004.08～2006.07

### 2. 催し等事業費 (1)日米市民交流（助成）

日米両国の市民が、対話を積み重ね相互理解を深めていくこと、また、共通の課題への共同の取り組みを通じて世界に貢献していくことを期待し、その趣旨に合致した草の根レベルの交流プロジェクトや一般市民への知識の普及活動を支援する。

合計額 83,049,519円

	事業名	団体	期間	事業内容
1	AFS日本協会50周年記念パネルディスカッション	財団法人エイ・エフ・エス日本協会	04.02.01～05.01.31	2004年11月、東京にて、日米両国のパネリストにより、「若者の国際交流を考える－高校生留学の意義」と題されたディスカッションを開催。高校生留学の50年を振り返り、日米関係を基軸として世界に広がる今後の国際交流・国際関係の中で若者、特に高校生留学の果たす役割、またそのあるべき姿をさぐった。また、議論の様子は新聞紙上掲載とテレビ放映で、広く一般に公開された
2	2004年模擬国連会議全米大会第21回日本代表団派遣事業	日本国際連合学生連盟模擬国連委員会	04.03.01～04.06.13	2004年4月にニューヨークで行なわれた模擬国連会議全米大会に、日本から大学生12名の代表団が訪米し、米国ボーリング・グリーン州立大学とともにオーストラリア担当として参加した。ほか、訪米の前後に勉強会、中間発表会、研究発表会、帰国報告会なども行なわれた
3	日米の草の根NPO強化に向けた協働型支援基盤の構築（2年目）	パブリック・リソース・センター	04.03.01～05.03.31	市民社会の創造のために社会変革を担う草の根NPOを強化するべく、地域のNPO支援センター、専門的技術支援組織、資金提供組織等が連携して、資金調達、マーケティング、理事会運営、中・長期的戦略の策定等の専門的技術支援を提供する「協働型支援基盤」モデルを、日米の連携のもとで実現しようとする2カ年事業。2年目は、同モデルの検証実験を実施したうえで、その評価・改善に基づく「実現モデルおよびマニュアル」の作成を目指した。米側の主要な協力団体は、草の根団体に対する協働型支援を先駆的に実践している Environmental Support Center
4	ふるさとの環境を守る日米の中学生フォーラム	朝倉村国際交流会	04.03.22～04.05.31	「環境」をテーマにした青少年交流事業。2004年3月、愛媛県朝倉村立朝倉中学校の生徒14名が、カリフォルニア州サンノゼを訪問、同地の中学生と「ふるさとの環境を守る日米の中学生フォーラム」を開催した。そこでは、学校教育および地域におけるボランティア活動として行なわれている環境保護活動について発表し、地球環境を守るために中学生として何をすべきかについて意見交換を行なった

	事業名	団体	期間	事業内容
5	「障害のある人」の人権をめぐる日米社会の現状分析・比較検証から、アジア・太平洋社会へのアウトリーチ（1年目）	LADD 障害をもつ人の権利	04.04.01～ 05.05.31	日米それぞれの社会で障害者の人権がどのように保障されているかを分析し、両者を比較・検証したうえで、障害者の人権の新たなパラダイムを追究し、その結果をアジア・太平洋地域へも広めようとする2カ年事業。1年目は、ニューヨークで日米NGO交流討論、東京で日米NGO交流セミナーが行なわれた
6	ペアレント・プロジェクト セミナー	財団法人岩手県国際交流協会	04.04.01～ 05.03.31	教育を切り口とする日米間の交流事業。学校と保護者や地域が一体となって子供の教育に参画する米国の教育手法「ペアレント・プロジェクト」を日本で推進するため、2004年7月に岩手の保護者や教員10名が訪米し、ウィスコンシン州で開かれた研修会「ワルーン・セミナー」に参加したほか、シカゴらのペアレント・プロジェクト実践者と交流した。帰国後に、PTAや保護者、教員、地域住民を対象としたセミナーの実施やビデオ・報告書の作成、頒布を通じて普及活動を展開した
7	サービスラーニング事業：インターネット交流と成果普及フェーズ	特定非営利活動法人浜松NPOネットワークセンター	04.04.05～ 05.04.30	2003年度、NPOと小学校が実施したサービス・ラーニング（SL）のパイロット・プロジェクトの成果（事業モデル、カリキュラム）に基づき、米国との交流や成果の普及を図るプロジェクト。日米の小学校が、それぞれ地元で実施しているSLの活動についてインターネットで情報交換し、2005年3月にカリフォルニア州で開催された全米SL大会でその成果を共同発表した。一方、同月、米側協力団体「Youth Service California」等から専門家を招聘し、浜松市で日米フォーラム「子どもの学びを支えるしくみ」を開催、日米それぞれのSL事例の紹介を行なった
8	「子育ての知恵と楽しさ」を伝える日米NPOの交流プロジェクト	自然育児友の会	04.10.01～ 04.12.31	2004年11月、テネシー州ナッシュヴィルのNPO「Attachment Parenting International」から事務局長Lysa Parker氏およびZan Buckner氏を招へいし、講演会を2回、研修合宿、および母親たちのためのサポートグループに参加する形での交流会を開催した。テーマは、母と子の絆作りを大切にしたい子育て理念・手法並びに子育て支援NPOの運営手法
9	日米都市課題解決プロジェクト	ひろしまNPOセンター	04.10.01～ 04.12.31	第1回日米都市サミットが広島で開催されるのに合わせ、日本のNPOの組織基盤強化、日米NPOのネットワーク構築を目的に、ピッツバーグの団体「Sustainable Pittsburgh」および「Conversations for Common Wealth」からそれぞれ団体の長を招へいし、日米NPOの交流事業を実施した
10	日米NPOサミット「先達に聞く！NPOネットワークと社会構築」	NPOふくおか	04.11.01～ 05.02.28	2005年2月、カリフォルニア州サニーヴェールのNPO「Institute of Computer Technology」から事務局長Ann Wrixon氏を招へいし、シンポジウム、意見交換会、および福岡県内NPOやコミュニティ・ビジネス団体への視察を実施した。テーマは、ITを利用した米国のNPOのネットワークづくりの歴史や事例の紹介

日米市民対話推進費

	事業名	団体	期間	事業内容
11	メインストリートプログラムに学ぶ、歴史と文化を活かした粋な街・神楽坂のまちづくり	粋なまちづくり倶楽部	04.11.01～ 05.02.28	2005年1月、ノースカロライナ州シュルビーの市長W.Ted Alexander氏およびカリフォルニア州サン・ルイ・オビスポの団体「San Luis Obispo Downtown Association」のDeborah Cash氏を招へいし、公開シンポジウム、関係者とのディスカッション、活動の現場視察を実施した。テーマは、「メインストリートプログラム（中心市街地の歴史的建築保全と地域の経済活性化を両輪とした包括的な手法）」
12	日米共通の課題「NPOの信頼性」に関する日米の専門家による対話を通じた現状分析、解決へ向けたネットワークの構築(1年目)	シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会	04.11.01～ 05.10.31	日米共通の課題であるNPOの信頼性確保に関し、日米の専門家が対話を通じて現状を分析し、解決に向けてネットワークを構築しようとする2カ年事業の1年目。日本で研究会を開催、現状分析、関係者へのインタビューを実施を行なう一方、米国では事例調査が行われている。2005年9月には、日本側研究会メンバーが訪米、関係者や関係団体と意見交換した
13	阪神淡路大震災10周年記念日米経験交流事業「米国災害予防トレーニングと国際災害救援の経験から学ぶ」	東京いのちのポータルサイト	04.11.15～ 05.02.15	2005年1月、カリフォルニア州オークランドのNPO「Collaborating Agencies Responding to Disasters (CARD)」の事務局長Ana-Marie Jones氏、および同州サンフランシスコのNPO「American Friends Service Committee」の平和構築部地域次長を招へいし、研修会を開催するとともに、首都圏、中京圏、京阪神各地で災害予防や災害救援活動をしている非営利団体訪問を実施した。テーマは、地域の災害予防および国際的な災害救援協働
14	生涯現役社会づくりプログラム開発：日米東アジアの比較と協力（1年目）	東アジアセンター・オン・エイジング	04.12.01～ 05.06.30	高齢者の積極的な社会参加を促すアクティブ・エイジング・プログラムについて、日本とハワイにおける状況を調査・把握し、東アジア（特に中国と韓国）における同プログラムの開発に協力する態勢を整える3カ年プロジェクト。1年目は、2005年3月、関係国から専門家を招へいして福岡等においてシンポジウム、ワークショップ、現地視察を行ない、日米共通の課題の抽出を図った
15	2005年模擬国連会議全米大会第22回日本代表団派遣事業	模擬国連委員会	05.02.20～ 05.06.19	2005年3月にニューヨークで行なわれた模擬国連会議全米大会に、日本から大学生11名から成る代表団が訪米し、米国イリノイ州立大学とともにオランダ担当として参加した。ほか、訪米の前後に勉強会、中間発表会、研究発表会なども行なわれた
16	フォーカス・オン・ジャパン	パブリック・ラジオ・インターナショナル	03.07.01～ 05.03.31	米国公共ラジオ放送ネットワークによる、日本に関する報道を増やす試み。「The World」および「To the Point」という2つの番組で、日本に関するニュースや話題が取り上げられた。経済、政治や教育問題等、テーマ性に富んだ報道を通して、聴取者の日本や日米関係に対する関心を喚起した
17	第56回日米学生会議	日米学生会議	03.10.01～ 04.09.30	日米両国の学生80名が、2004年7月から8月の約1カ月間にわたって米国内（東西センター、ミルズ・カレッジ、ジョージワシントン大学、プリンストン大学）を移動しながら、「今、再考の時－日米関係と私たちの使命」を全体テーマとして、二国間の問題、さらには世界全体に関わる様々な問題について、8つの分科会で議論を行なった。今回は、OB・OG会が初めて同時開催され、過去の参加者によるパネル・ディスカッション、全体合同討論会をおし、世代を超えたネットワーク形成が目指された

	事業名	団体	期間	事業内容
18	グリーンマップ アトラスVol.1 の共同制作	グリーンマップ システム	03.11.01～ 05.01.31	グリーンマップとは、一般市民の手によって、自然環境の他、文化関連、生活関連、そして環境汚染源まで、身近な環境を世界共通のアイコン（絵文字）で表した地図を作る活動。本事業では、日米およびアジア地域の計10カ所で制作されたグリーンマップに、解説を加え、和英併記のアトラスの第1巻がCD-ROMで制作された。アトラスでは、制作されたそれぞれの地図の他、グリーンマップの制作方法や地域にもたらされた成果、持続可能な地域社会のためのアイデアなどが紹介されている。日米両国で、多様な層に対する普及活動も実施された
19	New Perspectives: Japan	ローラシアン協 会	04.01.01～ 04.12.31	2004年6月から7月にかけて、全米から募られた中・高校生が、教員の引率により7人以上のグループで訪日し、東京（2日間）および京都（3日間）のスタディ・デイ、学校訪問およびホームステイ（8泊9日）を行なった。今回の参加者は生徒・教員計203名。研修の全過程を通じて、一義的に引率教師が生徒を指導・監督することが特徴。事前研修は、主催者が用意した6つのテキストからグループごとに1つを選択し、それに基づいて教師が自由に研修を組み立てた。事後研修も、申請者が用意した評価シート等をもとに、それに各校でのプレゼンテーションを行なうなど、自由に組み立てた
20	企業退職者のた めのボランティ ア・プログラム －日米比較から の視座－（1年 目）	ボランティアー ズ・オヴ・アメ リカ	04.04.01～ 05.03.31	退職者を対象とした企業のボランティア・プログラムに関する2カ年の研究・交流プロジェクト。大阪ボランティア協会、ボストン・カレッジ、日米コミュニティ・エクステンジ（JUCEE）との協力の下、1年目は、米国において企業に対するリサーチを行ない、日本における同様のリサーチの準備を行なう一方、2004年11月、大阪ボランティア協会ほかから6名が訪米し、両国の状況やリサーチ結果の有効活用について意見交換・議論を行なった
21	ワーキング・ ウィメンズ・ ネットワーク（1 年目）	ウェイン・ス テート大学	04.05.01～ 05.01.31	日本の「働く女性」は既存の枠組みを超えて新しい組織（NPO）を結成し、米国においては既存の組織の中で新たなネットワークを形成している。このような違いを踏まえて、日米の「働く女性」からなるNPO、労働組合のネットワーク形成を目的とする2カ年計画のプロジェクト。1年目には、デトロイトで第1回ワークショップを開催したほか、東京にて公開セミナーを実施した
22	高校生の視点か ら考えるグロー バル時代の日米	フィラデルフィ ア国際問題評議 会	04.10.01～ 06.04.30	米国フィラデルフィアの高校生の訪日事業。テキスト「The Heritage of Japanese Civilization」を用いて事前学習が行なわれた後、2005年夏に高校生12名が2週間訪日研修を行ない、神戸、京都、松江、広島を訪問する予定。各訪問地で現地の高校生と共にディスカッションやホームステイを行なって、交流を深めた。帰国後、同年秋に「honors seminar」を開催し、プロジェクトに参加した高校生が研修で得た知見や経験を地元の高校生らと分かち合った
23	日米高校生の相 互交流：日米の 現代社会問題を 考える	アメリカン・ フォーラム・ フォー・グロー バル・エデュ ケーション	04.10.01～ 05.09.30	様々な社会問題の解決方法を模索して日米両国の高校生が協働する青少年交流プロジェクト。2005年2月から3月にかけて、日米双方から各14名の高校生がそれぞれ相手国を訪問、ホームステイ、学校訪問、コミュニティサービスなどのプログラムに参加した。研修前後には、事前・事後活動が行なわれ、日本側参加者訪米時にはニューヨークで成果報告シンポジウムも実施された



## 日米市民対話推進費

	事業名	団体	期間	事業内容
24	精神障害者の就業支援についての成功例を広めるための日米ネットワーク構築事業（1年目）	Horizon House, Inc.	04.11.01～ 05.10.31	精神障害者に対する就業支援の分野において日米間のネットワークを構築しようとする2カ年事業。成功事例を扱ったビデオも制作される。1年目には、2005年1月、日本から協力団体「ほっとハート市川」等から4名が訪米、ホライゾン・ハウス等を訪問して関係を深めた。今後はさらに日本でのビデオ撮影が行われる予定

### 2. 催し等事業費 (2)日米「教育を通じた相手国理解促進」(助成)

日本においては米国に関する、米国においては日本に関する相手国理解促進のための、主として初等・中等教育レベルを対象としたアウトリーチ（知識の普及）活動やカリキュラム開発などを支援する。

合計額 48,895,777円

	事業名	団体	期間	事業内容
1	多文化社会米国理解教育の教材開発と実践	多文化社会米国理解教育研究会	03.06.01～ 05.03.31	米国の「多文化社会」に焦点をあてた小中高生向けの米国理解教材を開発するプロジェクト。総合的な学習を中心に、社会、英語、音楽で実践可能な教科を超えた教材として開発を行なった。カリキュラムを開発した後、手にとって触れられる体験型教材や写真等で構成される教育キットを作成し、試行した。最終的に、カリキュラムと教育キットを授業案や資料とともにトランクケースにまとめ、トランクごと学校へ貸し出す「貸し出し教材」のモデル化を図った。プロジェクト成果は学会等で発表し普及に努めた
2	日本の中学生・高校生を対象とした米国理解教材の開発とその普及（2年目）	米国理解研究会	03.09.01～ 05.03.31	総合的な学習の時間で活用可能な中高生向けの米国理解教材の開発と普及を行なう2年間プロジェクト。「アメリカの今」をテーマに16程度のトピックをとりあげ、生徒が学びたい内容や参加型の学習方法を考慮しながら教材を開発した。2年目は、カリキュラムや資料、教員用手引き等をまとめた後、一般公開セミナーや教師を対象とするワークショップを通じて成果を広く普及に努めた
3	日本関係研究全米クリアリングハウス2	インディアナ大学	04.01.01～ 05.12.31	全米の小中高校の教員や教育関係者に対し、現代日本や日米関係、日本に関する教材・カリキュラムなどの日本関連情報を提供した。具体的には、(1)日本を扱う教材や日本に関する教育・交流プログラムの最新情報の専用ホームページ上での提供、(2)日本に関する資料や出版物・刊行物のデータベース「US-Japan Database」の更新、(3)最新事情や研究成果の要約集「Japan Digests」、ニュースレター「Shinbun U.S.A」等、定期刊行物、出版物の発行、(4)学会、全米および地方会議等における教員ワークショップの実施および日本関連資料パッケージ（Teaching About Japan Information Packet）の配布
4	1905年ポーツマス条約に関するカリキュラムガイド	北東文化協会	04.03.01～ 04.11.30	1905年に調印されたポーツマス条約を題材に、米国の中学・高校レベルのカリキュラム開発を行なうプロジェクト。外部の研究者や地域の資料を利用し、現場の教師のフィードバックを得ながら、実際に地域で利用されるカリキュラム開発が目指された。条約締結100周年記念事業にあわせ、広く普及に努めた

	事業名	団体	期間	事業内容
5	JapaNet:南フロリダの日本・南北アメリカ研究センター（1年目）	フロリダ国際大学	04.07.01～ 05.06.30	フロリダ州南部の中学・高校教師に対し、日本や日本と南北アメリカの関係に焦点をあてた10週間にわたるセミナーを、年に2回、3年にわたって実施するプロジェクト。1年目には延べ30名の教師が参加、フロリダ国際大学の研究者に加え、外部の専門家が講義を行なった。参加教師は教室で利用できる資料を作成し、教育専門家の編集を受けた後にインターネットで公開した
6	東洋と西洋を教える：徳川期日本とエリザベス朝英国との比較を通じた歴史的文脈の確立（2年目）	メリーランド大学ルネサンス・バロック研究センター	04.08.01～ 05.06.30	ワシントンDCおよびその周辺地域の初等・中等教育レベルの英語、社会科、芸術科教員を対象に、徳川期の日本とエリザベス朝英国とを比較しながら教えるプロジェクト。1年目に35名を集めて実施された研修会を受けて、2年目には、2004年10月に26名を集めて第1回の事後セッションが行なわれ、2005年4月には第2回事後セッションが行なわれた
7	日本関連資料貸出事業（2年目）	ファイブ・カレッジ東アジア研究センター	04.10.01～ 05.09.30	ニューイングランド地方6州の初等・中等教育の日本理解促進を目的として、助成対象団体のライブラリーが保有する日本関連資料や教材の拡充、ニューイングランド地方の教師等関係者への教材の無料貸し出し、ニューズレターおよびウェブサイトによる情報提供、照会や相談への対応、センター内外でのワークショップ開催等、既存事業の維持および拡充を実施中
8	ポーツマス平和条約に係る教育普及事業	ニューハンプシャー日米協会	04.11.01～ 05.12.31	2005年のポーツマス条約締結100周年を記念して、同条約をめぐる日米露の国際関係の歴史やそこから得られる教訓を、日米の一般市民および主にニューハンプシャー州の生徒たちに普及させるための事業。同条約にかかる写真等の資料や解説論文を掲載したウェブサイトの構築、同条約調印100周年記念式典にあわせて、ウェブサイト掲載の情報を元に構成した資料展（写真、絵画、条約レプリカ、条約締結に係る遺物等の展示）の開催、同展出品作品のうちのパネル展示物を利用した、学校等における教育普及活動にかかる材料（パネル、仮設壁、パンフレット）の制作を行なった

2. 催し等事業費	(3) 地域活動促進（小規模助成）
-----------	-------------------

各地で推進される草の根レベルの各種交流事業に機動的に対応するため、①市民向けアウトリーチを含む、②地域的特性や多民族に配慮がある、③プロジェクトに新しい試みが見られる、などの条件を備える案件に対して小規模の助成を行なう。

合計額 4,332,866円

	事業名	団体	期間	事業内容
1	黒船と侍：「東」「西」の出会い展	ボストン日米協会（マサチューセッツ州）	04.4.15～ 04.5.31	ペリー提督の日本での出会いについての巡回展。マサチューセッツ工科大学のジョン・ダワー教授の制作によるもの。展示は一般公開され、ボストン日米協会100周年および日米友好関係150周年の一環として実施された

## 日米市民対話推進費

	事業名	団体	期間	事業内容
2	ペリー提督と日本の西洋化の始まり	サンディエゴ・ティファナ日米協会（カリフォルニア州）	04.6.1～ 04.8.31	1860年代の横浜における初期外国人居留者の生涯をたどり、1853年のペリー提督による下田入港に続く最初の西欧の影響を検証するため、当時の写真や図版を展示するプロジェクト。展示会は、サンディエゴの中央図書館で開催され、サンディエゴとティファナの大学や文化センターで紹介された
3	グローバル・キッズ・ピースボート体験：日米青少年同士のふれあいをはぐくむ	グローバル・キッズ（ニューヨーク州）	04.08.22～ 04.9.3	ニューヨーク市の青少年4人と日本の青少年10～15人が、ロンドンで2日間、ピースボート上で9日間のアクティビティに参加した。参加者はピースボート内でワークショップや相互交流活動に参加し、現代の課題に関する理解を深め、異文化間コミュニケーションスキルを身に付けた。日本側協力団体はピースボート
4	初・中・高等教育教員ワークショップ：意味の階層：日本の包装の美学を紐解く	カンザス大学（カンザス州）	04.9.1～ 05.10.31	東部カンザスと西部ミズーリの初・中・高等教育教員を対象にワークショップとレクチャーを実施し、日本文化の種々の側面を紹介した。実用的な参加型活動を通じて、教員が社会や芸術のカリキュラムに日本文化を取り入れていくことを支援した
5	Japan Today：伝統と変容	フィラデルフィア国際問題評議会（ペンシルベニア州）	04.9.1～ 05.11.30	フィラデルフィア地域の高校生を対象に、現在の日本社会の課題と日米関係への影響について理解を促すため会議を開催した。生徒たちは、レクチャーおよびディスカッションに参加した
6	日本に関する高校生向け地域セミナー	ピッツバーグ国際問題評議会（ペンシルベニア州）	04.9.1～ 05.12.20	ピッツバーグ市周辺の高校生を対象に、日本の政治・経済・安全保障問題から、日米関係、日本語、慣習、芸術文化に渡るまで、日本について広く紹介を行なった
7	万次郎、ホイットフィールド、デーモン：友好関係の始まり	ホノルル・フェスティバル財団（ハワイ州）	05.2.1～ 05.4.30	ジョン万次郎の生涯と彼がもたらしたものを探求するホノルル・フェスティバルにて、セミナーを開催する事業。ジョン万次郎についての30分のドキュメンタリー「Castaway」を上演した
8	日米工業教育学習プログラム	ハートフォード地域・キャリア・テクノロジセンター（バーモント州）	05.2.23～ 05.11.30	バーモントとニューハンプシャーの工業高校生を対象とした2週間の交流プログラム。生徒たちは、自分の専門に関連する関心あるトピックを研究し、事前ワークショップに参加。日本滞在中は、工業高校の授業に参加し、ホームステイを行ない、文化的歴史的名所を訪れた。帰国後、研究したトピックや体験について、在校生にプレゼンテーションを行なった

## 2. 催し等事業費 (4) 日米草の根交流推進事業

日米間の草の根交流を推進するために、セミナー・シンポジウムなどを開催する。

合計額 8,096,526円

	事業名	期間	事業内容
1	日米地域間交流活性化プロジェクト	04.04.01～ 05.03.31	日米地域間交流の活性化を図るため、姉妹都市交流を事例として、その課題と解決策を、全国から選んだ5つの地域の関係者とともに検証した。市民レベルでの国際交流の振興・関心の喚起を目的とし、事業の成果を内外関係者に提供することで企画形成とネットワーキング支援を実現し、被益者層の一層の拡大を図ろうとする事業

## 3. 文化資料事業費 (1) 日米「教育を通じた相手国理解促進」

合計額 11,410,705円

		団体		事業内容
1	日米交流150周年記念教育プロジェクト 「Snapshots from Japan : 7人の高校生の素顔」	コロラド大学 ボールダー校	03.10.30～ 05.03.31	既存の日本語教育教材（財団法人国際文化フォーラム制作の写真パネル「であい」）を、日本理解教育教材「Snapshots from Japan」として再開発し、これを用いて全米各地域の小中高校において日本理解教育プログラムを展開した

# 調査研究および情報提供事業等に必要な経費

## 情報センター事業費

### 1. 催し等事業費

- (1) 企画開発セミナー

### 2. 文化資料事業費

- (1) 機関誌
- (2) 事業報告
- (3) インターネット・ホームページ

### 3. 調査研究費

- (1) 図書館運営
- (2) 国際交流基金賞・国際交流奨励賞
- (3) 地域交流賞
- (4) 調査研究

1. 催し等事業費 (1)企画開発セミナー

国内の国際交流活動の振興と国際交流団体のネットワーク化を目的とした各種セミナーを開催する。

合計額 17,471,767円

	事業名	期間	事業内容
1	国際交流フェスティバル参加	04.04.01～ 05.03.31	全国各地で開催される国際交流フェスティバルへの参加を通じて、国際交流基金事業の広報および国内団体との連携を深めた。具体的には札幌、東京（武蔵野）、さいたま、名古屋、大阪（2カ所）、長崎の計7カ所での国際交流フェスティバルへ参加した
2	平成16年度国際交流セミナー「今、なぜ新渡戸か？～『武士道』そして五千円札の顔国際シンポジウム」実施決裁	04.06.19～ 04.06.19	国際連盟の初代事務局長として活躍した新渡戸稲造は、ユネスコの前身である国際知的協力委員会を創設し、世界平和に貢献した国際人として知られている。また、国際知的交流委員会の国内委員会は基金の前身ともいえる国際文化振興会の設立の大きな影響を与えた。国際情勢が厳しい現在、次代を担う若い世代に新渡戸のメッセージを伝えることを目的として、世界平和の構築に貢献する5団体が連携して実施した
3	「学校の現場から国際教育活動を見直す～日本および海外双方の視点から」	04.06.26～ 04.06.27	海外初中等教育レベルの日本語教育現場における対日関心と、国内初中等教育レベルにおける外国語教育や国際理解教育の現場を結び付け、青少年の国際交流を促進することを目的として国際シンポジウムを開催した
4	日・EU市民交流セミナー～日本とEUの新たな出会い	04.07.01～ 04.07.01	2005年の「日・EU市民交流年」に向け、日本とEU加盟国間の市民交流を広く促進させるため情報提供、交流の多様な事例を紹介するとともに、EU関係者と国内の国際交流関係者が情報交換、意見交換を行なう機会を設けた
5	「第2回国際交流・協力実践者全国会議」	04.08.28～ 04.08.29	国際交流・協力の現場に携わる全国の関係者が一堂に会して、国際交流・協力活動の現状認識を共有するとともに、問題意識を深めつつネットワークを構築することを目的として開催。また、日本社会全般に、国際交流・協力活動の意義を広くアピールした
6	シンポジウム「地球が舞台～地域文化と国際交流を考える」	04.11.20～ 04.11.20	平成15年度に国内3カ所で開催した「地球が舞台」プロジェクトの総括
7	ワンワールドフェスティバル	05.02.05～ 05.02.06	国際交流・協力活動のさらなる促進のため、講演会、パネル・ディスカッション、ワークショップ、活動紹介など多様な実施形態により、多くの市民、多様なセクターの関係者が参加できる機会を提供するとともに、ネットワーク構築を目指して開催される事業に対し、企画開発型助成方式により実施
8	国内連携促進のための意識調査	05.02.15～ 05.03.31	国内連携を促進するにあたり、国内連携重点地域および主要2都市における、基金の活動に対する認知度などの基礎情報をマーケティング調査を実施し、動向の分析を行なった

## 情報センター事業費

### 2. 文化資料事業費 (1) 機関誌

月ごとの事業情報を提供する広報誌『基金ニュース』や、広く国際交流に関心のある学者、芸術家、一般を対象とする和文の機関誌『国際交流』を発行する。

合計額 60,987,178円

	資料名・書名	発行日	発行部数	事業内容
1	国際交流104号	2004.07.01	5,000	第一法規株式会社より600円(税込)で発売。(季刊、88頁、カラー・白黒) 特集テーマ「変容する家族」(監修：猪木武徳)
2	遠近1号	2004.10.01	5,000	より国際交流基金事業に即した内容にリニューアルした。 山川出版社より525円(税込)で発売。(隔月刊、72頁、カラー・白黒) 特集テーマ「文化の力 交流の営み」
3	遠近2号	2004.12.01	5,000	特集テーマ「アジアはいま」
4	遠近3号	2005.02.01	5,000	特集テーマ「変わる日本－世界に開くコミュニティ」
5	遠近4号	2005.04.01	6,000	特集テーマ「アメリカと向き合う」 (平成16年度内は発行準備作業)
6	英文ニュースレター Vol.30-1	2004.10.01	5,000	2002年4月発行を最後に休刊していた英文ニュースレターを再発刊した。日本の文化情報、国際交流の促進に資する情報、国際交流基金事業に関する情報を紙媒体および電子媒体にて発行(隔月刊、8頁、二色刷り、無償) 巻頭インタビューは、ドナルド・リチー氏(映画評論家・米国)
7	英文ニュースレター Vol.30-2	2004.12.01	5,000	巻頭インタビューは、イラクの劇団アル・ムルワッス俳優
8	英文ニュースレター Vol.30-3	2005.02.01	6,000	巻頭インタビューは、高良倉吉氏(琉球大学教授)
9	英文ニュースレター Vol.30-4	2005.04.01	6,000	巻頭インタビューは、マクルフ・ジャムハリ氏(国立イスラム大学・インドネシア) (平成16年度内は発行準備作業)

### 2. 文化資料事業費 (2) 事業報告

年度ごとに総括を報告する年報を発行する。

合計額 37,234,768円

	資料名・書名	発行日	発行部数	事業内容
1	和文年報2002	2004.04.01	2,500	国際交流基金の2002年度(平成14年)事業に関する和文年報の作成
2	英文年報2002	2004.09.01	1,300	国際交流基金の2002年度(平成14年)事業に関する英文年報の作成
3	和文年報2003	2004.10.31	2,000	国際交流基金の2003年度(平成15年)事業に関する和文年報の作成

	資料名・書名	発行日	発行部数	事業内容
4	英文年報2003	2004.12.31	1,300	国際交流基金の2003年度(平成15年)事業に関する英文年報の作成

2. 文化資料事業費 (3) インターネット・ホームページ

ホームページを通じて、プログラムガイドラインや基金の各種出版物も含めた当基金の各種事業の情報や、国際文化交流に資する各種情報の提供を行なう。

合計額 14,628,965円

	事業名	期間	事業内容
1	国際交流基金 ウェブサイトの 運営	04.04.01～ 05.03.31	国際交流基金に関する各種情報、国際文化交流関連各種データベース、国際交流基金公募ガイドライン等をインターネット上で提供 URL： http://www.jpf.go.jp/

3. 調査研究費 (1) 図書館運営

平成16年10月に旧アジアセンター・ライブラリーを統合し、本部図書館の情報収集・提供機能の強化に努めた。国内・海外のジャパンファウンデーション図書館との連携強化のため、電子メディア共同利用等の調整を行なった。

合計額 67,921,197円

	事業名	蔵書数	入館者数
1	図書館運営	蔵書約54,000冊 雑誌570タイトル、新聞37誌を定期購読	7,929名

3. 調査研究費 (2) 国際交流基金賞・国際交流奨励賞

学問、芸術その他の文化活動を通じて、我が国に対する諸外国の理解あるいは日本人の対外理解を深め国際相互理解を増進することにより、国際文化交流に特に顕著な貢献があった個人、団体等に対しその功績を顕彰する。

合計額 25,476,574円

	種別	受賞者(現職)・ 受賞団体	国	受賞理由
1	国際交流基金賞	穂吉敏子(ジャズピアニスト・作曲家)	日本	ジャズの分野で演奏家、作曲家、およびバンドリーダーとして多大な業績をあげるとともに、音楽活動を通じて20世紀以降に人類が置かれた状況を問い、平和と協調のメッセージを世界に発信してきた功績に対し、国際交流基金賞を授賞した



情報センター事業費

	種別	受賞者（現職）・ 受賞団体	国	受賞理由
2	国際交流奨励 賞・文化芸術交 流賞	ジェームズ・ク ワント（シネマ テーク・オリエン タリオ シニ ア・プログラ マー）	カナダ	北米地域において、他の文化圏、特に日本の映画の上映会や出版物の刊行を通して、日本の優れた映像文化の研究と紹介に顕著な業績をあげてきたことに対し、国際交流奨励賞・文化芸術交流賞を授賞した
3	国際交流奨励 賞・日本語教育 賞	李徳奉（同徳女 子大学校 外国 語学部教授）	韓国	日本語教育学の分野において先駆的な業績を挙げ、多くの後継者の育成に努めるとともに、韓国日本学会会長などの要職を歴任し、韓国における語学教育政策の形成にも優れた寄与をしてきた。その活動は、韓国と日本人の相互理解促進に大きな貢献をなすものであり、国際交流奨励賞・日本語教育賞を授賞した
4	国際交流奨励 賞・日本研究賞	高良倉吉（琉球 大学法文学部教 授）	日本	アジアという広い視野から沖縄の歴史を考え、海外の研究者とのネットワークの構築を通して先駆的な研究活動を展開している。その成果は、アカデミズムの枠を超えた広範な層に影響を与えるとともに、日本の将来像を考究する上で多くの示唆に富むものであり、国際交流奨励賞・日本研究賞を授賞した

3. 調査研究費 (3) 地域交流賞

国内各地で行なわれている地域に根ざした国際交流活動を振興するために、この分野で活躍している国内団体、個人を顕彰する。

合計額 11,233,402円

	受賞団体（代表者）	所在地	受賞理由
1	戸沢村国際交流協会 会長 芳賀欣一	山形県	韓国農村との草の根交流を契機として結成。共に楽しく暮らすことをめざし、地域ブランドの開発に取り組んだ
2	特定非営利活動法人セカンドハンド 会長 新田恭子	高知県	市民から提供された衣類や生活用品を販売し、その収益によりカンボジアでの学校建設等の支援を行なった
3	長崎国際交流塾 塾長 牛嶋洋一郎	長崎県	文化財である洋館「地球館」を拠点とし、留学生在が主体となり「ワールドフーズレストラン」の運営などを行なった

3. 調査研究費 (4) 調査研究

国際交流の促進に資する各種調査研究を行ない、この成果を広く内外に公開する。

合計額 1,558,021円

	事業名	国	期間	事業内容
1	概観国際交流調 査	日本	04.04.01～ 05.03.31	国内の国際交流活動をセクター毎に網羅的に調査し、課題別の分析等を実施するための準備を行なった

# 調査研究および情報提供事業等に必要経費

## 企画・評価費

### 1. 調査研究費

- (1) 調査研究 (企)
- (2) 事業評価 (企)

## 企画・評価費

### 1. 調査研究費 (1)調査研究 (企)

国際交流の促進に資する各種調査研究を行ない、この成果を広く内外に公開する。

合計額 5,251,157円

	事業名	国	期間	事業内容
1	フェローシップ調査	韓国、中国、タイ、カナダ、米国、ブラジル、英国、ドイツ、フランス、エジプト	04.04.01～ 05.03.31	国内外のフェローシップ・プログラムに関する調査および報告書の作成
2	イギリスにおけるパブリックディプロマシー	イギリス	04.04.01～ 05.03.31	イギリスにおけるパブリックディプロマシーに関する調査報告書の発行（増刷）
3	国際文化交流政策論研究	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	国際文化交流政策に関する研究および教育の基盤形成を目的とした研究会等の実施
4	CSR調査	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	企業のCSRと国際文化交流をテーマとした調査研を実施

### 1. 調査研究費 (2)事業評価 (企)

国際交流の促進に資する各種調査研究を行ない、この成果を広く内外に公開する。

合計額 5,195,239円

	事業名	国	期間	事業内容
1	国別評価手法開発	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	国際交流基金の事業を国別に評価する手法を事例として、試行的に開発した

# 調査研究および情報提供事業等に必要経費

## 文化事情調査費

### 1. 調査研究費

- (1) 文化事情調査
- (2) ワーキング・グループ関係費

文化事情調査費

1. 調査研究費	(1)文化事情調査
----------	-----------

合計額 5,523,204円

	事業名	国	期間	事業内容
1	各国文化交流基 礎情報調査	韓国 中国 インドネシア タイ フィリピン マレーシア インド オーストラリ ア カナダ 米国 メキシコ ブラジル イタリア 英国 ドイツ フランス ハンガリー エジプト	04.04.01～ 05.03.31	文化交流を進める上で必要となる各国の基礎的なデータを基金のウェブサイト上で情報を公開するため、調査・収集を行なう
2	東欧文化事情調 査	フランス ハンガリー ポーランド リトアニア	04.07.01～ 04.07.11	2005年の日・EU市民交流年事業の実施や新規EU加盟国の非ODA化に伴う日本語教育事業等、現地関係者に対する文化交流推進のための事情調査を実施
3	有識者懇談会	中国	04.04.20～ 04.09.06	中国との文化交流推進のための有識者による懇談会等を実施
4	英国文化事情調 査	英国	04.07.12～ 05.03.31	2001年に英国で開催された大型日本文化紹介行事「Japan 2001」に関するレビュー調査を行ない、調査結果を刊行
5	ロシア文化事情 調査	ロシア	04.09.05～ 04.09.10	日露有識者による「第7回サハリン・フォーラム」への出席を通じたサハリンの文化事情調査を実施
6	中央アジア文化 ミッション	ウズベキスタ ン カザフスタン トルコ	04.10.21～ 04.10.29	2004年8月の川口外務大臣（当時）による中央アジア歴訪のフォローアップの一環として、日・中央アジア文化交流に関する各国関係機関との協議、意見交換を目的とする官民共同のミッションへの参加
7	中米文化事情調 査	米国 エルサルバド ル メキシコ	04.10.24～ 05.10.31	2005年のセルバンテシーノ国際芸術祭日本招待年および日・中米交流年等の実施に向けて、中米広報文化担当官会議出席および現地関係者との意見交換等を通じた文化事情調査を実施
8	豪州文化事情調 査	オーストラリ ア	05.01.04～ 05.03.31	「第3回日豪会議」への出席。日豪両国の官民有識者が、日豪関係を強化するための方途について意見を交換した

1. 調査研究費	(2) ワーキング・グループ関係費
----------	-------------------

合計額 498,076円

	事業名	期間	事業内容
1	プロジェクト実施費	04.04.01～ 05.03.31	カルコン（日米文化教育交流会議）のワーキング・グループ事業として、「次世代グローバルリーダー育成委託研究」を実施

# 在外事業に必要な経費

## 京都支部

1. 京都支部

## 海外事務所

1. ローマ日本文化会館
2. ケルン日本文化会館
3. パリ日本文化会館
4. ソウル日本文化センター
5. 北京日本文化センター
6. ジャカルタ日本文化センター
7. バンコク日本文化センター
8. クアラルンプール日本文化センター
9. シドニー日本文化センター
10. トロント日本文化センター
11. サンパウロ日本文化センター
12. マニラ事務所
13. ニューデリー事務所
14. ニューヨーク事務所
15. ロサンゼルス事務所
16. メキシコ事務所
17. ロンドン事務所
18. ブダペスト事務所
19. カイロ事務所

## 1. 京都支部 (1)主催・共催事業

合計額 7,201,114円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【展示】</b>						
1	沈壽官家歴代展：日本陶芸の源流をもとめて	財団法人京都伝統工芸産業支援センター、沈壽官展実行委員会	京都伝統工芸館	京都市	05.04.24～ 05.05.08	本展では、約400年前の豊臣秀吉の時代に、朝鮮半島から日本に渡来した陶工のなかで、現存する6窯のうち最も著名な窯の一つである沈壽官家歴代の作品を紹介することを通じて、日本陶芸の源流を探る事を目的とした
<b>【公演】</b>						
1	国際交流のタペー能と狂言の会	国際交流基金関西国際センター、京都新聞社	京都観世会館	京都市	04.10.27～ 04.10.27	関西地方在住外国人、国際交流関係者および関西センターの研修生等を招待して、日本の伝統芸能を鑑賞する機会を提供した
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	日文研フォーラム	国際日本文化研究センター	アーバネックス御池ビル東館2階	京都市	04.04.01～ 05.03.31	国際研究協力および国際交流活動を目的とした日文研フォーラムを月1回(8月休会)国際日本文化研究センターと共催で開催
2	日独仏シンポジウム「教育の未来」－文化のグローバル化、あるいは国別の教育システムか？－	関西日仏学館、京都ドイツ文化センター	京都ドイツ文化センター、関西日仏学館	京都市	04.06.11～ 04.06.12	日独仏の教育機関の専門家が経験や情報を交換し合い、産業国家の将来を決める教育の分野において共通点や独自性がどこにあるのかを知り、解決の糸口を探ることを目的とし、日独仏の高校生が、教育問題の当事者として発言
3	2004年度京都国際文化協会エッセーコンテスト<私の見た日本>	財団法人京都国際文化協会	京大会館101号室	京都市	04.10.21～ 04.10.21	日本の社会、政治、経済、文化、日本人の日常生活などを外国人の新鮮な視点から捉えたエッセーを募集し、優秀作品を表彰。エッセー、発表ともに用語は英語または日本語
4	藝際公開講座～「花習塾」	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	アーバネックス御池ビル東館2階、アーバネックス御池ビル東館2階、Art forum JAFRO	京都市	04.11.05～ 05.09.30	古典芸能に親しむことを目的に、「能」の基礎知識を全6回に渡り実演とワークショップを交え一般市民向けに開催



京都支部

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
5	シンポジウム 「ものづくりの 美・ひとづくり の美－教育の未 来を求めて」	京都大学大学院 教育学研究科、 京都新聞社	京都新聞文化 ホール	京都市	05.03.06～ 05.03.07	人間の生成や変容、形成を対象とする実践学、臨床学としての教育学本来の側面を重視しつつ、今一度生活の基本である「ものづくり」、コミュニティ・国家の基本である「ひとづくり」を、ドイツとの比較のなかでとらえ直すことを目的に実施
<b>【図書館運営】</b>						
1	国際交流情報 コーナー（図書 室）			京都市	04.04.01～ 05.03.31	外国語による日本研究所ならびに基金刊行物を中心に収集、提供。所蔵資料数は、図書資料約6,200、購読雑誌60、日本文化紹介等16ミリ映画フィルム115、日本文化紹介ビデオ109
<b>【出版・広報】</b>						
1	近代日伊文化交流史関連文献資料作成事業	日本イタリア文化交流史研究会		京都市	05.02.01～ 05.03.31	二国間関係における文化交流が、相互理解・友好親善面で果たす役割については、今日高い評価がなされているが、歴史を原点まで遡り、かつ分野に偏せず、原資料にあった研究成果は必ずしも多くない。交流の規模、資料の存在などの面から、イタリアの場合を例に、幕末以降の明治期に絞り、原資料調査を行い、最終的に二国間の文化交流研究の理論的枠組みを提示することを目標とした
<b>【その他】</b>						
1	トラディショナル・シアター・トレーニング 2004発表会	京都芸術センター	大江能楽堂	京都市	04.08.06～ 04.08.06	大蔵流狂言師茂山あきら、龍谷大学教授ジョナ・サルズが主宰となり、1984年から伝統芸能集中講座として開催してきた。海外の舞台芸術家参加による夏期集中ワークショップの試みは、20年を経て、日本伝統芸能の持つメソッドと西洋現代劇との融合に大きく寄与してきた。2002年より京都芸術センター主催事業となり、さらに幅広い参加者を得ている、伝統芸能を通じた国際的な文化交流事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
2	フィールド・トリップ	財団法人京都府国際センター	鞍馬寺および貴船神社	京都市	05.03.12～ 05.03.12	京都に暮らす外国の人たちが京都の歴史や文化について理解を深めるための1日ツアー。今年度は鞍馬寺と貴船神社を訪ね、鞍馬寺信楽貫主、貴船神社三木禰宜に御講話を頂き、鞍馬寺では国宝 木彫毘沙門天立像、木彫吉祥天立像等拝見しながらそれぞれの説明を受けた

1. 京都支部	(2)助成・協力事業
---------	------------

合計額 0円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【後援事業】				
1	東西の超克～モノクロームの世界	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	04.04.10～ 04.05.02	卵テンペラの技法を用いて祖国ボリヴィアの遺跡を描き続けるフェルナンド・モンテスは、法隆寺から受けた東洋精神の啓示に西洋画家の立場から作品を通して東西芸術融合の架橋をこころみる仕事を一貫して続けてきた芸術家の1人である。氏の作品展を通して東洋芸術の真髄についての再考・検証をすると共に、人類の共生について芸術を通して考えることを目的とした
2	在関西5大学芸術系連合展 第4回ヤンガーアーティスト+1展	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	04.05.04～ 04.05.16	関西の5大学芸術系の学生が集まり、テーマを決め、各個人の作品を展示、発表する企画展。今回はその第4回展となり、コミュニケーションをテーマに各々の感性で表現。台湾と大韓民国からの留学生を含む23名のグループ展
3	日・仏国際交流の午後	関西詩人協会	04.05.22～ 04.05.22	関西詩人協会が設立10周年を迎えること、及び日・仏対訳詩集『言葉の花火』が完成した事を記念し開催。日本の伝統芸能である能楽観世流仕舞の鑑賞会、仏文学の講演会、シャンソンのコンサート、会員による詩の朗読会等を実施
4	書と非書の際(キワ) Part:2	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	04.08.28～ 04.09.12	「書とは何なのか」「書と文字はどう関わるのか」「書と絵画の線は、どう違うのか」等、現代の書芸術を「藝際」の視角から検証しようとする3回連続シリーズ企画展覧会の第2回目
5	田島征彦～型染作家40周年の歩み～展	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	04.09.18～ 04.10.11	絵本『じごくのそうべい』のベストセラー作家として長年地歩を築いてきた型染作家田島征彦の作家生活40年を記念して京都で初めて開催される一大回顧展。京都市立芸術大学～成安短期大学～大阪芸術大学と教員生活、作家生活を経験後、淡路町へ移住。晴耕雨染の生活の中で生まれた最近作までの回顧展
6	八橋聖美～染色個展～Out of the Blue～	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	04.10.15～ 04.10.31	日系アメリカ人作家の八橋聖美は、京都市立芸術大学大学院を卒業後、京都に滞在を続けながら、ロウケツ染の製作活動が続いている新進の作家である。来日以来初個展となる本展では、アメリカ生まれ・アメリカ育ちの日本人という特性をどれだけ生かした作品になったかを、本場京都で問う展覧会

# 海外事務所

	事業名	協力対象団体	期間	内容
7	国際文化フォーラム	財団法人京都府国際センター	04.10.23～ 04.10.23	京都府とロシア・レニングラード州友好提携10周年を記念し、ロシアとのこれまでの文化交流の歴史を振り返りながら、芸術や文化の蓄積を生かした今後の交流のあり方や進め方について考えるフォーラム。元NHKモスクワ支局長の小林和男（新作学院大学教授）、イリーナ・メリニコワ（同志社大学教授）、木村崇（京都大学教授）の鼎談他
8	京都市国際交流会館2004年度「外国人のための日本語弁論大会」	京都市総務局国際化推進室	04.11.23～ 04.11.23	世界文化自由都市宣言を行った京都市が、その理想実現のための具体的施策として、1987年以来毎年行っている事業。本年度で18回目。今回は「日本での経験を生かすため」をテーマに相互理解と国際親善の更なる促進を目的に開催
9	「きょうと北部21世紀セミナー」（タウンミーティング「外交の窓」）	財団法人京都府国際センター	04.11.27～ 04.11.27	京都府における国際理解促進セミナーとして、府北部地域において開催。京丹後市の発足を記念して、外務省の専門家による講演会、ならびに京都府で活躍する有識者との対談を開催することにより、地域の国際理解の増進を図った。21世紀を迎え、めまぐるしく変化する世界の中で、日本はどのような位置にあるのか、日本人がどう理解されているのか、アジアにおける環日本海地域の動きと、地域住民が認識しておかなければならない課題について、新市民とともに考えた
10	まちづくりシンポジウム「世界に開かれた京都府に向けて」	京都府国際課	04.12.04～ 04.12.04	地域の活性化のために、海外からの人材を積極的に活用することが重要であるが、そのために必要な受入環境の整備や人材活用を円滑に進めるためのシステムづくりについての具体的な方策をテーマに、有識者の基調講演およびパネルディスカッションを実施
11	第5回LAMP展～富者の万灯より貧者の一灯～アフガン難民支援企画	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	04.12.06～ 04.12.25	2000年12月よりアフガン難民支援企画事業展として開催されたLAMP展の第5回目にあたる。内外作家28名の出品により今回は四国高松と同時開催。 平面・立体・ミックスメディアetc.ジャンルを問わず、各作家に「精神的、物理的光源となる様なもの」という共通テーマで製作された作品を展示

1. ローマ日本文化会館	(1)主催・共催事業
--------------	------------

合計額 27,232,850円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	超近代の宿る伝統展	「超近代の宿る伝統」展プロジェクト実行委員会	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	04.03.26～ 04.05.07	織物美術家龍村光峯の現代織物作品40点を紹介する展覧会を開催

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
2	新世代アーティスト展		ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	04.05.24～ 04.06.30	90年代以降活躍する若手アーティストによる、絵画、彫刻、写真、ビデオ、インスタレーションによる展覧会を開催
3	私たちの見た日本～イタリアの子供たちによる作品展		ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	04.09.18	ローマ市主催「ローマの白夜」の一環として、ローマ市内のこどもたちの想像する日本のイメージを絵画、工作等で表現した作品の展示会を開催
4	「日本の書」ローマ展	全国書美術振興会	ローマ日本文化会館	ローマ	04.10.06～ 04.11.24	伝統美を大切にしつつ、新たな表現を追求する日本有数の現代書家による66作品を展示
5	凧・独楽展		ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	04.12.03～ 05.01.21	日本の伝統的な子供の遊び道具であるにとどまらず、その地方や時代の特徴を反映した民芸品でもある凧、独楽計51点を展示
6	日伊の四季「鳥羽郁世展」	イタリアトヨタ、イタリア三井物産、日本航空インターナショナル、オーロラ、伊藤謝恩育成財団、トキワ印刷	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	05.02.17～ 05.03.25	日本とイタリアの自然や風物を描きつづけてきたイタリア在住40年の画家鳥羽郁世氏による展覧会を開催
7	日本現代写真展			ローマ	05.03.25～ 05.03.31	2005年4月から開催予定の日本現代写真展out of ordinary・extraordinary展の準備を行なった
<b>【公演】</b>						
1	G.Scelsi現代音楽コンサート公演	イザベッラシェルシ財団	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.05.21	イタリアを代表する現代音楽作曲家ジャチント・シェルシ作品演奏の第一人者平山美智子(声楽)、高橋アキ(ピアノ)によるコンサートを開催
2	JAZZ from Japanコンサート公演		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.05.28	若手人気ジャズミュージシャン塩谷哲(ピアノ)、大儀見元(パーカッション)によるデュオコンサートを開催
3	尺八・琴コンサート公演		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.10.27	田嶋忠士(尺八)、菊知恵美子(琴)による、古典楽曲、現代楽曲を取り混ぜた邦楽コンサートを開催
4	Mama! Milkコンサート公演		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.11.04	生駒祐子(アコーディオン)、清水恒輔(コントラバス)によるデュオ「mama! Milk!」によるコンサートを開催

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
5	マリンバコンサート公演		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.11.15	ダリオ・サヴロン、ファビアン・ペレス・テデスコ両氏によるマリンバコンサートを開催し、日本の作曲家である一柳慧、安部圭子等の作品を紹介
6	日伊室内楽コンサート公演			ローマ	05.02.01～ 05.03.31	2005年4月に開催予定の室内楽コンサートの準備を行なった
7	歌舞伎舞踊公演	ラヴェンナ・フェスティバル	アウデトリウムサラ・シノーポリ/アリギエリ劇場	ローマ、ラヴェンナ	05.03.21～ 05.03.23	五條雅之助、中村京蔵の公演と若柳吉優亮によるレクチャーにより、歌舞伎舞踊を紹介
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	関根勝講演会		ローマ日本文化会館大広間	ローマ	04.04.05	ローマ大学客員教授としてローマ滞在中の関根勝早稲田大教授による日本の能についてのレクチャーを開催
2	G.Scelsiラウンドテーブル	イザベッラシェルシ財団	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.05.20	イタリアの現代音楽作曲家ジャチント・シェルシ演奏の第一人者平山美智子、高橋アキにシェルシ研究者ダニエラ・トルトラ（ローマ大学）を交えたシンポジウムを開催
3	俳句賞授賞式	イタリア俳句友の会	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.05.27	イタリア俳句友の会と協力し、第18回俳句文学賞の授賞式を開催した
4	日本の公共政策専門家招聘	イタリア日本研究学会	ミラノ国立大学	ローマ	04.09.17～ 04.09.19	イタリア日本研究学会総会開催記念ラウンドテーブルに工藤裕子（早稲田大学助教授）を派遣した
5	渡辺保「日本の舞踊」講演会		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.10.05	演劇評論家渡辺保による日本の舞踊に関する講演会を開催。「松風」「藤娘」「竹生島」などの映像資料をもとに、能、歌舞伎、上方舞踊など、日本の主要な舞踊芸能について、レクチャーを開催
6	日伊美術交流史講演会		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.10.14	「ヴェネツィアと日本 19世紀後半の文化交流研究」（国立考古学・美術史研究所刊）の著者である石井元章（大阪芸術大学助教授）による、「ローマにおける日本美術」と題する。ローマにおける20世紀前半の日本美術の受容についての講演会を開催
7	BUTO講演会	LAB: ORATORY ENGINES	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.10.29	「舞踊ジェネレーション3 新身体地理」プロジェクトの一環として、シンポジウム「パフォーマンスアクト」と題し、シンポジウムを開催

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
8	平田オリザ演劇講演会		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.12.10	劇団青年団を主宰する劇作家・演出家平田オリザによる、日本の近代演劇史を振り返りつつ、日本社会の変容をたどる講演会を開催
9	日本研究フェロー・シンポジウム		ローマ日本文化会館大広間	ローマ	05.02.26～ 05.03.03	2004～2005年度に国際交流基金の招へいで日本を訪問した6名の研究者による日本滞在の報告会を開催し、その概要をまとめた小冊子を作成した
10	吉田喜重監督ラウンドテーブル			ローマ	05.03.01～ 05.03.31	2005年に開催予定の吉田喜重監督特集にあわせて開催する同監督を交えてのラウンドテーブルの準備を行った
11	日本の現代建築シンポジウム・ワークショップ		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.03.08～ 05.03.10	陣内秀信（法政大学教授）による東京の建築に関する講演会の他、若手建築家による自作の解説発表会を開催
<b>【映画】</b>						
1	若手監督特集			ローマ	04.04.01～ 04.05.15	2004年冬に開催した若手映画監督特集の終了に際し、フィルム機の返送等を行なった
2	アニメーション特集		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.05.07～ 04.06.07	永井豪「ゲッターロボ」、手塚治虫「リボンの騎士」。りんたろう「銀河鉄道999」、高畑勲「ほたるの墓」など、戦後日本の主要なアニメーション作品を通観する特集を開催
3	若手監督第2回特集		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	04.10.12～ 04.11.30	昨シーズンに続き、現代日本の若手監督作品の映画特集を開催し、三池崇史、黒沢清、阪本順治らの作品を上映
4	吉田喜重監督映画特集			ローマ	05.01.08～ 05.03.31	2005年度事業実施予定の吉田喜重監督映画特集の開催に向け、上映作品の選定等の準備を行なった
5	新着イタリア語字幕映画特集		ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.01.18～ 05.03.29	新たにローマ日本文化会館フィルムライブラリーに所蔵されることになった、山田洋次「たそがれ清兵衛」、相米慎二「風花」、三谷幸喜「みんなのいえ」などイタリア語字幕つき新作映画作品を上映

## 海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【日本語教育】</b>						
1	日本語講座運営		ローマ日本文化会館	ローマ	04.04.01～ 05.03.31	通年コース「初級1」「初級2」「中級1」「中級2」および「会話」の各クラスの運営と上級向けとして「通訳」「新聞読解」の各コースの運営を行った
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書館運営			ローマ	04.04.01～ 05.03.31	日本に関する所蔵図書約30,000冊の一般閲覧・貸し出しを行ない、日本文化にかかわることがらに関するインクワイアリーサービスを実施
<b>【出版・広報】</b>						
1	月例案内発行			ローマ	04.04.01～ 05.01.31	事業広報パンフレットを隔月で発行し、希望者に送付するなど、会館事業の広報に努めた
2	ホームページ			ローマ	04.04.01～ 05.03.31	ローマ日本文化会館の概要および毎月の行事・活動を紹介するホームページの運営を行った
3	年報発行			ローマ	05.01.15～ 05.03.31	2003年度のローマ日本文化会館事業を総括する年報「Notizario 2003」の編集・発行を行った
<b>【その他】</b>						
1	ローマの白夜	ローマ市	ローマ日本文化会館	ローマ	04.09.13	ローマ市の開催する「ローマの白夜」企画に参加し、折り紙ワークショップ、映画上映を行った

1. ローマ日本文化会館	(2)助成・協力
--------------	----------

合計額 824,686円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	トリノ大学「ダンテと大江健三郎」	トリノ大学	04.05.17～ 04.05.18	トリノ大学で開催されたダンテ学会において、岩倉具忠京都大学名誉教授による「大江健三郎とダンテ」と題した講演会に対し協力をを行った
2	現代文学フェスティバル	ZETEMA	04.06.03	文学フェスティバルへのよしもとばななの招へいに対して協力を行った

	事業名	協力対象団体	期間	内容
3	Ragusa Otama 講演会	ローマ国立先史民族美術館「ルイジ・ピゴリーニ」	05.02.10	イタリア・シチリアの画家と結婚し、イタリアに渡った日本人の女流画家清原お玉についての講演会に対して協力を行なった
<b>【後援事業】</b>				
1	後援名義付与		04.04.01～ 05.03.31	イタリアにおける日本関連文化事業8件に対し、後援名義付与を行なった
<b>【講演・シンポジウム】</b>				
1	アンジェイ・ワイダ・プロジェクト講演会	ポーランドアカデミー		ポーランドアカデミーが、日本にゆかりの深い映画監督アンジェイ・ワイダの日本滞在中のデッサン展と坂東玉三郎氏主演の映画の上映会を催すにあたり、協力を行なった
2	AIDLG日本語・日本語教育学会	イタリア日本語教師会	05.03.18～ 05.03.20	イタリア日本語教師会による研究発表会に対して協力を行なった
<b>【文化備品・視聴覚資料貸出】</b>				
1	文化備品・視聴覚資料貸出		04.04.01～ 05.03.31	イタリアにおける日本関連文化事業に対し、写真パネルや映画の貸し出し等を行なった

## 2. ケルン日本文化会館 (1)主催・共催事業

合計額 20,825,241円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【展示】</b>						
1	out of the ordinary, extraordinary 展		ケルン日本文化会館	ケルン	04.05.07～ 04.07.30	本部の新規巡回展「out of the ordinary, extraordinary」展を、初めての会場として実施。東京都現代美術館の笠原美智子を選んだ11名の写真作家（石内都、岡田裕子、オノデラユキ、澤田知子、杉浦邦恵、鷹野隆大、秦如美、菱刈俊作、元田敬三、横溝静、米田知子）の展覧会
2	対話展 戸川英夫・Inge Schmidt		ケルン日本文化会館	ケルン	04.09.10～ 04.10.29	1990年からデュッセルドルフで活躍している画家・戸川英夫と、ケルン在住の彫刻家・インゲ・シュミットによる二人展。鮮やかな色使いの平面的な絵画と、アルテ・ポーベラを思わせる彫刻の組み合わせが、不思議なほど調和した展覧会



	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	対話展 豊嶋康子・An Seebach		ケルン日本文化会館	ケルン	04.11.05～ 04.12.19	豊嶋康子とAn Seebachは、Puddlesというアーティスト・イニシアティヴを通じて2001年に知り合ってから、共同展を開催したりEメールによる交流を深めてきた日独の芸術家。二人がEメールの交換で創ってきたストーリーをベースにした作品は、文字通りの「対話」展となった
4	Gerd Knaepper・星野美津子展		ケルン日本文化会館	ケルン	05.01.14～ 05.03.24	35年前から栃木県益子を創作活動の拠点とし、世界的な名声を得ているドイツ出身の工芸美術家Gerd Knaepperと、英国で活躍する若手の画家・星野美津子による展覧会
5	日本の玩具展	フランクフルト日本語普及センター	ケルン日本文化会館	ケルン	05.01.30～ 05.04.30	会館所蔵の「日本の玩具－伝統と現代」展を開催。ギムナジウム生徒のグループ、独日協会、日本文化愛好家のグループ等から特別見学の申し入れを受け、期間中に4回、①展覧会の見学・解説、②独楽のデモンストレーション、③日本文字入門コースを実施した
<b>【公演】</b>						
1	ジャズコンサート	Jazz am Rhein	ケルン日本文化会館	ケルン	04.04.23～ 04.04.23	ジャズ・ピアニストでオカリナ奏者の明田川荘之の作曲・編曲による現代ジャズの公演
2	ジャズ・ロックコンサート	Kulturbunker	Kulturbunker	ケルン	04.06.02～ 04.06.02	ジャズとプログレッシヴ・ロックの融合した音楽性をもつグループ「ROVO」が、斬新なビデオ映像とともに、宇宙的な空間を連想させる重層的な音楽を演奏
3	現代音楽公演		ケルン日本文化会館	ケルン	04.09.22～ 04.09.22	1945年以降（第二次世界大戦後）に作曲された作品を演奏すること、そして、現在活動中の作曲家の創作と直接関わることを目的として活動している、「東京シンフォニエッタ」の演奏会
4	邦楽コンサート	西部ドイツ放送	ケルン日本文化会館	ケルン	04.09.27～ 04.09.27	吉村七重（箏、歌）、三橋貴風（尺八）、山田由紀（箏、地歌三味線）による邦楽の古典と現代曲を紹介する演奏会

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
5	淡路人形浄瑠璃公演	ケルン独日協会、兵庫県国際交流協会、兵庫県	ケルン日本文化会館	ケルン	04.10.07～ 04.10.07	日本列島誕生の神話の中で一番最初に生まれた島とされる淡路島で、神に捧げる行事として、また民衆の娯楽として、500年にわたり伝承され、1976年には重要無形民俗文化財に指定されている「淡路人形浄瑠璃」の公演
6	日本・スイス現代音楽コンサート	ケルン新音楽協会、在デュッセルドルフ総領事館、在デュッセルドルフスイス総領事館、ケルン音楽大学	ケルン日本文化会館	ケルン	05.01.25～ 05.01.25	欧州、米国、アジアなど広範囲に活躍している、フルート奏者(Verena BOSSHART)と2人の打楽器奏者(Eduardo LEANDRO、Ricardo BOLOGNA)のトリオ「Trio BOSSHART - LEANDRO - BOLOGNA」とゲストの打楽器奏者Jean-Marie Paraireによる、現代音楽の公演
7	笙コンサート	文化庁	ケルン日本文化会館	ケルン	05.02.16～ 05.02.16	雅楽の合奏の中でしかその存在を知られていなかった「笙」、そのリサイタルを1983年から行い、古典雅楽の演奏はもとより、現代音楽の演奏、オーケストラとの共演などにより、東洋の伝統楽器「笙」の多彩な可能性を積極的に追求し国際的に広めた宮田まゆみと、ヴァイオリンの本場俱子をゲストに迎えての演奏会
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	講演会 長寿の恵み		ケルン日本文化会館	ケルン	04.04.30～ 04.04.30	デュースブルク大学で現代日本の文化と言語を講じているFlorian Coulmas教授(2004年7月から在東京ドイツ-日本研究所所長)が現代日本社会を紐解くキーワードとして「少子高齢化問題」をテーマに講演
2	伝統木版画実演		ケルン日本文化会館	ケルン	04.06.03～ 04.06.03	300年前の江戸庶民が手にしていた、かつて「錦絵」と呼ばれたほど鮮やかで美しい発色を一色ずつ丹念に摺り上げていく、伝統木版画について、刷りの実演にあわせ、浮世絵一般、製作工程を説明
3	岐阜の工芸	ケルン市東アジア美術館、「川が育んだ日本の伝統文化展」実行委員会、岐阜県、岐阜県商工会連合会	ケルン日本文化会館	ケルン	04.09.29～ 04.10.27	岐阜県の染織家・所鳳弘がケルン市東アジア美術館で主宰する「組紐ワークショップ」の25周年を記念し、同氏の在住する岐阜県に因んだ工芸や風物を紹介する同美術館の企画「川が育んだ日本の伝統文化」の共催事業として、講演会5本と映画会1本を実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
4	深川雅文 講演会		ケルン日本文化会館	ケルン	04.10.31	「富士山からフジヤマへ」と題した講演で、深川雅文(川崎市市民ミュージアム学芸員主査)は日本の現代写真の展開、なかでも風景写真の80年代から今日までの変化について論じ、独自の「サイト・グラフィックス論」を展開した
5	ゴジラ 講演会		ケルン日本文化会館	ケルン	04.11.24	講演者のJoerg Buttgerreitは、自作の放送劇やドイツ語版ゴジラの子編や貴重な映画ポスター等を披露する傍ら、ゴジラシリーズ全28作の要点や裏話、特にゴジラ誕生の背景には日本の敗戦や原爆・水爆被害、高度成長期の公害・環境破壊があることなども含めて、幅広い観点から解説を行なった
6	翻訳賞		ケルン日本文化会館	ケルン	04.11.26～ 04.11.26	1999年以来、日本語からドイツ語への優れた翻訳作品を対象に「国際交流基金翻訳賞」の授与を行なっている。平成16年度の受賞者は、小川洋子『妊娠カレンダー』を翻訳した、Ursula Graefeと中山ツイーグラー・公子
7	東京の大名庭園講演会		ケルン日本文化会館	ケルン	05.03.04～ 05.03.04	日本の芸術・美術に造詣の深い研究者であるIrmtraud Schaarschmidt-Richterが、東京の「後楽園」「六義園」ならびに「旧芝浜離宮」の歴史的背景、宗教の影響ならびに庭園の構造や意味について講演した
<b>【映画】</b>						
1	清水宏監督特集		ケルン日本文化会館	ケルン	04.03.01～ 04.04.26	『港の日本娘』『風の中の子供』『蜂の巣の子供たち』『小原庄助さん』など、清水宏監督の作品10本を上映
2	早期アニメーション特集	ニッポン・コネクション、プラネット映画資料図書館	ケルン日本文化会館 フランクフルト映画博物館	ケルン、 フランクフルト	04.05.06～ 04.06.21	1924年から1944年までに制作された日本のアニメーション短編映画を、6つのプログラム(草創期の作品/サイレント黄金時代/トーキー時代の夜明け/日本アニメの開花/戦時下の作品/戦時プロパガンダ)にて上映
3	新着映画特集		ケルン日本文化会館	ケルン	04.06.24～ 04.07.29	ケルン日本文化会館FLの新着作品『風花』『ウォーターボーイズ』『アカシアの道』『みんなの家』『たそがれ清兵衛』『軍旗はためく下に』を上映

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
4	女性監督特集	フランクフルト映画博物館、デュッセルドルフ「恵光」日本文化センター、ミュンヘン・ヴェルクシュタットキノ	ケルン日本文化会館 フランクフルト映画博物館 「恵光」日本文化センター ヴェルクシュタットキノ	ケルン、フランクフルト、デュッセルドルフ、ミュンヘン	04.09.13～ 05.03.02	田中絹代、羽田澄子、河瀬直美の映画の上映。第12回フェミナーレ女性映画祭（ケルン）との共催（田中絹代監督特集として上映）
5	藤原智子監督特集・講演会	デュッセルドルフ「恵光」日本文化センター、ベルリン森鷗外記念館	ケルン日本文化会館 「恵光」日本文化センター 森鷗外記念館	ケルン、デュッセルドルフ、ベルリン	05.03.10～ 05.03.21	記録映画監督の藤原智子を招へいし、ケルン日本文化会館およびデュッセルドルフ、ベルリンの3カ所にて講演会と映画上映を実施。上映作品は、会館FL新作の『ルイズその旅立ち』（1997）
<b>【日本語教育】</b>						
1	日本語講座		ケルン日本文化会館	ケルン	04.04.01～ 05.03.31	半期制。それぞれ準備コース（2時間4回）、本コース（2時間26回または13回）を実施。準備コースは初心者のみの4クラス、本コースは初心者～上級者9レベル11クラスを開講
2	日本語能力試験		デュッセルドルフ市民大学 シュトゥットガルト市民大学 フンボルト大学	デュッセルドルフ シュトゥットガルト ベルリン	04.12.05	ドイツではデュッセルドルフ、シュトゥットガルト、ベルリンの3都市で実施。受験者数は初めて800人を超えた
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書館運営		ケルン日本文化会館	ケルン	04.04.01～ 05.03.31	図書の貸出、参考調査（867件）、ドイツ語圏日本資料図書館連絡会を開催。収蔵資料数：書籍20,022冊、雑誌243タイトル、視聴覚資料7,073点。入館者数：3,155名。貸出図書冊数：2,538冊
<b>【出版・広報】</b>						
1	ホームページ				04.04.01～ 05.03.31	ドイツ語、日本語の2言語で、基金および会館の紹介や、ケルン日本文化会館事業、日本語講座、図書館等の案内、オンライン書籍注文、その他日本関連情報のリンクなどを掲載
2	会館催し物案内発行		ケルン日本文化会館	ケルン	04.04.01～ 05.03.31	会館の催し物、日本語講座、図書館、助成・協力事業について、事業案内パンフレットを隔月毎に年5回発行（毎回8,000部）

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【その他】</b>						
1	美術館の長い夜	ケルン市、情報誌 Koelner StadtRevue	ケルン日本文化会館	ケルン	04.11.06～ 04.11.07	ケルン市および情報誌 Koelner StadtRevue の主催で開催され、約40の施設が参加するイベント「第5回ケルン市美術館の長い夜」に参加(4回目)。「豊嶋康子・An Seebach 対話展」とともに、当日の企画として「てんてこ太鼓」の演奏
<b>【本部事業受入】</b>						
1	歌舞伎公演 (在外)		ケルン日本文化会館	ケルン	05.03.18	化粧や女形の説明 (ドイツ語中心) を交えながら、古典的な演目 (「獅子の乱曲」、「豊後道成寺」) と創作舞踊 (「あなめ」) の公演を実施

2. ケルン日本文化会館	(2)助成・協力事業
--------------	------------

合計額 728,956円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	市民大学向け日本語教科書作成	ドイツ市民大学日本語講師の会	04.04.01～ 05.03.31	ドイツ市民大学日本語教師の会が1999年に出版した日本語教科書『Japanisch Bitte(日本語でどうぞ)第1巻』の続編制作に対する支援
2	第16回ドレスデン映画祭	ドレスデン映画祭	04.04.13～ 04.04.18	アニメと短編映画の国際映画祭。丹下紘希監督他、日本の監督等4名の滞在費、プリント輸送費に対する助成
3	「Pictoplasma conference」	Pictoplasma Conference Thaler & Denicke GbR	04.10.28～ 04.10.30	キャラクターデザインに関する国際会議・ワークショップ。日本からは「Furi Furi」が参加。謝金・旅費・滞在費に対する助成
4	「Pro Tsubo」展	Murata & Friends	04.11.26～ 04.12.19	日本の若手作家9人のグループ展「Pro Tsubo」。会場はミュンヘン近郊のランズフート。謝金と旅費に対する助成
5	日本の木工品展	ミュンヘン建築画廊	04.12.02～ 05.01.20	日本の伝統木工展。Christoph Henrichsen所蔵の木工品や写真パネルの展示。旅費と広報費に対する助成
6	照屋勇賢展	ナッサウ・クンストフェライン・ヴィースバーデン	05.01.15～ 05.02.27	ニューヨークで活動している沖縄出身のアーティスト照屋勇賢の個展。カタログ制作費に対する助成

## 3. パリ日本文化会館 (1)主催・共催

合計額 35,796,608円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【展示】</b>						
1	『Petites Natures?』展 (アーティスト・イン・レジデンス展覧会)		展示ホール	パリ	04.04.09～ 04.07.03	各地の土を採集して色彩と美しさを表現する栗田宏一、写実的な花や植物の美しい木彫作品をインスタレーションする須田悦弘と、自然を素材とする現代作家をパリに招きアーティスト・イン・レジデンスによる作品制作を実施、その成果を紹介する展覧会
2	錦織展	「光峯の織物美術-超近代の宿る伝統」プロジェクト実行委員会	小ホール	パリ	04.05.25～ 04.06.26	千二百年の伝統を持つ京都の手機織物・錦(伝統的先染紋織物)の技術を工房「光峯」の作品を通して紹介。色数1200色の大型作品「五行」や雅子妃殿下のご婚礼用御支度品「雅の松」を含む40数点を展示
3	吉川壽一書道展		玄関ホール	パリ	04.09.25～ 04.10.02	9月24日(金)夜にシャンゼリゼ通りで行なわれた「世界のお巡りさんコンサートinパリ」の関連事業としてエッフェル塔およびルーブル美術館広場で野外揮毫を行なった福井県在住書家・吉川寿一(じゅいち)の作品展示会
4	歌舞伎衣裳展	松竹衣裳株式会社	展示ホール	パリ	04.10.06～ 04.10.16	発祥四百年の節目を昨年迎えた歌舞伎の海外初の本格的な衣裳展。動く錦絵とも呼ばれる歌舞伎美の世界を40点の衣裳展示で見せる。松竹衣裳株式会社による資金および衣裳提供
5	伊万里展(「JIKI - 日本の磁器展 1610-1760」)	ファエンツァ市、ファエンツァ国際陶芸博物館	展示ホール	パリ	04.11.26～ 05.04.02	佐賀県立九州陶磁文化館の大橋康二副館長を監修者として、国際交流基金とファエンツァ国際陶芸博物館(在イタリア)が日本国内から58件66点、欧州から39件47点を集め、ファエンツァ、パリ日本文化会館、ベルギー王立歴史博物館と巡回させる
<b>【公演】</b>						
1	雅楽	天王寺楽所峨亮会	大ホール	パリ	04.04.01	雅楽の起源のひとつである四天王寺雅楽の流れを汲む天王寺楽所峨亮会による雅楽公演。管弦『平調音取』『越天楽』『陪臚』、舞楽『振鉦』『還城楽』『胡徳楽』を上演

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
2	日仏現代音楽コンサート	日本現代音楽協会、Ensemble 2e2m	大ホール	パリ	04.04.23～ 04.04.24	日仏の戦後世代の作曲家を、室内オーケストラ・コンサート（小鍛冶邦隆指揮、Ensemble2E2M演奏）「室内オーケストラの領域—日仏現代音楽における戦後世代の台頭」と講演会「戦後日本現代音楽の概観、およびピアノリサイタル（マルチヌ・ジョスト演奏）」「1950年以降の日本現代音楽の軌跡—ピアノ音楽に見る武満以降、新世代に至る展開」によって紹介する現代音楽の総合企画
3	松平頼則コンサート	Emsemble Erwartung	大ホール	パリ	04.05.15～ 04.05.15	2001年10月に亡くなった日本を代表する現代音楽作曲家であり、フランスとも縁の深い松平頼則の追悼コンサート。同氏が最後に曲を捧げた在仏声楽家（ソプラノ）の奈良ゆみが、Ensemble Erwartungの演奏とともに、同氏の曲と同氏と関係の深いメシアン、ドビュッシーの曲を上演
4	ジャズ・イン・ジャパン5		大ホール	パリ	04.06.01～ 04.06.05	今回で5回目を迎えるパリ日本文化会館恒例のジャズフェスティバル。第1日目：塩谷哲（ピアノ）&大儀見元（パーカッション）+ジュリアン・ルロ（サクソ）、第2日目：佐藤通弘グループ（津軽三味線）、第3日目：久米大作ユニット、第4、5日目：山下洋輔NYトリオ+仙波清彦（鼓）、天田透（笛）
5	音楽の日コンサート		大ホール	パリ	04.06.21	毎年夏至の日に繰り広げられる、フランス挙げての音楽の祭典。街中に音楽が溢れる。パリ日本文化会館では、日本生まれの若手キーボード奏者ベランジェ・益田氏が率いるフランスの6人編成バンド「Yoshi from Tokyo」によるコンサートを実施
6	Dandy four(ダンディーフォー)コンサート	日本航空株式会社(主催)	大ホール	パリ	04.09.11	日本航空の主催による、ビジネスマン4人によるボーカルカルテットの演奏。招待客ベースの無料コンサート
7	DANCE AND MEDIA		パリ日本文化会館小ホール	パリ	04.10.01～ 04.10.02	ダンスとデジタル・テクノロジーが融合して近年活発になってきた新しい表現形式である「メディア・パフォーマンス」を、ビデオ上映・実演・レクデモ・講演会と総合的に紹介。在パリ外国文化機関による外国文化週間参加企画

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
8	淡路人形浄瑠璃	財団法人兵庫県国際交流協会	大ホール	パリ	04.10.13～ 04.10.14	文楽の起源のひとつとして500年の歴史もあり、国指定重要無形民族文化財でもある淡路人形浄瑠璃の上演。演目は、『傾城阿波鳴門・順礼歌の段』、『えびす舞』、『本朝廿四孝』。また人形の仕組みや遣い方を紹介する人形教室も実施
9	ポーランドの夕べ	ポーランド文化センター	大ホール	パリ	04.11.05	日本の新進の音楽家紹介すべく、ポーランド文化センターとの協力の下、2000年にポーランドの留学生ショパンコンクールでグランプリを獲得した小早川朗子のピアノ・リサイタルを実施。同氏の研究している19世紀のポーランド人作曲家の作品を演奏。フランスにおけるポーランド年参加企画
10	パリ高等音楽学院留学生コンサート	パリ高等音楽院	大ホール	パリ	04.11.06	日本の新進の音楽家を紹介すべく、パリ高等音楽院（コンセルヴァトワール）との協力の下、同院第3課程在籍・卒業日本人留学生2組によるコンサートを実施。出演者は、橋本晋哉（チューバ）+藤田あき子（ピアノ）、神谷未穂（ヴァイオリン）+宮田理生氏（ピアノ）
11	Jazzy colors	在パリ外国文化機関（スウェーデン、カナダ、リトアニア、ルーマニア、ポーランド、チェコ、スロヴァキア等）	チェコ文化センター	パリ	04.11.18	在パリ外国文化機関有志共催、チェコ文化センター・フィンランド文化センター・ハンガリー文化センターを会場に、各国のミュージシャンが1日2組ずつ演奏する、国際色豊かなジャズ週間企画。昨年度に引き続き2回目。日本からは、在仏日本人ミュージシャンにより結成されたSachi B.が参加
12	J-Dance 04	財団法人横浜市芸術文化振興財団	大ホール	パリ	04.11.19～ 04.11.20	日本の新進ダンサー・振付家を紹介する企画。横浜ダンス・コレクション・ソロ×デュオ・コンペティション・在日フランス大使館賞受賞(2004年度)のジョン・ヨンドゥが、受賞作のデュオ『降りないこと』(Craving for more)と、トリオ『We need time』、新作ソロ『Gently going past someone's shoulder』を上演。韓国文化センター後援



	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
13	アフリカの聖 ジュネ - 『女 中達』をめぐる 典礼-	YOSHI & COMPANY	大ホール	パリ	04.12.07～ 04.12.11	在仏演劇人であるヨシ笈田演出で、 英国等で高い評価を得た作品のパリ 初演。黒人男性ダンサー2人が獄中 の舞台に『女中達』を中心としたジャン・ ジュネ作品を、ダンスを通じて 演じる、日本人演出家を中心とした 多文化混成の舞台作品。同時期に国 立ダンスセンター主催で、パリ日本 文化会館にて、演出家・出演者による ワークショップを実施
14	声と琵琶とギ ター	Ensemble 2e2m	大ホール	パリ	04.12.17～ 04.12.18	フランスとオランダの二人のギタリス トと琵琶奏者田原順子による演奏 会。仏作曲家のロラン・マルタンが 2002年に関西日仏会館に滞在して作 曲した『一生懸命』（宮沢賢治と西脇 順三郎の詩の朗読と2台の四分音ギ ターのための作品）を第3部に、第1 部は平家琵琶『敦盛の段』、第2部は ギターの現代曲（成田和子、ほか） を演奏
15	こどもの城コン サート	全日空株式会社 (主催)	大ホール	パリ	05.01.12	日本航空の主催による、ロンドン～ パリ～デュッセルドルフと巡回する 子供向け招待客ベースの無料コン サート
16	トリュフォー往 復書簡	東京日仏学院	大ホール	パリ	05.01.14	フランスの映画監督トリュフォー没 後20年追悼企画。同監督の書簡をも とに、同監督と日本の映画評論家山 田宏一との交流を中心にして、フラ ンス語と日本語による朗読劇とした 作品。日仏俳優3人が出演
17	日本舞踊レク チャー・デモン ストレーション		小ホール	パリ	05.02.16	日本舞踊振興財団の西川箕乃助氏ほ か出演。衣装・かつら付きで踊る古 典舞踊作品『舞扇』と、羽織・袴だ けで踊る古典素踊り作品『雨の五郎』 を上演後、振付や扇子・手拭の使い 方を解説
18	神楽『青の風』	ロワイヨモン財 団	パリ日本文化会 館大ホール	パリ	05.03.18～ 05.03.19	日本の伝統芸能である神楽をダンス の視点から見直す企画。在仏アメリ カ人振付家スーザン・バージュ監修、 鳥根県高津神楽社中出演。第1部は、 石見神楽の伝統的曲目『塵輪』。第2 部は、同社中出演、スーザン・バー ジュ演出・振付による現代神楽『青 の風』

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【講演・シンポジウム】						
1	日仏スピーチコンテスト	Association Generation France-Japon	大ホール	パリ	04.04.03	日本語習得中の高校生・大学生を対象とした日本語によるスピーチ、高校生・大学生・グランゼコールの学生を対象としたフランス語による日本に関するスピーチの決勝大会
2	錦織展関連講演会「LUMIERE DE SOIE (絹の光)」	光峯の織物美術 - 超近代の宿る伝統」プロジェクト実行委員会	大ホール	パリ	04.05.25	錦織展関連の講演会。龍村光峯（織物美術家）、河上繁樹（前京都国立博物館染織室長）、稲賀繁美（国際日本文化研究センター助教授）が、展覧会初日にそれぞれの立場から日本の織物について講演
3	酒セミナー	八壺会	大ホール	パリ	04.06.24	セミナーにて約10軒の代表的蔵元が日本酒の特徴と挑戦を紹介し、日本食との組み合わせのみには留まらない日本酒の広がりを発見するべく、試飲会も実施
4	「日仏都市観の違い」	日仏学生フォーラム	玄関ホール	パリ	04.09.21～ 04.09.23	日仏の大学生が（グランゼコール、東大など）、数カ月に渡って日仏における都市観の違いに関し行なったグループ研究の写真パネルによる発表
5	歌舞伎衣装演出デモンストレーション	松竹衣装株式会社	小ホール	パリ	04.10.06～ 04.10.15	発祥四百年の節目を昨年迎えた歌舞伎の海外初の本格的な衣裳展に合わせた歌舞伎独特の衣裳演出手法のデモンストレーション。引き抜き、ぶっかえり等、歌舞伎独特の衣裳演出を実演
6	文学「作家・平野啓一郎から見た三島由紀夫」講演会		小ホール	パリ	04.12.02	芥川賞作家・平野啓一郎による、三島由紀夫について語る講演会
7	「漫画家・辰巳ヨシヒロとの出会い」講演	アングレーム国際漫画フェスティバル事務局	大ホール	パリ	05.02.03	昭和32年に「劇画」という新しい漫画のジャンルを提唱し、フランスにおいても絶大な人気を博している辰巳ヨシヒロ氏を迎え、司会者を務めるジャーナリストや辰巳ファンとの質疑応答を中心にした交流会
8	伊万里展関連講演会「伊万里磁器」		大ホール	パリ	05.02.05	「伊万里-将軍と欧州王侯の磁器(1610～1760)」展の監修者である大橋康二（佐賀県立九州陶磁文化館副館長）を迎え、伊万里磁器の歴史や鎖国時代の日本の磁器の欧州の王侯貴族への輸出、将軍向け磁器と欧州王侯貴族向け磁器の違い等を講演

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
9	日・EU市民交流年記念シンポジウム「文化における日欧交流－文化の独自性と多様性－」	日仏記者協会 (協力)	大ホール	パリ	05.03.21	小倉和夫（国際交流基金理事長、元フランス大使）、高階秀爾（美術評論家、大原美術館館長）、カトリース・トロットマン（欧州議員、元文化・コミュニケーション大臣）、ジャン＝ロベール・ピット（パリ第4大学学長）が磯村尚徳館長の司会で日欧交流を考察するシンポジウム
10	豊田四郎監督特集関連講演会「文学作品の映画化とその問題『雪国』について」		大ホール	パリ	05.09.25	豊田四郎監督特集上映会での『雪国』上映に合わせ、日本映画を専門とする映画評論家マックス・テシエ氏と、川端康成研究の当国第一人者であるパリ第7大学のセシル・坂井教授が、川端康成の世界、そして映画と文学の関わりについて討論する講演会
<b>【映画】</b>						
1	豊田四郎監督特集		パリ日本文化会館大ホール	パリ	04.09.15～ 04.10.02	文芸作品の映画化として知られる豊田四郎監督の『若い人』、『小島の春』、『雁』、『夫婦善哉』、『猫と庄造と二人のをんな』、『雪国』、『駅前旅館』、『暗夜行路』、『墨東綺譚』、『憂愁平野』、『甘い汁』、『千曲川絶唱』、『恍惚の人』、計13作品を特集上映
2	ドキュメンタリー特集「日本人のアイデンティティ」		パリ日本文化会館大ホール	パリ	04.10.14～ 04.12.12	藤原次郎監督の『在』（2001）、『然』（2003）、『縁』（2004）、『継』（2004）それぞれ藤原次郎監督、奥村恵美子プロデューサー、石丸信明（建築家）のティーチ・インあり。他に、「日本人のアイデンティティ」のテーマに基づいた作品を金・土曜に上映
3	日本アニメ映画特集「日本のアニメの源流を探る・第2部」		パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.02.16～ 05.03.05	『白蛇伝』『少年猿飛佐助』『ひょっこりひょうたん島』『太陽の王子ホルスの大冒険』『長靴をはいた猫』『空飛ぶ幽霊船』『どうぶつ宝島』『機関車イエモンD51の大冒険』『かぐや姫』『鶴の恩返し』等、東映アニメの名作から作家主義の久里洋二までアニメの歴史を俯瞰

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書館		パリ日本文化会館図書館	パリ	04.04.01～ 05.03.31	蔵書冊数 累計 22,780冊 (洋書 9,595 和書 13,185) 取得冊数 1,018冊 (洋書339 和書 679) 視聴覚資料 累計 2,034点 (ビデオ 1,309点 CD 530点 CD・DVD-ROM 195点) 取得点数 52点 (ビデオ26点 CD 14点 CD・DVD-ROM 12点) 来館者数 今年度計 18,118名 視聴覚資料利用者数 計 ビデオ 1,850名 CD-DVD 650名 インターネット 1,001名 年間貸出数 2,622冊
<b>【出版・広報】</b>						
1	日本文化・フランス文化入門講座		パリ日本文化会館教室	パリ	04.04.01～ 05.03.31	フランス人を対象に日本文化への、そして日本人を対象にフランス文化への理解を深めることを目的とした講座
<b>【教室事業】</b>						
1	書道教室		パリ日本文化会館教室	パリ	04.04.01～ 05.03.31	フランス在住の書道講師・鈴木祐子(2004年6月まで)、大島妙子、武井真紀子(ともに2004年9月以降)による書道教室。6月19日には作品発表会(地下3階ホワイエに展示)および書道デモンストレーションも実施した
2	生花教室	いけばなインターナショナル	パリ日本文化会館教室	パリ	04.04.01～ 05.03.31	小原・草月・池坊各流派によるイケバナ指導。定期的にデモンストレーション、玄関ホールにおける展示も行った
3	茶道デモンストレーション	裏千家淡交会 表千家	パリ日本文化会館茶室	パリ	04.04.01～ 05.03.31	裏千家が担当する茶道デモンストレーション
4	囲碁教室	フランス囲碁連盟 パリ囲碁クラブ	パリ日本文化会館教室	パリ	04.04.01～ 05.03.31	初心者から上級者までを対象とする囲碁教室

4. ソウル日本文化センター (1)主催・共催事業

合計額 13,791,592円

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【展示】</b>						
1	第7回アジア漫画展		ソウル日本文化センターイオンホール	ソウル	04.03.31～ 04.04.13	「第7回アジア漫画展」をソウル日本文化センターにおいて開催。アジアの就職難をテーマに、韓国（イ・ホンウ氏）と日本を含むアジア8カ国のカートゥーン作家8人による原画80点で構成
2	韓日グラフィック・デザイナー交流展「ソウル－東京24時」	ソウル・グラフィック・デザイナーズクラブ	ソウル日本文化センターイオンホール	ソウル	04.05.13～ 04.06.02	日韓の中堅デザイナー30人による作品60点で構成されるグラフィック・デザイン展。グラフィックを通して両国の文化の多様性を探ることをコンセプトとし、主に両国の政治、経済、文化の中心であるソウルと東京のデザインの現状を、広告・デザイン教育・出版など様々な分野で活躍するデザイナーの作品で表現した
3	浮世絵展		ソウル日本文化センターイオンホール	ソウル	04.08.12～ 04.09.15	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵複製画190点中、65点を展示した。様々な種類の浮世絵を紹介しつつ、浮世絵に対する体系的な理解を促す構成とした。会期中、大学生160名を対象にレクチャーと展示解説を行った
4	福田繁雄ポスター展		ソウル日本文化センターイオンホール	ソウル	05.03.30～ 05.04.27	「田中一光ポスター展」(2003年8月)に続く、日本のグラフィック・デザインを紹介するシリーズの第2弾。福田繁雄（グラフィック・デザイナー）は、視覚のトリックを用いて感覚に働きかけるトリック・アートや環境問題等をユニークにデザインする独特な作品世界を具現した
<b>【公演】</b>						
1	文化庁文化交流使 落語家快樂亭ブラック	文化庁	ソウル日本文化センターイオンホール 韓南大学校文化大学講堂 釜慶大学校映像セミナー室 圓光大学校師範大学教育工学媒体室 光州大学校日本語専攻資料室	ソウル 大田 釜山 益山 光州	04.11.25～ 04.12.08	文化庁との共催により、快樂亭ブラック（落語家）を韓国に招へいし、ソウル日本文化センターおよび5つの地方大学を会場として、中・上級日本語学習者を対象とする落語公演を計7回行った

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【映画】</b>						
1	日本映画の歴史と美学	韓国シネマテーク協議会、文化学校ソウル	ソウルアートシネマ	ソウル	05.02.28～ 05.03.28	韓国語フィルムライブラリー所蔵作品のうち、5作品を選定し、上映会を行うと共に当該作品の映画史的な意味や、監督の制作意図、製作過程等につき、日本映画専門家による講演会を催した
<b>【日本語教育】</b>						
1	日本語講座		ソウル日本文化センター講義室	ソウル	04.03.02～ 05.06.03	一般学習者向けコース10クラス、週2コマ(総コマ数20)を実施した
2	日本語教育研究講座		ソウル日本文化センター講義室	ソウル	04.03.03～ 04.06.09  04.09.01～ 04.12.15	2004年度前期：週1回、全13回(総26時間)実施。2004年度後期：週1回、全14回(総28時間)実施。現職中学日本語教師を対象とした「中学校日本語教師研修コース」「現職高校日本語教師を対象とした「高校日本語教師研修コース」現職中高教師を対象とした「日本語能力向上コース」の3コースを実施
3	ニューズレター作成・発行			ソウル	04.07.01～ 05.03.31	韓国の日本語学習者を対象とし、インターネット上で配信するニューズレター『カチの声』を発行
4	夏季日本語教師日本語能力向上コース		ソウル日本文化センター講義室	ソウル	04.07.26～ 04.08.06	夏休みを利用した10日間の集中講座、総30時間実施。現役中学・高校日本語教師を対象とし、「話す、聞く、読む、書く」の4技能を総合的に高めるとともに、運用面での正確さの向上および現代日本語事情に関する理解の深化を目標とした
5	夏季日本語教師集中研修		ソウル日本文化センター講義室 在釜山総領事館講義室	ソウル 釜山	04.08.02～ 04.08.20	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。1日6時間、総30時間実施
6	国立慶尚大学校師範大学2004年度中等日本語資格研修	国立慶尚大学校師範大学	国立慶尚大学校師範大学	慶尚南道晋州市	04.08.11～ 04.08.11	日本語教師資格取得のための5週間の研修中における特別講義として、国際交流基金の活動概要、とりわけ日本語教師支援事業を紹介
7	青年日本語教師訪問授業		三角山中学校 九雲中学校 霊通中学校 論山大建高校	ソウル ソウル ソウル 忠南	04.09.16～ 05.03.16	ソウル日本文化センター派遣青年日本語教師が、韓国側教育機関の求めによりソウル市内および水原市内の中学校を訪問し、会話授業の補助や日本文化紹介を行なった

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
8	「韓国人日本語教師と日本語ネイティブ教師によるチーム・ティーチング授業事例集」制作			ソウル	04.10.01～ 05.03.31	2003年度に青年日本語教師がソウル市内の高校を訪問し、韓国人日本語教師とチーム・ティーチングを行なった際の授業の事例とチーム・ティーチング実施の際の留意点などをまとめた事例集を300部を作成・印刷した
9	日本語教育支援事業諮問委員会		ソウル日本文化センターイヨンホール	ソウル	04.11.25～ 04.11.25	ソウル日本文化センターの日本語教育関連事業に関する計画立案、評価等につき協力を得るため、諮問委員会を開催した。諮問委員会は教育行政関係者、言語教育関係者、教師会関係者等6名で構成
10	冬季日本語教師集中研修		ソウル日本文化センター講義室	ソウル	05.01.17～ 05.01.21	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。1日6時間、総30時間実施。日本文化体験として、裏千家ソウル出張所にて茶道体験実習も組み込んだ
11	冬季日本語教師日本語能力向上コース		ソウル日本文化センター講義室	ソウル	05.01.17～ 05.01.28	冬休みを利用した10日間の集中講座、総30時間実施。現役中学・高校日本語教師を対象とし、「話す、聞く、読む、書く」の4技能を総合的に高めるとともに、運用面での正確さの向上および現代日本語事情に関する理解の深化を目標とした
12	日本語能力試験		ソウル日本文化センター	ソウル	05.12.05～ 05.12.05	2004年度日本語能力試験障害者受験会場としてソウル日本文化センターを使用した

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書館運営				04.04.01～ 05.03.31	ソウル日本文化センター図書館の運営。蔵書タイトル数：図書9,136冊、視聴覚資料2,962個
<b>【出版・広報】</b>						
1	ホームページ運営				04.04.01～ 05.03.31	ホームページは、団体プロフィール、各種事業案内、特集記事や連載企画等で構成される。使用言語は韓国語で、一部ページは日本語および英語版にても掲載
<b>【本部事業受入】</b>						
1	李秀賢氏記念韓国青少年招聘事業	社団法人韓日協会（募集作業のみ）	1次試験 ソウル日本文化センター 2次試験 ソウル日本文化センター 訪日研修	ソウル	04.12.12～ 05.02.24	関西国際センター主催の標記事業における参加者募集および選考業務。募集業務は共催者（韓日協会）とともに行ない、選考はソウル日本文化センターが単独で実施

4. ソウル日本文化センター	(2)助成・協力
----------------	----------

合計額 6,109,972円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	日本語教育支援助成－2004年度（ソウル市教育庁指定「教育資料開発研究員」日本語チーム）	2004年度ソウル市教育庁指定「教育資料開発研究員」日本語チーム	04.03.09～ 04.12.03	ソウル市教育庁教育科学研究院が主催する「2004年度教育資料開発研究事業」のひとつに指定され、上記研究院の予算交付を受けて、高等学校で使用する日本語の教授・学習用CD-ROM教材を開発・作成する事業。推進者は現役の日本語教師有志グループである。 ソウル日本文化センターは本助成金による支援の他、日本語教育派遣専門家による助言提供およびスキット吹き込み協力も行なった
2	企画開発事業－韓国北方学会国際学術大会	韓国北方学会	04.05.05～ 04.05.07	韓国の国際政治学の専門家や大学生等が対馬に集まって、現在の日韓関係、朝鮮半島問題、および国際安全保障問題等について議論を行なった
3	セミナー「小さい村白馬村はいかに長野オリンピックを成功させたのか」	韓日社会文化フォーラム	04.05.29～ 04.05.29	筑波大学社会科学部の黄順姫助教授を招へいし、小さい村がオリンピックを成功させるまでの政策・システム・実践方法等について講演会を実施し、参加者たちと討論を行なった。実施会場はソウル文化センターイオンホールを提供



	事業名	協力対象団体	期間	内容
4	セミナー「建築史と人類学：東南アジアの民家調査を通じソウルのアパートを読み解く」	韓日社会文化フォーラム（共同主催：韓国建築歴史学会）	04.06.19～ 04.06.19	大阪民族学博物館の佐藤浩司助教授を招へいし、「建築史と人類学：東南アジアの民家調査を通じてソウルのアパートを読み解く」というテーマで講演会を実施、韓国の学者たちと討論を行なった。実施会場は延世大学校工学院内講堂
5	セミナー「インターネット、コミュニケーション、日本語教育」	韓日社会文化フォーラム	04.07.02～ 04.07.02	PCおよびインターネット技術を活用した日本語教育に関する計4名による基調講演、事例報告および討論。当センター助成金は太田徳夫ヨーク大学教授（基調講演者）の招へい経費を対象とした
6	東アジアンメロウ映画展	韓国映像資料院	04.07.05～ 04.07.10	日本、韓国、香港の1950～1960年代の代表的なメロドラマの映画上映およびシンポジウムを通じ、同時代の東アジアにおける映画史的な意味を考察するとともに韓国の映画愛好家に海外の傑作を紹介する行事を行なった。日本側の出品作品は次の通り。『君の名は』（第1-3部作）、『晩菊』、『洲崎パラダイスー赤信号』（ソウル日本文化センター所蔵作品）、『山の音』、『女は二度生まれる』計7作品
7	セミナー「日本国内の韓国大衆文化コンテンツの流通現況と波及効果」	韓日社会文化フォーラム	04.07.15～ 04.07.15	日韓の研究者、文化産業関連業者、およびマスコミ関係者等がソウルに集まり、日本と韓国の大衆文化交流の現況、特に日本における韓国文化ブームについて発表・討論し、その問題点および解決方法について議論を行なった
8	韓日親善ジュニアコンサート	財団法人世宗文化会館	04.08.14～ 04.08.14	韓国には、川端康成の小説『雪国』の背景としてよく知られている新潟のジュニア合唱団を世宗文化会館が招へいし、ソウル市立少年少女合唱団との合同公演を行なった。第1部（We are friends 2004）：新潟ジュニア合唱団とソウル市立少年少女合唱団との合同公演、第2部：ソウル市立少年少女合唱団の公演、第3部：新潟ジュニア合唱団の公演（伴奏：ソウル市青少年交響楽団）
9	日本語教育支援－紙芝居公演－	培花女子大学日語通訳課	04.09.06～ 04.09.12	中平順子（子ども文化研究家）による「紙芝居」（現代の「教育紙芝居」）作品の公演。日本語教育・学習に応用可能なツールとして日本の紙芝居を紹介するとともに、観客参加型の紙芝居自体を鑑賞する・演じる楽しみを共有した
10	「海と日傘」公演	Labo C.J.K	04.09.09～ 04.09.26	日本の現代戯曲のうち、韓国語に翻訳・出版され、既に韓国に知られている作品（『海と日傘』松田正隆作）を演劇に翻案し、韓国の俳優により演じる公演を行なった。また、公演期間中、スペシャルイベントとして作家と日本のプロデューサーを招へいし日本の文学および現代演劇について観客とのトークも行なった
11	韓日子供シンポジウム2004	釜山韓日文化交流協会	04.10.10～ 04.10.10	釜山と福岡の子供たちが、前年度の福岡での実施に続いて、今回釜山でシンポジウムを行なった。事前学習会、合同キャンプ、ホームステイ等を行ない、その成果をシンポジウムで発表した
12	企画開発事業－第12次国家戦略フォーラム	世宗研究所	04.10.14～ 04.10.14	韓国最大の民間シンクタンクである世宗研究所が、毎年開催している「国家戦略フォーラム」シリーズの一環として行なった会議である。日韓両国の学者、政治家がソウルに集まって、日本の東アジア戦略、およびそれに対する日韓両国の協力方法について議論した

	事業名	協力対象団体	期間	内容
13	DP2004デザイン祭Designers PT Room	Designers Planet	04.10.20～ 04.10.25	今年で2回目を迎える「Designers Planet」は、デザイン・美術、さらに領域を広げ、社会・文化的な分野において新しい多様性を追求することにより、創作の基盤を広げようとする韓国若手デザイナーたちによるデザイン・ムーブメントである。出品作家によるメイン展示とともに、特別展の海外デザイナー招待展、PT Room等、会期中は様々なイベントが行なわれた。ソウル日本文化センターは、PT Roomのパネルとして参加したデザイナー（早川泰ほか1名）に対して協力した
14	日本語教育支援－「第6回韓国日語教育学会教員研修会」	韓国日語教育学会	04.10.21～ 04.11.21	「ICTを活用した日本語教育」と題し、学会員を主な対象として、日韓両国におけるPCやインターネットといった情報通信技術を利用した日本語教育の最新動向に関する情報交換を行なう研修会を行なった。ソウル文化センターは招へい日本人講師にかかる旅費・謝金および予稿集印刷経費に対して助成するとともに会場を提供した
15	セミナー「インターネット時代世論主導 市場の変化」	韓日社会文化フォーラム	04.10.28～ 04.10.28	韓国の代表的なインターネット新聞「オーマイニュース」の代表者がインターネット時代の「市民ジャーナリズム」について講演を行ない、韓国の日本人特派員等と討論を行なった
16	インディドキュフェスティバル2004	社団法人韓国独立映画協会	04.10.28～ 04.11.03	韓国および海外で制作されたドキュメンタリー映画を紹介し、優れた作品を発掘するため、毎年定期的に行われる韓国内の代表的なドキュメンタリー映画祭である。今回の映画祭には、海外招請作の「海女のリャンさん」を制作した原村正樹監督と山形国際ドキュメンタリー映画祭のプログラマー等を招へいし、「独立ドキュメンタリー映画に対する公的な支援システムの必要性」についてフォーラムも行なった
17	第16回韓日ダンスフェスティバル	韓日ダンスフェスティバル推進委員会	04.11.01～ 04.11.06	韓日ダンスフェスティバルは1993年の第1回開催を皮切りに10年以上韓国と日本で交互に開催されているコンテンポラリーダンスのフェスティバルであり、両国の若手ダンサーの発掘・育成に一定の成果を挙げると共に両国のコンテンポラリーダンス界における交流の草分け的役割を担ってきた。韓国側主催者はシアター・ゼロであり、日本側主催者は青山劇場である。今回は日本から5チーム、韓国から6チームの計11チームの新人および中堅ダンサーが参加した
18	日本語教育支援助成－2004年度国際学術シンポジウム	韓国日語日文学会	04.11.15～ 04.12.11	「グローバル・ジャパンにおける日本語教育の新しい在り方」と題し、日本より尾崎明人日本語学会（旧：国語学会）会長を講演者として迎える国際シンポジウムにより、日本の「国語・国文学界」の近年の動向に見られる日本語教育の環境変化を紹介するとともに今後の展望を得た
19	企画開発事業－児童権利のための韓日国家人権政策の課題	韓国児童権利学会	04.11.19～ 04.11.19	日本の専門家による日本における児童権利の現状と政策についての発表の後に、日韓両国の学者、NGO関係者、および児童関連学科の学生が児童権利の増進のための日韓間の協力の可能性について討論を行なった

	事業名	協力対象団体	期間	内容
20	企画開発事業－東北亜の平和と21世紀韓日関係の再構築	韓日社会文化フォーラム	04.12.09～ 04.12.09	世代交代により、両国の国会議員の関係に大きな変化が起きている中で、両国の国会議員と学者、マスコミ関係者等が集まって、現在の北東アジア情勢と日韓関係を分析し、新しい形の日韓関係を構築するための方法についての議論と具体的な代案の模索を行なった
21	第3回ソウル国際メディアアート・ビエンナーレ（メディアシティーソウル2004）	ソウル市立美術館	04.12.15～ 05.02.06	「メディアシティー・ソウル」はIT産業に力を入れる韓国を代表するメディアアートの国際展であり、本展示には世界的に著名なメディア・アーティスト40名が参加した。このうちヤノベ・ケンジをはじめとする日本の作家を招いて当センターにて開催されたのがイベント「日本作家との対話」である。本イベントは5名の日本人作家より視覚メディアを活用し、各作家の作品に関するプレゼンテーションが行なわれた。当日は本展ディレクターであるリズ・ヒューズ氏をはじめ、各国の出品作家が多数参加した
22	セミナー「韓日文化交流の現住所」	韓日社会文化フォーラム	05.01.08～ 05.01.08	韓国文化観光政策研究院の研究員による基調講演の後、日韓両国の学者、マスコミ関係者、政府関係者、および文化産業関係者等が討論を行なった
23	企画開発事業-韓日シンポジウム（今後の韓日青少年交流における課題と展望）	東アジア文化交流協会	05.03.13～ 05.03.13	日本の学者が日韓関係の現状と両国青少年交流の課題について研究結果を発表し、韓国の学者と討論を行なった。また、会場には両国の青少年も多数参加して両国の青少年間の交流について活発な意見交換を行なった
24	国際音楽祭MUSIC TODAY SEOUL 2005	21世紀楽会	05.03.21～ 05.03.24	第3回目を迎える「国際音楽祭MUSIC TODAY,SEOUL 2005」の期間中に特別イベントとして現代音楽を代表する著名な音楽家を審査委員として招へいし「ソウル国際作曲コンクール」を開催した。コンクール期間中には審査委員による様々な学術セミナーも開かれた
25	富田勉のイラストレーション展・セミナー	デザインネット	05.03.25～ 05.03.31	当地におけるデザイン界の有力雑誌である「デザインネット」が企画した海外クリエイター招待展として「富田勉の立体造形イラストレーション展」を開催した。特別イベントとして富田勉氏が出席し、セミナー（「ジャンルとメディアの境界を超越する日本のイラストレーター」）も開かれた
<b>【会場提供】</b>				
1	芸術製本展	RECTOVERSO（芸術製本工房）	04.06.08～ 04.06.18	芸術製本の重要性・必要性を知ってもらうために韓国の芸術製本の専門家を中心に専門教育を受けている受講生が制作した芸術製本の作品展示を行なった。今回は日本の芸術製本の専門工房であるリーブルの作品と、同工房の協力により韓国国内では入手することの難しい製本材料等も展示し、約200点の作品が紹介された
2	日本研究事業推進関連日本研究者会議「日本型システムとグローバル化」	国民大学校日本学研究所	04.09.18～ 04.09.18	国民大学校日本学研究所を中心とした全国各大学の研究者20名による2カ年計画の共同研究プロジェクト「日本型システムとグローバル化」の推進のための参加研究者間の会議場として当センターの施設を提供

	事業名	協力対象団体	期間	内容
	【その他】			
1	日本語教育教材 配布協力	韓国日本語教育 研究会、財団法人 国際文化 フォーラム	04.05.07	財団法人国際文化フォーラムが開発・作成した写真パネル教材「であい」を韓国日本語教育研究会のネットワークを通じ韓国の高校に寄贈するために同教材100セットを輸入。海外・国内輸送の手配・経費負担は財団法人国際文化フォーラムが行ない、ソウル日本文化センターは無関税輸入の手続と保税倉庫での一時保管料を負担する協力を行なった
2	地方中等日本語 教師支援事業 (忠南日本語教 科研究会セミ ナー)	忠南日本語教科 研究会	04.06.26～ 04.06.26	地方高校日本語教師等支援事業として年2回開催している忠南日本語教科研究会セミナーへ出講。忠南日本語教科研究会会長挨拶および活動報告(研究会役員)。第1セッション:「グループ別日本文化教授・学習方法について(ディスカッション)」(建陽大学中国日本学部講師) 第2セッション:「中等教育の教科書に採用されている日本文化項目と言語学習とを結びつけた授業の方法を考えるー相撲を例にー」、ソウル日本文化センターより日本語教育派遣専門家が2名参加
3	地方中等日本語 教師支援事業 (韓国日本語教 育研究会)	韓国日本語教育 研究会	04.08.16～ 04.08.18	韓国日本語教育研究会(中等日本語教師会の全国連合)主催による年1回の全国大会で、授業研究発表から構成。所長による来賓出席および挨拶、青年日本語教師による授業研究発表会における「多様なリソースを活用した日本語授業」と題する発表
4	地方中等日本語 教師支援事業 (江原道日本語 教育研究会)	江原道日本語教 育研究会	04.11.20～ 04.11.21	ソウル日本文化センターで実施した夏季集中研修で担当した内容を、本研修向けに手直しして行なった。具体的には、「日本の食文化」をテーマに、第7次教育課程に沿って「日本語の授業に文化を取り入れる目的を再考する」、「目的に合った授業方法を具体的に考える」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」を目標とした
5	地方中等日本語 教師支援事業 (済州島日本語 教科研究会)	済州島日本語教 科研究会	04.12.02～ 04.12.03	ソウル日本文化センターで実施した夏季集中研修で担当した内容を、本研修向けに手直しして行なった。具体的には、「日本の食文化」をテーマに、第7次教育課程に沿って「日本語の授業に文化を取り入れる目的を再考する」、「目的に合った授業方法を具体的に考える」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」を目標とした
6	地方中等日本語 教師支援事業 (忠南日本語教 科教育研究会)	忠南日本語教科 教育研究会	04.12.11～ 04.12.11	忠南日本語教科教育研究会主催による大会。テーマ:「文化と言語活動を結びつけた教室活動を考える」、「日本語の授業に文化を日本語教育専門家が取り入れる目的を再考する」、「目的に合った授業方法を具体的に考える」を目標に、100分の講義を行なった

5. 北京日本文化センター (1)主催・共催事業

合計額 5,263,575円

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【展示】</b>						
1	第1回大山子国際芸術祭	北京大山子芸術組織委員会	北京大山子芸術区	北京市	04.04.23～ 04.05.23	北京市郊外にある大山子芸術区を会場に、中国および日本を含む海外の現代芸術アーティストを集め行なわれた。展覧会のほか、映画上映やダンス公演など様々な催しが行なわれた
2	北京日本文化センター所蔵ポスター展	中国国際文化交流中心	武漢科技大学 寧波伝播与芸術学院 山東芸術学院	武漢 寧波 済南	04.05.17～ 04.06.14	武漢、寧波、済南の3都市で北京日本文化センター所蔵の日本のポスター作品の展覧会を実施。30名弱の作家の作品160点余りで構成
3	広東国際写真ビエンナーレ	広東美術館	広東美術館	広州市	05.01.17～ 05.01.19	「城市・重視-Re【-】Viewing the City」をテーマに、広州市の広東美術館が主催。参加アーティストは、日本、中国のほかイスラエル、フランス、オーストリア、スロヴァキア等で構成
4	貴州大学日本文化祭	貴州大学外国語学院日語系	貴州大学	貴州省貴陽市	05.03.18～ 05.03.20	北京日本文化センター所蔵のポスターを貸与し、「日本ポスター展」を開催
5	北京玉淵潭公園観桜会	玉淵潭公園管理处、北京日本人会、日本大使館広報文化部、ほか	玉淵潭公園	北京市	05.03.26～ 05.04.25	北京玉淵潭公園観桜会において、日本の風景写真を展示用に提供した
<b>【公演】</b>						
1	中央戯劇学院共同制作「蛛網」	中央戯劇学院、日本大学芸術学部	中央戯劇実験劇院「逸夫劇場」	北京市	05.03.12～ 05.03.31	中央戯劇学院の開催する現代舞踊公演「蛛網」（振付、演出は日本大学芸術学部が担当する日中共同制作公演）への協力
2	日本FANS新年交歓会	日本音楽情報センター (JAMIC)	北京王府井大飯店陽光俱樂部	北京市	05.03.20～ 05.03.20	日本の音楽に関心のある中国の若者を対象にしたイベント。音楽ビデオクリップ上映、ゲーム、音楽バンドの演奏、抽選会、ほか

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	日中韓NPOセミナー報告会・報告書作成	中国NPOネットワーク	北京日本文化センター多目的ホール	北京市	04.04.01～04.12.14	3に実施した日中韓NPOセミナー韓国開催の報告会を6月25日に北京事務所で実施した。中国のNPOのリーダーら約30名が参加。報告のあと活発な討論となった。その後NPOネットワークの編集により報告書中国語版を作成し関係機関に配布した
2	「日本と東アジア文化」	清華東アジア文化講座実行委員会	清華大学図書館報告庁 北京日本文化センター多目的ホール	北京市	05.03.29～05.04.01	清華東アジア文化講座実行委員会との共催により、評論家の加藤周一氏を招へいし、「日本と東アジア文化」を総合テーマとした講演会を開催した
<b>【日本語教育】</b>						
1	JAMIC日本語教室	日本音楽情報センター(JAMIC)	日本音楽情報センター	北京市	04.04.01～05.03.31	日本音楽情報センターにて、日本の音楽を素材とする日本語教室を毎週土・日の各2時間程度、開催する
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書館運営		北京日本文化センター	北京市	04.04.01～05.03.31	日本語図書約7,200冊、中国語図書約1,500冊、日本語教材約1,750点、日本語教材用ビデオ約250本、一般視聴用ビデオ約140本を所蔵。会員数は約6,300名。入場者数は月平均約700名
<b>【出版・広報】</b>						
1	ホームページ			北京市	04.04.01～05.03.31	2003年10月より、内容全般にわたるリニューアルを実施した。内容を刷新すると共に、適時適切に情報の更新を行えるように体制を改めた。さらに、9月に、ロゴの改定と合わせて、全面的な改定を行ない、随時の情報発信機能を強化した。今年度の年間アクセス件数は約99,000件
2	ニュースレター			北京市	04.04.01～05.03.31	ニュースレターを発行。各号3,000部印刷。事業の広報や報告、日本語教育情報などを掲載。NO.11 2004年夏号を7月に、またNO.12 2005年冬号を2月に発行

## 海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【その他】</b>						
1	フェロー懇談会		賽特飯店	北京市	05.03.05～ 05.03.05	基金事業のフェローとして過去に訪日経験を有する中国全土の学者・研究者を招いての懇親会
2	日本研究・知的交流企画開発事業（実地調査）			西安市、 南京市	05.03.21～ 05.03.24	北京日本文化センター職員が西安、南京のNGO機関（陝西婦女理論婚姻家庭研究会、西安慧靈、紅楓林の家、愛徳基金会、江蘇省緑色の友）を訪問し、来年度以降のNPO交流事業の可能性を調査した

### 5. 北京日本文化センター (2)助成・協力事業

合計額 651,430円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	国際連合食糧農業機関アジア地域大会・非政府組織協商会	中国国際民間組織合作促進会	04.05.15～ 04.05.16	国際連合食糧農業機関アジア地域大会の前に非政府組織による協商会議を開催。22名の参加者により食糧主権と安全問題、農業調査およびコミュニティー活動における農業モデル改善など幅広いテーマについて討論した
2	北京外国語大学第8回日本文化芸術祭	北京外国語大学日本語学部	04.05.17～ 04.05.23	北京外国語大学日本語学部の学生による日本文化紹介の催し。第8回目を迎える今回は、茶会、日本音楽の紹介、日本映画の鑑賞会、日本料理試食会、日本人留学生による中国語スピーチコンテストなどを行なった
3	日本経済現状の好転と将来の中日経済関係の発展	全国日本経済学会、中国社会科学院世界経済与政治研究所	04.05.24	社会科学院世界経済・政治研究所と全国日本経済学会の共催により、標記テーマのシンポジウムを開催。野尻武敏教授（日本経済政策学会会長）の基調講演の後、今後の中日経済関係発展について討論を行なった。社会科学院の同研究所および日本研究所のほか、外交学院、国際関係学院、首都経済貿易大学、天津現代日本研究所などの40名を超える研究者が参加した
4	翻訳・通訳の研究	首都師範大学外国語学院	04.07.01～ 04.03.31	日中文化交流における言語文化の個性について、言語、文学、社会文化の面からの研究会を実施した
5	中日経済論壇会議	商務部国際貿易経済合作研究院	04.07.19	商務部国際貿易合作研究院主催により、日中経済関係をテーマに日中の関係者によるシリーズのフォーラムを開催。第5回は毛利良一（福祉大学教授）ほか日本より数名、姜教授（外交部国際問題研究所）など約20名が参加した。「中国市場経済への改革および評価」をテーマに発表、討論が行なわれた。それまでに開催された第1～4回の概要と第5回の報告書を作成し、会議参加以外の研究者にも配布した

	事業名	協力対象団体	期間	内容
6	北京連合学院「日本文化教室」オープニングセレモニーおよび日本文化教育と応用型日本語教育に関するセミナー	北京連合学院旅遊学院日本語旅遊文化部	04.11.10	北京連合大学旅遊学院に「日本文化教室」がオープンし、その開幕式に続いて池坊専門家による華道講座、大使館公使による日本文化特別講義を開催。翌日は日本語・日本文化教育に関わる学術セミナーが開かれた。北京市内の主要な日本語教育・日本文化関係者が参加した
7	清華大学学生中日友好交流週	清華大学人文社会科学学院外国言語系日本語学科02クラス	04.11.25～ 04.12.01	演劇大会、日本文化に対する講演、日本料理試食会、ダンスパーティの各事業を通して、日本文化を紹介し、日中友好を図った
8	日本における社会福祉教育および中日福祉事業の比較研究講演会	北京農学院政法系	05.03.04～ 05.03.14	島根大学の西信高教授を招へいし、日本における社会福祉教育および中日福祉事業の比較研究をテーマに特別講義を行なった。北京日本文化センターでも特別講演会を開催。また北京市の福祉関係機関を訪問し交流を行なった

## 6.ジャカルタ日本文化センター (1)主催・共催事業

合計額 14,865,613円

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	<b>【展示】</b>					
1	五月人形展	アントン・ノビアント氏	ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー	ジャカルタ	04.05.05～ 04.05.19	端午の節句にあわせ、日本人形収集家のアントン・ノビアント氏のコレクションより選んだ五月人形展を図書館前のギャラリーミニにて実施
2	第1回ネオ・ピオン トミー・タンガラ氏展覧会		ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー	ジャカルタ	04.05.24～ 04.06.09	インドネシア若手芸術家支援プロジェクトであるネオ・ピオン第1弾。インドネシア芸術大学ジョグジャカルタ校出身のトミー・タンガラ氏が「形の進化」というテーマで制作した作品群を展示
3	第2回ネオ・ピオン フェリー・アプリアント氏展覧会		ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー	ジャカルタ	04.08.20～ 04.09.02	インドネシアの若手芸術家支援プロジェクトであるネオ・ピオン第二弾。フェリー氏はバンドン工科大学を1998年に卒業。蠟燭を使った芸術を専攻し、蠟燭芸術の学校も設立。芸術表現の素材としての蠟燭を使った彼の作品を展示



	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
4	第9回日本・インドネシア児童画展	ジャカルタ日本人学校 ジャカルタ・ジャパン・クラブ	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	04.11.25～ 04.12.01	ジャカルタ日本人学校およびジャカルタ・ジャパン・クラブの協力のもと、インドネシア人と日本人の児童の絵画作品の展覧会を実施。そのほか、ダウン症のインドネシア人児童の作品も展示した。インドネシア人児童の優秀作品に対し表彰も行なった
5	琉球玩具展覧会		ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー	ジャカルタ	04.11.26～ 04.12.17	琉球張子作家の豊永盛人氏の作品展覧会をジャカルタ日本文化センター図書館前ミニギャラリーで開催。豊永は国際交流基金本部のフェロシップを受けて1カ月間ジョグジャカルタに滞在したが、沖縄から持ち込んだ作品に加え、ジョグジャカルタ滞在中に制作した作品展示も同時に行なった
6	第7回アジア漫画展		ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.01.10～ 05.01.28	インドネシア・日本・韓国・中国・タイ・インド・フィリピン・マレーシアの八カ国の漫画家が「アジアの就職事情」というテーマで描いた作品約100点を展示。各国の就職事情を風刺漫画を通じて表現している。会期中は来館者約600名
<b>【公演】</b>						
1	テアトル・ルアン公演“Z”		ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	04.07.01～ 04.07.01	2003年11月に東京にて開催された「フィジカル・シアター・フェスティバル」に参加、日本で公演を行なったソロ拠点の劇団「テアトル・ルアン」の帰国公演。公演内容は日本公演と同様の「Z」で、セリフを使わず光で表現する内容の舞台
2	テアトル・タナ・アイル公演		ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	04.07.15～ 04.07.15	詩人でもあり演出家、古本屋経営者であるホセ・リザル・マヌア氏が主催する子ども劇団テアトル・タナ・アイルの公演。2004年8月に日本の富山で開催されたアジア太平洋子ども演劇祭への参加が決定していたため、出発前に当センターでの公演を実施
3	乙女文楽レクチャー・デモンストレーション		ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	04.10.02～ 04.10.02	人形遣い桐竹繭紗也氏による「乙女文楽」のレクチャー・デモンストレーションを実施。演目は「鶯娘」。当日はリザール・ブルバヤによるワヤン・ゴレッのレクチャーデモンストレーションおよびダルシマによる文楽に関するレクチャーも同時に開催

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	スラバヤ国立大学における日本研究セミナー	スラバヤ国立大学	スラバヤ国立大学	スラバヤ	04.05.28～ 04.05.28	インドネシア国内の日本研究機関間のネットワーク形成を目的に、日本文学研究者として翻訳出版などが続き活躍中のバンバン・ウィパワルタ（インドネシア大学大学院日本地域研究科教員）による講演会を企画。スラバヤ国立大学からは、ジョジョック教授ら合計3名も研究発表を行なった
2	田中明彦教授講演会	戦略国際問題研究所（CSIS）	CSIS講堂	ジャカルタ	04.08.12～ 04.08.12	日本を代表する国際政治学、国際関係論の研究者として知られる田中明彦（東京大学東洋文化研究所所長）がジャカルタ訪問する機会をとらえ、当国の民間シンクタンク、CSISと共催し"ASEAN-Japan Relations in an East Asian Community Building"と題した講演会を実施
3	日本研究・知的交流企画開発事業 ワンデー・セミナー		ホテル・サリパンパシフィック	ジャカルタ	05.01.15～ 05.01.15	インドネシアの日本研究に関わる研究者、研究機関間のネットワーク強化を目指し、一日セミナーを開催するとともに、日本近代史の専門家、三輪公忠（上智大学）を招へいし、日本の近代思想について基調講演をお願いし、参加研究者の知的関心を喚起する機会も提供
4	日本研究・知的交流企画開発事業 地方での日本研究講演会	パジャジャラン大学日本文学学科、日本語研究センター	パジャジャラン大学日本語研究センター	バンドン	05.03.07～ 05.03.07	インドネシア大学大学院日本地域研究科へ客員教授として派遣されていた森谷裕美子（九州国際大学）と、シニア客員教授派遣プログラムにてアル・アザール大学に派遣されていた田村貞雄（元静岡県立大学教授）が、インドネシアにおける日本語教育のひとつの拠点であるパジャジャラン大学で学生向けに講演を実施
<b>【映画】</b>						
1	ブキティンギにおけるシネマ・キャラバン	パダンパンジャン芸術大学	パダンパンジャン芸術大学 ブキティンギ市庁舎	ブキティンギ	04.04.23～ 04.04.24	日本文化紹介事業が行なわれることが少ない地域を主な対象として行なうシネマ・キャラバンをブキティンギで開催した。パダンパンジャン芸術大学では『しこふんじゃった』および『青森ねぶた祭り』を、ブキティンギ市庁舎では『しこふんじゃった』および『学校の怪談4』の上映会を実施

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
2	エリアナ、エリ アナ上映会	ジャカルタ新聞 BII Lezad (レスト ラン) パパイヤ	ジャカルタ日本 文化センター ホール ジャカルタ日本 文化センター ホール	ジャカル タ	04.06.17～ 04.06.24	昨年12月に国際交流基金が東京にて 実施した「東南アジア映画祭」への インドネシアからの参加作品、『エ リアナ、エリアナ』の日本語字幕付 ビデオを、ジャカルタ在住邦人向け に上映。邦字紙のジャカルタ新聞が 共催、現地銀行のBIIなどが協力
3	映画監督トゥ グ・カルヤの作 品展	シネマテークイ ンドネシア デワン・クスニ アン・ジャカル タ ヤヤサン・テア トル・ポピュラ -	ジャカルタ日本 文化センター ホール・ギャラ リーミニ	ジャカル タ	04.08.09～ 04.08.13	インドネシア映画界を代表する巨匠 のひとりで、3年前に亡くなったトゥ グカルヤ監督の回顧展を実施。8月 10日より13日までジャカルタ日本文 化センターホールにて代表作4本の 上映、および9日から13日まではギャ ラリー・ミニにて映画撮影の様子、 シーン等の写真展示を行なう。映画 上映前には、シネマテーク館長より 作品解説を行なった
<b>【日本語教育】</b>						
1	青年日本語教師 関係諸経費		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.05.04～ 04.12.20	インドネシア各地に派遣されている 6名の青年日本語教師がジャカルタ に集まり、青年日本語教師会議では 各地域における中等教育レベルの日 本語教育事情に関する報告会、およ びセンターの青年日本語教師業務方 針に関する討議を実施
2	派遣専門家関係 諸経費		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.10.11～ 05.01.24	インドネシアの高等教育機関に派遣 されている4名およびジャカルタ日 本文化センターの3名の日本語教育 派遣専門家がジャカルタに集まり、 各地域における高等教育レベルの日 本語教育事情に関する報告会、およ びセンターの専門家業務方針に関す る討議を実施
3	専門高校 (SMK)用日本 語教科書作成プ ロジェクト	インドネシア国 家教育省専門中 等教育局		ジャカル タ	04.04.01～ 05.03.31	2001年のシラバス作成から始まった 専門高校観光サービス業務専攻用日 本語教科書が最終段階に入り、作成 会議を5回実施。完成版を作成作業 を実施した
4	「教科書を作ろ う」増刷			ジャカル タ	04.04.01～ 05.03.31	日本語国際センターで出版した「教 科書で作ろう」のインドネシア版増 刷
5	大学教師向け研 修会		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.04.24～ 04.11.27	中級教授法セミナーおよび日本語教 員文法一日セミナーを行なった。前 者はジャカルタ首都圏の大学教員の み、後者は民間日本語学校の教員も 対象にした

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
6	普通高校・宗教 高校日本語教師 研修会	インドネシア国 家教育省語学教 員研修所	バリ州教育研修 所 インドネシア国 家教育省語学教 員研修所	デンパ サール、 ジャカル タ	04.05.15～ 05.03.05	普通高校・宗教高校の日本語教師を 対象にした研修会を3回実施した
7	高校日本語教師 通信教育プログ ラム	インドネシア国 家教育省通信教 育センター		西ジャワ 州および バリ州	04.06.07～ 04.12.01	高校の日本語教師で、国際交流基金 や教育省などが実施する研修に参加 できない遠隔地に住んでいる者を対 象にした、日本語通信教育プログラ ムをインドネシア国家教育省通信教 育センターと共催で実施した
8	日本語弁論大会 実施(一般の部)	元日本留学生協 会、在インドネ シア大使館、 ジャカルタ・ ジャパン・クラ ブ、インドネシ ア日本友好協会 他	サヒッドジャヤ ホテル	ジャカル タ	04.07.03	第33回全インドネシア日本語弁論大 会を、ジャカルタ市内のサヒッド ジャヤホテルにて、元日本留学生協 会と共催で実施した。日本大使館の 後援のほかに、インドネシア日本友 好協会、日本航空、PT. Panasonic Manufacturing Indonesiaの協賛
9	日本語弁論大会 実施(高校生向 け)	高校日本語教師 会		ジャカル タ	05.01.01～ 05.03.31	2005年4月9日にジャカルタ日本文化 センターで実施される高校日本語弁 論大会全国大会のための広報・準備 を行なった
10	インドネシア日 本語教育学会支 援(スマトラ支 部日本語教育 ワークショップ )	インドネシア日 本語教育学会ス マトラ支部	ブンハッタ大学	パダン	05.01.14～ 05.01.15	インドネシア日本語教育学会スマト ラ支部と日本語教育ワークショップ を実施した
11	インドネシア日 本語教育学会支 援(支部長会議)	インドネシア日 本語教育学会	ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	05.01.25	インドネシア日本語教育学会の本部 役員および支部長全員を召集して会 議を実施した。各支部の活動内容の 紹介と今後の活動方針、学会本部の 活動などについて話し合った
12	インドネシア日 本語教育学会支 援(北スラウェ シ支部初級教授 法セミナー)	インドネシア日 本語教育学会北 スラウェシ支部	マナド国立大学	北スラ ウェシ州 トンダノ	05.02.11～ 05.02.12	インドネシア日本語教育学会スラ ウェシ支部との共催により、マナド 国立大学にて、初級教授法研修を行 なった。マナド国立大学を含め5機 関より30名の参加があった
13	インドネシア日 本語教育学会支 援		スラバヤ国立大 学	スラバヤ	05.02.16～ 05.02.17	インドネシア内の日本語教育学会支 部の中で活動が停滞している東ジャ ワ支部の今後の活動方針などについ て話し合った

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
14	高校生日本語普及事業	在インドネシア大使館、JASSO	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	05.02.17～ 05.03.18	2月は普通高校語学系の生徒向けに、日本留学・奨学金に関する説明が行なわれたほか、大学関係者により日本での留学経験が語られた。3月は専門高校観光サービス業専攻高校生向けに、ジャカルタの旅行会社の方を招き、旅行会社での仕事や日本人の客に対して気を付けなければならない点などについての説明を実施
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書館運営		ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	04.04.01～ 05.03.31	年間来訪者24,570名、蔵書数29,526冊（日本語17,031冊、英語7,362冊、インドネシア語4,863冊）、会員数は4,484名であり、その他ビデオ、CDなどAV資料もそろえた図書館を運営
<b>【出版・広報】</b>						
1	公募プログラム案内				04.04.01～ 05.03.31	基金の公募プログラムがより広く当国で広まるように、プログラムガイドラインうち、インドネシアに関連するプログラムをインドネシア語に翻訳し申請希望者に配布
2	NUANSA、EGAOの発行及びウェブサイト運営		ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	04.04.01～ 05.03.31	ニュースレターNUANSAを2カ月ごとに7,500部発行すると共に、四半期に一度EGAOを1,500部を発行し関係者に配布。また、ウェブサイトはセンターの事業紹介、過去の講演記録などを掲載し、年間にのべ34,654のアクセス数があった
3	日本研究・知的交流企画開発事業 日本研究ジャーナル発行	インドネシア大学内「ジャーナルMANABU」事務局			04.04.01～ 05.03.31	平成17年度第前半に発行予定の、インドネシアにおける日本研究者が英語で執筆した研究発表を掲載するジャーナル「MANABU」の出版準備に対し、協力を行なった
4	劇団風の子 インドネシア・ティモール公演ビデオ制作	バルー県政府 在東ティモール大使館	ロメイ劇場 ホテル・ティモール	アタンブア デイリ	05.03.16～ 05.03.27	「元紛争地の子供たちの心のケア」を目的として行なった「劇団風の子 インドネシア・東ティモール公演」に際し、国際交流基金の活動をより詳しく紹介するためにビデオを制作するもの。一行が現地で公演を行なう姿のほか、現地の人々との温かい交流を撮影

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【教室事業】</b>						
1	一般日本語講座 運営		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.04.01～ 05.03.31	(1) 2004年2月3日-5月21日開講後 期講座、中級1 (22名)、中級2 (19名)、 上級1 (16名)、上級2 (12名) の4ク ラス開講 (2) 2004年8月10日-12月 17日開講前期講座、2005年2月1日-5 月20日開講後期講座、中級 (22名)、 上級1 (18名)、上級2 (13名) の3ク ラス開講
2	囲碁教室		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.04.01～ 05.03.31	毎週金曜日16時より初心者も含めた ジャカルタ在住の囲碁愛好家が集ま る囲碁サロンを開催。若年層を中心 に毎回20名程度の囲碁愛好家が参加
3	グループピジッ ト		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.04.01～ 05.03.31	広く一般に日本文化紹介を行なうた めの事業で、主に小学生から高校生 の社会見学ルートの一つとしてセン ター訪問をする際、日本映画の上映 のほか、折り紙教室、図書館見学、 日本文化に関する質疑応答等全体で 2時間程度の催しを実施。平成16年 度は25件総勢1,582名のグループピ ジットを受入
4	書道教室および 作品展示	目黒雅夫	ジャカルタ日本 文化センター ジャカルタ日本 文化センターミ ニギャラリー	ジャカル タ	04.04.13～ 04.06.30	4月13日～6月15日までの毎週火曜日 にジャカルタ在住の書道家である目 黒雅夫の書道教室を開講し、のべ40 名が受講。最後の授業で書いた作品 を、6月16日～6月30日までミニギャ ラリーで展示
5	生け花教室及び 作品展示	草月流インドネ シア支部	ジャカルタ日本 文化センター ジャカルタ日本 文化センターミ ニギャラリー	ジャカル タ	04.06.18～ 04.10.01	本年度は草月流に講師を依頼し生け 花教室を開講。場所の都合もあり受 講生は例年と同じく25名で、教室の 最後には受講生の成果を展示
6	子供向け七夕イ ベント		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.07.07～ 04.07.07	七夕の7月7日にあわせ、インドネシ ア人の子供を主な対象として、七夕 にちなんだ笹の飾りつけ、折り紙教 室、歌・演劇による七夕伝説の紹介 などを実施。会場は200名以上の子 供で満員となった
7	中級日本語研修		ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	04.07.22～ 05.03.31	ジャボタベック地区の大学および民 間日本語学校の日本語教師を対象に した研修。コース1は2004年7月22日 ～11月25日開講、25名が参加。コ ース2は2005年1月27日～5月12日開講、 26名が参加

## 海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【その他】</b>						
1	日本研究・知的交流企画開発事業 ニーズ調査・評価				04.04.01～ 05.03.31	次年度の案件発掘および助成事業を評価するためにバンドン、スラバヤなどの地方都市で、普段は顔をあわす機会が少ない日本研究・知的交流関係者と意見交換を実施
2	第2回じゃかるた新聞杯4カ国対抗囲碁大会	じゃかるた新聞 ジャカルタ囲碁将棋クラブ 日本棋院	ジャカルタ日本文化センター ホール	ジャカルタ	04.12.19～ 04.12.19	インドネシア、日本、中国および韓国がそれぞれ各代表チームを編成し、4カ国総当りの囲碁大会を開催。ジャカルタに来訪された日本棋院の佃亜紀子4段に審査員を依頼した。自由対戦が可能なスペースも設けたため会場には約100名程度の来場者があった
<b>【本部事業受入】</b>						
1	普通高校新カリキュラム準拠教材開発プロジェクト	インドネシア国家教育省普通中等教育局		ジャカルタ、西ジャワ州、東ジャワ州、中部ジャワ州・ジョグジャカルタ特別地区、バリ州、北スラウェシ州	04.04.01～ 05.03.31	2004年の新学期より導入される新カリキュラム（基本能力重視カリキュラム）に準拠した普通高校・宗教高校用日本語教科書作成プロジェクトを、インドネシア国家教育省初等中等教育総局普通中等教育局との共催で開始
2	高校生日本語学習奨励研修	高校日本語教師会		ジャカルタ、メダン、パダン、バンドン、ジョグジャカルタ、スラバヤ、バリ、マナド	04.04.24～ 04.04.24	関西国際センターで実施する「高校生日本語学習奨励研修」の参加者を選抜するため、インドネシア国内の高校日本語教師会8団体と協力を得て、インドネシア国内で一斉に選抜試験を実施した

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
3	成績優秀者研修	インドネシア日本語教育学会、在マカッサル総領事館、在メダン総領事館		ジャカルタ、メダン、バンドン、ジョグジャカルタ、スラバヤ、マカッサル、マナド	04.05.22～ 04.05.23	関西国際センターで実施する「成績優秀者研修」への参加者を選抜するため、各地に派遣されている日本語教育専門家、日本語教育学会支部、日本総領事館の支援を得て、インドネシア国内で一斉に選抜試験を実施した
4	侍映画祭		タマン・イスマイル・マルズキテアトル・クチール	ジャカルタ	05.03.04～ 05.03.10	「侍」の生き様をテーマに据えた映画を、1940年代から2000年代まで年代別の作品を基金所蔵のフィルムライブラリーより集めて1週間上映した。本件は本部事業ではあるが、事務所予算にて主に広報費を支出
5	日本文学 奥泉光氏講演会	インドネシア文学研究者協会 インドネシア大学文学部 QBブックストア	インドネシア大学文学部 QBブックストア	ジャカルタ	05.03.31～ 05.03.31	芥川賞作家である奥泉光のフルート演奏付講演会を、同日に2回開催。1回目はインドネシア大学文学部講堂にて、主に学生向けに行ない多くの学生が集まった。また、同日夕方に2回目の作家、文学者向けの講演を、QBブックストアカフェにて実施

## 6. ジャカルタ日本文化センター (2)助成・協力事業

合計額 3,030,976円

	事業名	助成対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	高校日本語教師会支援助成（西ジャワ）	西ジャワ州高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	西ジャワ州高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
2	日本研究・知的交流企画開発事業 小規模出版助成	ヤヤサン・プランギ	04.04.01～ 05.03.31	インドネシア大学国際関係研究センター所長のシャムスル・ハディ氏が執筆した論文の出版経費を助成。内容はインドネシアおよびマレーシアにおける産業発展と日本の投資活動について、スハルトの政策マハティールの政策の違いを比較したもの
3	高校日本語教師会支援助成（北スマトラ）	北スマトラ州高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	北スマトラ州高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の日本語教育専門家が勉強会のアドバイスを行なった



## 海外事務所

	事業名	助成対象団体	期間	内容
4	高校日本語教師会支援助成（中部ジャワ）	中部ジャワ州高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	中部ジャワ州高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
5	高校日本語教師会支援助成（東ジャワ）	東ジャワ州高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	東ジャワ州高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
6	高校日本語教師会支援助成（バリ）	バリ州高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	バリ州高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
7	高校日本語教師会支援助成（北スラウェシ）	北スラウェシ州高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	北スラウェシ州高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
8	高校日本語教師会支援助成（ジャボタベック）	ジャボタベック高校日本語教師会	04.04.01～ 05.03.31	ジャボタベック高校日本語教師会（MGMP）が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
9	インドネシア日本語教育学会支援（スマトラ支部一日セミナー）	インドネシア日本語教育学会スマトラ支部	04.05.08	インドネシア日本語教育学会スマトラ支部が実施した一日セミナーに助成した。5人の日本語教育関係者による発表とパネルディスカッションが実施された
10	日本語弁論大会助成（一般の部・東ジャワ大会）	在スラバヤ総領事館、元日本留学生協会東部ジャワ支部	04.05.09	7月3日にジャカルタで行なわれる全国大会の地方予選をスラバヤにて実施した
11	日本語弁論大会助成（一般の部・バリ大会）	ウダヤナ大学	04.05.15	7月3日にジャカルタで行なわれる全国大会の地方予選をデンパサールにて実施した
12	日本語弁論大会助成（一般の部・スラウェシ大会）	マナド国立大学	04.05.15	7月3日にジャカルタで行なわれる全国大会の地方予選をマナドにて実施した
13	中等教育機関主催日本語事業助成（普通高校）	ジャボタベック高校日本語教師会	04.05.26	高校生の日本語学習者の学習意欲を刺激するため、ジャボタベック高校日本語教師会が日本文化祭を実施。スピーチコンテスト、習字コンテスト、カラオケコンテストの3種目に、ジャボタベック地域の高校生が多数参加した
14	高等教育機関主催日本語事業支援助成（パジャジャラン）	パジャジャラン大学	04.05.27～ 04.05.29	西ジャワ州の日本語学科をもつ大学が合同で実施する日本文化祭をパジャジャラン大学にて実施。各種イベントのなかで日本語弁論大会も実施し、上位2名がジャカルタでの全国大会に出場

	事業名	助成対象団体	期間	内容
15	高等教育機関主催日本語事業支援助成（リア）	リア外国語大学	04.06.04～ 04.06.05	ジャカルタの中でも日本語教育で有名なリア外国語大学が日本文化祭を実施。折り紙、書道、和紙人形等のデモンストレーション、盆踊りの披露、お化け屋敷、パン食い競争、綱引き、書道コンテスト、クイズ、日本語での演劇など、多数の日本文化イベントが実施された
16	日本研究・知的交流企画開発事業 小規模助成 スラバヤ国立大学セミナー	スラバヤ国立大学	04.06.24～ 04.06.24	東ジャワの日本語教育、日本研究の拠点機関であるスラバヤ国立大学が主催し、パジャジャラン大学、インドネシア教育大学から研究者が参加して、日本語教育学を中心とした日本研究の発展に関してセミナーを実施スラバヤ国立大学の教員、大学院生、学生を中心し、100名ほどが参加
17	バンテンの子供ミュージカル「スワラ・アナック・カンブン」	The South Banten Community Development	04.07.07～ 04.07.07	The South Banten Community Developmentは、ジャワ島西部に位置するバンテンにて、芸術を通じてコミュニティの発展を促すという活動を行なっている。その事業の一環として、同財団が実施した伝統音楽を交えた子供ミュージカル「スワラ・アナック・カンブン」の上演に対し経費を助成した
18	インドネシア・ダンス・フェスティバル	インドネシア・ダンス・フェスティバル事務局	04.07.14～ 04.07.20	当地の現代舞踊において若手の登竜門とすべく92年に開始した「インドネシア・ダンス・フェスティバル」は9回目を数えるが、同フェスティバルの広報費を助成
19	アズユマルデイ・アズラ講演会	国立イスラム大学	04.08.04～ 04.08.04	国際交流基金が実施するレクチャー・シリーズ第三弾として、インドネシアを代表するイスラム知識人、アズユマルデイ・アズラの講演会を実施。同氏は、米国コロンビア大学にて博士号を取得、1998年よりイスラム国立大学の学長。『Islam Substantif』を初め、著作多数。この3月に訪日経験があるため、その経験をもとに「イスラムと日本」をテーマについて講演した
20	アートサミット・インドネシア2004 「伊藤キム+輝く未来」及び劇団「DA・M」	アート・サミット・インドネシア2004	04.08.10～ 04.09.10	インドネシアにおける最大の芸術祭であるアートサミットは、今回で4度目の開催となるが、劇団「DA・M」および「伊藤キム+輝く未来」に対して受入協力を実施。2グループ共にメディア、観客に高い評価を受けた
21	日本研究・知的交流企画開発事業 小規模助成 国際文化交流セミナー	インドネシア教育大学	04.08.12～ 04.08.12	異文化間交流をテーマに、インドネシア教育大学が国際会議を主催。インドネシア国内の日本語を含む外国語教育に携わる研究者、日本からインドネシア来訪中の水野（大阪市議員）が発表
22	グスマアデイ・スイッド追悼公演	ジャカルタ・アーツ・カウンシル グマラン・サクティ・カンパニー	04.08.20～ 04.08.21	ミナンカバウの伝統舞踊を基礎に、現代舞踊を創作、高い評価を得た振付家のグスマアティ・スイッド没後1000日目に追悼を行なうジャワの伝統に倣い、彼女の芸術家としての実績を称え、追悼を行なうために行なった公演に対し助成

	事業名	助成対象団体	期間	内容
23	日本研究・知的交流企画開発事業 小規模助成 ナショナル大学 日本研究センター	ナショナル大学 日本研究センター	04.08.30～ 04.08.30	ナショナル大学と大学間協定を持つ羽衣国際大学が共催で、「芸術と文学を通じて日本人の価値観と勤労精神を理解する」と題したセミナーをナショナル大学講堂にて実施
24	在外公館主催日本語事業助成	第3回漢字カップ実行委員会	04.10.10	日本語学習者が漢字学習に親しんでもらうことを目的に、在スラバヤ総領事館が中心となって「第3回漢字カップ」を実施。東ジャワ州以外の日本語学習者も参加して、前回より規模が大きくなった
25	バンドン工科大学における久野利博氏のワークショップ	バンドン工科大学	04.10.24～ 04.11.02	名古屋芸術大学教授であり現代美術家である久野利博を招へいし、「家」と題したワークショップを主に学生向けに開催すると共に、そのワークショップの成果を見せるべく作品展示をバンドン工科大学が開催。その経費の一部を助成した
26	ネクスト・ウェーブ（インドネシア・コレオグラファー・アワード）	ジャカルタ芸術評議会	04.11.22～ 04.11.27	「ネクスト・ウェーブ」はジャカルタ芸術評議会が開催した若手振付家を発掘する事業で、それぞれの地区の予選を勝ち抜いた7名の振付家が最終選考会に参加したが、その開催経費の一部を助成
27	日本研究・知的交流企画開発事業 小規模助成 アル・アザール大学	アル・アザール大学	05.01.26～ 05.01.26	インドネシア各地でプサントレン（イスラム寄宿塾）を運営するアル・アザール・グループの高等教育機関として、2000年に開設されたアル・アザール大学にて、『21世紀の日伊友好関係の礎としての教育、科学技術分野での協力』をテーマとし、同大学学長ズハルの講演会を実施
28	日本研究・知的交流企画開発事業 小規模助成 インドネシア大学国際関係研究センター	インドネシア大学国際関係研究センター	05.02.16～ 05.02.16	インドネシア大学の国際関係論学科が設立した国際関係研究センター（CIRES）が主催し、同センターの所長シャムスル・ハディのほか、タイ、マレーシアから、それぞれ両国を代表する日本研究者であるメディ・クロンカウ（前タマサート大学日本研究センター所長）、およびステファン・レオン（マレーシアISIS日本研究センター所長）が参加し、タイ、マレーシアのケースと比較しながら、インドネシアにおける経済危機と、それに対するIMFと日本の役割についての一日セミナーと、非公開のグループ・ディスカッションを実施。セミナーには学生を中心に300名近くが参加
29	中等教育機関主催日本語事業助成（専門高校）	ジャボタベック専門高校日本語教師会	05.02.26	高校生の日本語学習者の学習意欲を刺激するため、ジャボタベック専門高校日本語教師会が日本文化祭を実施。ロールプレイ大会やクイズ大会、日本の歌大会を実施し、多くの高校生が参加した
30	ダンス・エモーション	タリ・インドネシア	05.03.10～ 05.03.13	ダンスをテーマとして制作されたショートフィルムを世界各国から集めそれらをジャカルタ芸術劇場で上映するとともに、世界各国からの集まった制作者によるセミナーを行なった、ダンスフィルムの国際フェスティバル「ダンス・エモーション」に対し助成を行なった
31	日本語弁論大会助成（高校生向け・北スラウェシ大会）	北スラウェシ高校日本語教師会	05.03.12	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をマナドで行なった

	事業名	助成対象団体	期間	内容
32	日本語弁論大会 助成（高校生向け・東ジャワ大会）	東ジャワ高校日本語教師会	05.03.13	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をスラバヤで行なった
33	日本語弁論大会 助成（高校生向け・バリ大会）	バリ高校日本語教師会	05.03.14	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をデンパサールで行なった
34	日本語弁論大会 助成（高校生向け・北スマトラ大会）	北スマトラ高校日本語教師会	05.03.19	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をメダンで行なった
35	日本語弁論大会 助成（高校生向け・西スマトラ大会）	西スマトラ高校日本語教師会	05.03.20	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をプギットティンギで行なった
36	日本語弁論大会 助成（高校生向け・西ジャワ大会）	西ジャワ高校日本語教師会	05.03.22	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をバンドンで行なった
37	日本語弁論大会 助成（高校生向け・ジャボタベック大会）	ジャカルタ高校日本語教師会	05.03.23	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をジャカルタで行なった
38	日本語弁論大会 助成（高校生向け・中部ジャワ大会）	中部ジャワ高校日本語教師会	05.03.26	2005年4月9日にジャカルタ日本文化センターで実施される高校日本語弁論大会全国大会の地方予選をジョグジャカルタで行なった
39	ジャパンカルタ・ジョグジャパン	インドネシア国立芸術大学大学院	05.03.31～ 05.04.21	インドネシア国立芸術大学大学院が主催するジョグジャカルタ在住の日本人作家が中心に行なった展覧会に対し、事前準備費、カタログ作成費の助成を行なった
<b>【会場提供】</b>				
1	劇団ほたるの樹 公演	劇団ほたるの樹	04.12.02～ 04.12.02	ジャカルタ在住の日本人を中心に活動している『劇団ほたるの樹』の公演。『雪女』と『耳なし芳一』の怪談2本を上演した。150名の観客が来場し客席は満員となった

7. バンコク日本文化センター (1)主催・共催

合計額 20,872,315円

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	90年代の絵画展	ナショナル・ギャラリー、チェンマイ大学、ウボンラーチャターニー職業学校	ナショナル・ギャラリー チェンマイ大学美術館 ウボンラーチャターニー職業学校	バンコク チェンマイ ウボンラーチャターニー	03.06.06～ 03.08.25	1960年代に生まれた日本の9人の若手画家の作品を展示。芸術的表現としての絵画が、ともすれば排他的に、狭い世界で発展してきた傾向があるなかで、情報とモノがあふれた大量消費社会で育ってきた若手アーティストの、絵画と見る者との新しい形のコミュニケーションをとろうとする試みを伝えることが主眼
2	猪鼻秀一展	アリアンセ・フランセーズ・バンコク	バンコク日本文化センターアートスペース	バンコク	04.06.14～ 04.07.02	新進芸術家の猪鼻秀一による現代美術展。タイトルは「Japan Animism Now」。内容は古墳、岩、樹木など古から日本人が聖なるところととらえ信仰の対象としてきた場所を撮影した写真10点あまりを会場壁面にかざり、中央に数年前に岡本太郎賞を受賞した襖をモチーフにした高さ2mあまりのメイン作品
3	俳句コンテスト	日本航空	クイーンズパークホテル（授賞式） バンコク日本文化センターアートスペース	バンコク	04.06.26～ 04.09.13	バンコク日本文化センターと日本航空が例年共催しているタイ語俳句コンテスト。今年は「水」をテーマに作品を募集し、6月26日にソムサワリ王女殿下を迎えて授賞式が行なわれた。また、9月3日から13日まで、バンコク日本文化センターアートスペースにおいて、受賞作品50点の展示を行なった
4	アジア漫画展	コンケン大学	バンコク日本文化センターアートスペース コンケン大学	バンコク コンケン	04.07.12～ 04.08.13	1995年以降、漫画という親しみやすい表現を通してアジアの社会・文化や人々の暮らしなどを多面的に紹介することを目的として毎年開催してきた1コマ漫画展「アジア漫画展」の第7回展示
5	Fly With Me to Another World	Navin Rawanchaikul	チェンマイ ランプーン バンコク日本文化センターアートスペース	チェンマイ ランプーン バンコク	04.08.02～ 05.02.17	タイの国際的なアーティストであるナヴィン・rawnチャイクンによる、アートとコミュニティをつなげようと試みる1年間のプロジェクト（2月～2005年3月まで開催）

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
6	アジア・クラフト・フェア	タイ国家文化委員会	タイ文化センター（展示場）	バンコク	04.08.07～ 04.08.16	王妃72歳慶祝年・王妃誕生日を記念したタイ文化省主催の催し物。タイおよび日本を含むアジア8カ国の伝統工芸品の実演・展示を行ない、参加国の工芸専門家とタイの人々との交流、および各国専門家の間の交流を図った
7	レオナルド・ペレガッタ展	在バンコクイタリア商工会議所 イタリア大使館	バンコク日本文化センターアートスペース	バンコク	04.10.04～ 04.10.14	東京在住のイタリア人写真家レオナルド・ペレガッタの東京についての写真展。在バンコクイタリア商工会議所、イタリア大使館の協力を得た
8	凧・独楽展	子ども博物館 チェンマイ国立博物館	子ども博物館 チェンマイ国立博物館	バンコク チェンマイ	04.12.23～ 05.01.14	日本の伝統工芸であり玩具である凧・独楽を、同様の文化を持つタイで紹介し、日タイの伝統文化の比較を通してタイ人観客の日本理解深化の一助となることを目指した
9	ポスター展（バンコク日本文化センター30周年記念事業）		バンコク日本文化センターアートスペース	バンコク	05.01.25～ 05.03.25	開設30周年を迎えたのを機に、その間バンコク日本文化センターがタイで実施してきた各種イベントのポスターをプラスチックパネルにして計80枚展示した。内容は舞台芸術や造形美術、映画などが主だが、スポーツや日本語能力試験までも含め幅広く紹介した
<b>【公演】</b>						
1	Refined Colors	パトラヴァディ劇場	パトラヴァディ劇場	バンコク	04.07.31～ 04.08.01	R(ed)、G(reen)、B(lue)の発光ダイオードで、約1,670万色のカラーバリエーションを作り出す新しい照明器具「LEDライト」とデジタル技術を駆使し、行く先々の光景を舞台表現に取り込んでいく実験的ダンスパフォーマンス
2	コーネリアス「FIVE POINT ONE」公演	SOI Music Festival Office	RCA house（音楽ライブショー） アバウト・カフェ（音の展示）	バンコク	04.09.10～ 04.09.15	世界中の若者世代に圧倒的なカリスマ的人気を誇る日本人アーティストのコーネリアスをメインゲストに迎え、タイのインディー系音楽グループをまじえ、二日間（9月10日・11日）のコンサートを行なった
3	津軽三味線公演		タイ文化センター（小ホール）	バンコク	04.10.29～ 04.10.30	シリキット王妃72歳慶祝行事の一環として実施。新田弘志、新田昌弘の父子が出演。津軽三味線をメインとした邦楽公演および現地ミュージシャンとの共演

## 海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	フェロー懇談会 (バンコク日本文化センター30周年記念事業)		シェラトン・グランデ・スクム ヴィット・ホテル	バンコク	04.12.14～ 04.12.14	タイ外務省情報部長による基調講演、芸術交流分野はMs. Patravadi Meejudhon (パトラワディー劇場主・芸術監督)、日本研究・知的交流分野はKitti Prasirtsuk (タマサート大学日本研究学科講師)、日本語教育分野はVoravudhi Jirasombutti (チュラロンコン大学日本語学科助教授) を呼び、各分野における日タイ文化交流の状況や国際交流基金の果たすべき役割等を論じるセミナーを開催した
2	現代日本文学講演会	タイ書籍出版・販売者協会	シリキット・コンベンションセンター	バンコク	05.03.27～ 05.03.27	芥川賞受賞作家の奥泉光による現代日本文学の状況についての講演およびフルート演奏を実施
<b>【映画】</b>						
1	ウィークエンドシアター		バンコク日本文化センター・ホール	バンコク	04.04.02～ 05.03.25	毎月テーマを定め(たとえば「友情」「親子」など)、毎週金曜日18:30から定期的に開催する日本映画の上映会。原則として、タイ語字幕付きで上映
2	日本映画祭	映画雑誌「パルプ」	Major Cineplex Central World Plaza	バンコク	04.11.19～ 04.11.25	タイでまだ紹介されていない比較的制作年が新しい9本の作品を上映。黒沢清、SABUなどの新世代の映画監督(7監督)特集。映画専門雑誌「パルプ」と共催
<b>【日本語教育】</b>						
1	北部タイ中等日本語教師金曜研修会	タイ国教育省 ユパラートウイ タヤライ校	ユパラートウイ タヤライ校	チェンマイ	04.04.01～ 04.03.31	北部地域に在住するタイ人日本語教師を対象とした日本語研修会。毎週金曜日に実施
2	東北部タイ中等日本語教師金曜研修会	タイ教育省 ヴィジットラー ピタヤー校	ヴィジットラー ピタヤー校	ウボンラーチャー ターニー	04.04.01～ 05.03.30	東北部地域に在住するタイ人日本語教師を対象とした日本語研修会。毎週金曜日に実施
3	通信教育講座				04.04.01～ 05.03.31	地方に住むタイ人日本語教師を対象とした日本語通信講座。年間20回教材を送付し、添削指導を行なった

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
4	日本語テレビ番組制作支援	タイ国教育省学校外教育局		バンコク	04.04.01～ 05.03.31	遠隔地に住む人でもテレビ放送を通じて日本語の学習ができるよう、2003年度に制作した日本語学習番組をテレビ地上波にて放映する。また、視聴者がテレビを見ながら自分で学習するためのテキストの配布を行なった
5	派遣専門家・青年日本語教師定期連絡会議		バンコク日本文化センター	バンコク	04.04.01～ 05.03.31	地方に派遣している専門家や青年日本語教師が一同に会し、活動報告や情報交換、意見交換を行なった
6	「紀要」の発行			バンコク	04.04.01～ 05.03.31	日本語教育に関する論文、実践報告などを掲載し、年に1回700部を発行。日本語教育機関に対して送付
7	ニュースレター「タウン」の発行			バンコク	04.04.01～ 05.03.31	バンコク日本文化センター日本語事業に関するニュースレター。タイ国内の日本語教師に対して1800部を年3回発行
8	日本語教師金曜研修会		バンコク日本文化センター教室	バンコク	04.04.01～ 05.03.31	タイ人日本語教師を対象とした日本語講座。日本語運用能力と教授能力の向上を図った。15名を二クラスに分けて実施
9	教材教具助成			バンコク	04.04.01～ 05.03.31	タイ各地の日本語教育機関に対して、2000パーツを限度の教材寄贈を行なった。寄贈教材は、テーブルコーダーやタイ国内で出版された日本語教材など
10	南部タイ中等日本語教師金曜研修会	タイ国教育ウォラナリーチャラーム校	ウォラナリーチャラーム校	ソンクラー	04.04.01～ 05.03.31	南部地域に在住するタイ人日本語教師を対象とした日本語研修会。毎週金曜日に実施
11	一般講座		バンコク日本文化センター教室	バンコク	04.04.01～ 05.03.31	日本語中上級レベルの学生、一般社会人を対象とした日本語講座。16コース21クラスを開講。受講生はのべ340名
12	日本語教師土曜研修会		バンコク日本文化センター教室	バンコク	04.04.01～ 05.03.31	タイ人日本語教師を対象とした日本語講座。8名の受講生を対象に日本語能力と教授能力の向上を目指した
13	中等現職教員日本語教師新規養成講座事業評価			バンコク	04.04.01～ 05.03.31	タイ中等現職教員を対象に実施した新規講座の評価を、過去の研修生や所属機関に対するアンケートを元に、総合的に行なった



	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
14	日本語教師集中研修会		バンコク日本文化センター教室	バンコク	04.04.19～ 04.10.22	タイ人日本語教員の日本語運用能力および教授能力の向上を目指し、評価の方法、文章表現、表現力の向上、初級指導法などのテーマに沿った集中講義を行なった。日本語能力試験3級および2級合格者を対象
15	邦人日本語教師教授法等研修会	泰日経済技術振興協会	泰日経済技術振興協会	バンコク	04.05.17～ 04.05.21	日本語教授歴1年未満の経験の浅い邦人日本語教師を対象にタイにおける教育や、日本語教育の基礎に関する講義を行なった
16	日本語弁論大会	在タイ大使館 元留学生協会 東北タイ中等教員教師会 北タイ教師会	バンコク ウボンラーチャターニー チェンマイ	バンコク ウボンラーチャターニー チェンマイ	04.09.05～ 05.02.04	バンコクで実施される日本語弁論大会に関する打ち合わせ等の会議を主催し、優勝者の賞品を提供
17	日本語能力試験	タイ元留学生協会 タイ元留学生協会チェンマイ支部 タクシン大学		バンコク チェンマイ ソンクラー	04.12.05～ 04.12.05	日本語能力試験の実施に関する会議を2回行なった。2004(平成16)年度の日本語能力試験は、タイ国元日本留学生協会、北部元日本留学生協会、タクシン大学および国際交流基金の4者で実施委員会を構成し、タイ国内3カ所で実施
18	日本語教育セミナー		バンコク日本文化センター(ホール)	バンコク	05.03.08	「中級から上級への橋渡し-話せるという実感を与えるために-」をテーマに、『J・Bridge』を執筆した小山智助(九州大学教授)と、『初級からの日本語スピーチ』の執筆に関した熊野七絵(派遣専門家)が講演を行なった
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書館運営			バンコク	04.04.01～ 05.03.31	2004年度末蔵書規模は以下の通り。日本語図書13,122冊、英語図書5,571冊、タイ語図書2,379冊、ビデオ1,340本、カセット647セット、CD書籍・音楽CD361枚。タイにおける日本研究学者や日本語教師を初め、広範な利用者の用に供した
<b>【出版・広報】</b>						
1	Japan Letter発行			バンコク	04.04.01～ 05.03.31	季刊により、年4回毎号1,000部発行。文化交流に関するエッセイやバンコク日本文化センター事業の活動報告を英・タイ2カ国語で伝える

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【その他】</b>						
1	北部タイ文化交流祭（チェンマイ日本文化祭）	チェンマイ総領事館、パヤップ大学	パヤップ大学ソムサワリーホール	チェンマイ	05.02.11～ 05.02.13	当センターが直接関与した事業は、日本映画祭（劇映画4本上映）で、2月12日『ユニコ』『のど自慢』、13日『ジュブナイル』『時雨の記』を上映。さらに12日夕刻、音楽コンサート（フルート松島寛、箏坪井のりこ、ピアノ佐藤良美）を実施
<b>【本部事業受入】</b>						
1	Have We Met? 展（カッティング・エッジ・アジア）調査等・在外事業			バンコク	04.05.21～ 05.03.18	インド、インドネシア、タイ、日本の比較的若いキュレーター一行が事前調査のためタイを訪問。バンコクの代表的なアート施設をほぼ網羅し訪問した。タイからは若い世代の圧倒的な支持を得ているプラープダー・ユン（作家、アーティストほか多彩な活動をしている）がキュレーターとして参加

## 7. バンコク日本文化センター (2)助成・協力事業

合計額 1,262,428円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	日本語教育機関ネットワーク形成支援	ラチャパットの日本語教育を考える会タイ国日本語教育研究会他	04.04.01～ 05.03.31	7月3日に実施されたラチャパットの日本語教育を考える会セミナーへの助成をはじめ、日本語教育関連セミナーの実施に際し、当センター施設の貸し出しを行なった。また、3月19日に実施されたタイ国日本語教育研究会年次セミナーへの助成、施設貸し出しも実施した
2	文化事業小規模助成・シラパコン大学・多摩美術大学交流展	シラパコン大学	04.04.20～ 04.05.09	タイを代表する芸術大学であるシラパコン大学と多摩美術大学の交流展。3回目となった今回の交流展では、多摩美術大学から木版画の小林敬生を招き、同氏の作品45点を展示した
3	GNH国際会議助成（日研・知的交流企画開発事業）	NSF財団	04.09.01～ 04.10.31	インドシナと南アジア諸国が政府レベルで関係を強化する機運が高まっていることを機に、ブータン国王が提唱する、経済力に代わる国の指標としての「Gross National Happiness」の概念をタイで紹介する。ワークショップにはブータン、タイ、日本、東南アジア諸国から研究者、官僚、NGO関係者などが参加し、GNHを巡って活発な議論が繰り広げられた

海外事務所

	事業名	協力対象団体	期間	内容
4	文化事業小規模助成・河原温展	アバウトカフェ	04.09.22～ 04.10.15	日本を代表する現代アートの旗手、河原温の作品展。欧州の美術館の協力を得て、タイを代表する現代アートスペース「アバウトカフェ」が欧州美術館から所属作品を借り出し展示
5	コンケン大学紛争解決ワークショップ（日研・知的交流企画開発事業）	コンケン大学紛争解決研究所	04.10.04～ 04.10.08	各国の官僚などの実務者を集め、東南アジアの小規模な地域紛争の予防と解決方法について考える研修・ワークショップを開催
6	文化事業小規模助成・元日本国費留学生会美術展	元日本国費留学生会	04.10.08～ 04.10.31	本年が日本国費留学生事業の開始から50周年にあたることから、日本へ国費留学したタイの芸術家および日本の芸術家が、日本政府に敬意を表明し、タイと日本の一層の芸術・文化交流の増進を目的とする美術展を開催
7	文化事業小規模助成・アジア子ども文化祭	シーカーアジア財団	04.10.15～ 04.10.17	タイのキャンプ場で、東南アジア各国および日本の子どもが参加する国際ワークキャンプを実施。レクリエーション、ゲーム、各国文化の紹介等の活動を通じて、子ども達が言葉や文化の壁を越えて友好を育むことを目標とした
8	文化事業小規模助成・劇団道化公演	サーンラックプロジェクト	05.01.10～ 05.01.17	福岡の劇団「劇団道化」のタイ（チェンライ、バンコク）での子ども向け演劇公演
9	文化事業小規模助成・Lantern of the East（ブラパー大学美術展）	ブラパー大学	05.01.14～ 05.01.29	第1回目は1996年に韓国で“Lantern of the World”のタイトルのもとに開催され、諸外国で継続して実施している。今回の第14回Lantern of the East International Art Festivalはタイがホスト国となり、ブラパー大学のArt and Culture Museumの完成を記念して、日・タイの絵画・彫刻部門の芸術家を集めて開催
10	チュラロンコン大学セミナー助成（日研・知的交流企画開発事業）	チュラロンコン大学	05.03.14～ 05.03.14	早稲田大学の西川潤教授による、「東アジア共同体とFTAについての日本の視点」をテーマとした講演を実施
<b>【その他】</b>				
1	文化事業協力		04.04.01～ 05.03.31	タイの機関が開催する催し物での日本文化紹介につき、箏演奏等の協力を行なった

## 8. クアラルンプール日本文化センター (1)主催・共催事業

合計額 11,558,475円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【展示】</b>						
1	巡回展「日本の版画」	Dewan Bahasa dan Pustaka (DBP:国立言語文学研究所)	Dewan Bahasa dan Pustaka (DBP:国立言語文学院)	クアラルンプール	04.07.05～ 04.07.25	国際交流基金所蔵巡回作品（日本の版画（1950-1990））による美術展。関連企画として、マレーシアの版画家Johari Said氏による木版画についてのレクチャー・デモンストレーションを、7/10に会場で実施した
2	アジア漫画展	マレーシア漫画家協会、国立図書館、ペラ州立図書、トレンガヌ州立博物館、サバ州立博物館、在馬日本大使館	トレンガヌ州立博物館 国立図書館 サバ州立美術館 ペラ州立図書館	トレンガヌ クアラルンプール コタキナバル イポー	04.09.04～ 05.02.14	昨年度に国際交流基金で開催された第8回アジア漫画展「生きがい」の巡回展
3	巡回展「90年代の日本絵画」	ギャラリー・ペトロナス	ギャラリー・ペトロナス	クアラルンプール	04.11.27～ 05.01.02	国際交流基金所蔵巡回作品「90年代の日本の絵画（Painting for Joy）」展の実施。奈良美智、村上隆ら、現在の日本を代表する作家達の作品展は、地元マスコミでも多く取り上げられ、会期中1万3千人を越える来館者があった
<b>【公演】</b>						
1	「Rashomon」公演	The Actors Studio	Istana Budaya	クアラルンプール	04.06.18～ 04.06.27	The Actors Studioプロデュースによる、Rashomonの再演。日本の戯曲をベースにした演劇作品の上演であり、衣装デザインに昨年度の本部主催事業「スタッフ塾」のメンバーであった、時広真吾氏が起用された
2	「Refined Colours」公演	Monochrome Circus	MCPA Theatre	クアラルンプール	04.08.21～ 04.08.22	藤本隆行（ダム・タイプ、テクニカルディレクター）、坂本公成（モノクローム・サーカス、振付）を中心としたグループによるコンテンポラリーダンスの公演。マレーシア側からダンサー2名が参加した
<b>【本部事業受入】</b>						
1	狂言レクチャー・デモンストレーション（在外事業費）	在マレーシア大使館	国立言語文学研究所 Cititel Hotel 国立芸術アカデミー	クアラルンプール	04.09.01～ 04.09.03	大蔵流狂言のレクチャー・デモンストレーションをとして、Japan Festival in Malaysiaの中核事業として実施

## 海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【公演】</b>						
1	劇団態変との共同制作	The Actors Studio	市内各所	クアラルンプール	05.02.04～ 05.02.07	平成15年度文化人短期招へい事業にて日本へ招へいされた、The Actors Studioのジョー・ハシヤム、ファリダ・メリカン夫妻の提案から始まった、日本の障害者劇団態変とマレーシアの障害者との交流プロジェクト
2	Theatre Staff Workshop	マレーシア舞台技術者協会	Kuala Lumpur Performing Arts Centre MCPA Theatre	クアラルンプール	05.03.15～ 05.03.19	照明・音響等の舞台スタッフ向けに実施した、平成15年度国際交流基金主催事業「スタッフ塾」が好評であった事を受け、再度実施したもの
3	レニ・バツソ公演		The Actors Studio, Bangsar	クアラルンプール	05.03.25～ 05.03.26	レニ・バツソが平成13年に初演し、世界中を巡回している作品「Finks」の公演
<b>【会場提供】</b>						
1	中等教育日本語教師赴任前研修	マレーシア教育省	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.09.07～ 04.09.09	例年マレーシア教育省が、同省の日本語教師養成プログラムで日本に留学した教師に対して、帰国後、各校に赴任する前に行なう研修
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	ペンペル教授日本研究講演会	マレーシア日本研究学会 Star新聞社（協力）	Cybertorium, Menara Star Gurney Hotel	クアラルンプール ペナン	04.05.28～ 04.05.29	クアラルンプール日本文化センターとマレーシア日本研究学会との共催、当地大手英字新聞社Star協力による日本研究講演会を開催した
2	日研・知的企画開発事業（ウェルフィールド教授講演会）	マレーシア日本研究学会 Star新聞社、ペナン総領事館、ジョホールバル出張駐在館事務所、各大学	Menara Star マレーシア工科大学 マレーシア科学大学	クアラルンプール ジョホールバル ペナン	04.10.07～ 04.10.11	ジョン・B・ウェルフィールド（国際大学大学院国際関係学研究科教授）を講師に迎え、日本研究講演会「日本の外交政策」を実施した
<b>【映画】</b>						
1	定期映画会	在マレーシア大使館 マレーシア観光センター	マレーシア観光センター ミニ講堂	クアラルンプール	04.04.03～ 05.03.19	東アジアフィルムライブラリー所蔵の16mm作品を上映。原則的に毎月第一、第三土曜日に開催

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
2	日本映画祭	Golden Screen Cinemas 在ペナン総領事館	Golden Screen Cinemas Mid Valley Golden Screen Cinemas Gurney Plaza	クアラルンプール ペナン	04.06.15～ 04.06.27	小津安二郎、北野武など日本を代表する8名の映画監督の作品上映。クアラルンプール会場では当地で著名な映画・アニメーション制作者であるHassan Muthalib氏によるトークも実施
3	マレーシア・ビデオアワード	マレーシア・ビデオ・アワード・カウンシル	国立美術館講堂	クアラルンプール	04.09.16～ 04.09.16	木下蓮三、久里洋二など日本を代表するアートアニメーション作家の作品10本を“Japanese Classic Animation”として特集上映。広島国際アニメーションフェスティバルのフェスティバルダイレクターである木下小夜子による、各作家についてや、広島のフェスティバルについての講演も実施
4	日研・知的フェローフォローアップ事業（在外事業費）		Golden Screen Cinema Midvalley	クアラルンプール	05.03.15	平成13年度芸術家フェローとして日本に滞在したナジブがそのフェローシップ期間中に撮影したドキュメンタリー作品『Glass Enclosure ～Tokyo Invisible』（邦題：『ガラスの檻』）の上映会
5	日研・知的フェローフォローアップ事業	モハマド・ナジブ・ラザック氏	Golden Screen Cinema Midvalley	クアラルンプール	05.03.15～ 05.03.15	平成13年度芸術家フェローとして日本に滞在したナジブがそのフェローシップ期間中に撮影したドキュメンタリー作品「Glass Enclosure Tokyo Invisible」(邦題：「ガラスの檻」)の上映会
<b>【その他】</b>						
1	一般コンサルティング				04.04.01～ 05.03.31	国内の日本語教育機関からの各種問い合わせに対応

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【日本語教育】						
1	立ち上げ支援小規模教材寄贈		Sekolah Berasrama Penuh Integrasi Kubang Pasu (中等教育) Sekolah Berasrama Integrasi Mersing (中等教育) Kolej Universiti Kejuruteraan & Teknologi Malaysia	クアンタン、ジョホール、ケダ	04.04.01～ 05.03.31	新規に日本語講座を立ち上げた教育機関に対し、必要最小限の教材確保を支援する目的で小規模の教材寄贈を実施
2	高校生日本語弁論大会	マレーシア教育省、マレーシア日本人商工会議所、クアラルンプール日本人会、在マレーシア大使館	クアラルンプール日本人会講堂	クアラルンプール	04.04.25	高校生を対象とした日本語弁論大会。従来は一般カテゴリーに参加せざるを得ず、不利を被っていた高校生を別カテゴリーとすることで、参加へのインセンティブを高めることを目的として本年度より実施。優勝者はNPO法人エデュケーション・ガーディアンシップ・グループ主催の「海外高校生による日本語スピーチコンテスト」に参加する
3	プロジェクト対応型コンサルティング	マレーシア科学大学 (USM) マレーシア・サバ大学 (UMS)	マレーシア科学大学 マレーシア・サバ大学	ペナン コタキナバル	04.04.26～ 05.03.31	マレーシア科学大学が進めている教科書作成プロジェクトに対する協力。計画の最初期段階からクアラルンプール日本文化センター主任講師が助言をおこなった。また、マレーシア・サバ大学において計画されている口頭能力評価法検討プロジェクトについては、今年度より日本語担当教師による勉強会開催という形で開始
4	講読会第1回		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.05.09	9月から開始する上級日本語通信講座へのスムーズな導入を図るため、論文の購読能力を向上させる目的で実施。同講座を受講予定の8名全員が参加した
5	第1回北部地域日本語教育キャラバン		ペナン日本語協会	ペナン	04.06.12～ 04.06.13	地方在住の日本語教師の教授能力向上を目指した出張セミナー。全国3カ所で1年間に各2回実施するうちの北部における1回目

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
6	通信講座・スクーリング		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.06.14～ 05.01.31	遠隔地に居住する日本語教師の日本語能力向上を図るための通信講座を実施。日本語能力試験2級程度の日本語力を持つものを対象とし、1級合格を目指す程度の日本語力をつけることを目的とする
7	第1回東海岸・南部地域日本語教育キャラバン		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.06.26～ 04.06.27	地方在住の日本語教師の教授能力向上を目指した出張セミナー。全国3カ所で1年間に各2回実施するうちの東海岸・南部を対象とした1回目。参加者が集まりやすいクアラルンプールで開催し、人数的に余裕があったため、クアラルンプール近郊の教師も参加した
8	購読会第2回		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.07.04～ 04.07.04	9月から開始する上級日本語通信講座へのスムーズな導入を目的とする購読会の2回目。上級日本語通信講座受講予定者8名のうち5名が参加。2部構成とし、第1セッションは文献から自分が必要とする情報を的確に抽出する能力を向上することを目指したレクチャー、第2セッションでは自らの研究課題・問題意識の発表を行なった
9	第1回東マレーシア地域日本語教育キャラバン		マレーシア・サバ大学	コタキナバル	04.07.17～ 04.07.18	地方在住の日本語教師の教授能力向上を目指した出張セミナー。全国3カ所で1年間に各2回実施するうちの東マレーシアにおける1回目。参加者は、大学、民間の日本語教育機関で日本語教育に携わるマレーシア人、および、日本人日本語教師で、計10名。ワークショップの形式を取り入れ、参加者が主体的に取り組めるように配慮した
10	日本語弁論大会一般の部	マレーシア日本人商工会議所、クアラルンプール日本人会、在マレーシア大使館、ペナン日本語協会、ペラ馬日友好協会、在ペナン総領事館、在コタキナバル総領事館、他	エクセルシオールホテル ペナン福祉協会 コンプレックス マレーシア・サバ大学 クアラルンプール日本人会講堂	イポー ペナン コタキナバル クアラルンプール	04.08.15～ 04.08.29	オープンカテゴリーの弁論大会。クアラルンプール日本文化センターはクアラルンプール首都圏・南部地区の地方大会および全国大会を共催



## 海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
11	第2回みんなの日本語セミナー	マレーシア日本語協会 在マレーシア大使館 マラヤ大学言語学部	マラヤ大学言語学部	クアラルンプール	04.09.18～ 04.09.19	日本語未習者および初級・中級学習者を対象にした、日本語紹介イベント。延べ350名が参加。2日間で44の授業及び講義を実施したほか、折り紙や生け花などの日本文化紹介も行なわれた
12	日本語弁論大会予備教育の部	マレーシア日本人商工会議所、 クアラルンプール日本人会、 在マレーシア大使館	クアラルンプール日本人会	クアラルンプール	04.10.03	日本留学予備教育課程在学中の学生による弁論大会
13	第2回東マレーシア地域日本語教育キャラバン		ホリデーイン・ホテル	クチン	04.10.16～ 04.10.17	後期の日本語教育キャラバンは、ノンネイティブ教師の日本語のブラッシュアップを主目的とし、国内3都市において開催した。ただし、全体を通して日本語の口頭能力のブラッシュアップを中心とはしながらも、教授法や教材利用、教室活動などの面でも参考となるような内容を目指した
14	日本語教育研究発表会・浦和教師研修報告会		クラウン・プリンス・ホテル	クアラルンプール	04.10.30	日本語教育関係者に広く研究発表の機会を提供すること、研究や実践の成果を広く共有できるようにすることおよび浦和教師研修の参加者に研修成果を現場に還元する責任を自覚してもらうとともに、研修OB間のネットワークを強化すること、また、研修に参加したことの無い教師に研修について知ってもらう機会を提供することを目的に開催
15	評価委員会		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.11.04	クアラルンプール日本文化センターが2004年（暦年）に実施した日本語関連在外事業の評価および提言をおこなう有識者会議。マラヤ大学言語学部のChoi教授を座長とし、教育省、マレーシア科学大学、マレーシア工科大学高専留学予備教育、ペラ馬日友好協会から各1名の代表が参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
16	第2回北部地域 日本語教育キャラバン		ペナン日本語協会	ペナン	04.12.18～ 04.12.19	後期の日本語教育キャラバンは、ノンネイティブ教師の日本語のブラッシュアップを主目的とし、国内3都市において開催した。ただし、全体を通して日本語の口頭能力のブラッシュアップを中心とはしながらも、教授法や教材利用、教室活動などの面でも参考となるような内容を目指した
17	日本語教師ネットワーク形成支援		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.02.05～ 05.02.05	日本語教師ネットワーク形成に関心を示した24名が参加し、今後のマレーシアでのネットワークングのあり方を協議した
18	第2回東海岸・南部地域日本語教育キャラバン		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.02.19～ 05.02.20	後期の日本語教育キャラバンは、ノンネイティブ教師の日本語のブラッシュアップを主目的とし、国内3都市において開催した。ただし、全体を通して日本語の口頭能力のブラッシュアップを中心とはしながらも、教授法や教材利用、教室活動などの面でも参考となるような内容を目指した
19	中等教育教科書シラバスワークショップ	マレーシア教育省	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.03.01～ 05.03.03	マレーシア教育省では当センターの協力のもと、2004年より中等教育向けの新シラバス作成を開始している。2005年に入り、新シラバスに基づいた新しい教科書の作成が決定したので、具体的な方法を検討するためのワークショップをマレーシア教育省と共催で開催した
20	日本語教育セミナー		マラヤ大学予備教育部 (AAJ)	クアラルンプール	05.03.05～ 05.03.06	マレーシア全土の日本語教師を対象とするセミナー。中等教育機関、高等教育機関、予備教育機関、一般成人を対象とした民間日本語教育機関それぞれから、マレーシア人日本語教師および日本人日本語教師、計88名が参加した。テーマは「日本語教育における文化について考える」
21	上級日本語通信講座・スクーリング		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.05.09～ 05.02.18	マレーシアの日本語教育の中核となる教師の育成を目的として、研究を行ないうる日本語能力の習得をめざす日本語上級レベルの通信講座を実施。原則として日本語能力試験1級程度の日本語力を持ち、今後、マレーシアにおける日本語教育の発展に貢献することが期待されるノン・ネイティブの教師を対象とした

## 海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書教材購入サテライト・リソースセンター(SRC)	ペナン日本語協会 ペラ馬日友好協会	ペナン日本語協会 ペラ馬日友好協会	ペナン イポー	04.04.01～ 05.03.31	クアラルンプール日本文化センター図書館の分館として、ペナンとイポーに「サテライト・リソースセンター」を設置し、最新教材等へのアクセスを付近の日本語教師に提供
2	図書教材購入JFKLリソースセンター		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.04.01～ 05.03.31	クアラルンプール日本文化センター図書館に配架する日本語教材の購入
3	文化事業部ニューズレター発行				04.04.01～ 05.03.31	文化事業部のニューズレター「TEMAN BARU」を年6回発行し、文化事業部の活動紹介を行った。また、JFKLメンバーに対しては「図書館だより」と共に各号を郵送した
<b>【出版・広報】</b>						
1	日本語事業部ニューズレター発行				04.04.01～ 05.03.31	日本語事業のニューズレター、「ブンガラヤ」を年4回発行。日本語関連事業の紹介の他、新刊教材の紹介、学校紹介、教案のヒントなどを掲載
2	ジャパン・フェスティバル参加	在マレーシア大使館 クアラルンプール日本人会 マレーシア日本商工会議所 東方政策留学生同窓会等		マレーシア全域	04.07.01～ 05.01.31	毎年恒例となった、ジャパン・フェスティバル・イン・マレーシア2004の開催。 フェスティバルを日馬共同で開催することにより、マレーシアの人々の日本理解の促進を目的とするもので、今年で第12回目となる
<b>【教室事業】</b>						
1	一般日本語講座		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.04.27～ 05.03.11	一般向けの日本語講座。民間学校では実施されていない中級～上級レベルの3クラスを開講
2	日本語教師養成理論実習講座		クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	04.05.05～ 05.03.16	日本語能力試験1級程度の日本語能力があり、将来日本語教育に携わりたいことを目標としている未経験者あるいは経験の浅い教師（原則マレーシア人）を対象に、初級コースの日本語を教えることができる能力を養成することを目標に開講

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【その他】</b>						
1	お月見茶会	裏千家茶道同好会	クアラルンプール日本文化センター ロビー	クアラルンプール	04.10.08～ 04.10.08	一般の方々を対象としたお茶会。お月見ということで、クアラルンプール日本文化センターのロビーにて立礼式にて行なわれた
<b>【本部事業受入】</b>						
1	KL国際文学祭 (在外事業費分)	Silverfishbooks Sdn. Bhd. オーストラリア 大使館 MACLAS	Renaissance Hotel Malaysia Tourism Centre	クアラルンプール	04.07.29～ 04.08.01	1.作家、小林恭二氏による俳句ワークショップ、ならびに日本の現代文学に関する講演。2.日本の小説を原作とした映画の上映会。作品は、『二十四の瞳』、『細雪』、『金閣寺』、『海と毒薬』の4本

8. クアラルンプール日本文化セン	(2)助成・協力事業
-------------------	------------

合計額 1,305,457円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	事務所小規模助成 ("From Ukiyo-e to Anime")	国立美術館	04.06.11～ 04.07.11	昨年度文化庁が開催した「マンガフォーラム」に参加した3名 (Hassan Muthalib (アニメーター) Zanita Anuar (国立美術館 Director of Research & Development) Salmah Abu Mansor (UTM 教授)) が企画した展覧会。日本における浮世絵から漫画・アニメへの影響と、その日本アニメの、マレーシアのアニメーションに対する影響を考察するもの。 期間中は展示のみでなく森下明彦 (神戸芸術工科大学視覚情報デザイン学科教授) を招いての講演やパネルディスカッションが企画され、来場者のより深い理解を促す試みがなされた
2	The 2nd International Conference on Language, Linguistics and the Real World	マラヤ大学言語学部	04.12.07～ 04.12.09	マラヤ大学言語学部が第2回国際言語会議をPJHiltonで開催。日本から井出祥子 (日本女子大学文学部教授) が招へいされ講演を行なった
3	The 1st International Language Learning Conference 2004	マレーシア科学大学言語翻訳センター	04.12.16～ 04.12.18	日本語教育をはじめとした各国語教育において教授法、教室運営などを中心に議論する。クアラルンプール日本文化センター講師が分科会で発表した

## 海外事務所

	事業名	協力対象団体	期間	内容
4	日研・知的企画 開発事業（小規模助成）	マレーシア日本 研究学会	05.02.28～ 05.02.28	5名の日本研究者による、日本の外交政策についてのペーパープレゼンテーションおよび聴衆との質疑・応答
<b>【講演・シンポジウム】</b>				
1	第2回国際言語・言語学会議（マラヤ大学言語学部）	マラヤ大学言語学部	04.12.07～ 04.12.09	マラヤ大学言語学部との共催で第2回国際言語会議をPJHiltonで開催。日本から井出祥子（日本女子大学文学部教授）を迎え、講演を行なった
2	第1回国際言語教育会議（マレーシア科学大学）	マレーシア科学大学、マレーシア教育省、ペナン州教育局	04.12.16～ 04.12.18	日本語教育をはじめとした各国語教育において教授法、教室運営などを中心に議論する。海外から宮崎聡（早稲田大学院日本語教育研究科教授）が招へいされた
<b>【その他】</b>				
1	RSシラバス会議	マレーシア教育省	04.04.01～ 05.03.31	マレーシア教育省が進めている中等教育用新シラバス作成作業に対する協力。クアラルンプール日本文化センターの日本語教育専門家が全ての作業会議に出席し、助言を行なうとともに、経費の一部を負担した
2	中等教育統一試験への協力	マレーシア教育省	04.07.20～ 05.03.04	マレーシア教育省が実施する、中等教育日本語統一試験への協力。クアラルンプール日本文化センターの日本語教育専門家が会議に出席し、作成委員会メンバーに対して助言を行なった。また、聴解試験のためのテープ録音に当センターの日本語教育専門家及び講師が協力した。試験当日には、専門家がテスト会場に出張し、実施状況を視察した。また採点作業会議の会場を提供した
3	シンガポール教育セミナー	シンガポール日本語教師会	04.11.16～ 04.11.17	シンガポール日本語教師の会主催セミナーへの出講依頼に応じ、クアラルンプール日本文化センター主任講師を派遣した

9. シドニー日本文化センター	(1)主催・共催事業
-----------------	------------

合計額 39,059,093円

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【展示】</b>						
1	[kyudo] graphy	Parisydneytokyo	シドニー日本文化センター・ギャラリー	シドニー		平成17年度事業として2005年4月に実施する予定の標記プロジェクトに対する広報・宣伝
2	筒書き友禅	小林秀明（筒書き友禅作家）	シドニー日本文化センター・ギャラリー	シドニー		平成17年度事業として2005年5月に実施する予定の標記プロジェクトに対する広報・宣伝経費および作品輸送

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
3	日本の神話展	池田	シドニー日本文化センター旧ギャラリー	シドニー	04.03.22～ 04.04.30	平成15年度に引き続き、グラフィック・デザインのDVDイメージと音楽により「古事記」の世界を再現した展示会を開催
4	生け花インターナショナル（小原流）	生け花小原流	シドニー日本文化センター旧ギャラリー	シドニー	04.05.24～ 04.05.27	シドニー日本文化センター・ギャラリーにて生け花のデモンストレーションと、展示会を開催した
5	写楽再見		シドニー日本文化センター・ギャラリー	シドニー	04.09.09～ 04.10.13	シドニー日本文化センター移転記念事業の一環として、新ギャラリーにて現代を代表する作家が写楽の作品に新しい解釈を加えたグラフィック・デザイン、絵画、オブジェクトからなる巡回展を実施。オープニングでは、琴、韓国太鼓、ディジュリドゥ（オーストラリア先住民の楽器）の日豪の奏者によるコラボレーションで、音楽による写楽の解釈も同時に行なった
6	プロダクションIG「アニメ展」	プロダクションIG MADMAN	シドニー日本文化センター・新ギャラリー バルハラ・シネマ	シドニー	04.11.04～ 04.12.17	オーストラリア大手アニメ配給会社MADMAN（同展示会スポンサー）との共催で、カンヌ映画祭のコンペ部門で日本アニメとしては初めて上映された『イノセンス』を今回の展示イベントの一環として特別プレミア上映会を開催。押井守監督（攻殻機動隊、イノセンスなど）、石川光久氏（プロダクションIG・CEOおよびプロデューサー）を招へいした
7	クレイワーク展		シドニー日本文化センター・ギャラリー	シドニー	05.01.28～ 05.02.25	シドニー日本文化センターギャラリーにて、海外巡回展「日本のクレイワーク展」を実施した。オープニングはシドニー在住の陶芸家小路光男氏を招き、現代日本のクレイワークの系譜につ解説を行なった
<b>【公演】</b>						
1	TSUNAMIチャリティコンサート	在シドニー日本関係アーティスト	シドニー日本文化センター・ギャラリー	シドニー		平成17年度事業として2005年4月15日に実施する予定の標記プロジェクトに対する広報・宣伝
2	事務所オープニングイベント		シドニー日本文化センター・新ギャラリー チフリー・スクエア サーキュラー・キー	シドニー	04.08.27	U-Stage、ジャグラーPepper Zero、ウクレレ・えいじ、マイム・アキラが前宣伝を兼ねたプレ・イベントを実施。シドニー日本文化センターメンバーおよびVIPを中心に立ち見も含め230名（満席）が出席

海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
3	ダーリングハーバー公演 (U-STAGE)		ダーリング・ハーバー・アンフィ・シアター	シドニー	04.08.29	シドニー日本文化センター・グランド・オープニング事業に出演したU-Stageによる野外パフォーマンス
4	ジャパンナイト公演 (U-STAGE)	ビジット・ジャパン シドニー・オペラ・ハウス	シドニー・オペラ・ハウス	シドニー	04.08.29	シドニー日本文化センター・グランド・オープニング事業に出演したU-Stageをシドニー・オペラ・ハウスで行われたジャパン・ナイトに参加させた
5	SCHOOL VISIT (U-STAGE)	デビットソン・ハイ・スクール キラニー・ハイ ツ・ハイ・スクール	デビットソン・ハイ・スクール キラニー・ハイ ツ・ハイ・スクール	シドニー	04.08.31	シドニー日本文化センター・グランド・オープニング事業に出演したU-Stageによる学校訪問、ワーク ショップ
6	日豪会議文化紹介事業	豪州外務通商 省、在豪大使館	パーク・ハイ アット・ホテル	メルボルン	05.02.10	第3回日豪会議のダウンナー豪州外相 主催夕食会の前に、シドニー日本文化センター主催日本文化紹介事業として、琴 (小田村さつき)、ディジュリドゥ (マシュー・ドイル)、テナー・サクソ (サンディ・エバンス) による日豪コラボレーションの演奏会を行なった
7	WONDERBUS JAPAN	在豪大使館、ヤング、ウォドンガ、シェパートン、バララット、ウォナンブール、マウント・ガンビア各市政府	キャリントン公園 ウォドンガ小学校 プリンセス公園 他 聖パトリック・カレッジ聖ヨハネ小学校	ヤング ウォドンガ シェパートン バララット ウォナンブール マウント・ガンビア	05.03.07～ 05.03.20	普段日本文化に接する機会の少ない豪州の地方都市(町)において、和太鼓、民謡踊り、空手、茶道、折り紙、書道、日本映画等のパフォーマンス(上映)およびワークショップを、トレーラー付きマイクロバスで巡回しながら実施し、豪州の人々とのフェイス・トゥ・フェイスの交流を図った
<b>【映画】</b>						
1	第3回YOUTH FILM FESTIVAL	日本映画学校 シドニー工科大学 オーストラリア 国立映画学校	シドニー日本文化センター 多目的ルーム	シドニー	04.09.17	日本映画学校、シドニー工科大学、オーストラリア国立映画学校との共催で、日豪の学生が制作した卒業作品の映画を上映。今年度よりコンペティションを採用し、最優秀作品の監督には35ミリフィルムが贈呈された

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
2	第8回豪州巡回 日本映画祭	在全豪公館他	National Gallery of Australia ACMI Cinemas  Alexander Library Building Theatre South Bank 5 Cinemas	キャンベ ラ  メルボル ン パース  ブリスベ ン	04.10.13～ 04.11.26	第8回目を迎えた巡回日本映画祭は、 2004年10月13日よりキャンベラを皮 切りに、オーストラリアの5都市で 開催。各都市ともほぼ90%以上の入 場者を記録し、全豪で約6,500人の動 員があった
<b>【日本語教育】</b>						
1	ニューズレター 発行 (Dear Sensei)			シドニー	04.04.01～ 04.09.30	ニューズレター Dear Senseiの発 行。第46号、第47号、各2,500部を発 行した
2	日本語教育補助 教材制作および 補助	NSW州美術館			04.04.01～ 05.03.31	これまでシドニー日本文化センター で開発してきたActivity Resource をCD-ROMにまとめ、また同セン ターのHP上の掲載した。 また、今年度からNSW州Art Galleryと共催で、「日本の美術」を テーマにした、初・中等教育用の日 本語教材の開発に着手した（完成は 2006年度）
3	日本語教育研修 会支援	各州教育省、各 州私立学校教 会、各州日本語 教師会		オースト ラリア内 各都市	04.04.01～ 05.03.31	各州で主催される日本語教育研修会 に、シドニー日本文化センターの講 師3名が出張し、セッションなどを 行なった。本年度はニューサウス ウェールズ州、タスマニア州、NZに 各2回、首都特別地域、南オーストラ リア州、クィーンズランド州、西オー ストラリア州、ピクトリア州各1回 と計11回の出張を実施した
4	日本語教育研修 会支援 (ニュー ジーランドセミ ナー出講)	NZ教員養成校 協議会 (ACENZ)	市内研修施設、 ホテル	ハンマー スプリン グス、ロ トルア	04.04.21～ 04.04.24	ACENZに派遣されている国際交流 基金専門家が中心になってニュー ジーランドの2都市で合宿形式の教 師研修を企画し、これにシドニー日 本文化センターから専任講師と派遣 専門家が出講した。初等、中等教育 課程教師約35名が参加し、発音に関 する授業とシドニー日本文化セン ターが制作した大型絵本教材Big Bookの使い方をテーマにしたセッ ションが行なわれた



	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
5	日本語教育研修会支援 (NSW州ノースコースト地区セミナー出講)		サザンクロス高校	バリナ	04.05.15	研修機会の少ないノースコースト地区の日本語教師を対象に、1日の研修会を実施。今回は中等教育課程教師10人を対象に、「インターネットと日本語」というテーマでセッションを行なった。シドニー日本文化センターからは主任講師が出講した
6	日本語教育研修会支援 (NSW州ハンター・セントラルコースト地区セミナー出講)		市内研修施設、ホテル	メイトランド、ゴスフォード	04.05.25～ 04.05.26	研修機会の少ないハンターおよびセントラルコースト地区の日本語教師を対象に、放課後の研修会を実施。今回は中等教育課程教師を対象に、シドニー日本文化センター制作教材「でかでかゲームシート」の紹介と「アニメで日本語」と題するセッションを行なった。参加者はハンター地区23人、セントラルコースト地区8人、シドニー日本文化センターからは主任講師と専任講師が出講した
7	日本語教育研修会支援 (南オーストラリア州セミナー出講)	南オーストラリア州日本語教師会 (JLTASA)	Education Development Centre	アデレード	04.06.18～ 04.06.19	南オーストラリア州日本語教師会による、小・中・高等学校の日本語講師を対象とした研修会に、シドニー日本文化センターより主任講師と専任講師が出講した。参加者は、約140名
8	日本語教育研修会支援 (西オーストラリア州兵庫交流センターセミナー出講)	西オーストラリア州兵庫交流センター (主催) 西オーストラリア州教育省 (協力)	西オーストラリア州兵庫交流センター	パース	04.06.21	同州内の初中等課程日本語教師40名を対象に、日本語運用力の向上を主な目的とした1日の研修会を実施した。西オーストラリア州教育省派遣専門家を中心となって協力し、シドニー日本文化センターからも派遣専門家が出講した
9	対ニュージーランド事業 (NZセミナー出講、学会出席)	NZ言語教師会、NZ日本語教師会		オークランド、クライストチャーチ	04.07.03～ 04.07.07	クライストチャーチで開催されるNZ言語教師会Biennial International Conferenceにシドニー日本文化センターの主任講師が出講し、「Authentic resources for the Japanese classroom」と「Authentic Resources and Task Design」という2セッションを行なった
10	情報交流 (学会出席、日本語教育学会)		日本語教育国際研究大会 (昭和女子大) 日本語国際センター	東京、さいたま	04.08.04～ 04.08.14	オーストラリア国内だけでなく、世界の日本語教育事情の情報収集を図るべく、シドニー日本文化センターの主任講師が日本で行なわれた日本語教育国際研究大会に出席。また、日本語国際センターにおいて、情報交換を行なった

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
11	情報交流（学会出席、TAS州MLTAT）	Modern Language Teachers Association of Tasmania	Ulverstone Civic Centre	Ulverstone	04.08.20～ 04.08.21	MLTLT主催の年次大会にシドニー日本文化センターの派遣講師が出講し、セッションを行なった。なお、本大会はModern Languageの教師が集まる大会であるので、日本語以外の言語のセッションも行なわれた
12	NSW日本語弁論大会	在シドニー総領事館、アシックス、キャノン、JALパック、紀伊国屋書店、ソニー	シドニー日本文化センター	シドニー	04.09.05～ 04.09.05	今回で35回を迎えた州レベルの弁論大会。NSW州の高校、大学生36名がシニア、オープン・ビギナー、オープン、バックグラウンド・スピーカーの4部門で競い合った
13	日本語教育短期研修会		シドニー日本文化センター	シドニー	04.09.28～ 04.10.01	シドニー日本文化センターが主催している日本語教育研修会。全豪各州から14名、ニュージーランドから6名の計20名が参加
14	全豪日本語弁論大会	在豪大使館、豪日交流基金、JAL、JR東海、キャノン、アシックス、ソニー、紀伊国屋書店	シドニー日本文化センター	シドニー	04.10.17～ 04.10.17	国内各州の大会を勝ち抜いた18名の代表が、4部門（高校シニア、オープン・ビギナー、オープン、バックラウンド・スピーカー）で競い合う全豪決勝大会。35回目を迎えた
15	日本語教育フォーラム	在シドニー総領事館、NSW州教育省	シドニー日本文化センター	シドニー	04.11.20～ 04.11.20	NSW州の幼児、小・中学生が日頃の日本語学習の成果をそれぞれの創意工夫で発表する会。寸劇や歌が中心ではあるが、ビデオエントリーも可。学習成果を絵画・工作などで表現する展示部門を併設している。今回で日本語発表会は8回目、アート展示会は5回目を迎えた
16	評価委員会開催	各州教育省、私立学校協会	シドニー日本文化センター	シドニー	04.11.26～ 04.11.26	各州教育省、私立学校協会からの代表者を招き、各州の日本語教育の現状を聞き、同時にシドニー日本文化センターの日本語教育事業に関する協議や意見交換を行なった
17	日本語教育通信講座				05.01.01～ 05.03.31	日本語を母語としない教師が自分の時間に日本語運用力の向上を図れるよう、オンラインによる日本語講座を開発予定（完成は平成17年度中）。このオンライン講座により、特に、初級の学習事項を身につけていない教師が、日本語を体系的に整理し、その基礎を身につけ、教室で日本語をある程度自信をもって教えられるようになることを目指した

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
18	日本語教育短期研修会（1月）		シドニー日本文化センター	シドニー	05.01.10～ 05.01.14	シドニー日本文化センター Language Sectionが主催する最大規模の日本語教育研修会。全豪各州から18名、ニュージーランドから6名の計24名が参加
19	日本語教育研修会支援（TAS出講）		Letitia House Mt Nelson	ホバート	05.01.26～ 05.01.28	昨年秋に行なった、インテンシブセミナーに参加できなかったTAS州の日本語教師向けに、シドニー日本文化センターの専任講師が出講して、2日間の研修会を行なった。参加者はTAS州内の初等課程を中心とした日本語教師8名
20	日本語教師研修会支援（AISQ出席）	Brisbane Catholic Education	Father Bernard O'Shea Centre	ブリスベン	05.02.17～ 05.02.19	QLD州カトリック・私立系の小・中・高等学校の日本語教師約50名を対象に行なわれた3日間の日本語セミナーに、シドニー日本文化センターの講師2名を派遣
21	発音セミナー		シドニー日本文化センター	シドニー	05.03.08～ 05.03.08	シドニー市内の日本語教師を対象とした放課後の発音セミナー。約20名の参加があり、日本語発音練習方法やイントネーションの実際などについて、シドニー日本文化センターの派遣専門家が講義を担当
22	日本語教師研修会支援（AFMLT出席）	ビクトリア州日本語教師会（JLTAV）	Hemisphere Conference Centre	メルボルン	05.03.18～ 05.03.19	VIC州の日本語教師会（JLTAV）の州大会にシドニー日本文化センターの主任講師を派遣し、セッションを行なう。セッションのテーマは、シドニー日本文化センターで制作したActivity Resourceである『でかかゲームシート』の使い方、この内容にそって、Middle Years（Year5～9）とSenior Secondary（Year11～12）に合わせて、二セッションをワークショップ形式で行なった
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書館運営費		シドニー日本文化センター図書館	シドニー	04.04.01～ 05.03.31	2004/4/1～5/31まではノース・シドニー・オフィス、2004/6/1～10/11までは移転業務のため閉館、2004/10/12より移転先にて新図書館開館。年間入場者数5,555人、年間アクセス件数5,908人、年間開館日数152日、今年度新規会員数538名、資料総点数15,544点、年間貸出総点数3,882点

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【出版・広報】</b>						
1	ホームページ			シドニー	03.10.01～ 03.12.31	イベント紹介・映画上映会プログラム・グラントプログラム申請案内・ニュースレター（Across the sea）紹介・図書館情報・メンバーシップ案内・在豪日本人芸術家ディレクターなど
2	ニュースレター発行（おむすび）				04.04.01～ 05.03.31	文化セクション季刊誌「Across the Sea」第52、53号（4,000部）、日本語セクション季刊誌「Dear Sensei」（4,000部）第46、47号をそれぞれ発行後、両誌を統合しシドニー日本文化センター新季刊誌「OMUSUBI」（5,000部）を10月に創刊。第2号まで発行
3	ニュースレター発行（ACROSS THE SEA）				04.04.01～ 05.03.31	文化セクション季刊誌「Across the Sea」第52、53号（4,000部）、日本語セクション季刊誌「Dear Sensei」（4,000部）第46、47号をそれぞれ発行後、両誌を統合しシドニー日本文化センター新季刊誌「OMUSUBI」（5,000部）を10月に創刊。第2号まで発行
<b>【教室事業】</b>						
1	書道教室		シドニー日本文化センター・多目的ルーム	シドニー	04.11.06	シドニー日本文化センターメンバー向け日本文化教室の一環として書道教室を実施した
<b>【その他】</b>						
1	JSAA	豪州日本研究学会	シドニー日本文化センター多目的ルーム	シドニー	04.03.21	第14回豪州日本研究学会総会（通称JSAA、平成17年7月実施予定）に向けての予備会議をシドニー日本文化センター多目的ルームにて開催

9. シドニー日本文化センター (2)助成・協力事業

合計額 2,498,206円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	Australian Network for Japanese Law	オーストラリア日本法ネットワーク	04.02.01	オーストラリア日本法研究ネットワーク（通称ANJeL。オーストラリア国立大学、シドニー大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学の各法学部の日本法研究者による横断的組織）の主催する日本法に関するセミナーに対する助成を実施
2	日本語教育セミナー助成	Northern Territory School of Languages	04.03.12～ 04.03.12	“Strategies of Success in the Teaching of Japanese”と題する研修会に対して、参加者の旅費および代替教師雇用費を中心に助成。シドニー日本文化センターからは派遣専門家も出講。参加者は12名で、うち日本人が9名。教授技能の向上を目的とした授業のほか、インターネットを使った日本語教育を紹介するハンズオンのセッションやアイデアシェアリングを実施
3	日本語教育セミナー助成	タスマニア州教育省	04.05.14～ 04.05.14	「ちょっとチャットキャンベル」という研修会に対して、地方参加者の交通費並びに会場借料の一部を助成。同セミナーは中等教育後期の教師の日本語力の向上と新しいCMなどの教材を紹介することを主な目的として開催された
4	LES CHEFS HUILES	ワガワガ・アート・ギャラリー	04.06.12	ワガワガ・アート・ギャラリーで開催された標記展示会のオープニングで琴の演奏のために招へいされた小野しょうこの旅費の助成を実施
5	日本動画協会DVDサブタイトル作成	日本動画協会	04.07.20～ 04.07.31	アニメ作品「人狼」を素材とし、セル・アニメーションの制作過程をまとめたDVD「セル・アニメーションの制作工程の記録」の英語字幕制作に対し助成。同DVDはシドニー日本文化センター主催「プロダクションIGアニメ展」でも放映
6	ブリスベン国際映画祭	太平洋フィルム・テレビ・コミッション・フェスティバル・イベント事務局	04.07.27～ 04.08.08	同映画祭に招へいされた『バイプレーター』の監督の渡航費用の一部を助成
7	邦楽合同演奏会	クイーンズランド豪日協会	04.08.01～ 04.08.15	メルボルン在住の和太鼓グループ「巴」および在ブリスベンの邦楽演奏家との合同演奏会に対し助成
8	Japanese Cultural Day in Auckland	オークランド・ニュージーランド日本協会	04.08.20～ 04.08.24	ニュージーランド、オークランドで開催された日本文化祭に招へいされたブリスベン在住の尺八演奏家へ助成
9	ドキュメンタリー映画祭(マッコリー大)	マッコリー大学	04.09.15	マッコリー大学主催のドキュメンタリー映画祭に対し助成
10	THE FLOW AGAINST THE GRAIN	Histoire de Voir	04.10.12～ 04.11.12	シドニー日本文化センターが入居しているチフリー・プラザのエントランス・ホールで開催されたシドニー在住の各国料理の著名シェフの肖像画の展覧会（日本出身のシェフは、Tetsuya Wakuda,Toshi Ishii）に対し助成

	事業名	協力対象団体	期間	内容
11	シドニーフェスティバル	シドニー・フェスティバル事務局	05.01.01～ 05.01.31	シドニー・フェスティバルの一環としてシドニー・オペラ・ハウスのスタジオで行なわれた、日本のテクスタイル作家のインスタレーションとミュージカル「メモリー・オブ・カラー」の共演に対し助成
12	アデレードフィルムフェスティバル	アデレード国際映画祭事務局	05.02.18～ 05.03.03	アデレード国際映画祭に対し助成
13	マルチカルチュラルフェスティバル	アーリー・ミュージック・エンタープライズ	05.02.19～ 05.02.20	キャンベラで開催されたマルチ・カルチュラル・フェスティバルに対し助成
<b>【文化備品・視聴覚資料貸出】</b>				
1	フィルムライブラリー	在外公館	04.04.01～ 05.03.31	太洋州フィルム・ライブラリーより16ミリフィルムの貸し出し。豪州国内外合計24件・48本を提供
<b>【その他】</b>				
1	オーストラリアアジア研究学会(ASAA)出席		04.06.29～ 04.06.30	隔年開催の同大会に、オーストラリア内外のアジア研究、アジア言語教育関係者が集った。シドニー日本文化センターからは日本語教育担当職員が出席し、アジア言語教育に関わる情報収集を行なった

10. トロント日本文化センター	(1)主催・共催
------------------	----------

合計額 6,673,600円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【展示】</b>						
1	「歌枕」展		トロント日本文化センター	トロント	04.05.08～ 04.07.08	5月1日から31日にかけてトロントで行なわれた第8回 CONTACT 写真祭の一環として開催したもので、ロンドンを中心に活躍する写真家ジョン・トラン氏が歌枕の地を訪れ、日本の和歌・文化を育んだ風土の現在の姿を撮影した作品約30点を和歌の英訳と共に展示
2	高円宮写真展	在京カナダ大使館	トロント日本文化センター	トロント	04.07.20～ 04.08.14	高円宮殿下がクイーンズ大学（キングストン）留学中、カナダ旅行時に撮影された写真29点を、殿下による説明文、高円宮妃殿下によるエッセイおよび殿下ご臨席のもと開催されたトロント日本文化センター開所式の写真10点と共に展示

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	アニメポスター展		トロント日本文化センター	トロント	04.09.13～ 04.10.27	トロント国際映画祭の開催にあわせ、9月13日から10月27日の間、アニメポスター展「少女パワー」を開催。同展では日本のアニメに登場するヒロインに焦点をあて、宮崎駿監督作品をはじめ計39点のアニメポスターを展示した
4	現代グラフィックデザインポスター展		トロント日本文化センター	トロント	04.11.25～ 05.03.24	グラフィックデザインポスター展シリーズ第7弾として亀倉雄策作品展「Graphic Giant: Yusaku Kamekura Poster Exhibition」を開催。展覧会では、亀倉氏のポスター作品から厳選した代表作60点余りを展示した
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	日本研究レクチャー I		トロント日本文化センター	トロント	04.11.12	John Meehan (レジャイナ大学歴史学部準教授) による講演「Pacific Beginnings: Canada Encounters Japan, 1929-1941」を開催
2	日本研究レクチャーII		トロント日本文化センター	トロント	05.01.21	井川スミス文子(元マギル大学教授)を招き、「Clay Figurines of Kamegaoka 亀ヶ岡式土偶」をテーマとした講演会を実施
3	日本関係資料担当司書ワークショップ		トロント日本文化センター	トロント	05.01.29	カナダの大学図書館で日本関連図書を専門に扱う司書12名を集めて、現状報告と情報交換を行なった
4	日本研究レクチャーIII		トロント日本文化センター	トロント	05.03.18	Lammare (マギル大学教授)を迎え、「OTAKU アニメのプロデューサー的ファン」というテーマで講演会を実施。Lamarreは、マギル大学の元東アジア研究学部部長で、平安文学、無声映画やアニメを専門としている
<b>【映画】</b>						
1	歌舞伎舞踊DVD上映会	演劇専門書店 Theatre Books Marty Gross Film Productions	トロント日本文化センター	トロント	04.05.29	坂東玉三郎歌舞伎舞踊DVDの上映会を開催。トロントではこれまで写真資料でしか紹介されることがなかった坂東玉三郎の舞台を映像で紹介し、「鶯娘」「楊貴妃」「鏡獅子」「娘道成寺」から各20分程度選りすぐりの場面上映した

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
2	劇映画・文化映 画上映会		トロント日本文 化センター	トロント	04.07.21～ 04.08.04	日本の様々な側面を紹介するドキュ メンタリー上映会「Documentary Japan」を7月21日から8月4日にか けて開催。在日韓国家族の葛藤を描 いた長編ドキュメンタリー「Osaka Story」の他、日本の文化・社会問題・ 歴史等を紹介するドキュメンタリー 計17本を上映した
<b>【日本語教育】</b>						
1	日本語アートコ ンテスト	にほんごアート コンテスト実行 委員会	トロント日本文 化センター	トロント	04.10.02	2003年度国際交流基金在外邦人日本 語教師研修においても研究された 「にほんごアート」を、オンタリオ州 の初中等日本語学習者に対して、コ ンテスト形式で紹介したところ、 2004年6月30日の締め切りまでに計6 校から135点の作品が提出された。 そのコンテスト入賞者の表彰式、お よびレセプションを開催
2	日本語教師情報 交換会		トロント日本文 化センター	トロント	04.11.13	トロント近郊の日本語教師を対象に した情報交換会。オークリッジ高校 教師ドナ・ロビンソン氏による、教 室内アクティビティについてのワー クショップ「Interactive Overheads」、および日本語国際セ ンターの日本語教師研修参加者によ る体験報告会を行なった。参加者は 19名
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書館運営費		トロント日本文 化センター	トロント		第1四半期来館者数：5,637名 第2四半期来館者数：6,188名 第3四半期来館者数：5,718名 第4四半期来館者数：5,104名



海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【その他】</b>						
1	企画開発事業 (現況・ニーズ調査)		プリティッシュ コロンビア大学 アルバータ大学 アルバータ大 学、アルバータ 教育省 マギル大学  セントメリー大 学	バンクー バー エドモン トン  モントリ オール ハリ ファック ス		エドモントン・アルバータ出張：アルバータ大学東アジア研究学科、高円宮日本教育研究センターを視察し、アルバータ教育省を訪問した モンリオール・ハリファックス出張：マギル大学やセント・メリー大学のJapan Studiesを専門とする教授らと面会し、今後の助成システムや各大学におけるJapan Studiesの現状について対談 バンクーバー・エドモントン出張：日本研究調査出張として、プリティッシュコロンビア大学とアルバータ大学を訪問。各大学の東アジア研究学部や図書館の現況などを話し合った
<b>【本部事業受入】</b>						
1	アジア映画紹介 ブースAsian Square	本部主催	トロント日本文化センター	トロント	04.09.09～ 04.09.18	国際交流基金海外日本映画祭主催事業として財団法人日本映画海外普及協会（ユニジャパン）がアジア映画紹介ブース「Asian Square」をトロント日本文化センターイベントホールに設置。 ブース設置期間中には、トロント日本文化センターとユニジャパンの共催で日本映画「誰も知らない」の是枝裕和監督を迎えたレセプションを開催した。総来場者数は111名

10. トロント日本文化センター	(2)助成・協力
------------------	----------

合計額 1,497,597円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	企画開発事業 (小規模助成)	アルバータ大学 マギル大学		アルバータ大学：2005年1月21～22日にThe Prince Takamado Japan Centre for Teaching and Researchで開かれた、日本研究フォーラム「Building Bridges Between Disciplines」の費用の一部を助成。 マギル大学：2005年1月6～8日に開かれた、JPEX:Japanese Experimental Film and Video, 1955-now（学会とフィルム上映会）の費用の一部を助成

	事業名	協力対象団体	期間	内容
2	在外助成 (Image Festival)	Image Festival	04.04.15～ 04.04.24	例年200本を超えるインディペンデント系映画・ビデオ・映像作品を上映するImages Festivalが4月15日から24日にかけて、トロント市内Innis Town Hallで開催された。例年積極的に日本の作品を紹介しており、今年は辻直之監督『闇を見つめる羽』、狩野志歩監督『Lily in the Glass』、西川ともなり監督『Apollo』の3本の短編実験映画が上映された
3	在外助成 (Open Studio)	Open Studio	04.06.24～ 04.07.24	東京在住のアーティスト中田夏子とバンクーバー在住のカナダ人アーティストMaria Anna Parolinの作品展「SuperNatural」が6月24日から7月24日にかけてOpen Studio (トロント) で開催。トロント日本文化センターはオープニングに合わせ来加した中田の旅費の一部を助成
4	在外助成 (リアル・アジア国際映画祭)	トロント・リアル・アジア国際映画祭	04.11.24～ 04.11.28	トロントで毎年開催されるトロント・リアル・アジア国際映画祭を助成。本映画祭は、北米を含む世界各国で制作されたアジア関連映画を上映し、トロント市民のアジアへの関心・認識を深めることを目的としている。2004年度は全17本中4本の日本映画『AZUMI』(北村龍平監督)、『ERA ERA』『POTOLITAM』(清水好美監督)、『FLYING』(長池弘史監督)が上映された
5	在外助成 (New Music Concerts)	New Music Concerts	05.01.09	トロントのCBCグレンゲールドスタジオで開かれた、笙奏者宮田まゆみによる演奏会を助成。この演奏会は、トロントの世界的なフルート奏者、ロバート・エイトケンの主宰による「ニューミュージックコンサート」で、細川俊夫や鈴木和彦が作曲した作品をフルート、アコーディオン、弦楽器とカルテット形式で演奏。また、笙のソロ演奏により伝統的な日本の宮廷音楽である「雅楽」が披露された
6	在外助成 (トロント大学)	トロント大学	05.03.05	トロント大学の東アジア研究学部の大学院生による第5回Annual Graduate Conferenceに小規模助成を行なった。会議は、「Movement: The Cultural Dynamics of East Asia」というテーマで、日本、中国、韓国を研究する学生・教授らが集まり、研究論文の発表、パネルディスカッションなどを行なった
7	在外助成 (Flicks International Film Festival)	Flicks International Film Festival	05.04.07～ 05.04.10	サスカチュワン州サチュカトゥーン市で行なわれたFlicks International Film Festivalに助成。国内外から子供や家族向けの作品を集めて上映する映画祭で、今年は日本からは『NITABO』(西澤昭雄監督)を上映
<b>【文化備品・視聴覚資料貸出】</b>				
1	文化備品巡回展 (松永真展)	Triangle Gallery of Visual Arts	04.06.18～ 04.08.28	カルガリー (アルバータ州) のTriangle Gallery of Visual Artsで「The Graphic Appetite:松永真ポスター展」が行なわれた。2003年度にトロント日本文化センターで行なった松永真ポスター展で展示した作品のうち約60点を貸与
<b>【その他】</b>				
1	クイーンズ大学 図書寄贈式	クイーンズ大学	04.06.15	クイーンズ大学 (オンタリオ州キングストン) で高円宮殿下特別図書寄贈式典が行なわれた。クイーンズ大学主催、トロント日本文化センター協力事業。本式典では、故高円宮殿下の日加間交流へのご貢献を記念し、殿下がご留学されたクイーンズ大学に図書335点を寄贈した

	事業名	協力対象団体	期間	内容
2	アジア演劇研究者 (ATHE)懇親会	Association of Theatre in Higher Education	04.07.30	高等教育機関演劇会議「Association of Theatre in Higher Education」(7月29日～8月1日)の開催に合わせ、日本演劇関係者・研究者を招いたレセプションを実施。出席者は27名

11. サンパウロ日本文化センター	(1)主催・共催
-------------------	----------

合計額 17,980,449円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【展示】</b>						
1	「能面」展示	ニッケイ新聞社	サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	04.09.01～ 04.09.10	サンパウロに滞在経験のある久保田松仙師範の能面個展。1989年にサンパウロ市文協ビルで能面個展を行なったこともある。 「能面」をテーマにし、展示オープニングの9月1日にDarc Kusanoの講演、そして9月4日に専門家Angela Nagaiの講演を行なった
2	「パノラマ・デザイン」企画	アニエンビ・モルンビ大学	アニエンビ・モルンビ大学多目的ホール	サンパウロ	04.11.03～ 04.11.05	日本のグラフィックデザインの現状を展示および講演によって紹介。展示はサンパウロ日本文化センター所蔵のポスター展(原研哉、佐藤卓、松永真、田中一光)の一部の約60点によって構成された
3	「亀倉雄策ポスター」展	大竹富江インスティテュート	大竹富江インスティテュート・ホール	サンパウロ	05.02.01～ 05.03.20	日本のグラフィックデザイン界の先駆者でもあり、国際的にも高く評価されたデザイナー-亀倉雄策(1915-1997)のポスター展。戦後日本の復興から現代まで40年間の日本の歴史をデザイン史を通して表現した展示事業。トロント日本文化センターとの共同企画
4	「ブラック・レイン」ライブ・パフォーマンス・映像インスタレーション	大竹富江インスティテュート(共催) 協力:キタニ、SENAC、クアント、CSV,	大竹富江インスティテュート	サンパウロ	05.02.02～ 05.03.20	平成15年度アーティスト・フェロースhipとして日本で芸制作動を行なったブラジル人若手新進アーティストのレイチェル・ロザレンのマルチメディア作品(複合媒体)「ブラック・レイン」の展示

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【公演】					
1	「Cherry Blossom Fantasies」公演会	サンパウロ州立住宅博物館	サンパウロ州立住宅博物館・テラス	サンパウロ	04.06.06～ 04.06.06	ニューヨーク在住ブラジル人フルート奏者Cecilia Bordallo CharlierおよびピアニストのFulvio Ferrariの共演による日本現代音楽とヨーロッパ印象派の比較音楽研究の発表。 Eugene Bozzaによる日本伝統音楽、例えば「さくら、さくら」の編曲版等も紹介された
2	「ざくろ・ボンサイ」公演会	サンパウロ州立住宅博物館	サンパウロ州立住宅博物館・テラス	サンパウロ	04.08.15～ 04.08.15	「ざくろ・ボンサイ」公演は日本の民謡、童謡をブラジルのリズムに再アレンジした曲、ブラジル・インディオの唄やオリジナル曲で構成された音楽コンサート。ヨーロッパ、アジア、アフリカ、ブラジルの曲がミックスされ、ジャンルも民謡からジャズ、ブラジル音楽にいたるハイブリッドなコンサートであった
3	「千田栄子オペラ歌手」リサイタル	在パラグアイ大使館	アスンシオン市パラグアイ日本人造りセンター劇場	サンパウロ	04.09.01～ 04.09.01	アスンシオン市営交響楽団と田中光道（テノールオペラ歌手）とのコンサートにブラジル在住ソプラノ歌手千田栄子の派遣によって、パラグアイ・ブラジル・日本との交流促進事業に協力する「アスンシオン市営交響楽団・邦人オペラ歌手共演リサイタル」を実施
4	「DUO CONTINUO」公演会	サンパウロ州立住宅博物館	サンパウロ州立住宅博物館・テラス	サンパウロ	04.09.12～ 04.09.12	ドイツ在住日本人ピアニスト奏者中村麗とブラジル人パーカッショニスト、リカルド・マリーニによるピアノと打楽器のデュエットで日本とブラジルの現代音楽を紹介
5	「ざくろ・ボンサイ」テレビ収録公演	サンパウロ州立住宅博物館（共催） TV Cultura（共催）	サンパウロ州立住宅博物館・テラス	サンパウロ	04.09.18～ 04.09.18	8月15日にサンパウロ州立住宅博物館で300人を集めて実施されたコンサートのテレビ収録公演。Tozando Brasil とToyota do Brasilの協力を得て、4月10日午後11時半からTV Cultura (TVクルトゥーラ)局 (= 代表的な公的文化芸術教育放送局) によって放映された

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
6	「OMSTRAB 訪日帰国公演とトーク」	協力：ベトロプラス、文化庁、ARO、サンパウロ市庁舎、ガレリア・オリード	オリード市立文化センター	サンパウロ	04.11.27～ 04.11.28	8月、「東京芸術見本市2004」に参加するため訪日したOMSTRAB公演団の帰国後公演。 OMSTRAB公演団の6人は日本の印象を挿入した公演とトークを実施した。日系ダンサーのレチシア・セキトの特別参加も有り、ダンス、身体によって生じる音、太鼓等リズム感に溢れたパフォーマンスであった
7	「AIBI」プロジェクト	Aibiプロジェクト実行委員会	カーザ・アイビ	サンパウロ	05.03.05～ 05.03.06	国際交流基金元フェロー柳生アリセによる狂言、マイム、音楽を用いた演劇作品の制作を含む複合企画発表のための経費の一部を負担。フェノロサが訳したお能および李白の作品を詩に書き換え、その朗読や、江戸川乱歩の「人間椅子」の演劇作品や、彫刻、絵画パフォーマンス等バラエティーに富んだ企画
8	「京都・大野一雄へのオマージュ」公演		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.03.10～ 05.03.10	舞踏家大野一雄の100年記念の一環として日本の舞踏家橋本景子およびタマドゥア・ダンス・カンパニーの公演を実施
9	「綴音サンパウロ公演」邦楽コンサート		日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.03.17～ 05.03.17	「在米日本文化専門家派遣事業」の一環として実施された邦楽コンサート。アメリカ各地で活動している琴と尺八の邦楽演奏者4名（石樽雅代、JAMES NYORKU SCHEFER, MAYUKO MATSUDA, CHARLES WEI-TING TANG) をニューヨークからブラジルに派遣し邦楽コンサートを実施
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	「フェロー帰国報告」講演会		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	04.05.13～ 04.05.13	国際交流基金招へい(文化芸術)フェローシッププログラムにより日本に滞在したRachel Rosalenのメディア・アート講演および上映会
2	「Letters-日本に渡ったブラジル女性たち」講演会		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	04.05.19～ 04.05.22	ブラジルから日本へ出稼ぎ労働者、あるいはその家族として日本へ渡った女性たちのブラジル帰国後の経験を語るドキュメンタリー「CARTAS」の上映会

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	「禅とイメージ」講演会・ワークショップ		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	04.05.20～ 04.05.26	「禅と像」をテーマに曹洞宗国際ブラジル布教師心月孤圓師、写真家Carlos Moreiraおよびメディア・アーティストRachel Rosalenによる講演。MoreiraとRosalenが写真家Henri Cartier Bresson、映画監督Tarkovskyなどの作品に見られる映像概念を紹介し、孤圓師が禅宗の観点から分析をした
4	「マルタ・ソアレスO BANHO制作過程について」の講演		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	04.06.02～ 04.06.02	1994年のアーティスト・フェロースhipに参加したダンサー、マルタ・ソアレス女史の新作をビデオにて発表
5	日本理解のための文化講演会		サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	04.09.29～ 05.02.03	分野に限らず、サンパウロ訪問中の日本人研究者による一般社会人向けセミナー・講演会を実施した
6	「合気道 x ダンス」講演会・ワークショップ		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.03.02～ 05.03.05	コンテンポラリーダンスに合気道の応用をテーマにするワークショップおよび講演会（2月25日）。3月2日から4日の2日間は合気道専門家と有名ダンサーが共に表現手法を交差させながらデモンストレーションを行った
7	「日本人の身体IV」企画	協力：ゲーテ・インスティテュート、カトリック大学東洋学研究センター、キタニ、ソニー、SENAC	サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.10.04～ 05.10.05	中牧教授の基調講演（「祝祭性と身体性—キーワードとしての動詞」）、当企画のキュレーターであるクリスチーネ・グライナー博士の指導のもと、ブラジル演劇界のアントニオ・アラウージョ、美術評論家、キュレーター、そして今年度文化人短期招聘者のアギナルド・ファリアス、美術評論家、大学教授のミゲル・シャイア、ダンサー、元フェローのマルタ・ソアレスたちの対談・講演が実施された
8	「舞踏譜」和栗由紀夫氏講演		サンパウロ日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.11.10～ 05.11.10	舞踏家和栗幸雄がサンパウロカトリック大学フェローとしての滞在中に催した講演会。和栗氏が制作したCDRom「舞踏譜」および舞踏創始者土方巽について紹介した

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【日本語教育】</b>						
1	日本語協議会	在サンパウロ総領事館 国際協力事業団 サンパウロ支所 ブラジル日本商工会議所、ほか	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	ブラジル日本語教育機関関係の代表からなる協議体として、各分野の連携と情報交流を図り、ブラジル全体としての日本語教育の振興を図るため、前年度の決議に基づいた専門部会を開催したほか、各分科会でフィードバックを行ない、その成果を第5回日本語協議会で発表をした
2	日本語教材開発・研究調査			サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	ブラジルに適した日本語教材の開発研究に支援した。特に、初級前半の日本語学習者の日本語で書き直した配布教材：「シンデレラ」の印刷製本と配布、日本語国際センター制作教材「教科書を作ろう」のポルトガル語版の翻訳構成などが主な活動
3	日本語教材等図書寄贈			サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	日本語講座が開かれている学校への日本語教材の寄贈
4	大学研究会（日本語教育、日本文学）			サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	ブラジル日本語教師用に、ポルトガル語・日本語によるバイリンガル日本語教育マニュアルを作成中
5	CEL・CELEM日本語教師研修会	サンパウロ州教育局 パラナ州教育局	ファシナウドセウ研修センター サンパウロ日本文化センター	ファシナウドセウ（パラナ） サンパウロ	04.04.12～ 04.04.16	サンパウロおよびパラナ両州教育局の運営する州立学校（中等教育課程）の課外講座としての日本語講座の奨励協力事業として、その教師の定期的研修を実施。2004年度は、パラナ州教育局主催の全外国語教員セミナー（ファシナウドセウ）に、サンパウロ州CELの日本語教師を参加させる形で協力支援したほか、CEL・CELEMの新人日本語教師特別研修を実施した
6	全国大学生サンパウロ研修	バイア州立大学、 セアラ州立大学、 リオデジャネイロ州立大学、 バレドリオドスシノス大学、ほか	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	04.07.12～ 04.07.23	ブラジル全国23の大学日本語講座より各1名を選抜してサンパウロ日本文化センターでのグループ集中講座に参加させ最新の教材と自律学習への指針を与えると同時に、各地大学日本語講座の交流と活性化を図った

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
7	CEL・CELEM 日本語学習ポスターコンクール			サンパウロ	04.09.30～ 04.10.20	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の日本語講座（CEL・CELEM）を中心として、中等教育課程で日本語講座を有する学校に対し、日本語講座の広報・学習奨励として、日本語学習呼びかけのポスター絵のコンクールを行ない、優勝者をはじめとする入賞作品の絵をカレンダーにして、参加校を含め、全国の日本語学校に配布した
8	第10回全伯日本語スピーチコンテスト	汎アマゾンニア日伯協会 在ベレーン総領事館	ジンナイ講堂	ベレン	04.11.19～ 04.11.21	ブラジル各州（全8地区）で行なわれる弁論大会で優秀な成績を修めた者を招き、全国大会を実施し、一部の地区大会の支援を行なった
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書館運営			サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	サンパウロ日本文化センター図書館として、専門のリファレンスサービス要員が一般利用者を含む閲覧サービスを実施。文化芸術事業など、基金事業の展開に合わせた所蔵資料の特別展示を行なったほか、サンパウロ文学アカデミーの日本関係図書の寄贈を受け、特別文庫を設置した。日本語および欧米諸言語の日本関係図書、日本語の雑誌、視聴覚資料など所蔵図書は、12,239冊（視聴覚2,633点・雑誌50タイトル）で、来館者数は8,412人（平成16年度）、登録者は1,008人（平成17年3月31日現在）である
<b>【出版・広報】</b>						
1	広報業務委託費			サンパウロ	04.04.01～ 04.09.30	サンパウロ日本文化センターの事業活動をマスメディアに取り次ぐ業務
2	ニューズレター発行			サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	サンパウロ日本文化センター季刊誌「AQUARELA」。2004年4月発行。発行部数2500部



海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	ホームページ管理			サンパウロ	04.04.01～ 05.03.31	ホームページによる広報。サンパウロ日本文化センターのイベント紹介。各種基金プログラム、事業、イベント情報、図書館およびニュースレターAQUARELA,ガイドライン等をポルトガル語で紹介。 平成16年度（年間） アクセス回数：172.193（前年度より37%増加） アクセス人数： 116.393（前年度より40%増加）
4	ポルトガル語ガイドライン作成			サンパウロ	04.07.01～ 05.10.30	平成16年度公募プログラム・ガイドライン英語版をポルトガル語版に翻訳、作成、配布
5	留学生サロン	早稲田大学 在サンパウロ総領事館 日伯文化連盟	サンルイス学校 イベントセンター	サンパウロ	05.02.01～ 05.02.01	早稲田大学の協賛により、英米、ドイツ、スペイン、フランス語圏の語学留学等留学見本市に、在サンパウロ総領事館、日伯文化連盟とともにブースを出展、基金事業を広報した
<b>【その他】</b>						
1	文化備品貸出			サンパウロ、プレジデンテ・プルデンテ、アラサツバ、ロンドリーナ、マリンガ、モンテス・クラロス、他	04.04.01～ 05.03.31	サンパウロ日本文化センターが所有する文化備品を希望する団体への貸し出し。貸し出し実績は12件
2	「JAPAN WEEKS 2004」企画	在サンパウロ総領事館		サンパウロ	04.06.04～ 04.08.23	「JAPAN WEEKS」は今年が3回目であり、15イベントで構成され、その内5件が国際交流基金事業。今年のオープニングはリアル銀行にて生け花、書道の展示、茶道および剣術のデモンストレーション等を含み、盛大に行なわれた

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	「サンパウロにおける日本文化ガイドブック」	JBC出版社（共催） ナコンビ、イロリ、ヤノ、キン、おりがみ、アズルミュージク、トラデプラス協力	日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.06.29～ 05.06.29	1993年に出版された「サンパウロにおける日本文化ガイドブック」の更新版のため日本文化状況調査を平成15年度に実施し、平成16年度にその出版物の記念会を複合企画として実施した
<b>【本部事業受入】</b>						
1	「Na Trilhas Samurais」映画祭	サンパウロ市立文化センター 在サンパウロ総領事館	サンパウロ市立文化センター	サンパウロ	04.07.20～ 04.07.25	アメリカ映画『ラスト・サムライ』の封切で日本の時代劇が注目される中、時代劇映画の上映会を企画。参加作品は国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵作品およびブラジルFL所蔵作品併せて7本。4本ポルトガル語字幕、3本英語字幕。上映回数18回。観客数1,933人
2	「第2回南米地域フェロー懇談会」	在アルゼンチン大使館 広報文化センター	在アルゼンチン大使館広報文化センター	ブエノス・アイレス	05.03.19～ 05.03.20	南米6カ国（ブラジル、アルゼンチン、チリ、コロンビア、パラグアイ、ペルー）から16名の元フェローを集めた第2回目の南米地域フェローのフォロー事業。基調講演に、サンパウロ・カトリック大学の元フェローのクリティニー・グライナー教授を迎え、文化芸術分野、国際関係・国際法分野、宗教・思想・哲学分野の三つの分野ごとの分科セッションを取り入れ、今後の南米地域のフェローの交流と日本研究振興のための次なるステップを探った

11. サンパウロ日本文化センター	(2)助成・協力
-------------------	----------

合計額 1,187,766円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	「日伯工芸美術展」	ブラジル日本文化協会	03.11.07～ 03.11.12	第8回日伯工芸美術展はブラジル在住の工芸作家名の点による展示。出展作品は、陶器、金工、木工、染色、タペストリー、人形、七宝焼等。219点の応募作品から173点選出された。基金は展示カタログ作成費を助成

	事業名	協力対象団体	期間	内容
2	CEL・CELEM 勉強会支援	CEL勉強会、 CELEM勉強会	04.04.01～ 05.03.31	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の州立学校日本語講座の教師に対する、日本語教育、日本語の授業やテクニクに関する勉強を行なう会。CEL(サンパウロ州)は月に一回集まり、国際交流基金の講師が一人つく。CELEM(パラナ州)は、年10回行なわれ、3カ月に一回、国際交流基金から講師が派遣された
3	CELEM勉強会 講師派遣	CELEM勉強会	04.04.01～ 05.03.31	CELEM(パラナ州立学校外国語講座)の日本語教師が日本語教育に関しての専門書を読んだり、使用教材についてのディスカッションしたりする場にサンパウロ日本文化センターの日本語講師を派遣。以前は、月一回、国際交流基金の派遣教師を交えて行なっていたが、去年は、3カ月に一回講師を派遣して自立化を図った
4	「第42回ブラジル生け花合同展」	ブラジルいけ花協会	04.06.04～ 04.06.09	生け花展、デモンストレーション、ワークショップを主とする「第42回ブラジル生け花合同展」がリアル銀行で実施された。展示は、大・中の作品13瓶、小品95瓶で構成され、デモンストレーションおよびワークショップは1日に2回、計10回行なわれた。国際交流基金は招待状、パンフレットの印刷費を負担し助成協力
5	ブラジル銀行・Rumos da Danca企画	ブラジル銀行文化センター	04.06.17～ 04.07.11	ブラジル銀行が主催するダンス・フェスティバルに参加する企画の内、2件が日本あるいは日系文化をテーマにした事業であり、それらに対する公演謝金、制作費の一部を負担することによって公演に参加した。 本事業のキューレーションはダンス評論家Ana Francisca Ponzioにより、ダンス公演の制作過程への協力を重要視する方針からなる事業である。本事業は国際交流基金派遣助成を得たコレオグラファーの小池博史、他1名によるワークショップも実施した
6	日本学会支援	リオデジャネイロ連邦大学	04.07.02～ 04.07.03	リオデジャネイロ連邦大学が主催する大学日本語教師の全国大会に対し、助成
7	第7回日本語遊悠会	リオデジャネイロ州立大学、リオデジャネイロ連邦大学、リオデジャネイロ日伯文化協会、ほか	04.09.11	在リオデジャネイロの五つの主要日本語教育機関が中心となる年に一度の日本語祭りであり、日本教育機関の横のつながりを深めることと、日本語教育関係者・学習者双方の奨励事業。日本語を使用した演劇やイラストなど、さまざまなイベントがゲームやコンテスト形式で催された
8	「相撲・歴史と文化」企画	セスキ商業連盟社会サービス文化センター	04.09.27～ 04.10.02	元・玉ノ井部屋、若東ほかブラジルと関係を持つ日本からの3名の力士による相撲デモンストレーションおよび一般用のクリニック、ブラジルフィルムライブラリー映画『しこふんじゃった』および文化映画『国技館』の上映会、土俵作りワークショップ、写真展、相撲大会によって構成された複合企画。基金は映画の貸し出しおよび相撲大会パンフレット印刷費の負担によって協力
9	「神楽」公演会	ブラジル広島文化センター	05.03.21～ 05.04.09	日本文化紹介助成の一環として、広島県津浪神楽団の派遣指導員尾坂秋三と末田健治による「神楽」公演およびワークショップを実施。 ワークショップは3月21日～24日、27日～28日、3月30日～4月1日、4月4日～9日に行なわれた。また、公演は4月2日(ブラジル日本文化協会)、4月3日(サンパウロ市立文化センター)、および4月10日(カンピーナス日伯文化協会)にて実施された。 元フェローのアンジェラ・永井による能公演「雪」も披露された

## 12. マニラ事務所 (1)主催・共催事業

合計額 3,311,929円

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【展示】</b>						
1	第7回アジア漫画展	The Podium	The Podium	マンダロン市	04.06.03～ 04.06.21	"Getting a Job in Asia" をテーマに、8カ国 8名の漫画家の作品80点を展示。また、期間中にフィリピン漫画家協会のメンバーによる、児童を対象としたワークショップを実施
2	ポスターに見る日本展	シャングリラ・プラザ	シャングリラ・プラザ・モール	マンダロン市	05.02.10～ 05.02.26	「Discover Japan Through Contemporary Posters」というテーマで、日本の商業広告ポスター75点を展示し、ポスターを通じての日本の現代社会・生活の紹介を試みた。毎年2～3月に行なわれる日比友好祭事業の一環として実施
<b>【公演】</b>						
1	フルート・ピアノコンサート	アリアンス・フランセーズ MCO財団	フランシスコ・サンチャゴ・ホール	マニラ	04.07.10	アリアンス・フランセーズとの共催で、パリ在住の日本人フルーティスト石橋輝樹、バンコック在住のピアニスト中川恵里のジョイントコンサートを開催。フィリピン人クラリネット奏者Ariel Sta Anaがゲスト出演した
2	英語落語	在フィリピン大使館	カルロス・ロムコ劇場	マニラ	05.02.21～ 05.02.22	2003年度に実施していずれも好評だった英語落語の第3回目。桂かい枝が英語落語・玉すだれの実演を行なった他、漫画家いわみせいじが観客を壇上に招いてイラスト・似顔絵共に描く等、会場は和やかな笑いに包まれた
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	日本研究シンポジウム	在フィリピン大使館 デ・ラ・サール大学ユチェンコセンター	デ・ラ・サール大学ユチェンコホール	パサイ市	05.03.10～ 05.03.11	「日本とフィリピン；地域と世界における新しいパートナーシップを目指して」をテーマに、フィリピンの主要大学・研究機関から代表的な日本研究者、学生が集まり、研究発表・ディスカッションが実施された

## 海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【映画】</b>						
1	日本映画祭（第1回）	フィリピン文化センター フィリピン大学映画研究所 The Podium SM シネマ	フィリピン大学映画研究所 フィリピン文化センター The Podium SM メガモール	ケソン市 パサイ市 マンダルーヨン市	04.09.07～ 04.10.12	日本の比較的新しい映画作品6本『ウォーターボーイズ』『たそがれ清兵衛』『ハッシュ』『ジュブナイル』『どこまでも行こう』『がんばっていきまっしょい』を上映した。若者層を中心に多くの観客を集めた
2	日本映画祭第2回(黒澤明特集)	フィリピン文化センター フィリピン大学映画研究所 MCO財団	フィリピン大学映画研究所 フィリピン文化センター アントニオ・モリーナ ホール	ケソン市 パサイ市 マカティ市	05.02.23～ 05.03.11	黒澤明の代表的作品8本（『羅生門』『生きる』『悪いやつほどよく眠る』『七人の侍』『まあだだよ』『姿三四郎』『天国と地獄』『野良犬』）を上映した。期間中のべ3,000名の観客を集めた
<b>【日本語教育】</b>						
1	第32回日本語スピーチコンテスト	デ・ラ・サール大学セント・ベニルデ校 マニラ日本人会 フィリピン日本人商工会議所	デ・ラ・サール大学セント・ベニルデ校	マニラ	05.02.19～ 05.02.19	大学や日本語学校で日本語を学ぶ12名が「ビギナー部門」「オープン部門」の2部門に分かれて参加。「折り紙から別の世界へ」「健康は財産」等様々なテーマでスピーチした
<b>【出版・広報】</b>						
1	事務所紀要の発行				04.04.01～ 05.03.31	平成14年度に引き続き、マニラ事務所紀要『JFManila Journal』の第2号を300部発行し、国内の日本研究者、日本語教育関係者に配布した
2	ニューズレター				04.04.01～ 05.03.31	『JFManila News』というタイトルで年3回、各3000部発行。マニラ事務所活動の案内、国際交流基金フェローの寄稿、国際交流基金事業に対する批評等を掲載し、国際交流基金事業の広報に努めた
<b>【その他】</b>						
1	公募助成事業広報・審査				04.04.01～ 05.03.31	多数の申請がある知的交流会議等助成事業を効率的に受理・審査するため、申請機関を対象とした説明会、および申請案件のコンサルタントに対する評価依頼等を行なった
2	フェロー懇談会		シャングリラホテル	マカティ市	05.03.31	過去のフェローを集め、滞日中の成果や現在の活動状況についての報告・情報交換を行なった

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【本部事業受入】</b>						
1	津軽三味線コンサート	フィリピン文化センター	フィリピン文化センター マンダリン・オリエンタルホテル	パサイ市 マカティ市	04.10.23～ 04.10.25	津軽三味線奏者の新田親子（新田弘志、新田昌弘）の演奏会を実施。フィリピンのエスニック系バンドであるマキリン・アンサンブルも参加して共演した

12. マニラ事務所	(2)助成・協力事業
------------	------------

円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	小規模助成事業の実施	フィリピン大学国際地域研究センター等	04.04.01～ 05.03.31	日本研究・知的交流分野に関わる有意義なプロジェクトにつき、事業実施経費の一部を助成した。フィリピン大学国際地域研究センターが実施したジャーナリスト白木百合子氏の講演会「日本の文化と社会」他、全部で11件の催しに対して助成
2	シネマニラ映画祭の開催		04.07.01～ 04.07.14	国際映画祭「Cinemanila」の開催にあたって、オープニング開催経費の一部を助成した。日本映画ではオープニングで北野武監督の映画『ZATOICHI』が上映されたほか、『バイプレーター』も上映作品の一つ
3	日比トリオコンサート	フィリピン元私費留学生協会	04.11.20	日本人バイオリニスト川原千真、チェリスト田崎瑞博、フィリピン人ピアニストのGreg Zuniega3名による共演コンサートを実施。演奏会はマニラの他、ルソン島のバタンガス、ミンダナオ島のダバオでも実施された。クライスラー、バッハ、メンデルスゾーンの曲以外に、日本およびフィリピンの音楽も演奏され、演奏曲の背景説明も行なわれた
4	学術会議「アジア・オセアニア地域の中のフィリピン」	フィリピン大学アジアセンター	05.03.02～ 05.03.03	フィリピンを「東南アジア」の一員としてではなく、広くオセアニア地域を含んだ「アジア大洋州」の一員として捉え、フィリピンと「アジア大洋州」地域とのつながりを歴史、文化、政治、経済等の様々な局面から討議した学術会議

13. ニューデリー事務所 (1)主催・共催事業

合計額 4,554,780円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【展示】</b>						
1	橋口譲二氏ワークショップ展示会		インディア・ハビタット・センター	ニューデリー	04.07.28～ 04.08.05	本部助成事業で訪印した橋口譲二一行は7月1日～27日にかけてパラナシおよびラダックにおいてインドの青少年を対象とした写真と絵画のワークショップを行なったが、その成果をデリー市民にも見てもらうため事務所で展覧会実施をアレンジした
2	第7回アジア漫画展		国立人類博物館 ラリット・カラ・アカデミー	ボパール ニューデリー	04.09.01～ 04.10.15	日本で展示が行なわれたのち、アジア各国を巡回する展覧会。インドのラビカント・ナンドウーラ氏を含むアジア各国の漫画家による作品が展示された。今年度はボパールとデリーの2都市で開催
<b>【公演】</b>						
1	歌舞伎レクチャーデモンストレーション	スピック・マツケイ	トリヴェニ・カラ・サンガム モダン・スクール インディア・インターナショナル・センター	ニューデリー	04.08.02～ 04.08.25	国際交流基金助成事業で訪印した中村鴈治郎をはじめ歌舞伎グループ一行がインド国立演劇学校の学生を対象として3週間の演技ワークショップを実施した機会をとらえ、ニューデリーの一般市民や一般生徒を対象としたレクチャー・デモンストレーションをニューデリー事務所でアレンジした
2	少林寺拳法ワークショップ		中学高校8件、 NGO1件	ニューデリー	04.08.21～ 04.08.25	インド人師範による少林寺拳法ワークショップをデリー市内の青少年を対象に各学校およびNGOで行なった。インド人師範は少林寺拳法チェンナイ支部およびムンバイ支部所属
3	守屋純子ジャズ公演		シュリラムセンター	ニューデリー	04.10.01～ 04.11.11	国際交流基金助成事業で訪印した守屋純子はじめジャズ一行が11月日本文化月間オープニングレセプションにおいて11月9日に大使公邸で公演を行なった機会をとらえて、8日に一般市民を対象とした公演をアレンジした。バンドのメンバーはピアノの守屋、ベースの小井政都志、ドラムの高橋徹、サクスの近藤和彦

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【講演・シンポジウム】						
1	ヒンディー詩の朗読会		ニューデリー事務所	ニューデリー	04.05.07	日本文学研究者で元デリー大学教授ブディラジャによる詩の朗読会。「さくら」をテーマとして詩を朗読したほか、ビデオや写真パネルを用いて日本人にとっての桜の存在について紹介した
2	企画開発事業：南アジアのイスラム研究（日知事業）		ニューデリー事務所	ニューデリー	05.01.10～ 05.03.07	アジアセンター知的交流事業のうち、ニューデリー事務所の企画開発事業として開始した事業の3年目。1年目、2年目はインド人の研究者同士でセミナーを行なったが、3年目の今年は日本でのイスラム専門家として宮田律助（静岡県立大学教授）を招へいし、日本におけるイスラム研究について、またインド側の強い要請により日本人のイスラム観について講演を行なった
3	南アジアのイスラム研究セミナー（在外事業費）		ニューデリー事務所	ニューデリー	05.01.10～ 05.03.07	アジアセンター知的交流事業のうち、ニューデリー事務所の企画開発事業として開始した事業の3年目。1年目、2年目はインド人の研究者同士でセミナーを行なったが、3年目の今年は日本でのイスラム専門家として宮田律助（静岡県立大学教授）を招へいし、日本におけるイスラム研究について、またインド側の強い要請により日本人のイスラム観について講演を行なった
4	企画開発事業：フェローフォーローアップ（日知事業）		インディア・インターナショナル・センター	ニューデリー	05.01.10～ 05.03.21	元国際交流基金フェロー、元国際交流基金助成のフェロー、ニューデリー事務所と関わりのある当地知識人を集めて日印が今後取り組むべき課題について、2日間にわたる発表と討論を行なった
5	バンガロール大学講演会（望月JNU客員教授）	バンガロール大学日本語講座	バンガロール大学日本語講座	バンガロール	05.03.07～ 05.03.09	国際交流基金客員教授短期派遣事業で訪印した望月善次（ネルー大学客員教授・岩手大学教授）によるバンガロール大学日本語講座での講演会をアレンジした。講演内容は「日本人の心のインデックス：石川啄木」
6	プネ大学講演会（川村デリー大学客員教授）	プネ大学日本語講座	プネ大学日本語講座	プネ	05.03.25～ 05.03.27	国際交流基金客員教授短期派遣事業で訪印した川村湊（デリー大学客員教授・法政大学教授）によるプネ大学日本語講座での講演会をアレンジした。講演内容は「近現代の日本文学」



海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【映画】</b>						
1	アッサム州 16mm映画祭	OKDインス ティテュート グワハティ・シ ネクラブ ディブルガル大 学	ラキラム・バル ア・サダン公会 堂  ディブルガル大 学	グワハ ティ (アッサ ム州) ディブル ガル (アッサ ム州)	04.10.06～ 04.10.15	西アジアフィルムライブラリーの7 作品をインド北東部アッサム州の2 都市で上映。インド北東部州で行 なった初の国際交流基金事業。7作 品は『羅生門』『回路』『ハッシュ』 『ウォーターボーイズ』『彼岸花』『み んなのいえ』『明日』
<b>【出版・広報】</b>						
1	記者懇談会		ニューデリー事 務所	ニューデ リー		メディアに国際交流基金事業を知っ てもらい、それぞれの新聞やテレビ でとりあげてもらおうことを目的に、 今年度は2回のプレスリリースを行 なった
2	ウェブサイト運 営				04.04.01～ 05.03.31	2004年5月にニューデリー事務所 ホームページを開設し、インター ネットを通じて、国際交流基金事業 の紹介に努めた。広大な国土をもつ インドにおいて、インターネットを 活用した広報は今後ますます重要に なってくる
3	インド人著者に よる日本関係図 書出版広報				04.04.01～ 05.03.31	インドにおける日本文化紹介の促進 を目的に、インド人著者の日本文化 関係図書を事務所で購入し、インド 一般市民に対しこれら図書のPRを 行なっていく。今年度はウニタ助教 授（デリー大学）編集の日印文学研 究書「Imaging India, Imaging Japan」、ジョージ准教授（ネルー大 学）翻訳の宮沢賢治童話英語版の2 件に対してPRを行なった
4	ブレティン				04.04.01～ 05.03.31	ニューデリー事務所広報誌。変形 A4サイズで3,000部発行し、メーリ ングリストおよび希望者に無料配 布。今年度は年2回発行した
5	「India and Japan」出版記 念ブックリリー ス（フェローコ ンファレンス報 告書）		ニューデリー事 務所	ニューデ リー	05.01.10	2003年度実施（2004年3月）のフェ ローコンファレンス発表ペーパーが 一冊の本として出版されたので、そ の記念ブックリリースを行なった。 2003年度フェローコンファレンスは 元国際交流基金フェローのフォロー アップ事業として実施されたもの で、また初のフェロー同窓会とし ての意味合いも持つ

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【その他】						
1	企画開発事業： 案件発掘・視察 評価・フォロー アップ出張（日 知事業）				04.04.01～ 05.03.31	企画開発型助成事業の形成・促進のため地方および周辺諸国へ視察出張を行なう。今年度はアッサム州グワハティ、ウツタル・プラデシュ州ラクナウ、スリランカの出張3件を実施
2	企画開発事業： 助成案件コンサル タント（日知 事業）				04.12.01～ 05.03.31	2005年度日本研究知的交流部企画開発助成事業公募申請案件のうち15件について、インド人専門家にそれぞれの申請プロジェクトの妥当性について審査コメントを依頼

## 13. ニューデリー事務所 (2)助成・協力

合計額 1,133,411円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
【助成事業】				
1	中崎真由美氏作品展助成	SANSKRITI PRATISHTHAN	04.04.12～ 04.04.14	ニューデリー事務所1階スペースにてSANSKRITI PRATISHTHAN主催で中崎真由美作品展を実施。同氏はアムステルダム在住の若手芸術家で、オランダ財団フェローシップとして4月末までインドに滞在しており、本展覧会はこの訪印の成果の中間発表といえるもの
2	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：ICPI	International Centre for Peace Initiatives	04.06.19～ 04.09.09	International Centre for Peace Initiativesはインドの安全保障分野に関するシンクタンクで、同分野における日本を含む海外とのネットワーク強化を図るため、国際会議を6月19日、20日にデリーで実施したほか、9月5日～9日に研究員を日本に派遣した
3	インド国際日本文学研究集会助成	ネルー大学 国文学研究資料館	04.10.29～ 04.10.30	過去国際交流基金派遣でデリー大学客員教授だった伊藤鉄也（国文学研究資料館教授）とアニタ・カンナ（ネルー大学准教授）のあいだで構想された研究集会。国際交流基金の国際会議出席助成（派遣）事業。2日間にかけて行なわれ、1日目は研究者と学生を対象としたアカデミックな会議で、2日目の午後からは日本人会の協力を得て日本文学のクイズ大会を行なった
4	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：シャダダナ ン・ナイール氏	コーチン科学工 科大学シャダナ ナン・ナイール 氏	04.11.27～ 04.11.28	東京大学主催の国際シンポジウム「Participatory Strategy for Soil and Water Conservation」に参加するコーチン科学工科大学 K. Shadananan Nair に対し、ニューデリー事務所は国際航空運賃を助成した。同シンポジウムには海外の25の大学・研究機関および5つのNGOから参加があり、約50のプレゼンテーションが行なわれた

## 海外事務所

	事業名	協力対象団体	期間	内容
5	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：オスマニア 大学	オスマニア大学	04.11.27～ 04.11.28	インド南部ハイデラバードに所在するオスマニア大学において「Development and Displacement: Afro-Asian Perspectives」というテーマのもと、アジア・アフリカ各国から参加者が集い、2日間の国際セミナーが開催された。ニューデリー事務所は参加者の国際航空運賃の一部を助成した
6	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：ネルーファ ウンデーション	ネルーファウン デーション	05.01.14～ 05.01.30	インド西部アーメダバードに所在するネルーファウンデーションにおいて、アジア各国で街並み保存に取り組む実務者を対象とするワークショップ「the 3rd International Field School on Asian Heritage」(IFSAH)が開催された。ニューデリー事務所はこれに参加する東京大学西村幸夫教授の国際航空運賃を助成した
7	デリー折り紙大 会助成	Akriti Creations	05.01.30	デリーのインド人青少年を対象とした折り紙大会に対する助成。大会は6～9歳と10～15歳の二つのグループに分かれて実施され、合計41名の青少年が参加した。入賞者および参加者には賞品と賞状が授与された。大会には事務所が助成したほか、マクドナルド社も協賛し、また大会の内容は地元テレビ局によって報道された
8	生け花インター ナショナル助成	生け花インター ナショナル・グ ルガオン支部	05.02.19	インド人制作の池坊、草月、大原の3つの流派の合同展示に対する助成。デリーの衛星都市であるグルガオンで行なわれ、約45作品が展示された
9	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：デリー大学	デリー大学スワ ミ・シラダナン ド・カレッジ	05.03.04～ 05.03.06	デリー大学スワミ・シラダナンド・カレッジにおいて環境問題と開発に関する国際会議「Environment and Development: Challenges and Opportunities (ICEDCO-2005)」が開催された。ニューデリー事務所は参加者2名分の国際航空運賃の一部を助成した
10	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：マドゥー・ カンナ准教授	マドゥー・カン ナ准教授 (IGNCA)	05.03.24～ 05.03.30	東京でおこなわれたthe 19th World Congress of the International Association for the History of Religions (IAHR 2005)に参加するIndira Gandhi National Centre for the ArtsのDr. Madhu Khanna准教授に対し、国際航空運賃の助成を行なった
11	企画開発事業： 日本研究・知的 交流小規模助 成：ラナ.P.B. シン教授	バラナス・ヒン ドゥー大学ラナ .P.B.シン教授	05.03.24～ 05.03.30	東京で行なわれたThe 19th World Congress of the International Association for the History of Religions (IAHR 2005)に参加するバラナス・ヒンドゥー大学Dr. Rana P. B. Singh教授に対し、国際航空運賃の助成を行なった
12	日印学生会議助 成	日印学生会議実 行委員会 Bharat Japan Maitri Parishad	05.08.10～ 05.08.31	デリーとコルカタの2都市で日本とインドの学生が交流し、3つの分科会に分かれて議論を行なう第8回日印学生会議に対する助成

## 14. ニューヨーク事務所 (1)主催・共催

合計額 7,550,168円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【展示】</b>						
1	ブロードウェイ・ミュージカル『太平洋序曲』関連事業	マサチューセッツ工科大学	スタジオ54	ニューヨーク	04.11.12～ 05.01.30	マサチューセッツ工科大学 (MIT) との共催により、ブロードウェイ・ミュージカル『太平洋序曲』(演出: 宮本亜門) の上演会場に日米両国の出会いに関するメディア・インスタレーション「黒船とサムライ」(監修: MITジョン・ダワー教授・宮川繁教授) を設置
<b>【公演】</b>						
1	在米日本専門家中南米派遣プログラム (ジャズピアノとモダン・パントマイム公演)	在ドミニカ共和国大使館 在ホンジュラス大使館  在ニカラグア大使館	文化省芸術院マヌエル・ルエダ講堂 国立シバオ劇場  サンペドロスーラ市文化センター マヌエル・ポニージャ国立劇場 国立ルベンダリオ劇場 トレスムンド劇場	サントドミンゴ  サンティアゴ サンペドロスーラ  テグシガルバ  マナグア グラナダ	05.02.27～ 05.03.09	在米日本専門家を中南米地域に派遣し、同地域の文化交流事業を促進するプロジェクトの一環として、ジャズ・ピアニストの三上クニとモダン・パントマイムの森山はる香の2名をドミニカ共和国、ホンジュラス、ニカラグアの3カ国に派遣し、各国2都市づつ計6回の公演を実施した
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	米国日本研究図書館等情報専門家会議	NCC (北米日本研究資料調整評議会)	デューク大学	ダーラム	05.01.07～ 05.01.08	米国の日本研究関係の学者・研究者を下支えしている図書館等情報関係専門家が一堂に会し、2日間にわたり意見交換を行なうとともに、現状と課題、今後の連携のあり方について話し合った
2	元博士論文執筆者フェローによる論文発表会		ハイアット・リージェンジー・ホテル	シカゴ	05.04.01	第57回全米アジア学会 (AAS) 年次総会において、過去5年以内に国際交流基金博士論文執筆者フェローとして本邦に招へいされた若手日本研究者5名による論文発表会を実施。また、発表者の博士論文レジュメを編集した小冊子を2000部作成

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【映画】</b>						
1	大学巡回映画会	ウェイクフォレスト大学 ノースカロライナ大学シャーロット校 デューク大学 エモリー大学 ライス大学	ウェイクフォレスト大学 ノースカロライナ大学シャーロット校 デューク大学 エモリー大学 ライス大学	ウィンストン・セーラム シャーロット ダーラム アトランタ ヒューストン	05.02.01～ 05.03.27	日本文化が紹介される機会が比較的少ない地域において、世界的に著名な日本人映画監督の作品を通じて、学生や一般市民の間で日本への関心を高めることを目的とした映画上映会を実施
<b>【出版・広報】</b>						
1	ウェブサイト運営				04.04.01～ 05.03.31	ニューヨーク事務所の概要、公募プログラムの案内、ニューズレター電子版等を掲載
2	ニューズレター発行				04.04.01～ 05.03.31	ニューヨーク事務所発行のニューズレター “Bridges”(年2回発行、カラー印刷、4,000部作成)。米国において主催または助成する各種事業を、国際交流基金事業に必ずしも馴染みのない大学・研究機関、文化・芸術団体の関係者に向けて分かりやすく広報することを主眼とした
<b>【その他】</b>						
1	米国における日本研究関連団体活動実態調査		カンザス大学 デューク大学 ジョン・キャロル大学 ワシントン大学 セントルイス校 コロンビア大学	カンザスシティ ダーラム クリーブランド セントルイス ニューヨーク	04.10.28～ 05.03.29	以下の5つの会議に参加し、活動実態調査を実施した。 (1) ゴジラ学術会議(カンザス大学、日本研究会議等助成案件) (2) 米国日本研究図書館等情報専門家会議(デューク大学、日本研究会議等助成案件) (3) 中西部日本セミナー(ジョン・キャロル大学、日本研究会議等助成案件) (4) 能楽における平家物語(ワシントン大学セントルイス校、日本研究会議等助成案件) (5) 日本と世界における源氏物語(コロンビア大学、日本研究会議等助成案件)
2	第57回全米アジア学会年次総会における広告事業		ハイアット・リージェンシー・ホテル	シカゴ	05.03.31	第57回全米アジア学会(AAS)年次総会において、基金事業の広報と日本研究関係者との人脈維持・形成を目的としてレセプションを開催

## 14. ニューヨーク事務所 (2)助成・協力

合計額 3,397,919円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
	<b>【助成】</b>			
1	「グレープフルーツ：1964年の小野洋子」展	Asian American Writers' Workshop	04.04.02～ 04.05.15	小野洋子の初期のインストラクション（指示）作品を集めた回顧展。在ニューヨークの美術専門家、山村みどりの監修により、イセ文化基金ニューヨークギャラリーにおいて開催
2	「太平洋の出会い—アメリカ捕鯨、万次郎、そして日本開国—」展	New Bedford Whaling Museum	04.04.16～ 05.03.31	日米交流150周年、ボストン日本協会100周年を記念して、ジョン万次郎の数奇な人生と、アメリカ捕鯨産業が日本の開国に与えた影響を考察する展覧会を万次郎ゆかりの地、マサチューセッツ州ニューベッドフォード市において開催
3	ニューヨーク新進芸術家<シリーズII>	Inoue Chamber Ensemble	04.04.17	在ニューヨークのピアニスト、井上和子率いる井上室内アンサンブルがニューヨーク天理文化協会において公演を行なった
4	「歌舞伎絵看板—鳥居清光の世界—」展	Japan-US Partnership for the Performing Arts	04.06.25～ 04.08.20	平成中村座ニューヨーク公演にあわせ、ニューヨーク市立舞台芸術図書館内のギャラリーにおいて、鳥居派九代目、鳥居清光氏による歌舞伎絵看板の個展を開催
5	NCC（北米日本研究資料調整評議会）助成	NCC（北米日本研究資料調整評議会）	04.07.01～ 05.06.30	北米の日本研究関係司書の協議団体であるNCC（北米日本研究資料調整評議会）への活動費助成
6	スクールオブハードノックス・ヒッツ・マンハッタン	City Parks Foundation	04.08.09～ 04.08.13	在ニューヨークの舞踊家・振付家、中馬芳子率いるスクールオブハードノックスが新作『7x7x7』をニューヨークのセントラルパークおよびパフォーマンス・スペース122で発表
7	和辻哲郎と西洋思想	New School University	04.09.10	ニューヨークのニュースクール大学主催シンポジウム。日本より大庭健（専修大学教授）および荻部直（東京大学助教授）を招へいし、哲学者の和辻哲郎に西洋哲学思想が与えた影響と、逆に和辻哲郎の思想が現代西洋哲学に与える意味について討議
8	「藤城清治—影絵の世界—」展	The Nippon Club	04.09.13～ 04.10.09	ニューヨークの日本クラブ・ギャラリーにおいて日本を代表する影絵作家、藤城清治の傘寿を記念する個展を開催
9	伊藤さちよ—日本舞踊の古典と現代—	Sachiyo Ito & Company	04.09.18	在ニューヨークの日本舞踊家、伊藤さちよがニューヨークのペース大学芸術センターにおいて公演を行なった
10	ラ・ママ国際人形劇フェスティバル	La MaMa Experimental Theatre Club	04.09.23～ 04.09.26	ニューヨークのラ・ママ実験劇場で開催された国際人形劇フェスティバルに在ブラハの人形劇作家、沢則行が参加、「森の伝説」ほかの公演を行なった
11	ジャパン・フェスト2004	Japan Fest	04.09.25～ 04.09.26	ジョージア日米協会とジョージア日本人商工会の共催により、日米交流150周年を記念して日本文化祭をアトランタのストーン・マウンテン・パークで開催

	事業名	協力対象団体	期間	内容
12	第5回ヒューストン雷太鼓フェスティバル	Kaminari Taiko of Houston	04.10.01～ 04.10.02	在ヒューストンの雷太鼓が同市ハーマン・パークの野外無料コンサートに出演、2日間で延べ約8,500人の観客を前に、日本の伝統芸能を太鼓と日本舞踊のショーケースで紹介
13	日米150周年記念シンポジウム	Japan America Society of Minnesota	04.10.02	ミネソタ日米協会が主催する日米交流150周年記念シンポジウム。午前のセッションでは日米関係史をテーマに、午後のセッションでは日米文化交流をテーマにパネリストが討論。あわせてドキュメンタリー映画の上映も実施
14	山根貞夫講演会「深作欣二監督と仁義なき戦い」	The Japan America Society of Chicago	04.10.10～ 04.10.14	シカゴ国際映画祭において深作欣二監督『仁義なき戦い』が特別上映されるのにあわせ、日本映画評論家であり、深作監督の評伝の著者でもある山根貞夫を招き、講演会を開催
15	第3回聴覚障害者のための国際映画祭	Chicago Institute for the Moving Image	04.10.15～ 04.10.18	シカゴ映像研究所が主催する聴覚障害者のための映画祭。同映画祭2003年度最優秀作品賞に輝いた『I Love You』の大澤豊監督と、同監督の次回作『I Love Peace』の主演女優、忍足亜希子を招き、聴覚障害者に日本映画の魅力を紹介
16	『エレファント・ヴァニッシュ』公開勉強会・討論会	University Musical Society	04.10.18	世田谷パブリックシアター+コンプリシテ共同制作『エレファント・ヴァニッシュ』のアンバー公演にあわせ、ミシガン大学がMatthew Strecher東京大学客員教授を招き、アンバー地区図書館において原作者・村上春樹の作品に関する公開勉強会兼討論会を開催
17	東京のアルデコとモダニズム	The Art Deco Society of New York	04.10.25	ニューヨーク・アルデコ協会の主催による1920～30年代東京のアルデコとモダニズム様式建築に関する講演会をビークマン・タワー・ホテルにおいて開催。マイアミ・デザイン保存連盟会員のDennis WilhelmとMichael Kinerkの両氏が、これまで米国に紹介される機会の少なかった日本近代建築史上の業績を、視覚資料を用いながら解説
18	日本芸術祭	New York Dance & Arts Innovations	04.11.13	在ニューヨークの日本人バレエ団、ファウン・ダンス・トゥループほかの主催により、日本芸術祭をブルックリン市グリーンポイント地区で開催
19	第21回モービル市国際フェスティバル	Mobile International Festival	04.11.18～ 04.11.20	世界70カ国の文化芸術に触れる機会を地域住民に提供するアラバマ州モービル市主催国際フェスティバルに、フロリダ州オーランドの太鼓演奏グループ「祭座」と同州ペンサコーラの日本舞踊グループ「舞の会フロリダ支部」が出演
20	感謝祭神輿パレード	Japanese Association of Greater Houston	04.11.24～ 04.11.25	ヒューストンで毎年開催される感謝祭のパレードにグレーターヒューストン日本人会の会員を中心とする日米両国の関係者が神輿を担いで参加
21	日本能楽会シカゴ公演	The Art Institute of Chicago	04.12.03	日米交流150周年を記念し、1874年に第18代米大統領のグラント将軍がアメリカ人として初めて鑑賞した能の演目を文献に基づいて再現、梅若六郎丈を団長とする日本能楽会のメンバーがシカゴ美術館において公演を行なった

	事業名	協力対象団体	期間	内容
22	倉橋義雄・文子邦楽コンサート	Japan-America Society of Dallas・Fort Worth	05.01.23～ 05.01.25	テキサス・アジア協会、ヒューストン日米協会、ダラス・フォートワース日米協会の共催により、倉橋義雄(尺八)と倉橋文子(箏)による邦楽のコンサートをテキサス州ヒューストンおよび同州リチャードソンにおいて開催
23	「太平洋の出会い」ブックプロジェクト	Spinner Publications	05.03.01～ 05.10.31	日米交流150周年、ボストン日本協会100周年を記念して、ジョン万次郎の数奇な人生と、アメリカ捕鯨産業が日本の開国に与えた影響を考察する展覧会にあわせて開催された国際シンポジウムの発表内容をまとめ、報告書として電子出版
24	日本映画特集	The Japan Center at Stony Brook	05.03.03～ 05.03.17	ストーニーブルック日本センター(ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校)の主催により、題名にサムライのついた映画3本(『七人の侍』『たそがれ清兵衛(英語題名:トワイライト・サムライ)』『ラスト・サムライ』)の連続上映会を開催
25	蒐集:江戸時代の美術とその所有者たち	DePaul University	05.03.30～ 05.03.31	デュポール大学美術・美術史学部の主催による江戸時代の日本美術に関するシンポジウム。日米欧の日本美術史、カルチュラル・スタディーズ、歴史学の専門家が参加
26	一戸小枝子ダンス・カンパニー35周年記念公演	Saeko Ichinohe Dance Company	05.03.31	ニューヨークを拠点に日米文化交流を目的として活動を続けている振付家、一戸小枝子率いるダンス・カンパニーによる創設35周年記念公演。ニューヨークのハンター・カレッジ内、ケイ・プレイハウスにおいて開催
<b>【後援事業】</b>				
1	"Zero Over Berlin"発刊記念シンポジウム	Vertical	04.07.14	冒険小説家である佐々木譲の著作『ベルリン飛行指令』の英訳本"Zero Over Berlin"の発刊にあわせ、版元のヴァティカル社が著者をニューヨークに招へい、同書の内容や時代背景を著者へのインタビュー形式で紹介。ニューヨーク日本クラブにて開催
2	ニューヨーク国際七五三	The International Shinto Foundation	04.10.09～ 04.10.10	日米両国のより深い相互理解に寄与することを目的として、子どもの成長を感謝し将来の幸福を祈るという日本古来の伝統文化行事である七五三をニューヨークのインターフェイスセンターにて開催
3	フランス人作曲家へのオマージュ	Faune Dance Troupe	05.06.19～ 05.06.20	在ニューヨークの日本人バレエ団、ファウン・ダンス・トゥルーブによるフランス人作曲家の特集公演。ニューヨークのトライベッカ芸術センターにて開催
<b>【文化備品・視聴覚資料貸出】</b>				
1	フィルムライブラリー	ピッツバーグ大学ほか9機関	04.04.01～ 05.03.31	ニューヨーク事務所が所蔵する文化映画等各種映像資料を米国内の大学・美術館等外部機関における非営利上映のために貸し出した



15. ロサンゼルス事務所 (1)主催・共催

合計額 13,736,368円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	日本物語朗読	University of Alaska, Fairbanks	University of Alaska, Fairbanks	アラスカ州フェアバンクス	04.03.13～04.03.13	日本昔話の語り部であるKuniko Yamamotoがお面をかぶり、音楽や歌に合わせて古事記などの日本の伝説や昔話を生き生きと語った
2	ポップカルチャー・シンポジウム	アメリカン・シネマテック、在ロサンゼルス総領事館	エジプシャン・シアター	ロサンゼルス	04.09.26～04.09.26	近年米国で若者を中心に注目を集めているアニメ、漫画、Jポップ、日本を素材とした映画などを包括的に取り上げ、米国社会に与える影響、日本文化としての意味合い、日米文化交流、文化創造の観点から見た意義、将来の展望についてパネル・ディスカッションを行なった
3	版画レクデモ		日米文化会館	ロサンゼルス	05.03.19～05.03.19	木版画の専門家であるKeiji Shinoharaを招き、浮世絵についてのレクチャーおよびデモンストレーションを行なった
<b>【映画】</b>						
1	三島由紀夫映画上映(2003年度)	在アンカレッジ総領事館	アラスカ大学アンカレッジ	アンカレッジ	04.03.13～04.03.14	三島由紀夫の名作『潮騒』の上映が2回にわたり行なわれた。また特別講演としてDr.Paul Dunscombが作品についてのレクチャーを行なった
2	黒澤映画祭(アンカレッジ)	在アンカレッジ総領事館	The Anchorage Museum of History & Art	アラスカ州アンカレッジ	04.06.22～04.06.23	2日間にわたり、黒澤明監督の『天国と地獄』『乱』の2作品を上映
3	サムライ・フィルム・フェスティバル	日米文化会館	アラタニ日米劇場	ロサンゼルス	04.08.15～04.08.15	時代劇全盛期の映画を特集し、在ロサンゼルスの日系人とアメリカ人の両方を対象とした日本映画紹介を開催した。当日は銀幕デビュー50周年の戦後日本映画の大スター、市川雷蔵主演映画を3編上映。在米日系人のお祭りである「二世ウィーク」の一環として行なわれた

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
4	ショートショート・フィルム・フェスティバル	ショート・ショート・フィルム・フェスティバル実行委員会	エジプシャンシアター	ロサンゼルス	04.10.19～ 04.10.19	1999年から日本で始められた短編映画祭。若手映画監督を育てることを目的の一つに掲げる本映画祭は年毎に注目を集め、今年からアカデミー賞の公認映画祭として認定された。今回ロサンゼルスでは全世界から集まった公募作品の中から新人の作品を中心に11作品を上映。すべての上映作品には英語と日本語の字幕が付けられ、また上映前には授賞式が行われた
<b>【日本語教育】</b>						
1	日本語夏期ワークショップ	米国日本語教師会連合(AATJ)	ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	04.07.01～ 04.07.31	「米国・カナダ・英国初中等日本語教師研修」参加者のための訪日出発前予備研修と帰国後のまとめ研修を行なった。予備研修では、日本での本研修に備えて、事前に基礎知識を導入し、まとめ研修では、本研修では終わりきれなかった教材作成を完成させ、最終的な発表を行なった
2	第1回全米日本語教育シンポジウム		ホテルニューオータニ	ロサンゼルス	04.08.01～ 04.08.02	全米レベルでの教師間の情報交換およびネットワーク拡充、各州における教育環境の向上を目的、全米各地の日本語教師会代表者を集め、教師の教育能力・資質向上を図るための方策について議論を行なった。今回のテーマは2002年に採択された "No Child Left Behind (NCLB)" 議定書にかけて、NCLBの新しい方針が今後米国における日本語教育にどのような影響を及ぼすか、教師養成および日本語教育促進という2つの観点から考察
3	日本語教育コンサルティング委員会		ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	05.01.15～ 05.01.15	平成17年度米国向け日本語関係プログラムを対象に、米国在住の日本語専門家から成る本委員会が事前評価を行なった
4	米国日本語教師実態調査(フェーズ1.)		ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	05.02.01～ 05.02.28	フェーズ1. として、南カリフォルニア大学日本語講師の熊谷由佳講師とUCLA社会額大学院博士課程、中尾賀要子氏の協力を得、米国日本語教師実態調査実施へ向けての事前調査と準備を行なった

## 海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書・教材ライブラリー運営		ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	04.04.01～ 05.03.31	日本語教育専門の図書館運営。ロサンゼルス地域以外の日本語教師には郵送による貸し出しサービスを実施
<b>【出版・広報】</b>						
1	日本語教育広報キット「日本語教育Advocacy Kit」作成		ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	03.11.01～ 04.03.31	初中等レベルでの日本語クラスの増加・維持を目的として、日本語教育普及のためのビデオおよびパンフレットを作成し、全米の日本語教師会等の関係機関に送付した
2	ニューズレター「Breeze」の発行		ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	04.04.01～ 05.03.31	全米の日本語教育関係者によるエッセイや、米国における日本語教育事情を調査、報告する情報紙として『BREEZE』を刊行。本年度は第30号および第31号（オンラインにより配布）を発行した
3	日本語学習誌「Wahoo!」の発行		ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	04.04.01～ 05.03.31	中学・高校で日本語を学習する生徒を対象に作成した日本語学習誌。中学・高校に加えて、全米各地の日米協会・在米公館にもオンラインにより配布

### 15. ロサンゼルス事務所 (2)助成・協力

合計額 2,496,232円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	乾杯:日本の酒文化	Pacific Asia Museum	04.03.07～ 04.06.20	カリフォルニア州パサディナ市にあるパシフィック・アジア美術館での日本酒に関する展示会。お酒を呑む人々の様子を描いた日本画、角樽、徳利、酒について述べられた俳句など、酒に関する美術品を集めたユニークな展示が行われた
2	鼓童USAワークショップツアー2004	Kodo Arts Sphere America	04.03.17～ 04.03.28	日本の鼓童から金子竜太郎氏を迎え、アメリカ西海岸を中心に2週間にわたり7都市で太鼓のワークショップが行われた。"Open Door Policy"として共催団体の内部・外部から参加者を募った
3	中西部地区日本語教師会大会	中西部地区日本語教師会	04.04.03～ 04.04.04	インディアナ州パデュー大学において、米国中西部地区の日本語教師を対象に2日間の研修会を実施した。牧野成一（プリンストン大学教授）、森美子（ジョージタウン大学教授）、畑佐由紀子（アイオワ大学助教授）が日本語教育に関する基調講演を行なった

	事業名	協力対象団体	期間	内容
4	実践日本語国際会議	サンフランシスコ州立大学	04.04.03～ 04.04.04	言語学的な見地からみる第二外国語としての「日本語」と、実践的な現場の教師の見地からみる「日本語教育」との間のギャップを埋めることを目的に開催された国際会議。研究者が日ごろ行なっている研究内容の分析結果および研究経過を報告し、その言語学的理論をいかに実践的な日本語教育（教授法）に取り入れていくべきかを、現場の教師たちと盛んに意見交換を行なった
5	コロラド州日本語教師会ワークショップ	コロラド州日本語教師会	04.04.09～ 04.04.10	コロラド日本語教師会が地元の日本語教師を対象に2日間のワークショップを開催した。1日目は開発されたばかりの新教材を幾つか紹介し、2日目はカリフォルニア大学サンディエゴ校から當作康彦教授を招き、「Teaching Listening Comprehension」と題して実践的な教師研修を行なった
6	シアトル さくら祭	SCBKCF Committee	04.04.16～ 04.04.18	日米国交150周年を記念しMusic Interweave2004と題し、シンガーソングライターの先駆者として活躍した日本音楽家たちの初アメリカ公演を含め、音楽を通しての交流が行なわれた。また日米の伝統美術と現代美術の展覧会や、ボランティアによる60点以上の美術展覧会、800人以上の市民により日本絵画、工芸展、舞台芸術、格闘技などが披露された
7	オハイオ州日本語教師会ワークショップ	オハイオ州日本語教師会	04.04.24～ 04.04.24	ゲストスピーカーにシュナイダー恵子(Albuquerque Technical Vocational Institute, New Mexico)、Thomas Lea(Princeton高校)を招き、「The Usefulness of Classroom Teaching Methods and Activities, Using Technology」をテーマに、テクノロジーを使った教授法についてのワークショップを行なった
8	VC FILMFEST 2004	Visual Communications	04.04.30～ 04.05.06	4月30日～5月6日にカリフォルニア州ロサンゼルス市の7カ所でアジア映画祭を開催した。毎年開催されるVCFilmFestの第20回目を記念し、中国正一監督『815』や『座頭市』シリーズなどの日本映画を中心に上映会を行なった。また5月1日の上映会では中国正一監督を招待し、観客との質疑応答を通じ、交流が図られた
9	オーロラ基金主催スピーチコンテスト+映画上映会	オーロラ基金	04.05.02～ 04.05.22	オーロラ基金主催の高校生を対象とするスピーチコンテスト全米大会がオレンジ郡のカリフォルニア大学アーバイン・ヒタチ・ケミカル・リサーチセンターで行なわれた。地方大会(8州)の上位入賞者が集まって優勝を競うもので11人の参加者があった。また、同時期に別会場にて松井久子監督作品の『ユキエ』『折り梅』の映画上映会も実施した
10	ニューイングランド日本語教師会ワークショップ	ニューイングランド日本語教師会	04.06.12～ 04.06.13	東部ニューイングランド地方の初・中・高等教育に携わる日本語教師を対象に教師研修会を行なった
11	カリフォルニア外国語教師会ワークショップ	カリフォルニア外国語教師会	04.07.31～ 04.08.06	カリフォルニア州の日本語教師(初中等レベル)を対象に約1週間の教師研修を行なった。日本語教授法のスタンダードに沿った、効果的なレッスン・プランやアクティビティーを紹介し、日本語学習者のパフォーマンスを高めるためのノウハウを、いろいろな角度から指導した

	事業名	協力対象団体	期間	内容
12	日米風あげ大会	南カリフォルニア日米協会	04.09.19～ 04.09.19	シール・ビーチでの風揚げ大会。日米の国旗が交互に連なった135メートルもの長さの風が揚げられるなど、スケールの大きい様々な模様の風が空に舞った。江戸風の風師である土岐幹男を日本から招待し、風作成のワークショップも開催。またビーチに設置されたステージの上では禅太鼓による公演も行なわれた
13	2004 ジャパン・アーツ・デー	ジャパン・アーツ・デー実行委員会	04.11.03～ 04.11.03	日米国交150周年を記念して、「2004ジャパン・アーツ・デー」と称し、日本文化紹介事業が行なわれた。その事業の一環として、キャスパー市内の現地高校の劇場にてデンバー太鼓の演奏会が開催
14	北東部日本語教師研修会	北東部日本語教師会 (NECTJ)	04.11.06～ 04.11.06	2006年から始動するAP日本語テストについて、カレッジボード (NY) のThomas Mattsから開発状況が報告され、AP日本語の全体像を参加者に示した。また、新しく制定されたNo Child Left Behind法令についても、日本語教師に与える影響などについて興味深いディスカッションを行なった
15	小津安二郎回顧映画祭	UCLA Foundation	04.11.06～ 04.11.21	UCLAのキャンパス内の劇場とLA郡立美術館で、11月～12月の2カ月間、小津安二郎監督作品のうち24作品に加え、最近小津監督に寄せて制作された台湾映画監督による1作品を上映した。上映作品は小津の初期から後期にわたる傑作を集め、貴重な無声映画も上映した
16	日本ピアノ音楽100年のコンサート	アリゾナ大学図書館	04.11.15～ 04.11.15	ジュンコ・ウエノ・ギャレットによる講演リサイタルを開催し、日本で始めて演奏されたピアノ曲の紹介や1990年代に作曲されたレパートリーの演奏とその解説を行なった
17	はぎのみほ展	Art2102	04.11.18～ 04.12.20	「アイデンティティ」をテーマに、2人の同姓同名アーティスト「はぎのみほ」による展示会を開催した。一人目のはぎのみほは彫刻作品絵画を、もう一人のはぎのみほは額縁を展示した。また大阪大学の萩野美穂(はぎのみほ)教授が展示会に対してのコメントを寄せた
18	篠田太郎展	California Institute of the Arts	05.02.03～ 05.04.03	「埋められた宝」と題し、1970年代に篠田がカリフォルニア州のベニス市に住んでいた頃の子供時代をモチーフに、The California Institute of the Artsでの滞在中に制作した新作が展示された
19	ジョージア州公共放送「いらっしゃいプログラム(改定版)」	ジョージア州公共放送	05.03.01～ 05.03.31	高校生のための日本語の遠隔教育プログラム「いらっしゃい(改訂版)」の作成にあたり、その第一段階として、中等教育レベルの遠隔教育の専門家であるTimothy Cook氏を招き、今後どのようにプログラムに改良を加えていけば良いか具体案を話し合った
20	溝口健二監督作品映画祭	アメリカン・シネマテーク	05.03.04～ 05.03.12	溝口健二監督7作品をロサンゼルス市とサンタモニカ市の二劇場で上映。『雨月物語』(1953)『残菊物語』(1939)『赤線地帯』(1956)『祇園の姉妹』(1936)『山椒太夫』(1954)『浪華悲歌』(1936)『西鶴一代女』(1952)が上映された
21	北カリフォルニア日本語教師フォーラム	カリフォルニア日本語教師会 (CAJLT)	05.03.18～ 05.03.18	カリフォルニア大学サンタバーバラ校より齊藤アボットよし子を招きNo Child Left Behind法令についての最新情報を紹介した。NCLB法令の導入による、今後の日本語教育への影響を把握し、具体的に日本語教師として何をしていかなければならないかについて、活発に意見を交換しあった

	事業名	協力対象団体	期間	内容
22	南西部日本語教師ミーティング	Georgia Institute of Technology	05.03.19～ 05.03.20	初中等から高等レベルまでの全ての教師を対象に行なった日本語教授法ワークショップ。18名による研究発表のテーマは、「Pedagogy」「Linguistic・Acquisition」「Japanese Teaching, Media, and Technology」。メインの研究発表以外でも、アセスメントや評価方法についてのパネルディスカッションを行なう等、様々なトピックが網羅された
23	北東部日本語スピーチコンテスト	北東部日本語教師会	05.03.29～ 05.03.29	アメリカ北西部地域の高校生を対象に行なった日本語スピーチコンテスト。学習者にとっては、日頃の成果を発揮できる貴重な場となり、同時に他の学校で同じように日本語を学んでいる生徒とも触れ合う機会となった

## 16. メキシコ事務所 (1)主催・共催事業

合計額 1,847,048円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【日本語教育】</b>						
1	日本語教師研修会ブラッシュアップコース	メキシコ日本語教師会	日墨協会 国立工科大学イスタカルコ校	メキシコシティー	04.10.02～ 05.03.19	メキシコ人教師の日本語運用能力の向上を目指して企画されたもの。今回は読解力のレベルアップというテーマに絞り、授業形式については自律学習を目指し、隔コマごとに日本語教師も加わりアドバイス等を行ないながら進めた。合計20人のメキシコ人教師が受講者として登録した
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書館運営				04.04.01～ 05.03.31	蔵書数：4,440冊 来館数：836人 貸出冊数：3,299冊
<b>【出版・広報】</b>						
1	広報誌				04.04.01～ 05.03.31	広報誌「El Patio」年間3,000部発行
2	HP更新					アクセス件数：年間 70,169件

## 海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【本部事業受入】</b>						
1	日本の現代建築展	イベロアメリカ大学	イベロアメリカ大学	メキシコシティー	05.02.18～ 05.03.09	国際交流基金が制作した巡回展「日本の現代建築：1985-1996」展の開催に際して、オープニング記念事業・レセプションをイベロアメリカ大学と共催。開幕間近の愛知万博のメキシコ館の内部デザイン設計グループによるプレゼンテーションを記念事業として実施した

### 16. メキシコ事務所 (2)助成・協力

合計額 322,408円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	かぐや姫CD制作助成	メキシコ国立自治大学 (UNAM) 哲学文学部	04.05.11～ 04.06.25	日本の有名な昔話である「かぐや姫」を文学作品としてメキシコ人に紹介し、同時に日本語学習者の教材としても活用できるCDの制作費を助成。「かぐや姫」の物語の絵は、「影絵」を用い、薄い紙に影になる紙を貼り物語のファンタジーをうまく表現した
2	「Post Folk」展	Monotm	04.07.30～ 04.08.20	日本、メキシコ、ペルー、コロンビアの4カ国のアーティスト、あわせて7名が出品し、メキシコ第2の都市グアダハラで開催された現代美術展
3	Exposicion Nacional de Arte Bonsai 2004	Sociedad de Bonsai A.C.	04.11.19～ 04.11.21	助成対象機関はメキシコ盆栽協会等と共催し、メキシコシティのワールドトレードセンターにて盆栽の展示会「Exposicion Nacional de Arte Bonsai 2004」を開催した。同展示会では、芸術としての盆栽を展示するのみならず、外国から専門家を招待し講演を行ったり、デモンストレーション、デザインコンテスト、ワークショップなどを開催した
4	在メキシコ日本文化専門家（空手）のドミニカ共和国への派遣助成	空手道 糸東会 メキシコ	05.03.16～ 05.03.21	在メキシコの空手専門家村上邦夫師範のドミニカ共和国への派遣費用を助成し、同国の空手家に対する技術指導及びデモンストレーションを行なった。20日に開催した全国の空手家を集めたセミナーにおいては、予想を上回る150名の有段者が参加し非常に盛況であった
<b>【文化備品・視聴覚資料貸出】</b>				
1	文化備品貸出（輸送費補助）	在メキシコ大使館、チャピング自治大学、トロンプ美術館、メキシコ上院議会、グアダハラ州立大学等	04.04.16～ 05.03.15	各地で開催された「日本週間」イベント等（合計10回）に、事務所文化備品を貸出した。モンテレイ市で開催された日本週間においては、輸送費の一部を助成した

## 17. ロンドン事務所 (1)主催・共催

合計額 9,414,599円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
【講演・シンポジウム】						
1	後藤春美講演会		ロンドン事務所	ロンドン	04.05.21～ 04.05.21	新渡戸フェローとしてオックスフォードに留学中の後藤春美（千葉大学）による、1920～30年代の日英外交関係に関する講演
2	「Makoto Nomura: His Most Unconventional World of Art? Talk and Workshop」		ロンドン事務所	ロンドン	04.07.01～ 04.07.01	本事業は、音楽や教育の専門家約30名の参加を得て実施された。作曲家である野村誠の過去のプロジェクトの映像を見た後は、参加者が持参した日用品を用い即興で作曲するというユニークなワークショップを行った
3	「Contemporary Art and the Museum in Japan」	クリストフ・グルーネンバーク（Tate Liverpool館長）	ロンドン事務所	ロンドン	04.11.14～ 04.11.14	南篠史生（森美術館副館長）およびテレサ・グリードゥ（ロイヤル・カレッジ・オブ・アート現代美術キュレーション部長）の対談を実施
4	「The Tower of London」出版記念講演会	Peter Owen Publishers	ロンドン事務所	ロンドン	05.01.18～ 05.01.18	16年度に出版翻訳助成を受けた『The Tower of London』の出版記念イベントを開催。『The Tower of London』は日本文学研究者のダミアン・フラナガンが、夏目漱石の作品の中で英国滞在にまつわる中短編のみを集めて英訳したもの
5	「Biographical Portraits Volume V」出版記念講演会	Japan Society	ロンドン事務所	ロンドン	05.01.18～ 05.01.18	元駐日英国大使Sir Hugh Cortazziが編者となった明治以降の日本史に関する書籍の出版記念講演会を、英国ジャパン・ソサエティと共催
6	「Japanese Performing Arts: Here, Then and the Future」シリーズ		ロンドン事務所	ロンドン	05.02.23～ 05.02.24	日本の舞台芸術の動向を様々な観点と多彩なゲストを迎えて英国に向け紹介する連続講座。 第1回：日本の舞台芸術の歴史と現状を明治期から現代まで紹介する講演会 第2回：日本の現代戯曲を英国で上映する際に直面する問題点等を話し合うセミナー 第3回：藤間万恵氏と西川蓑乃助氏を講師に迎え日本舞踊のワークショップを2回実施



## 海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【映画】</b>						
1	日本映画祭	Cornerhouse、ICA、Watershed、Showroom	Cornerhouse ICA Watershed Showroom	マンチェスター、ロンドン、ブリストル、シェフィールド	05.01.23～05.02.24	テーマは「Japanese Film after Mr Pink: Japanese Directors of the post-Tarantino Generation」。90年代に一世を風靡した米国のクエンティン・タランティーノ監督の影響を受けた、あるいは流れを汲むと考えられている日本の若手監督6人の作品（『ワイルドライフ』『鯨肌男と桃尻娘』『ラブドガン』『Monday』『アドレナリンドライブ』『青い春』）の巡回上映を行なった
<b>【日本語教育】</b>						
1	BATJ共催セミナー	BATJ	ロンドン事務所 他	ロンドン、ブリストル	04.04.01～05.03.31	BATJ（英国日本語教育学会）との共催で、日本語教育に関するセミナー、ワークショップ、研修会を実施。ロンドン事務所以外でもワークショップ（1月：ブリストル大学）を実施
2	ARION Group セミナー		ロンドン事務所	ロンドン	04.04.27～04.04.27	イギリス教育省の招待により集められたイギリス各地の教育専門家が当施設を訪問。主に初等教育における日本語教育の広がり、教師向けの研修などについてのブリーフィングおよびディスカッションを行なった
3	JLCスピーチコンテスト	主催：JLC 共催：日本大使館	日本大使館	ロンドン	04.06.26～04.06.24	JLC、日本大使館との共催で、中等教育機関の生徒を対象にしたスピーチコンテストを行なった。キーステージ3、4の各カテゴリーで、6名ずつが本選に参加した。当日は120名の観客を動員
4	リフレッシュャー コース（非母語話者を対象とした日本語研修会）		ロンドン事務所	ロンドン	04.07.19～04.07.21	非母語話者の日本語教師を対象とした3日間の集中研修。日本語能力の4技能全ての向上を目的とした
5	Primary Inset Training Day	Japan21	ロンドン事務所	ロンドン	04.09.15～04.09.15	Japan21と共同開発した初等向け日本語教育スキームを試行する学校の担当教師と日本人ボランティアに対し、教材の使い方、授業の進め方などに関するセミナーを実施
6	JET Career Information Day		SOAS	ロンドン	04.09.24～04.09.24	帰国したJETプログラム参加者向けの就職フェアに出展。日本語教師になるために必要な資格や日本語教育に関する情報を提供した

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
7	日本語教育業務委託	Lydia Morey		ダブリン	05.01.14～ 05.01.15	アイルランド日本語セミナーに講師1名を派遣
8	Head Start(日本語教育紹介・日本語体験の研修会)		ロンドン事務所	ロンドン	05.01.24～ 05.01.26	初等、中等教育機関の外国語主任クラスを対象にした、日本語コース設置を促すための講座
9	CiLT共催セミナー	CiLT, the National Centre for Languages	CiLT	ロンドン	05.10.07～ 05.10.07	CiLTと共催で、中等向け日本語教育の現場におけるインタラクティブ・ホワイトボード活用に関するセミナーを実施
<b>【図書館運営】</b>						
1	図書館運営		ロンドン事務所	ロンドン	04.04.01～ 05.03.31	来館者数のべ2,422名。 収蔵資料数：図書5,000点、ビデオテープ452本 カセットテープ513本 CALL教材249点
<b>【出版・広報】</b>						
1	ウェブサイト関係費				04.04.01～ 05.03.31	最新事業情報、実施済み主催・助成事業の報告、分野別事業情報、公募プログラム情報、ニューズレター等を掲載。また、日本語部門のサイトの大幅なデザイン変更を行い、よりユーザーフレンドリーなサイトを目指した
2	ニューズレター制作費				04.04.01～ 05.03.31	ニューズレター『Perspectives』を年3回、各1,000部発行し、主催・共催事業の告知と実施報告を中心に基金事業の紹介を行なった。 日本語部門は、ニューズレター『まど』を3回、各1,500部発行
<b>【その他】</b>						
1	フォローアップ調査(日本研究フェローシッププログラム)	Caroline Lewis (調査業務委託)		ロンドン	05.12.01～ 05.03.31	フェローとのネットワーク存続と人材活用に資する日本研究・知的交流企画開発事業として、英国における1985年以降の日本研究フェローの最新動向を調査し、ダイレクトリーを作成

17. ロンドン事務所 (2)助成・協力

合計額 1,783,801円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	Reflection of Japanese Modernism	セインズベリー日本藝術文化研究所	04.05.04～ 04.05.06	国際的に活躍する建築の専門家が、世界における日本の近代建築の興隆について、各自の経験と批判的評価を披露するシンポジウム。講演者は、磯崎新、鈴木博之教授など5名の建築専門家
2	Research Student Forum	Birkbeck College	04.05.20～ 04.05.21	英国内の各大学で日本研究を専攻する大学院レベルの学生を主体とした研究発表会。ロンドン大学SOASを会場に約50名の学生・研究者が参加
3	Yukio Mishima's Sotoba Komachi and the Damask Drum	Stone Crabs Productions	04.08.10～ 04.09.05	三島由紀夫作の能『卒塔婆小町』および『綾の鼓』を翻案した現代劇の公演
4	Manga Live !	Institute of Contemporary Arts (ICA)	04.09.03～ 04.09.04	日本の漫画の英国人専門家および日本人漫画家を招き、漫画の現状を主題としたセミナーを実施。また、ゲストによるトークイベント、制作実演、参加者体験を行なった
5	Spin Cycle (Hiraki Sawa)	Spike Island	04.09.11～ 04.10.24	ブリストルのアートスペースSpike Islandが、3カ月のアーティスト・イン・レジデンスにさわひらきを招待。レジデンス期間中に制作された10件以上の作品を披露する展覧会を開催した
6	Akita Kanto In London	Thames Festival	04.09.15～ 04.09.20	ロンドン市主催の世界各地のアーティストのストリート・パフォーマンスが楽しめる巨大イベントMayor's Thames Festival (テムズ・フェスティバル)において、秋田竿灯の実演を披露
7	CSRJ Symposium	Centre for the Study of Japanese Religions, SOAS	04.09.16～ 04.09.17	ロンドン大学SOASの日本宗教研究センターが「Stars & Planets in Japanese Religious Practices and Art」と題する2日間のワークショップを主催。日本の文化や歴史に影響を与えた「星」(宗教、占星術、暦等)をめぐる学際的アプローチを試みる
8	Real World:The Dissolving Space of Experience	Modern Art Oxford	04.09.25～ 04.11.28	米国・欧州・日本の新進気鋭のアーティスト6名の作品を紹介する特別展。日本からは杉戸洋が招待された
9	Instal	The Arches	04.10.16～ 04.10.17	スコットランドの都市グラスゴーで開催された実験音楽祭Instalにおいて、日本のアバンギャルド系ミュージシャン (Vajra、EXIAS-J、浦邊雅祥、三上寛など) が公演

	事業名	協力対象団体	期間	内容
10	UK-Japan Business Seminar Series	The Sheffield Chamber of Commerce	04.11.19～ 04.11.19	「UK-日本ビジネス・セミナー・シリーズ」の一環として開催されたセミナー。1872年、当時世界的な鉄鋼都市であったシェフィールドに岩倉使節団が訪問した時の様子や、そこからシェフィールドが日本の産業発展に与えた影響など、日本とシェフィールドとの交流の出発点が、歴史・文化・経済等の複数の視点から紹介された
11	Kill Your Timid Notion	Dundee Contemporary Arts	04.12.10～ 05.02.11	実験音楽、映像およびインスタレーションの祭典、キル・ユア・ティミッド・ノーション・フェスティバルにおいて、日本人アーティストSachiko Mが英国人アーティストAnthony McCallとコラボレーションを実施。公演を行なった
12	Saki Satom Exhibition	Gasworks Gallery	05.01.27～ 05.02.28	英国在住の日本人ビデオ・アーティスト、サキサトムの初の個展。展覧会とあわせて、これまでの作品の総合的なカタログも初めて出版
13	Tomoko Takahashi-Public Access Programme	The Serpentine Gallery	05.02.22～ 05.04.10	2000年のターナー賞ノミネート以来、英国でも定評のあるタカハシトモコの個展。期間中は作家自身によるトークやコミュニティ向けワークショップ、美術学生向けディスカッションフォーラムも実施
<b>【助成事業】</b>				
1	Joji Hirota and Kazumi Kimura Concert	The Spirit of Taiko Association	04.07.03～ 04.07.03	ロンドン市内クラッパム地区で開催されるClapham Festivalのイベントとして、英国在住の太鼓奏者廣田丈自と、北海道から参加した歌手の木村香澄の公演を2回、および廣田による太鼓ワークショップを開催
<b>【会場提供】</b>				
1	WJEC Day	WJEC	04.09.21～ 04.09.21	Welsh Joint Education Committeeが認定する日本語資格試験についてのセミナー

18. ブダペスト事務所 (1)主催・共催事業

合計額 4,033,690円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【展示】</b>						
1	海外巡回展 (日本人形展D) (事務所分)		芸術の家 ヘリコン宮殿美術館 市立博物館付属 展示館	ペーチ ケストハイ シヨプロ ン	04.04.01～ 05.03.31	「日本人形展」展覧会をハンガリー国内3カ所で開催した。 展示作品数は約40点

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
2	凧独楽展		工芸美術館	ブダペスト	04.05.11～ 04.05.30	2004年3月にブダペスト事務所に移管された、ブダペスト事務所所蔵展示セットである「凧独楽展」の展示。移管後初めての展示であり、ケルン日本文化会館、カイロ事務所からも展示作品を借り受け、規模の大きい展示を行なった。展示作品数は、凧、独楽それぞれ約60点
<b>【公演】</b>						
1	勅使河原三郎公演	トラフォ劇場 マジヤールズズキ（協賛）	トラフォ劇場	ブダペスト	04.10.16～ 04.10.17	トラフォ劇場にて勅使河原三郎のダンス公演「Bone in Pages」を実施した
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	日本文化講演会		ブダペスト事務所	ブダペスト	04.07.28	甲斐睦朗（国立国語研究所所長）に「日本語から見える日本社会の変化」と題する講演を実施した。内容は、日本で話題になっている日本語の諸問題
<b>【映画】</b>						
1	日本映画ウィーク	ハンガリー国立フィルムアーカイブ	ウルクモズゴート映画館	ブダペスト	04.07.08～ 04.07.14	「日本文学作品を原作とする映画」のテーマの下、欧州フィルムライブラリーより7作品を選び、一週間にわたり上映を行なった。上映作品は『夜明け前』『野麦峠』『それから』『野菊の墓』『次郎物語』『二十四の瞳』『螢川』の7作品である
2	日本映画祭（35ミリ）	グランドカフェ・セゲド映画館、ウラーニア映画館	グランドカフェ・セゲド・ウラーニア映画館	セゲド ブダペスト	05.01.15～ 05.02.20	国際交流基金事業にて欧州巡回上映中の35mmフィルム映画9作品の上映を行なった
<b>【日本語教育】</b>						
1	日本語講座		国際交流基金ブダペスト事務所	ブダペスト	04.10.01～ 05.03.31	秋の新学期開始にあわせ、日本語講座を開講・運営した。初級Ⅰ、初級Ⅱ、初級Ⅲの3レベルを設定し、人数が多い初級Ⅰのみ2クラス、他は1クラスの構成となった。各クラス週2回、前期（10月～2月）、後期（2月～6月）ともに授業回数は30回であり、最終週には習熟度をはかるための試験を実施した
<b>【出版・広報】</b>						

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
1	ニューズレター 発行				04.04.01～ 00.03.31	事務所広報誌『縁側』を発行

## 18. ブダペスト事務所 (2)助成・協力

合計額 658,033円

	事業名	協力対象団体	期間	内容
<b>【助成事業】</b>				
1	事務所助成金	ハンガリー相撲連盟、ペーチギャラリー、日本ハンガリー合唱交流委員会	04.04.01～ 05.03.31	ハンガリー相撲連盟の「欧州相撲選手権」開催への広報経費への支援(5月)、ジャパンフェスティバルにおける日本人演奏家のツインバロンコンサートの宿泊費、移動費への支援(8月)、ペーチギャラリーの日本作家展覧会「刻一刻」展への広報経費、会場設営費への支援(9月～10月)
2	日本研究企画開発事業(日知小規模助成)	Fundacja Polsko-Japansoka YAMATO	05.03.17～ 05.03.17	ポーランドのプシェミシルにおいて、平成15年度基金「民主化・開放化支援特別フェロー」で訪日したMERKLEJN, Iwona Reginaが、「日本のメディア・システム」というタイトルで講演を行なった
<b>【文化備品・視聴覚資料貸出】</b>				
1	事務所所蔵展示品外部貸し出し	近隣公館、外部団体	04.04.01～ 05.03.31	平成16年4月～5月、エステルゴムの学校にて「日本の世界遺産」展を開催。 平成16年9月～平成17年1月は、「日本の世界遺産」「日本人の日常生活」展を、クロアチアに貸出し。 平成17年2月～3月は、マコーのヨーゼフ・アティラ美術館において「日本の世界遺産」展を実施した

## 19. カイロ事務所 (1)主催・共催事業

合計額 3,589,396円

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【講演・シンポジウム】</b>						
1	日本文学サロン	カイロ大学文学部アハマド・ファトヒ助教授	カイロ事務所	カイロ	04.04.08～ 04.10.11	エジプト人の文学愛好家、翻訳者、学生が集まり、日本文学の作品鑑賞、作家・作品研究を試みる集い。アハマド・ファトヒ（カイロ大学文学部助教授・日本文学専門）との協力でカイロ事務所で開催。平成16年度は、沖縄文学をテーマに作家・目取真俊の作品を取り上げ、4月8日、9月27日、10月4日、10月11日の4回開催した
2	考古学講演会	日本エジプト学協会	カイロ事務所図書室	カイロ	05.01.26～ 05.01.26	民間グループ(日本エジプト学協会)との共催による、各国の考古学者を招いての公開講演会。聴衆は、エジプト人およびカイロ在住の日本人その他外国人
<b>【映画】</b>						
1	映画専門家招聘 (カイロ日本映画週間)		文化省 芸術創造センター	カイロ	05.02.18～ 05.02.24	国際交流基金主催の「2005カイロ日本映画週間」(2005年2月20日～23日)に合わせて、パリ在住の日本人映画専門家(川喜多清政)をカイロに招き、4日間の上映期間中、毎晩、作品上映前に観客向けに同氏が日本映画全般と作家・作品についての解説を行なった
<b>【日本語教育】</b>						
1	日本語教育レクチャー		カイロ事務所	カイロ	04.04.01～ 04.04.01	日本語教育専門の森下雅子(早稲田大学)を講師に招き、「日本語学習者の会話能力をいかに測るか」とのテーマで、在カイロの日本語教育関係者を対象にレクチャーを実施
2	教科書『エジプト人のための日本語音声』制作協力	カイロ大学文学部日本語日本文学科(ハナーン・ラフィーク講師)			04.04.01～ 04.09.30	カイロ大学日本語日本文学科講師ハナーン・ラフィーク執筆のアラビア語話者向け日本語音声教材『エジプト人のための日本語音声』の教科書本体編集およびCD音声録音・編集など、制作編集過程に協力した
3	日本語教師養成講座		カイロ事務所	カイロ	04.04.01～ 04.11.30	エジプトの日本語教師不足状況の改善を図るため、日本語教師志望者、関心を有する者を対象に、日本語教師養成講座を運営

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
4	「ことばと文化」講座		カイロ事務所	カイロ	04.04.01～ 05.03.31	中級・上級の日本語学習者を対象として日本語講座を開講。様々の話題でディスカッションを行なう上級コースをはじめ、中級コース、日本語能力試験1級・2級準備講座等。平成16年度は、8コースを開講し、計75人が受講
5	2004中東日本語教育セミナー	中東日本語教師連絡会	Moevenpick Cairo Pyramids	カイロ	04.08.28～ 04.08.29	中東各地の日本語教師が年1回カイロに集まり、教師研修のセミナーと、広域ネットワーク（中東日本語教師連絡会）の年次会合を開催する。2004年のセミナーは、中東10カ国41名の日本語教育関係者が参加。研修セミナーの講師には、伊勢田京子氏（東京海洋大学）を招いた
<b>【図書館運営】</b>						
1	ライブラリー運営		カイロ事務所	カイロ	04.04.01～ 05.03.31	カイロ事務所内図書室の一般向け閲覧サービス（年会員制）。平成16年度は、述べ4,038人の利用者があった
<b>【出版・広報】</b>						
1	ニューズレター				04.04.01～ 05.03.31	従来のカイロ事務所の広報定期刊行物を刷新し、新しいアラビア語広報誌『WAVES』を創刊。若い世代向けに現代的な日本文化イメージを紹介するため、エジプト人のグラフィック・デザイナーを起用し、写真・グラフィックスを多用することとした。平成16年度は、創刊号および第2号を刊行
<b>【教室事業】</b>						
1	茶道同好会	茶道同好会	カイロ事務所、在エジプト大使館広報文化センター	カイロ	04.04.01～ 05.03.31	毎週、日本人とエジプト人の愛好家による茶道の会を開催。会場は、カイロ事務所と大使館広報文化センターを季節で分けて使用。カイロ事務所では、10月～翌年4月の間、毎週火曜日に開催した。10月7日には「秋のお茶会」、2月24日には「春のお茶会」を催し、一般エジプト人向けの茶道紹介活動を行なった



## 海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
<b>【その他】</b>						
1	日本文学エッセイコンテスト				05.02.07～ 05.03.31	エジプトの高校生による、吉本ばなの小説『TUGUMI』アラビア語訳の読書感想エッセイのコンテスト。カイロ市内の数十校の高校に『TUGUMI』アラビア語訳を寄贈、学校経由および個人参加により、高校生の感想エッセイを公募し、約50作品が集まった
2	アレクサンドリア日本文化週間	在エジプト大使館広報文化センター、アレクサンドリア・センター・オブ・アーツ	Center of Arts, Alexandria	アレクサンドリア	05.03.08～ 05.03.14	エジプト第2の都市アレクサンドリアにおいて、複数のイベントを集中的に実施する日本文化週間を開催。初日には生け花デモンストラーション（国際交流基金事業）を開催し、その後、期間中、日本映画上映（5夜）、生け花作品、日本人形、日本文化遺産写真パネル等の展示会等を実施した
<b>【本部事業受入】</b>						
1	イラクへの児童書寄贈（在外事業費分）				04.04.01～ 05.03.31	イラクへの児童図書寄贈事業（国際交流基金事業）のため、カイロ事務所がエジプトでアラビア語児童図書を選び、発注、購入（7タイトル×1,500セット）
2	日本映画週間（カイロ）（在外事業費分）	エジプト文化省芸術創造センター	芸術創造センター（Artistic Creativity Center）	カイロ	05.02.20～ 05.02.23	最近の日本映画作品を35ミリ版にアラビア語字幕を付して紹介。山田洋次監督『たそがれ清兵衛』、『隠し剣鬼の爪』、天願大介監督『AIKI』、崔洋一監督『刑務所の中』の4作品を、2回ずつ上映した。4日間全8回の上映

# 文化交流施設等協力事業に必要な経費

## 文化交流施設等協力事業費

### 1. 文化交流施設等協力事業費

- (1) 人物交流特定寄附
- (2) 日本研究特定寄附
- (3) 日本語特定寄附
- (4) 催し等特定寄附
- (5) 文化交流施設等特定寄附

## 文化交流施設等協力事業費

### 1. 文化交流施設等協力事業費

日本の企業や個人が国際文化交流事業に対する支援を計画している場合に、国際交流基金がその支援資金を寄附金として受入れ、その寄附金を原資として対象となる団体に助成金を交付し、事業実施に協力する。

合計額 907,397,724円

	事業名	寄附申込者	機関	国	期間	事業内容
(1) 人物交流特定寄附						
1	ACCの日米芸術文化交流プログラム基金	ブランシェット・ロックフェラー奨学基金-40募金委員会	アジア・カルチュラル・カウンシル	米国	04.06.15～06.03.31	アジア・カルチュラル・カウンシルの設立40周年を記念し、日米の文化交流促進を主眼として米国で調査、研究、視察及び劇作活動を行う日本のアーティストに助成金を提供する「ブランシェット・ロックフェラー（BHR）奨学基金」の積増しを実施
2	ロータリー国際親善奨学支援事業	日本ロータリー奨学金委員会	ロータリー財団	全世界区分困難	04.07.01～08.06.30	①日本研究機関で学ぶ外国人を援助する国際親善奨学金事業、②日本で日本語および平和を学ぶ外国人を援助する世界平和奨学金事業、③日本の語学学校で学ぶ外国人を援助するジャパン国際親善奨学金事業を運営、実施
(2) 日本研究特定寄附						
3	ダートマス大学における日本学基金	在日ダートマス大学卒業生同窓会	ダートマス大学	米国	04.01.01～04.12.31	ダートマス大学において、学士課程における日本語教育支援および経営学大学院（Tuck School of Business）における日本関連講座支援を実施
4	コロンビア・ロー・スクール日本法研究センター25周年記念事業	長島・大野・常松法律事務所	コロンビア・ロー・スクール日本法研究センター	米国	04.09.01～06.06.30	コロンビアロー・スクール日本法研究センターの25周年を記念し、特別講義シリーズ、会議・ワークショップ、研究・出版促進、日本法のカリキュラム整備、日本の公共機関での夏季インターンシッププログラム、在学生と日本人学生との交流振興を実施
5	長島・大野・常松法律事務所奨学金（コロンビア・ロー・スクール）	長島・大野・常松法律事務所	コロンビア・ロー・スクール	米国	05.07.01～06.06.30	コロンビア・ロー・スクールにおいて、日本法を研究する学生に対する奨学金支給を実施
6	長島・大野・常松法律事務所：日本法・文化プログラム（シカゴ大学ロースクール）	長島・大野・常松法律事務所	シカゴ大学ロースクール	米国	05.07.01～06.06.30	シカゴ大学ロースクールにおいて、日本法専攻学生への奨学金支給、日本企業でのインターンシップ支援、日本研究活動支援、日本研修旅費支援を実施

	事業名	寄附申込者	機関	国	期間	事業内容
(3) 日本語特定寄附						
7	特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学金	特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学会	特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学会	アジア地域区分困難	02.04.01～ 05.03.31	新大久保駅で転落者を救おうとして亡くなった韓国人留学生李秀賢の勇気を讃え、国内の日本語学校に通うアジアからの就学生を支援するための奨学金支給を実施
8	ジャパン・リターン・プログラム	ジャパン・リターン・プログラム募金委員会	特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム	全世界区分困難	03.04.01～ 05.09.30	世界で日本語を学ぶ優秀者を招へいする「日本語サミット」プログラム、二言語母語話者の人材育成のためビジネス日本語研修等を行う「ダブル・ネイティブ・エンパワーメント・プログラム」の実施
9	ドイツ社団法人日本語普及センターの事業資金	日本語普及センター国内募金委員会	ドイツ社団法人日本語普及センター	ドイツ	04.07.01～ 05.06.30	ドイツ社団法人日本語普及センターにおいて、日本語講座及び文化講座等の開講、日本人演奏家によるコンサートおよび書道や日本郷土玩具の展示会等の日本文化紹介事業を実施
(4) 催し等特定寄附						
10	四天王寺ワッソ	四天王寺ワッソ実行委員会	四天王寺ワッソ実行委員会	韓国、モンゴル	03.12.14～ 05.03.31	大阪四天王寺境内で古代衣装を身に纏い当時の東アジア交流を再現する催し「四天王寺ワッソ」(2004.11.7)を中心とし、四天王寺ワッソに関する歴史シンポジウム等の文化交流事業、韓国、モンゴル、日本の青少年のスポーツ交流事業等、韓国を中心とした東アジアと日本との文化交流促進のための事業を実施
11	日米交流150年委員会	日米交流150年委員会	日米交流150年委員会	米国	03.04.01～ 05.04.30	日米の公式な交流開始150周年を記念し、記念式典及び国際シンポジウム「日米関係の軌跡と展望」(2004.4.3)、公式ウェブサイトの構築及び運営、ロゴマーク使用による関連事業の促進、講演会「宮本亜門 プロードウェイミュージカル『太平洋序曲』を語る」(2005.3.2)を実施
12	ミュージック・フロム・ジャパン創立30周年記念音楽祭	ミュージック・フロム・ジャパン・インク	ミュージック・フロム・ジャパン・インク	米国	04.09.05～ 04.10.30	毎年1つのテーマに沿って日本の音楽を米国に紹介する音楽祭の創立30周年事業。古典雅楽、伶楽、委嘱新作世界初演楽曲を、雅楽演奏団体である伶楽舎が、ニューヨーク、ワシントンD.C.、カリフォルニア州パークレーにて演奏、披露
13	第11回ホノルルフェスティバル	ホノルルフェスティバル財団	ホノルルフェスティバル財団	米国	05.03.11～ 05.03.13	日本とハワイの交流促進のため、ホノルル市内各所にて、日本の伝統的な祭り、美術工芸、舞踏、音楽、大衆芸能等のパフォーマンスやパレード、文化交流セミナー等の教育プログラムを実施

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	機関	国	期間	事業内容
14	「オイディプス王」アテネカルチュラード公演	2004年アテネ芸術オリンピックに「オイディプス王」公演参加を執行する会	2004年アテネ芸術オリンピックに「オイディプス王」公演参加を執行する会	ギリシャ	04.07.01～ 04.07.03	アテネで開催された芸術オリンピック(Cultural Olympiad)において、蜷川幸雄氏演出によるギリシャ悲劇「オイディプス王」を上演
15	「ロシアにおける日本文化フェスティバル2003」「サンクトペテルブルク建都300周年」記念白翔會ロシア能公演	白翔會ロシア新能実行委員会	白翔會ロシア新能実行委員会	ロシア	04.03.23～ 04.03.28	ロシアにおける日本文化フェスティバル2003の一環として、モスクワおよびサンクトペテルブルグにて、能「隅田川」、「葵上」、「船弁慶」、「土蜘蛛」を上演
16	国際児童図書評議会(IBBY)第29回南アフリカ大会	株式会社山田養蜂場	国際児童図書評議会(IBBY)第29回世界大会実行委員会	南アフリカ	04.09.05～ 04.09.09	子供の本を通じた国際理解推進活動を行なう国際児童図書評議会(IBBY)の世界大会。子供の本をテーマとした講演会・シンポジウム、「アフリカの絵本100冊」と題した巡回展示会、アフリカの小学校に図書室を設置して約300冊の児童図書を贈呈する記念プロジェクトを実施
17	ワールド・パートナーシップ・フォーラム in 群馬	ワールド・パートナーシップ・フォーラム	ワールド・パートナーシップ・フォーラム	全世界区分困難	04.04.01～ 05.03.31	駐日大使館関係者と日本の経済界のリーダー等との交流を軸に、官界および学界からの参加も得て、世界的な諸問題や政策について理解を深めるためのフォーラム。今年度は9カ国の大使、公使が参加し、「国際観光立国」をテーマとして群馬県草津町にて実施
18	アジア太平洋子ども演劇祭	アジア太平洋子ども演劇祭実行委員会	アジア太平洋子ども演劇祭実行委員会	全世界区分困難	04.06.25～ 05.06.27	アジアと環太平洋諸国の子ども達が、舞台芸術を通じて交流する演劇祭。16カ国19団体が参加し、演劇公演のほか、世界的に活躍する演劇講師を招いての国際セミナー・シンポジウム、舞台芸術や日本文化を学ぶワークショップを実施
19	2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会	2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会実行委員会	2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会実行委員会	全世界区分困難	05.02.26～ 05.03.05	世界84の国と地域から2,575人の知的発達障害を持つスポーツアスリートの参加により、長野県内の7カ所にてスキー、スケート等の冬季競技世界大会を開催
(5)文化交流施設等特定寄附						
20	エスワイユー・ロースクール	NYUロースクール同窓会	ニューヨーク大学ロースクール	米国	01.09.28～ 04.12.31	ニューヨーク大学ロースクールが目標とし、推進している「Global Law School Program」の拡大を図り、研究の充実に資するための新ビルディングの建設

## プログラム名索引 (50音順)

<p>あ 「愛・地球博」途上国支援事業……………70</p> <p>アジア市民交流（助成）……………42</p> <p>アジア青年文化奨学金……………145</p> <p>アジア青年文化奨学金（中等教育プログラム）……………38</p> <p>アジア地域研究センター支援（催し等）……………234</p> <p>アジア知的交流会議開催……………233</p> <p>アジア知的交流会議（企画参画助成）……………233</p> <p>アジア知的交流会議（公募助成）……………224</p> <p>アジア文化協力……………13</p> <p>アジア文化協力（助成）……………14</p> <p>アジア・リーダーフェローシップ（招へい）……………223</p> <p>アジア理解ワークショップ等……………50</p> <p>安倍フェローシップ……………266</p> <p>い 李秀賢氏記念韓国青少年招へい（関）……………184</p> <p>インターネット・ホームページ……………287</p> <p>う 内田奨学金フェローシップ……………72</p> <p>え 映画・テレビ番組制作協力……………122</p> <p>映像出版情報交流（文化資料）……………129</p> <p>映像出版情報交流（催し）……………115</p> <p>お 大阪府クイーンズランド州日本語教師研修……………185</p> <p>大阪府JET青年日本語研修……………185</p> <p>オーストラリア・ニュージーランド中等日本語教師訪日研修……………168</p> <p>沖縄国際フォーラム……………234</p> <p>小淵フェローシップ……………196</p> <p>か 海外公演……………73</p> <p>海外公演（助成）……………79</p> <p>海外展（企画）……………54</p> <p>海外展（巡回）……………55</p> <p>海外展（助成）……………64</p> <p>海外日本映画祭……………103</p> <p>海外日本映画祭（助成）……………109</p> <p>海外日本語教育支援NGO（助成）……………136</p> <p>海外日本語教育ネットワーク形成（助成）……………155</p> <p>海外日本語教師上級研修……………162</p> <p>海外日本語教師短期研修……………164</p> <p>海外日本語教師長期研修……………163</p> <p>海外日本語講座（助成）現地講師謝金……………146</p> <p>海外日本語講座（助成）専任講師給与……………146</p> <p>海外日本語弁論大会（助成）……………149</p> <p>海外フィルムライブラリー（FL）充実……………121</p> <p>外交官日本語研修（関）……………177</p> <p>開高健記念アジア作家招へい……………38</p> <p>カイロ事務所……………406</p> <p>き 企画開発セミナー……………285</p> <p>機関誌……………286</p> <p>京都支部……………295</p> <p>く クアラルンプール日本文化センター……………347</p> <p>グループ招へい（指導者・専門家）……………20</p>	<p>グループ招へい（指導者・専門家）……………72</p> <p>グループ招へい（中学高校教員）……………35</p> <p>け ケルン日本文化会館……………303</p> <p>研究者・大学院生日本語研修（関）……………180</p> <p>こ 高校生日本語学習奨励研修（関）……………184</p> <p>公務員日本語研修（関）……………179</p> <p>国際会議出席（助成）〔ア〕……………223</p> <p>国際会議出席（助成）〔欧〕……………251</p> <p>国際会議出席（助成）〔米〕……………202</p> <p>国際会議場貸出……………131</p> <p>国際交流基金賞・国際交流奨励賞……………287</p> <p>国際交流基金フォーラム貸出……………132</p> <p>国際展……………70</p> <p>国際展参加……………53</p> <p>国際舞台芸術共同制作……………95</p> <p>国内映画祭……………112</p> <p>国内映画祭（AC）……………114</p> <p>国内映画祭（助成）……………112</p> <p>国内公演（AC）……………98</p> <p>国内公演（助成）……………97</p> <p>国内展……………63</p> <p>国内展（AC）……………64</p> <p>国内展（助成）……………68</p> <p>さ 在外日本文化専門家（助成）……………31</p> <p>在外日本文化専門家（助成）……………96</p> <p>在外邦人日本語教師研修……………166</p> <p>埼玉県JET青年日本語研修……………168</p> <p>在米諮問委員会……………191</p> <p>サンパウロ日本文化センター……………370</p> <p>し GP研究協力事業……………273</p> <p>GP研究協力（助成）……………270</p> <p>JET青年日本語研修……………185</p> <p>JOI（Japan Outreach Initiative）プログラム……………275</p> <p>事業評価（企）……………290</p> <p>事業報告……………286</p> <p>司書日本語研修（関）……………179</p> <p>次世代リーダーフェローシップ（派遣）〔ア〕……………222</p> <p>シドニー日本文化センター……………356</p> <p>市民青少年交流……………39</p> <p>市民青少年指導者招へい……………37</p> <p>ジャカルタ日本文化センター……………327</p> <p>出版翻訳協力……………124</p> <p>招へいフェローシップ （アーティスト・イン・レジデンス）……………22</p> <p>招へいフェローシップ（学者・研究者）〔ア〕……………215</p> <p>招へいフェローシップ（学者・研究者）〔欧〕……………242</p> <p>招へいフェローシップ（学者・研究者）〔米〕……………196</p> <p>招へいフェローシップ（短期）〔ア〕……………220</p>
---	--

	招へいフェローシップ(短期)〔欧〕	247		日米市民交流(助成)	276
	招へいフェローシップ(短期)〔米〕	200		日米センターNPOフェローシップ	275
	招へいフェローシップ(特定地域専門家)〔ア〕	220		日米知的交流事業	269
	招へいフェローシップ(文化芸術)	21		日米知的交流(助成)	267
	招へいフェローシップ(論文執筆)〔欧〕	246		新渡戸フェローシップ	195
	招へいフェローシップ(論文執筆)〔ア〕	218		日本研究基本書目	188
	招へいフェローシップ(論文執筆)〔米〕	198		日本研究客員教授派遣(経費助成)〔欧〕	239
す	スポーツ専門家交流(助成)	32		日本研究客員教授派遣(経費助成)〔米〕	192
	スポーツ専門家短期派遣	31		日本研究客員教授派遣(直接派遣)〔ア〕	205
せ	制作教材海外普及	169		日本研究客員教授派遣(直接派遣)〔欧〕	238
	青年日本語教師派遣(一般)	142		日本研究客員教授派遣(直接派遣)〔米〕	192
	青年日本語教師派遣(NIS)	143		日本研究拠点機関(助成)〔ア〕	206
	セミナー・シンポジウム開催(助成)(日欧)	253		日本研究拠点機関(助成)〔欧〕	239
	セミナー・シンポジウム開催(日欧)	253		日本研究拠点機関(助成)〔米〕	192
そ	造形美術情報交流(招へい)	53		日本研究シニア客員教授派遣(直接派遣)〔欧〕	238
	造形美術情報交流(催し)	70		日本研究シニア客員教授派遣(直接派遣)〔ア〕	206
	ソウル日本文化センター	316		日本研究スタッフ拡充(助成)〔ア〕	207
た	大韓民国高等学校日本語教師研修	167		日本研究スタッフ拡充(助成)〔欧〕	240
	タイ中等教育日本語教師研修	167		日本研究スタッフ拡充(助成)〔米〕	193
ち	地域活動促進(小規模助成)	281		日本研究組織強化支援(助成)	241
	地域交流賞	288		日本研究調査〔ア〕	205
	中国社会科学院研究生院	214		日本研究調査〔企〕	187
	中国日本語教師研修	167		日本研究調査〔米〕	191
	中東次世代招へいフェローシップ	251		日本研究ネットワーク推進	187
	中東次世代派遣フェローシップ	251		日本研究フェローフォローアップ	187
	中東市民青少年交流(助成)	47		日本研究リサーチ・会議等(助成)〔ア〕	207
	中東知的交流セミナー(人物交流・招へい)	250		日本研究リサーチ・会議等(助成)〔欧〕	240
	中東知的交流セミナー(人物交流・派遣)	250		日本研究リサーチ・会議等(助成)〔米〕	193
	中東知的交流セミナー(催し・主催)	259		日本語教育開発機関(助成)	145
	中東知的交流セミナー(催し・助成)	260		日本語教育企画開発型事業	137
	中東文化芸術紹介(舞台芸術)	99		日本語教育機関等調査	135
	中東文化芸術紹介(映像出版)	115		日本語教育国際シンポジウム	136
	中東文化財保存	15		日本語教育指導者養成プログラム	161
	中東理解ワークショップ等	48		日本語教育巡回セミナー	144
	調査研究	288		日本語教育専門家長期派遣(一般)	137
	調査研究(企)	290		日本語教育専門家長期派遣(予備教育)	141
て	テレビ番組放映	116		日本語教育フェローシップ	170
と	東南アジア元日本留学生生活動支援	209		日本語教材寄贈	173
	図書館運営	287		日本語教材自主制作	169
	図書館運営(関)	176		日本語教材制作助成	171
	図書館運営(日)	174		日本語成績優秀者研修(関)	182
	図書寄贈〔ア〕	234		日本語能力試験実施費	158
	図書寄贈〔欧〕	261		日本古美術保存専門家招へい	12
	図書寄贈〔企〕	189		日本古美術保存専門家派遣	13
	図書寄贈〔米〕	202		日本語履修大学生訪日研修(関)	182
	図書展参加	128		日本文学作品翻訳出版	124
	トロント日本文化センター	365		日本文化紹介(助成)	24
に	日欧市民交流(助成)	39		日本文化紹介派遣	23
	日米「教育を通じた相手国理解促進」	283		日本文化紹介派遣	74
	日米「教育を通じた相手国理解促進」(助成)	280		日本文化紹介派遣(助成)	86
	日米草の根交流推進事業	283		ニューデリー事務所	382

	ニューヨーク事務所	387
は	派遣フェローシップ (学者・研究者) [欧]	242
	派遣フェローシップ (学者・研究者) [米]	195
	派遣フェローシップ (芸術家)	22
	パリ日本文化会館	309
	バンコク日本文化センター	340
ひ	評価開発経費	159
ふ	舞台芸術紹介日欧共同事業	101
	舞台芸術紹介日米共同事業	85
	舞台芸術情報交流	100
	ブダペスト事務所	403
	文化遺産保存専門家派遣	12
	文化協力派遣	12
	文化交流企画運営補助ボランティア	39
	文化交流施設等協力事業費	410
	文化事情調査	292
	文化人短期招へい	18
	文化人短期招へい [欧]	247
	文化人短期招へい (国際会議) [ア]	221
	文化人短期招へい (国際会議) [欧]	248
	文化人短期招へい (国際会議) [米]	201
へ	米国・カナダ・英国初中等日本語教師訪日研修	166
	北京日本学研究センター (研究協力)	214
	北京日本学研究センター招へい (北外)	213
	北京日本学研究センター招へい (北大)	213
	北京日本学研究センター派遣 (北外)	209
	北京日本学研究センター派遣 (北大)	212
	北京日本文化センター	324
ほ	本部フィルムライブラリー (FL) 充実	119
ま	マニラ事務所	379
め	メキシコ事務所	397
ろ	ローマ日本文化会館	298
	ロサンゼルス事務所	392
	ロンドン事務所	399
わ	ワーキング・グループ関係費	293